えびの市埋蔵文化財調査報告書　第61集

柊野第1遺跡

2022

宮崎県えびの市教育委員会

えびの市埋蔵文化財調査報告書　第 61 集

柊　野　第　1　遺　跡

県営畑地帯総合整備事業白鳥地区に伴う発掘調査報告書

２０２２

宮崎県えびの市教育委員会

えびの市埋蔵文化財調査報告書　第 61 集

柊（ふき）野（の）第 1 遺 跡

県営畑地帯総合整備事業白鳥地区に伴う発掘調査報告書

２０２２

宮崎県えびの市教育委員会

序

えびの市は、宮崎県の南西部に位置し、日向・肥後・薩摩・大隅の分岐点にあたることから、古くから交通や物流の要所として栄え、必然的に様々な文化や文物が混合した独特の地域であります。

北の九州山地と南の霧島山系に挟まれた狭長な盆地は河岸段丘が発達し、豊富な降雨や湧水、肥沃な氾濫原の存在により、段丘面の殆どが周知の遺跡となっております。

本市の中央南、川内川の支流である長江川と池島川・白鳥川に挟まれた丘陵の白鳥地区の畑地灌漑事業も終盤を迎えております。その全面は周知の遺跡であり、数年前からの県文化財課による試掘調査の結果、古墳時代の竪穴住居等が検出されております。

本書は、平成30年度から令和元年度にかけて実施した、柊野第1遺跡の発掘調査報告書であります。近現代の畑作に伴う攪乱などもありましたが、弥生～古墳時代の竪穴建物50棟や土坑などを検出しております。県内最古級の、古墳時代前期末の鍛冶炉が検出されており、1ｋｍ北東の小木原地下式横穴墓群の中の初期の墳墓群を営んだ豪族の居住地であることがわかりました。

本書が学術資料としてだけでなく、生涯学習や学校教育の場で活用され、埋蔵文化財の保護に対する理解と認識が深まれば幸いです。

本遺跡の調査にあたり、ご指導・ご協力いただいた県文化財課諸氏、県埋蔵文化財センター諸氏、調査に対してご理解・ご協力いただいた西諸県農林振興局ならびに地権者・耕作者の諸氏、発掘作業・整理作業に従事していただいた作業員の方々に対しまして厚くお礼申し上げます。

令和4年3月

えびの市教育委員会

教育長　永　山　新　一

例　　言

１．本書は、平成 30 年度～令和元年度に実施した、県営畑地帯総合整備事業白鳥地区に伴う柊野第１遺跡発掘調査報告書である。

２．調査は、えびの市教育委員会が主体となり、Ⅰ区を平成 30 年 10 月 18 日から平成 31 年 2 月 13 日まで、Ⅱ～Ⅲ区を令和元年 7 月 22 日から令和 2 年 3 月 25 日まで実施した。

３．令和 2 年 3 月下旬、調査の遅れを改善するため、宮崎県埋蔵文化センターの東憲章氏と今塩屋毅行氏・吉行真人氏および宮崎県教育庁文化財課の高橋浩子氏のご支援・ご協力を得ることができました。記して感謝・御礼申し上げます。

４．SA19 ～ 23・25 ～ 37 の遺構実測図は、（株）大脇測量によるトータルステーション図化の成果品を使用している。

５．鍛冶関係の鉱滓と鉄粉および石材不詳の小玉の分析については、（ 株 ）古環境研究所に委託して結果を第４章に掲載した。

６．遺跡の航空写真は（有）スカイサーベイに、航空測量は九州航空株式会社に委託した。

７．遺構および遺物の写真撮影は中野が担当した。

８．出土遺物の実測は、石器を主に上原・米倉・前田が実測して中野が加筆・修正し、土器の殆どの外形・断面を中野が実測し、徳澄・濵田・前田が内外面の調整を描き、中野が加筆・修正した。鉄器は徳澄が実測し、中野が加筆修正した。

９．SA01 ～ 34 出土土器と石器全点･鉄器全点の実測図のデジタルトレースは（有）ジパング･サーベイに委託した。その他のトレースは、徳澄・濵田・前田が行った。

10．出土遺物観察表は、徳澄・濵田・前田が作成した。

11．本書の執筆および編集は、中野が担当した。

12．炭化種実のウメモモ判定については、鹿児島大学総合研究博物館の橋本達也教授を通じて田金秀一郎特任助教に鑑定していただき、ご教示いただいたので、ここに記し感謝申し上げます。

凡　　例

.

１．本書掲載の遺構は、ＳＡ：竪穴建物、ＳＫ：土坑・土壙墓、ＳＤ：溝状遺構、ＳＲ：道路遺構、ＳＴ：地下式土壙墓、ＳＺ：不詳遺構として略している。

２．遺構番号は通し番号であり、Ⅰ区のＳＡは 01 から 08 まで、ＳＫは 01 から 71 までである。

３．写真図版の個別遺構中のピンポールの長さは、全て１ｍである。

調　査　組　織

調査主体　えびの市教育委員会

教育長	萩　原　和　範	（令和元年７月まで）
	永　山　新　一	（令和元年８月から）
社会教育課長	領　家　修　司	（令和２年度まで）
	齋　藤　和　明	（令和３年度）
補佐兼文化係長	山　下　誠　介	（令和元年度まで）
	齋　藤　和　明	（令和２年度）
	高　佐　伸　也	（令和３年度）
文化係長	田　中　美千代	（令和元年度）
主任主査	小　島　英　子	
	中　野　和　浩	（令和元年度まで）
主任技師	中　野　和　浩	（令和２年度から）
技師	税　田　脩　介	（令和２年度から事務・連絡調整）

発掘作業員

平成 30 年度　赤瀬川康、井手平綾子、大林清三、甲斐るり子、上牟田忠正、川田テル子、川原安行、木村哲治、楠元良亮、源島みどり、白坂有莉子、瀧山志保子、常増則幸、鶴園妙子、西村春雄、久松信博、山下トシ、山路津男、真方幸雄、丸野咲子、森愛

令和元年度　今東薫、大橋賢一、岡田道昭、上牟田忠正、川田テル子、川原安行、木村哲治、栗坂利次、古賀幸一、西道覚三、白坂有莉子、關田克己、瀧山志保子、常増則幸、西村春雄、久松信博、山下エミ、山下トシ、山下裕子、山路律男

整理作業員

平成 30 年度　二反田あゆみ、米倉千春

令和元年度　上原千佳、米倉千春

令和 2 年度　徳澄みどり、前田昭子、米倉千春

令和３年度　徳澄みどり、濵田彩子、前田昭子

本　文　目　次

第１章　はじめに…… 1
第２章　遺跡の位置と歴史的景観…… 2
第３章　発掘調査
　１．Ⅰ区の調査…… 4
　２．Ⅱ～Ⅲ区……28
第４章　柊野第１遺跡出土品の自然科学分析報告（株式会社古環境研究所）…… 163
第５章　まとめ…… 171

挿　図　目　次

第 1 図　遺跡の位置と周辺の遺跡分布図 …… 1
第 2 図　調査区の位置と小木原地下式横穴墓群 …… 2
第 3 図　Ⅰ区遺構分布図 …… 5
第 4 図　SA-01 遺構実測図 …… 6
第 5 図　SA-02 遺構実測図 …… 7
第 6 図　SA-03 遺構実測図 …… 8
第 7 図　SA-04 遺構実測図 …… 9
第 8 図　SA-05 遺構実測図 …… 10
第 9 図　SA-06 遺構実測図 …… 11
第 10 図　SA-07 遺構実測図 …… 11
第 11 図　SA-08 遺構実測図 …… 12
第 12 図　ST-01 遺構実測図 …… 12
第 13 図　SK-32･33･42･45･52 ～ 55・63、SD-01 遺構実測図 …… 13
第 14 図　SA-01 出土土器、SA-02 出土土器実測図 (1)…… 15
第 15 図　SA-02 出土土器 (2)、SA-03 出土土器実測図 (1) …… 16
第 16 図　SA-03 出土土器 (2)、SA-04 出土土器実測図 (1) …… 17
第 17 図　SA-04 出土土器実測図 (2) …… 18
第 18 図　SA-04 出土土器 (3)、SA-05 出土土器実測図 …… 19
第 19 図　SA-06 ～ 08、Ⅰ区Ⅳａ層ほか出土土器実測図 …… 20
第 20 図　Ⅰ区SK-55･63､Ⅳa層ほか出土土器実測図…… 21
第 21 図　SA-01･02 出土石器実測図 …… 22
第 22 図　SA-03 出土石器実測図 (1) …… 23
第 23 図　SA-03 出土石器 (2)、SA-04･05･06･07 出土石器実測図 (1) …… 24
第 24 図　SA-07 出土石器 (2)、SA-08、Ⅱ層・Ⅳａ層出土石器実測図 (1) …… 25
第 25 図　SK-50･71、Ⅳa 層出土石器実測図 (2) ……26
第 26 図　SK-36、Ⅳａ層出土石器実測図 (3) ……27
第 27 図　Ⅱ～Ⅲ区遺構分布図 …… 29
第 28 図　SA-09･10 遺構実測図 …… 30
第 29 図　SA-11 遺構実測図 …… 31
第 30 図　SA-12 遺構実測図 …… 32
第 31 図　SA-13 遺構実測図 …… 33
第 32 図　SA-14 遺構実測図 …… 34
第 33 図　SA-15 遺構実測図 …… 35
第 34 図　SA-16 遺構実測図 …… 35
第 35 図　SA-17 遺構実測図 …… 36
第 36 図　SA-17 土坑実測図 …… 36
第 37 図　SA-18 遺構実測図 …… 37
第 38 図　SA-19 遺構実測図 …… 37
第 39 図　SA-20 遺構実測図 …… 38
第 40 図　SA-21 遺構実測図 …… 39
第 41 図　SA-22 遺構実測図 …… 40
第 42 図　SA-23 遺構実測図 …… 41
第 43 図　SA-24 遺構実測図 …… 42

第 44 図　SA-25 遺構実測図 ･････････････････ 43
第 45 図　SA-26 遺構実測図 ･････････････････ 44
第 46 図　SA-27 遺構実測図 ･････････････････ 44
第 47 図　SA-28、29 遺構実測図 ･････････････ 45
第 48 図　SA-30 遺構実測図 ･････････････ 47・48
第 49 図　SA-30 南東部遺物出土状態 ･･････ 47・48
第 50 図　SA-31 遺構実測図 ･････････････････ 49
第 51 図　SA-32 遺構実測図 ･････････････････ 50
第 52 図　SA-33 遺構実測図 ･････････････････ 51
第 53 図　SA-34 遺構実測図 ･････････････････ 52
第 54 図　SA-35、46 遺構実測図 ･････････ 53・54
第 55 図　SA-36 遺構実測図 ･････････････ 55・56
第 56 図　SA-37 遺構実測図 ･････････････････ 57
第 57 図　SA-38、39 遺構実測図 ･････････････ 58
第 58 図　SA-40 遺構実測図 ･････････････････ 59
第 59 図　SA-41 遺構実測図 ･････････････････ 60
第 60 図　SA-42 遺構実測図 ･････････････････ 60
第 61 図　SA-43 遺構実測図 ･････････････････ 61
第 62 図　SA-44 遺構実測図 ･････････････････ 61
第 63 図　SA-47 遺構実測図 ･････････････ 63・64
第 64 図　SA-48 遺構実測図 ･････････････････ 65
第 65 図　SA-49 遺構実測図 ･････････････････ 66
第 66 図　SA-50 遺構実測図 ･････････････････ 67
第 67 図　SK-95 遺構実測図 ･････････････････ 67
第 68 図　SA-09、10、11、12、13 出土土器実測図 (1)　69
第 69 図　SA-13 出土土器 (2)、SA-14、15 出土土器実測図 ･････････････････････････ 70
第 70 図　SA-16、17、18 出土土器実測図 (1) ････ 71
第 71 図　SA-18 出土土器 (2)、SA-19、20(1) 出土土器実測図 ･････････････････････････ 72
第 72 図　SA-20 出土土器 (2)、SA-21、22 出土土器実測図 (1) ･････････････････････････ 73
第 73 図　SA-22 出土土器実測図 (2) ･････････ 74
第 74 図　SA-22 出土土器 (3)、SA-23、24 出土土器実測図 (1) ･････････････････････････ 75
第 75 図　SA-24 出土土器実測図 (2) ･････････ 76
第 76 図　SA-25 出土土器実測図 ･････････････ 77
第 77 図　SA-26、27、28 出土土器実測図 (1) ････ 78
第 78 図　SA-28 出土土器実測図 (2) ･････････ 79
第 79 図　SA-28 出土土器 (3)、SA-29 出土土器実測図 ･･ 80
第 80 図　SA-30 出土土器実測図 (1) ･････････ 81
第 81 図　SA-30 出土土器実測図 (2) ･････････ 82
第 82 図　SA-30 出土土器実測図 (3) ･････････ 83
第 83 図　SA-30 出土土器実測図 (4) ･････････ 84
第 84 図　SA-30 出土土器実測図 (5) ･････････ 85
第 85 図　SA-30 出土土器実測図 (6) ･････････ 86
第 86 図　SA-30 出土土器 (7)、SA-30 ～ 31、SA-31 出土土器実測図 (1) ･････････････････ 87
第 87 図　SA-31 出土土器 (2)、SA-32 出土土器実測図 (1) ･････････････････････････････ 88
第 88 図　SA-32 出土土器実測図 (2) ･････････ 89
第 89 図　SA-32 出土土器 (3)、SA-33、34 出土土器実測図 (1) ･････････････････････････ 90
第 90 図　SA-34 出土土器実測図 (2) ･････････ 91
第 91 図　SA-34 出土土器実測図 (3) ･････････ 92
第 92 図　SA-35 出土土器実測図 (1) ･････････ 93
第 93 図　SA-35 出土土器実測図 (2) ･････････ 94
第 94 図　SA-35A、SA-35C 出土土器実測図 (1) ････ 95
第 95 図　SA-35C　出土土器 (2)、SA-36 出土土器実測図 (1) ･････････････････････････ 96
第 96 図　SA-36 出土土器実測図 (2) ･････････ 97
第 97 図　SA-37 出土土器実測図 (1) ･････････ 98
第 98 図　SA-37 出土土器実測図 (2)、SA-38、39、40 出土土器実測図 (1) ･････････････････ 99
第 99 図　SA-40 出土土器実測図 (2) ･････････ 100
第100図　SA-40 出土土器実測図 (3) ･････････ 101
第101図　SA-41 出土土器実測図 (1) ･････････ 102
第102図　SA-41 出土土器 (2)、SA-42、43、44　出土土器実測図 (1) ･････････････････ 103
第103図　SA-44 出土土器 (2)、SA-43-44 間の須恵器、SA-46、47 出土土器実測図 (1) ･････････ 104
第104図　SA-47 出土土器実測図 (2) ･････････ 105
第105図　SA-47 出土土器実測図 (3)、SA-47 内 SK-2 出土土器実測図 ･････････････････ 106
第106図　SA-48 出土土器実測図 (1) ･････････ 107
第107図　SA-48 出土土器実測図 (2) ･････････ 108
第108図　SA-48 出土土器実測図 (3) ･････････ 109
第109図　SA-48 出土土器実測図 (4) ･････････ 110
第110図　SA-48 出土土器実測図 (5) ･････････ 111
第111図　SA-48 出土土器実測図 (6) ･････････ 112
第112図　SA-49 出土土器実測図 (1) ･････････ 113
第113図　SA-49 出土土器 (2)、SA-50 出土土器実測図 (1) ･････････････････････････ 114
第114図　SA-50 出土土器 (2)、SK-102、103 他、SZ-02、Ⅱ～Ⅲ層、攪乱出土土器実測図 ････ 115
第115図　SK-140、141 他出土土器・土製品実測図 ･･ 116
第116図　Ⅱ～Ⅲ区出土鉄器実測図 (1) ･････････ 117
第117図　Ⅱ～Ⅲ区出土鉄器実測図 (2) ･････････ 118

第118図　SA-33 内サブトレⅥ層出土縄文土器実測図 ‥ 118
第119図　SA-17 内ＳＫ出土　炭化木器実測図 ‥ 118
第120図　ガラス小玉、臼玉、管玉実測図 …… 118
第121図　SA-09、10、11、13、14 出土石器実測図 ‥ 119
第122図　SA-18、20 出土石器実測図 …… 120
第123図　SA-21、22、23、24 出土石器実測図 (1) ‥ 121
第124図　SA-24 出土石器 (2)、SA-25 出土石器実測図 (1) …… 122
第125図　SA-25 出土石器 (2)、SA-27 出土石器実測図 (1) …… 123
第126図　SA-27 出土石器 (2)、SA-28･30 出土石器実測図 (1) …… 124
第127図　SA-30 出土石器実測図 (2) …… 125
第128図　SA-30 出土石器実測図 (3) …… 126
第129図　SA-31、32 出土石器実測図 …… 127
第130図　SA-33、SA-33・34 間、SA-34 出土石器実測図 (1) …… 128
第131図　SA-34 出土石器実測図 (2) …… 129
第132図　SA-34 出土石器実測図 (3)、SA-35、35Ａ・Ｃ (1) 出土石器実測図 …… 130
第133図　SA-35 Ｃ出土石器実測図 (2) …… 131
第134図　SA-35 Ｃ出土石器 (3)、SA-36 出土石器実測図 …… 132
第135図　SA-37 出土石器実測図 …… 133
第136図　SA-36 ～ 37、SA-38･40 出土石器実測図 (1) …… 134
第137図　SA-40 出土石器実測図 (2) …… 135
第138図　SA-40 出土石器 (3)、SA-41･42・43(1) 出土石器実測図 …… 136
第139図　SA-43(2)、44、46、47 出土石器実測図 (1) …… 137
第140図　SA-47 出土石器 (2)、SA-48 出土石器実測図 138
第141図　SA-49 出土石器実測図 …… 139
第142図　Ⅱ～Ⅳａ・Ⅴ層出土石器実測図 …… 140
第143図　Ⅰ区　SK-55、Ⅳａ層出土石器実測図 ‥ 140

表　目　次

表 1　Ⅰ区出土土器観察表 (1) …… 141
表 2　Ⅰ区出土土器観察表 (2) …… 142
表 3　Ⅰ区出土土器観察表 (3) …… 143
表 4　Ⅰ区出土石器観察表 …… 143
表 5　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (1) …… 143
表 6　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (2) …… 144
表 7　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (3) …… 145
表 8　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (4) …… 146
表 9　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (5) …… 147
表 10　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (6) …… 148
表 11　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (7) …… 149
表 12　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (8) …… 150
表 13　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (9) …… 151
表 14　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (10) …… 152
表 15　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (11) …… 153
表 16　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (12) …… 154
表 17　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (13) …… 155
表 18　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (14) …… 156
表 19　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (15) …… 157
表 20　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (16) …… 158
表 21　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (17) …… 159
表 22　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (18) …… 160
表 23　鉄器観察表 …… 160
表 24　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表 (19) …… 160
表 25　玉類観察表 …… 160
表 26　Ⅱ～Ⅲ区出土石器観察表 (1) …… 160
表 27　Ⅱ～Ⅲ区出土石器観察表 (2) …… 161
表 28　Ⅱ～Ⅲ区出土石器観察表 (3) …… 162

写　真　図　版　目　次

図版 1　調査地遠景

図版 2　調査地近景

図版 3　Ⅰ区　全景（上が北）、Ⅰ区全景（西から）

図版 4　SA-01　１層　遺物出土状態（北から）、（南から）、南西部の台石と焼土（東から）、南西部赤色顔料（西から）、断面層序（南東から）、南北畦東壁　断面層序（東から）、内区断面層序、床面全景（西から）

図版 5　SA-02　１層　遺物出土状態（北から）、（南から）、断面層序（北東から）、南北畦東壁と内区遺物（南東から）、内区北東部床面と断面層序（東から）、内区床面・遺物出土状態（東から）、中央部火処（東から）、貼床除去後全景（東から）

図版 6　SA-03　上層　遺物出土状態（西から）、（東から）、外区中央部　２次床直遺物（南から）、断面層序（南東から）、北東区床面・北壁～東壁（北東から）、東西畦東半　内区北壁（北から）、東西畦東半　内区北壁（南から）、貼床除去後全景

図版 7　SA-04　上～中層　遺物出土状態（西から）、（東から）、北東部土器溜まり上層（北から）、中層（西から）、断面層序（南西から）、（北西から）、床面遺物出土状態（南から）、床面全景

図版 8　SA-05　１層　遺物出土状態（北西から）、内区（北西から）、畦、東・南壁層序・床面（南東から）、内区断面層序（南から）、２本柱完掘状況（南から）、床面全景、SA-06 床面・遺物出土状態（南から）、北東部遺物集中部（南から）

図版 9　SA-06　遺物集中部　磨製石鏃他（南から）、床面全景、SA-07　１層　遺物出土状態（南から）、東半部遺物出土状態（東から）、床面完掘全景（東から）、床面全景、SA-08　東半部１層　遺物出土状態（南から）、床面全景

図版 10　ST-01　遺物出土状態（東から）、完掘（東から）、（北から）、玄室、羨門～玄室、 SK-23 遺物出土状態・断面層序（南から）、SK-42　遺物出土状態（東から）、下部遺物（東から）

図版 11　SK-45　遺物出土状態・断面層序（南から）、SK-49　遺物出土状態・断面層序（東から）、SK-52　遺物出土状態（北から）、SK-53　遺物出土状態（南から）、SK-55　遺物出土状態（南東から）、SK-63　遺物出土状態、SK-66　遺物出土状態（東から）、SK-37 ～ 40・56・57 断面層序（北から）

図版 12　SD-01　遺物出土状態・北壁層序（南から）、北側Ⅳa 層遺物出土状態（南西から）、（東から）、北東部（南から）、磨製石斧とその周辺（南から）、トータルステーション遺物取上（南西から）、ラジコンヘリによる航空写真撮影、SA-03 貼床除去・清掃状況

図版 13　Ⅱ区　全景、ドローン空撮

図版 14　Ⅲ区　全景（右上が北）

図版 15　SA-09 ～ 11　１層遺物出土状態（東から）、(西から)、SA-10　床面全景、SA-11　床面全景、SA-12　１層遺物出土状態（西から）、東西畦　南壁層序（南東から）、床面全景（東から）

図版 16　SA-13　１層遺物出土状態（西から）、東西畦南壁断面層序（南西から）、火処平断面、床面全景、SA-14　１層遺物出土状態（西から）、（東から）、内区遺物出土状態（南東から）、北主柱穴・柱抜取穴・土坑（西から）

図版 17　SA-14　土坑断面（西から）、南北畦南半西壁断面層序（西から）、鍛冶炉周辺の１ｃ層（西から）、接写（西から）、１ｃ層の広がり～鍛冶炉検出、鍛冶炉検出状態、鍛冶炉底面、接写

図版 18　SA-14　鍛冶炉床面（北から）、北主柱穴内　甕底部を入れた甕、床面全景、SA-15　１層遺物出土状態（西から）、内区１層　遺物出土状態（南西から）、東西畦　南壁断面層序（南東から）、内区断面層序（南東から）

図版 19　SA-15　東端火処底面・断面（南から）、床面全景、SA-16　１層遺物出土状態（北から）、断面層序（西から）、床面全景、SA-17　１層遺物出土状態（西から）、床直の土器と焼土・炭

図版 20　ST-17　中央土坑と焼土･炭、土坑底面の炭化木片出土状態（西から）、(東から)、床面全景、SA-18　１層遺物出土状態（北から）、北東部遺物出土状態、南西部火処、床面全景

図版 21　SA-19　１層遺物出土状態（西から）、断面層序（南西から）、SA-20　１層遺物出土状態（西から）、（東から）、南中央区中央付近に編物石４、南北畦西壁層序（南西から）、中央付近の編物石等出土状態、床面全景

図版 22　SA-21　１層遺物出土状態（西から）、（東から）、火処断面層序（南東から）、床面全景、Ⅱ区　SA-22　１層遺物出土状態南西から）、北端部遺物出土状態（西から）、Ⅲ区　SA-22　１層遺物出土状態（西から）、（南から）

図版 23　SA-22　内区南西部断面層序（南西から）、南北西壁層序、東西畦中央寄断面層序、接写、西･北壁断面層序（北西から）、東･南壁断面層序（南東から）、内区火処断面、床面全景（右上が北）

図版 24　SA-23　１層遺物出土状態・西壁層序、西壁中央部断面層序、SA-24　１層遺物出土状態、南北畦西壁層序（南西から）、接写、床面全景、SA-25　１層遺物出土状態（西から）、南半分（東から）

図版 25　SA-25　南半・西壁・内区床面、内区畦西壁層序・被熱床面、接写、内区・畦東～南壁・被熱床面、主柱穴Ｐ５（南から）、主柱穴Ｐ１（南から）、主柱穴Ｐ６（南東から）、内区被熱床面

図版 26　SA-25　内区被熱床面、床面全景、SA-26　１層遺物出土状態（西から）、東側中央土坑遺物出土状態、西・北壁層序（北西から）、南北畦南半西壁断面層序（西から）、SA-27　１層遺物出土状態（東から）、南東部

図版 27　SA-27　南東部断面層序（南から）、SA-26・27　床面全景（右が北）、SA-28　１層遺物出土状態（南から）、（東から）、北東角の土師器、下部出土状態、北西区内　甕他、東西畦東半内　二重口縁壷

図版 28　SA-28　断面層序（南東から）、火処断面層序、断面層序（北東から）、中央部主柱穴、SA29　北東部　火処（南東から）、柱穴と断面層序、南側床面（南から）、SA-28・29　床面全景

図版 29　SA-30　１層上～中層遺物出土状態（南西から）、南西区画（南西から）、高坏等出土状態南中央区画　鋳造鉄斧等出土状態（南から）、南東区画　甕・高坏等出土状態（東から）、南西区画１層下層遺物出土状態、中央付近　石包丁等出土状態、南中央区画１層下層　鉄鏃と編物石他

図版 30　SA-30　南東区画　編物石と断面層序、南中央区画北西部の土坑内遺物、南東区甕（南から）、南西区画火処、内底の赤色顔料、南東区北西部火処内遺物、南東区画　焼土と鉱滓・炭化物、接写

図版 31　SA-30　断面層序（北から）、南西区画東南壁、内区貼床確認、接写、南半北から西壁断面層序、床面全景、SA-31　１層遺物出土状態、西半部

図版 32　SA-31　北西端　鉄鏃出土状態、東半１層遺物出土状態、中央付近火処上面、中央畦西壁層序、断面層序、床面全景、SA-32　遺物出土状態（南西から）、（北東から）

図版 33　SA-32　南西区画北東部火処、西中区画東部火処、断面層序、東部火処、断面層序、断面層序、中央西端火処、断面層序

図版 34　SA-32　中央西端火処断面、北東部、南半畦北壁層序、床面全景、SA-33　１層遺物出土状態（西から）、（北から）、北端部　砥石と編物石出土状態、石製模造品とその周辺

図版 35　SA-33　刀子他出土状態、北西端部　被熱礫集積状態、中央部断面層序（北東から）、中央部火処、床面全景、SA-34　１層遺物出土状態（南から）、南西区画南東角　土製勾玉と編物石

図版 36　SA-34　南東区画　砥石他出土状態、南西区南西部の火処検出状態、北西区火処、１層下層遺物出土状態、南～西壁層序、中央付近断面層序、砥石他出土状態、床面全景

図版 37　SK-140　（SA-35 Ｂ埋没後切込）遺物出土状態、中央底面　蓋出土状態、SA-35　１層遺物出土状態、Ｕ字溝型掘込内遺物、小型壷出土状態、内区１層断面、内区断面層序、接写

図版 38　SA-35 Ａ　床面全景、SA-35 Ｂ　床面全景、SA-36　西半部１層遺物出土状態、下層・土坑上層遺物、火処・台石出土状態、中央付近の火処、断面層序、火処接写

図版 39　SA-36　南東部Ⅶｂ層採掘穴断面層序、完掘（東から）、床面工具痕、床面全景、SA-36 外方 SK-141　上層遺物出土状態、下層焼土・炭、完掘、SZ-02　遺物出土状態（南西から）

図版 40　SA-37　１層遺物出土状態、台石と火処、内区東部の土器片出土状態、南東部断面層序（北から）、畦除去　鉄鎌状鉄片、断面層序（北から）、東壁層序、床面全景（南半分）

図版 41　SA-38　北西部１層遺物出土状態　東部火処と周辺、火処、火処断面層序、西北部　朱と編物石、SA-39　遺物出土状態、断面層序（西から）、SA-38・39 床面全景

図版 42　SA-40　管玉と台石出土状態、接写、床面と火処、断面層序、東西畦北壁層序、南東部と東端中央火処１ｃ層、SA-42　北西区東南部火処、１層下層遺物出土状態

図版 43　SA-43　断面層序（東から）、SA-43 東端～SA-40 西端断面層序、SA-44　南東区火処（南から）、南東区南西部土坑断面、断面層序、火処断面層序、SA-47　南西区南東端土坑内遺物、Ⅶｂ層採掘穴断面層序

図版 44　SA-47　Ⅶｂ層採掘穴完掘、床面、断面層序、火処断面層序、SA-38　北西区１層上層遺物出土状態（北から）、（東から）、接写（北から）

図版 45　SA-48　東西畦東半１層上層遺物出土状態（南から）、火処の上 1a 層内、西端部側面（北から）、西端部　甕内外入れ子状態、西南区中央寄り火処、南北畦東壁層序（北東から）、東西畦西側断面層序

図版 46　SA-49　断面層序（南東から）、火処と断面、南北断面層序（北東から）、中央寄り接写、SA-50　畦南・西壁断面層序（南西から）、火処部分断面層序、（北西から）、西端部断面層序（南から）

図版 47　Ⅲ区　遺構検出作業（東から）、南東部（北東から）、Ⅱ区 SA-13　掘込作業（西から）、Ⅲ区 SA-28　掘込作業（北から）、SA-30　内区サブトレ掘込～清掃（南から）、SA-36　掘込作業、SA-26 ～ 29　トータルステーション測量、航空写真撮影

図版 48　SA-01　出土土器、SA-2　出土土器⑴、⑵、SA-03　出土土器⑴、⑵、⑶、⑷、SA-04　出土土器⑴、⑵、⑶

図版 49　SA-04　出土土器⑷、SA-05　出土土器、SA-06　出土土器、SA-07　出土土器、SA-08 出土土器、SK-63　出土土器、SK-55　出土土器、Ⅰ区出土　縄文土器

図版 50　Ⅰ区　弥生赤彩土器、右：青花、Ⅰ区出土土器片加工円盤、土器片加工方形品、SA-01 出土石器、SA-02　出土石器、SA-03　出土石器⑵、⑶（２層）

図版 51　SA-03　出土石器⑶、SA-04　出土石器、SA-05　出土石器・石製品、SA-06　出土石器、SA-07　出土石器⑴、⑵、SA-08　出土石器

図版 52　Ⅰ区　SK・Ⅳａ層出土石器、Ⅰ区　Ⅱ～Ⅲ・Ⅳａ層・SK・攪乱出土石器

図版 53　SA-09　出土土器、SA-10　出土土器、SA-11　出土土器、SA-12　出土土器、SA-13　出土土器

図版 54　SA-14　出土土器⑴、鍛冶炉付近・鍛冶炉直上出土甕（外面のススを年代測定）、SA-14 出土土器、SA-16　出土土器

図版 55　SA-15　出土土器、SA-17　出土土器⑴、⑵

図版 56　SA-18　出土土器⑴、（2）、SA-19　出土土器、SA-20　出土土器⑴

図版 57　SA-20　出土土器⑵、SA-21　出土土器、SA-22　出土土器⑴、⑵

図版 58　SA-22　出土土器⑶、SA-23　出土土器、SA-24　出土土器⑴、⑵

図版 59　SA-24　出土土器⑶、SA-25　出土土器⑴、⑵

図版 60　SA-26　出土土器、 SA-27　出土土器　、SA-28　出土土器⑴

図版 61　SA-28　出土土器⑵、反転、SA-29　出土土器、SA-30　出土土器⑴

図版 62　SA-30　出土土器⑵、⑶、⑷

図版 63　SA-30　出土土器⑸

図版 64　SA-30　出土土器⑹、⑺、⑻

図版 65　SA-30　出土土器⑼、⑽、SA-31　出土土器⑴、⑵、⑶

図版 66　SA-31　出土土器⑷、SA-32　出土土器⑴

図版 67　SA-32　出土土器⑵

図版 68　SA-32　出土土器⑶、SA-33　出土土器、SA-34　出土土器⑴

図版 69　SA-34　出土土器⑵、⑶、⑷

図版 70　SA-34　出土土器⑸、SK-140（SA-34 埋没後に切り込む土坑）　出土土器、SA-35　出土土器　⑴、⑵、⑶

図版 71　SA-35　出土土器⑷、⑸、SA-35・35A　出土土器

図版 72　SA-35B　出土土器、SA-35C　出土土器⑴、⑵、⑶

図版 73　SA-35C　出土土器⑷、SA-36　出土土器⑴、⑵

図版 74　SA-36　出土土器⑶、SK-141（SA-36 南東）　出土土器⑴

図版 75　SA-141　出土土器⑵、SA-37　出土土器⑴

図版 76　SA-37　出土土器⑵、⑶、SA-38　出土土器

図版 77　SA-40　出土土器⑴

図版 78　SA-40　出土土器⑵、SA-41　出土土器

図版 79　SA-42　出土土器、SA-43-44 間Ⅳa 層　出土須恵器、SA-43　出土土器、SA-44　出土土器、SA-46　出土土器

図版 80　SA-47　出土土器⑴、⑵、⑶、⑶の内面

図版 81　SA-47　出土土器⑷、SA-47 内 SK　出土土器、SA-48　出土土器⑴

図版 82　SA-48　出土土器⑵

図版 83　SA-48　出土土器⑶

図版 84　SA-48　出土土器⑷

図版 85　SA-48　出土土器⑸、SA-49　出土土器⑴

図版 86　SA-49　出土土器⑵、SA-50　出土土器

図版 87　SK-95⑴、⑵、SK-103、SR-03、SZ-02　出土土器、Ⅱ～Ⅲ層ほか　出土土器、Ⅱ～Ⅲ層出土土器

図版 88　Ⅱ～Ⅲ区　出土　縄文土器、Ⅱ～Ⅲ区　須恵器、土師質土器、SA-34　出土土製勾玉、

SA-出土　小玉、管玉、左から（SA35B、SA-35C、SA-36、SA-48、SA-48、SA-48、SA-49、SA50、SA-40）、土製品、被熱発泡土器片　左から（SK-141、SA-40、SA-33、SA-25、SA-30 出土）、内面、SA-17　出土炭化木製品

図版 89　Ⅱ～Ⅲ区　出土　鉄器・鉄片

図版 90　SA-30　出土　鋳造鉄斧　斜側面～裏面、短辺、SA-14　鍛冶炉内覆土水洗選別　粒状滓～鍛造剥片～鉄滓⑴、⑵、⑶、⑷、覆土出土　鉄滓

図版 91　SA-14　鍛冶炉周辺 1ｃ層水洗選別　鍛造剥片・鉱滓、SA-18　焼土水洗選別、SA-35C　1ｃ層水洗選別、SA-34　南西部 1ｃ層水洗選別　鍛造剥片、SA-40　北東部 1ｃ層水洗選別、SA-40　南西部　1ｃ層、SA-40　1ｃ層（焼土混）、SA-49　1ｃ層水洗選別、SK-141　水洗選別　鍛造剥片、鉱滓、左から SA-17、SA-31、SK-103 出土、赤色顔料の素材　左から SA-20 の褐鉄鉱、SA-30 の朱塊、SA-49 の朱塊、SA-36　1ｃ層水洗選別　左列から炭片・粒、土器片、小礫、粗砂、中砂、微細砂、砂鉄

図版 92　SA-09　出土石器、SA-09～10　出土石器、SA-14　出土石器、SA-11　出土土器、SA-13 出土石器、SA-14　出土石器、SA-20　出土石器⑴、⑵、SA-18　出土石器、SA-21　出土石器、SA-22　出土石器、SA-23　出土石器

図版 93　SA-24　出土石器、SA-25　出土石器⑴、⑵、SA-27　出土石器、SA-28　出土石器、SA-30　出土石器⑴、⑵、⑶、⑷

図版 94　SA-31　出土石器、SA-32　出土石器⑴、⑵、SA-33　出土石器⑴、⑵、SA-34　出土石器⑴、⑵、⑶、⑷

図版 95　SA-35　出土石器、SA-35C　出土石器⑴、⑵、⑶、SA-36　出土石器⑴、⑵、SA-36～37 出土石器、SA-37　出土石器⑴、SA-36　出土石器⑶、SA-37　出土石器⑵、SA-38　出土石器⑴、⑵

図版 96　SA-40　出土石器⑴、⑵、⑶、SA-41　出土石器⑴、⑵、SA-42　出土石器⑴、⑵、SA-43 出土石器、　SA-44　出土石器⑴、⑵、SA-46　出土石器⑴、⑵、SA-47　出土石器⑴

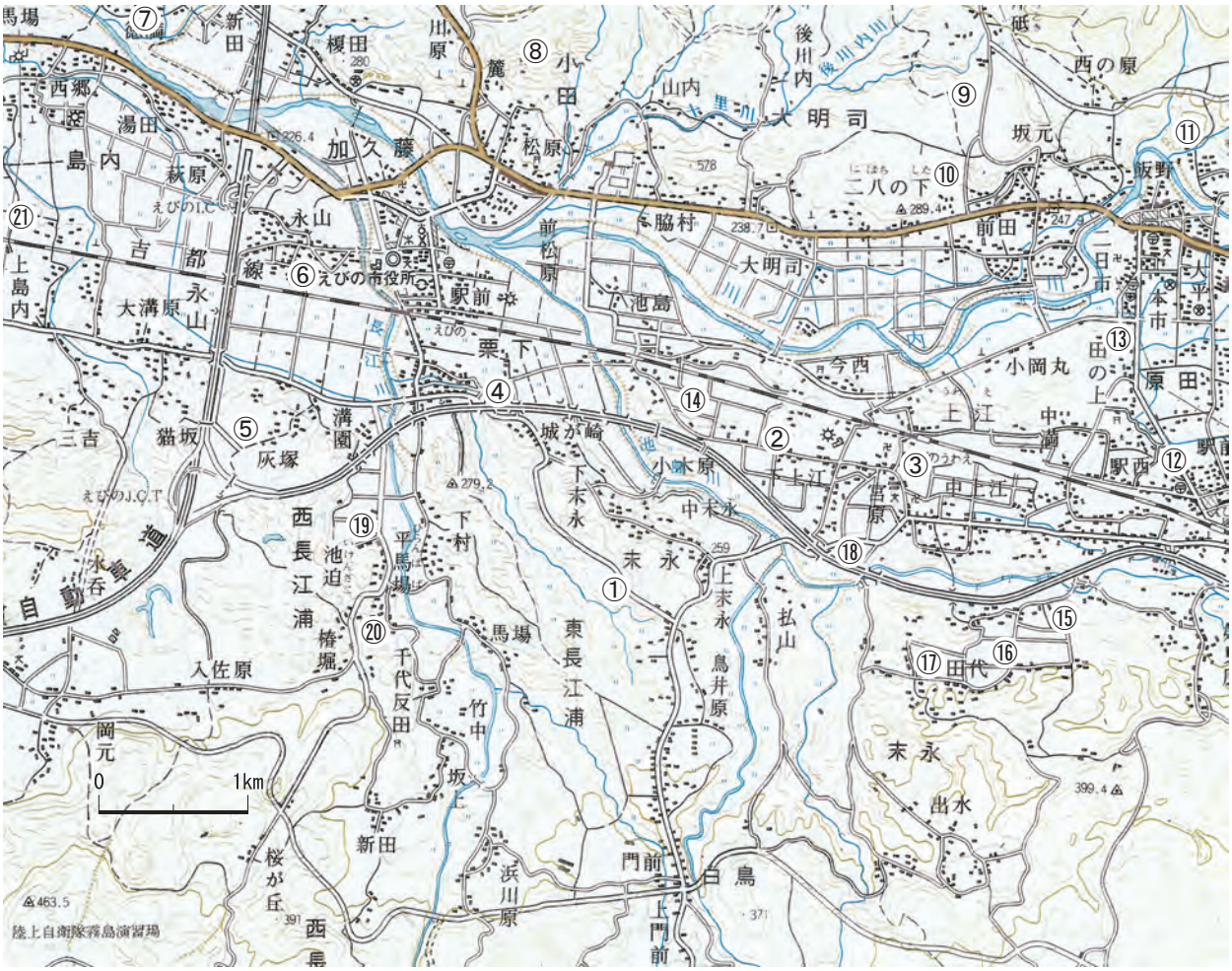
図版 97　SA-47　出土石器⑵、SA-48　出土石器、SA-49　出土石器　鉄床石か、SA-49　出土石器⑴、SA-49　出土石器⑵、Ⅱ～Ⅲ層　出土石器、攪乱他　出土石器

図版 98　鉄鏃模造品・類似品　集合、器面調整具　集合、小型砥石・類似品　集合、SA・SK 出土シイ類、SA 出土炭化モモ核、クリ核

第１章　はじめに

平成８年度より、西諸県地区（小林市・えびの市・高原町）の 4,150ha を対象とした畑地灌漑事業が始まった。ダム造り（国営）と基幹水利整備事業（県営）が先行的に建設され、平成８年度からはモデルほ場設置事業が実施され、17 年度から本格的に計画・実施されてきた。本市の畑地の対象地は 550ha で、その殆どが周知の遺跡である。

本市の中央南側に位置する白鳥地区 60ha の工事（半分は水田）は、平成 25 年に採択され、平成 27 年度から４～５年で区画整備工事が計画されたものの、29 年度にようやく、しかも突発的に村ノ前遺跡地区の工事が着手・完了した。ここ以外では、県文化財課による試掘調査も終わらない中で平成 30・31 年度の計画図をもとに、消失する２地点（Ⅰ・Ⅱ区）の発掘調査を計画した。令和元年度にⅡ区の調査を計画したが、対象地が狭長であり、テント設営地と駐車場・土置き場を確保するためにⅡ区とⅢ区に分割して実施した。

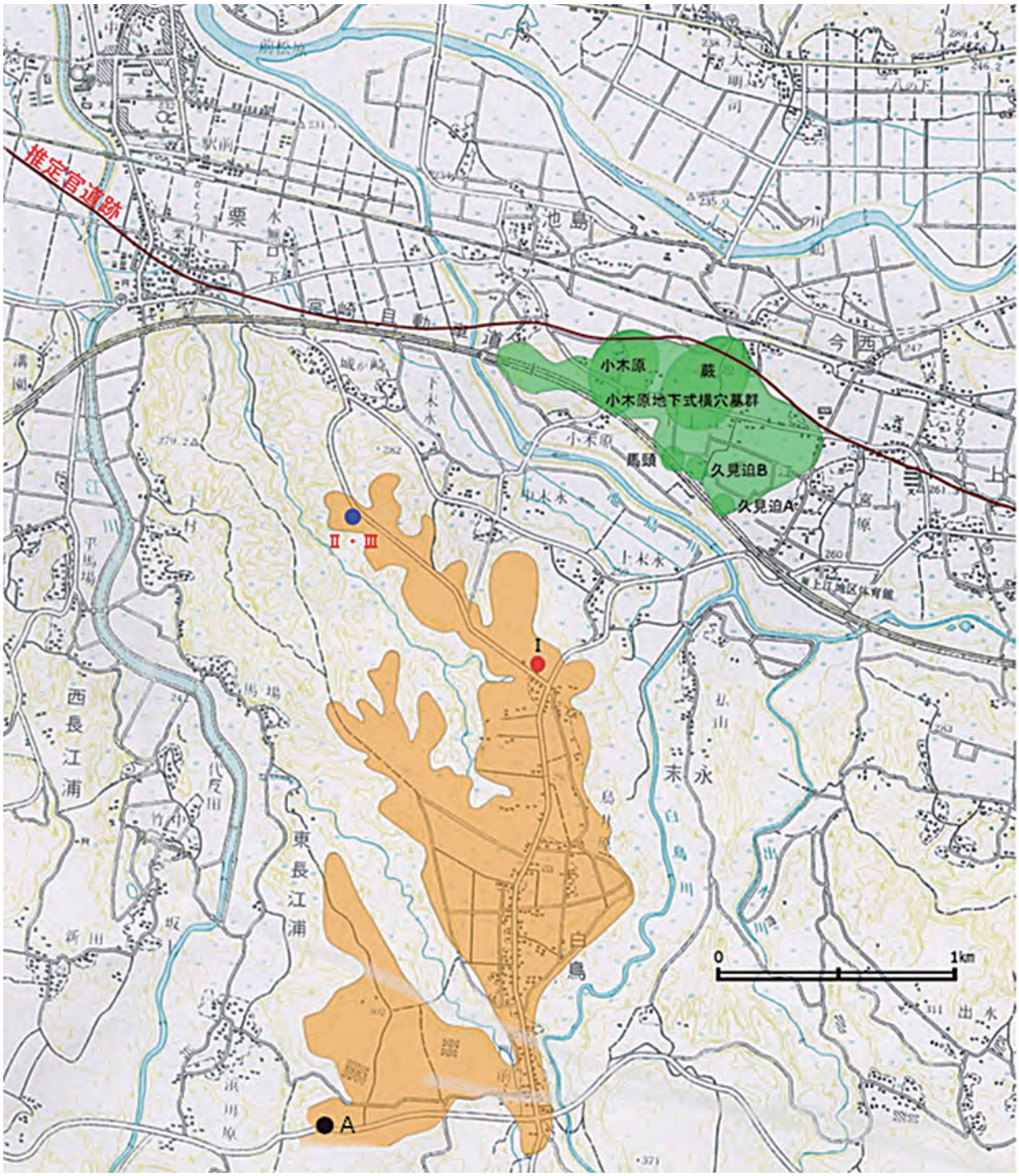


１：柊野第１遺跡　２：小木原地下式横穴墓群　３：法光寺跡　４：草刈田遺跡　５：灰塚地下式横穴墓群
６：推定真斫駅　７：徳満城跡　８：加久藤城跡　９：二本杉遺跡　10：苧畑地下式横穴墓群　11：飯野城跡
12：建山地下式横穴墓群　13：田之上城跡　14：永田原遺跡　15：松山遺跡　16：上田代遺跡　17：竹之内遺跡
18：桑田遺跡　19：役所田遺跡　20：馬場田遺跡　21：島内地下式横穴墓群

第１図　遺跡の位置と周辺の遺跡分布図

第２章　遺跡の位置と歴史的環境（第１・２図）

えびの市は、34 万年前の加久藤カルデラの中にあり、10 万年前の阿多カルデラの火砕流とその後の堆積物の上に、3 万年前の入戸火砕流（シラス）が標高 400 m位まで被る。その後、2 万年前までの霧島山系の火山活動で狭長な盆地になり、やがて湖になり、西南方が決壊して水が排出されつつ、高位段丘～中位段丘～低位段丘（16700 年前の小林ボラを含む）が形成される。氾濫原を西流する川内川は暴れ川で、昭和 40 年代に堤防が出来るまでは流路を変えていた。従って周知の遺



第２図　調査区の位置と小木原地下式横穴墓群

跡の殆どは段丘面にあり、現在、地目が畑地となっている所の殆どは周知の遺跡である。

柊野第１遺跡は、えびの市大字末永字上原から大字東長江浦字城ノ下・柊野、大字栗下字城宇都まで、東西 1.6 ㎞・南北 3.3 ㎞の、広大な高位段丘に立地する。Ⅰ・Ⅱ区の氾濫原との比高は 45 ～ 48 ｍを測る。

周囲に旧石器が出土した遺跡は無い。縄文時代早期は、当遺跡内南西端部（仮 A 地点）において、集石遺構１と土坑 12 のほか、知覧式や中原式土器片と石器少量が出土している[1]（第２図 A）。Ⅰ区の北東１㎞対岸に立地する小木原地下式横穴墓群久見迫 B 支群の微高地からは、押型文土器片が出土している[2]。4 ㎞北西に位置する二本杉遺跡においては、環状に配置する集石遺構 20 基などが出土している[3]。中期は無いに等しい。後期～晩期前半は遺構遺物が多く、1.5 ㎞東の広大な段丘に立地する松山遺跡(15)・上田代遺跡[4](16)や、1 ㎞西を北流する長江川左岸に立地する、役所田遺跡[5](19)・馬場田遺跡[6]（20）などの拠点集落が豊富な湧水池付近の段丘に立地する。弥生時代早期は、桑田遺跡[7]（18）で突帯文土器と石鏃がまとまって出土し、プラントオパールも検出されている。弥生前期～中期の集落は未確認であるが、後期～古墳時代前期は、草刈田遺跡[8]（4）・二本杉遺跡[9]（9）・松山遺跡[10]（15）で間仕切り住居がまとまって検出されている。南東部九州特有の地下式横穴墓群は、島内[11]（21）・灰塚[12]（5）・小木原[13]（2）・建山（12）・苧畑[14]（10）など、凡そ 2.5 ㎞おきに分布しており、中でも小木原では総数 400 基以上が確認されており、それを造営した集落の所在地はいまだ不詳であるが、今回報告する調査対象地が最有力である。

古代には官道が敷かれ、草刈田遺跡[15]（4）と推定真斫駅付近[16]（6）で官道跡が、法光寺跡[17]（3）で布目瓦が出土している。永田原遺跡[18]（14）と田之上城跡・北田遺跡[19]（13）では小規模な馬飼（数 ha）の存在を肯定させうる遺構・遺物が出土している[20]。中世には、丘陵や段丘の突端に山城が築かれ、肥沃な盆地の覇権が争われた。

註

(1)　宮崎県埋蔵文化センター『柊野第１遺跡』2003
(2)　えびの市教育委員会『小木原遺跡群蕨地区（Ｃ・Ｄ地区）・久見迫地区・地主原地区・原田・上江遺跡群六部市遺跡・蔵元遺跡・中満遺跡・法光寺遺跡Ⅰ・Ⅱ』1996
(3)　えびの市教育委員会『桑田遺跡・二本杉遺跡・元巣塚』2019
(4)　えびの市教育委員会『田代地区遺跡群・妙見原遺跡』1997
(5)　えびの市教育委員会『長江浦地区遺跡群』2002
(6)　同上
(7)　(3)と同じ
(8)　えびの市教育委員会『草刈田遺跡』2004
(9)　(3)と同じ
(10)　(4)と同じ
(11)　えびの市教育委員会『島内地下式横穴墓群』2001 ほか
(12)　宮崎県教育委員会『九州縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告（2）灰塚遺跡』1973
　えびの市教育委員会『島内地下式横穴墓群Ⅴ・灰塚地下式横穴墓群』2017
(13)　えびの市教育委員会『永田原遺跡・小木原遺跡群蕨地区（Ａ・Ｂ地区）・ロノ坪遺跡』1990
(14)　えびの市教育委員会『広畑遺跡』1991
(15)　(8)と同じ
(16)　えびの市大字灰塚字真崎と字古川の境の市道拡幅工事に伴う発掘調査において、溝状に掘削された官道跡（上面幅 9 ｍ、深さ１ｍ、底面幅３ｍ、硬化面幅 0.4 ～ 0.6 ｍ、側溝は西側に幅 0.5 ～ 1 ｍ・深さ 0.1 ｍ）を検出した。駅家に関する遺構・遺物は皆無である。
(17)　(2)と同じ
(18)　(13)と同じ
(19)　えびの市教育委員会『小岡丸地区遺跡群』2003
(20)　中野和浩「えびの市の官道と牧について」『えびの市歴史民俗資料館年報Ｎｏ 5』えびの市教育委員会 2013

第３章　発掘調査

１．Ⅰ区の調査

１．はじめに

平成23年度から、県文化財課による試掘調査が始まり、当地点において、表土下すぐにアカホヤ火山灰２次堆積層（縄文～古墳時代の遺物包含層）が厚さ15～30㎝あることが確認され、工事によってやむをえず削平されることからⅠ区として調査することとした。

2．基本的層序

層序は、上からⅠ層：暗灰色土（耕作土）、Ⅱ層：旧耕作土・近世以降の灰色系土、Ⅲ層：淡黒灰色土（殆どは耕作土化している）、Ⅳａ層：アカホヤ火山灰２次堆積層、Ⅳｂ層：アカホヤ火山灰（B.P.7300）（不整序・攪乱状態）、Ⅴ層：灰褐色＋淡黒褐色火山灰（不明瞭）、Ⅵ層：黒褐色土（混クサリ礫）に分別した。なお、西方200～300ｍの畑地では、県文化財課の試掘調査においてⅥ層から相当量の土器と石器が出土している。Ⅳｂ層は、市内の段丘では30～40㎝の層厚であるが、当地区では５～15㎝ほど、もしくはａｂ層混在の地点が多い。竪穴建物においては、覆土を１層とし、貼床土を２層とした。１ｃ層は暗灰色～黒灰色土で、火処である。

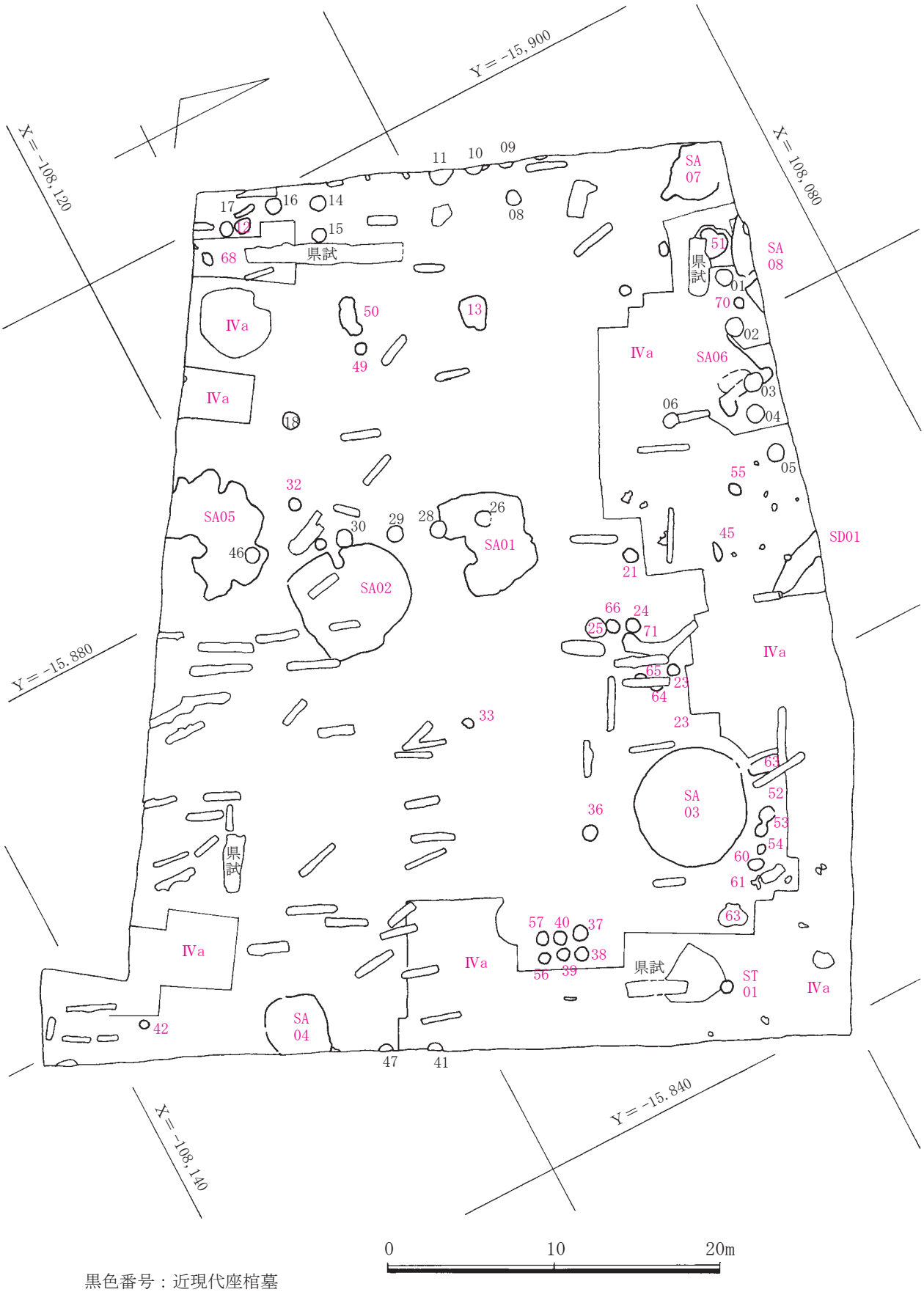
３．発掘調査（第３図）

表土剥ぎ後、Ⅱ層残土除去兼遺構検出を行い、約70基のイモ穴と約30基の座棺墓を掘り上げ、土坑と竪穴建物、遺物包含層を調査した。Ⅳａ層は調査区全面に堆積しているが、遺物の粗密が顕著で、旧地形が下降する北側に多い。Ⅳａ層には、縄文後期後半～晩期前半・弥生中期後半～古墳前期の遺物を含むが、遺構面はⅣａ層上面である。

調査区では弥生～古墳時代の竪穴建物８、土坑40、地下式土壙墓１、溝状遺構１を検出した。竪穴建物は、北西端に２基、中央～南側に３基、北東部に１基、南東部に１基を検出した。土坑は、３号建物の周囲に１～６ｍ離れて集中している他は、まばらに散在する。

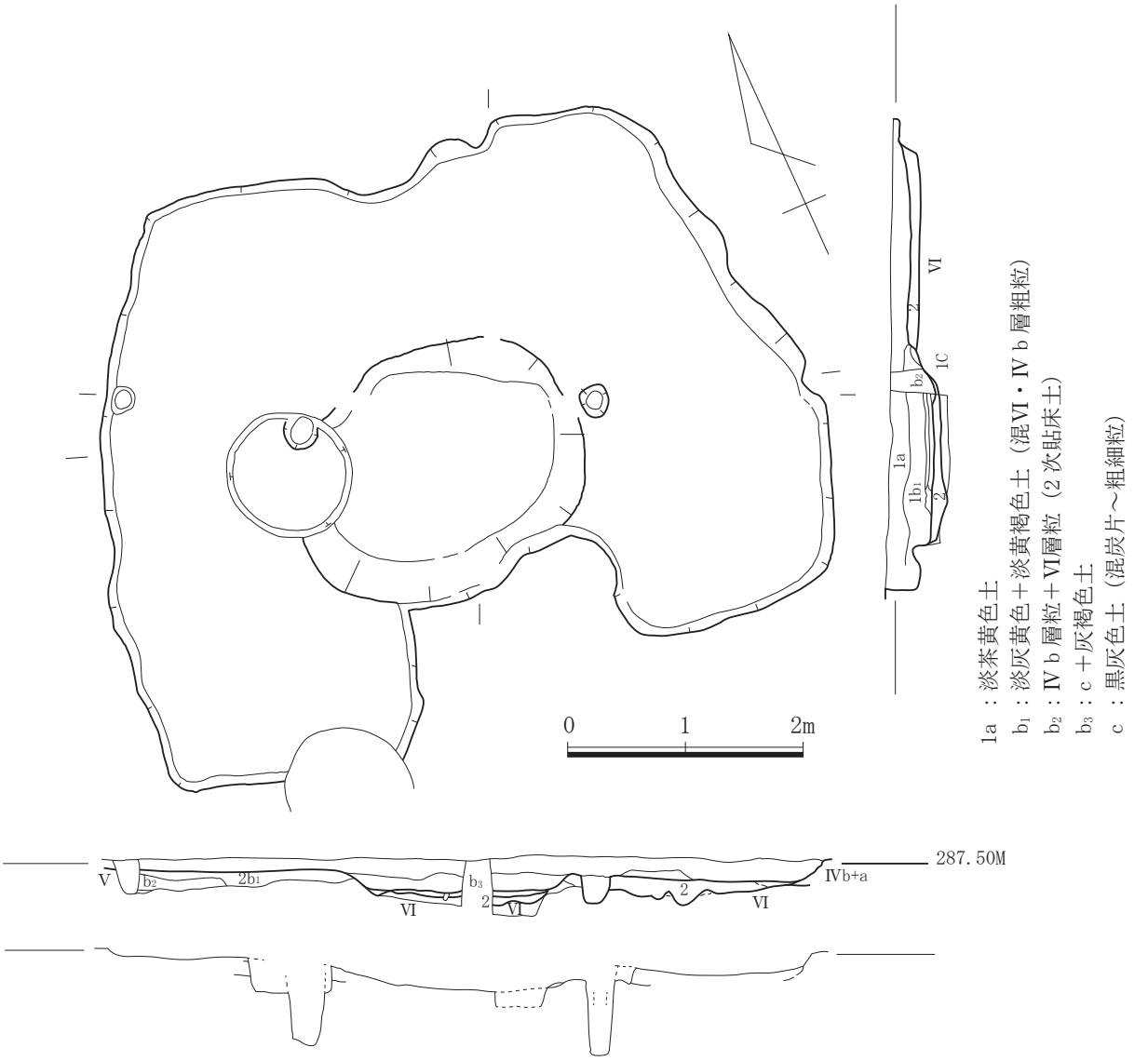
SA-01（第４図）　調査区のほぼ中央で検出した、北辺４ｍ・南辺６ｍ・南北4.5～５ｍの隅丸台形を基調とし、南辺中央1/3を掘り残す。検出面から９～19㎝で床面となり、中央部は、長さ2.6ｍ・幅2.1ｍの楕円形に掘り下げられ（以降、内区と呼称する）、深さ15～19㎝を測る。底面中央北寄りには厚さ２～３㎝の黒色土が堆積（１ｃ層）し、1b2層で埋めた上面が２次面である。主柱穴は２で、柱間は2.5ｍ、西側の柱穴は、直径30㎝・深さ72㎝、東側は直径20㎝・深さ74㎝・柱痕跡の直径は11㎝を測る。床面の殆どは硬化面で、厚さ８～16㎝の貼床がある。

南中央部の間仕切りの西壁付近で、台石と焼土が検出されたほかは、少数の土器片と砥石、敲磨石が出土したにすぎない。弥生中期後半の黒髪式期に比定できる（第14・21図）。



黒色番号：近現代座棺墓
赤色番号：弥生～古墳時代の土坑
県試：県文化財課による試掘溝

第３図　Ⅰ区　遺構分布図

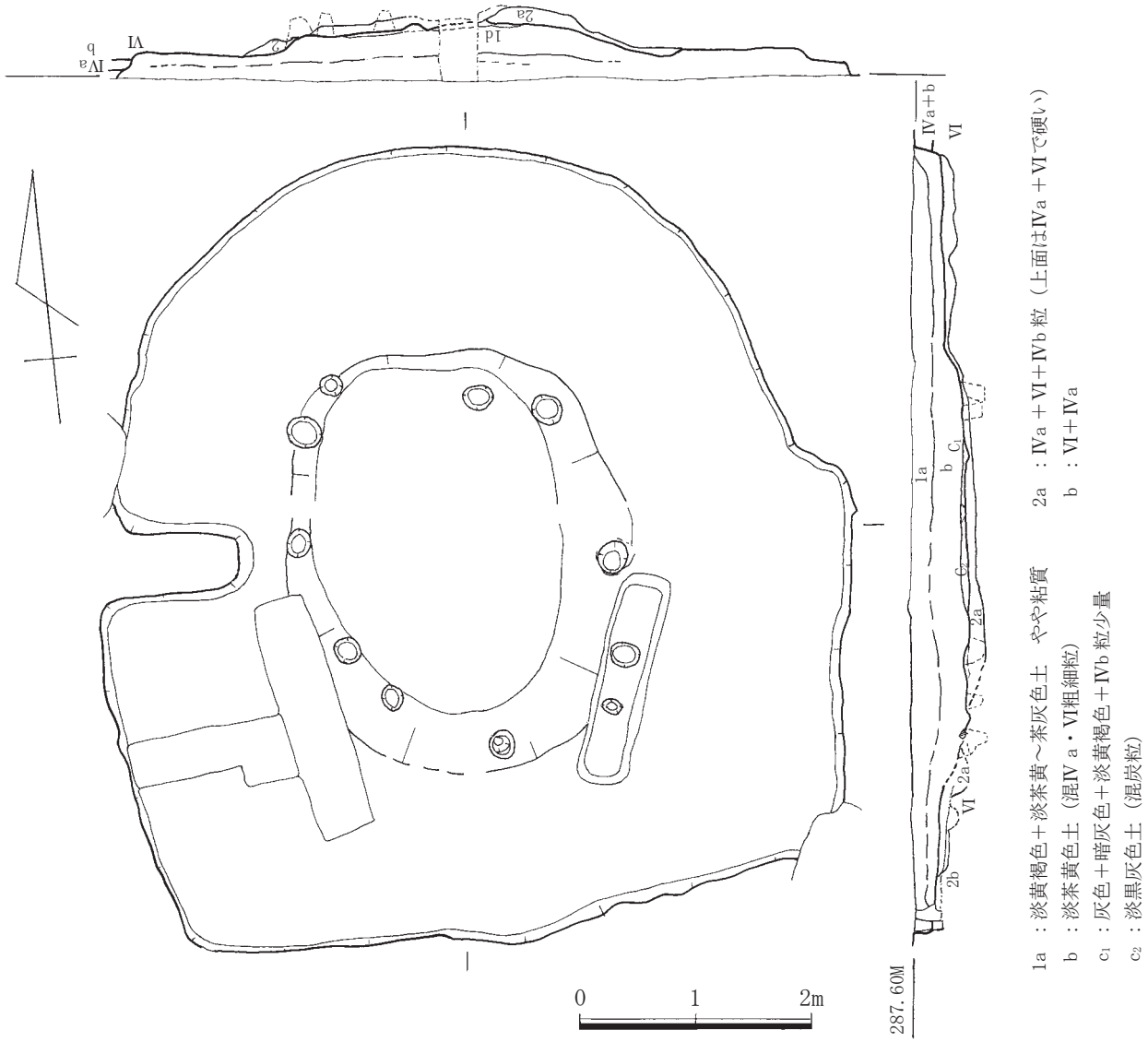


第4図　SA-01　遺構実測図

SA-02（第5図）　01号の3ｍ南に位置した、半円半方形で西側中央部に間仕切り掘り残しがあり、東壁中央部は40㎝のズレがある。円の直径は5.8ｍであるが、東西最大幅6.56ｍ、南北6.92ｍ、西側間仕切りは上場の長さ1.04ｍ・幅0.52ｍを測る。19～28㎝掘下げるとやや硬化した床面になり、さらに内側に直径3.8ｍ･短径3.0ｍの楕円形を呈し深さ16㎝ほどの火処があり、1.6×0.5ｍの範囲に暗灰色～黒色土が厚さ2～6㎝確認された。この段落ちの斜面に、直径18～23㎝・深さ19～40㎝の小柱穴が散在する。東西の1段目以外には､厚さ3～15㎝の貼床が施されている。壁面観察では、Ⅳａ層は8㎝、Ⅳｂ層は10㎝の厚さしかなく、覆土にオレンジ色が目立たない理由がわかる。

出土遺物としては、古墳前期末主体の壷甕類、小型丸底壷、ミニチュア（26）等のほか、磨製石鏃（153）、砥石、軽石がある（第14・15・21図）。

SA-03（第6図）　北端部の上場は不明瞭であったが、長径7.2ｍ・短径6.3ｍの略円形を呈する。深さ42～52㎝で幅1.3ｍほどの1段目の床面になり、内区は直径3.8ｍが14～20㎝低くなり、1段目よりもさらに硬い床面になる。底面の西半分は炭化物を多く含む黒色土が広がる。主柱穴は

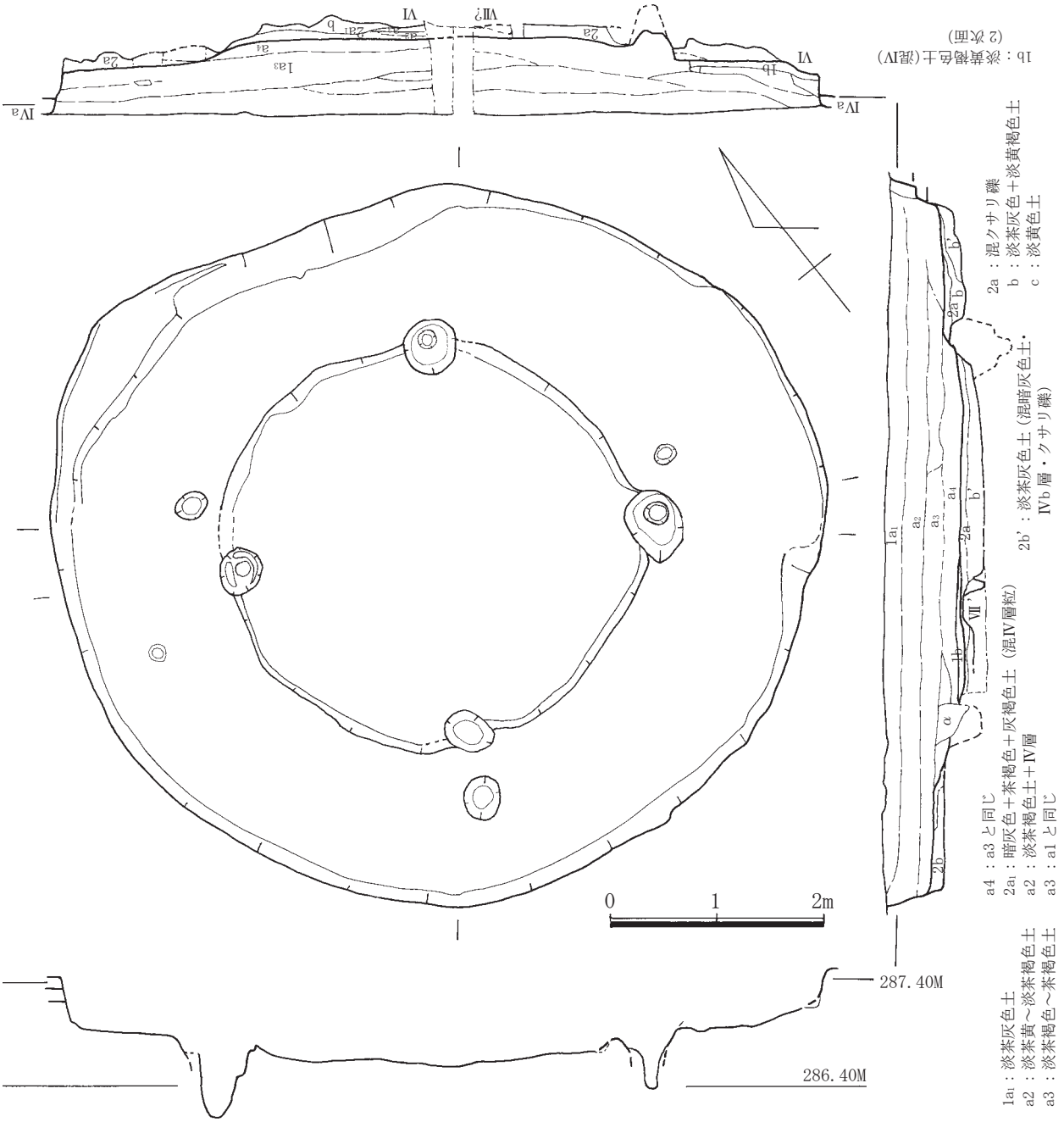


第５図　SA-02　遺構実測図

段落ちの傾斜部４ヶ所に設けられている。直径 40 ㎝前後で床面から深さ 70 ㎝前後を測り南の柱穴のみやや浅い。又、北と東の柱穴には柱抜取穴が接していた。内区の貼床は、厚さ４～ 10 ㎝で、硬い淡緑灰色のクサリ礫砕片を含む２ａ層と５～ 18 ㎝のⅤ～Ⅶ層の混和土を主とする２ｂ層に分けている。特に西側の２ａ層は厚さ１～２㎝で細分され、炭混じりの黒色土と混じらない層との互層となっており床面の２回の貼り直しが認められた。

遺構の規模とは対象的に出土遺物は少なく、弥生土器（39 ～ 41）の他、小型壷（55）、高坏（56）などが古墳時代前期後半と推定されるが、南東部の外区２次面から甕２（49・53）等が出土している。出土石器のうち、159 ～ 162 の打製石鏃は縄文早期以降期の混入であり、磨製石鏃（163）は遺構に帰属すると思われる。敲き石（167・169）は、173（鉄床石の可能性がある）と共に小鍛冶を推定させるが、鉱滓や鍛造剥片等は検出されていない（第 15・16・22・23 図）。

SA-04（第７図）　東西 3.8 ｍ以上、南北 3.65 ｍの不整楕円形と推定されるプランである。検出面から 52 ～ 57 ㎝で床面に達し、直径 40 ～ 90 ㎝の土坑５基（Ａ～Ｅ）が西～南側に集中した。中央部と土坑Ｄ・Ｅの覆土は炭粒混じりの暗灰色～黒灰色土である。北東端の小 pit は斜めに穿たれ

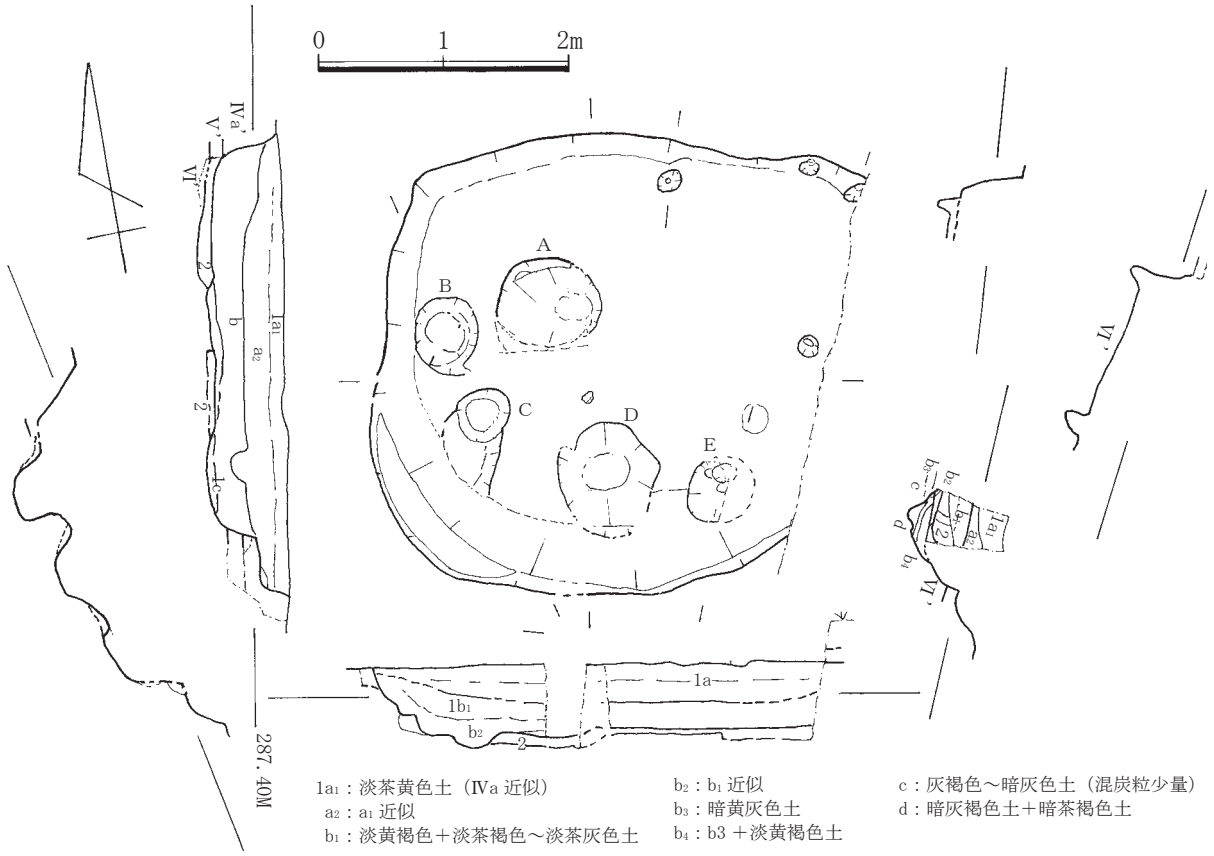


第6図　SA-03　遺構実測図

ており、何らかの機能があったようである。貼床は厚さ5～10㎝で薄い。南北断面図の北壁に記録している厚さ1～2㎝の軟質土は、掘形内に溜まった覆土が乾燥収縮して隙間ができて、そこに入り込んだ土（1ｄ層）であり、竪穴建物の殆どにみられた。

出土遺物としては、土坑から磨石等の中型石器が出土したほかは、殆どが北東部で集中して出土した弥生終末～古墳前期の土器片数10個体の破片ばかりであるが、大型壷（80）は頸～肩部を内径148×195㎜の楕円形に打ち欠き、外面にはススが付着しているので、甕的使用に転用されたと推定される（第16～18図）。

SA-05（第8図）　02号の1.8ｍ南西に位置した、東西7.64ｍ・南北5.4～6ｍ（推定）の略楕円形基調で3ヶ所の間仕切り（掘り残し）と、南辺は内区の掘形まで幅広く突出した掘り残しがあり、出入口を想定させる。12～18㎝掘下げるとやや硬い床面になった。内区は長径3.4ｍ・短径2.5



第 7 図　SA-04　遺構実測図

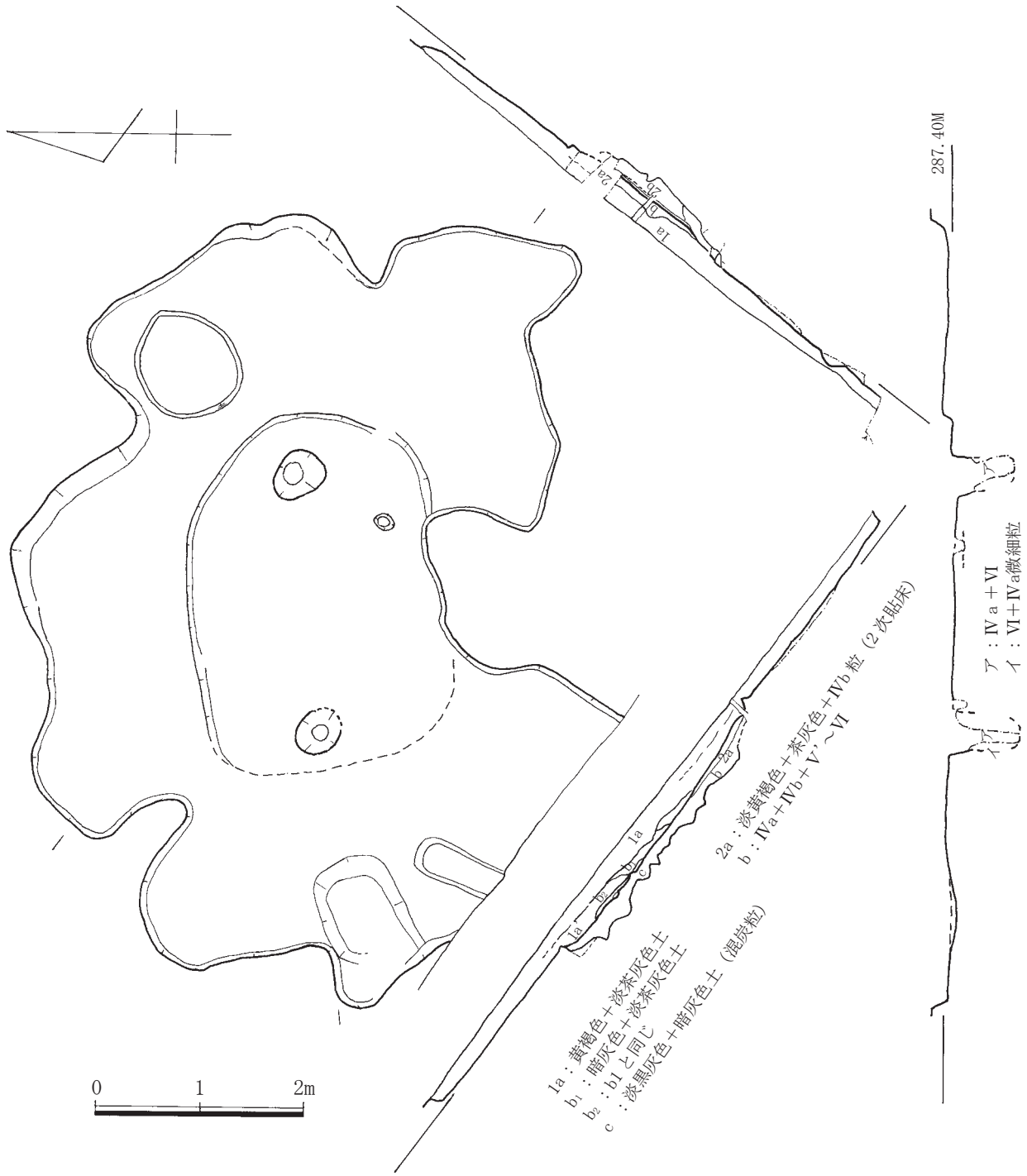
mの楕円形を呈し深さ 10 ～ 12 cmの火処となる。中心部の直径 80 cmの範囲で炭粒混じりの黒色土が認められた。

底面の東側では、貼床 2 次面を確認した。2 次の貼床の厚さは 2 ～ 7 cm、初期の貼床は内区のみで、厚さ 8 ～ 22 cmを測る。主柱穴は壁寄りの 2 基で、柱間 2.58 m、西側は直径 42 cm・深さ 68 cmで直径 8 ～ 12 cmの柱痕跡が認められた。東側は直径 38 cm・深さ 58 cmで、直径 18 cmの柱痕跡を確認した。この柱痕跡は傾斜しているが、廃絶後の傾きと思われる。

出土遺物は少量であるが、小型壷等から古墳時代前期前半と推定される。また、特異な遺物として、穿孔の無い勾玉模造品（177）が出土している（第 18・23 図）。

SA-06（第 9 図）　東西 3.4 m以上、南北 3 m以上の方形基調の竪穴建物であるが、プランが摑めなかった。深さ 7 ～ 8 cmで硬化面に達し、東辺部はさらに 13 ～ 15 cm落ち込む。硬化面は西～南には広がらず、火処も不明である。東辺の落ち込みの覆土には丹塗り磨研土器片があり、弥生時代の溝状落ち込みと重複した可能性が高いが、切り合いは確認できなかった。出土土器に土師器は含まれず、弥生中期後半の可能性がある（第 19・23 図）。

SA-07（第 10 図）　東西 3.4 m、南北 3 mほどの半円半方形基調のプランで、南東角に長さ 80 cm・幅 60 cm・深さ 14 cm前後の突出部がある。深さ 12 ～ 17 cmで、やや硬い床面に達する。火処は確認されなかった。柱穴は、直径 2 mの円周に乗る位置に深さ 15 ～ 48 cmのものが 9 基ある。北西部には、長さ 2.6 m・幅 76 cm・深さ 29 cmの隅丸長方形土坑があるが、竪穴建物に伴うかどうか不詳で



第 8 図　SA-05　遺構実測図

ある。この土坑と主軸を同じくする東側中央部の楕円形土坑は、掘ってすぐに埋められ、機能してない。貼床は、全く無い。

出土遺物は少ないが、黒髪式土器を主体に磨製石鏃の整品（180･181）、未製品（182･183）、チップ、敲石（184 ～ 186）が出土している（第 19・23・24 図）。

SA-08（第 11 図）　06･07 号の間に位置し、円形基調の間仕切りタイプで、6.2 mほどを検出した。正円を想定すると直径 7.5 mほどになる。北側は、攪乱と開発によって消滅している。

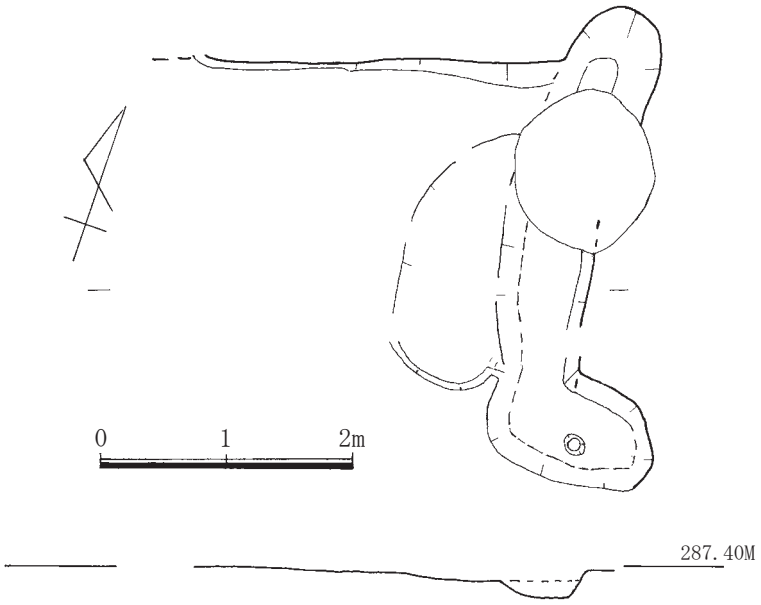
深さ５～15㎝で床面に達し、やや硬くなる。間仕切りは、長さ１ｍ強､幅0.５～0.９ｍを測る。

出土遺物は少ないが、土器片を略方形に加工した工具（116）や、磨製石鏃（187）が出土している（第19・24図）。

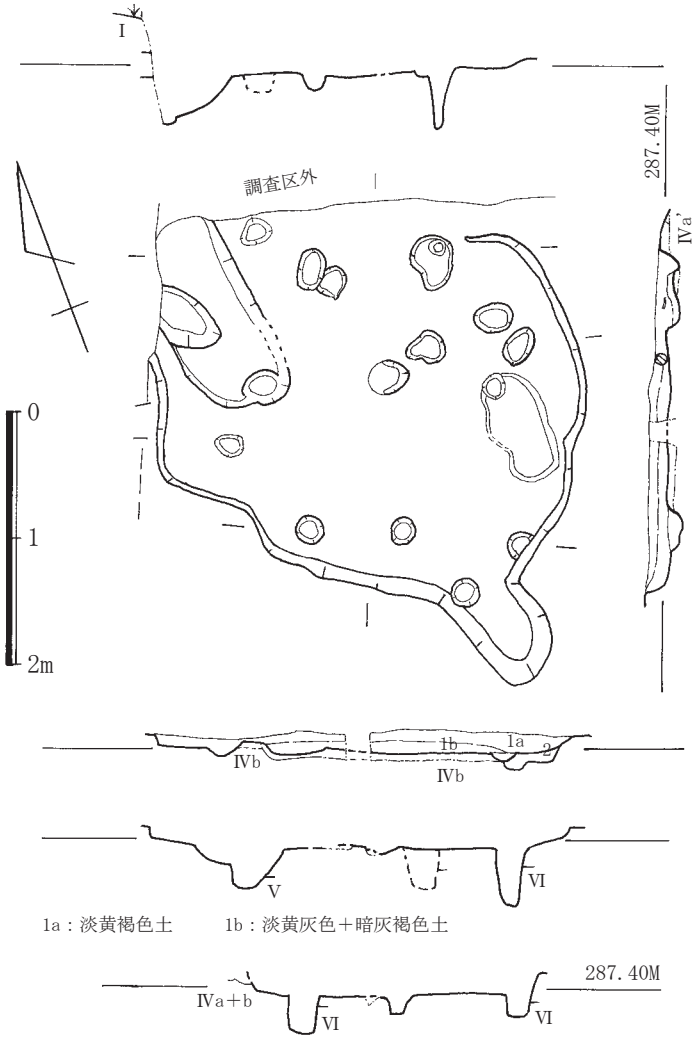
ＳＴ-01（第12図） 03号竪穴の東7.５ｍに位置する。竪坑は、直径76～78㎝の円形を呈し、深さ60㎝を測る。底面の北西部が幅55㎝で先細りに掘下げられ、幅44㎝・奥行き13㎝・高さ24㎝の玄室が設けられた地下式土壙墓である。羨門の閉塞材や人骨・副葬品は無い。玄室は黒色土で埋まり、竪坑は土塊で埋め戻された土層で、周縁は埋土の乾燥収縮による隙間に入った軟質土である。埋土から、土師器片数点が出土したが図化に耐えない。

市内遺跡検出の小型タイプの地下式横穴墓の型態とかなり違和感があり、近世以降の土壙墓の可能性もある。

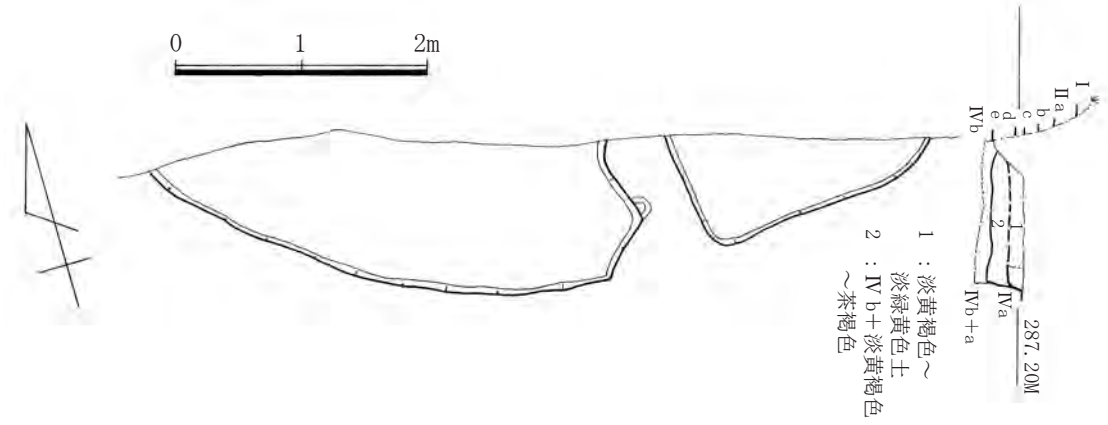
土坑（第13図） 弥生後期～古墳前期の土坑は40基ほどあり、覆土はⅣａ層主体である。直径0.７～1.２ｍほどの円形土坑が多くを占めるが出土遺物は少ない。中には楕円形や長楕円形のもの、３×２列に配列されたものなどもあるが割愛する。



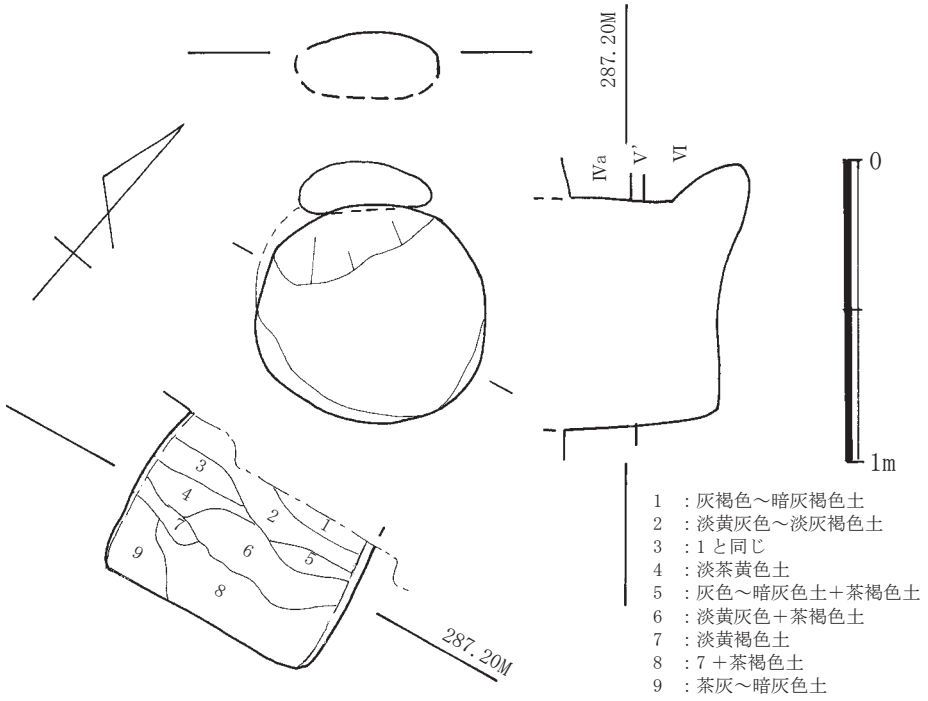
第９図　SA-06　遺構実測図



第10図　SA-07　遺構実測図



第 11 図　SA-08　遺構実測図



第 12 図　ST-01　遺構実測図

SK-32　長径 71 cm・短径 65 cmの不整円形で、深さ 14 cmを測る。土師器の小片が出土している。

SK-33　長径 80 cm・短径 62 cmの不整楕円形で、深さ 15 cmを測る。土師器の小片が出土している。

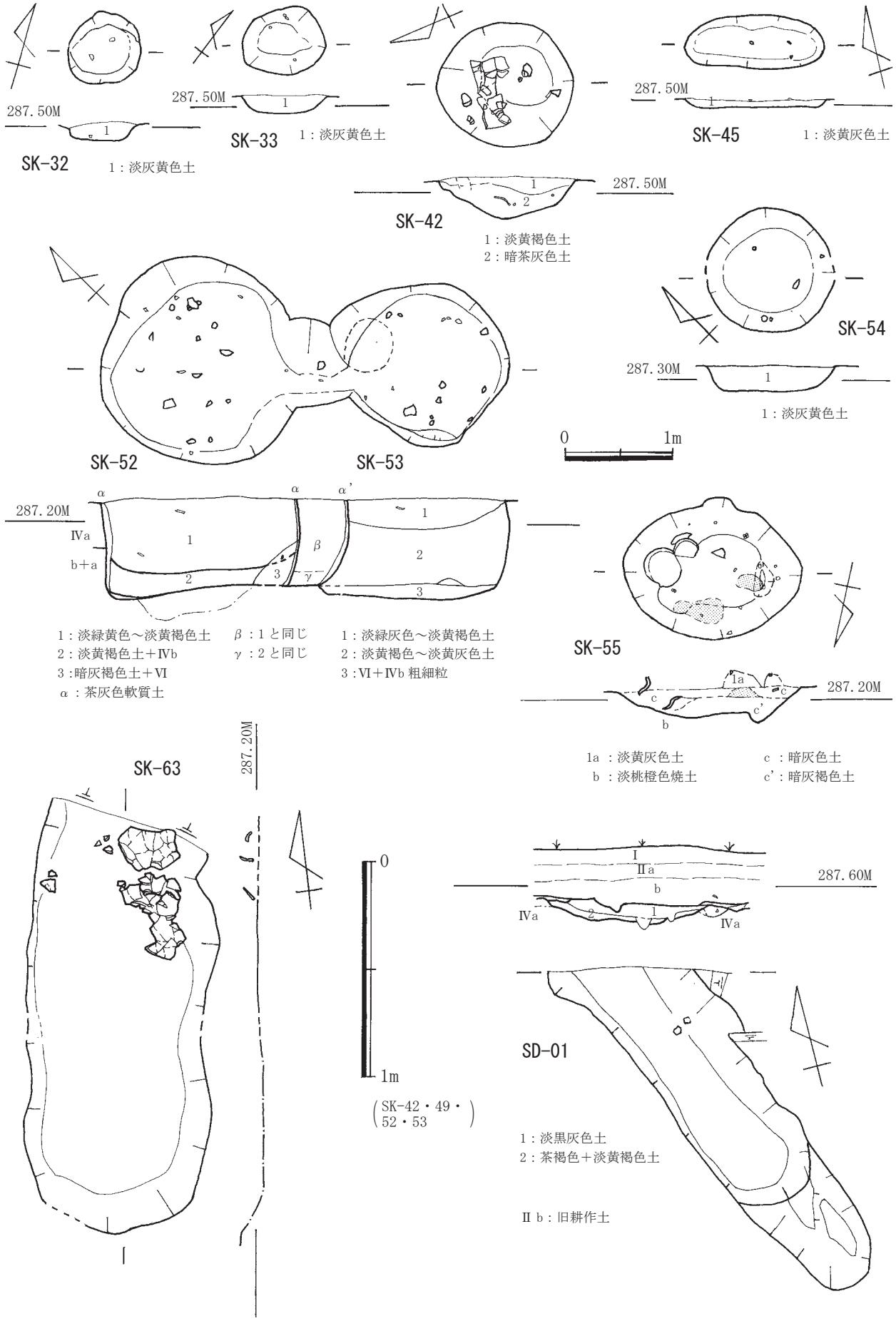
SK-42　長径 65 cm・短径 58 cmの円形で、深さ 19 cmの摺鉢型である。土師器片が 40 点出土している。

SK-45　長径 1.29 m・短径 50 cmの楕円形で、深さは 6 ～ 8 cmを測る。土師器の小片が出土している。

SK-52　SA-03 の北東部に 4 基並んだうちの西端部にあり、直径 95 cm前後の円形である。深さは 40 cm前後と思われるが、不明瞭である。

SK-53　直径 72 ～ 80 cmの不整円形で、深さ 45 cmを測る。SK-52 との間には小土坑がある。

SK-54　SK-53 の 50 cm東に位置し、直径 58 ～ 59 cmの円形を呈し、深さ 12 cmを測る。土師器の小片が出土している。



第 13 図　SK-32･33･42･45･52 ～ 55・63、SD-01　遺構実測図

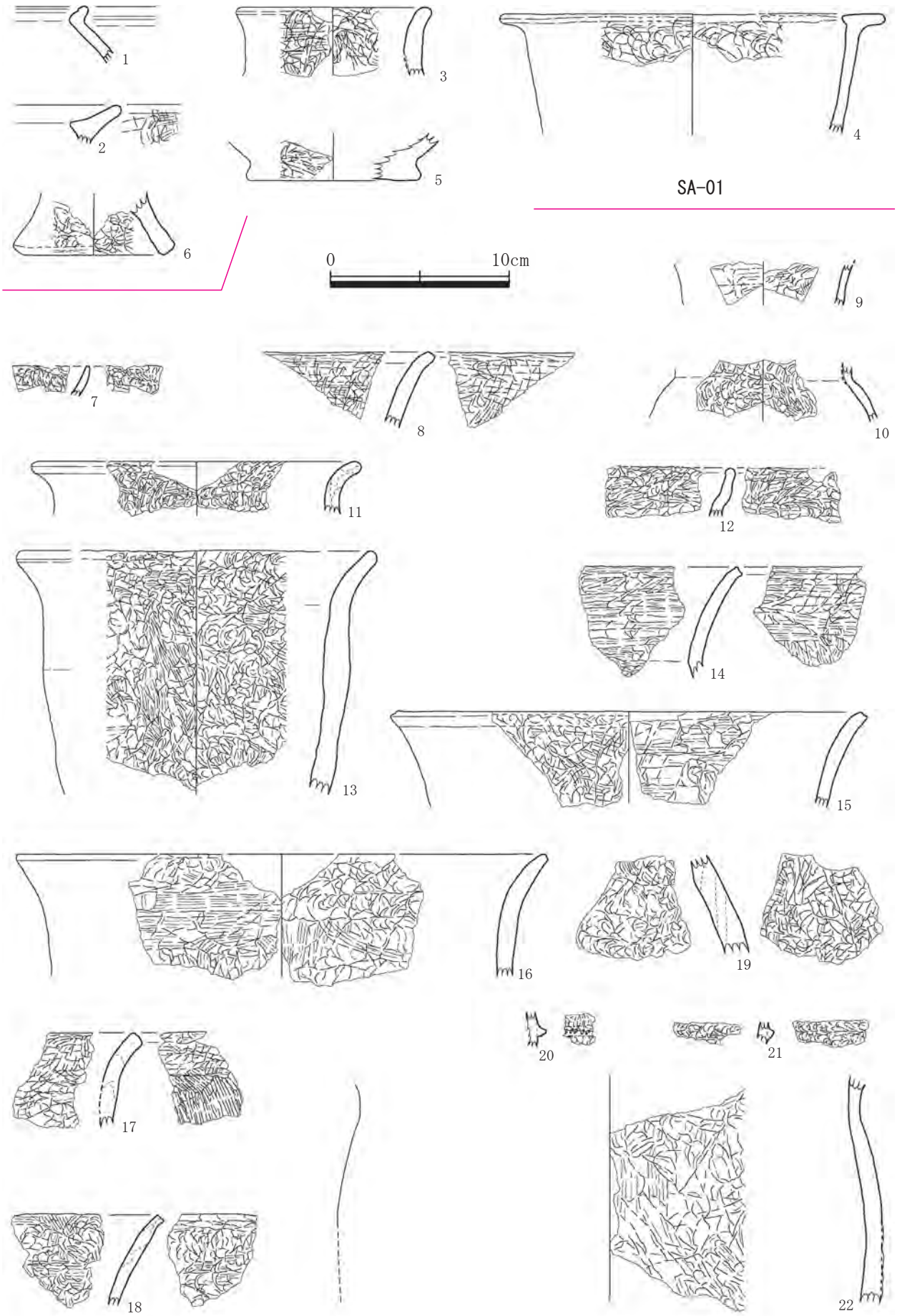
SK-55　SA-03 と 06 の中間に位置し、長径 84 ㎝・短径 65 ㎝の楕円形を呈し、深さ 10 ～ 14 ㎝・一部 16 ㎝を測る。上部は 10 ㎝ほど消失している。覆土中位に焼土と炭化物があり、これらの廃棄坑と思われる。完形に復元できる台付鉢（125）が出土している。

SK-63　SA-03 の北縁と接する、長さ 2.0 ｍ＋α、幅 80 ～ 88 ㎝・深さ 12 ㎝の浅い土坑で、北東寄りで甕片（126）（第 20 図）が出土した。

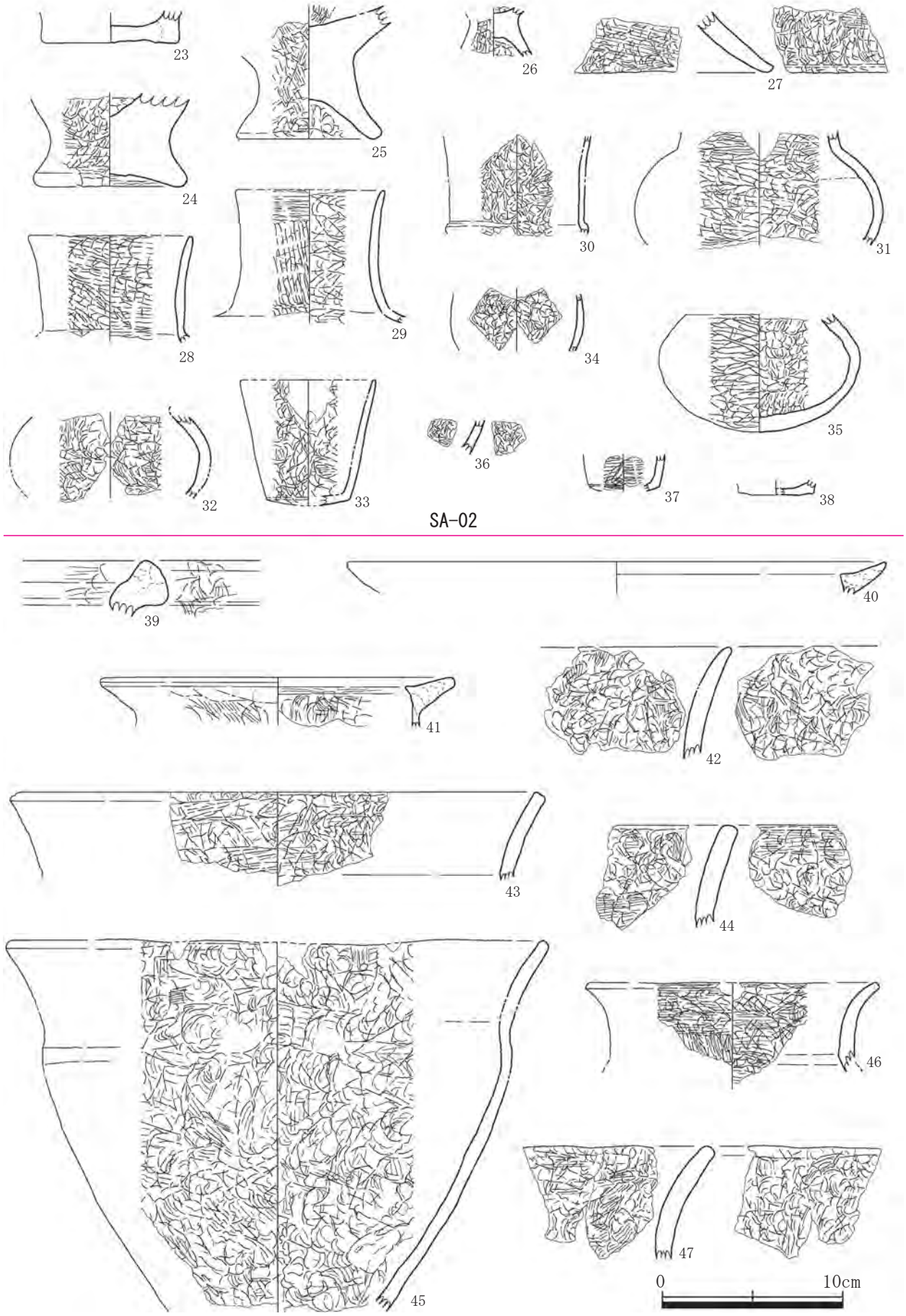
SD-01（第 13 図）　調査区の北側中央部において、幅 1 ｍの北北西方向の溝状遺構を長さ 4 ｍ検出した。南端からゆるやかに傾斜し、北壁中央で深さ 16 ㎝を測る。覆土は 2 層に分別でき、上層から彩文土器片（127）が出土した。

遺物包含層の調査　Ⅳｂ層上面における微地形は、SA-01.02 あたりが最高所で、北・東・南へ緩やかに下降しⅣａ層が堆積している。遺物の包含密度は低いが、SA-03 の北側が若干高く、縄文後期～晩期（128 ～ 137）、弥生中期後半～古墳前期の土器（140 ～ 147）、土器片加工円盤（138・139）が出土している（第 20 図）。

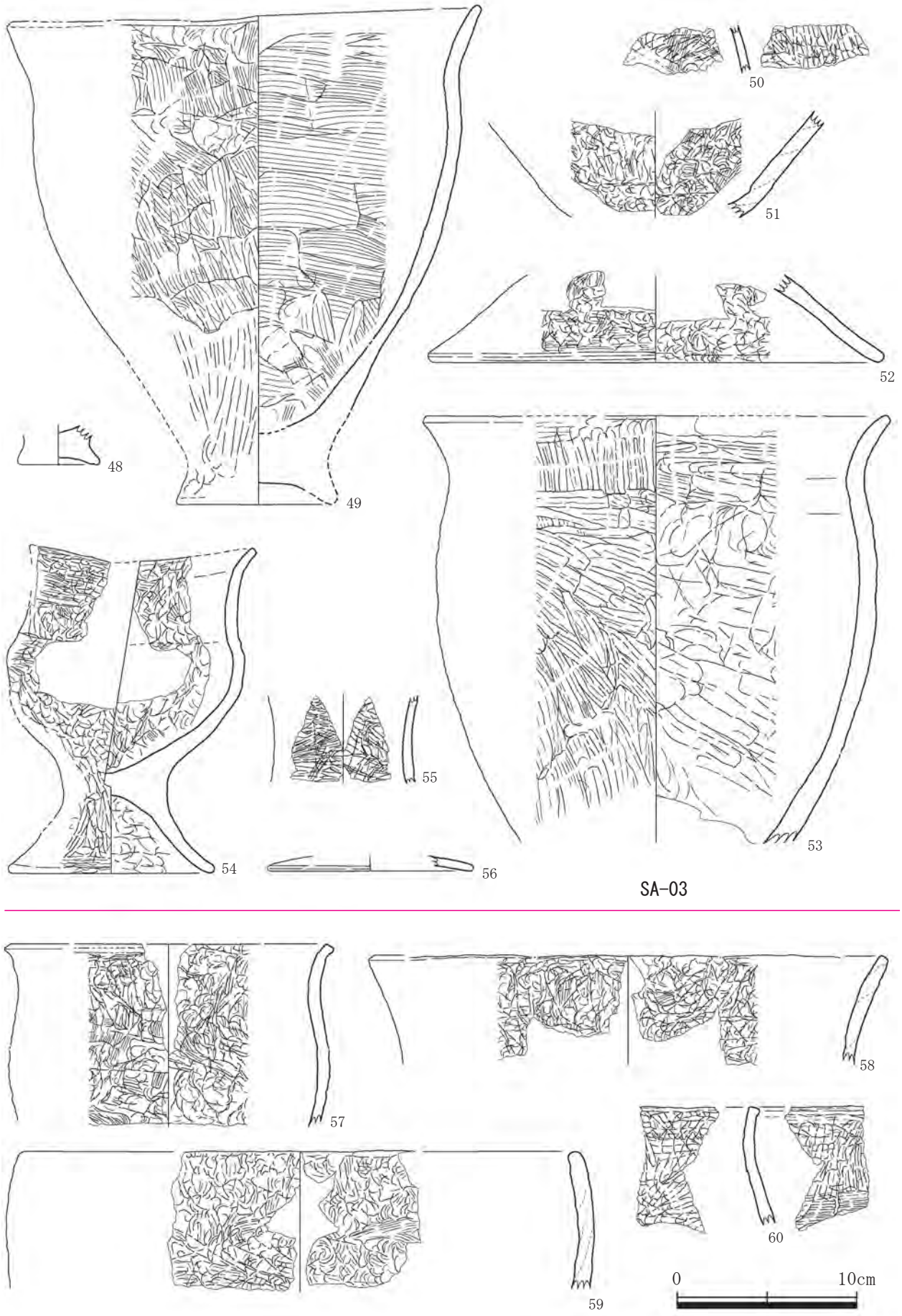
古墳時代後期以降、近世にかけては、輸入陶磁器青花 1 片（148）のみで、近代の開拓までは不毛の地と思われる。



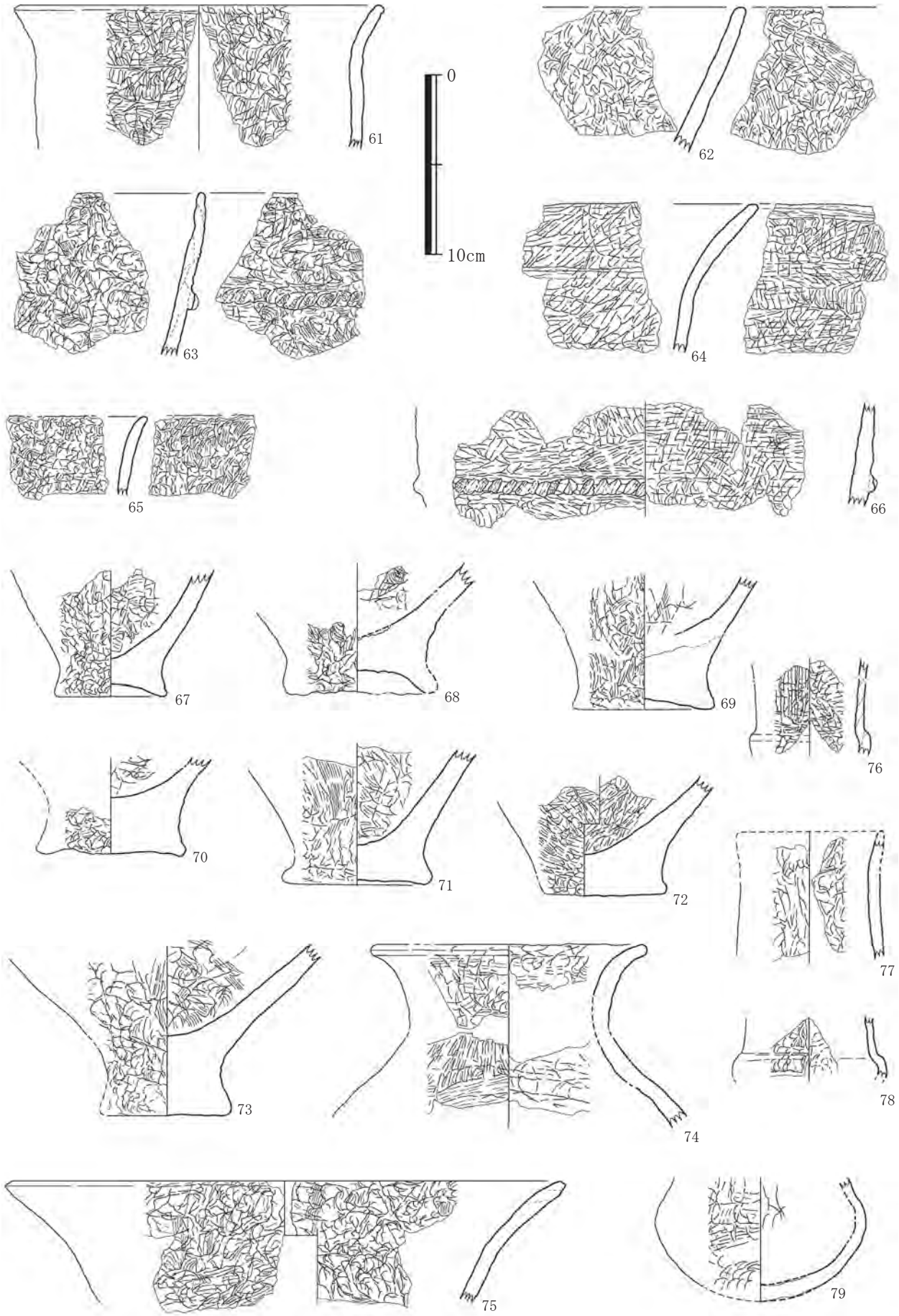
第 14 図　SA-01　出土土器、SA-02　出土土器　実測図（1）



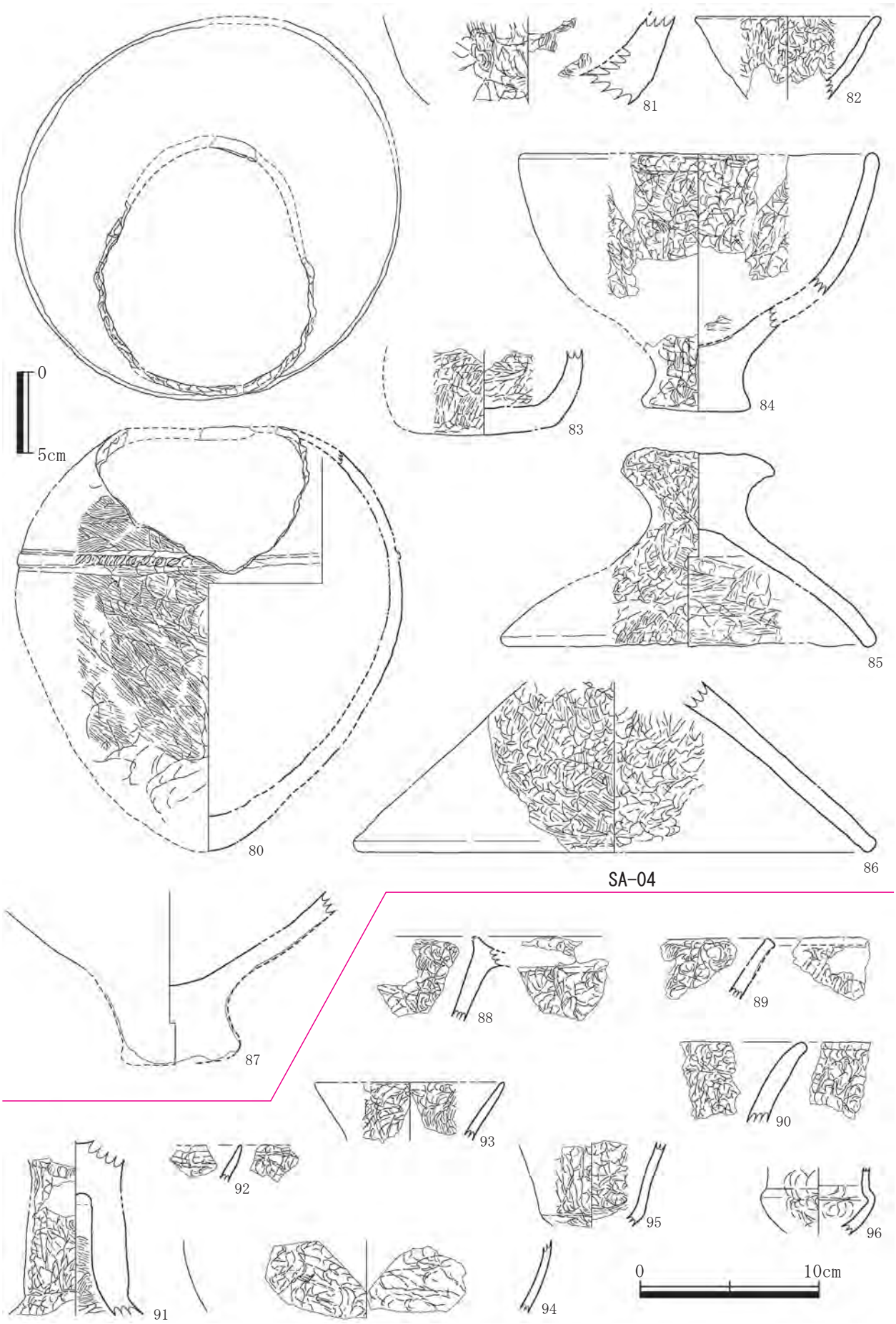
第 15 図　SA-02　出土土器（2）、SA-03　出土土器　実測図（1）



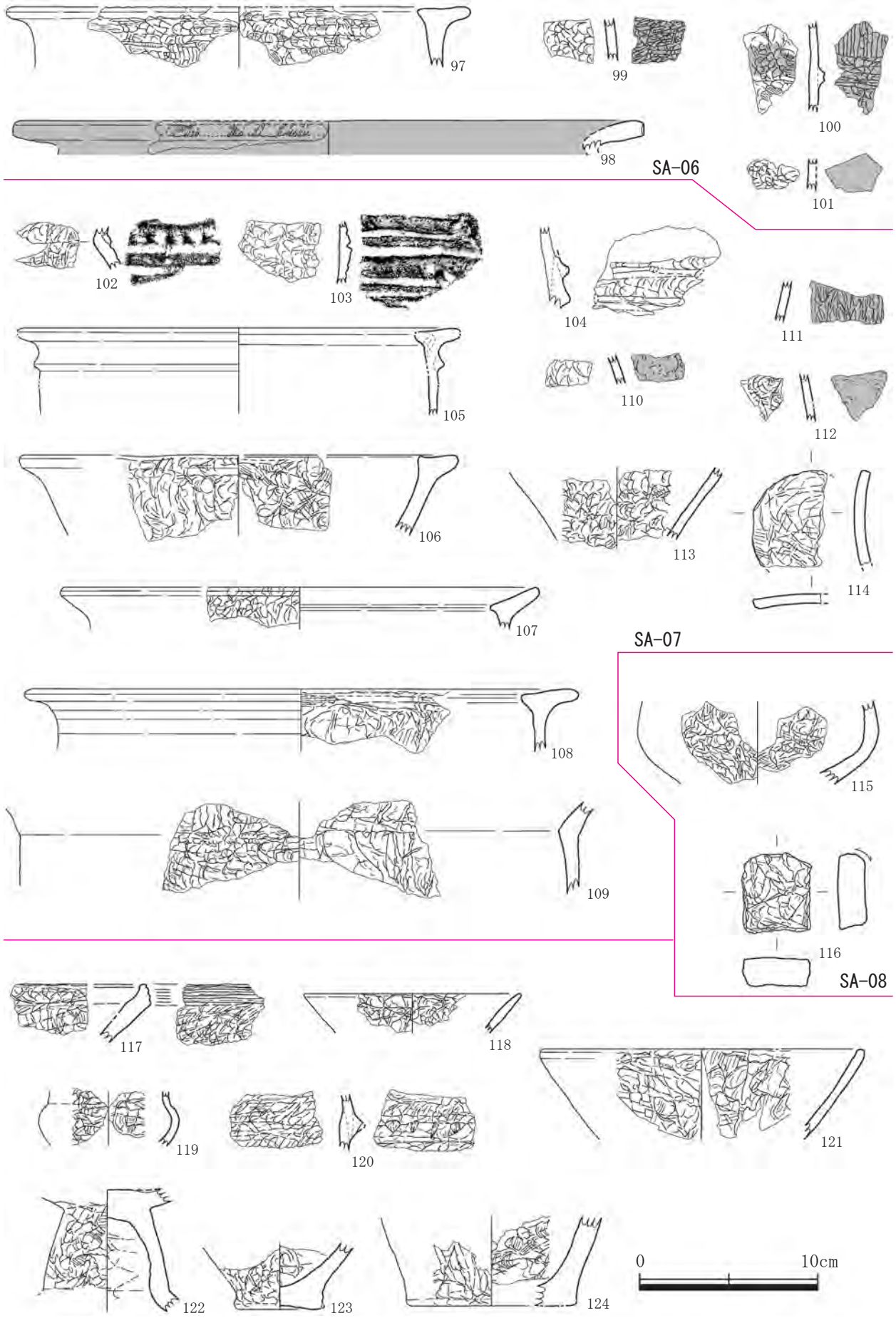
第 16 図　SA-03　出土土器（2）、SA-04　出土土器　実測図（1）



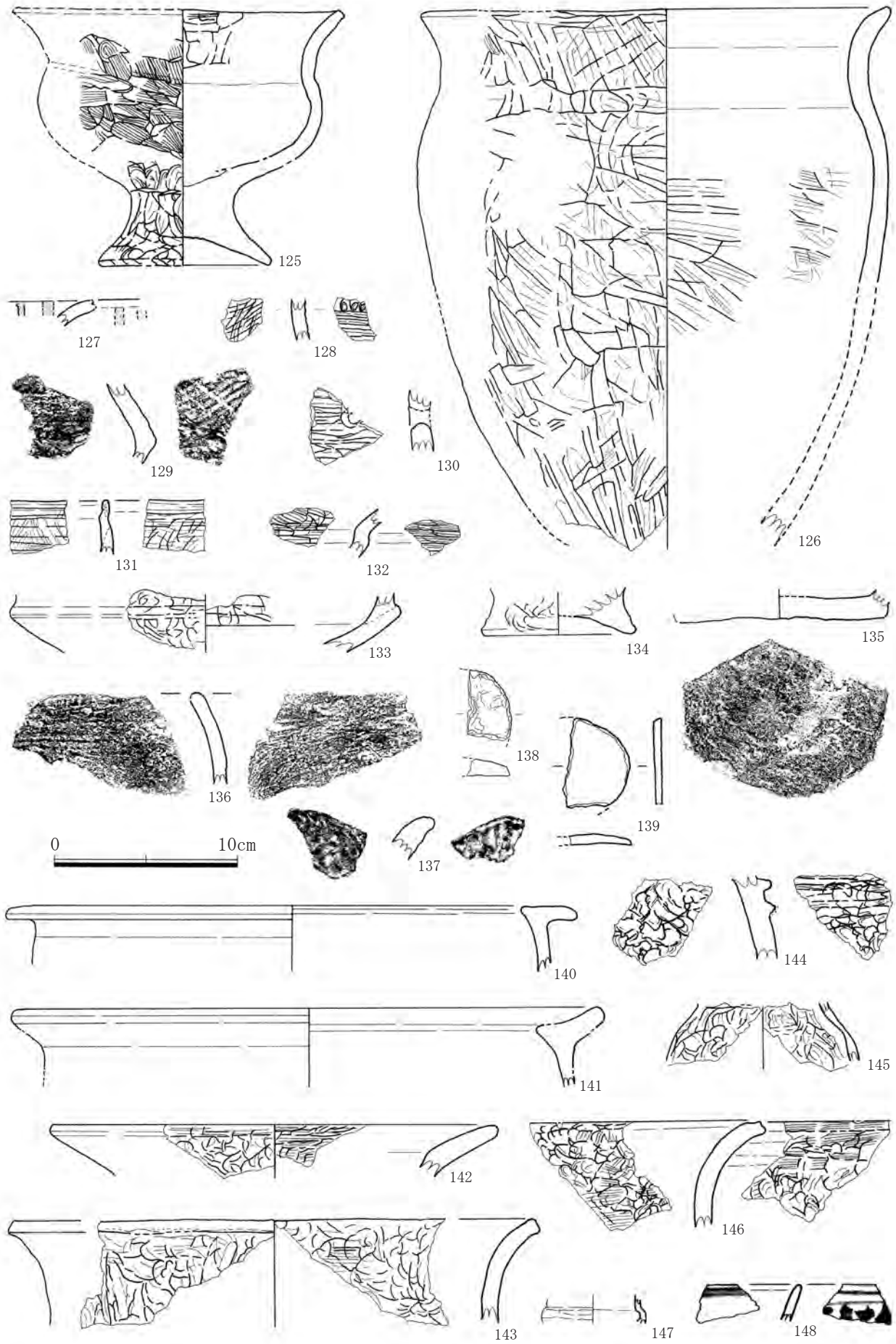
第 17 図　SA-04　出土土器　実測図（2）



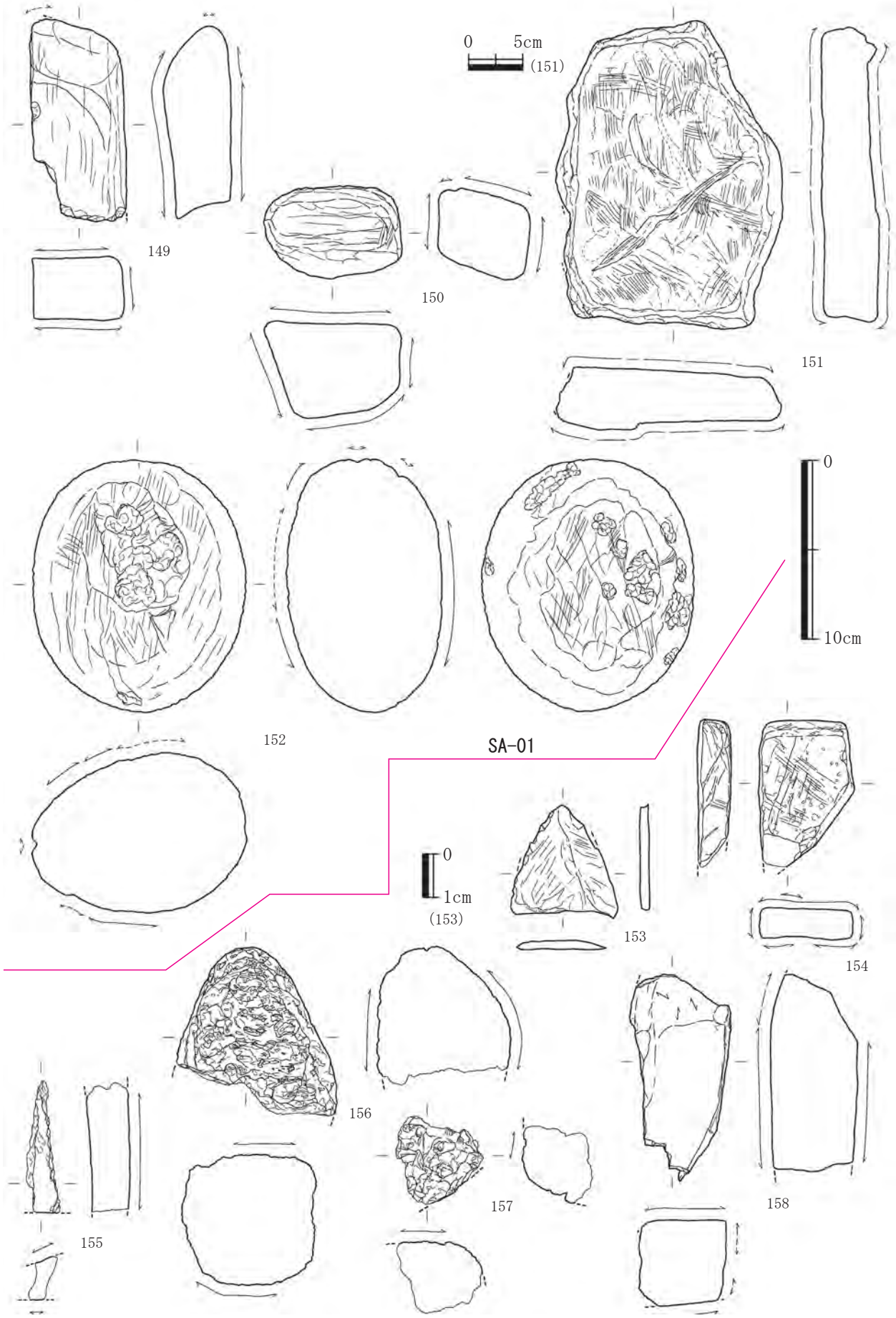
第 18 図　SA-04　出土土器（3）、SA-05　出土土器　実測図



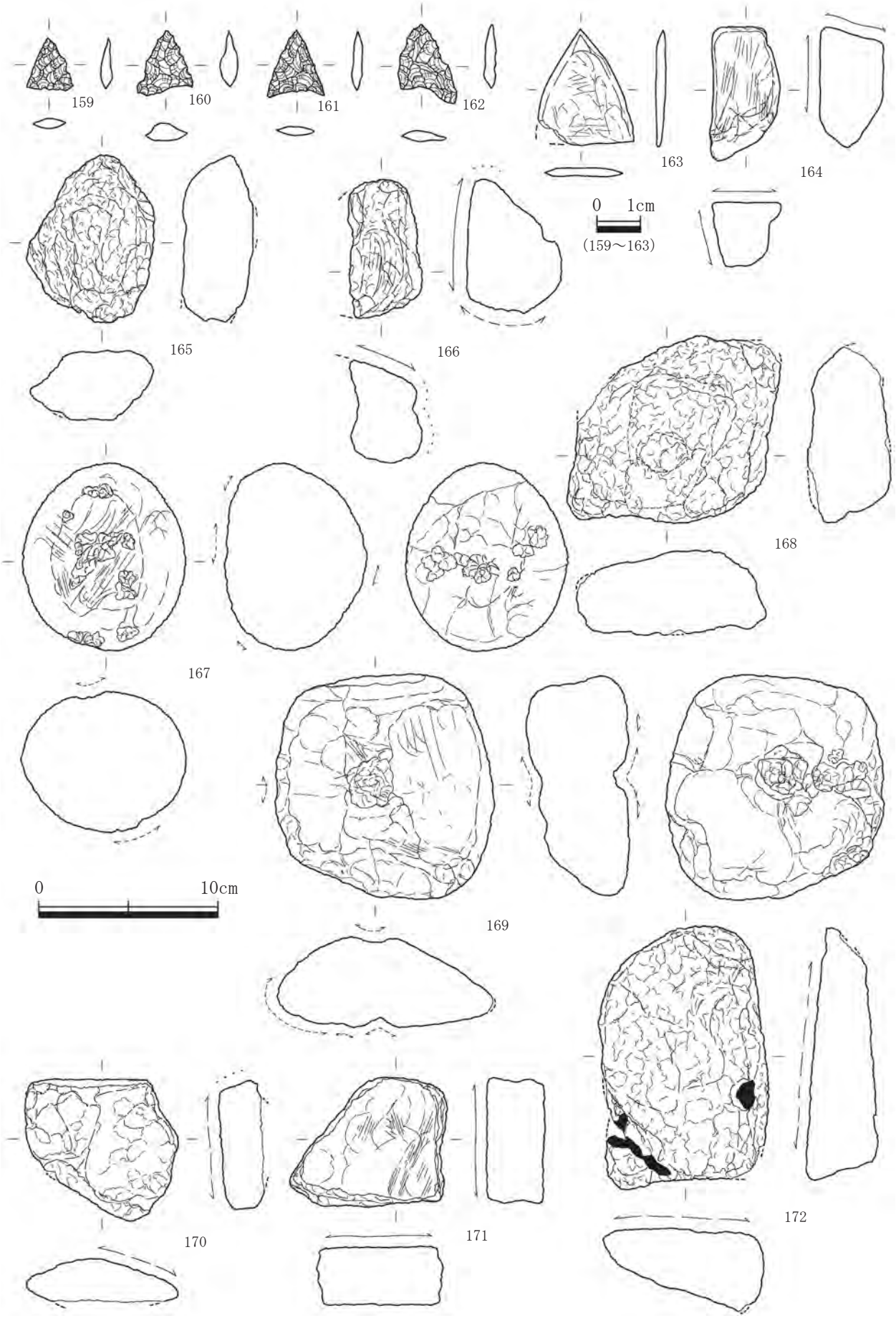
第 19 図　SA-06~08、Ⅰ区Ⅳ a 層ほか出土土器　実測図



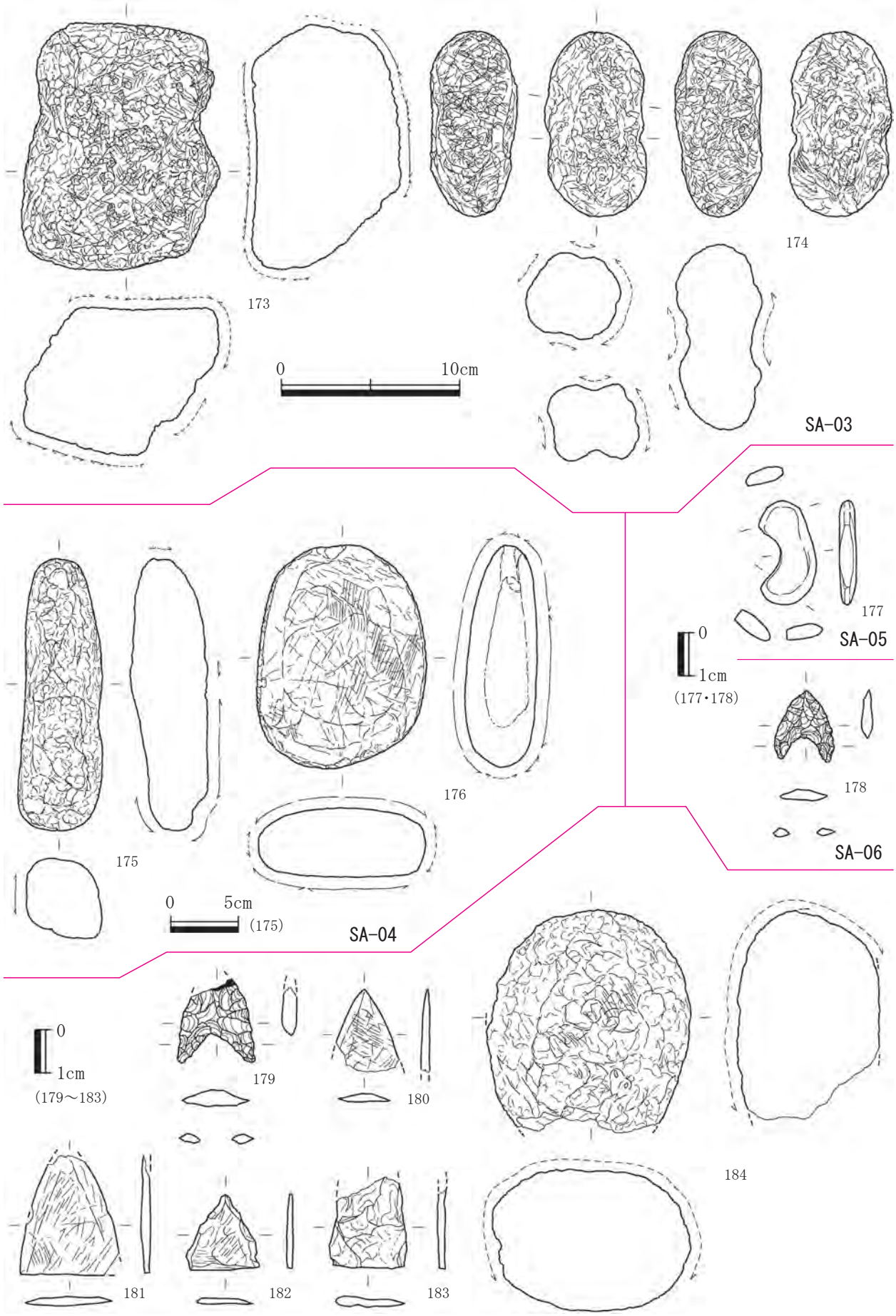
第 20 図　Ⅰ区　SK-55・63、Ⅳ a 層ほか出土土器　実測図



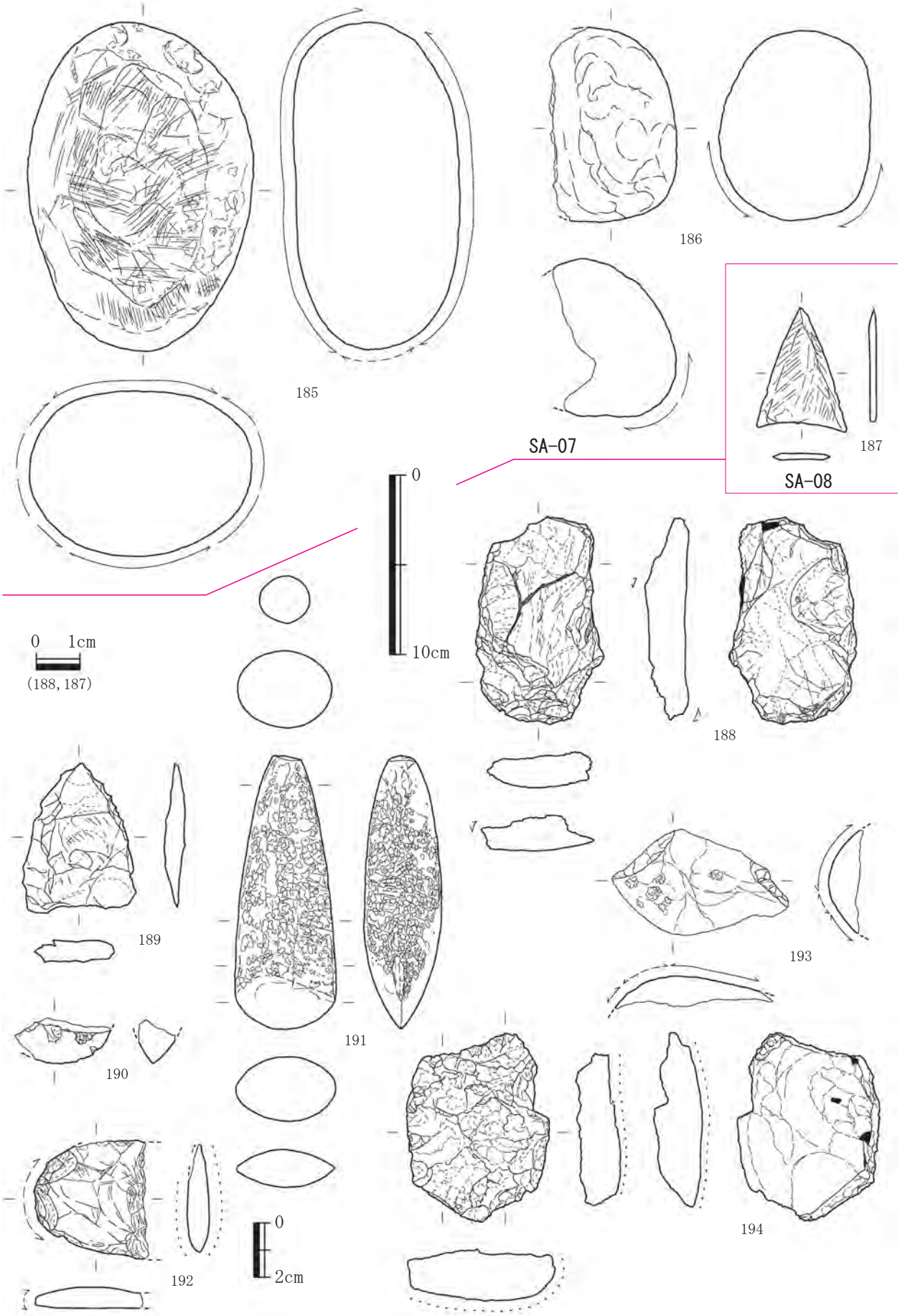
第 21 図　SA-01･02 出土石器　実測図



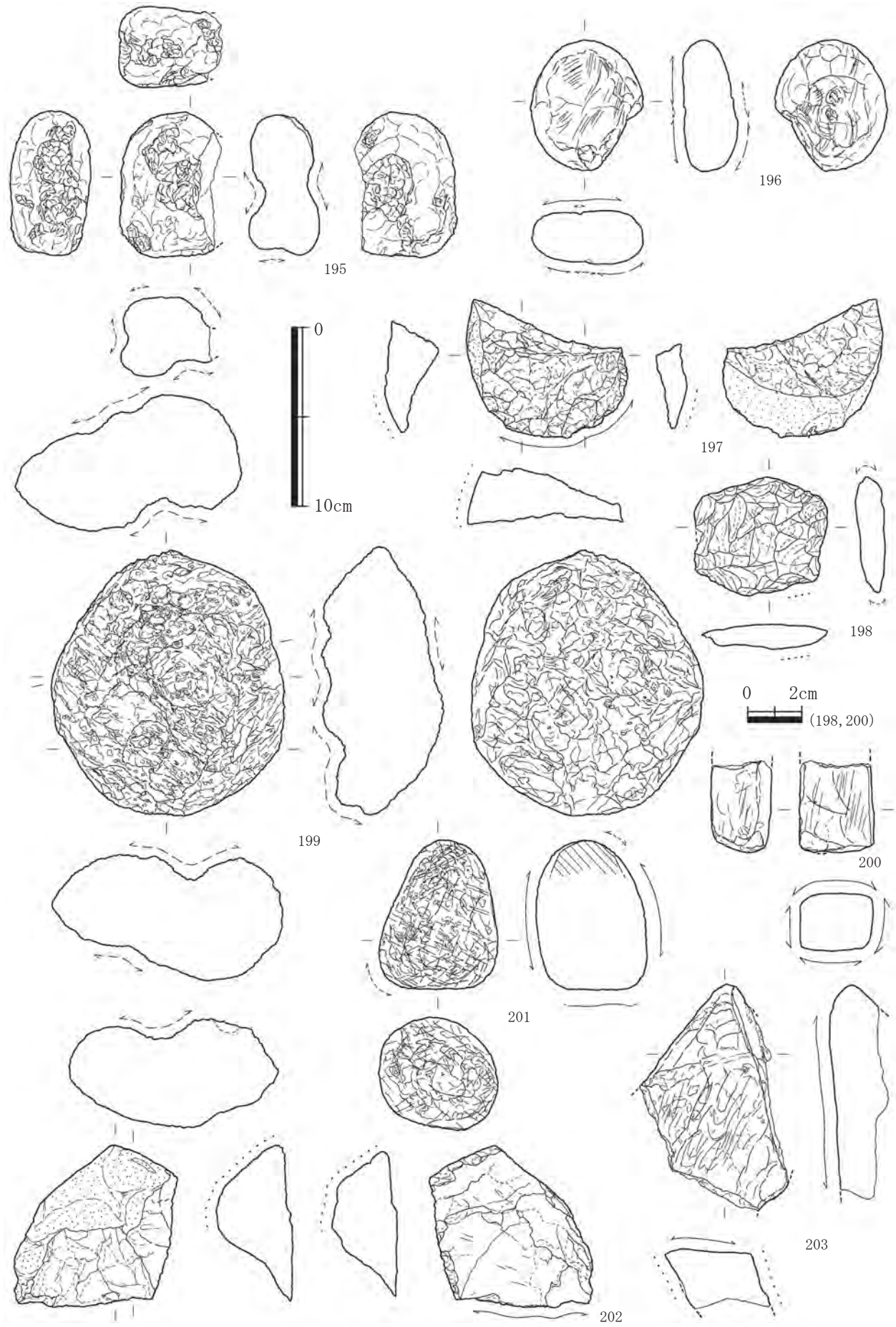
第 22 図　SA-03　出土石器　実測図（1）



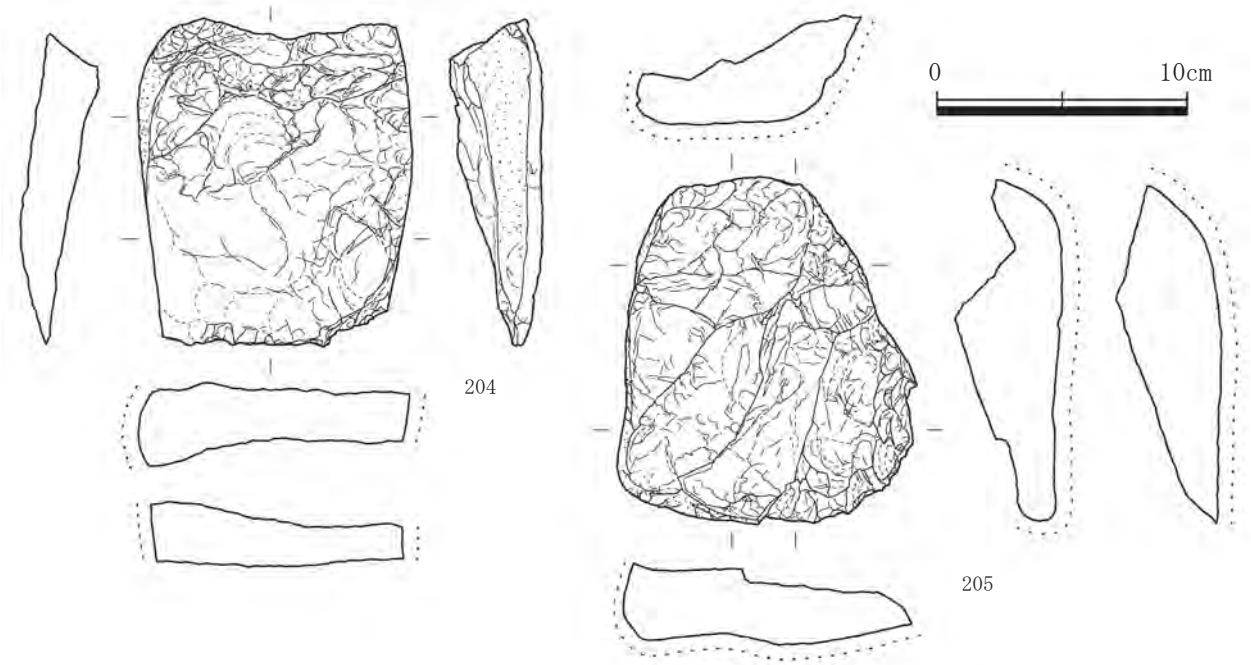
第 23 図　SA-03　出土石器（2）、SA-04・05・06・07　出土石器　実測図



第 24 図　SA-07　出土石器（2）、SA-08、Ⅱ層、Ⅳ a 層出土石器　実測図（1）



第 25 図　SK-50･71、Ⅳa 層　出土石器　実測図（2）



第 26 図　SK-36、Ⅳa 層出土石器　実測図（3）

2. Ⅱ～Ⅲ区（第 27 図）

発掘調査地点は、柊野第 1 遺跡の西北端に位置し、居住域の幅が狭くなる。県道の北側はかつて畑土作りのために深さ 4 mもの天地返しをした際に、相当量の土器片が出土したらしい。

調査区の北壁西端から 20 mほどから南南東へ、幅約 2 mの 19 世紀後半～近代と推定される開墾時の農道跡（畑の一筆境と重複する）を検出した。路面は厚さ 5 ㎝の小礫混じりの硬化面で、約 1 mおきに楕円形の土坑が掘り込まれ、砂礫混じりの黒色土で充填されている。この道路を境に、西側は東西・南北方向に、東側は東西方向にトレンチャーの溝が走り、遺構が切り刻まれている。必然的に遺構のプランと前後関係をつかむのは困難である。

弥生～古墳時代の遺構覆土は茶褐色土が主体で、Ⅳ層以下の土壌の粒度や混じり具合で切り合いが判別できるが、極めて判断し難い部分も多々ある。覆土が黒色の遺構は近代の溝状の小路跡と小土坑程度である。直径 1 m前後の近代の土坑は灰色土混じりで垂直な壁であることから座棺墓と推定され、2 ～ 5 基ほどが直列・散在する。

SA-19 までをⅡ区とし、Ⅲ区の中央付近東西方向は深さ 0.5 mほどの削失を受け、床面や貼床土が露出した。遺物包含層であるⅣ a 層は、SA-49 ～ 43 の北西壁沿いのみ遺存している。

間仕切りタイプの竪穴建物は市内では相当数検出しているが、当遺跡ほど大型で歪なタイプが重複・密集する遺跡は他に無い。深い遺構は床面まで 60 ㎝あり貼床土のような硬く締まった覆土からの出土遺物の密度は低く、床面までに 2 面程度の擬似床・層境があり（堅いⅤ層やⅦ b 層を含む）、床面の把握には軟質のトレンチャー跡を数多く掘り込んで壁面で確認、労力・時間を費やした。

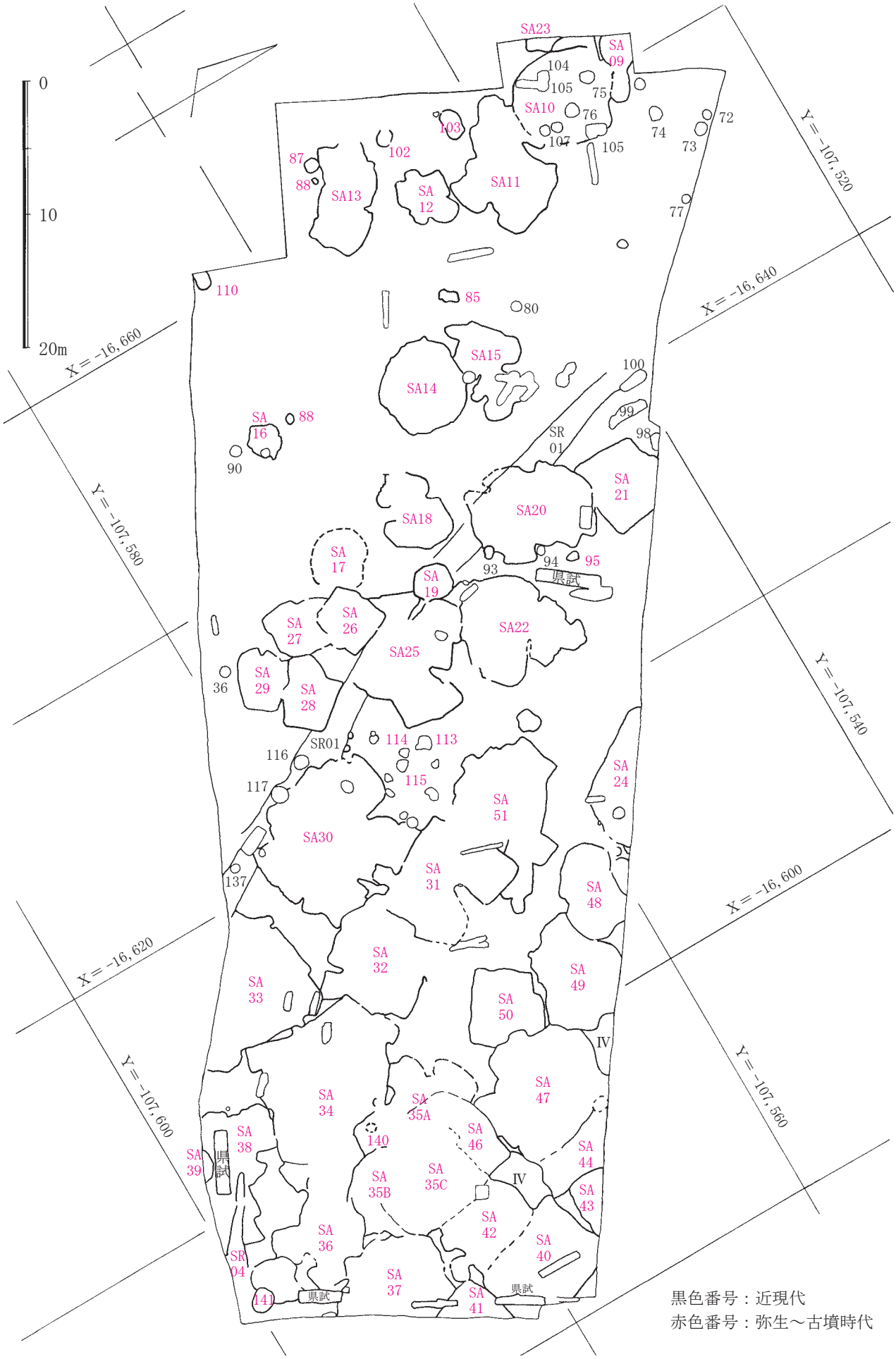
基本的層序はⅠ区に準ずるが、Ⅶ a 層：淡黄灰色～淡黄褐色土、Ⅶ b 層：クサリ礫＋Ⅶ a 土、Ⅷ層：高位段丘礫層に分別している。竪穴建物の 2 a 層は、Ⅶ b 層土を混ぜた堅く締まった貼床土で、2 b 層はⅥ～Ⅶ a 層を主としてⅣ～Ⅴ層が少し混じる混和土である。Ⅲ区の東端部では、表土下 1.5 m位でⅧ層になる。

SA-09（第 28 図） 調査区の西北端に位置し、SA-10 に切られているように見えたが、縦横に走るトレンチャーによって不詳である。西端底面は若干低くなり、炭粒混じりの黒色土が認められた。図化できた遺物も僅かで、小型鉢（206）と砥石（1433）のみである（第 68・121 図）。

SA-10（第 28 図） 長径 8.0 m・短径 7.2 m前後の不整円形を呈する。10 ～ 15 ㎝で床面に達する。部分的に凹む所もあるが、屋内土坑や火処は確認できなかった。柱穴も未検出である。出土遺物は少量の土器片と砥石（1435）、小型の台石（1436）がある（第 121 図）。

SA-11（第 29 図） SA-10 に北端を切られた、歪なプランであるが、長さ 8.8 m・幅 5.7 ～ 6.6 m の隅丸長方形を基調とし、北西部と北中部、南東中部に間仕切りを有する。深さ 10 ～ 20 ㎝で少し締まった床面になる。西側に直径 1.6 mの不整形で深さ 18 ㎝の火処がある。貼床は、10 ～ 25 ㎝の厚さがある。主柱穴は不明で、出土遺物も僅かである。古墳時代前期前半の土師器（第 121 図）と、2 層から出土した磨石（1437）が図化できた。

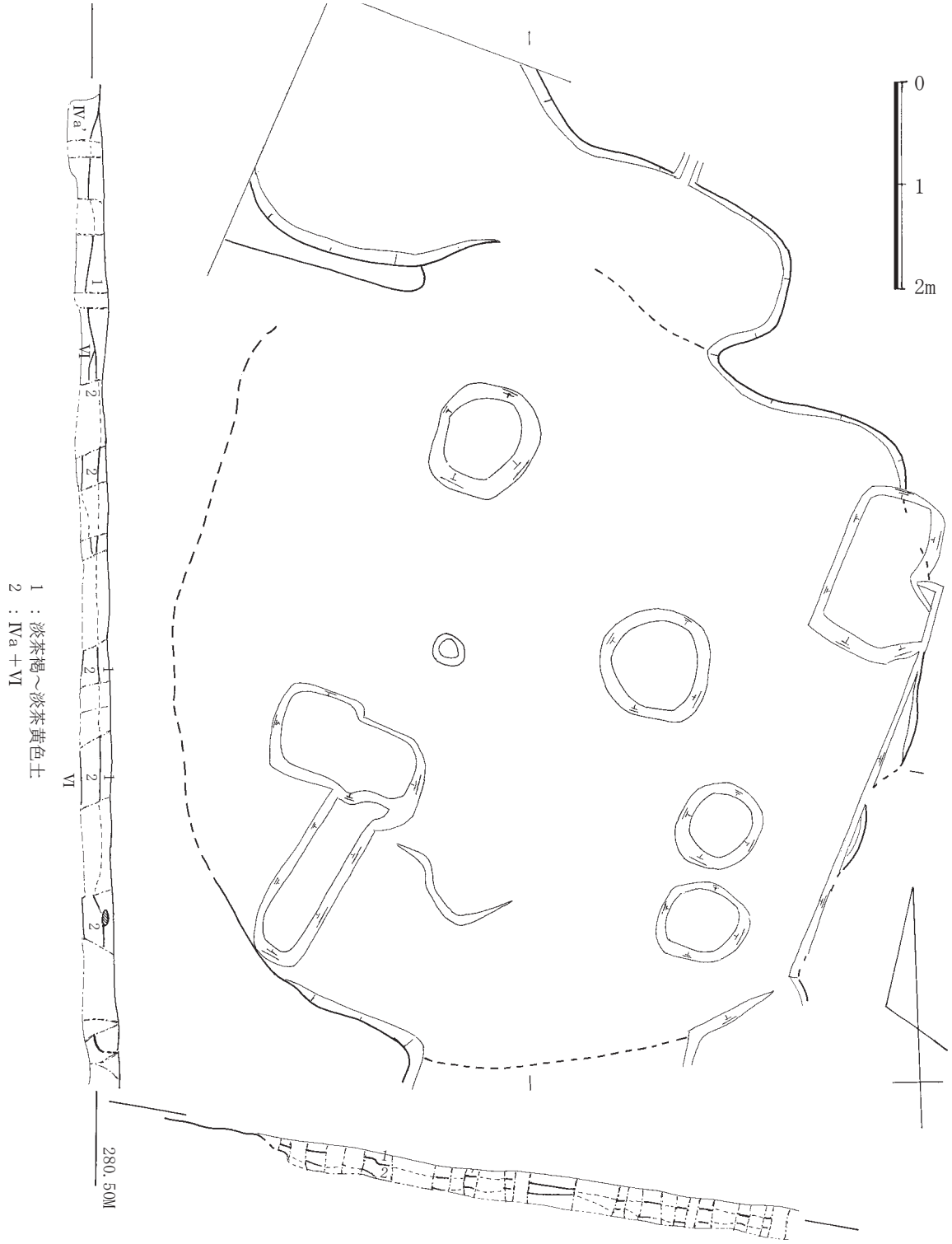
SA-12（第 30 図） SA-11 と一部接して検出した、長径 5.0 m・短径 3.4 ～ 4.0 mのかなり歪な不



第 27 図　II～III区　遺構分布図

整形タイプである。深さ 12 ㎝で 1 段目のやや硬い床面になり、中側 1/3 は 25 ㎝ほど深くなる。その南側はさらに長径 1 m・短径 0.8 mが 10 ㎝ほど深くなり、底面は炭泥混じりとなっている。貼床は 10 ～ 30 ㎝の厚さがあり、最深部周辺のみ硬い 2 a 層がある。

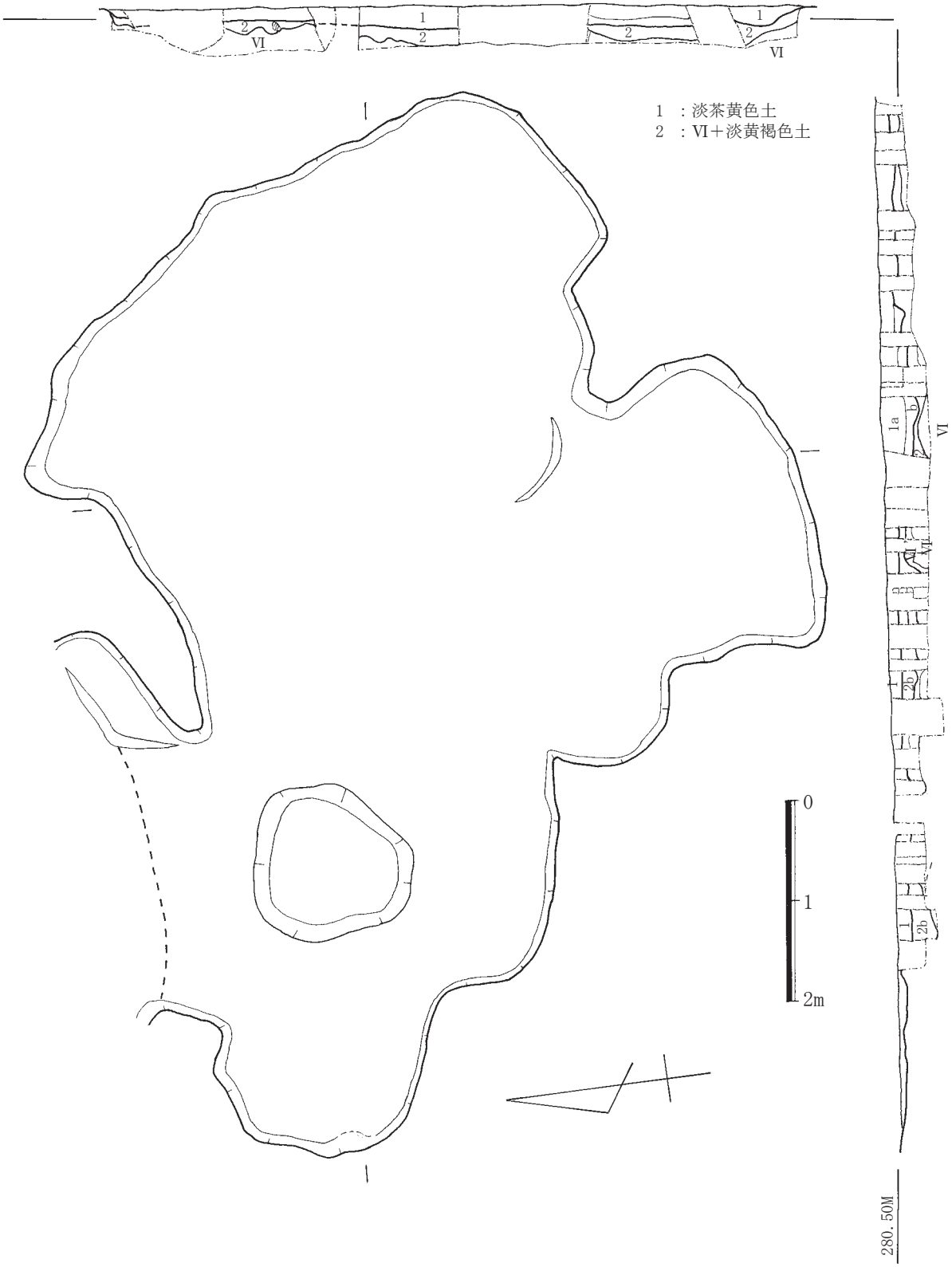
SA-13（第 31 図） 東西 8.6 m・南北 3.6 ～ 4.2 mの不整形プランで、北辺中央東寄りに狭小な間仕切りがある。深さ 35 ㎝前後でやや硬い床面になり、中央部 5 mほどはさらに 20 ㎝下がる。その



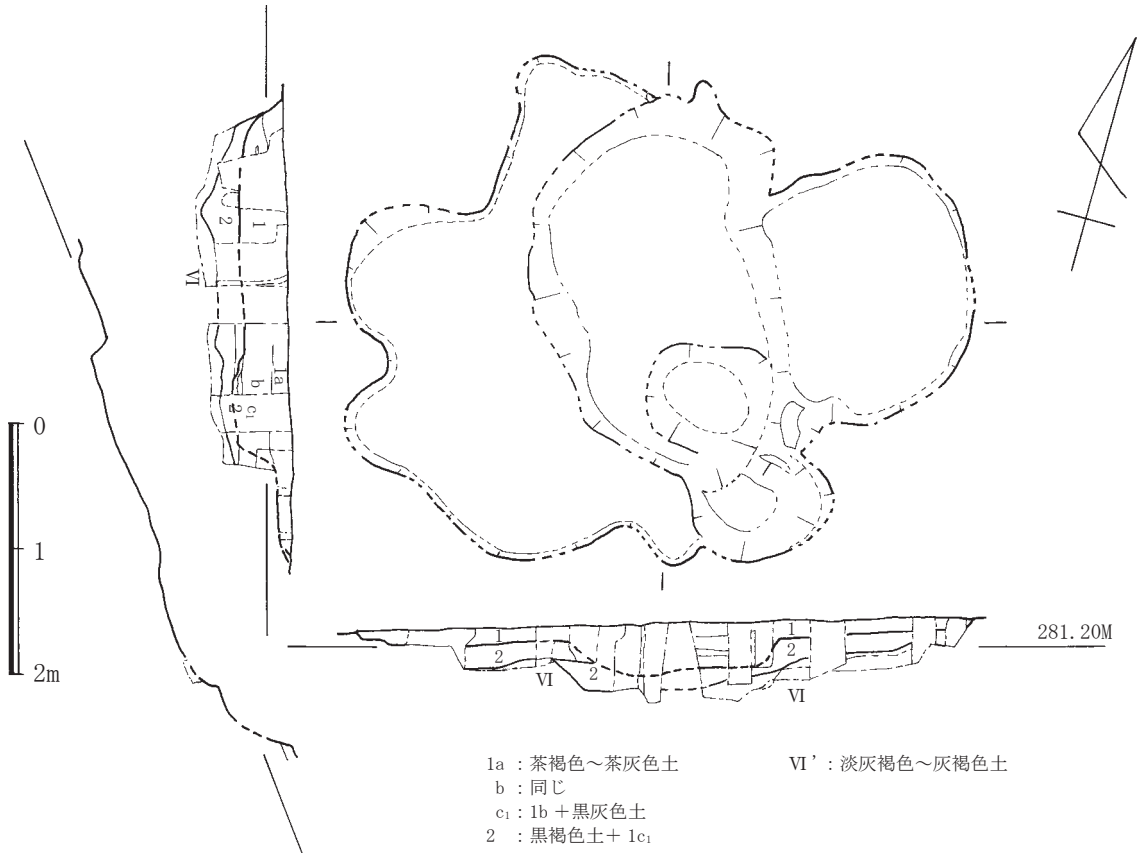
第 28 図　SA-09･10　遺構実測図

少し東側に火処があり、長さ 70 ㎝の隅丸三角形を呈し、深さ 12 ㎝を測る。主柱穴は不明瞭で、貼床は 6 ～ 20 ㎝ほどの厚さを測るが、中央部は施されていない。出土遺物は少なく（第 121 図）小片であるが、小型壷（235 ～ 238）などから、古墳時代前期前半の時期と推定される。

SA-14（第 32 図） 東西 6.86 m・南北 6.1 ～ 6.52 m、南辺 3.2 mが直線的な隅丸六角形に近いプ



第 29 図　SA-11　遺構実測図



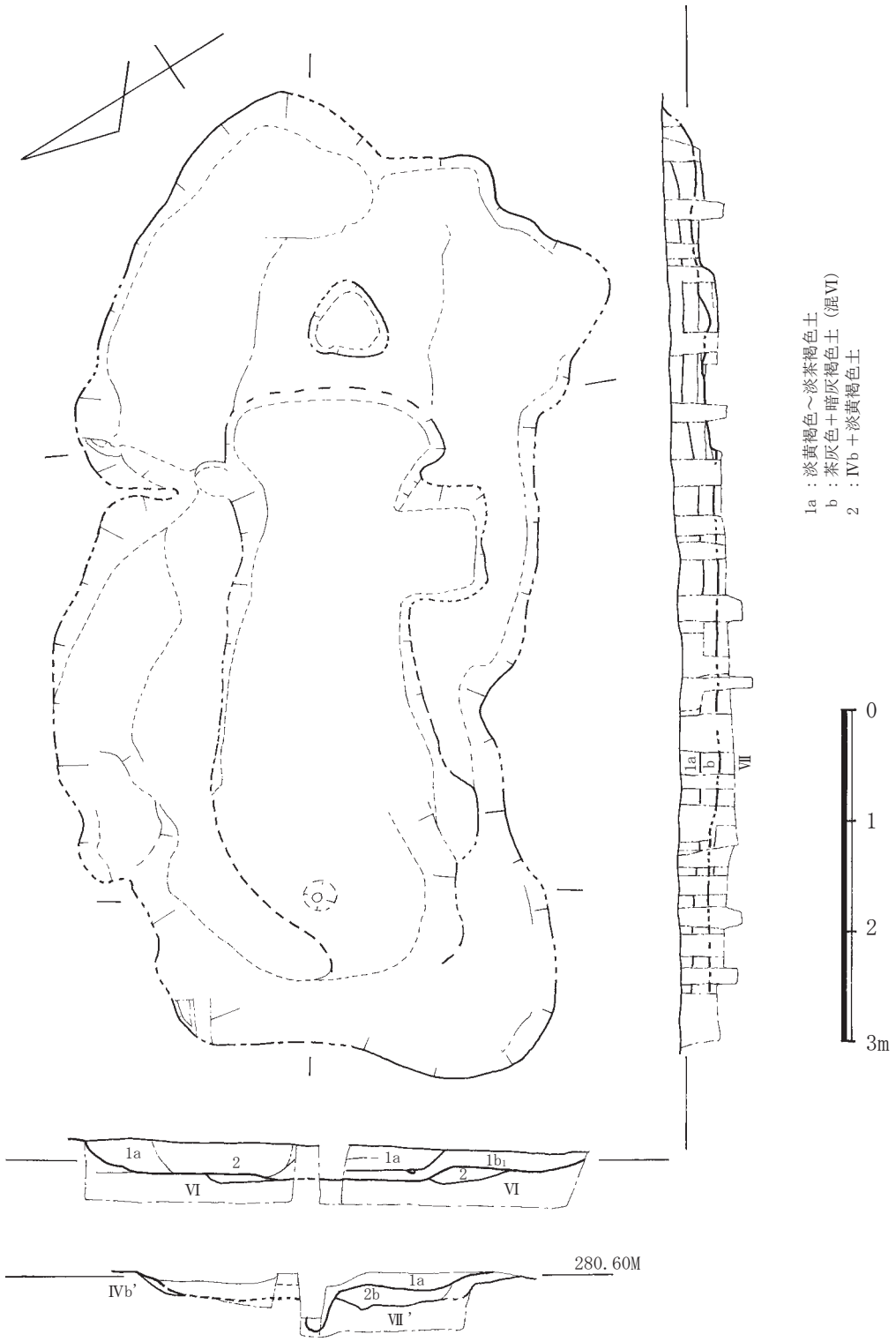
第 30 図　SA-12　遺構実測図

ランである。深さ 10 ㎝ほどで硬い貼床になり、直径 4 ｍほどの内区は深さ 20 ～ 30 ㎝下がってさらに硬い床面になる。中央やや東に鍛冶炉が設けられ、周囲に厚さ 3 ～ 8 ㎝の暗灰色土 1 ｃ層が広がっていた。

炉は、長さ 50 ㎝・幅 28 ～ 34 ㎝の不整形プランで、底面は全面朱色に焼け中央寄りに焼灰と炭が集中している。深さは 1 ～ 2 ㎝で、西寄りは長さ 6 ㎝・幅 2 ㎝の灰色物質があり、錫滓を連想させたので自然科学的分析を行った。結果は､第 4 章掲載のとおり自然由来のもの（焼灰）であった。ただ、掘込時に覆土から鉱滓が出土したので鍛冶炉であることがわかり、炉内および周辺の 1 ｃ層を全て（土嚢袋満杯 4 袋分）持ち帰って水洗選別した。その結果、直径 1 ～ 8 ㎜の粒状滓 75 点、鍛造剥片 124 点､鉄滓 49 点を採取できた。さらには､磁石で「砂鉄」も大匙 1 杯採取できた。なお、これは、試験的に磁石を当てただけなので、1 ｃ層全てに着磁していたら、もっと多くの砂鉄を採取できていただろう。

主柱穴は、柱間 3.8 ｍの 2 本柱で、段落ちの肩～斜面部に設けられ、間仕切り住居構築過程の名残りと思われる。主柱穴は双方深く、内区底面から 70 ～ 80 ㎝の深さがあり、中心側に柱抜取穴がある。北側の柱穴には、小型の甕（245）とその内底（248）と下に別物の甕の底部（249）が入っていた。

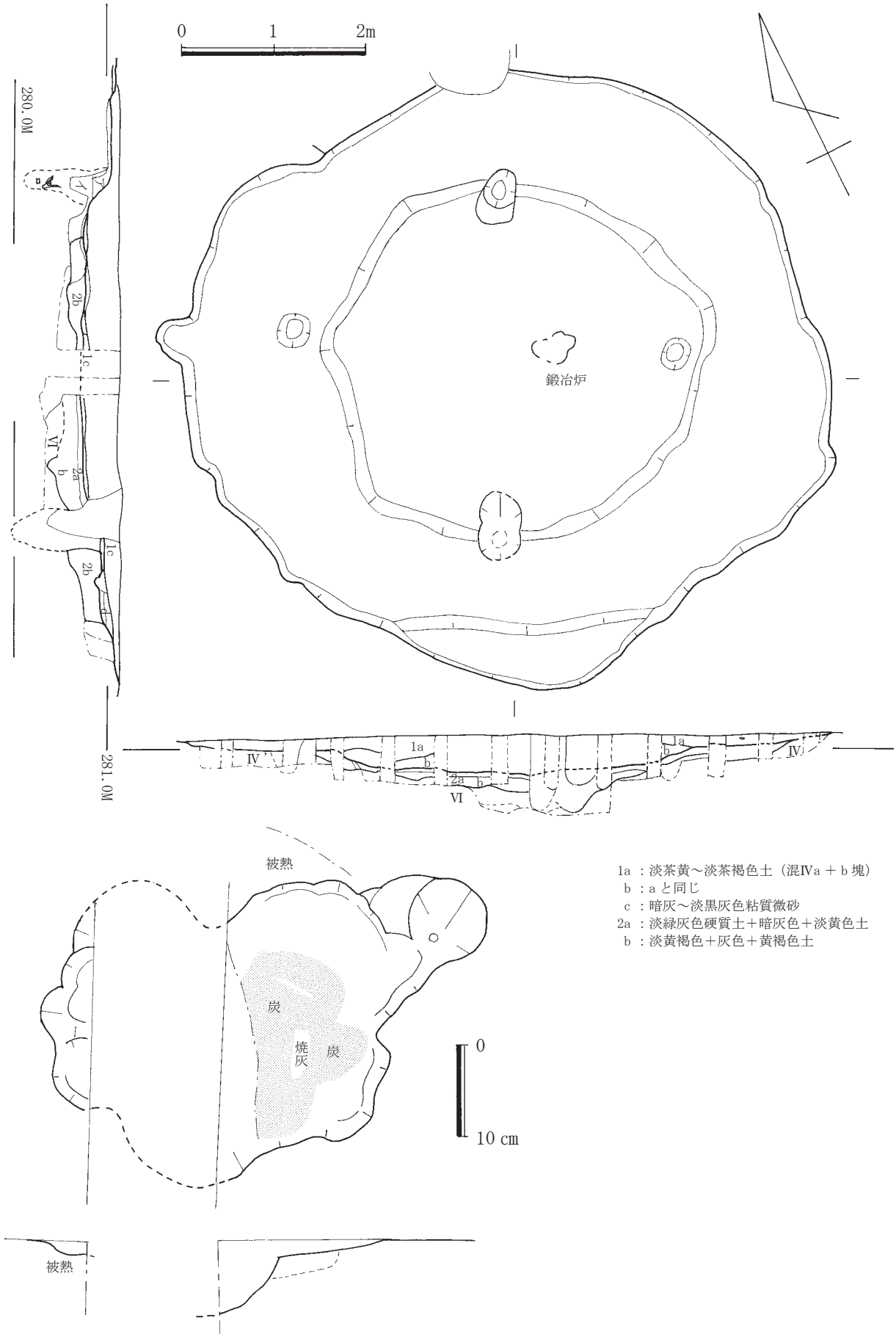
貼床は、硬く締まった厚さ 5 ～ 6 ㎝の 2 ａ層と混和土の 2 ｂ層（20 ～ 30 ㎝）がある。主柱穴 2 と直交して直径 30 ㎝前後・深さ 23 ㎝前後の柱穴状の遺構（芯々 4.1 ｍ）があるが、補助的なもの



第 31 図　SA-13　遺構実測図

と考えられる。

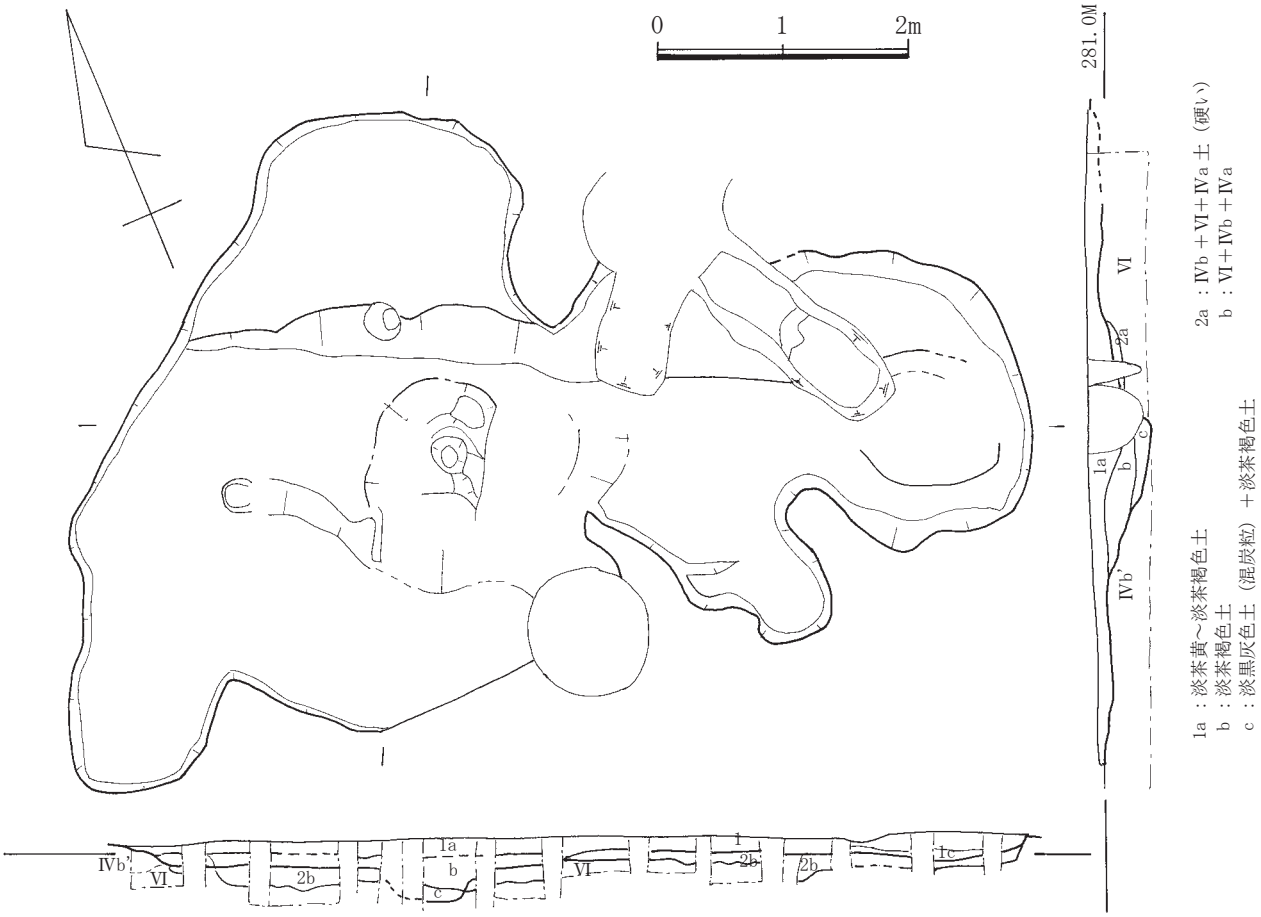
出土遺物は少なく、土器片（第 121 図）と石器が僅かに出土したにすぎないが、(241) は鍛冶炉直上にあった甕片で、鍛冶の年代を示すであろうことから外面のススを採取し、年代測定を委託した（第４章)。その結果、布留式終末並行の推定より古い、3 世紀後半～４世紀前半の結果であった。反面、外面下半は被熱と弾けがあり、その内面は暗茶褐色に変色しており、取瓶的使用の可能



第 32 図　SA-14　遺構実測図

性が高い。小鍛冶を営んだことは証明されるが、鉄器や鉄片、敲石等の工具は明瞭でない。唯一、小型の台石（1442）は稜が潰れており、鉄床石の可能性がある。なお、炉内覆土の水洗選別土壌に磁石を用いて大匙１の砂鉄を採取している。

SA-15（第 33 図）　長さ 7.6 m・幅 2.4 ～ 5.4 mの極めて歪な間仕切りタイプである。6 × 4.8 m ほどの隅丸長方形を基調とした可能性もある。深さ 10 ㎝ほどでやや硬い床面になり、西側は内区が 10 ㎝下がる。中央部 1.6 × 1.1 mほどはさらに 30 ㎝下げられ、火処となっている。東部も直



第 33 図　SA-15　遺構実測図

径１ mほどが 10 ㎝程度下げられ、火処となっている。主柱穴は不詳で、貼床は 10 ～ 20 ㎝の厚さがあり、西側火処の北部のみ硬い 2a 層がある。

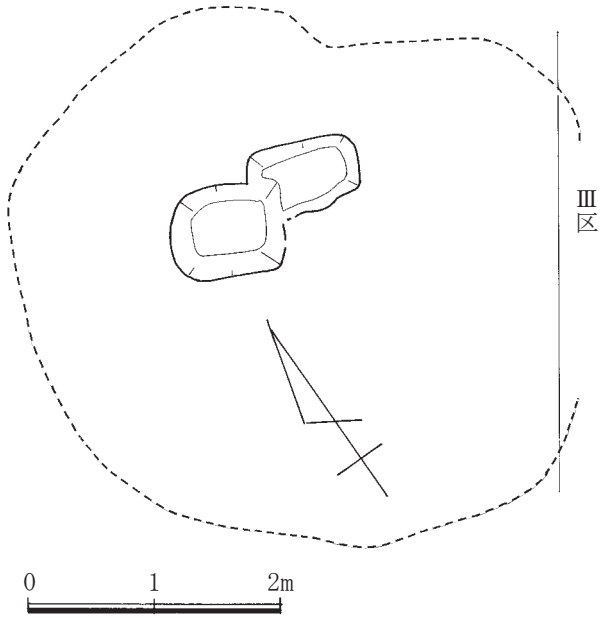
出土遺物は少なく、古墳前期前半の土師器片（第 69 図）が出土している。

SA-16（第 34 図）　南側のやや低い位置で検出した、直径 2.5 mほどの不整形プランで、東側に長さ 25 ㎝ほどの突出部

第 34 図　SA-16　遺構実測図

がある。深さ 20 ㎝でやや硬い床面になり、東西に主柱穴がある。西側は深さ 32 ㎝、東側は 17 ㎝を測る。中央寄りには、長径 30 ㎝と 52 ㎝・深さ 2 ～ 3 ㎝の火処がある。貼床は 5 ～ 10 ㎝の厚さがある。

2 基の主柱穴の位置を考慮すると本遺構は、間仕切り住居の内区である可能性が高い。覆土から少量の土器片が出土（第 70 図）しているが、古墳前期かと想定される程度である。

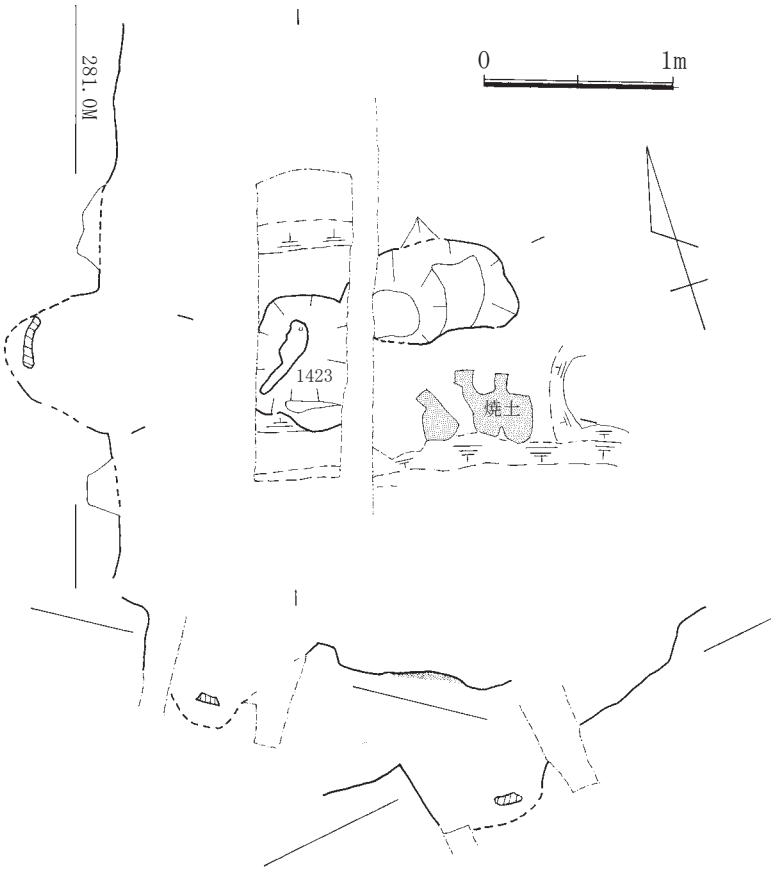


第 35 図　SA-17　遺構実測図

SA-17（第 35・36 図）　表土下すぐに床面が現れたが、東西 6.4 m・南北 6.2 mほどを確認できたにとどまり、2 段掘りの浅い土坑（長さ 93 ㎝・幅 50 ㎝・深さ 15 ～ 23 ㎝）とそれに直交する長さ 70 ㎝・幅 48 ㎝以上・深さ 50 ㎝の土坑、浅い土坑の南側では厚さ 1 ～ 2 ㎝の焼土を確認した。

炭と焼土に混じって、古墳前期を主とする土器片（第 70 図）が出土した。又、攪乱内から、長さ 24 ㎜の鉱滓が出土した。

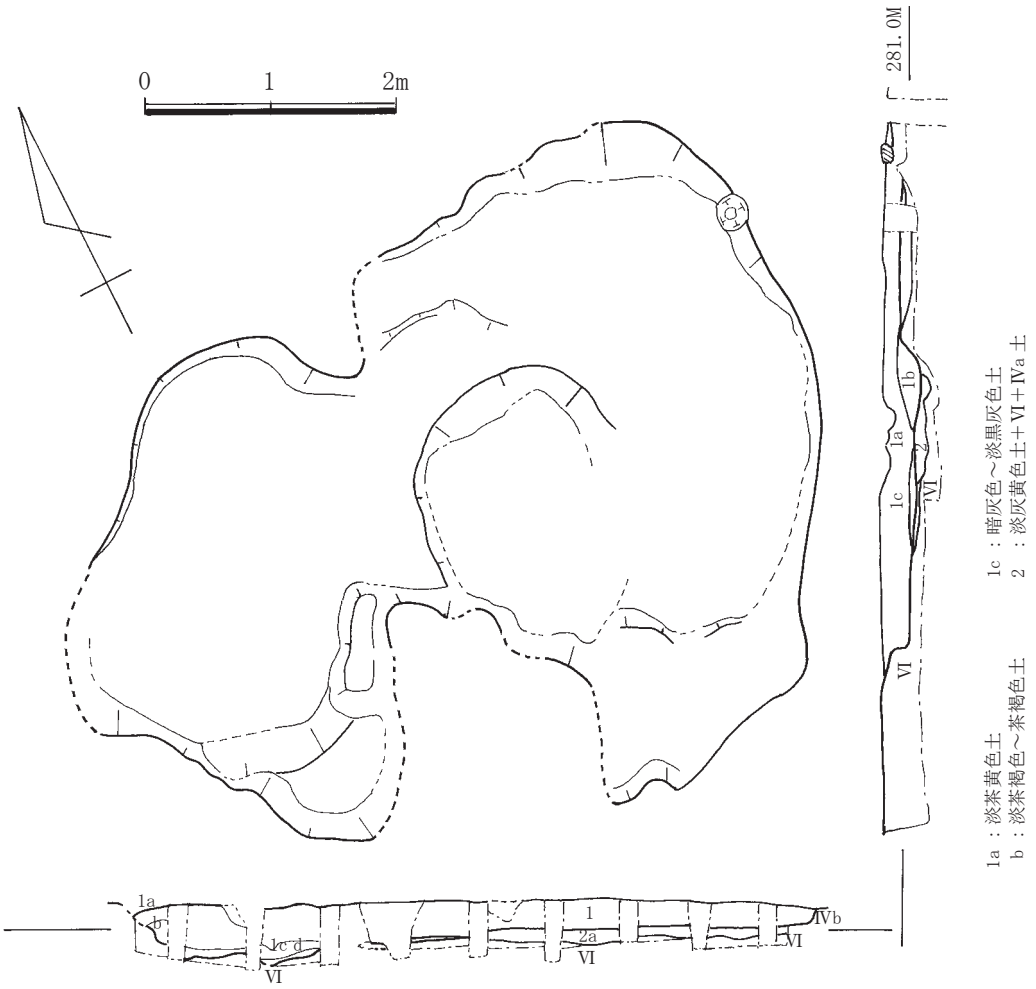
深い土坑の底面付近では、長さ 44 ㎝の炭化材が出土した。取り上げ後、洗浄・乾燥時に崩壊しかけたが、出土時に近い形で図化できた（第 119 図 -1423）。ほぼ旧状を保つ外縁は丸みがあり、左上には内径 13 × 16 ㎜の孔（？）があり、4.3 ㎝下にも孔跡があった。厚さは 5 ～ 35 ㎜あり、右～下方が厚くなる。左側が薄く、右側が厚い打割製材（ミカン割り）の節が抜けている木器の未製品もしくは失敗品と思われ、燃料として使い、灰化する前に埋まって形状が保たれたものと思われる。



第 36 図　SA-17 内　土坑　実測図

SA-18（第 37 図）　東西 6.4 m・南北 4 ～ 5 m・くびれ部幅 2 mの歪なヒョウタン形を呈し、中央付近が 1 段（12 ㎝）低くなる。中央

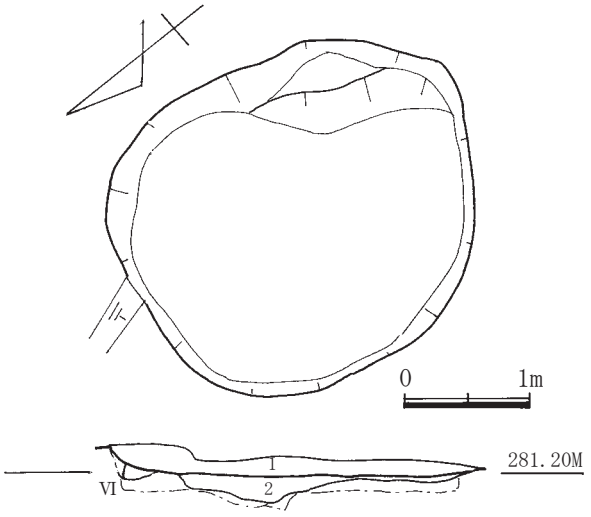
付近と西半部の中央寄りの底面が火処である。検出面から 15 ～ 30 ㎝で床面に達し、やや硬化している。貼床は中位から東側にかけて 10 ～ 20 ㎝施される。



第 37 図　SA-18　遺構実測図

出土遺物は少なく（第 70・71 図）、古墳前期前半が主体と思われる。

SA-19（第 38 図）　長径 3.02 m・短径 2.52 m の楕円形プランが遺存するが、西側 6/7 が上部を消失している。深さ 12 ～ 24 ㎝でやや硬い床面になる。火処は無く、貼床は厚さ 4 ～ 19 ㎝で全面に施される。南西部の肩が緩やかなので、外方に狭小な 1 段目が存在した可能性がある。出土遺物は少ない（第 71 図）が古墳時代前期と思われる。



1：淡茶褐色＋淡黄色土（混Ⅳb・Ⅵ粒）
2：Ⅳb ＋茶褐～茶灰色＋暗灰色土

第 38 図　SA-19　遺構実測図

SA-20（第 39 図）　南北 9.5 m・最長 10.3 m・東西 5.6 ～ 7.4 m の楕円形を基調とし、中位以南に長さ 0.4 ～ 1.2 m の明瞭な間仕切りがある。

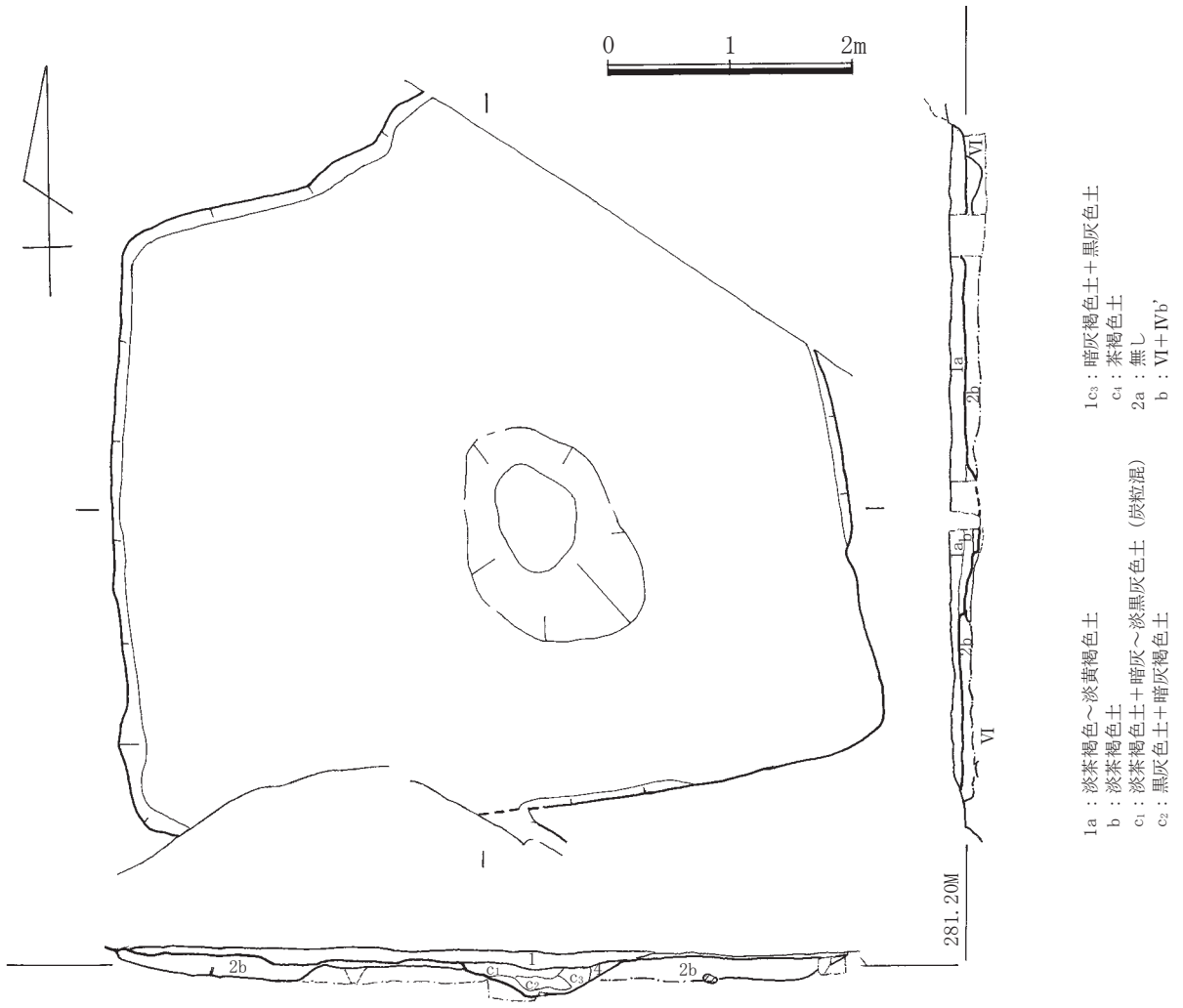
1a ：淡茶黄色～淡茶褐色土
b ：茶褐色土
c ：暗灰～淡黒灰色土
2b ：淡灰黄色～淡黄褐色土

第 39 図　SA-20　遺構実測図

東壁は凹凸の激しい不整形プランである。西南端部は、硬化面が僅かに残っていた。深さ 13 ～ 27 ㎝でやや硬い床面になり、中央寄りは、さらに不整形に 15 ～ 20 ㎝下がる。北寄りの位置で、直径 40 ㎝前後、深さ 60 ㎝・柱間 1.9 ｍの主柱穴を確認した。北側主柱穴には柱抜取穴が南接する。柱間には、直径 1.3 ～ 1.4 ｍ・深さ 10 ～ 14 ㎝に掘り込まれた火処がある。北側の 1 段目と内区全体に厚さ 8 ～ 15 ㎝の貼床が施されている。

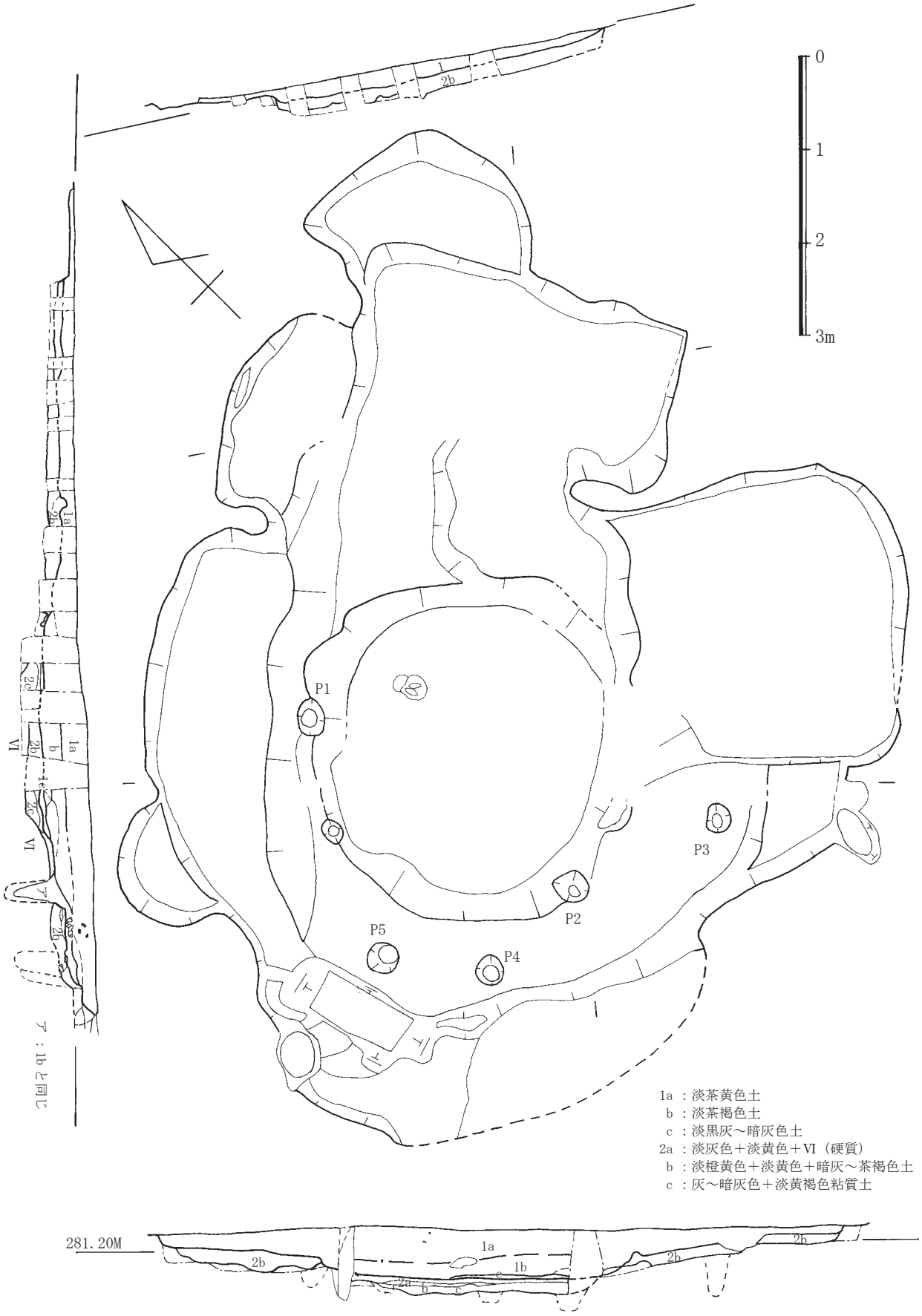
出土遺物としては、壷甕類ほか小型壷、高坏（第 71・72 図）、器面調整具（1447、1448）、編物石（1454 ～ 1460）・鉄片（1380）などがある。1447・1448 の面には光沢があり、砥石（1449）の面の光沢は金属を研磨したものと思われる。編物石は砥石を兼用するものが多く、稜は摩滅・摩耗（手擦れ・紐擦れ）している。

SA-21（第 40 図）　東西 5.6 ～ 6.16 ｍ・南北 5 ｍの方形基調で、北側に 1.2 ｍほど突出部がある。深さ 10 ～ 13 ㎝でやや硬い床面になり、中央やや南東寄りの、長径 1.95 ｍ・短径 1.27 ｍの不整楕円形プランが深さ 26 ㎝の火処である。貼床は 4 ～ 18 ㎝あり、2 層を全面完掘したが、柱穴は確認できなかった。



第 40 図　SA-21　遺構実測図

出土遺物としては、少量の土器片（第 72 図）と砥石があり、古墳前期前半が想定される。

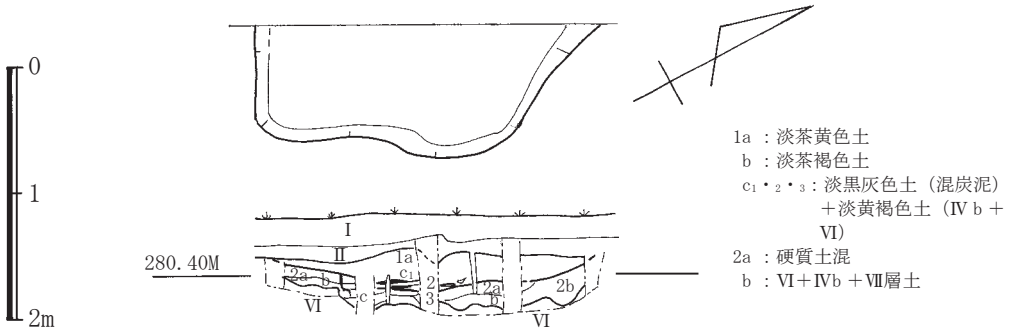


第 41 図　SA-22　遺構実測図

SA-22（第 41 図）　長径 10.88 m・短径 8.08 mの不整楕円形プランで北西部に長さ 60 cm・東部に 1 m以上の明瞭な間仕切りがある。北端の 2 × 1.2 mほどと南端の 4.5 × 1.3 mは、深さ 2 ～ 5 cmで拡張区の可能性がある。深さ 8 ～ 14 cmほどでやや硬い床面になり、直径 3.7 m・深さ 20 ～ 27 cmの内区がある。底面南半部は火処となり、1 c 層がある。柱穴は 4 基検出したが、主柱穴は、内区肩部にあるＰ 1 とＰ 2 である。柱穴Ｐ 4 の 1.1 m北西に、直径 30 cmの火処があり、外縁が焼土化している。貼床は厚さ 10 ～ 24 cmで、内区は 2 ～ 3 層で硬く締められている。

出土遺物は小片が少量（第 72・123 図）で、弥生終末～古墳前期の壷甕類と砥石（1465、1466）、編物石（1468）がある。

SA-23（第 42 図）　Ⅱ区の西端、SA-10 と接し、SA-09 の 2.5 m南に位置する。長さ 2.5 m・幅 1.05 mを確認した。検出面から 4 ～ 17 cmで床面になり、中央部は 7 cm掘り下げられ、3 次にわたる床面と火処（1 c 層相当）を確認した。貼床は全面に 15 ～ 24 cm施されている。位置的に、SA-09 の一部の可能性もある。



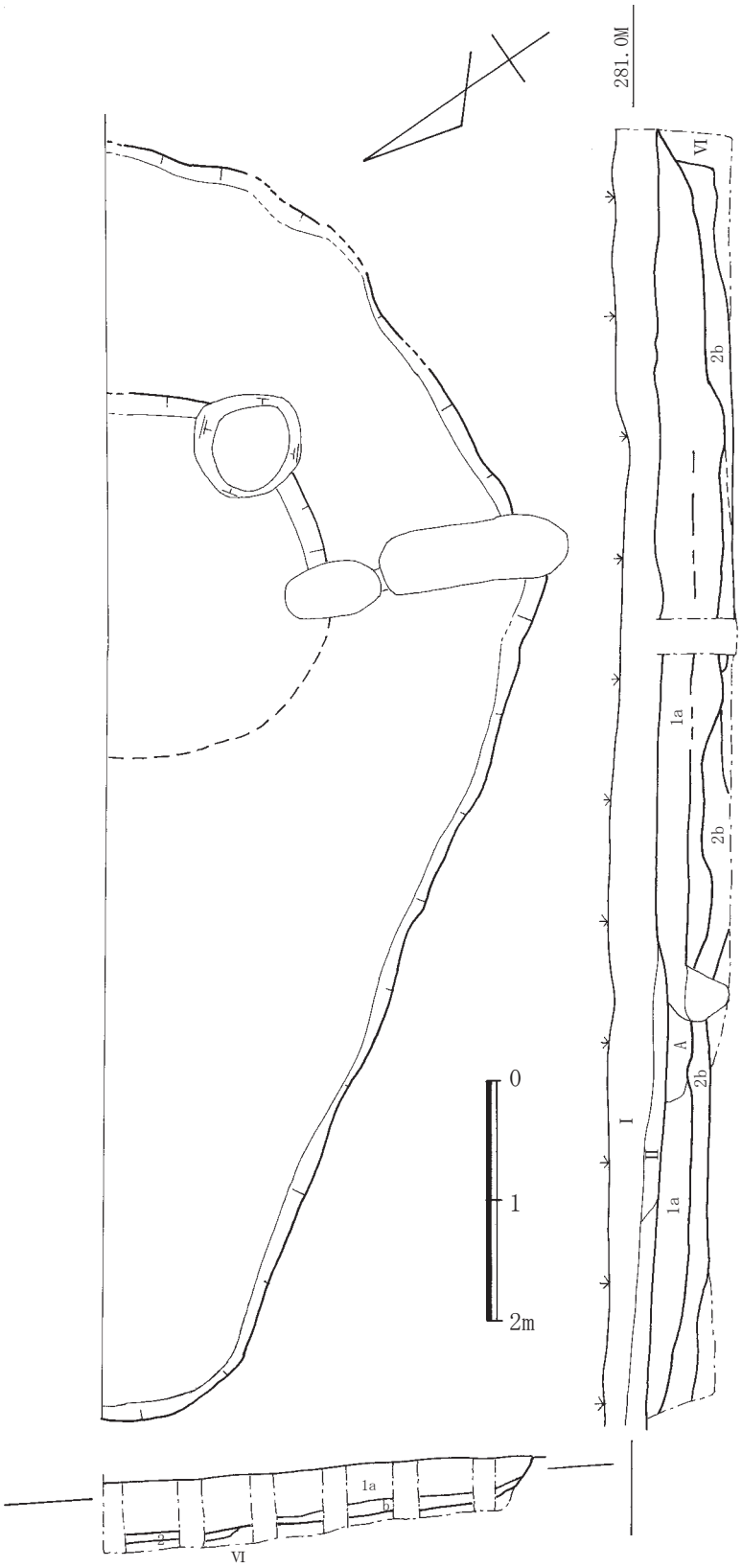
第 42 図　SA-23　遺構実測図

1 c 層を水洗選別したところ、鍛造剥片状の 2 片（2 ～ 3 mm）を採取した。

SA-24（第 43 図）　長径 10.5 m・短径 3.65 mを検出した。深さ 36 ～ 45 cmでやや硬い床面になり、やや東寄りに直径 3.06 m・深さ 10 ～ 13 cmの内区がある。火処と柱穴は未確認である。貼床は厚さ 8 ～ 20 cm施される。

出土遺物はやや多く（第 74・75 図）、甕（396・397）や壷（402・405）・高坏（427）から、古墳前期末～中期初頭と思われる。又、逆刺先端の無い小型の三角形鉄鏃 1 点（1381）が出土している。

SA-25（第 44 図）　東西 10.2 m以上・南北 9.7 mの不整形なプランであるが、8 × 8.3 mほどの隅丸方形の 3 ヶ所に、長さ 0.9・1.9・2.5 mの間仕切りがあり、東部の 1 区画が東へ 2 mほど突出し、西南部が SA-26 に切られている状態である。深さ 10 ～ 15 cmでやや硬い床面になり、内側 3.7 × 4.6 mの略楕円形は 37 cm前後低くなり、火処となっている。Ｐ 6 北接の区画はほぼ貼床面で、内区側 60 cmから内区全面は被熱している。上面は厚さ 1 cmの焼土となっているが、柱穴を検出した所は被熱が無く、内区底面の湿気抜きをした後に柱穴を掘削したことがわかる。柱穴は 6 基で、深さ 28 ～ 55 cmを測りＰ 1 とＰ 4 は柱抜取穴が並掘している。貼床は 10 ～ 24 cm施されている。出土遺



1a ：淡茶黄色土
b ：淡茶褐～茶褐色土
A ：黒灰色土＋茶灰色土（混炭片）
2b ：VI＋茶灰色土

第 43 図　SA-24　遺構実測図

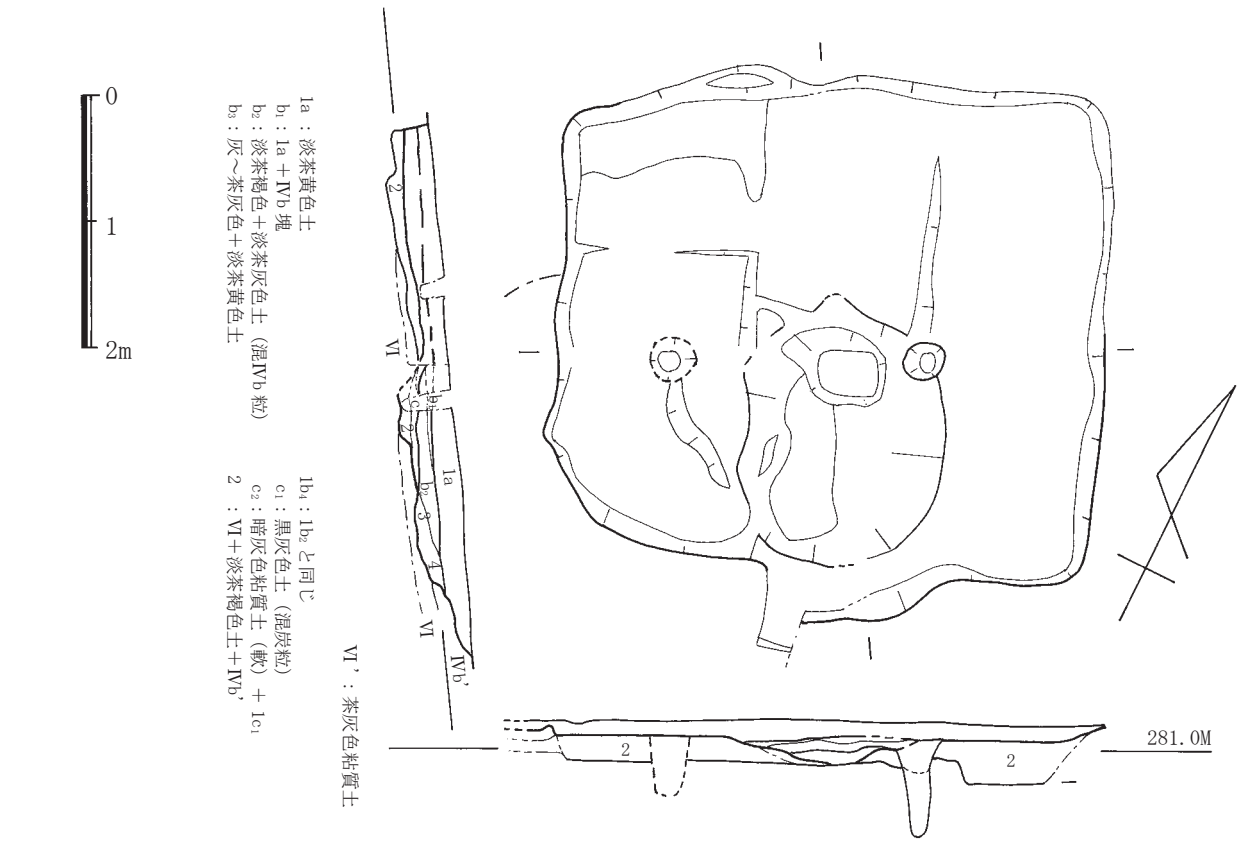
物は、壷甕類の破片（第 76 図）がやや多く、前期前半と推定される。丹塗り土器片（456）は混入の可能性もある。(457)は、被熱していないが、専用羽口の可能性を考えている。なお、Ⅰc 層を水洗選別・着磁により砂鉄大匙 1（7 g）を採取し、さらに冬期の霜柱で持ち上がった表面の土壌を土嚢袋 2 袋分、水洗選別したところ、砂鉄を大匙 8（80 g）採取した。

SA-26（第 45 図）　SA-25 と 27 を切る、東西 4.38 m・南北 3.86 ～ 3.90 mの方形プランの南辺中央部が 40 cm突出し、4.32 m を測る。深さ 10 ～ 26 cmでやや硬い床面になり、中央～南壁にかけて、長さ 1.88 m・幅 1.58 mの楕円形を呈する深さ 20 cm の土坑を有し、底面の北半分には黒灰色土があり、中央付近の幅 60 cmは、さらに 20 cm掘り込まれ、初期の火処となっている。主柱穴は、芯々 2.1 mの 2 本で、貼床後に掘り込まれている。貼床は厚さ 10 ～ 36 cmあり、東側が深い。

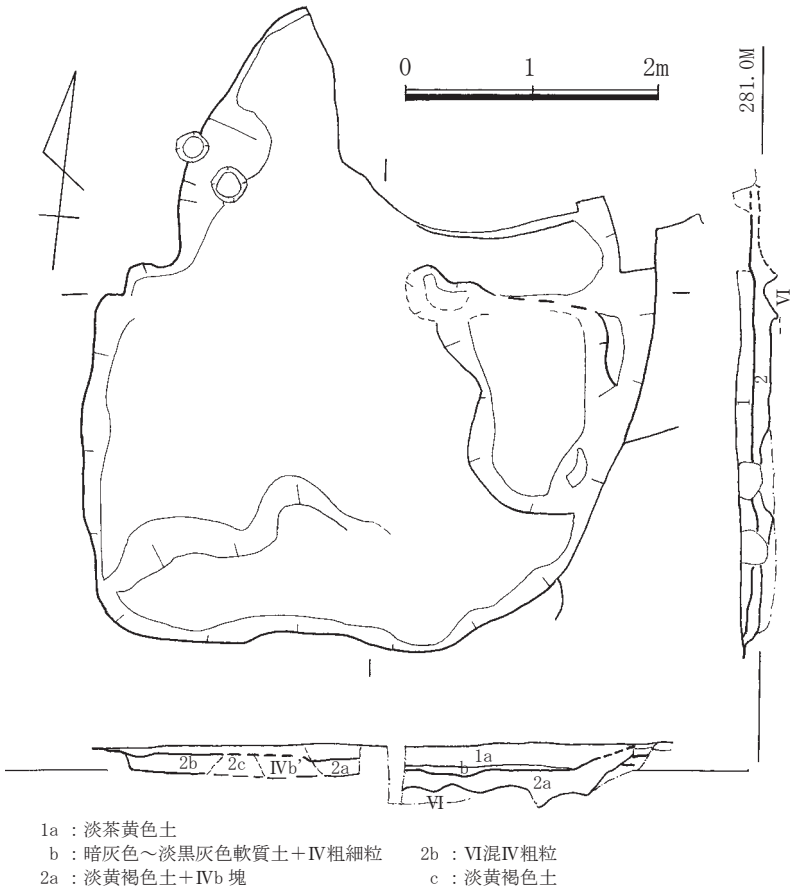
出土遺物は少ない(第 77 図)が、甕（458）と壷（466）等から古墳前期後半と推定される。

SA-27（第 46 図）　長径 5.0 m 以上・短径 4.30 mの略楕円形を呈し、10 ～ 20 cmでやや硬い

第 44 図　SA-25　遺構実測図



第 45 図　SA-26　遺構実測図



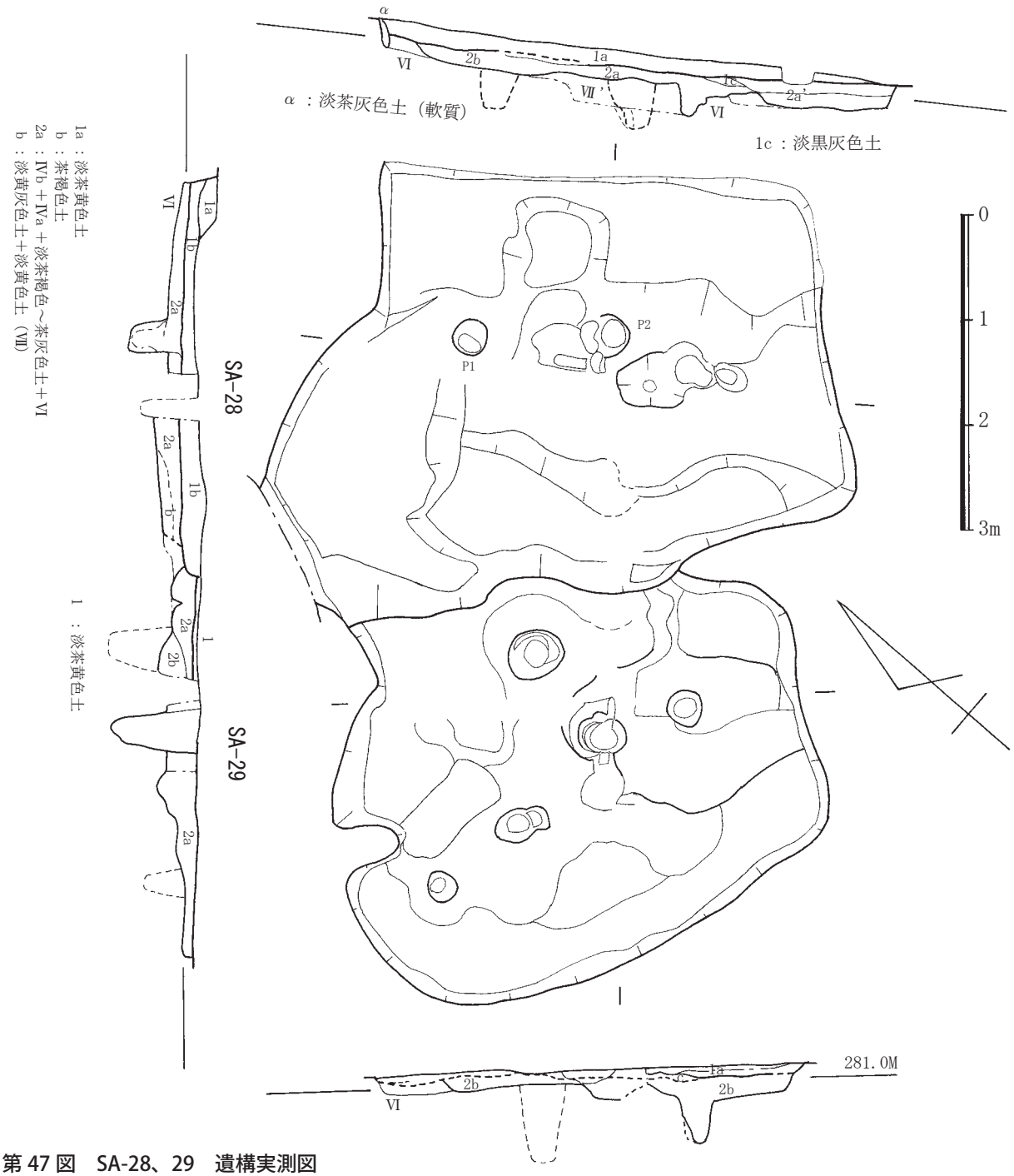
第 46 図　SA-27　遺構実測図

床面になり、西壁寄りには、長径 1.7 m・幅 1.2 ～ 1.3 mの不整形で深さ 5 ～ 8 cmを測る土坑がある。火処と主柱穴は未検出で、貼床は10～20cm施される。

出土遺物は少なく（第 77 図）、古墳前期と思われる。

SA-28（第 47 図）　長さ 4.0 ～ 5.7 m・幅 3.2 ～ 4.33 m の略台形を呈し、北西端部以外は、上部 10 cm以上を消失している。深さ 28 cmでやや硬い床面に達する。主柱穴は中央やや北東寄りのＰ１とＰ２と思われる。貼床は 10 ～ 26 cmの厚さがある。

出土遺物の大型破片は北半部



第 47 図　SA-28、29　遺構実測図

に多く（第 77 ～ 79 図）、甕 3（478・479・492）と壷（493）・高坏（490・491）・鉢（485）は一括性があり、古墳中期前半と考えられる。二重口縁壷の外面には籠目の陽焼けしていない部分があり、葛か藤ツルの編籠に入っていたものと推定される。鉄器は、小型三角形の長頸鏃 1（1382）、石器は大型の砥石（1499）が出土している。

SA-29（第 47 図）　長さ 4.7 m・幅 2.6 ～ 3.88 mの、半円半方形崩れのプランで、北西部に長さ 60 cmの間仕切りがある。中央から東側短辺中央にかけて、長径 2.1 m・短径 1.5 m・深さ 5 ～ 10 cmの浅い土坑がありＰ４～Ｐ５上面に火処があり、Ｐ４とＰ５は本遺構とは関係ないことがわかる。

SA-30（第 48・49 図）　長径 11.6 m・短径 10 m以上の、半円半方形を基調とし、南北中央と東側に間仕切りを有する。北東縁と西縁は後世に消削されており、元の短径は 11.0 m前後と推定され

る。深さ 32 ～ 40 ㎝でやや硬い床面になり、南寄りの直径 4.8 ｍが 10 ～ 30 ㎝下がる内区で、中央付近に直径 1 ｍほどの火処がある。主柱穴は 4 本と思われるが、北西部が未検出である。貼床は 10 ～ 33 ㎝の厚さで、特に内区は硬く締まり、上部 4 ～ 8 ㎝は硬めの土の割合が多い。

出土遺物は西半分に多く、その北半部に土器（第 80 ～ 86 図）が集中廃棄され南半部に編物石と鉄器が集中する。甕は、ミニチュアから大型まで様々な形のものが多く、壷や高坏も小型やミニチュアを含み、相当量出土している。壷（591）は、口縁～頸部を直径 18 ㎝に打ち欠いて甕として転用している。（656）は壷の底部を転用し、ツマミを付けて打ち欠き整形したもので、被熱と弾けがみられることから、取瓶の可能性が高い。（655）は甕片であるが、全面被熱発砲している。南西部において、Ｌ字状に編物石が点在する中に大型の圭頭鏃（1383）が、その南側には鋳造鉄斧（1385）が出土した。銹膨れが著しいが、長さ 94 ㎜、幅 48 ㎜、高さ 10 ～ 14 ㎜、厚さ 3 ～ 4 ㎜で、上面と側面の半分程度および刃部が切断されている。Ａ面右上に袋部端面が残っているように見える。背面下半には、長軸方向と斜め方向の木質が銹着している。両側面は不整形で、雑な截断である。編物石は 17 個出土し、最多である。稜の殆どは磨滅・磨耗している。北中央部の１ｃ層を水洗選別すると、砂鉄を大匙 1（8 ｇ）ほか微砂～粗砂、炭粒を採取した。自然遺物として、炭化シイ類 1 と炭化クリ 2 がある。主として古墳時代前期末か。

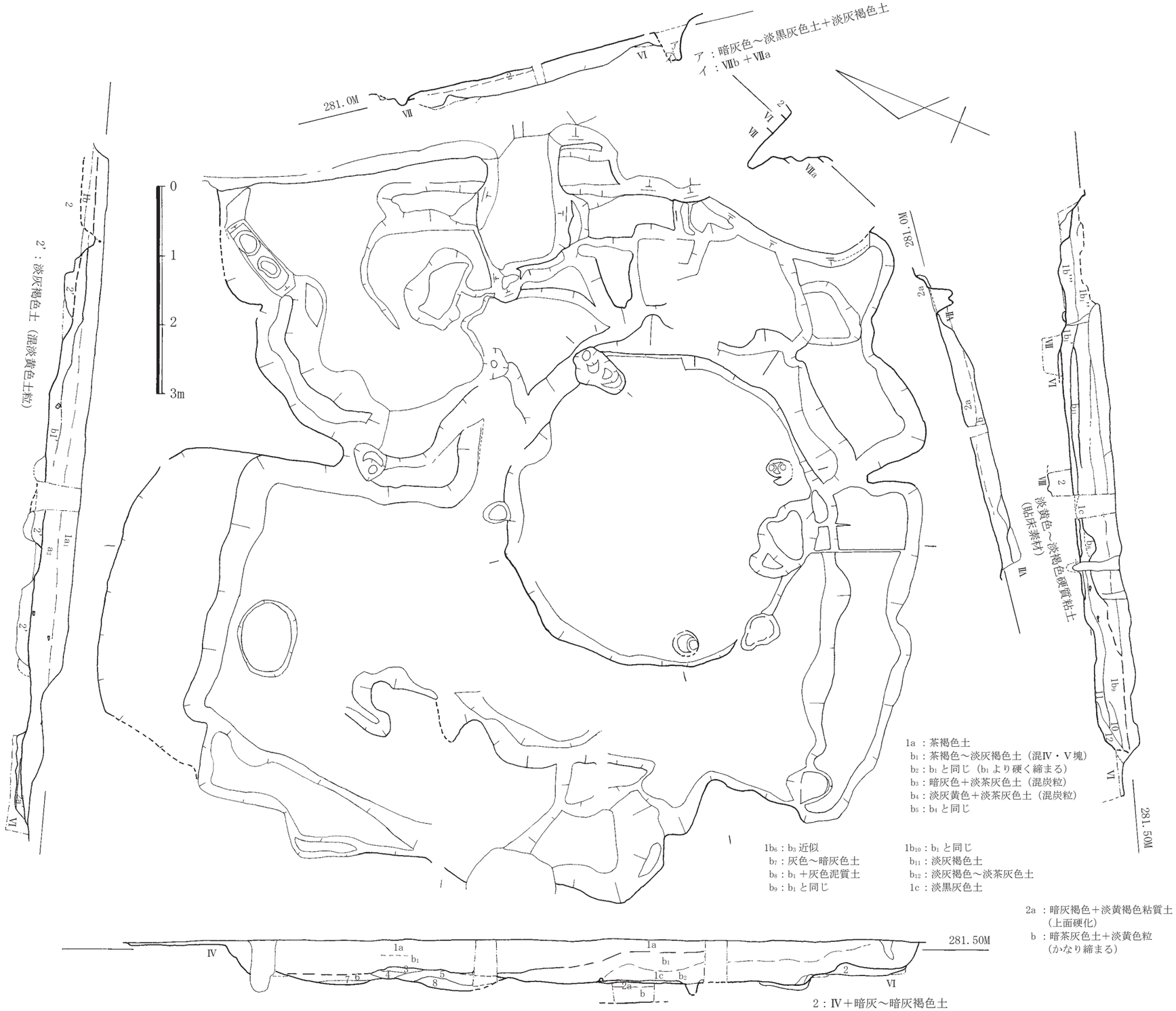
SA-31（第 50 図）　長さ 8 ｍほど、幅 7.6 ｍほどの方形基調で、南西部に突出部が、東中央部に間仕切りがあるが、2/3 以上が削平され、攪乱によって南東部の形状が不詳である。中央付近に殆ど掘り込みのない直径 1 ｍ程度の火処がある。柱穴は不詳、貼床は 8 ～ 18 ㎝の厚さがあるが、火処部分の上層はかなり硬質である。古墳時代前期後半の土器（第 86・87 図）のほか、鉄鏃 2（1387・1388）、大小の器面調整具（1532・1536）などが出土している。

SA-32（第 51 図）　長径 8 ｍ以上・短径 7.4 ｍ以上であるが、SA-31 と 34 に切られ、東側は後世の削平を受けており、原形不詳であるが、西南部に長さ 1.3 ｍの間仕切りがある。深さ 10 ～ 13 ㎝でやや硬い床面になり、南半部は幅 1.1 ～ 1.6 ｍの不整形な外区が残り、内区は 20 ㎝低くなる。長軸中央部には形状・大きさの異なる 3 ヶ所の火処がある。北西端の火処Ｃは直径 1.4 ｍほどに黒灰色土と焼土が広がり、底面も相当被熱している。中央部の火処Ｂは長径 1.7 ｍ、東南部の火処Ａは長径 1.6 ｍあり、それぞれ黒灰色土が覆う。主柱穴は不明で、深めの柱穴Ｐ１とＰ２は火処と重複しており、同時性は薄い。

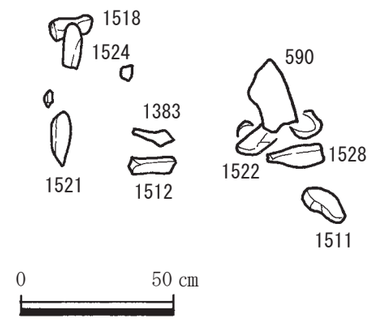
古墳時代前期末～中期初頭の土師器（第 87 ～ 89 図）の中には、波状文のある二重口縁壷（721）や、硬く焼き締まった分厚い器壁の大型土器片（714・715）、坩（736）などが混じる。この他、曲面で一部を折り曲げている鉄片 2（1389・1390）、器面調整具（1543）、砥石（1542）、敲磨石（1544・1545）などが出土している。

火処Ａの１ｃ層の水洗選別においては砂鉄を大匙 3（30 ｇ）、火処Ｂからは長さ 2 ～ 10 ㎜の鍛造剥片 30 片、鉄滓 1、砂鉄大匙 2（17 ｇ）を、火処Ｃからは砂鉄小匙 1（5 ｇ）を採取した。

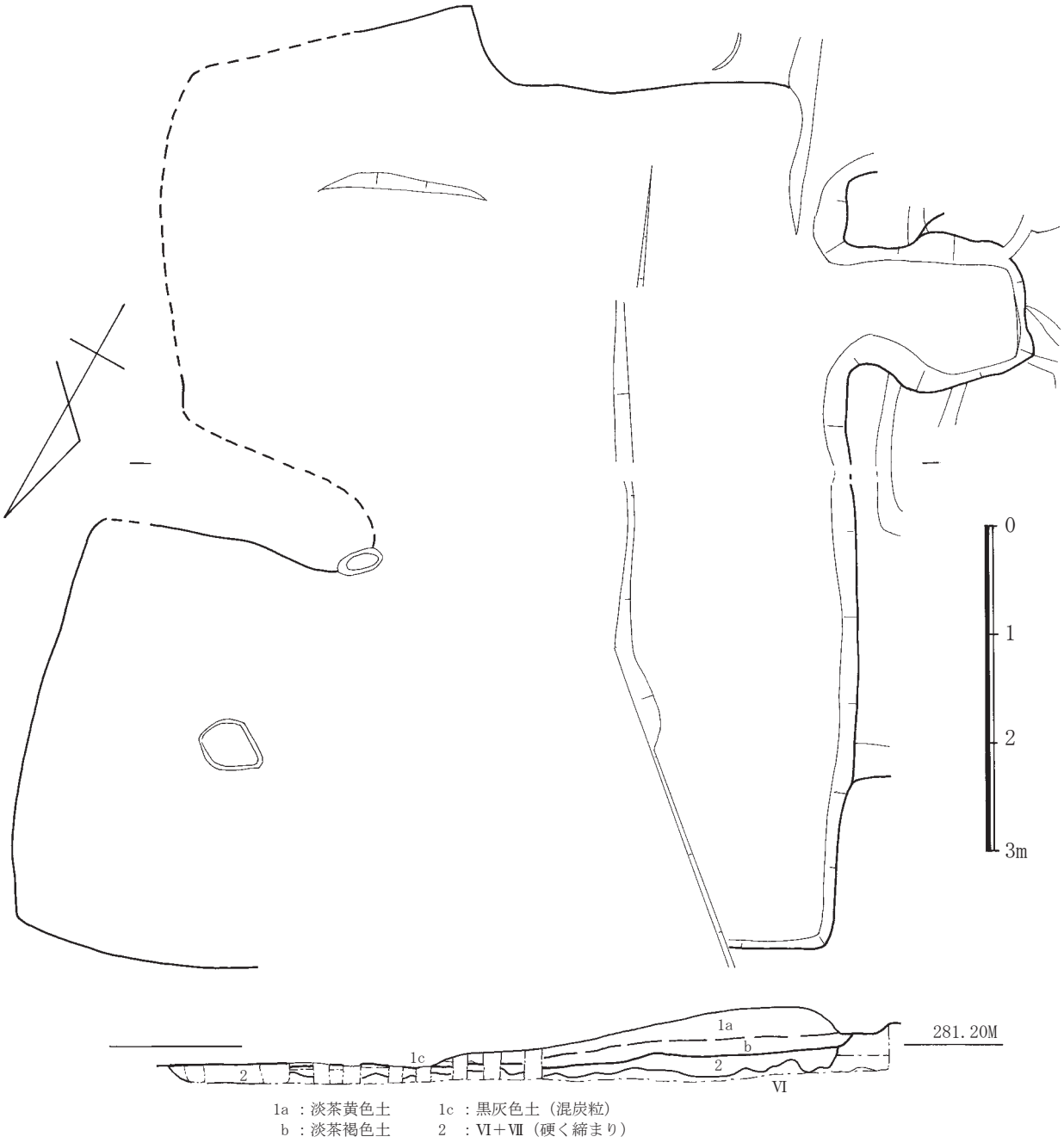
SA-33（第 52 図）　長さ 10.8 ｍ以上、幅 9.9 ｍ以上の歪な隅丸長方形を基調とするプランと思わ



第 48 図　SA-30　遺構実測図



第 49 図　SA-30 南東部遺物出土状態



第 50 図　SA-31　遺構実測図

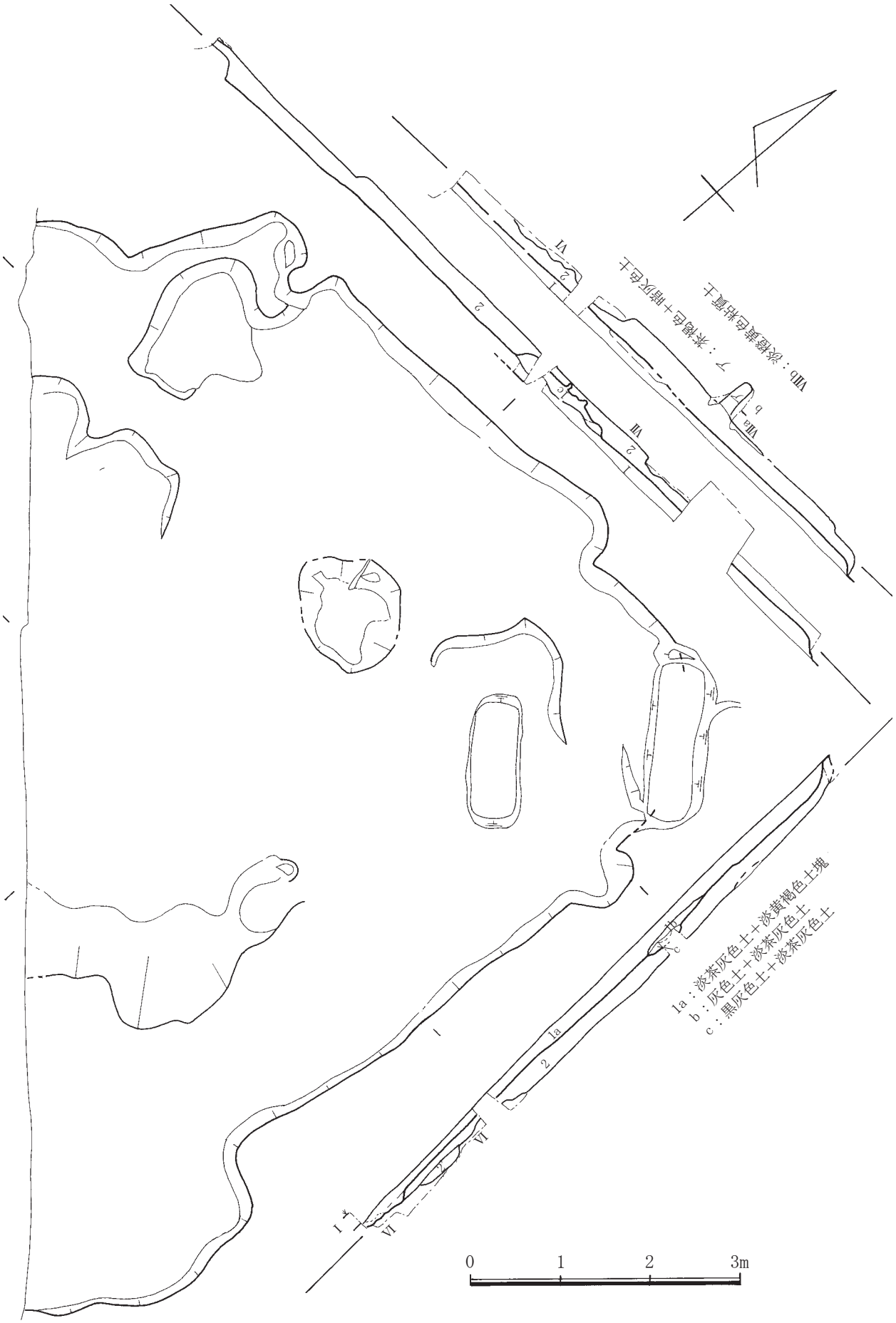
れる。深さ 10 ～ 16 ㎝でやや硬い床面になる。所々若干の凹凸があるが、明瞭ではない。主柱穴も不詳であるが、中央東寄りで深さ 40 ㎝の小穴を検出した。火処は中央北寄りに位置する長径 1.4 m・短径 1.16 m・深さ 10 ～ 15 ㎝の不整楕円形土坑である。古墳時代中期初頭頃の土師器（第 89 図）のほか、根挟み部に木質痕付着の三角形鉄鏃（1391）、刀子（1386）、両面に未貫通の孔を有する圭頭鏃模倣石製品（先刃）（1547）、刀子状鉄器（1392）、器面調整具（1549 ～ 1551）、光沢のある用途不明品（1555）などが出土している。

火処 1 c 層の水洗選別においては、砂粒のほか砂鉄を大匙 8（84 g）採取した。

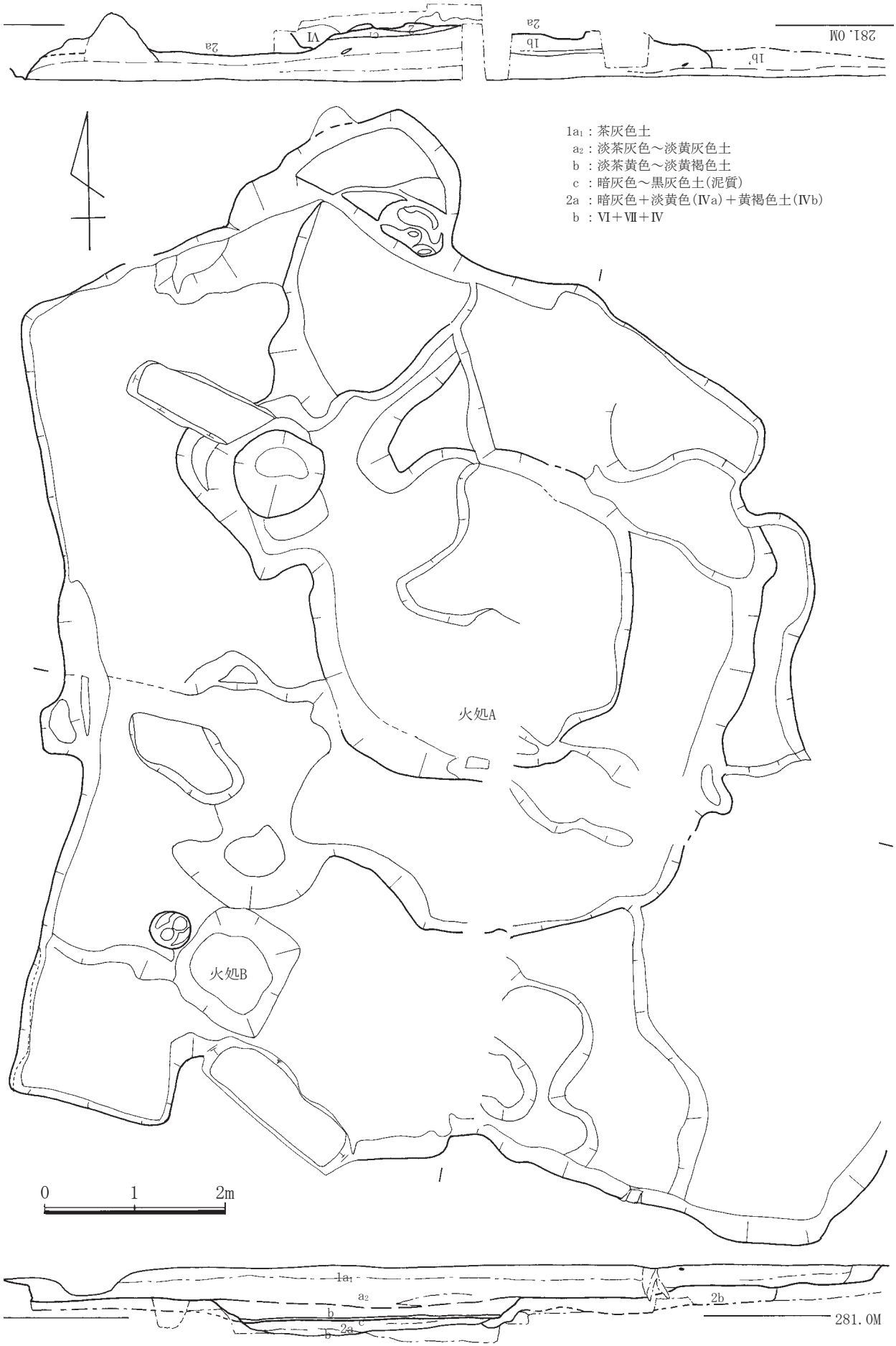
SA-34（第 53 図）　北壁中央～東南部にかけては旧状をとどめないが、長さ 10.0 m・幅 8.0 ～ 9.7

1a1：暗茶灰色土　1c1：淡黒灰色土　2a：Ⅶ＋Ⅵ＋茶灰色土
a2：茶灰色土　c2：淡黒灰色土　b1：Ⅳ＋1b
b：茶灰色土　b1：1b混Ⅳb

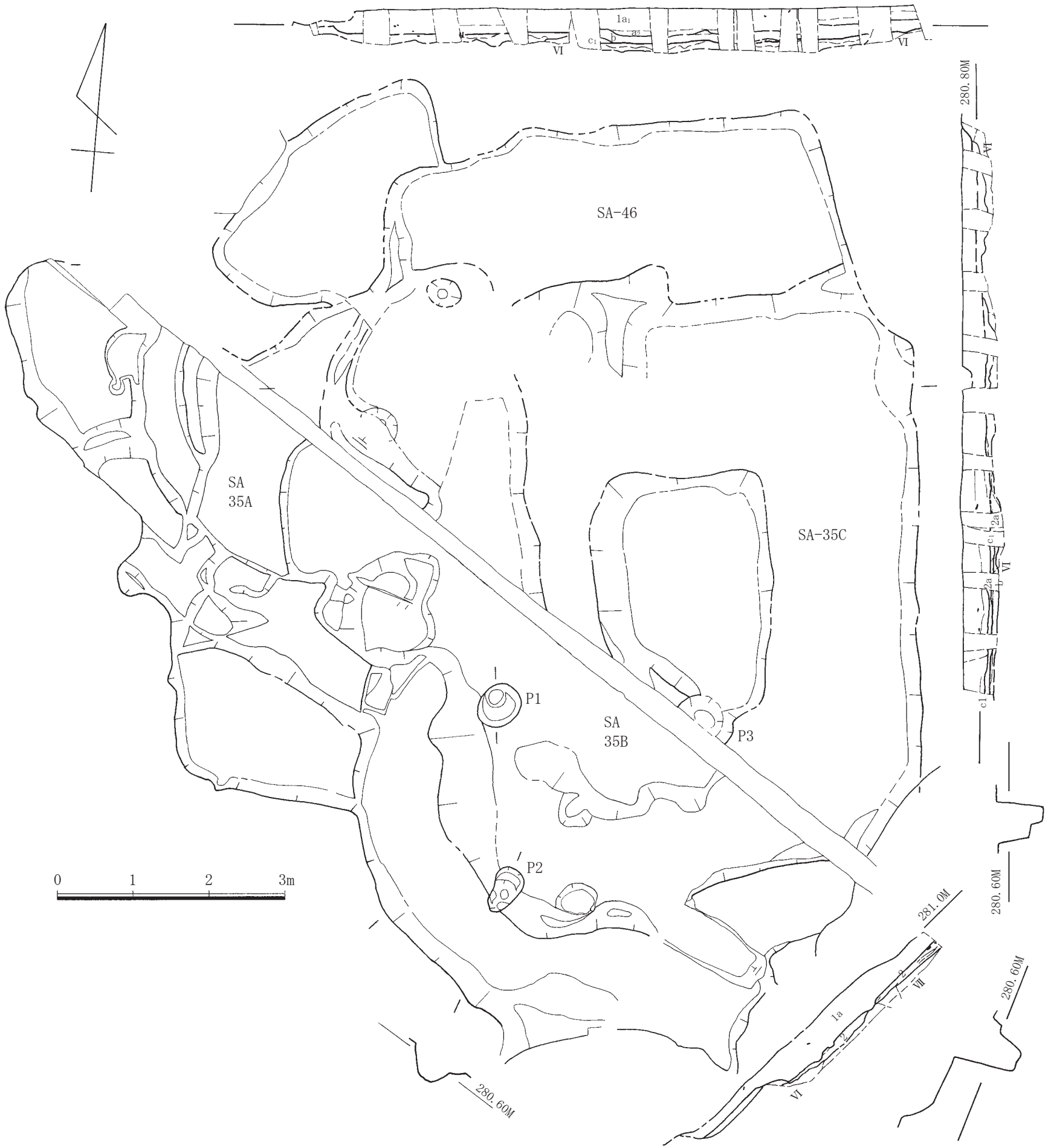
第51図　SA-32　遺構実測図



第 52 図　SA-33　遺構実測図



第 53 図　SA-34　遺構実測図

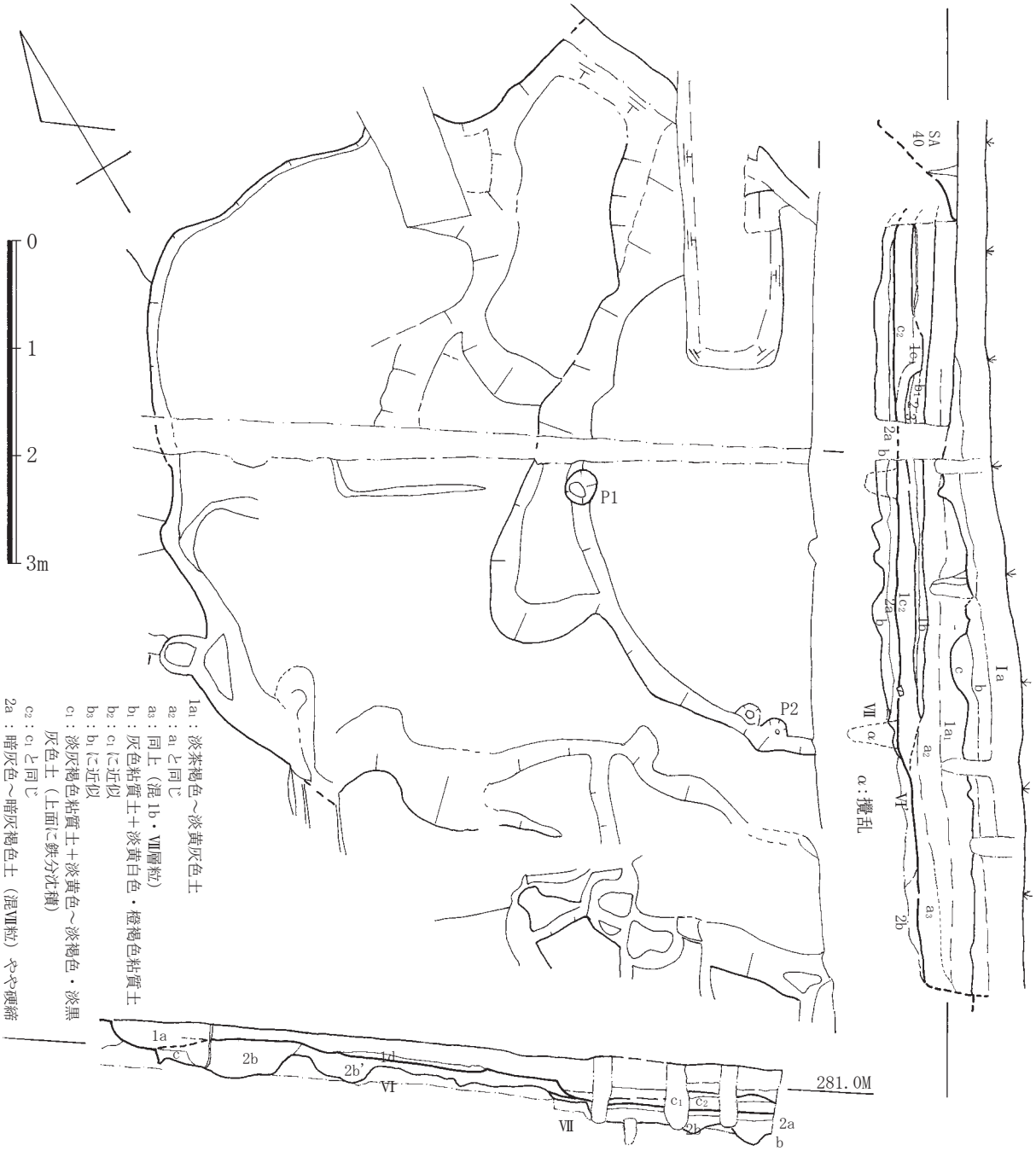


第 54 図　SA-35、46　遺構実測図

第 55 図　SA-36　遺構実測図

m以上を測る。歪な長五角形の北中央に長さ1.4ｍの突出部が付き、北東部と西南部に短い間仕切りがある。深さ22～35㎝でやや硬い床面になり、中央やや北寄りの、直径3.6ｍほどが20～24㎝掘り下げられて内区・火処となり、全面に黒灰色土が広がっている。主柱穴は不詳であるが、南東部に直径40㎝・深さ30㎝の柱穴状小穴がある。貼床の厚さは5～20㎝あるが、内区の上半部は硬い塊を混ぜており、硬く締まっている。

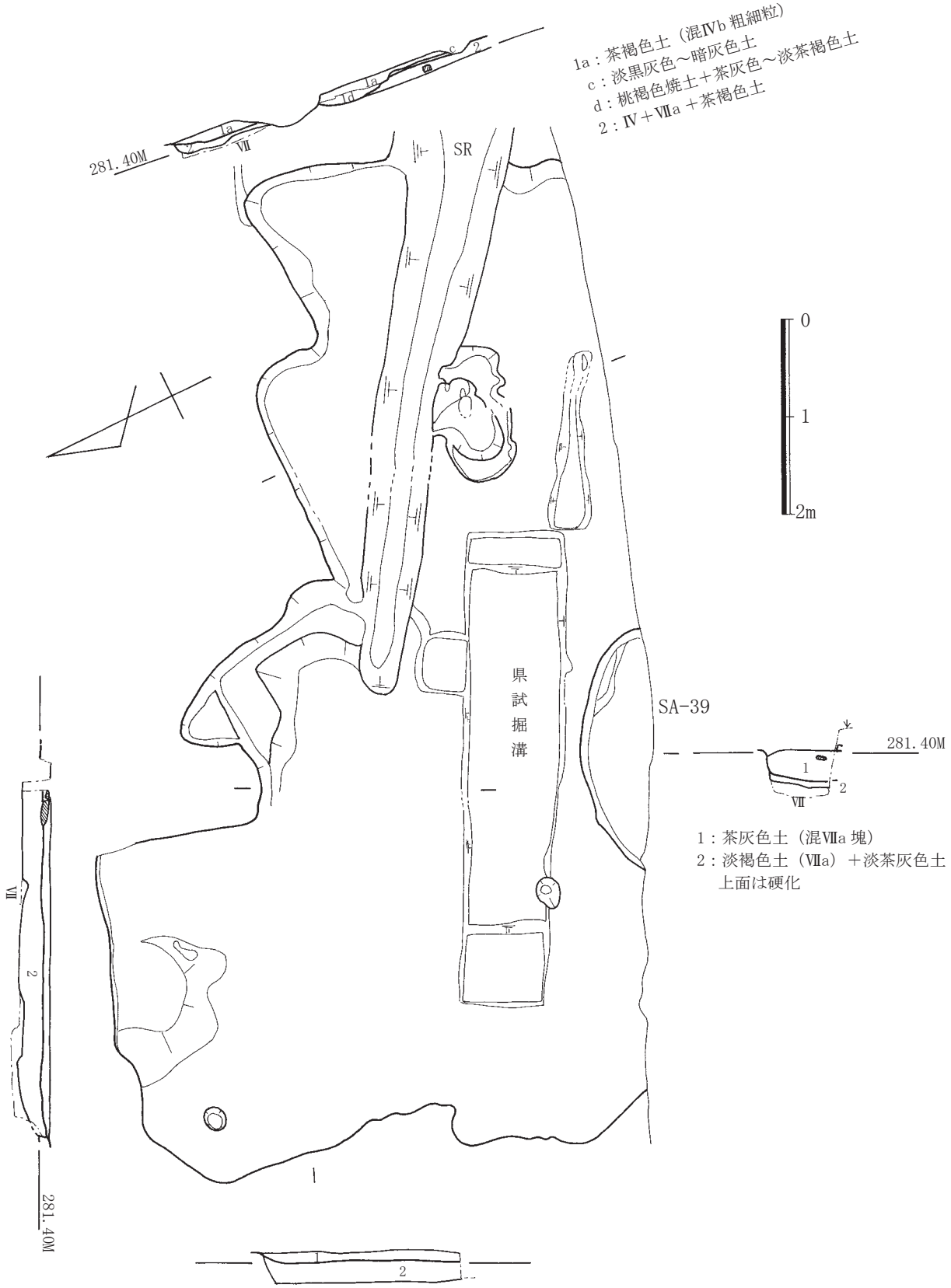
図化できた土器はやや多く、古墳時代前期末前後の土師器（第89～91図）のほか、小鉄片2、金属用砥石（1572）、光沢のある小型砥石（1561）、敲磨石などの石器が出土している。火処Ａの1ｃ層水洗選別においては、砂粒・炭片と砂鉄大匙18（173ｇ）が、火処Ｂからは砂鉄大匙6（62ｇ）



第56図　SA-37　遺構実測図

が採取できた。

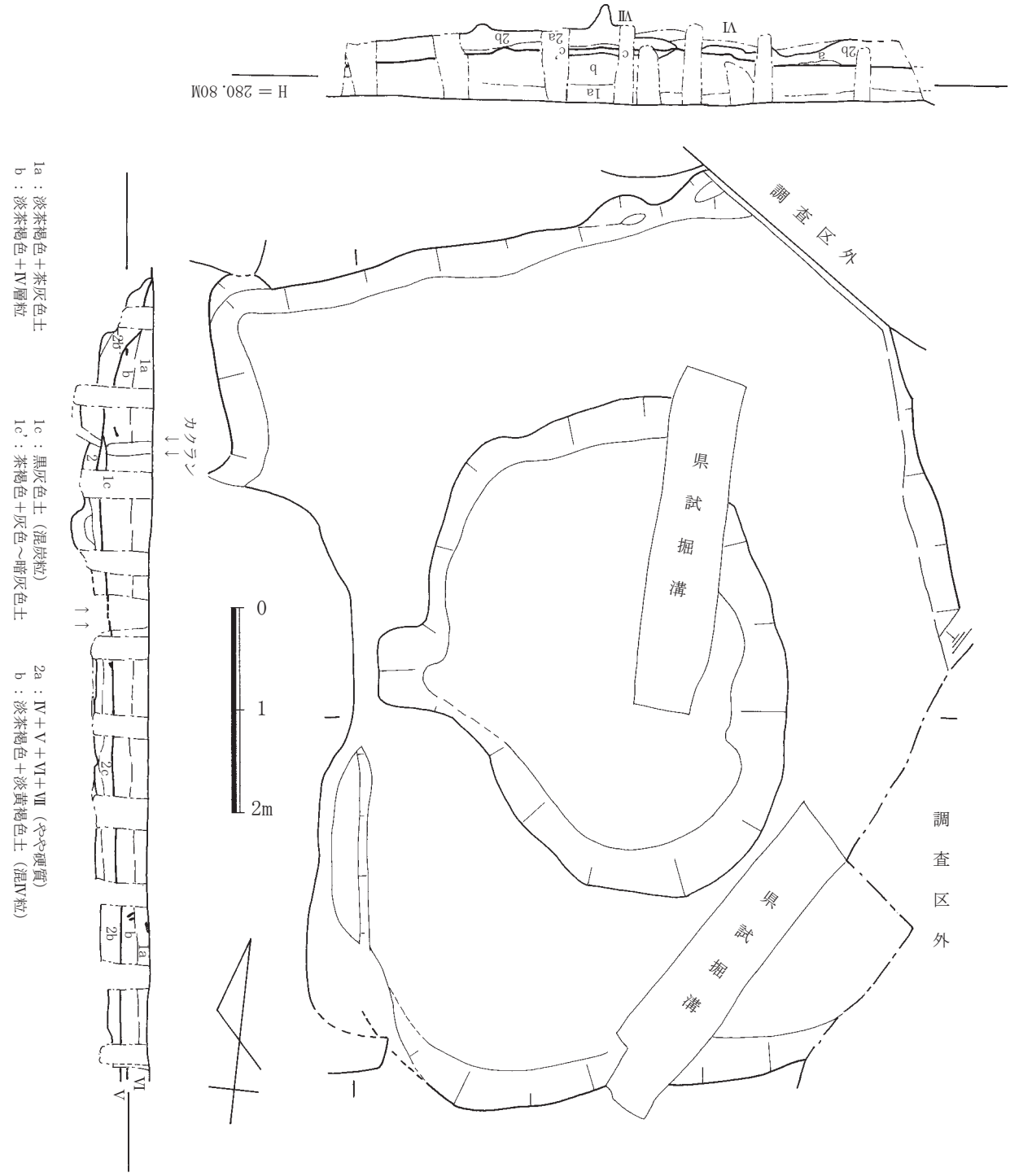
SA-35（第 54 図） 3 ～ 4 棟が重複している状態であるが、西側を 34 A、東南部を 35 B、北部を 46、東部を 35 C として報告する。



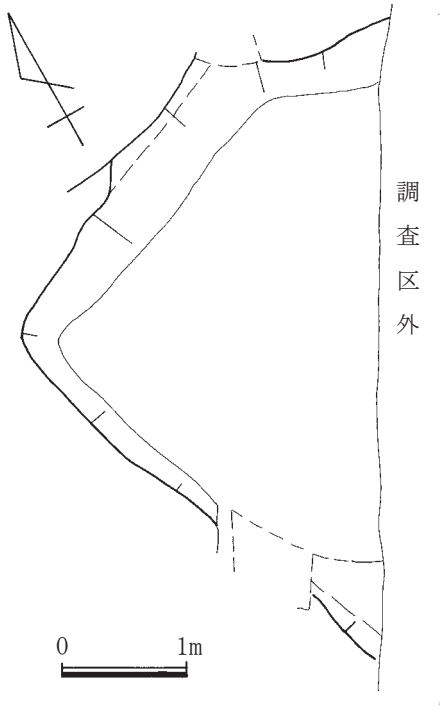
第 57 図　SA-38、39　遺構実測図

35 Ａは、南北 9.4 ｍで北西部に間仕切りを有する竪穴建物で、東西 3 ｍほどしか遺存していない。西端付近には、幅 70 ㎝・外径 2.6 ｍで長さ 2.5 ｍほど続く溝状掘込みがある。

35 Ｂは直径 6.5 ｍほどの円形基調タイプである。深さ 26 ～ 32 ㎝でやや硬い床面になり、内区はさらに 24 ㎝下がって硬い床面になる。主柱穴は 3（Ｐ 1 ～ 3）で、南東部の柱穴が未検出である。Ｐ 1 －Ｐ 2 間は 2.60 ｍ、Ｐ 1 －Ｐ 3 間は 2.70 ｍである。Ｐ 1 は深さ 60 ㎝、Ｐ 2 は 76 ㎝あるが、Ｐ 3 は 25 ㎝しかない。



第 58 図　SA-40　遺構実測図

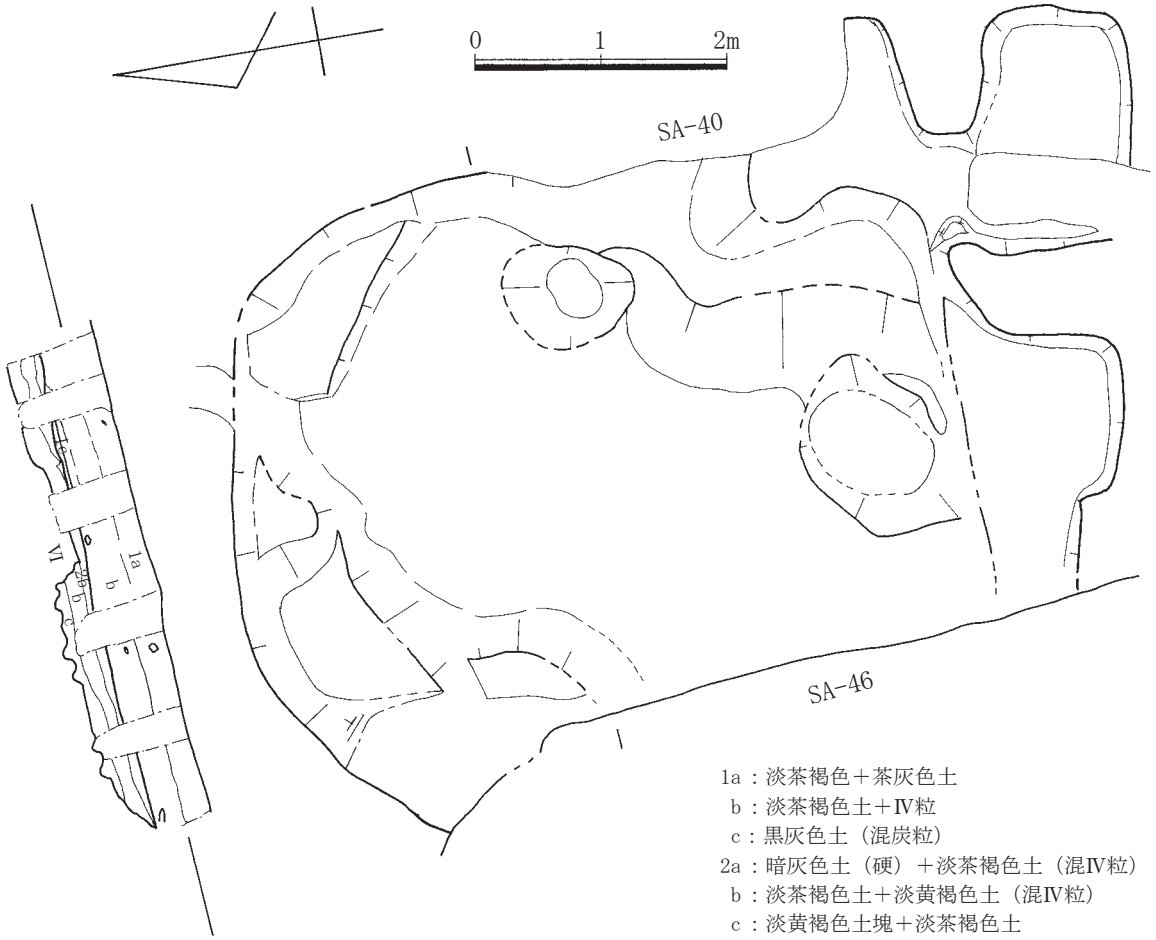


第 59 図　SA-41　遺構実測図

35 Ｃは、東西 6.25 ｍ以上、南北 8.1 ｍ以上の隅丸長方形を基調とするプランである。深さ 32 ～ 40 ㎝でかなり硬い床面になり、中央部 3.2 × 2.2 ｍの隅丸長方形の内区は 5 ～ 12 ㎝下がり、硬い床面になり、火処となって黒灰色土が広がっている。貼床は、6 ～ 13 ㎝の厚さがある。

出土遺物はＡ・Ｂが少し混在しているが、古墳前期後半の土器（第 92 ～ 95 図）、鉄鏃茎部 2（1395・1397）・刀子 1（1396）、大小様々な砥石（1578・1589）がある。1584 は光沢があり、極部研磨砥石と推定する。台石 2 点（1596・1597）は、調査区内最大である。

35 Ａの 1 ｃ層水洗選別では、砂粒、炭粒のほか砂鉄大匙 3（27 ｇ）が採取できた。35 Ｃの 1 ｃ層からは砂鉄大匙 1（7 ｇ）を採取、SA － 35 Ｃ北西角の 1 ｃ層からは、ガラス粟玉 2（1424・1425）と砂鉄を大匙 4（35 ｇ）採

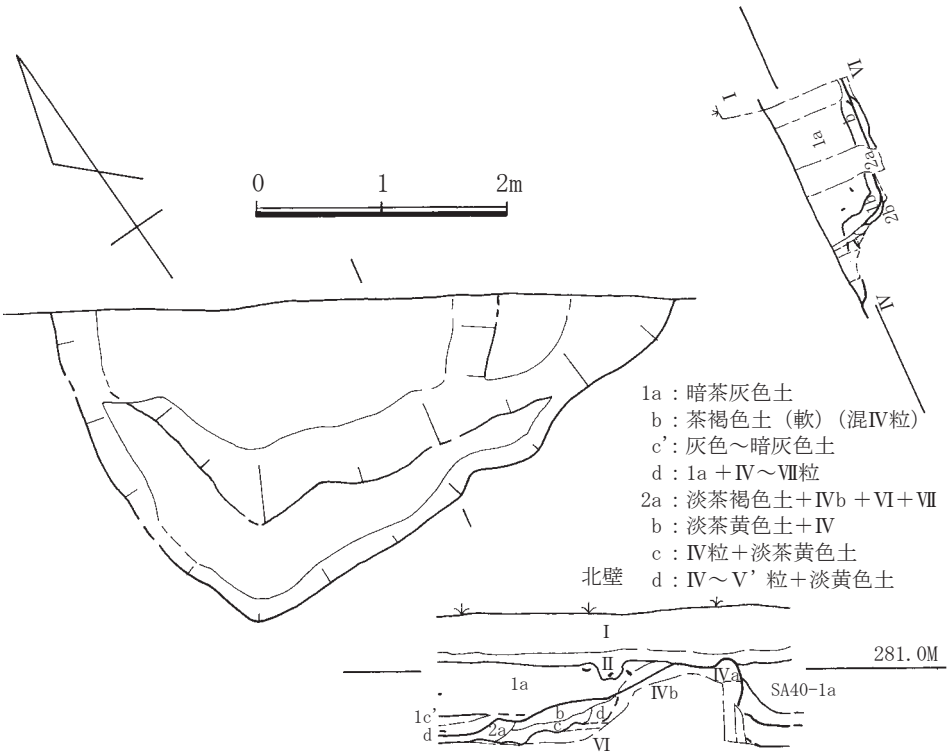


第 60 図　SA-42　遺構実測図

取している。

SA-46（第54図）

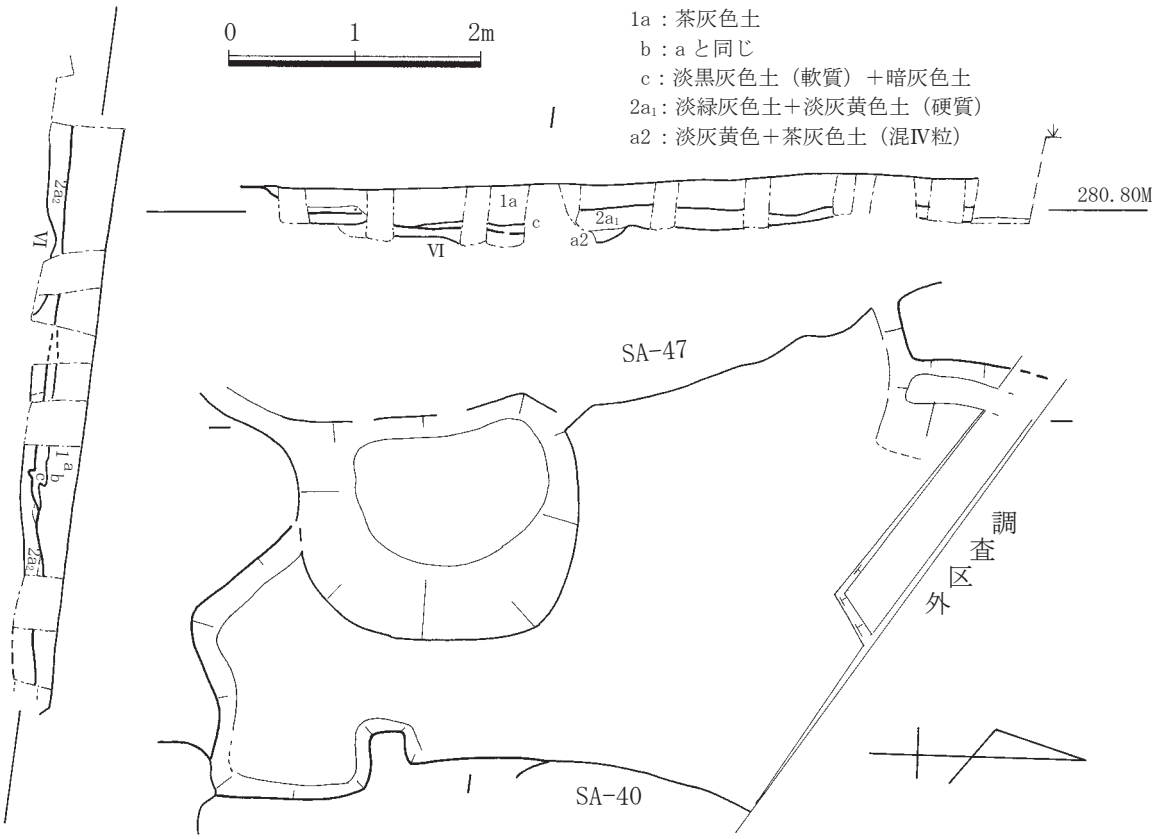
SA-35 Cに切られていると判断した。東西6ｍ・南北2.2ｍが遺存する。深さ20㎝でやや硬い床面になる。厚さ8～17㎝の貼床がある。SA-35 Bの張り出し部であった可能性を残す。出土遺物は、SA-35 Cと混同し分離できない。



SA-36（第55図）

東西10ｍ以上・南北7ｍ以上であるが、南壁以外は不詳である。南東部のSK-141とそれに切られた大型土坑及び

第61図　SA-43　遺構実測図



第62図　SA-44　遺構実測図

県試掘溝以東が SA-36 から除外される。深さ 8～15 ㎝でやや硬い床面になり、中央付近の 3.2×3.7ｍが 30 ㎝深くなり、床は硬く締まる。底面北寄りの最下層は、厚さ５㎜の炭片を含む。内区東南部の長径 1.6ｍ・短径 0.9ｍ・深さ 0.5ｍの掘り込みに１ｃ層が溜まり、肩部で台石が出土した。
主柱穴は確認できていない。

南辺中央部においては、口径 1.1ｍ・底面 1.4×1.6ｍ・深さ 1.0～1.1ｍ・断面フラスコ型の、貯蔵穴を想定させる掘り込みがあったが、クサリ礫混じりの硬いⅦｂ層を 30 ㎝も採掘しており、採掘後すぐに埋め戻して床面にした状況がみられた。硬く締まった床面２ａ層は、このⅦｂ層を混和させていることが証明された。貼床は、6～18 ㎝の厚さがある。

出土遺物は、古墳前期後半の土器（第 95・96 図）に手捏ね土器（959）や丹塗り（969）もあり、鉄製小型圭頭鏃２（１点は清掃中に紛失）（1398）と小型刀子（1400）、抉入柱状片刃石斧（1598）等、少数の石器が混じる。又、火処１の１ｃ層水洗選別によってガラス小玉（1426）と砂鉄を大匙 12（124ｇ）、火処２では砂鉄大匙６（63ｇ）を採取した。

SK-141（第 55 図）　調査区の東南端に位置した、長径 1.96ｍ・短径 1.56ｍの倒卵型を呈し、深さ 30 ㎝を測る。土師器片と焼土が広がっていたが、床面は被熱していない。焼土混じりの土を水洗選別すると 2～14 ㎜の鍛造剥片 20 片と砂鉄大匙 13（129ｇ）を採取した。鍛冶具は出土していないが、ミニチュア刀子（1399）と切出型の小型刀子１（1417）がある。

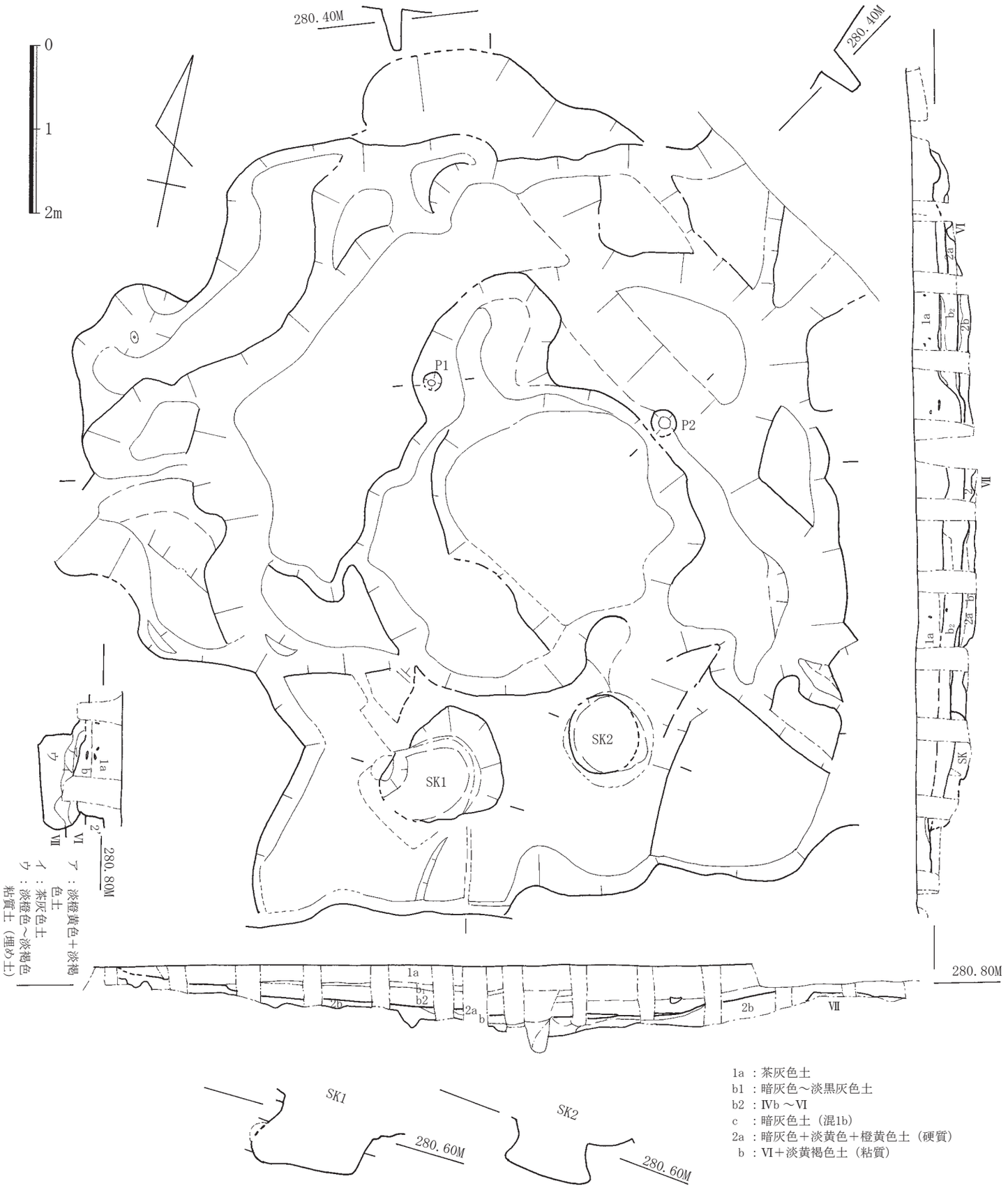
SA-37（第 56 図）　南北 9ｍ・東西 6ｍ以上、推定直径 11～12ｍと推定される大型の円形基調タイプの間仕切り住居である。北側に幅広い間仕切りがあるが、北東部にかけては消滅している。深さ 44～56 ㎝で床面（削平を受けている西半分は 8～20 ㎝厚）に達し、直径 5.3ｍ・深さ 20 ㎝に掘り込まれた内区床面は硬く締まっている。主柱穴は東（P1,床面－47 ㎝）と南（P2,床面－48 ㎝）の２か所で検出した。柱間は 2.95ｍである。貼床は上層（2a）6～9 ㎝にⅦｂ層混和土を敷き、2 ｂ層は 6～34 ㎝の厚さがある。

出土遺物としては、古墳前期後半の土器（第 97・98 図）と高坏転用鞴の羽口（1016）、鉄鏃茎部３（1401・1402）、鉄片１（1403）、赤色顔料が付着した台石（1620）、敲磨石、様々なタイプの器面調整具（1608～1611）などがあり、１ｃ層の水洗選別により、砂鉄大匙３（26ｇ）を採取した。

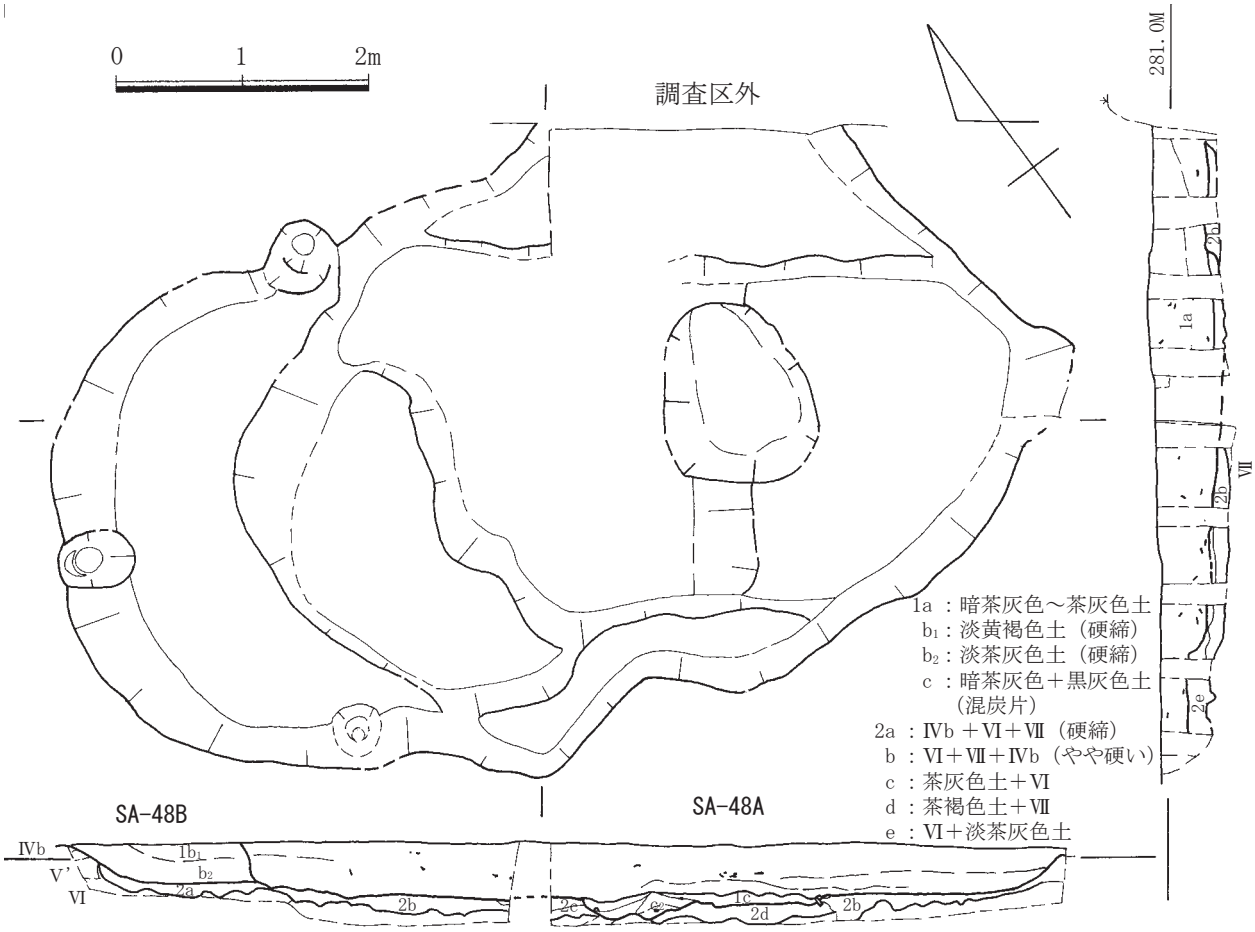
SA-38（第 57 図）　長さ 10.0ｍ・幅 5.6ｍ以上の、方形基調の間仕切り住居である。西側中央の長さ 40 ㎝ほどの間仕切りは、退化している。深さ 4～14 ㎝でやや硬い床面になる。調査範囲における底面の高低差はあまり無い。北東部においては幅 0.6～1.2ｍの近代の農道跡があり、火処と重複する。長径 1.40ｍ・短径 0.8ｍ強の火処は、深さ 11 ㎝で焼土を含み、底面も被熱・赤変している。なお、鉄鉱石製(？)の敲石が出土しているので、報告書『Ⅱ』に掲載する。

出土遺物は少ないが、古墳前期後半の土器（第 98 図）、敲磨石等と石包丁（1623）などのほか、１ｃ層水洗選別によって砂鉄大匙５（50ｇ）を採取した。994 は、壷底部を皿状に加工している。

SA-39（第 57 図）　SA-38 の南西部を切る。幅 2.28ｍ・長さ 0.74ｍのみ検出した。現況地形は、南 2ｍで急斜面であり、若干の浸蝕を考えても直径 3ｍ程度が限界であろう。



第 63 図　SA-47　遺構実測図



第 64 図　SA-48　遺構実測図

深さ 31 ㎝で少し締まった床面になり、厚さ 5 ～ 7 ㎝の貼床がある。出土遺物は少なく、壷の底部 1 点（1026）が図化できた。

SA-40（第 58 図）　東西 4.6 m・南北 8.2 ～ 8.8 mの隅丸長方形を呈する。北西角を SA-44 に僅かに切られ、その 1.6 m南の上場は西へ湾曲して間仕切りの様相を呈する。深さ 34 ～ 37 ㎝で硬い床面に達し、内区は、長径 5.2 m・短径 3.3 mの楕円形の西側中央部に長さ 45 ～ 60 ㎝・幅 80 ㎝の突出部が付くプランで深さは 10 ㎝である。底面は硬く、中位～北側に 1 c 層がある。主柱穴は、未検出である。貼床は 10 ～ 30 ㎝の厚さがある。

出土遺物は多く、古墳前期後半から中期前半（第 98 ～ 100 図）が主と思われるが、波状文を有する須恵器片（1079）があるので中期後半まで下がる可能性がある。このほか、鉄鏃茎部（1406）、小型圭頭鏃（1409）、小型刀子 2（1407・1408）、紡錘車（1080）、編物石、大小様々な砥石、器面調整具などの石器（第 137 図）、管玉（1432）、1 c 層水洗選別においては、鍛造剥片状小片 20 と砂鉄大匙 19（189 g）を採取している。

SA-41（第 59 図）　方 4.2 m程度と推定される。深さは 60 ㎝ほどでやや硬い床面になる。底面は歪な形で柱穴も火処も未検出である。

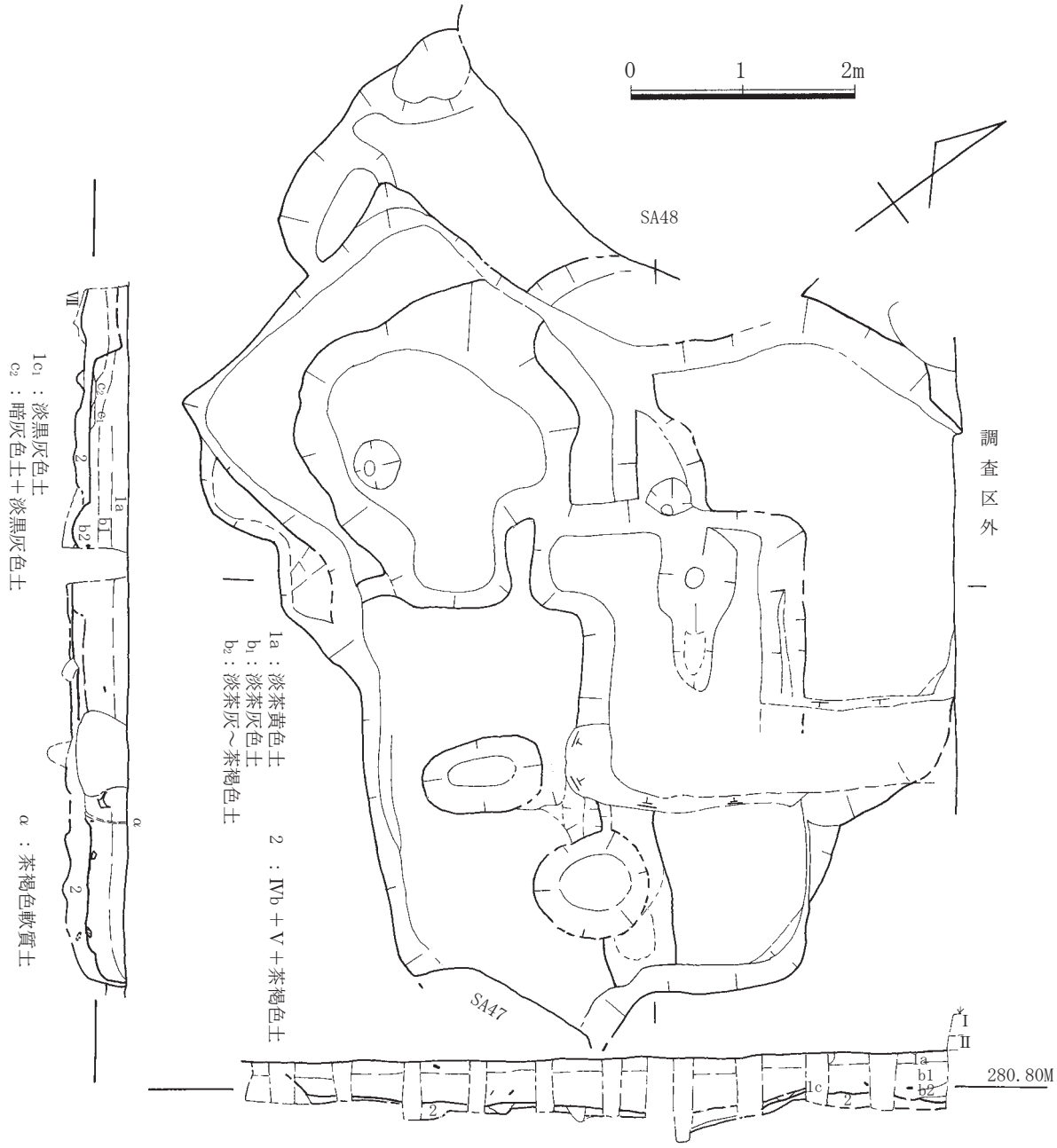
出土遺物は、古墳中期前半かと思われる土師器（第 101・102 図）と器面調整具（1648）等の石器のほか 1 c 層水洗選別によって砂鉄大匙 1（7 g）を採取している。

SA-42（第 60 図）　半円半方形を基調とし、南北 7.1 m・東西 5 m以上を測り、南と東南部に間仕切りを有する。深さ 11 ㎝でやや硬い床面になり、南北 5 mがさらに 35 ㎝ほど下がる内区になる。底面の東側と南側に深さ 10 ㎝の土坑状掘込がある。主柱穴は不明である。南東部の 1.90 × 1.28 mの区画は深さ 10 ㎝程で床面になり、覆土に炭片がやや多くみられた。貼床は 8 ～ 30 ㎝あり、上層は硬い 2 a 層である。

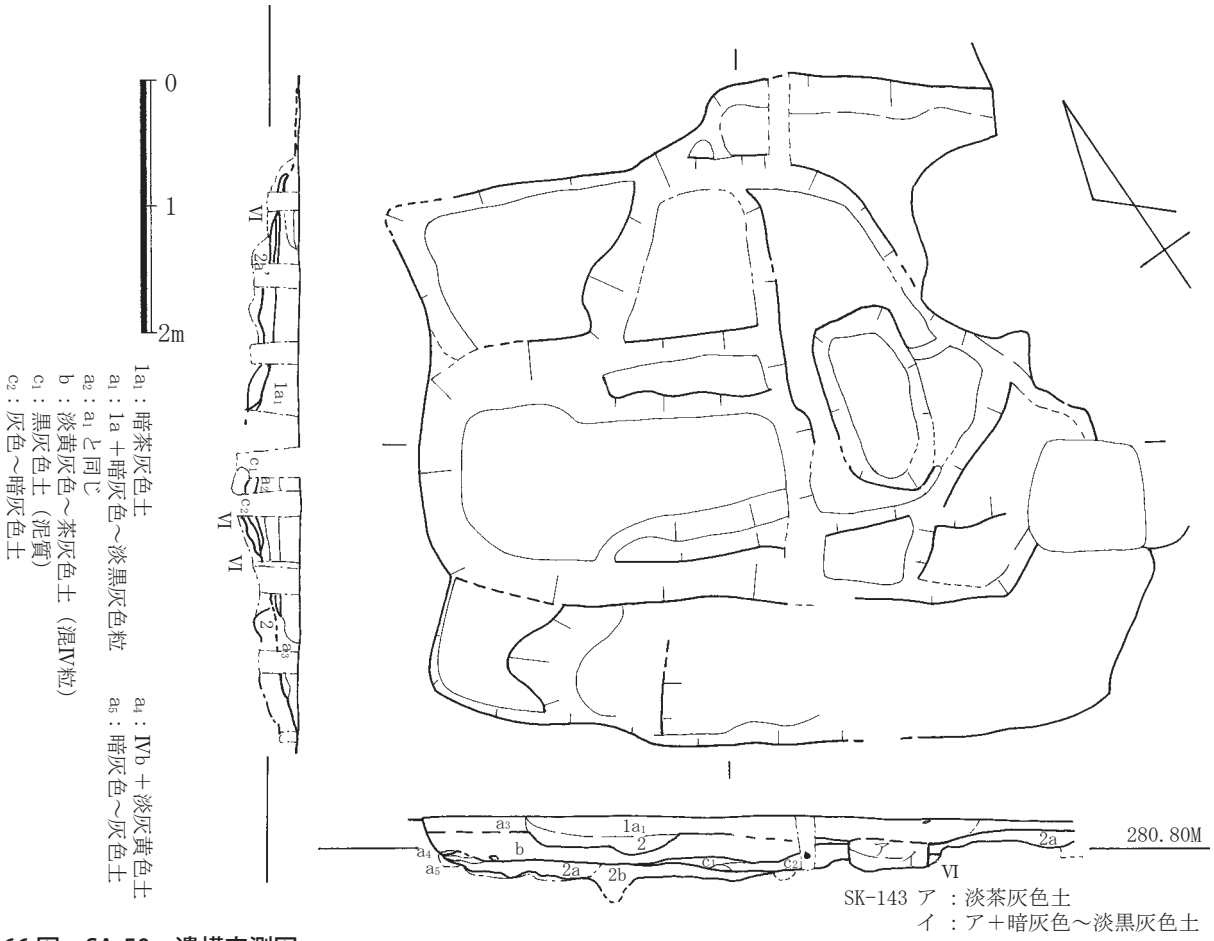
出土遺物は少なく、古墳前期後半の土器（第 102 図）と鉄鏃茎部 2（1410・1411）がある。

SA-43（第 61 図）　東西 4.2 m以上、南北 3 m以上の方形基調を呈する。深さ 10 ～ 14 ㎝でやや硬い床面になり、20 ～ 60 ㎝幅のテラスの内側は 40 ㎝低い内区になる。

出土遺物は少なく、古墳前期後半の土器（第 102 図）がある。

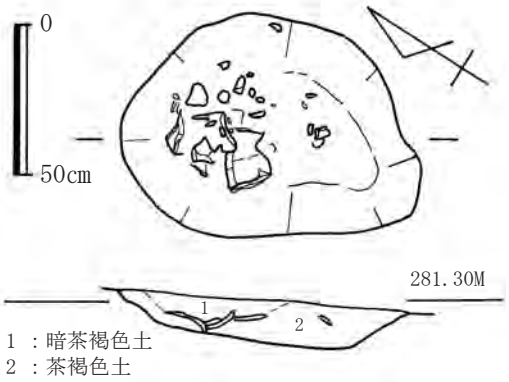


第 65 図　SA-49　遺構実測図



第66図　SA-50　遺構実測図

SA-44（第62図）　東西3.5ｍ以上・南北6.4ｍ以上を測り、北端の間仕切りと南端のコーナー状の形状、長さ30㎝・幅28㎝の小型間仕切りを考慮すると、方形基調の間仕切りタイプが想定される。深さ15～32㎝で床面になる。西南部は、2.15×1.8ｍ・深さ0.2ｍの掘り込みで、1ｃ層が覆う火処である。柱穴は未確認である。貼床は10～18㎝厚である。



第67図　SK-95　遺構実測図

出土遺物は、古墳前期後半の土師器（第102・103図）と鉄片（1412）、器面調整具（1657）などがある。1ｃ層水洗選別では、砂鉄大匙9（87ｇ）を採取している。

SA-45　SA-40・42・44・46・47に挟まれた4×1.4～2.6ｍの範囲を想定していたが、遺構検出を2～3回繰り返すとⅣa層が現れ、遺構ではないことが判明したが、このまま欠番とした。

SA-47（第63図）　東西9.0ｍ以上・南北10.0ｍの不整円形基調タイプで、西南部が内側に突出する。深さ45～55㎝で硬い床面になり、中央部4×3.2ｍほどは10～14㎝下がる内区・火処となり、1ｃ層が底面東部を薄く覆う。北側には、柱間2.80ｍの柱穴（Ｐ1・Ｐ2）がある。Ｐ1は、直径22㎝・深さ50㎝、Ｐ2は、直径29×32㎝・深さ48㎝を測り、底面は貼床である。

南側では2基の土坑を検出した。SK-1は、長径1.52ｍ・最大幅1.32ｍの倒卵型のプランで、深さ65～80㎝、西奥はさらに7㎝下がる。底面最大幅は1.30ｍで、西奥周辺は硬いⅦｂ層を掘り込んでいることから、Ⅶｂ層採掘穴と断定できる。従って、覆土は人為的埋め土であった。SK-2は、89×99㎝の略円形プランで、深さ50㎝の断面フラスコ型で、底面最大径は1.04～1.06ｍであり屋内貯蔵穴と推定する。貼床は10～23㎝の厚さで、内区には硬い2ａ層が施されている。

出土遺物は多く、古墳中期の土器（第103～105図）と、編物石や砥石・大小様々な器面調整具（1666～1671）などが出土し､1ｃ層水洗選別においては､砂鉄大匙15（148ｇ）を採取している。

SA-48（第64図）　検出時は長径8.2ｍであったが、断面観察では、西端1.4ｍ分が古段階もしくは建替であることがわかった（ＡとＢに分別）。南北は、4.6ｍほどの略楕円形プランである。深さ40㎝でやや硬い床面になり中央やや東側に、長径1.48ｍ・最大幅1.2ｍの倒卵型で深さ6～10㎝の火処がある。主柱穴は不詳である。貼床は10～17㎝あり、西端のSA-48Ｂには硬い2a層が施されている。

トレンチャーに切り刻まれる中、奇跡的に一括土器が残っていた。2列に分断されていたが、甕・壷・高坏・鉢が入れ子状になっている部分もあり、埋没途中の一括廃棄と思われる。中には須恵器瑝模倣品（1231）もあり、古墳時代中期後半の良好な一括資料となった。高坏（1253）は白色系で、搬入品の可能性がある。1ｃ層水洗選別では、ガラス粟玉1（1427）と滑石製臼玉2（1428・1429)、砂鉄大匙10（105g）が採取された。この他、不明鉄器（1413）と刀子1（1414）と編物石等の大型石器が出土している。小型の壷1235は、破損後再加工されている。

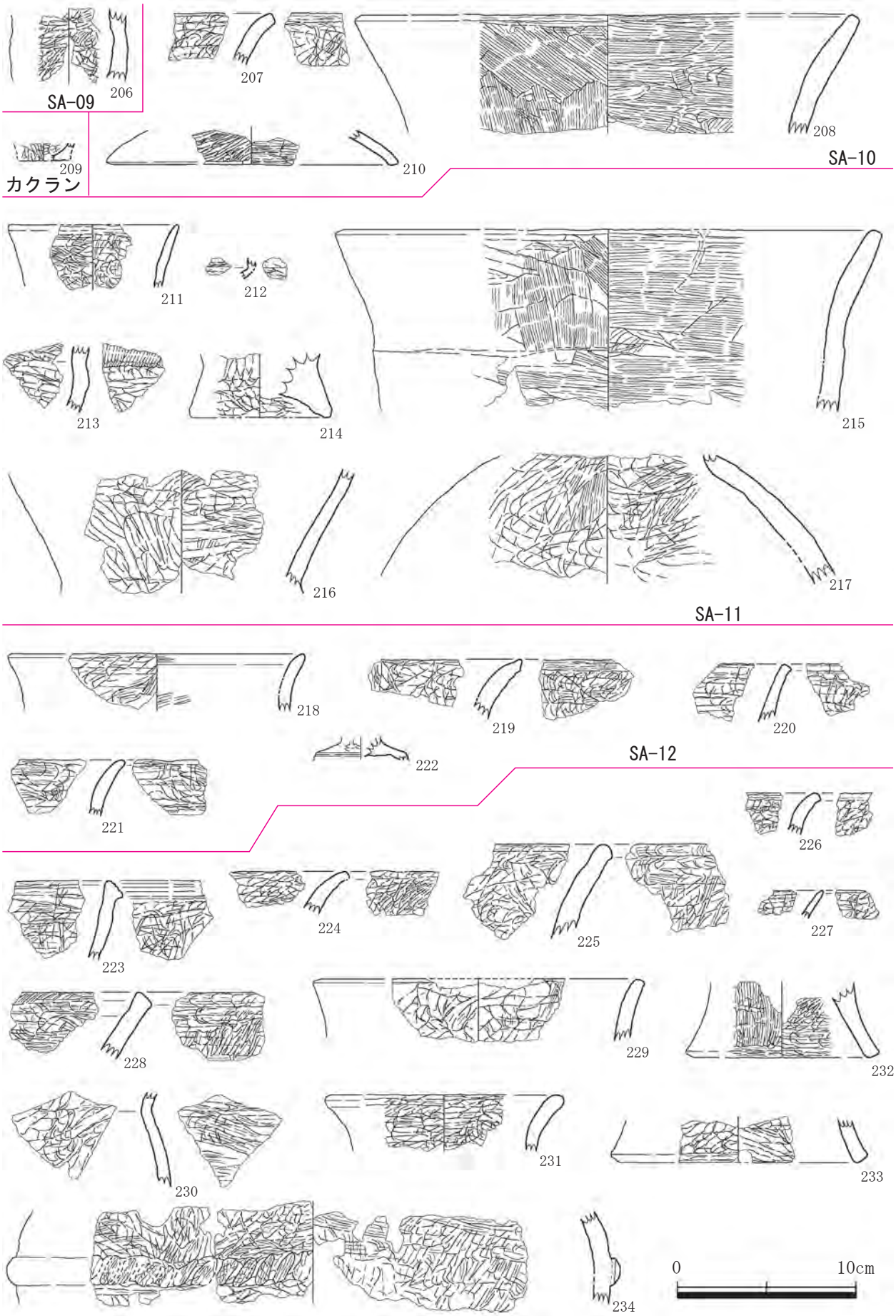
SA-49（第65図）　長径8.4ｍ・短径7ｍほどの不整形プランである。深さ34～40㎝でやや硬い床面になり、中央寄りは、さらに14～18㎝下がる。火処は東部にあり、長径1.0ｍ･短径0.9ｍ･深さ13～20㎝を測る。主柱穴は未検出である。

出土遺物は、古墳前期後半の土器（第112・113図）と小型刀子（1415)、磨製石鏃（1689)、編物石や鉄床石の可能性のあるもの（1691)、1ｃ層水洗選別においては、長さ12㎜の鉱滓と滑石製臼玉1（1430)、砂鉄大匙4（42ｇ）を採取した。

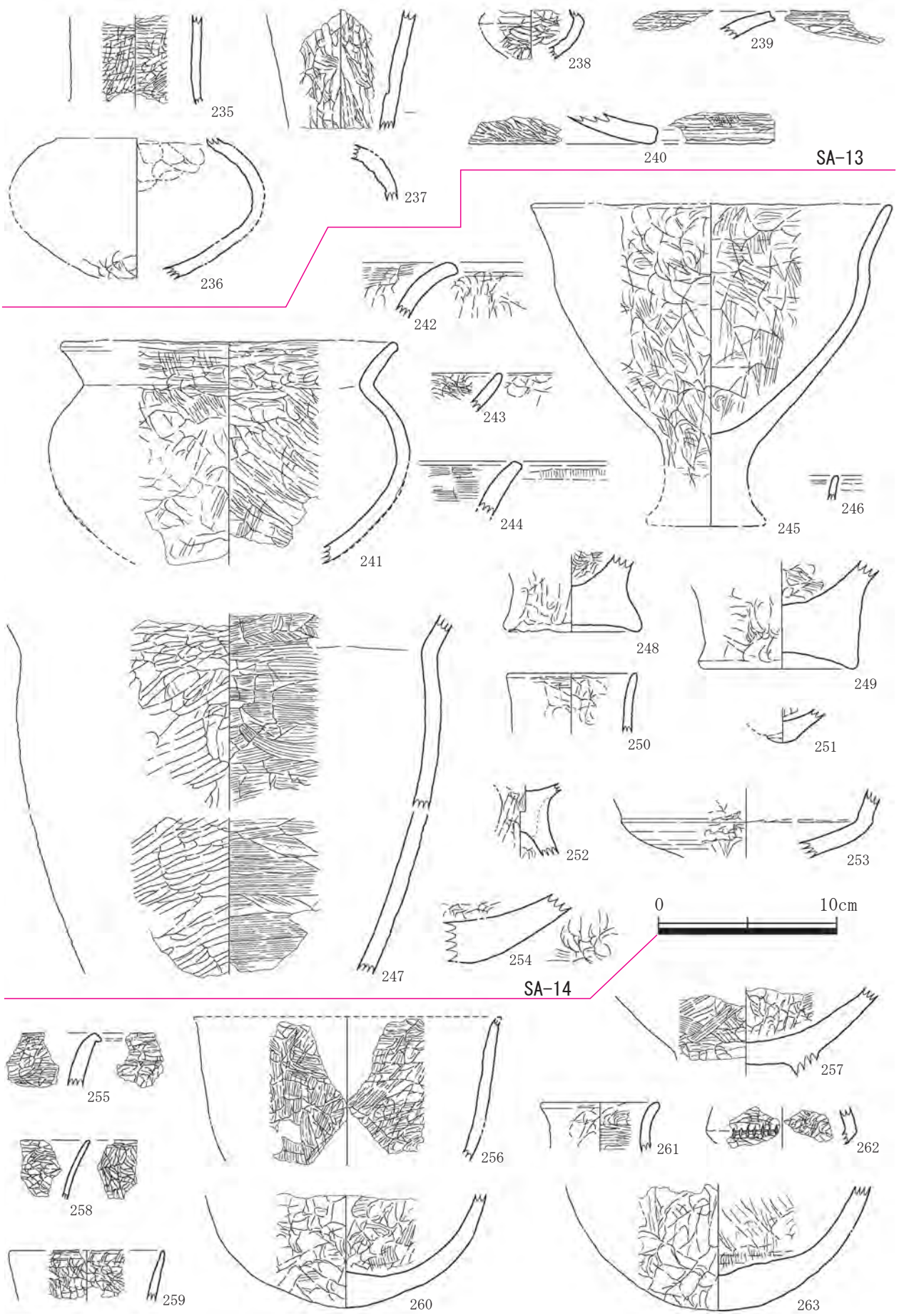
SA-50（第66図）　長さ5.8ｍ・幅3.8～5.30ｍの不整方形プランである。深さ8～18㎝でやや硬い床面になり、中央部はさらに15～20㎝下がり、火処となっている。柱穴は未検出で、貼床は厚さ6～16㎝で、中心部のみ2ａ層が施されている。

出土遺物は古墳前期の土器（第114図)、1ｃ層水洗選別では、砂鉄大匙9（87ｇ）を採取した。

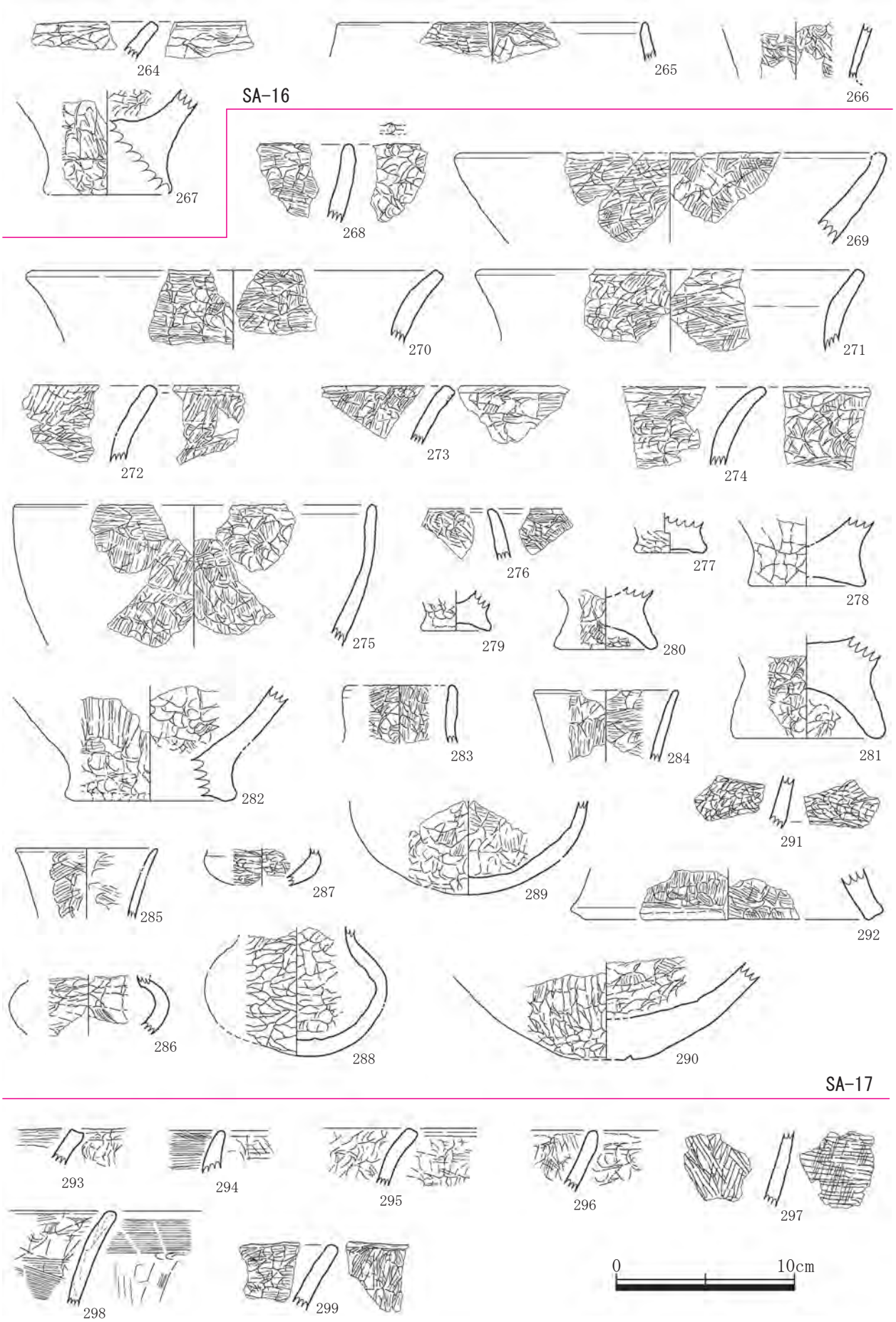
SA-51　SA-31に切られた、長さ・幅7～9ｍの不整形なプランで、貼床のみ遺存する。東部にも歪な形の張り出しがあり、別遺構が重複しているが、未確認である。



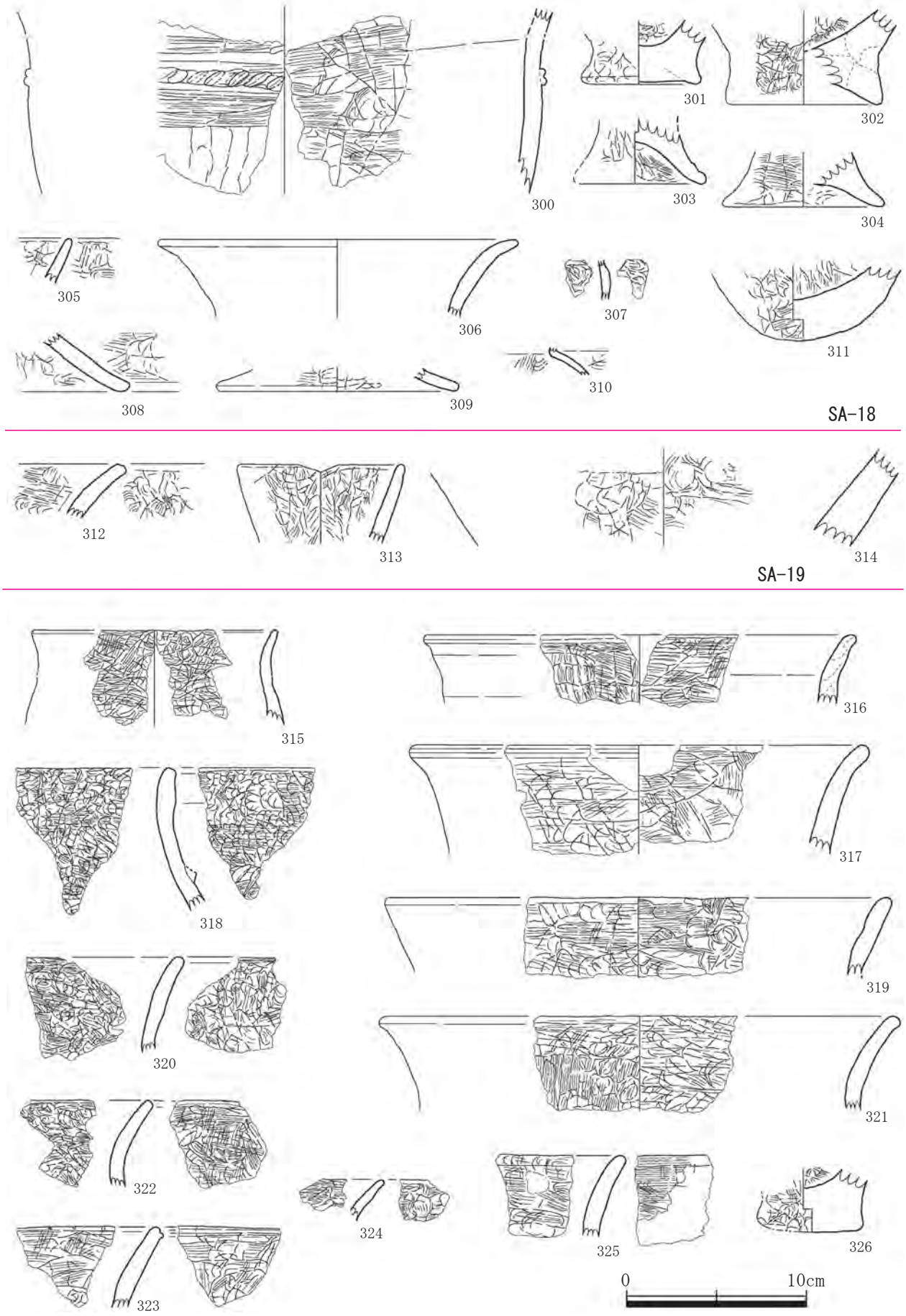
第 68 図　SA-09、10、11、12、13　出土土器　実測図（209 はカクラン）



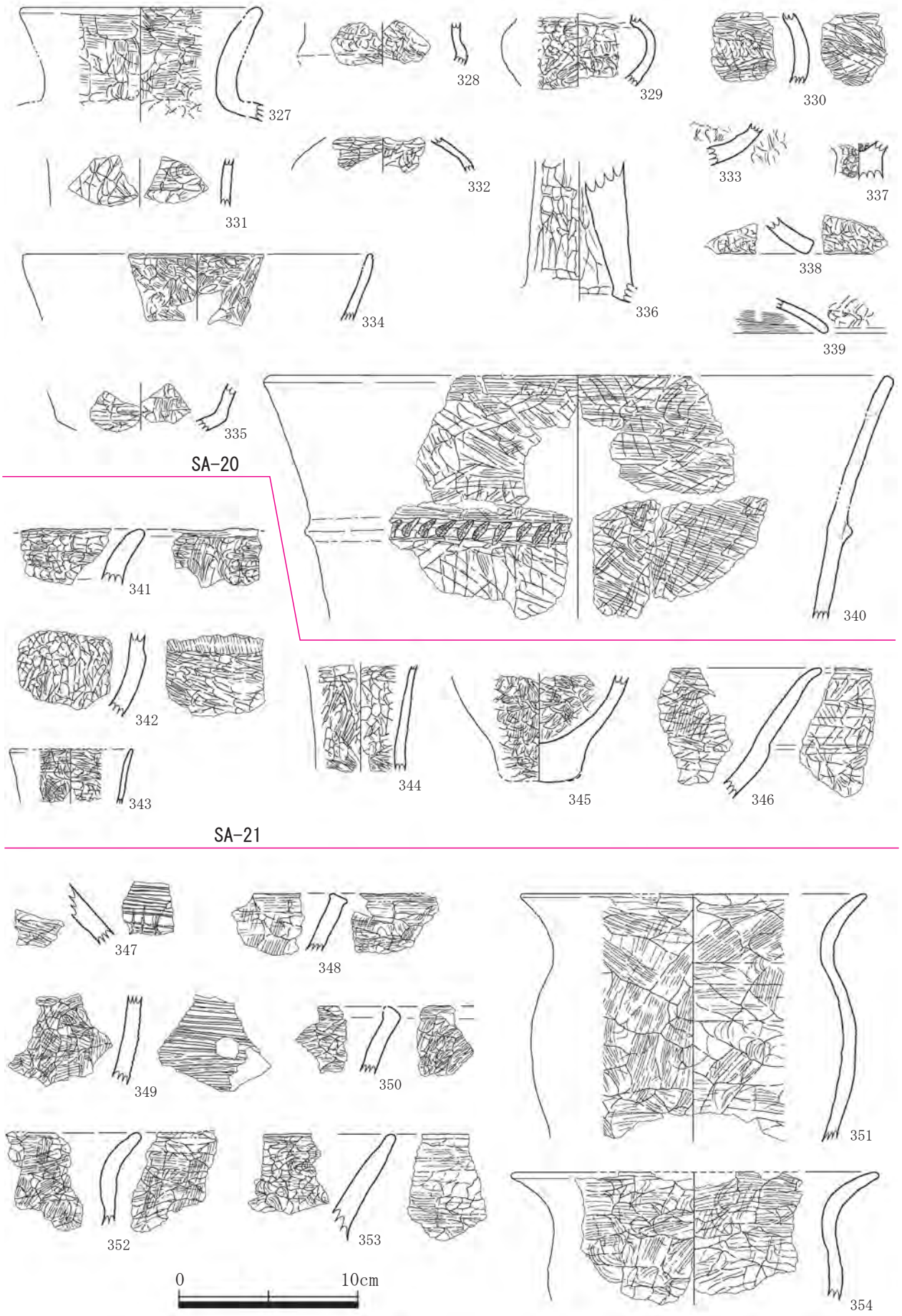
第 69 図　SA-13　出土土器（2）、SA-14、15　出土土器　実測図



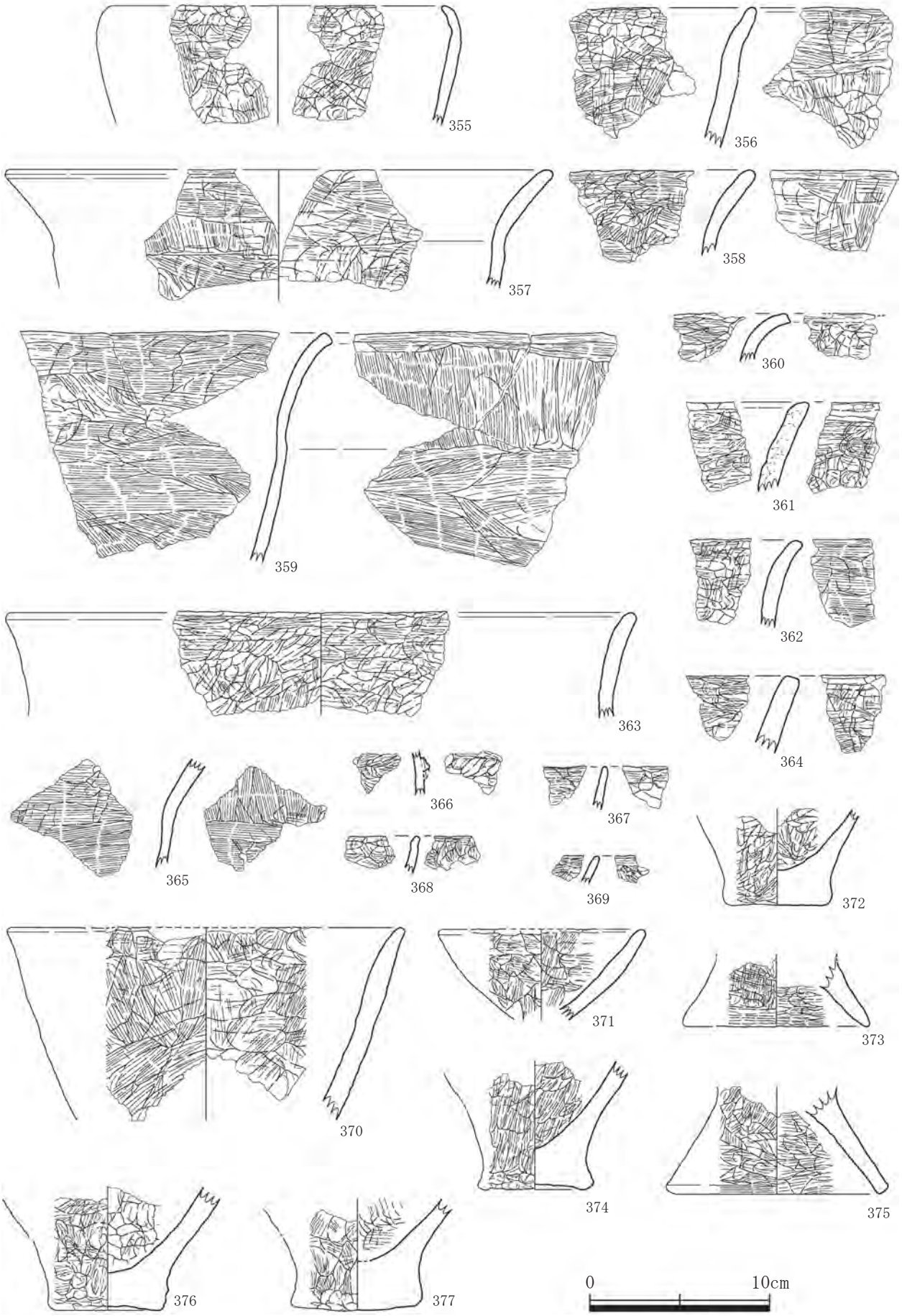
第 70 図　SA-16、17、18　出土土器　実測図（1）



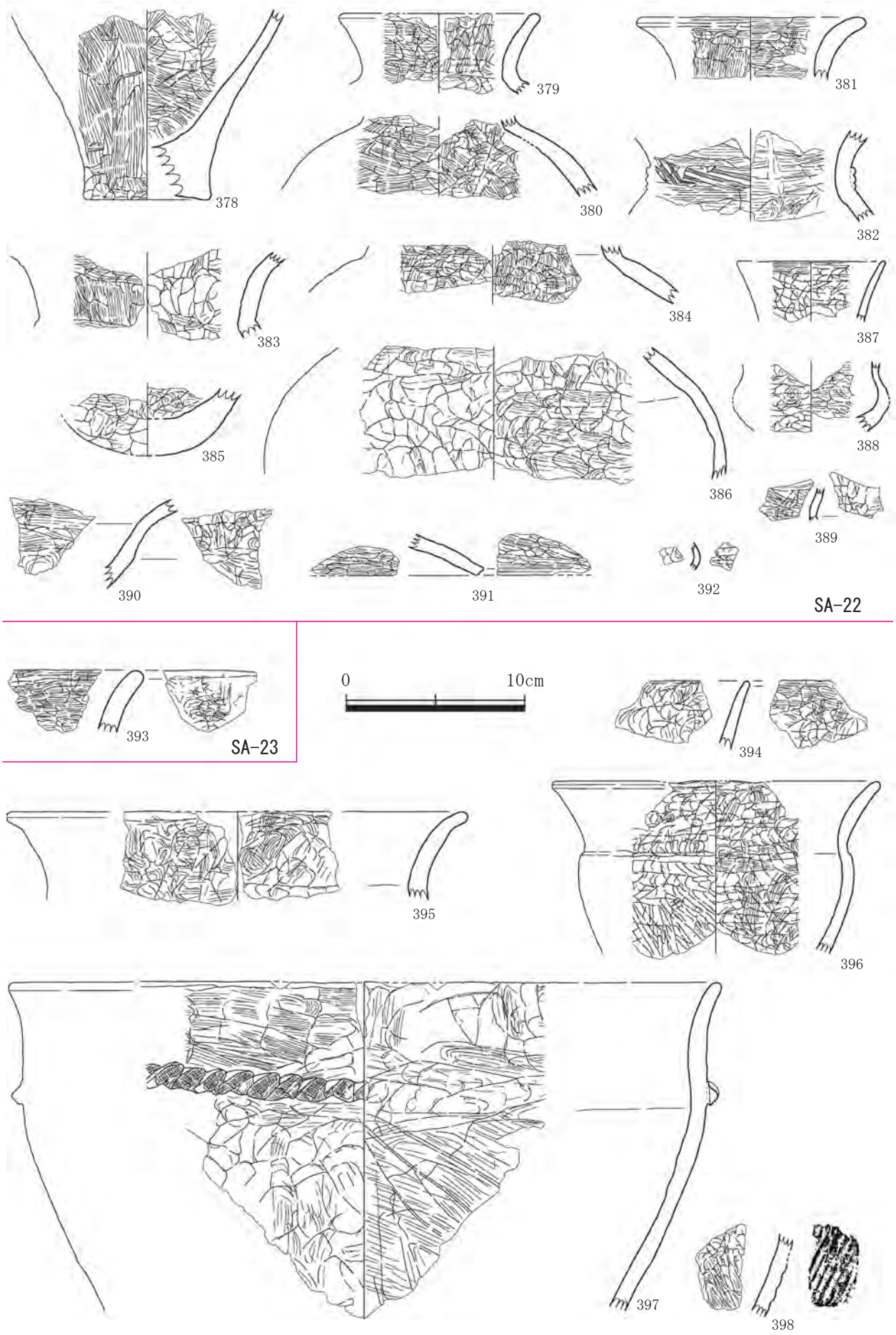
第 71 図　SA-18　出土土器（2）、SA-19、20　出土土器　実測図



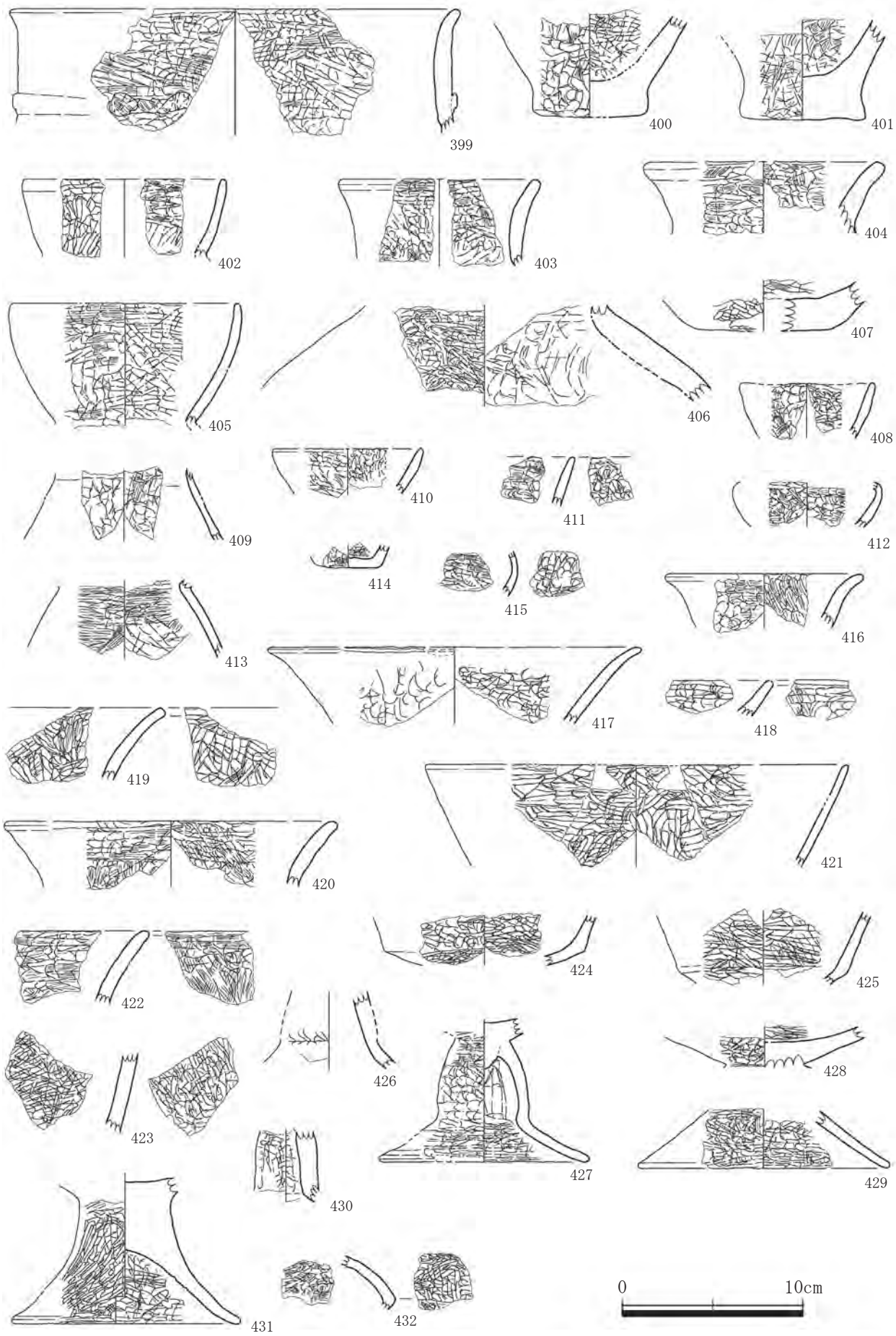
第 72 図　SA-20　出土土器（2）、SA-21、22　出土土器　実測図（1）



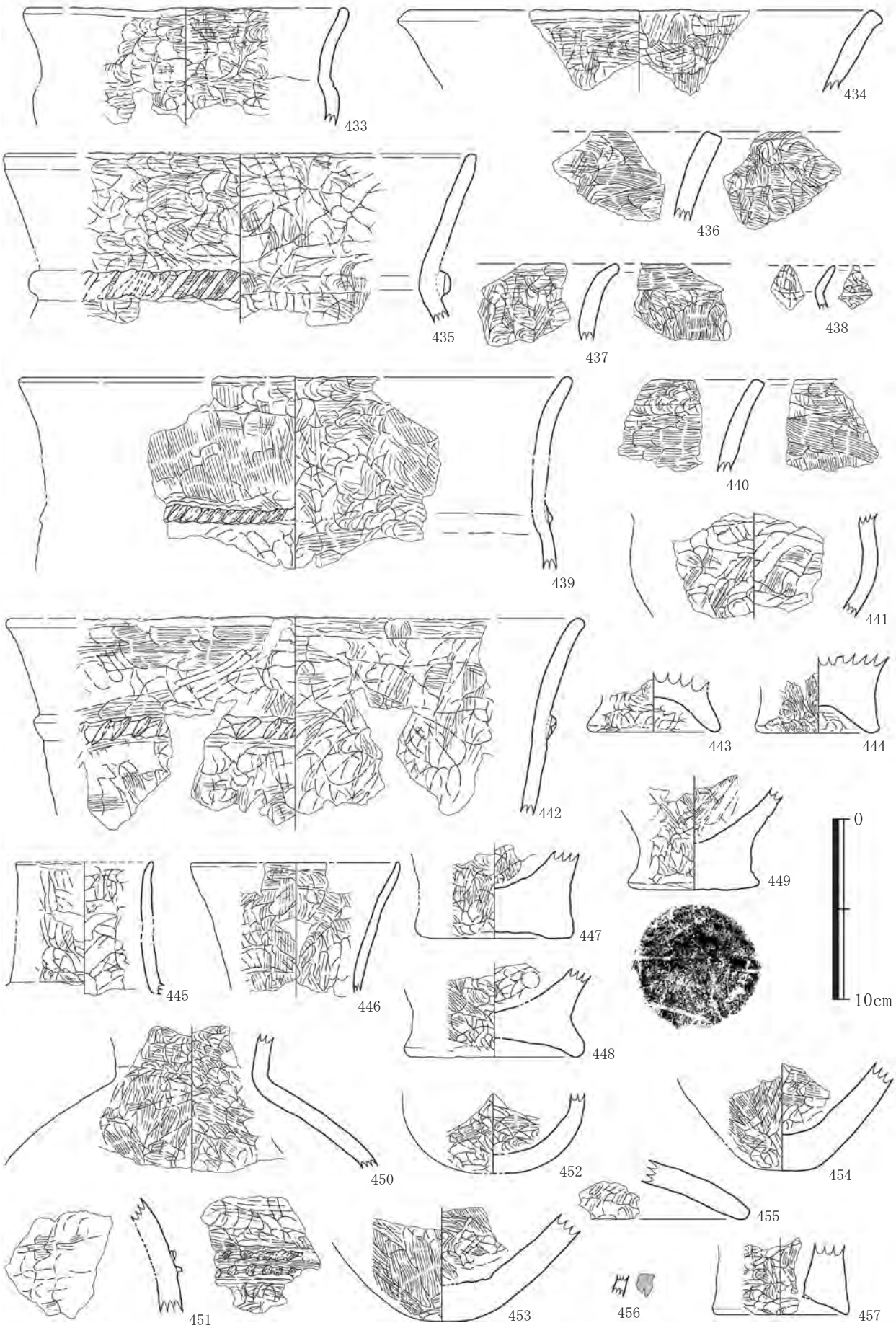
第 73 図　SA-22　出土土器実測図（2）



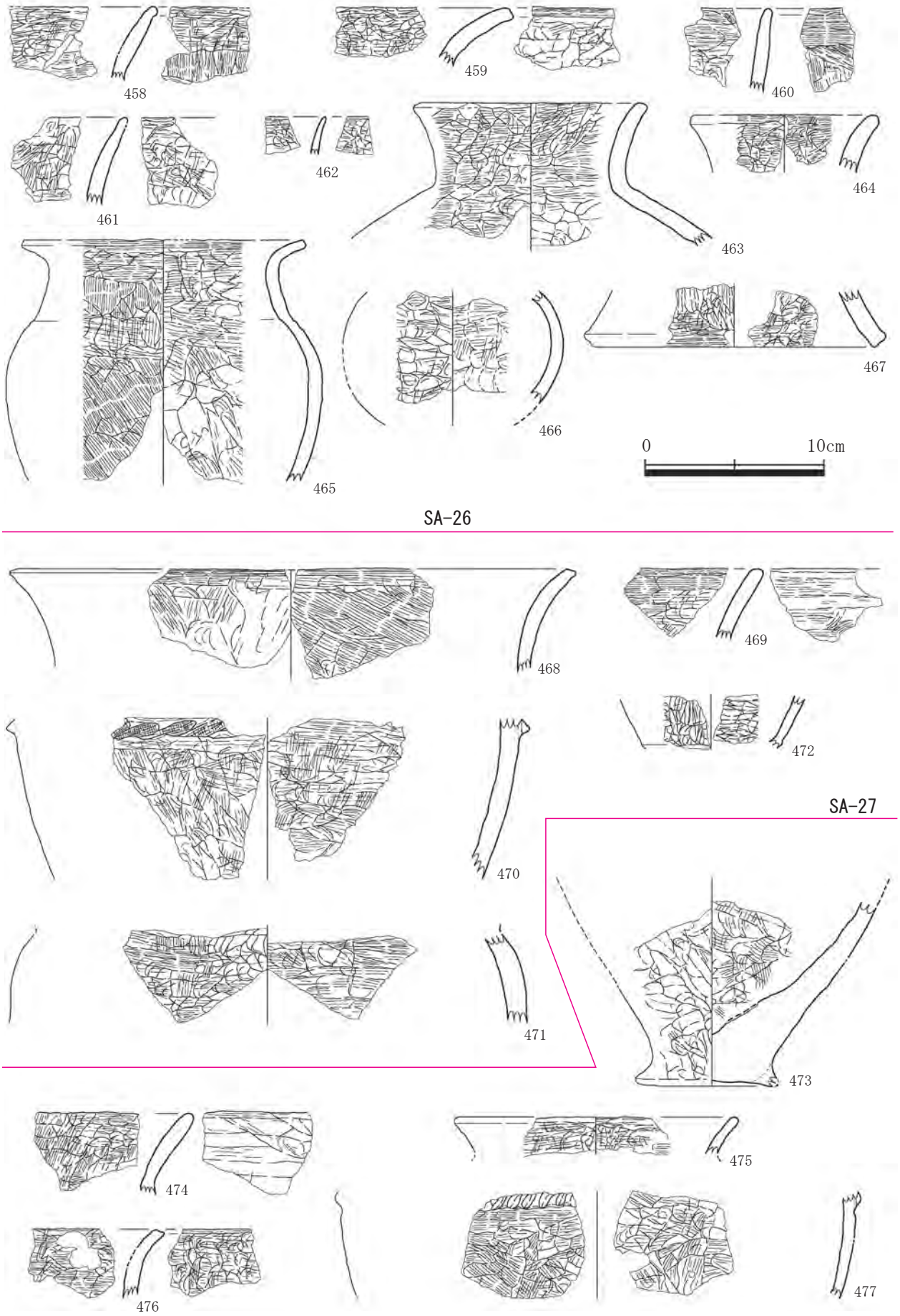
第 74 図　SA-22　出土土器（3）　SA-23　出土土器　SA-24　出土土器　実測図（1）



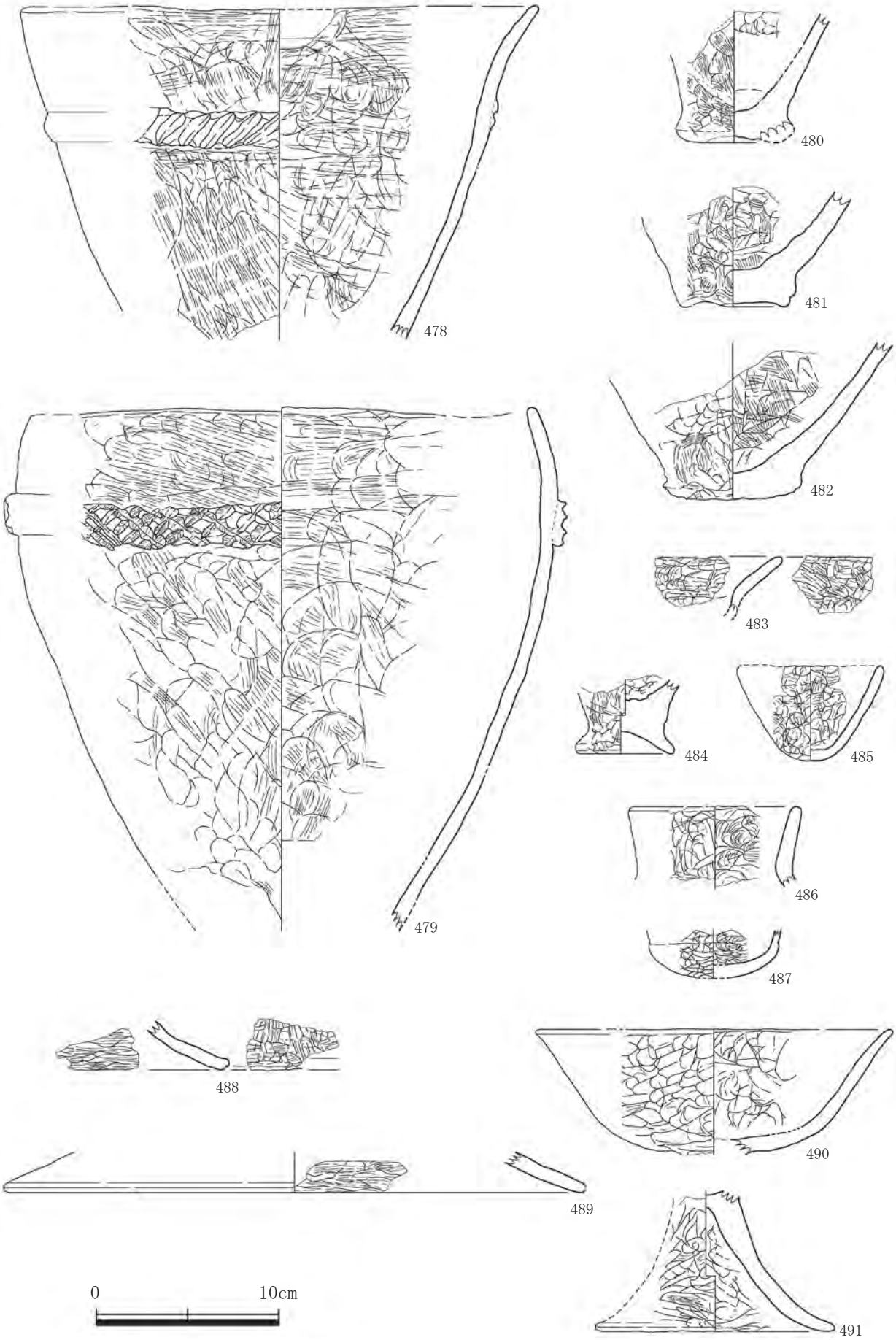
第 75 図　SA-24　出土土器　実測図（2）



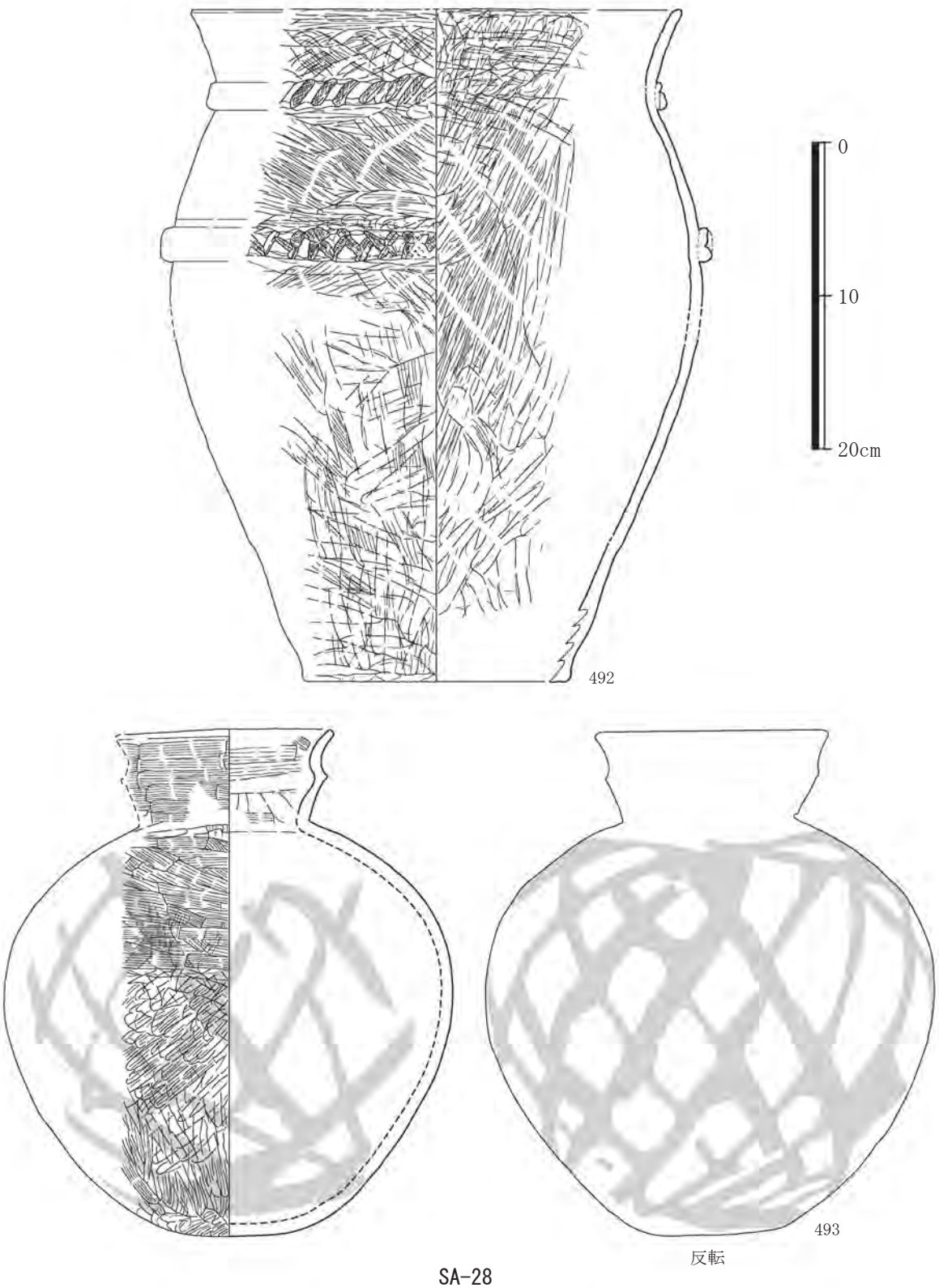
第 76 図　SA-25　出土土器　実測図

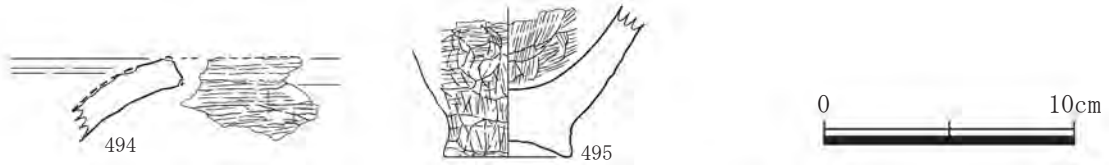


第 77 図　SA-26、27、28　出土土器　実測図（1）

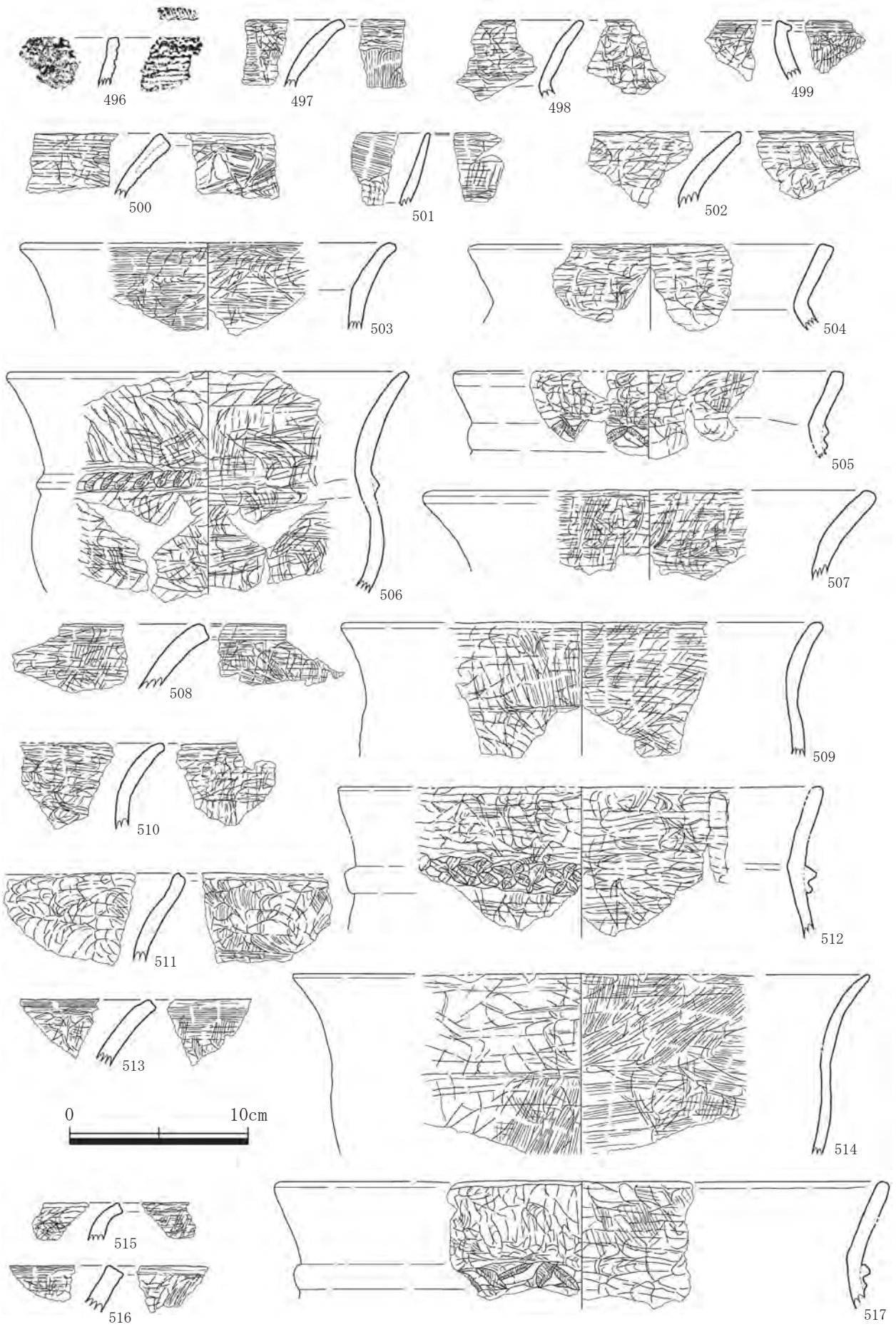


第 78 図　SA-28　出土土器　実測図（2）

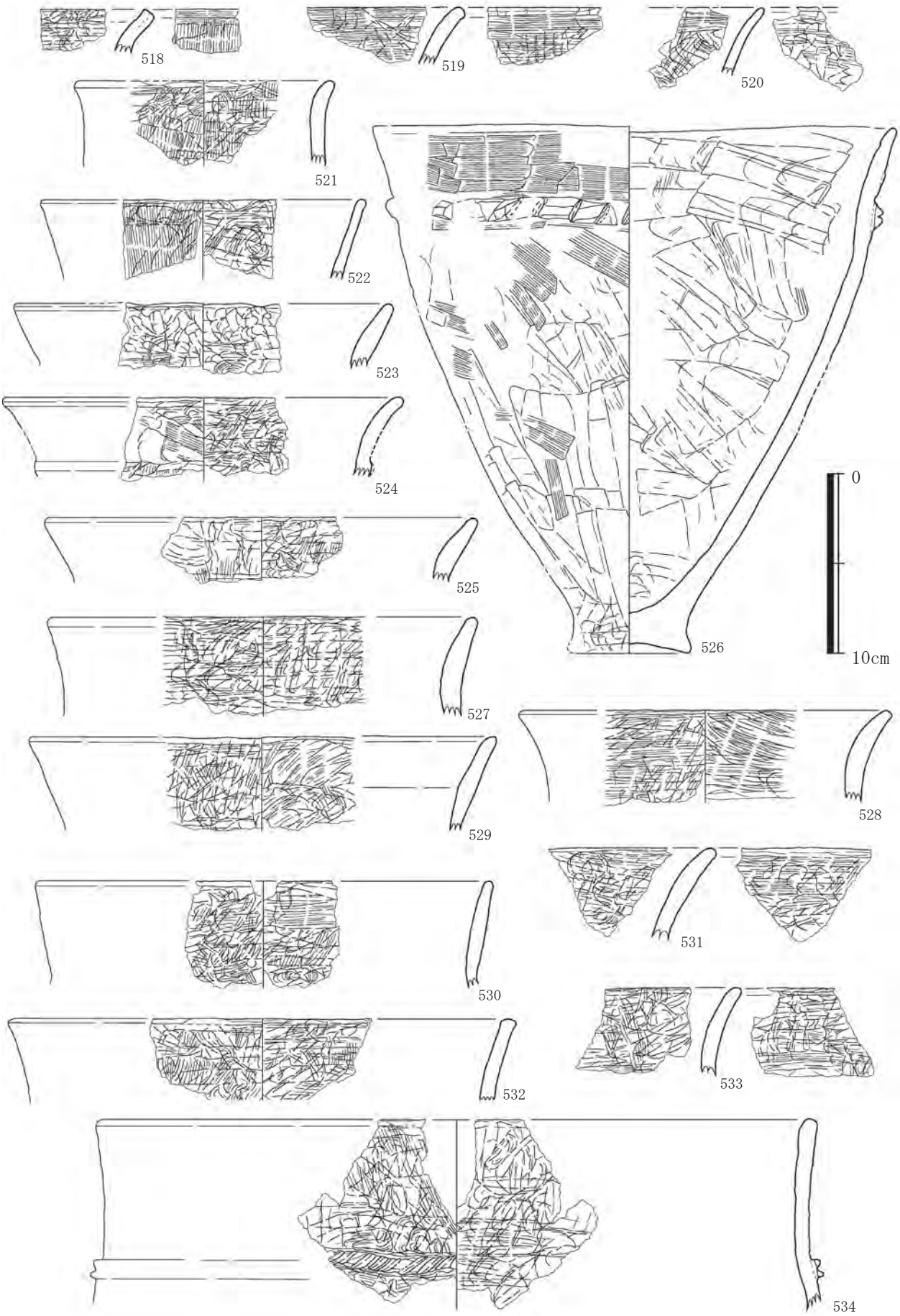




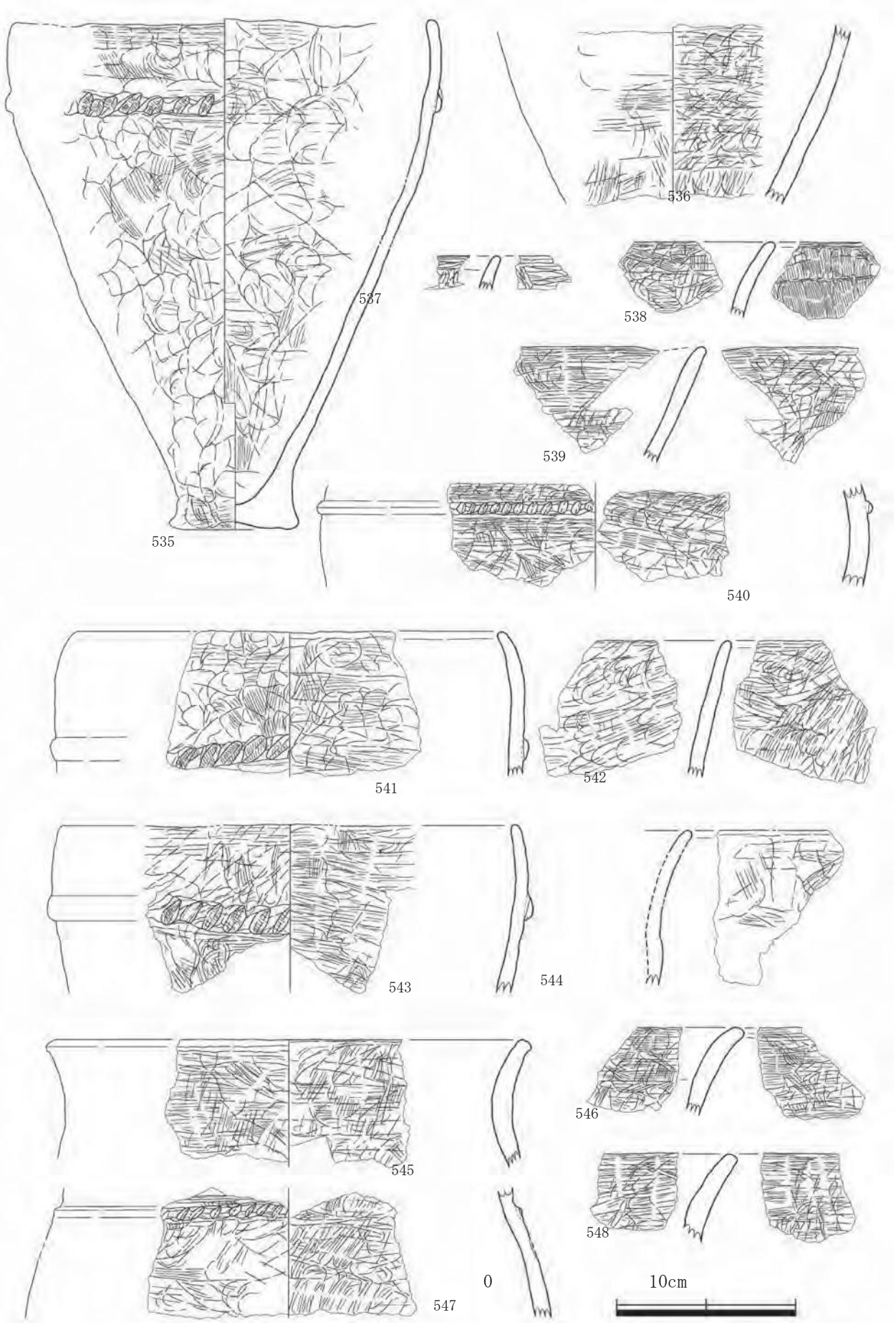
第 79 図　SA-28　出土土器（3）、SA-29　出土土器　実測図



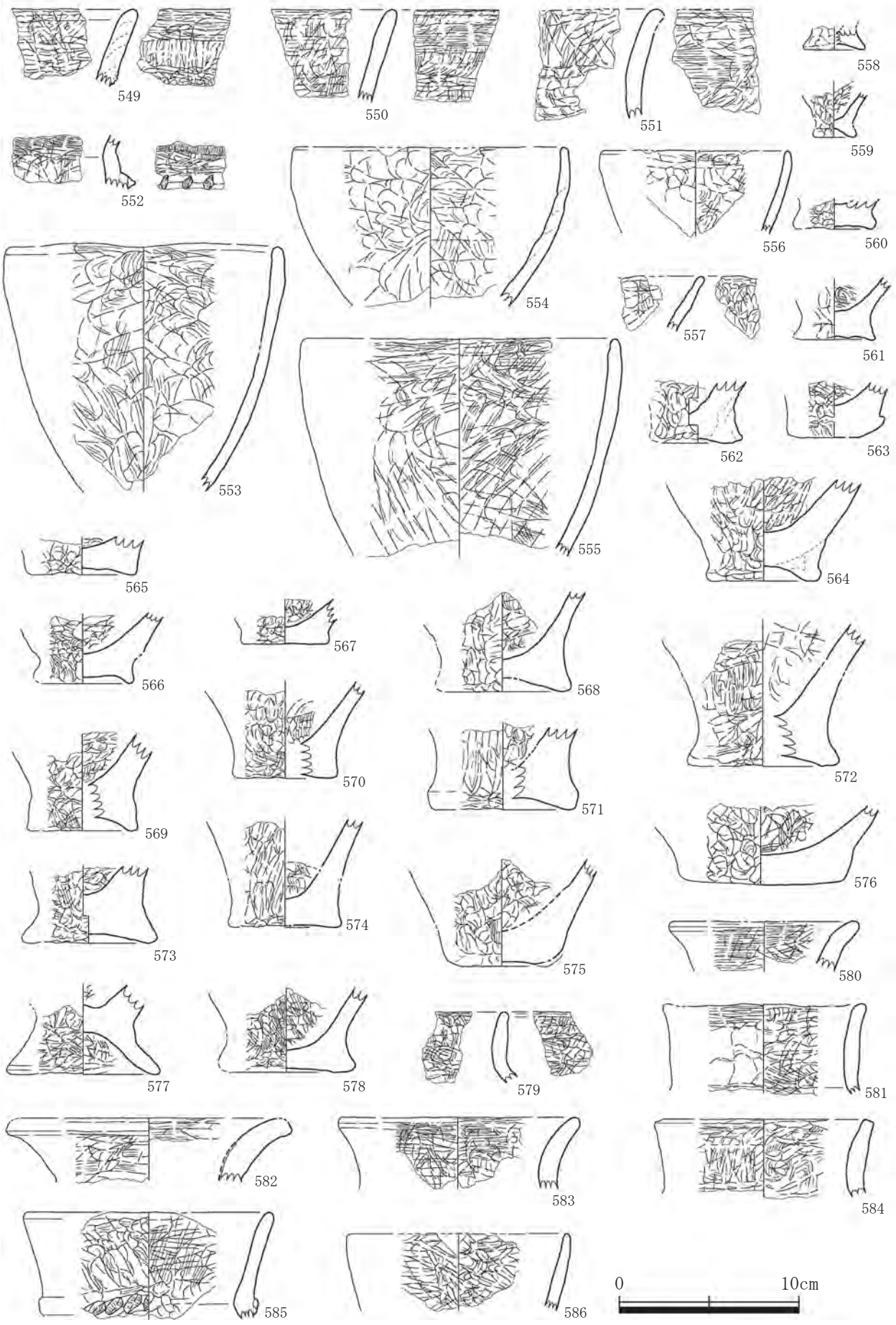
第 80 図　SA-30　出土土器　実測図（1）



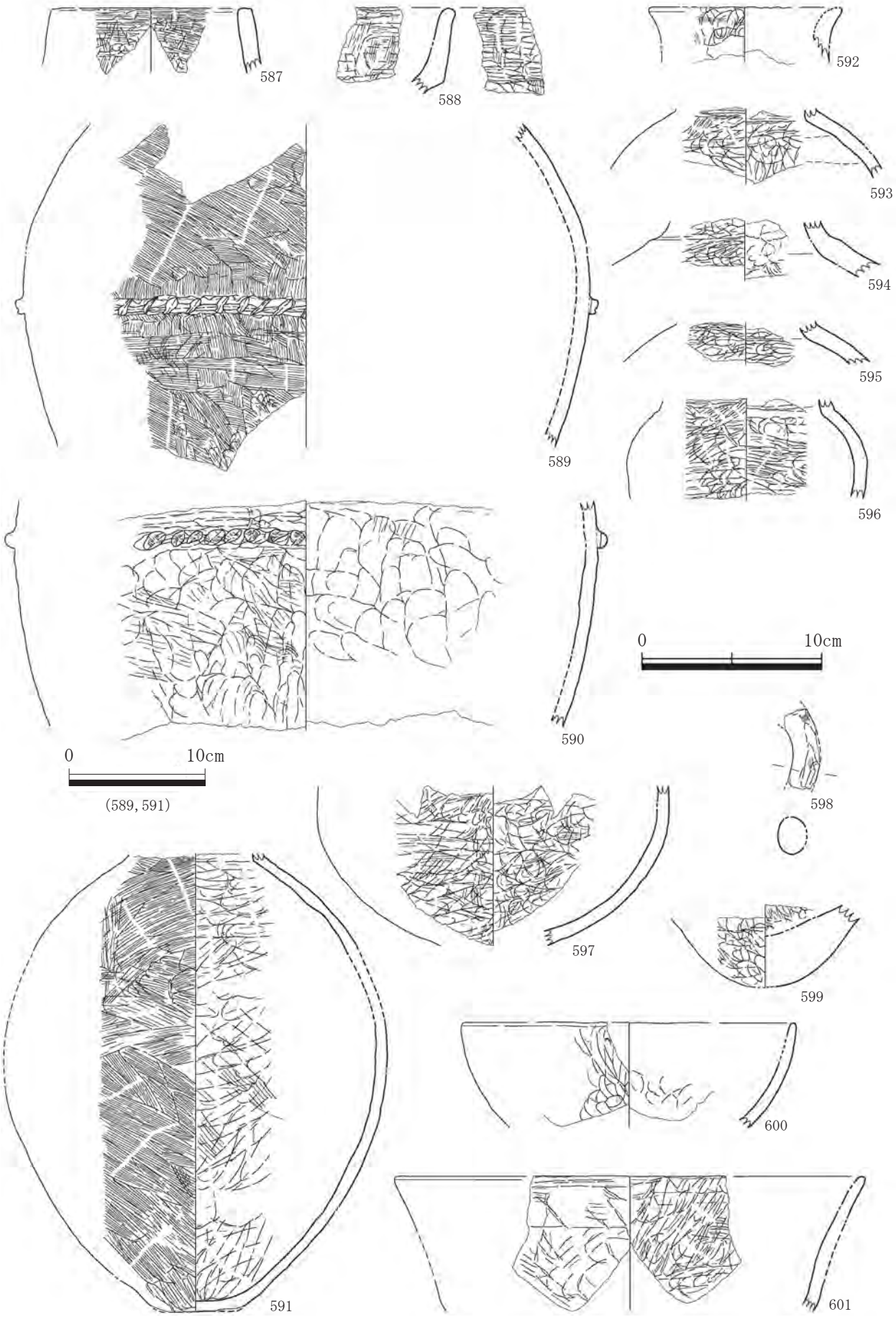
第 81 図　SA-30　出土土器　実測図（2）



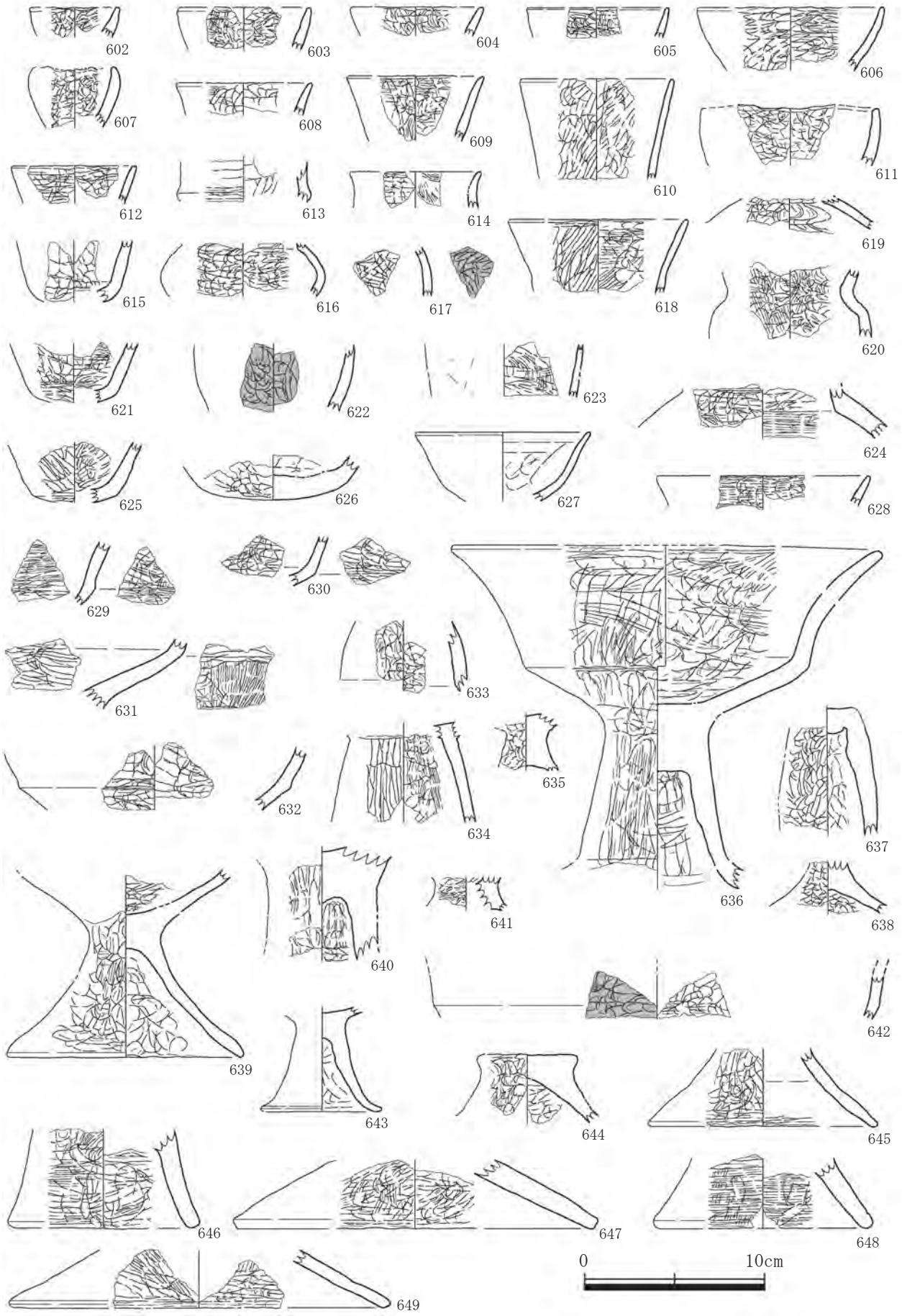
第 82 図　SA-30　出土土器実測図（3）　535 は SA-48 出土



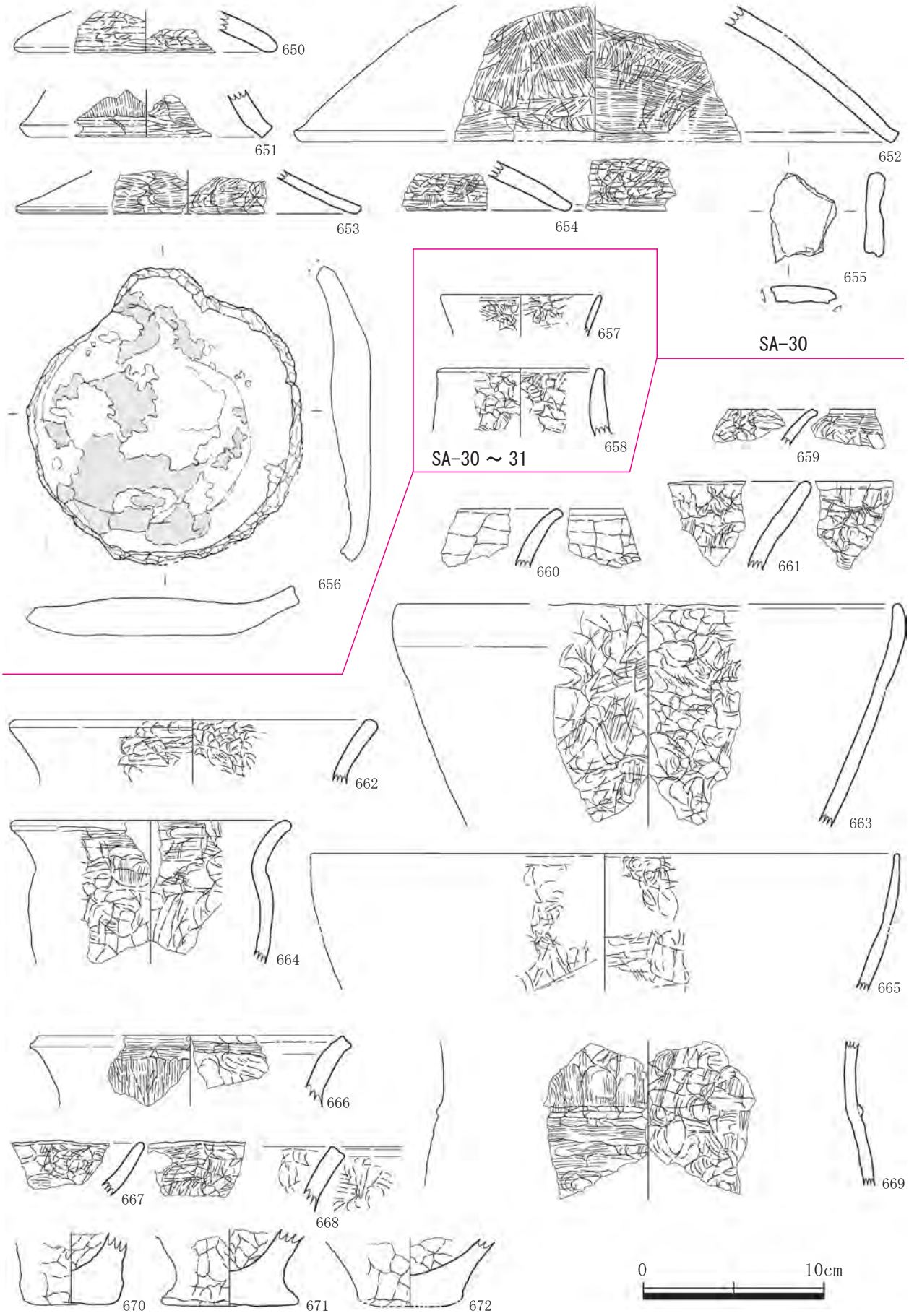
第 83 図　SA-30　出土土器　実測図（4）



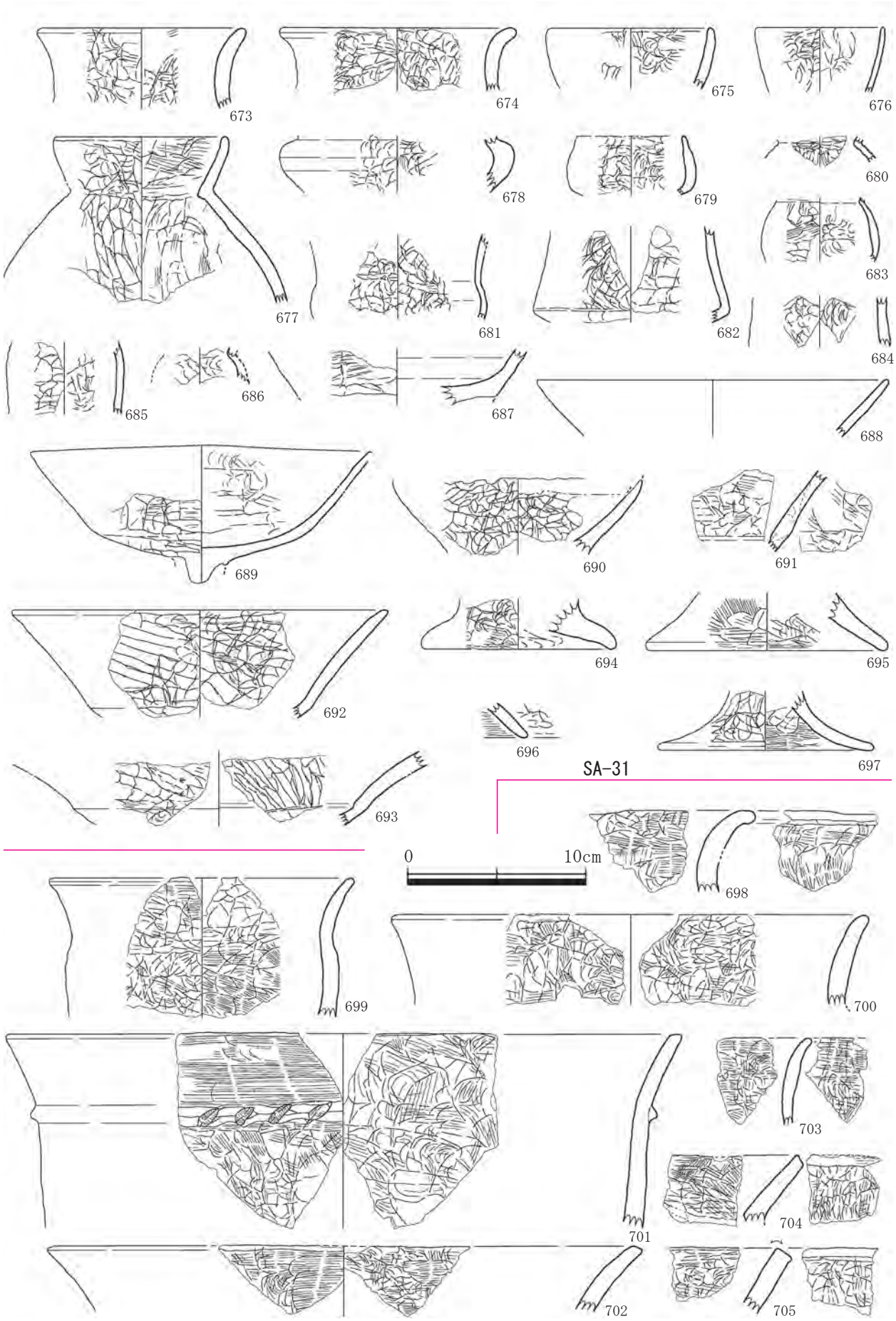
第 84 図　SA-30　出土土器　実測図（5）



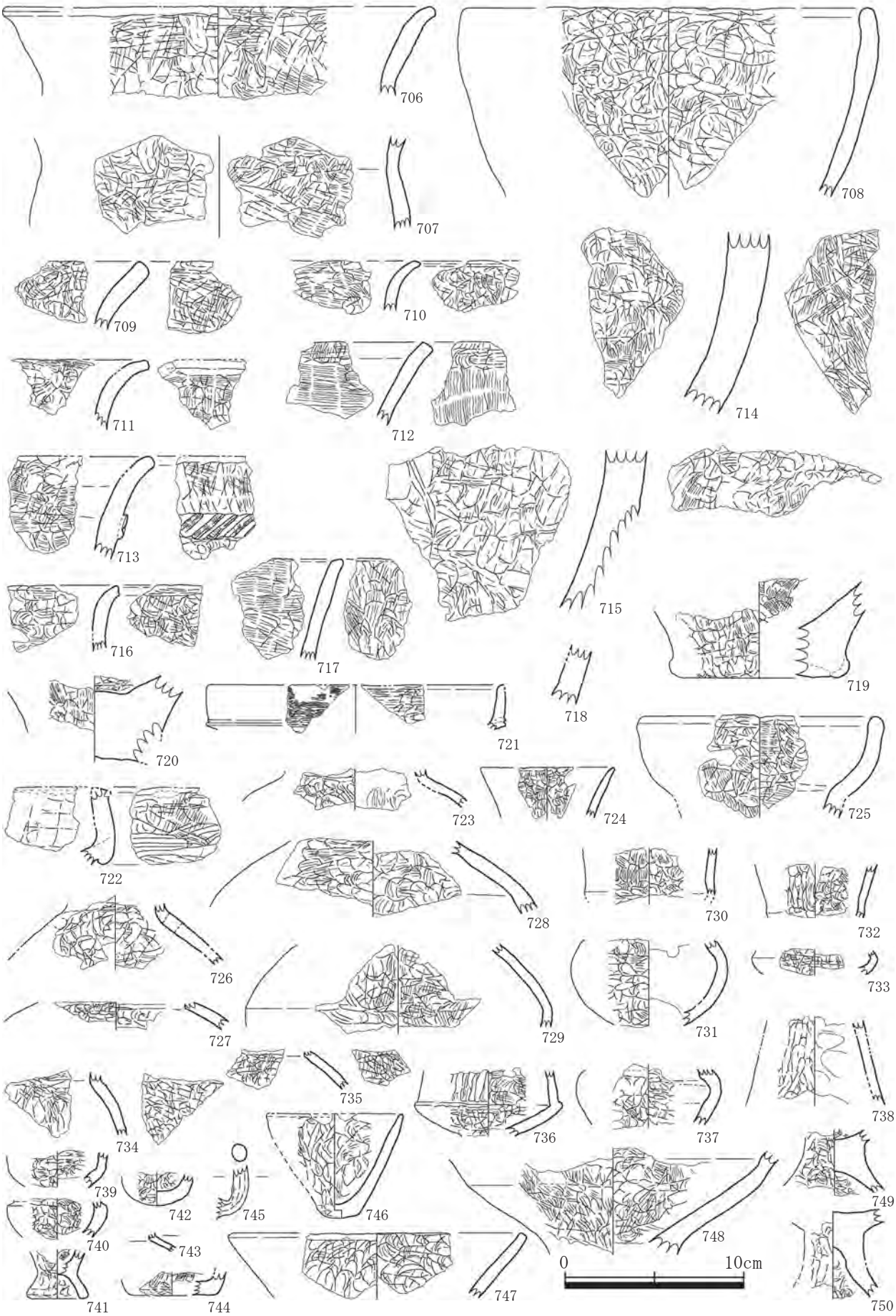
第 85 図　SA-30　出土土器　実測図（6）



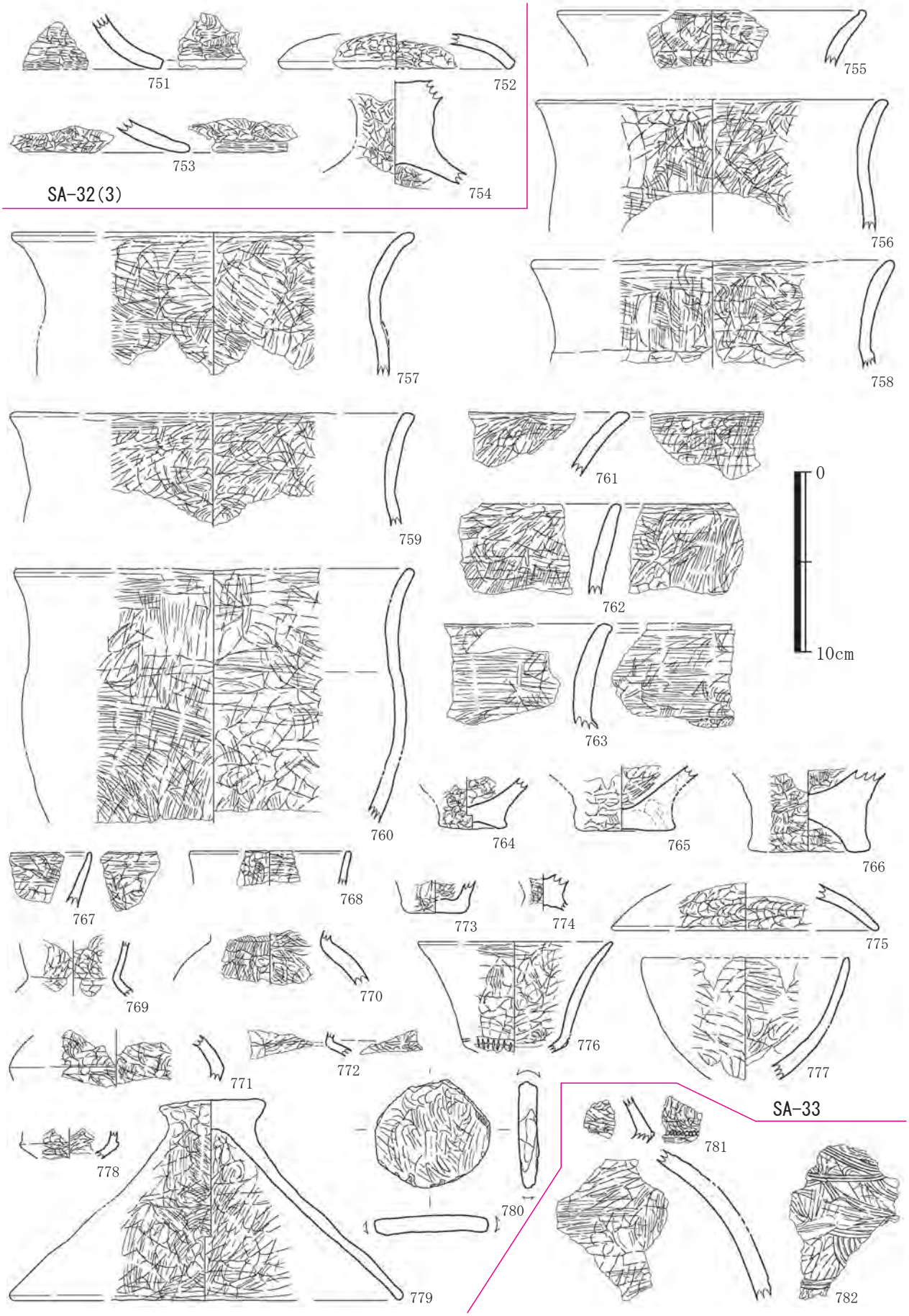
第 86 図　SA-30　出土土器（7）、SA-30 ～ 31　SA-31　出土土器　実測図（1）



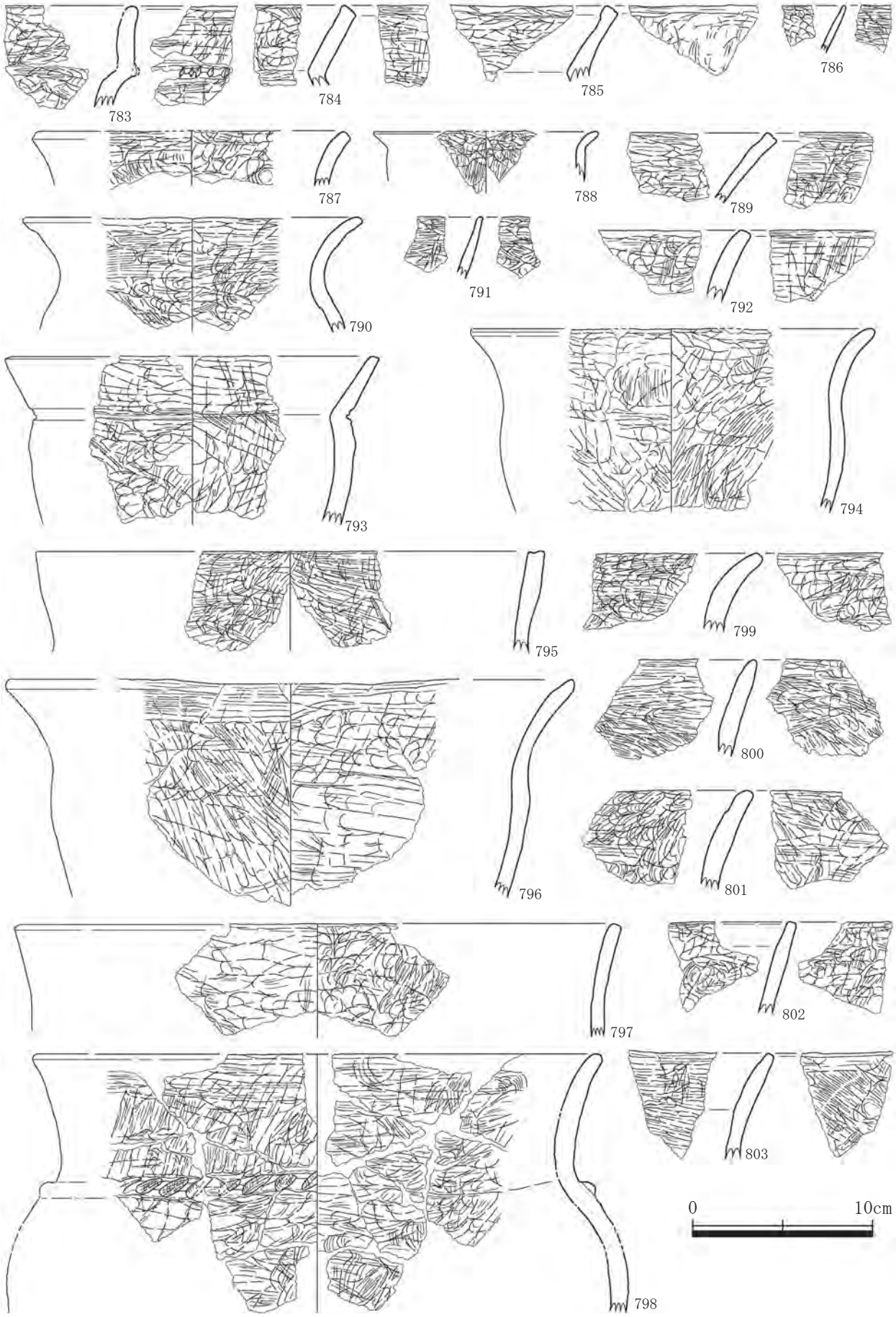
第 87 図　SA-31　出土土器（2）、SA-32　出土土器　実測図（1）



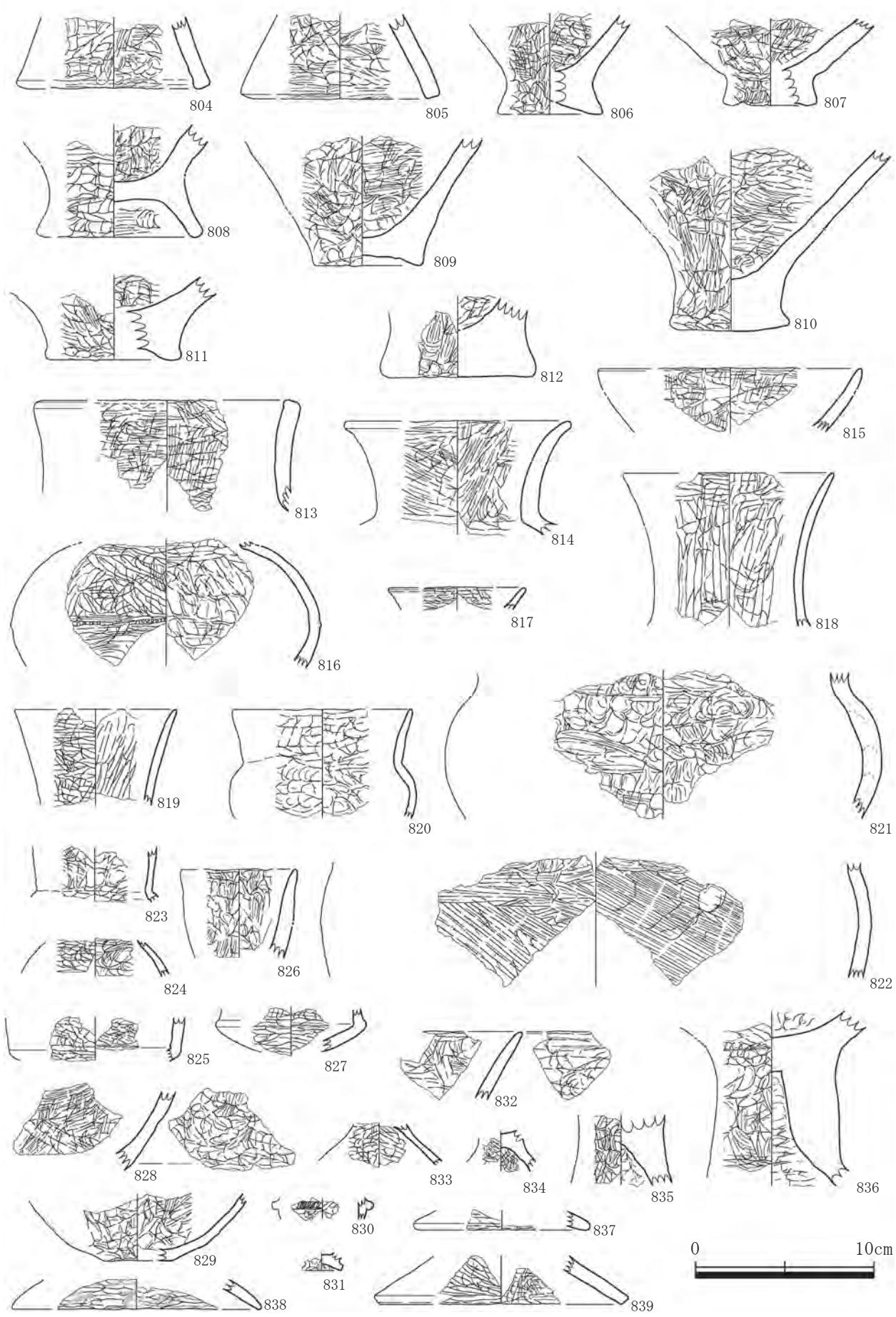
第 88 図　SA-32　出土土器　実測図（2）



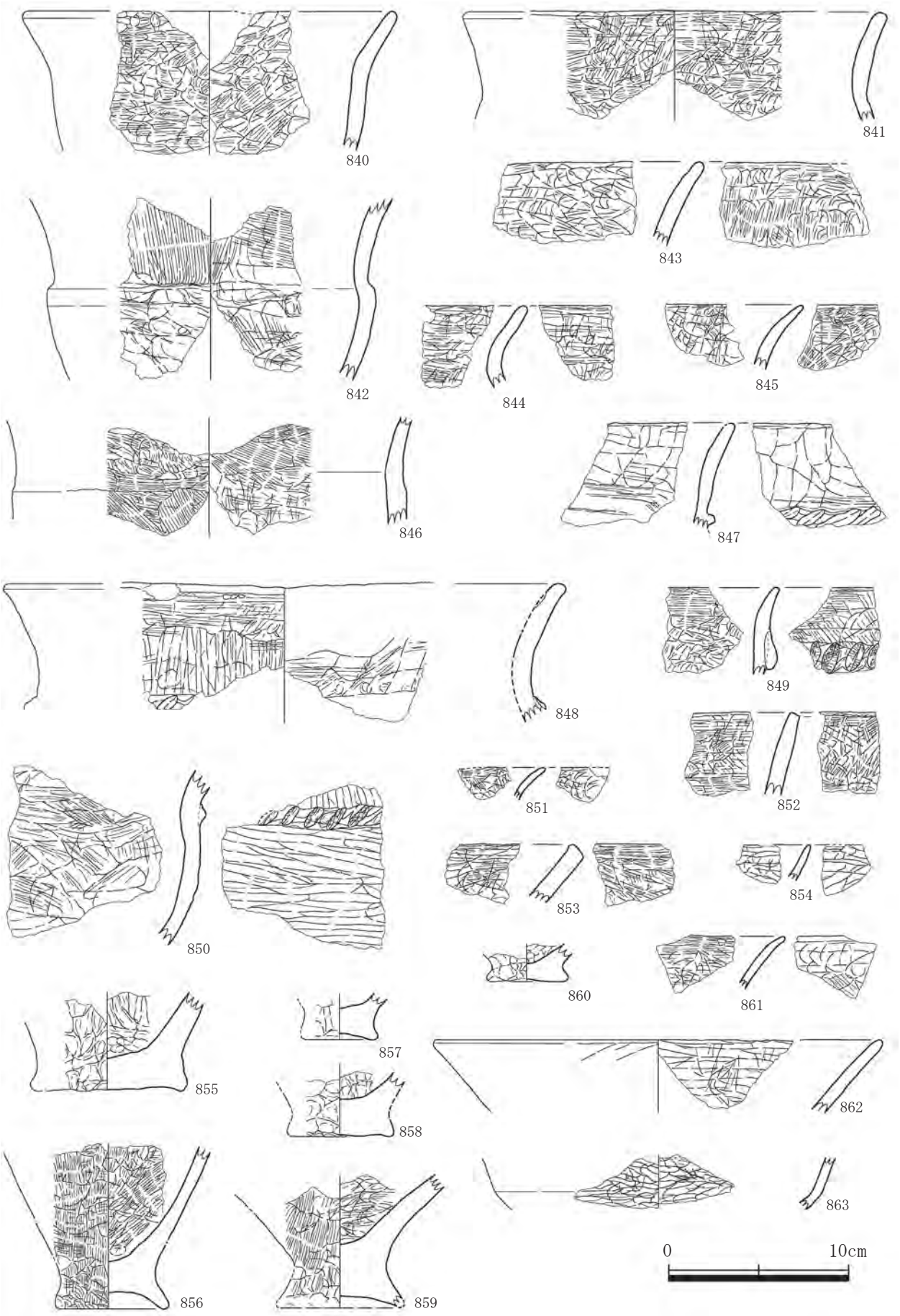
第 89 図　SA-32　出土土器（3）、SA-33、34　出土土器　実測図（1）



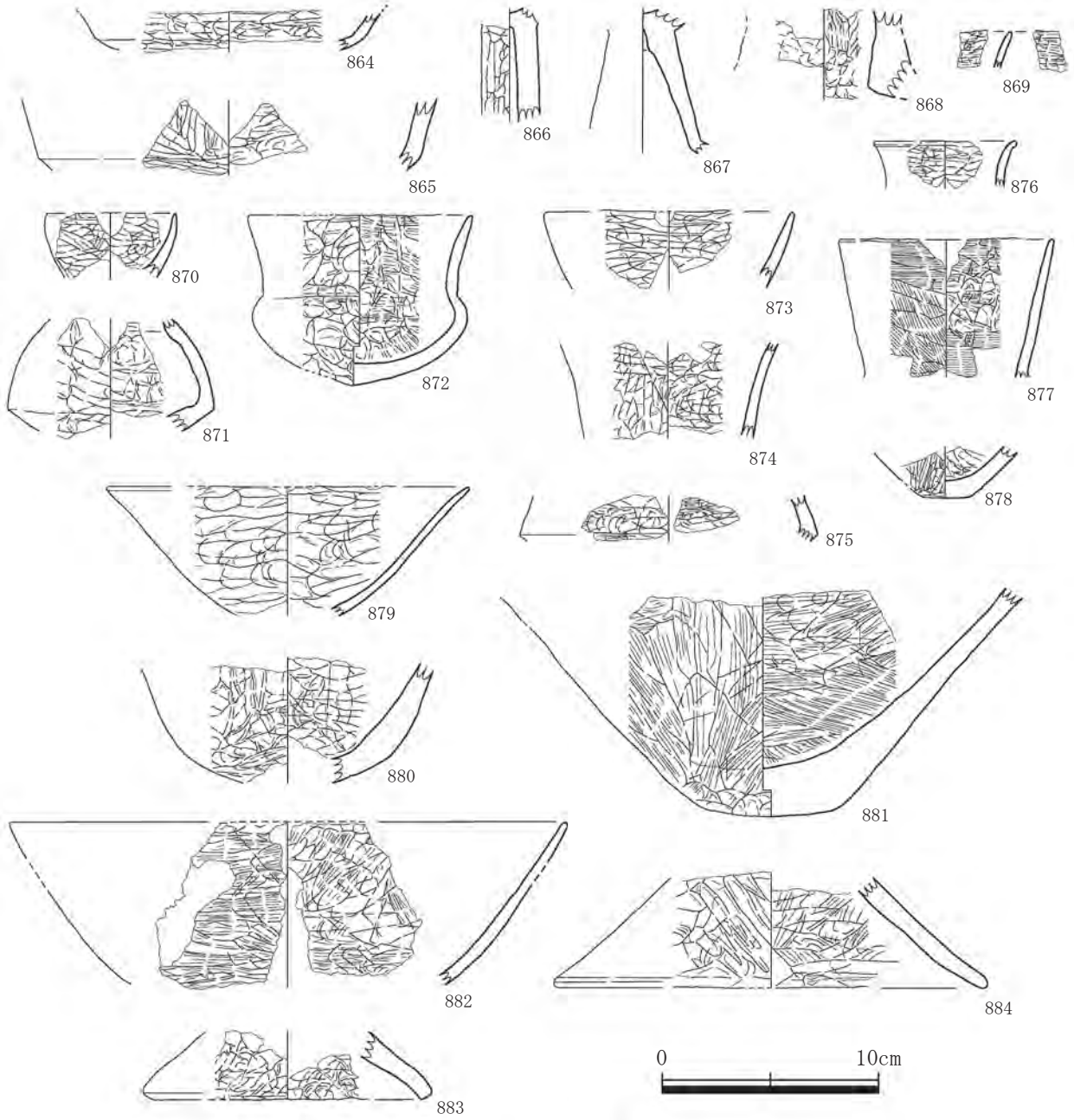
第 90 図　SA-34　出土土器　実測図（2）



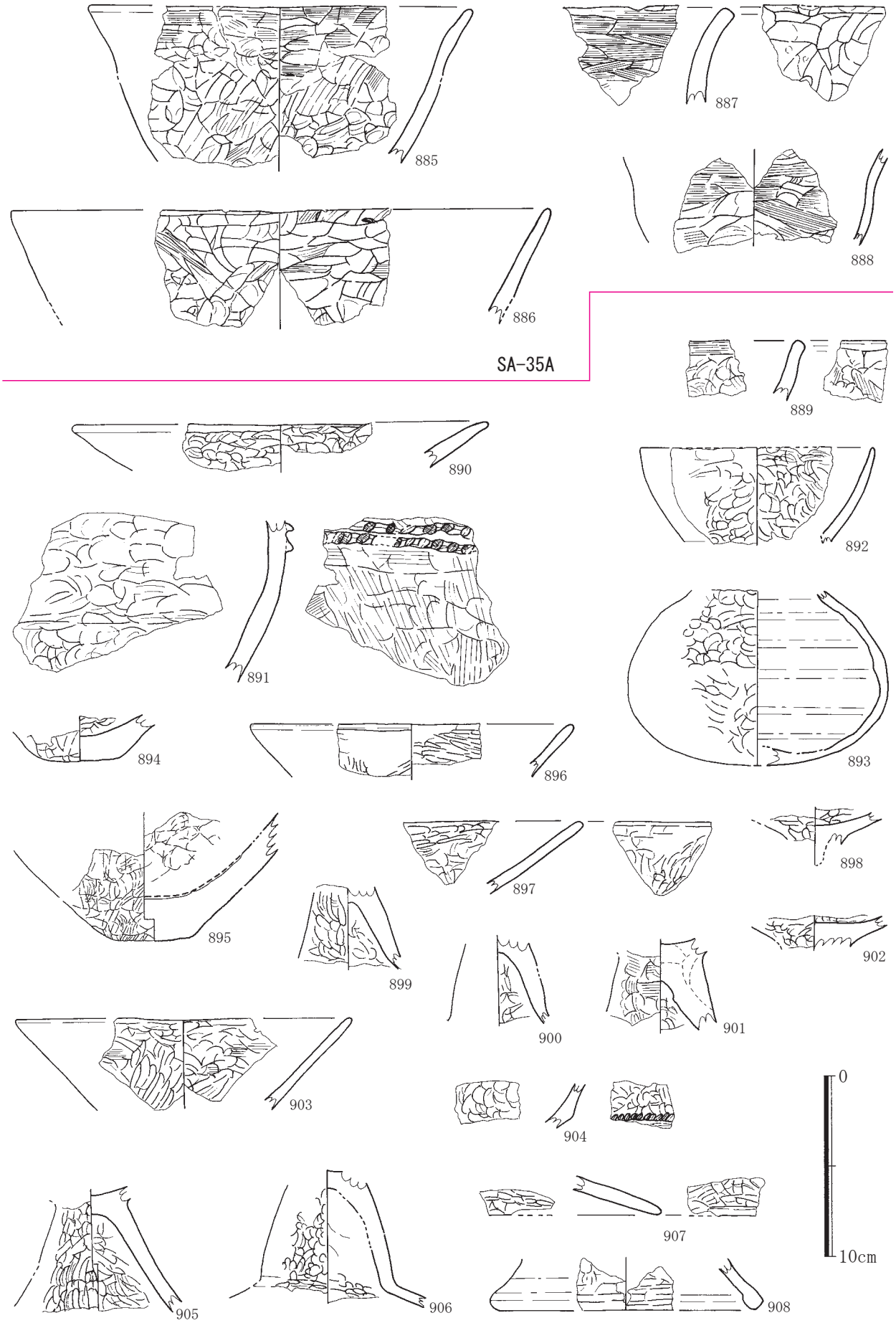
第 91 図　SA-34　出土土器　実測図（3）



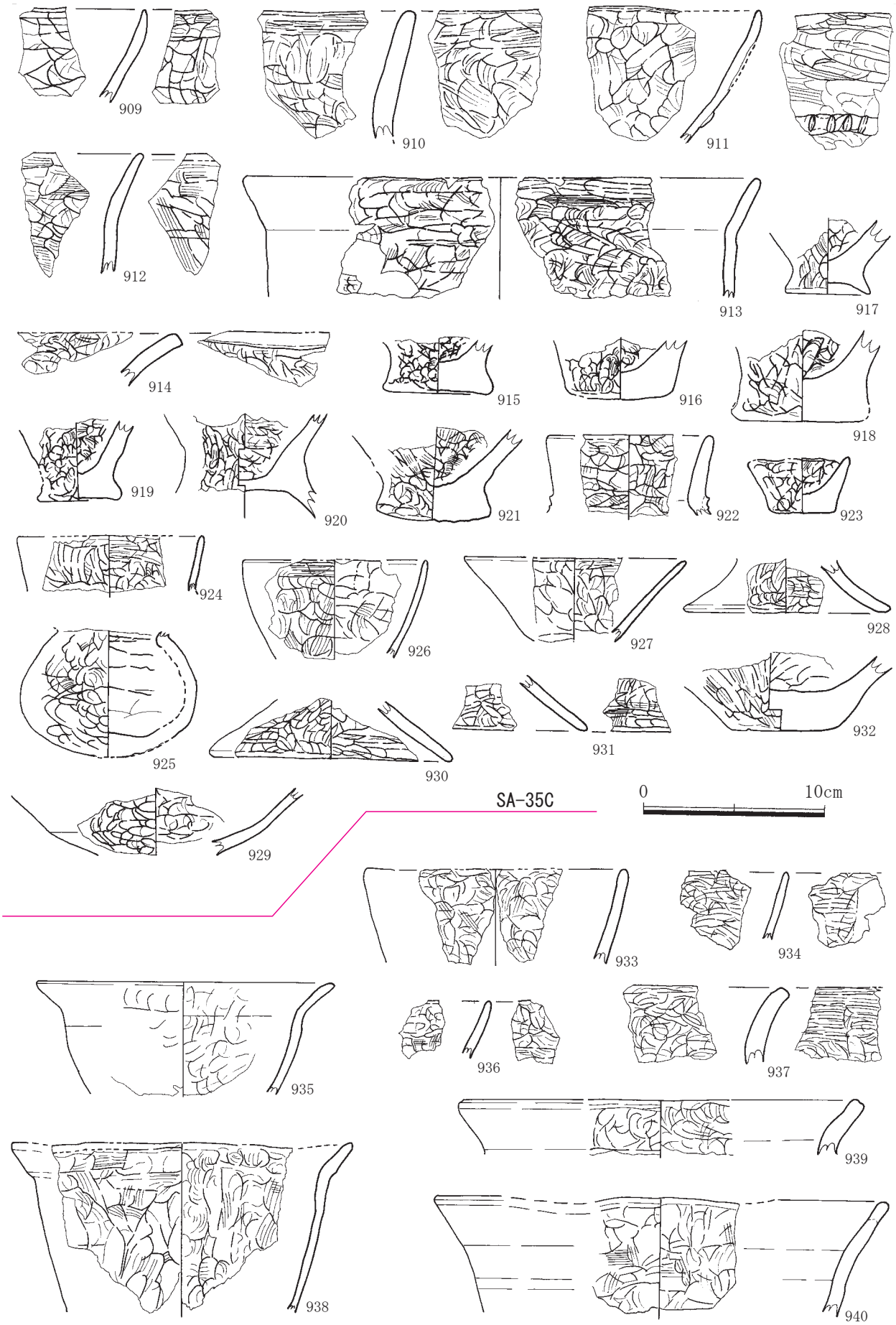
第 92 図　SA-35　出土土器実測図（1）



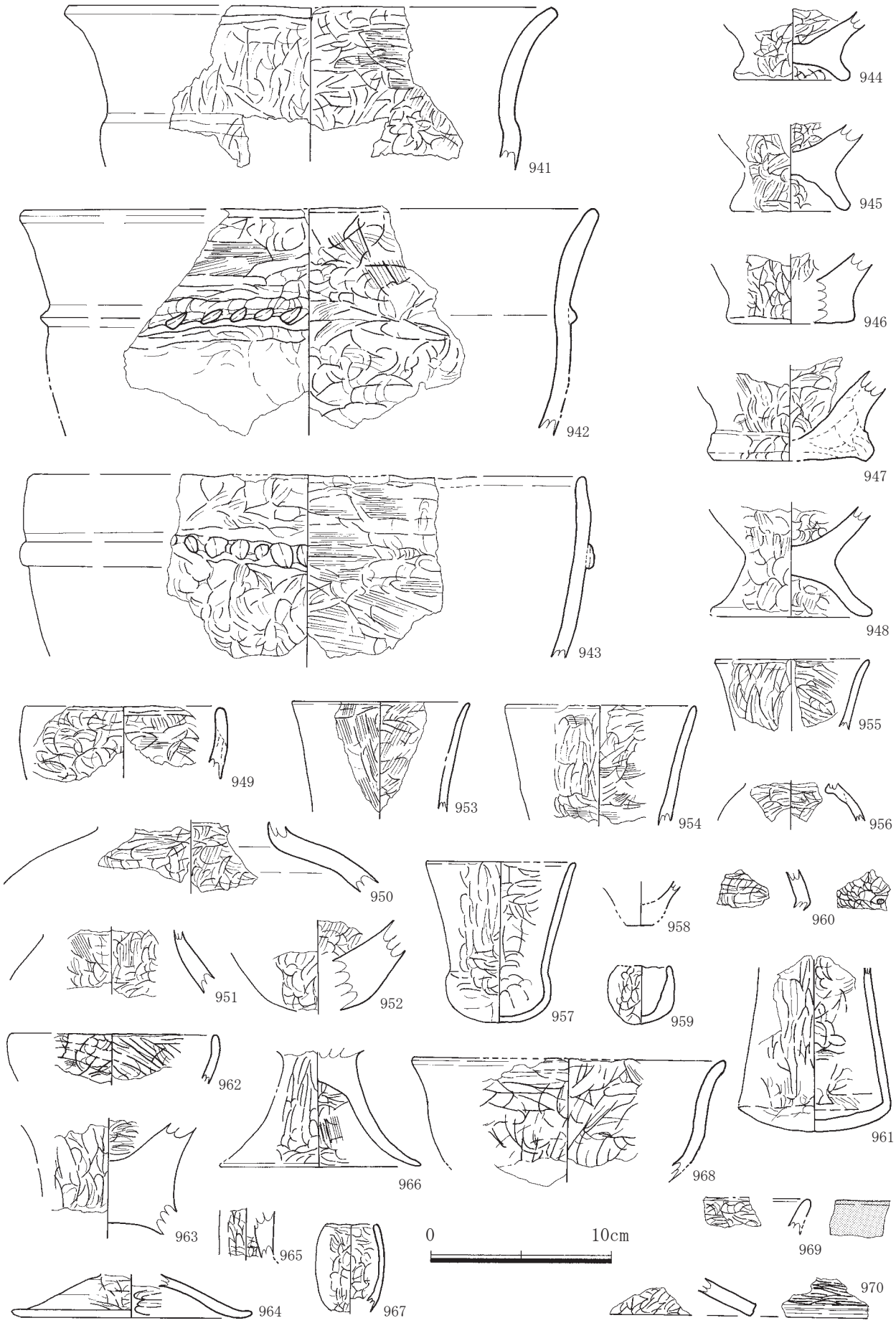
第 93 図　SA-35　出土土器　実測図（2）



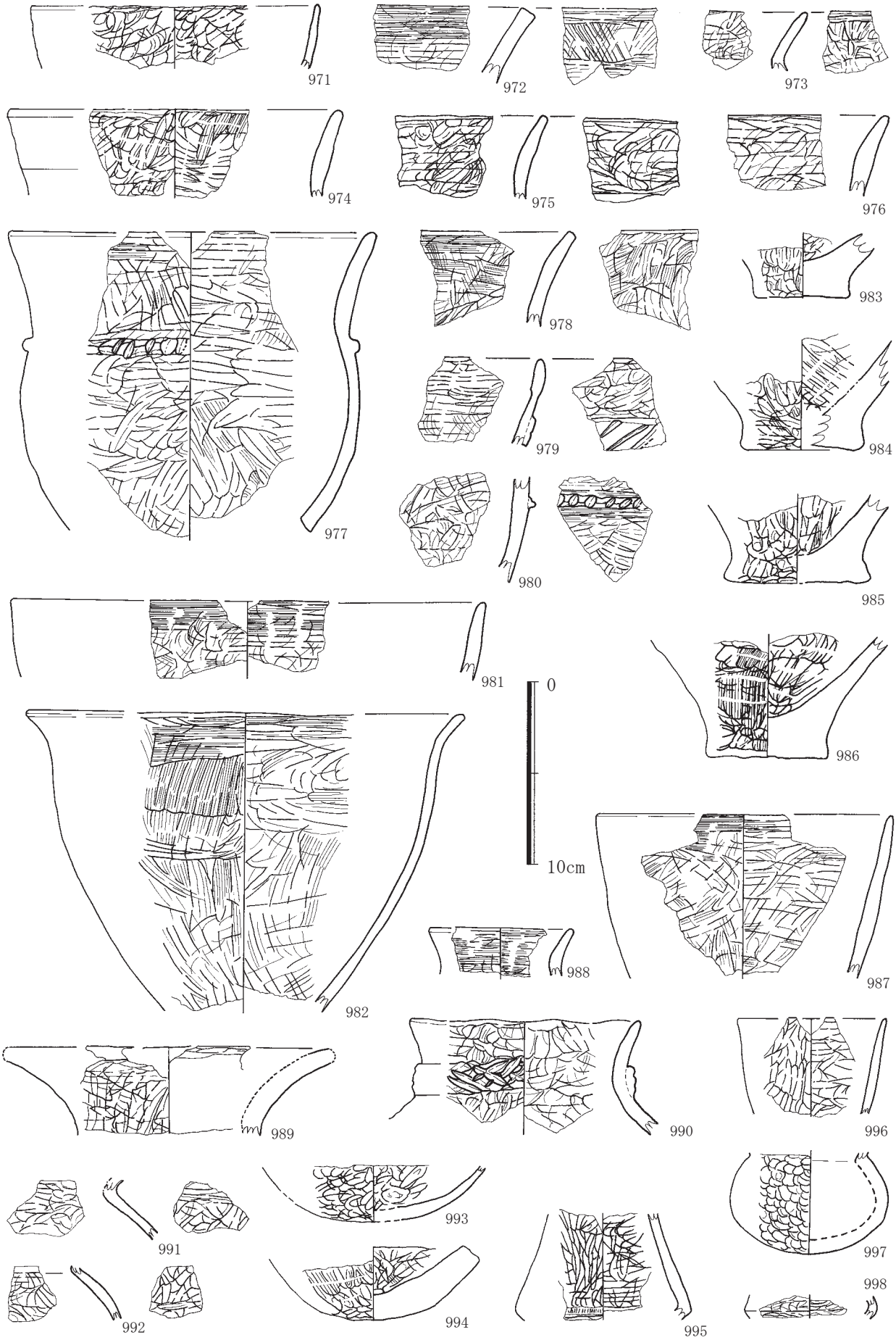
第 94 図　SA-35A、SA-35C　出土土器　実測図（1）



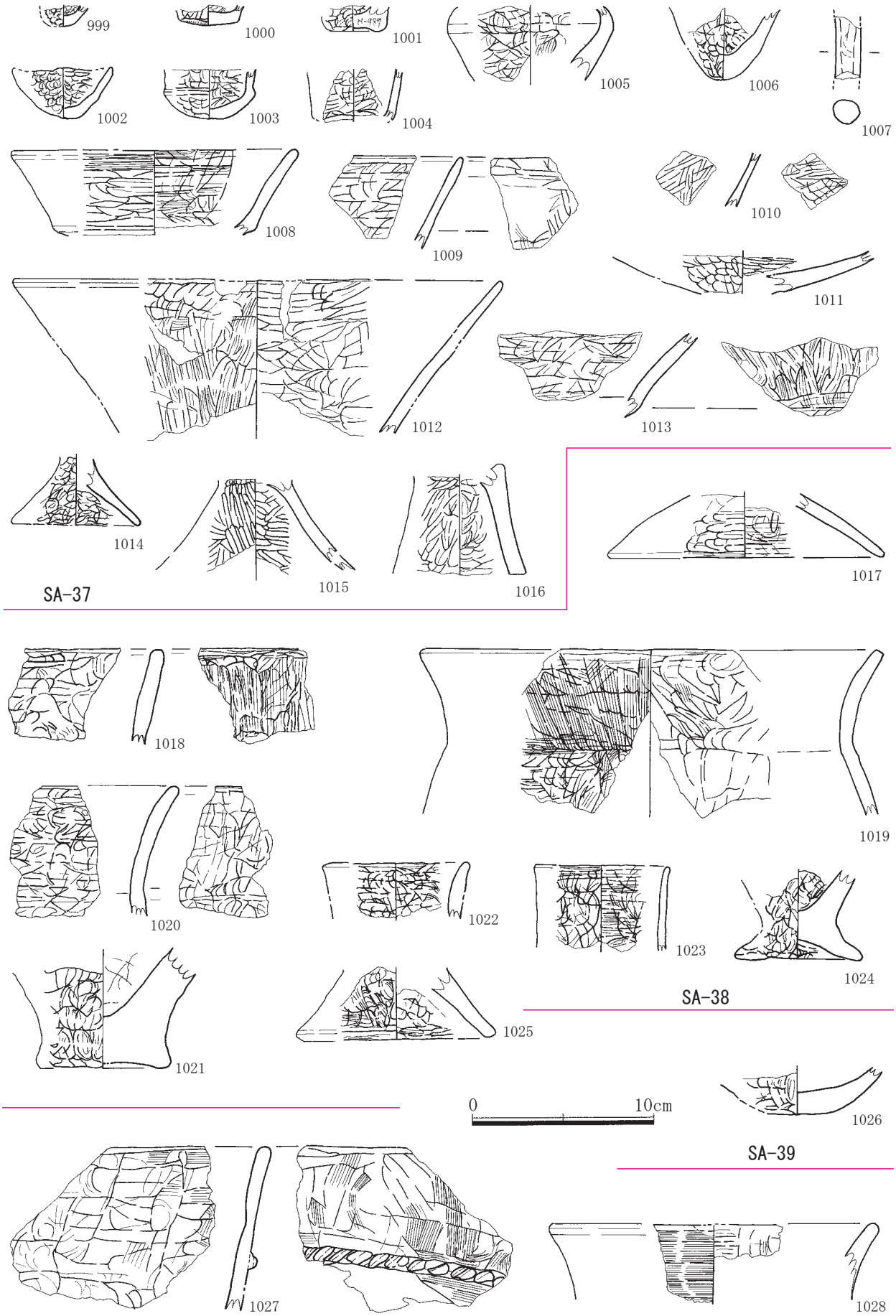
第 95 図　SA-35C 出土土器（2）、SA-36　出土土器　実測図（1）



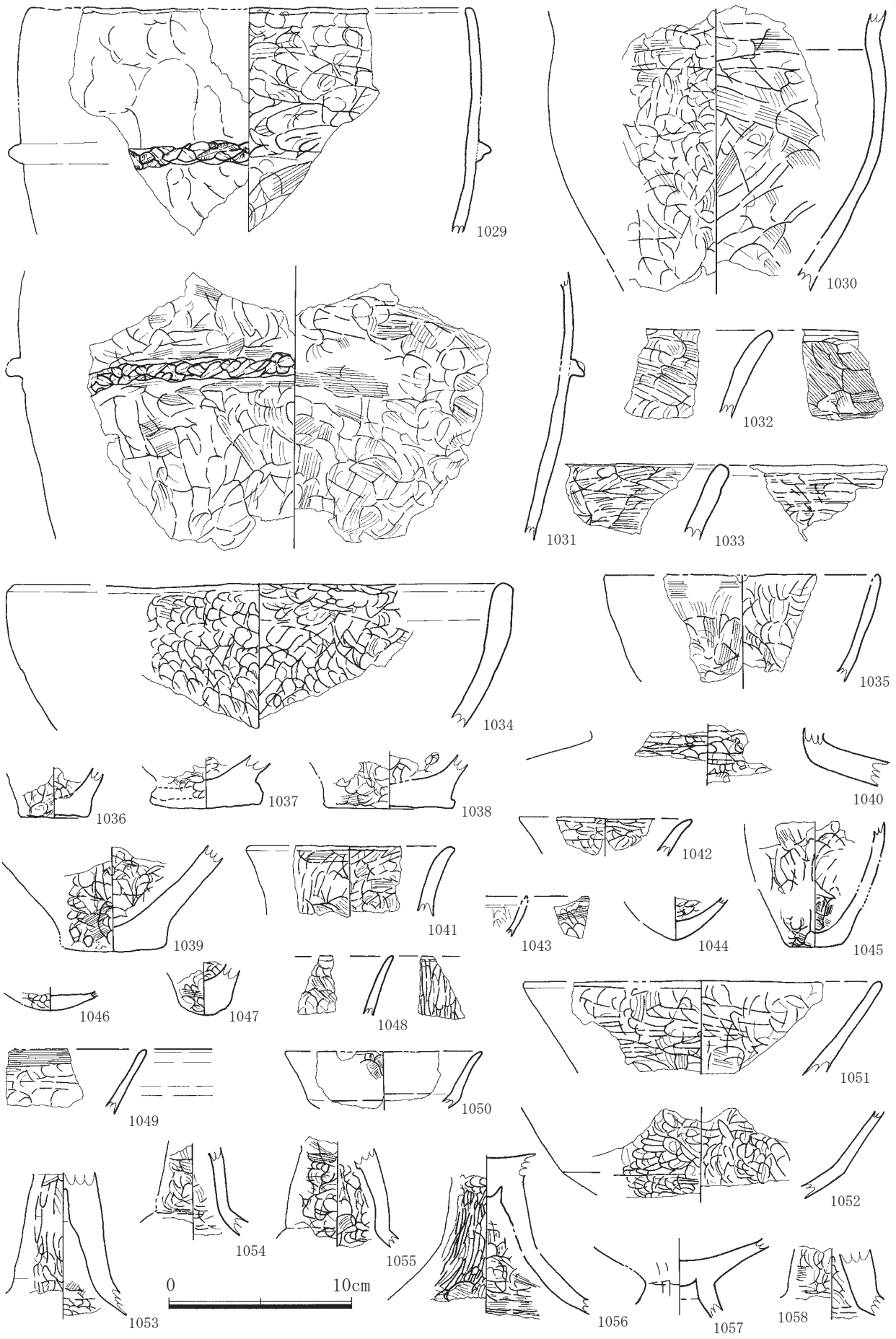
第 96 図　SA-36　出土土器　実測図（2）



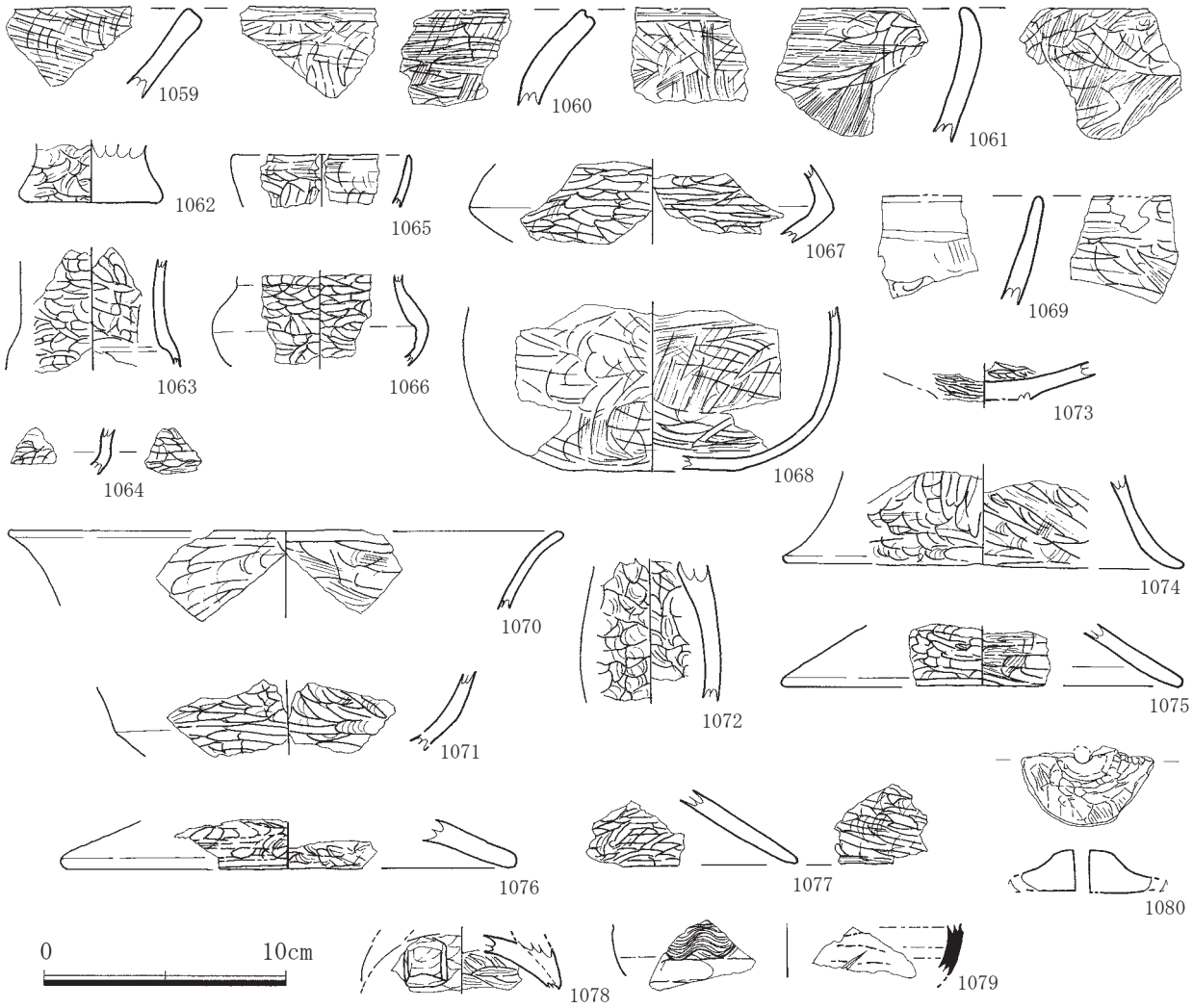
第 97 図　SA-37　出土土器　実測図（1）



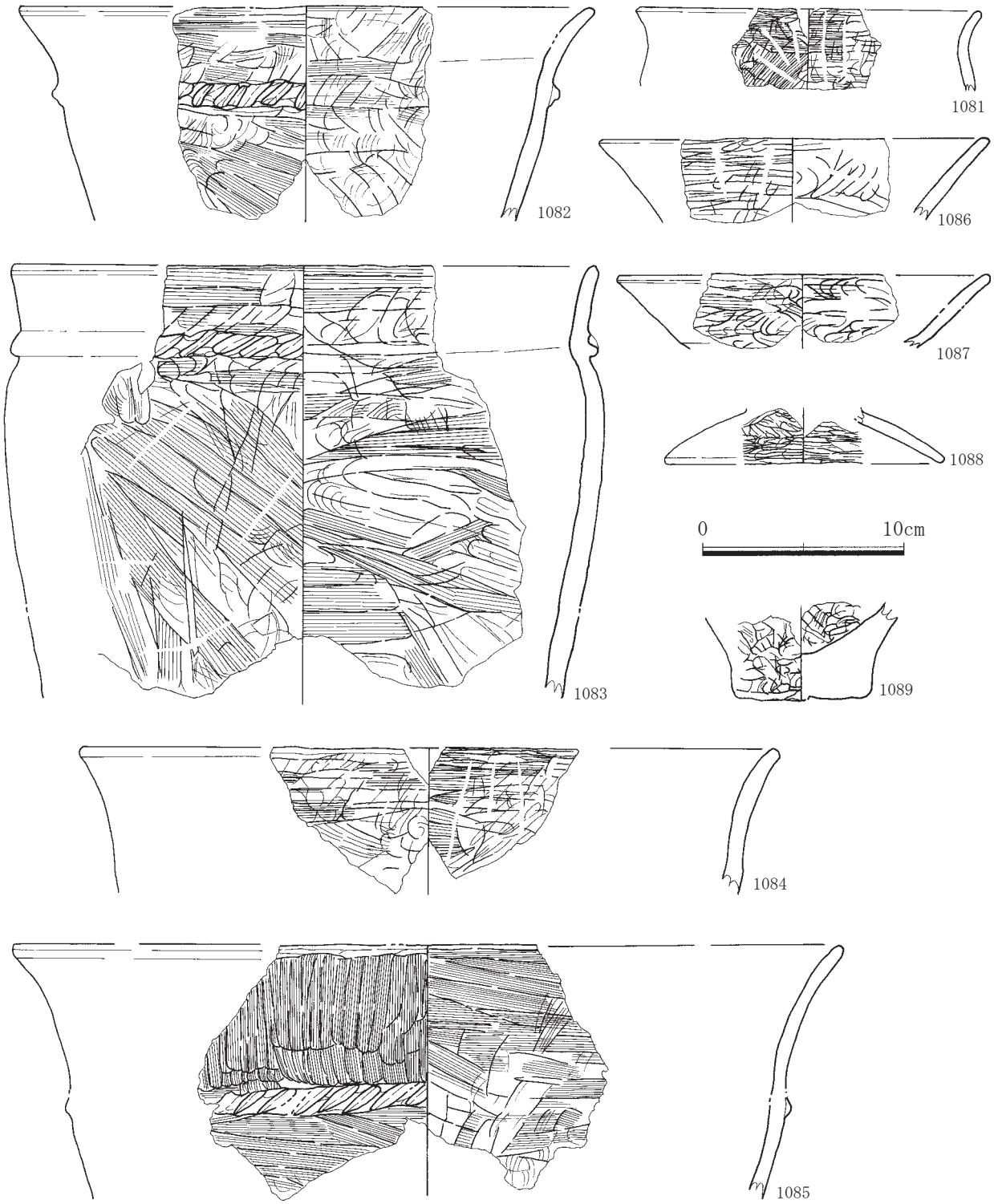
第 98 図　SA-37　出土土器実測図（2）、SA-38、39、40　出土土器実測図（1）



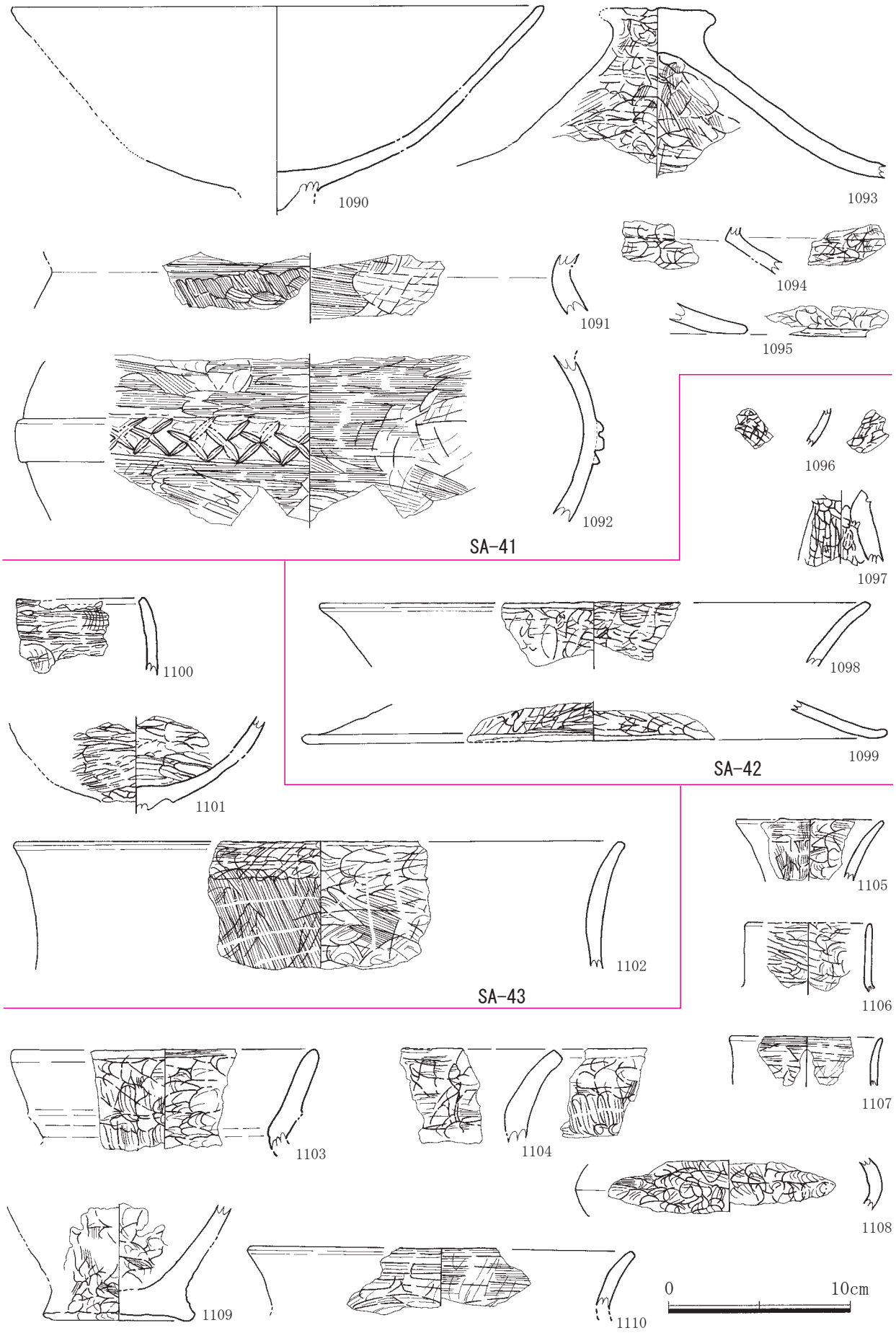
第 99 図　SA-40　出土土器　実測図（2）



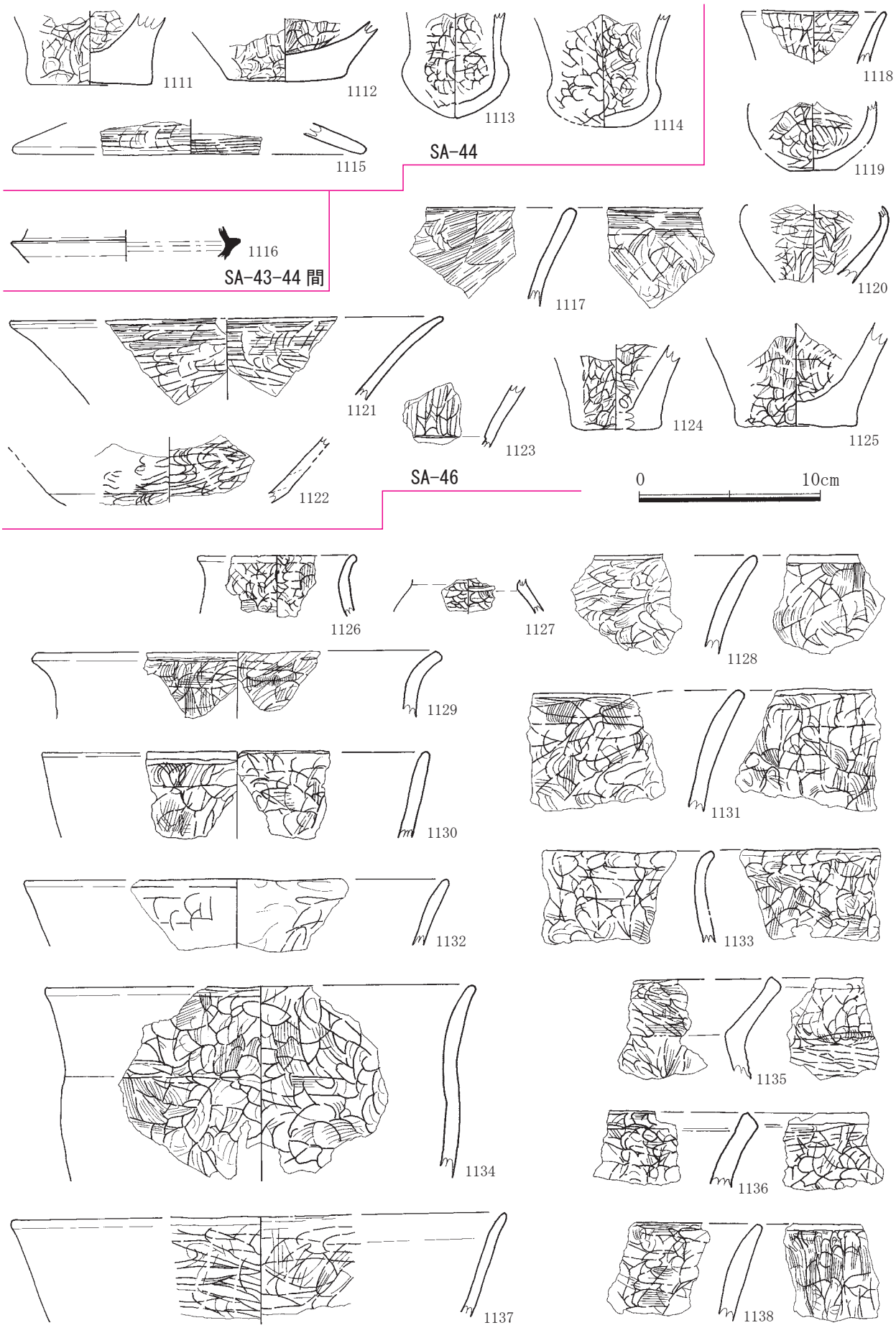
第 100 図　SA-40　出土土器　実測図（3）



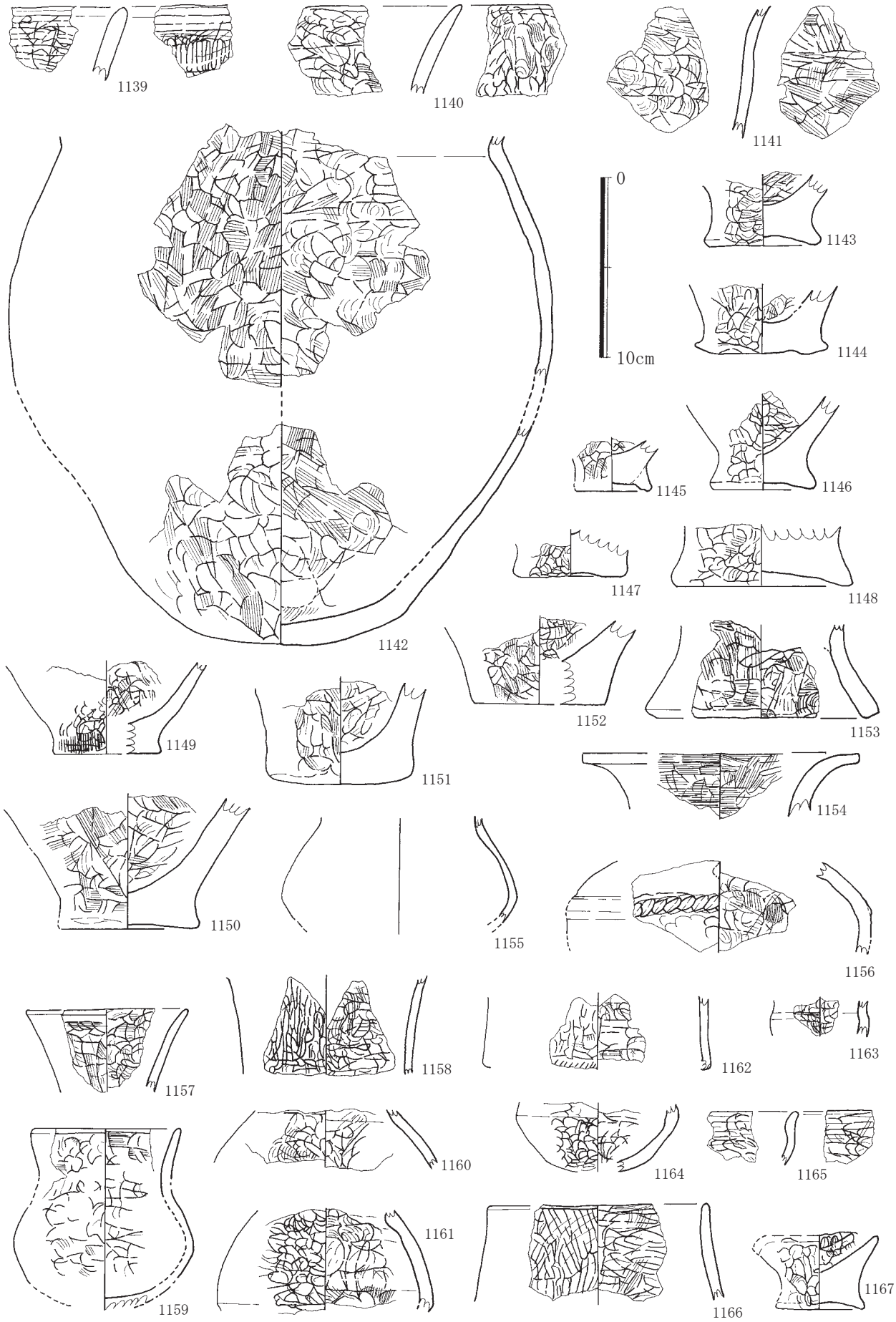
第 101 図　SA-41　出土土器　実測図（1）



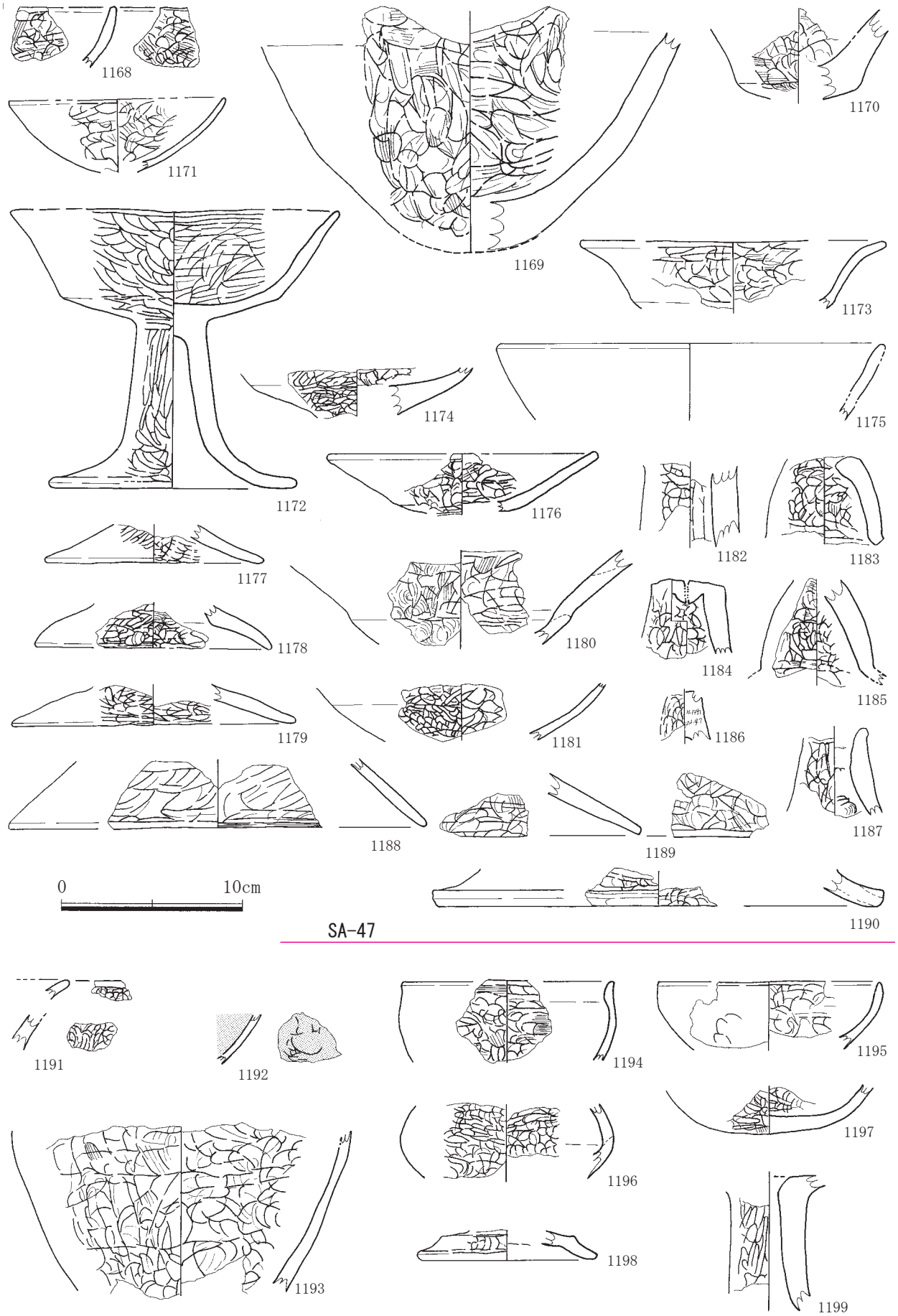
第 102 図　SA-41　出土土器（2）、SA-42、43、44　出土土器　実測図（1）



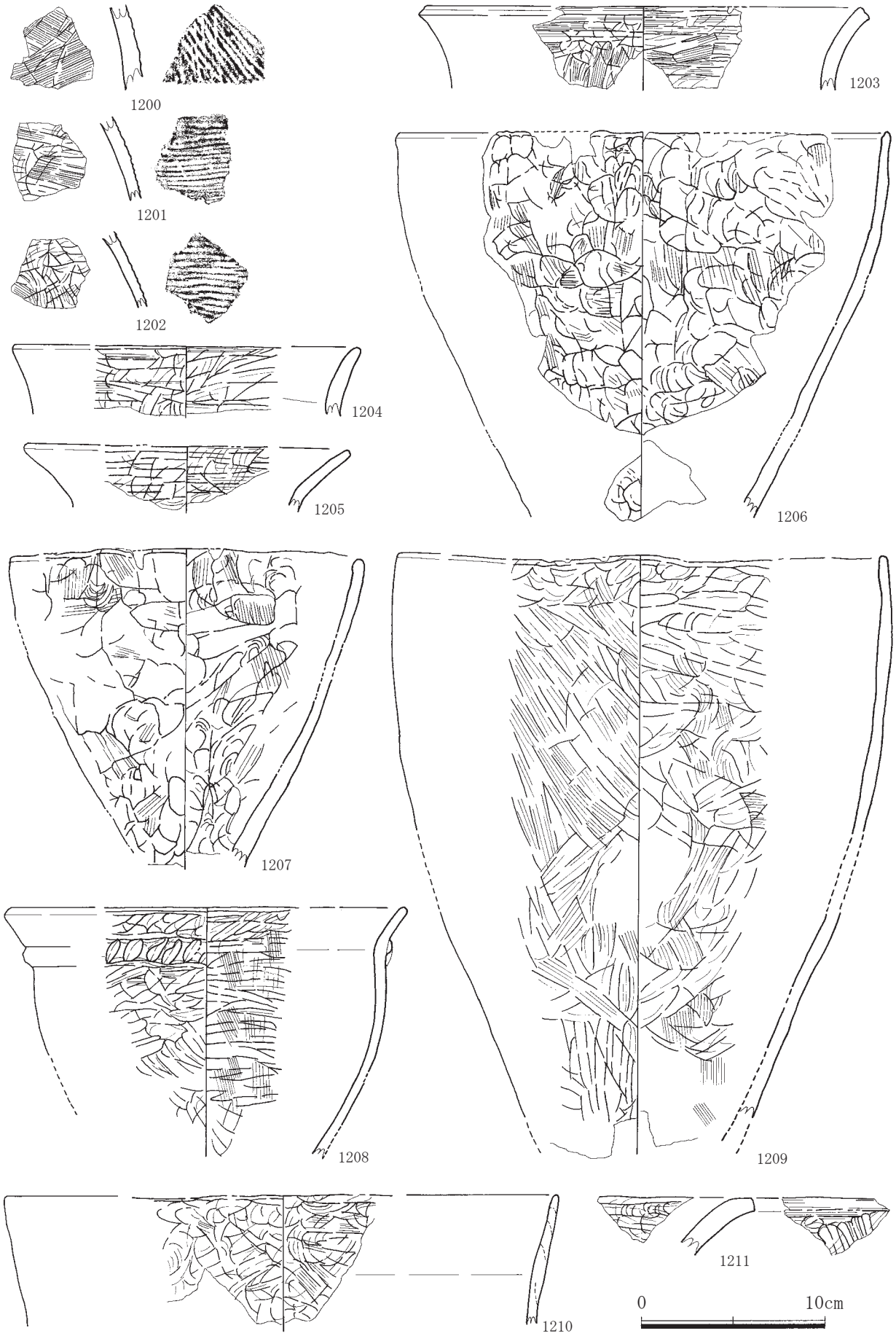
第 103 図　SA-44　出土土器（2）、SA-43-44 間の須恵器、SA-46、47　出土土器　実測図（1）



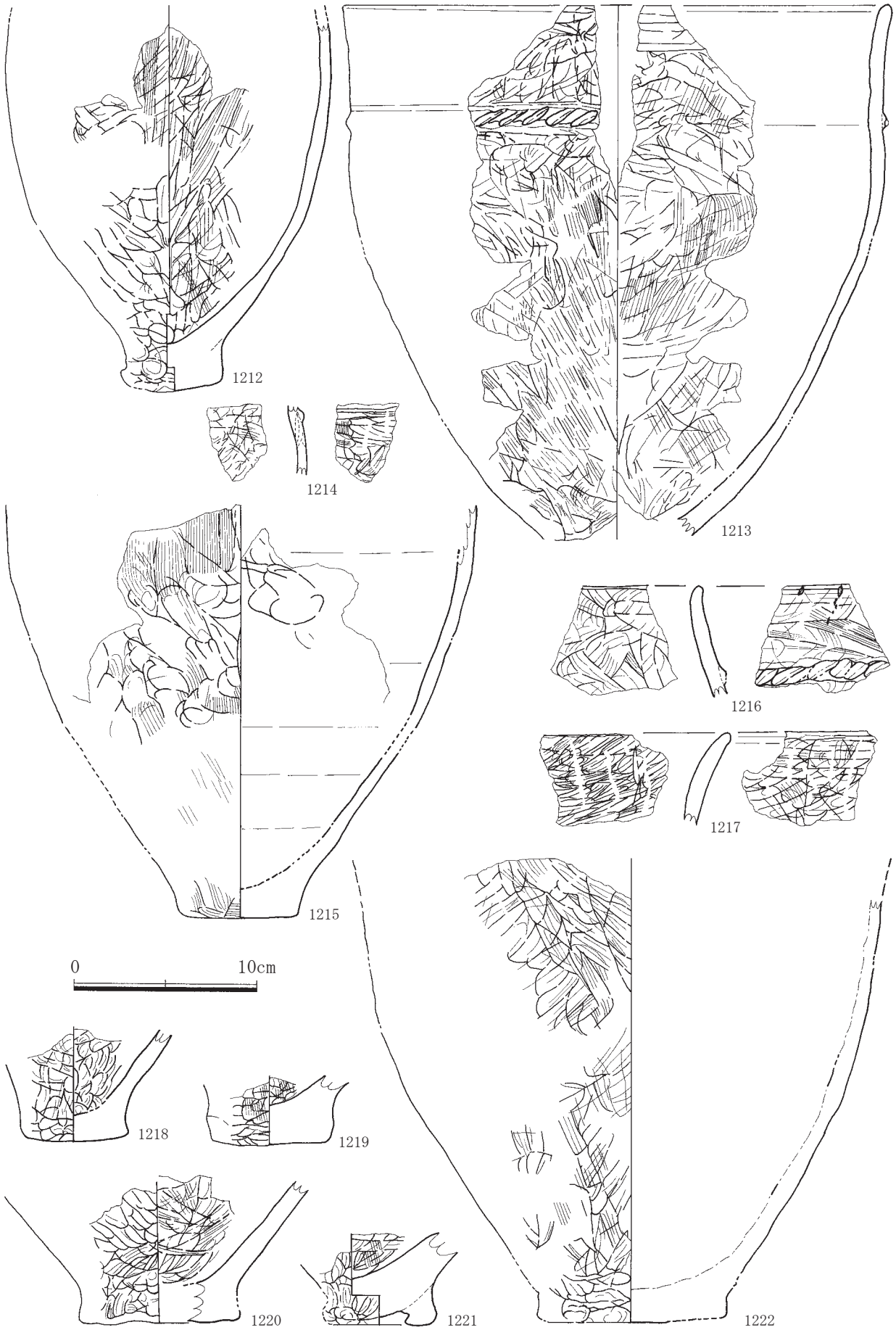
第 104 図　SA-47　出土土器　実測図（2）



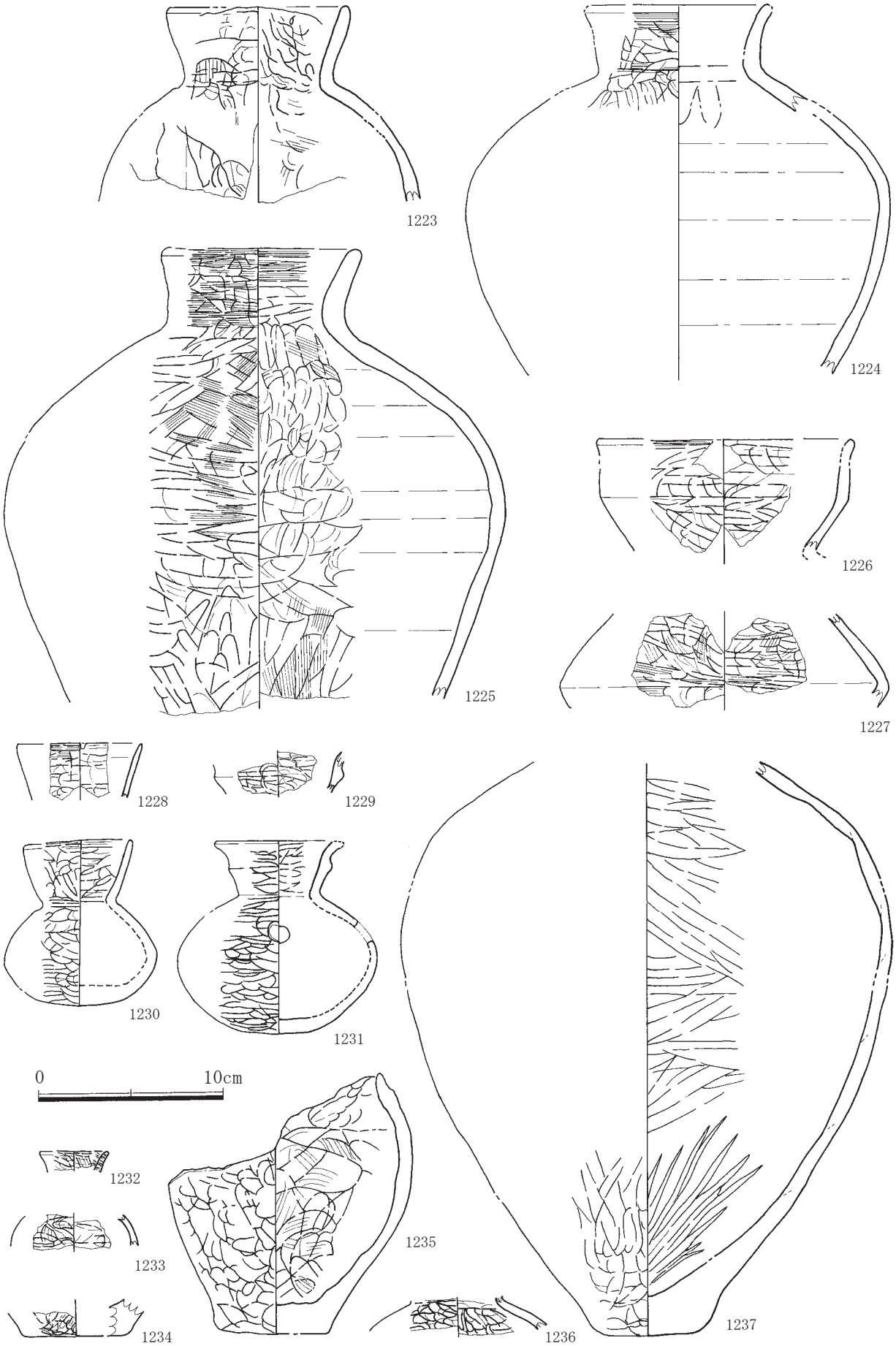
第 105 図　SA-47　出土土器実測図（3）、SA-47 内 SK-2　出土土器　実測図



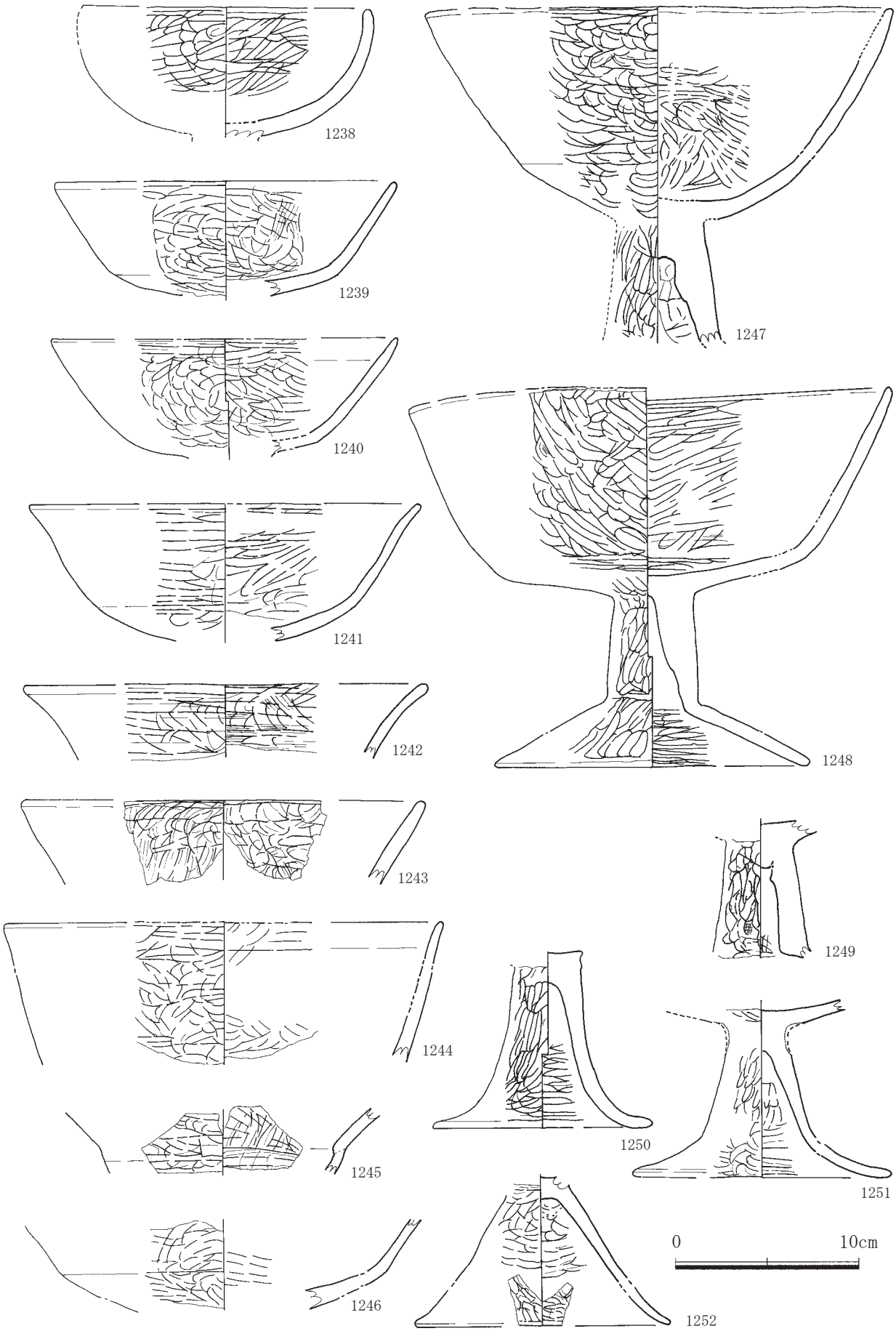
第 106 図　SA-48　出土土器　実測図（1）



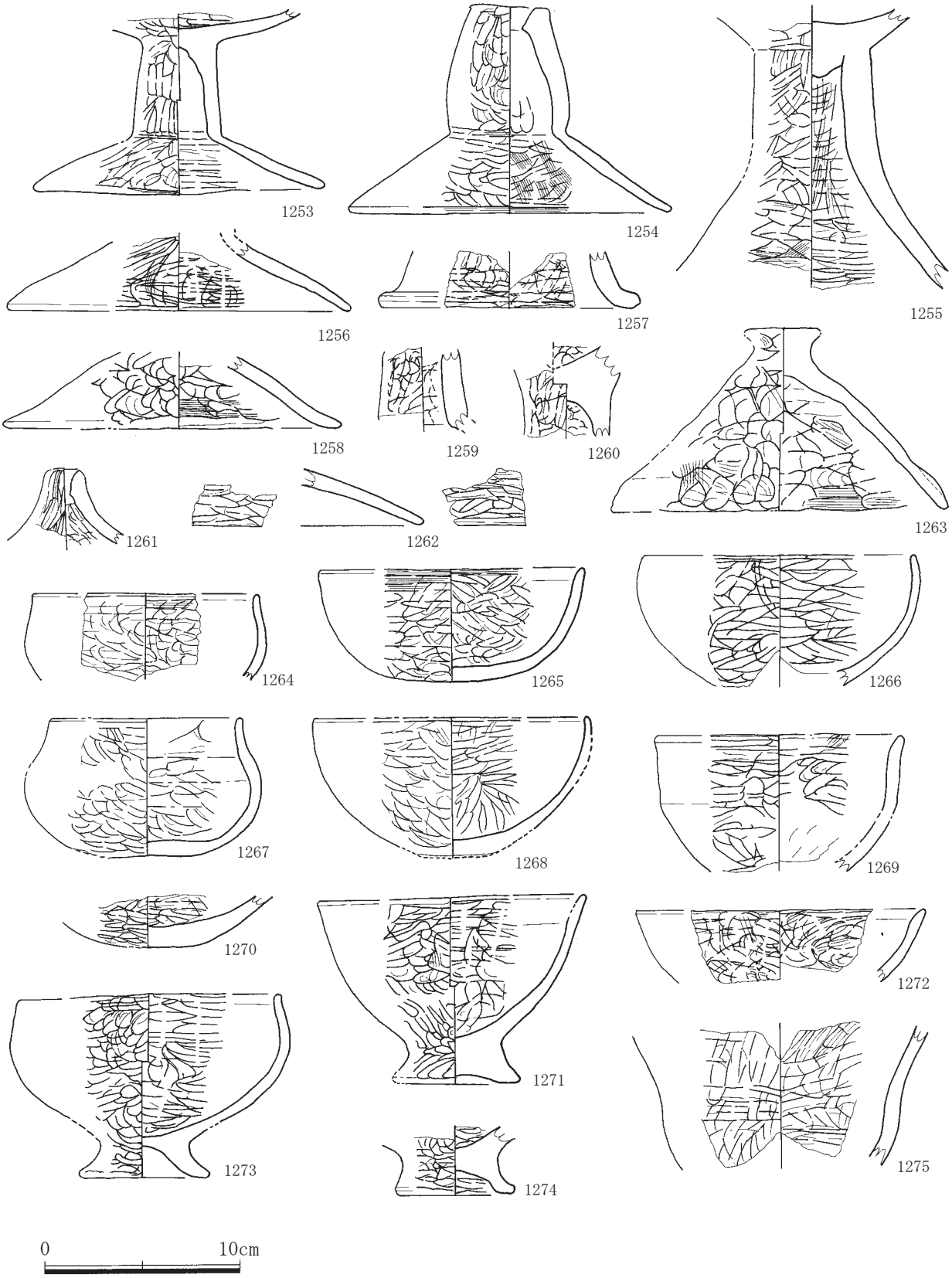
第 107 図　SA-48　出土土器　実測図（2）



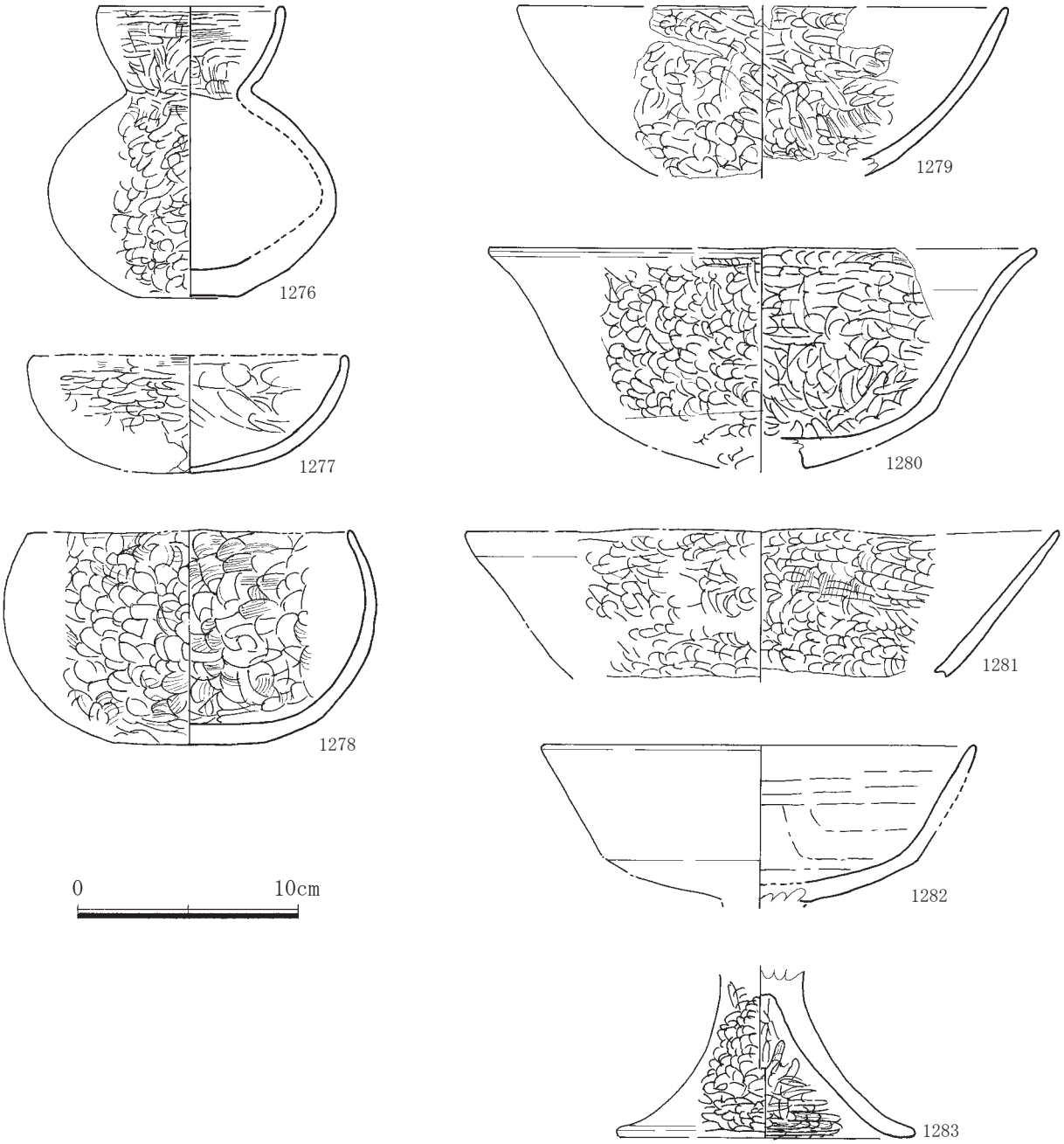
第 108 図　SA-48　出土土器　実測図（3）



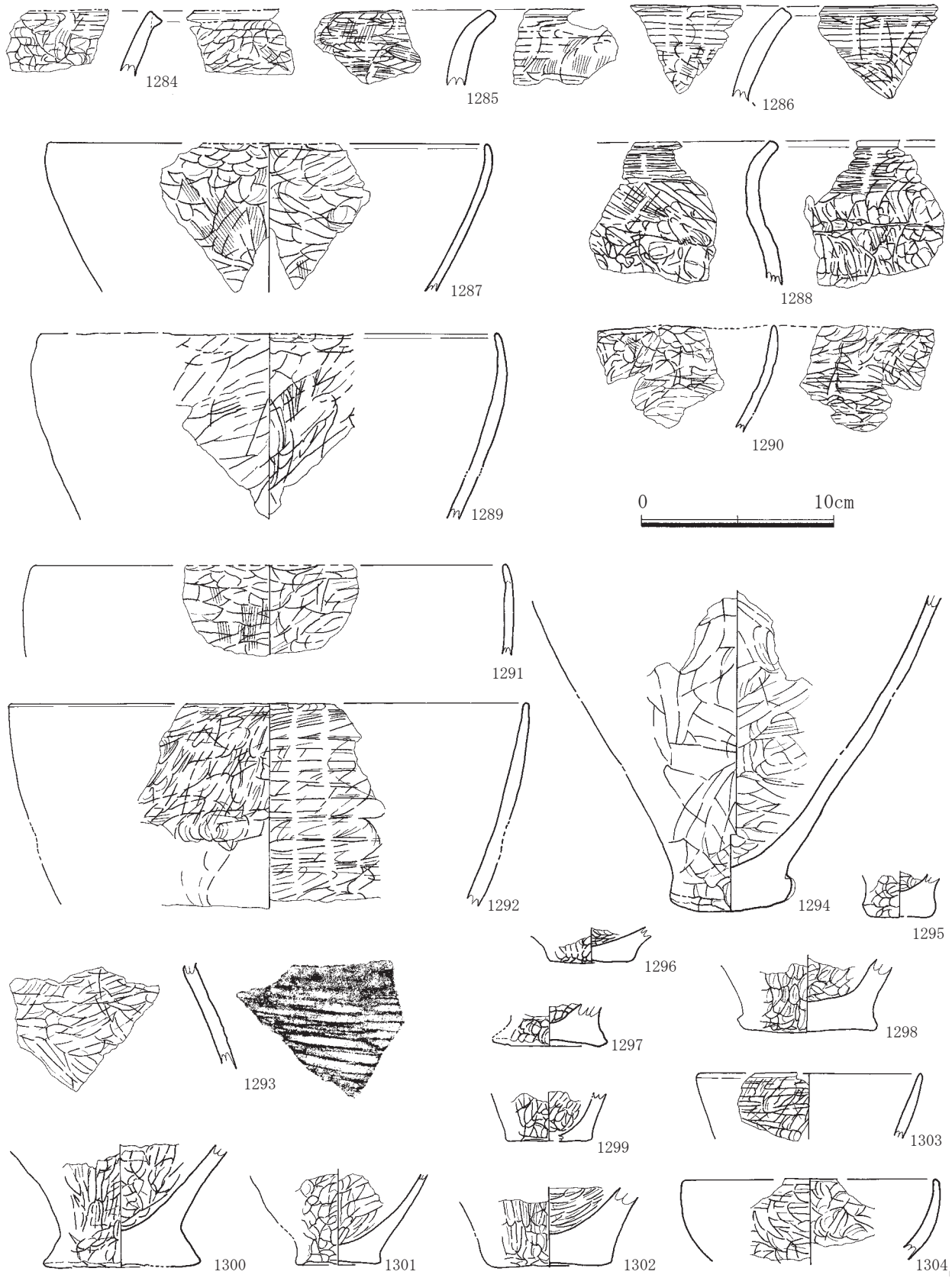
第 109 図　SA-48　出土土器　実測図（4）



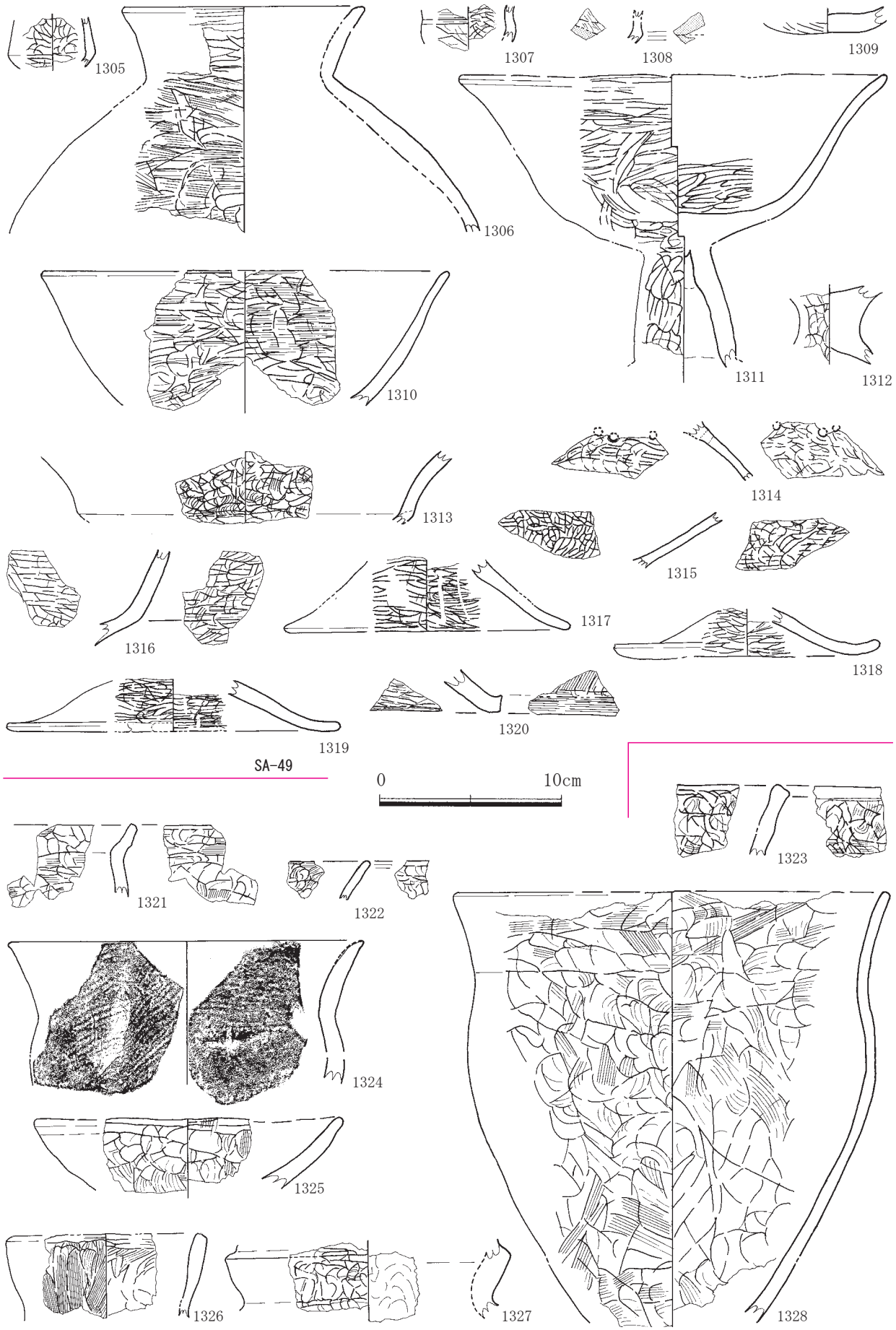
第 110 図　SA-48　出土土器　実測図（5）



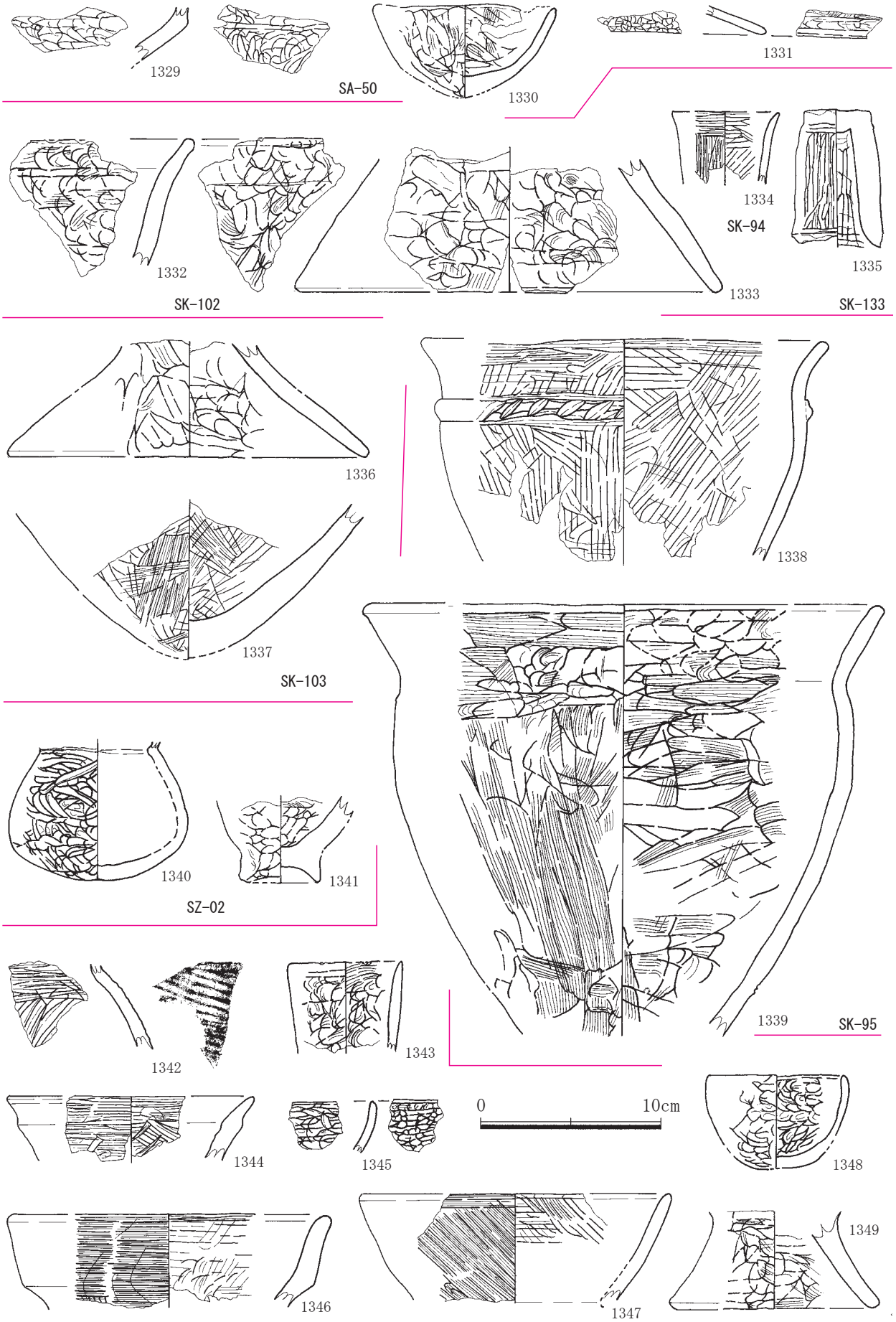
第 111 図　SA-48　出土土器　実測図（6）



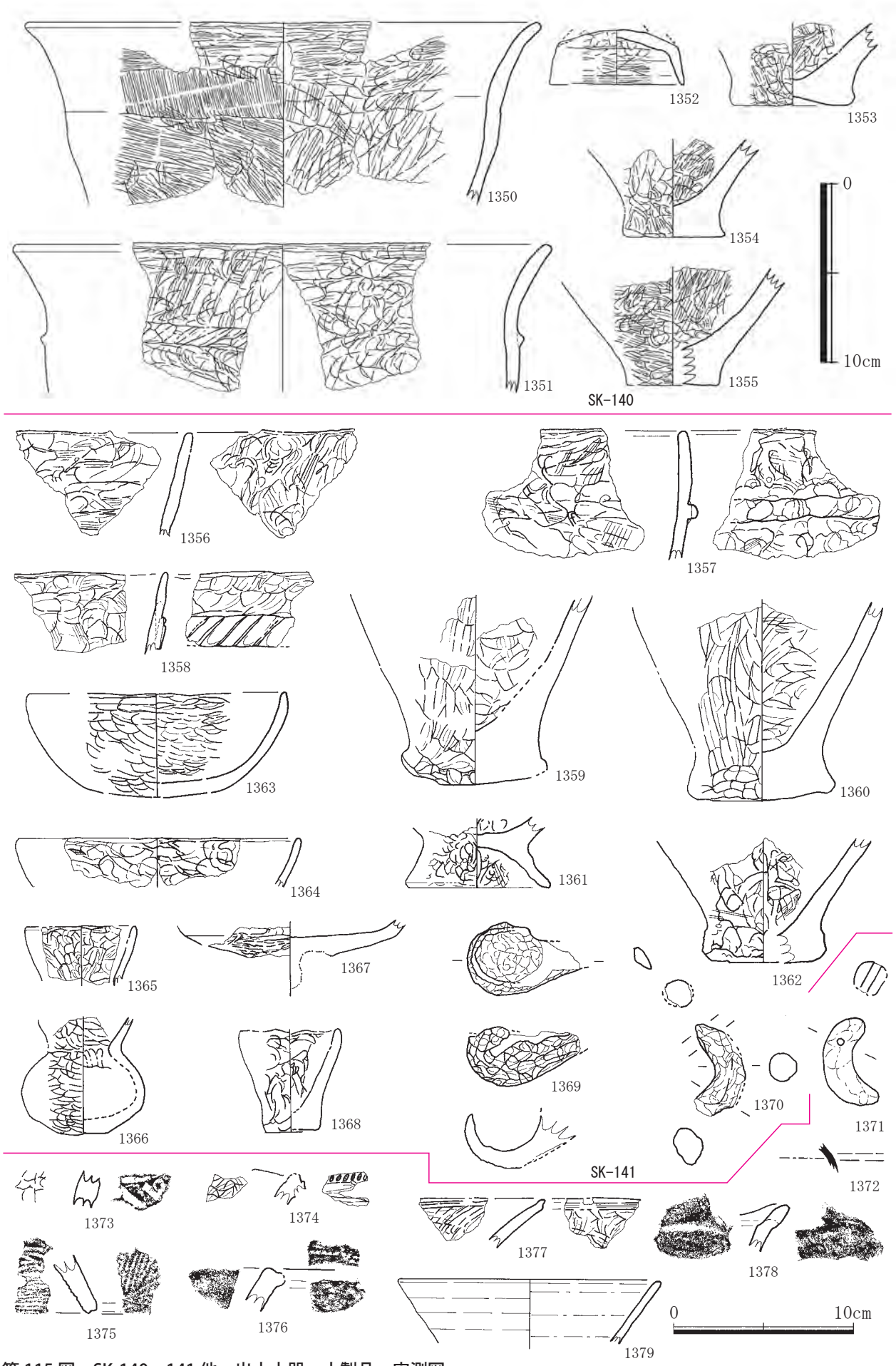
第 112 図　SA-49 出土土器実測図（1）



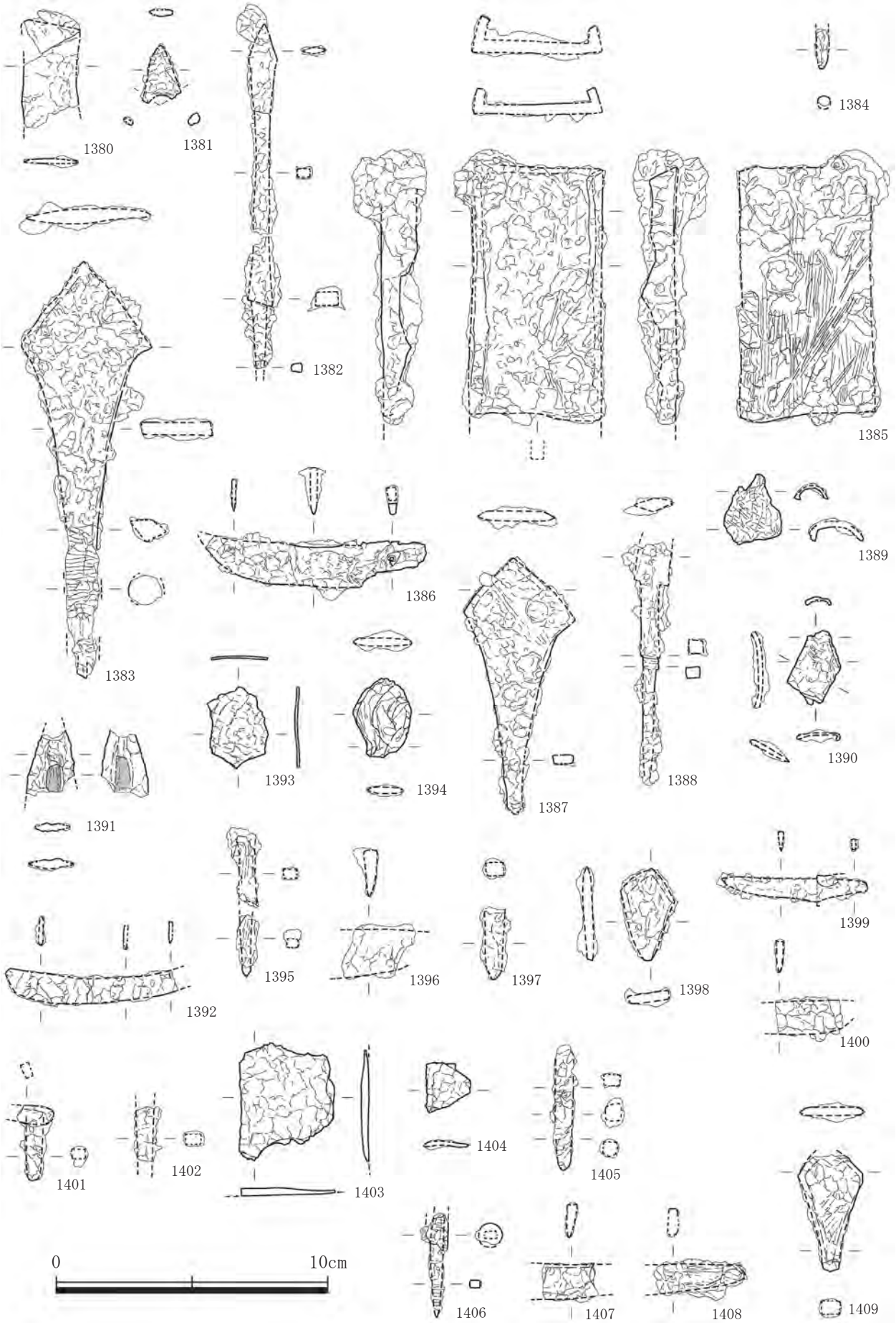
第 113 図　SA-49　出土土器（2）、SA-50　出土土器　実測図（1）



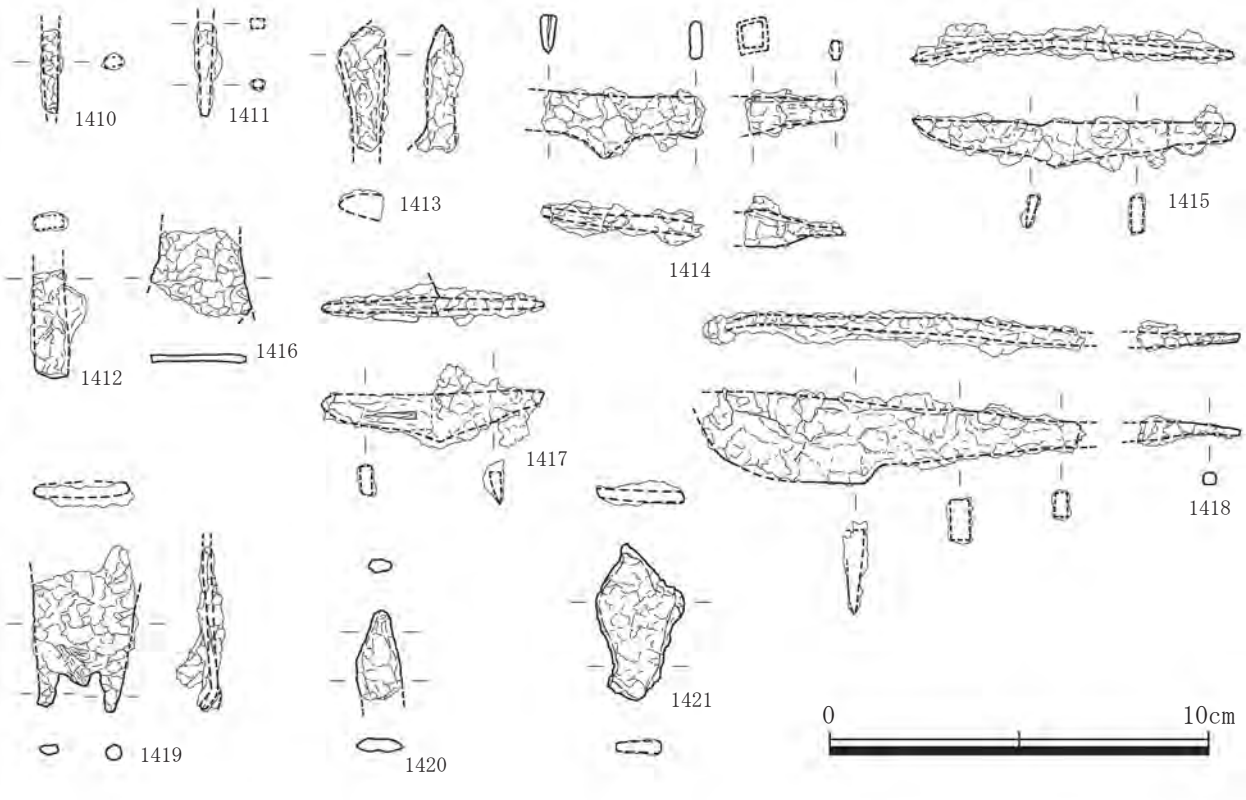
第 114 図　SA-50　出土土器（2）、SK-102、103 他、SZ-02、Ⅱ～Ⅲ層、攪乱　出土土器　実測図



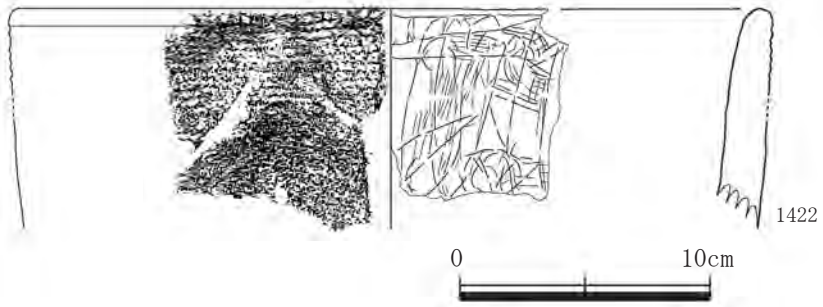
第 115 図　SK-140、141 他　出土土器・土製品　実測図



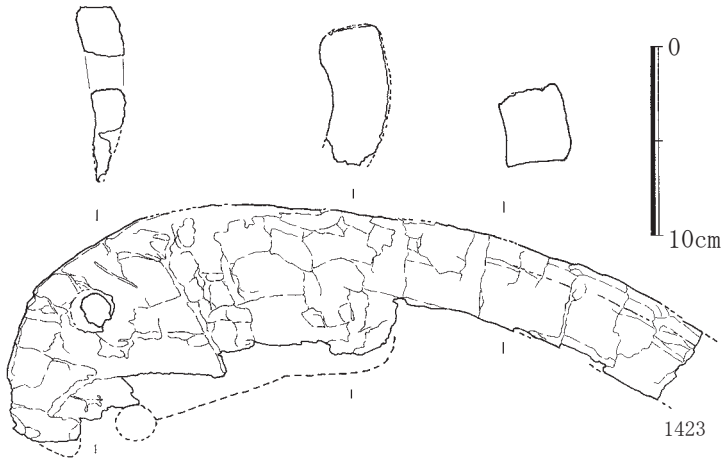
第 116 図　Ⅱ～Ⅲ区　出土鉄器　実測図（1）



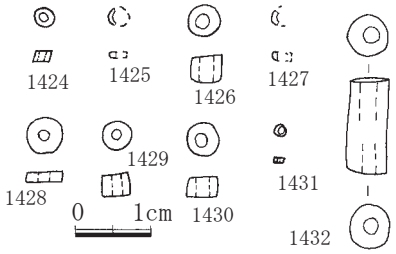
第 117 図　II～III区出土鉄器実測図（2）



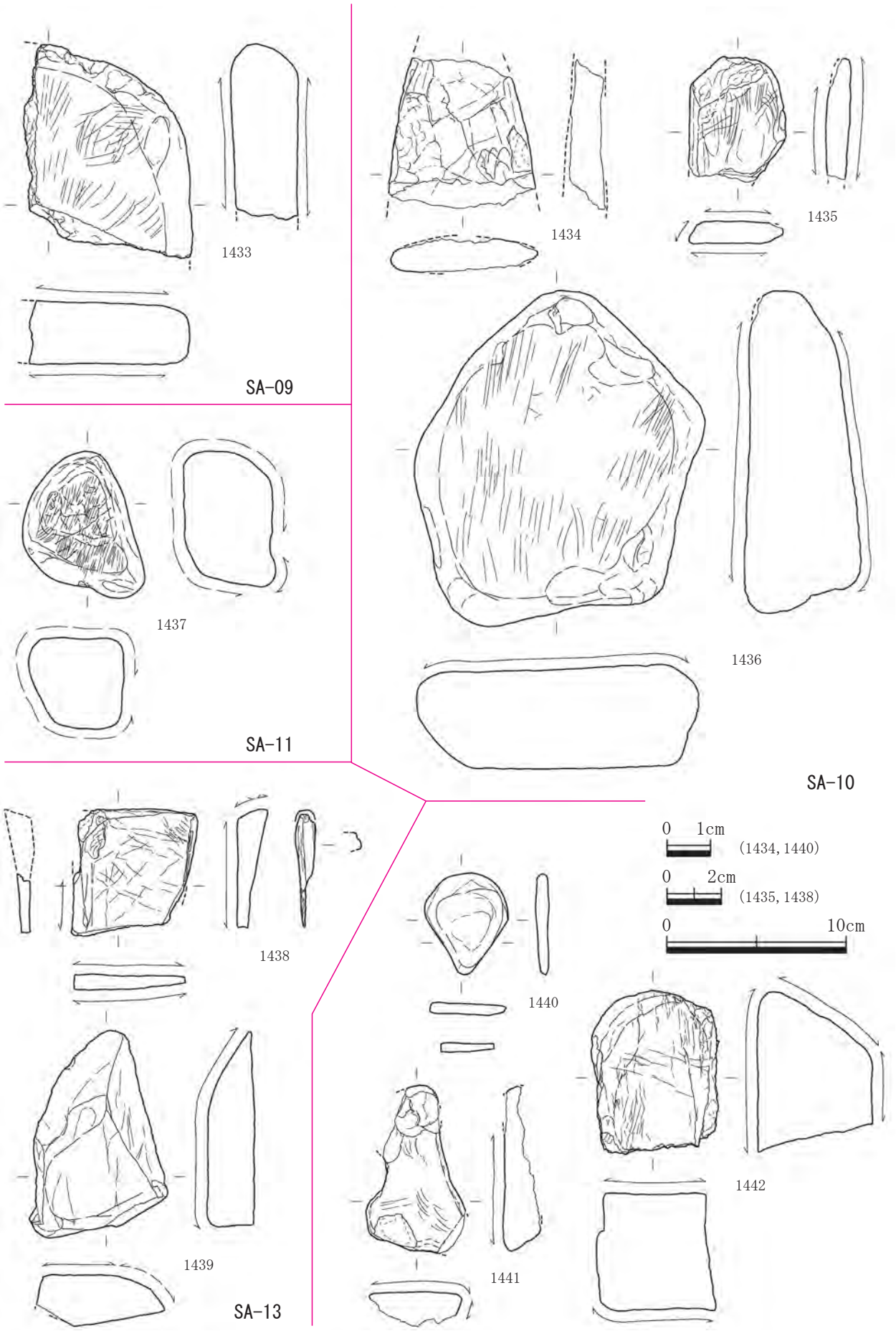
第 118 図　SA-33 内サブトレVI層出土縄文土器実測図



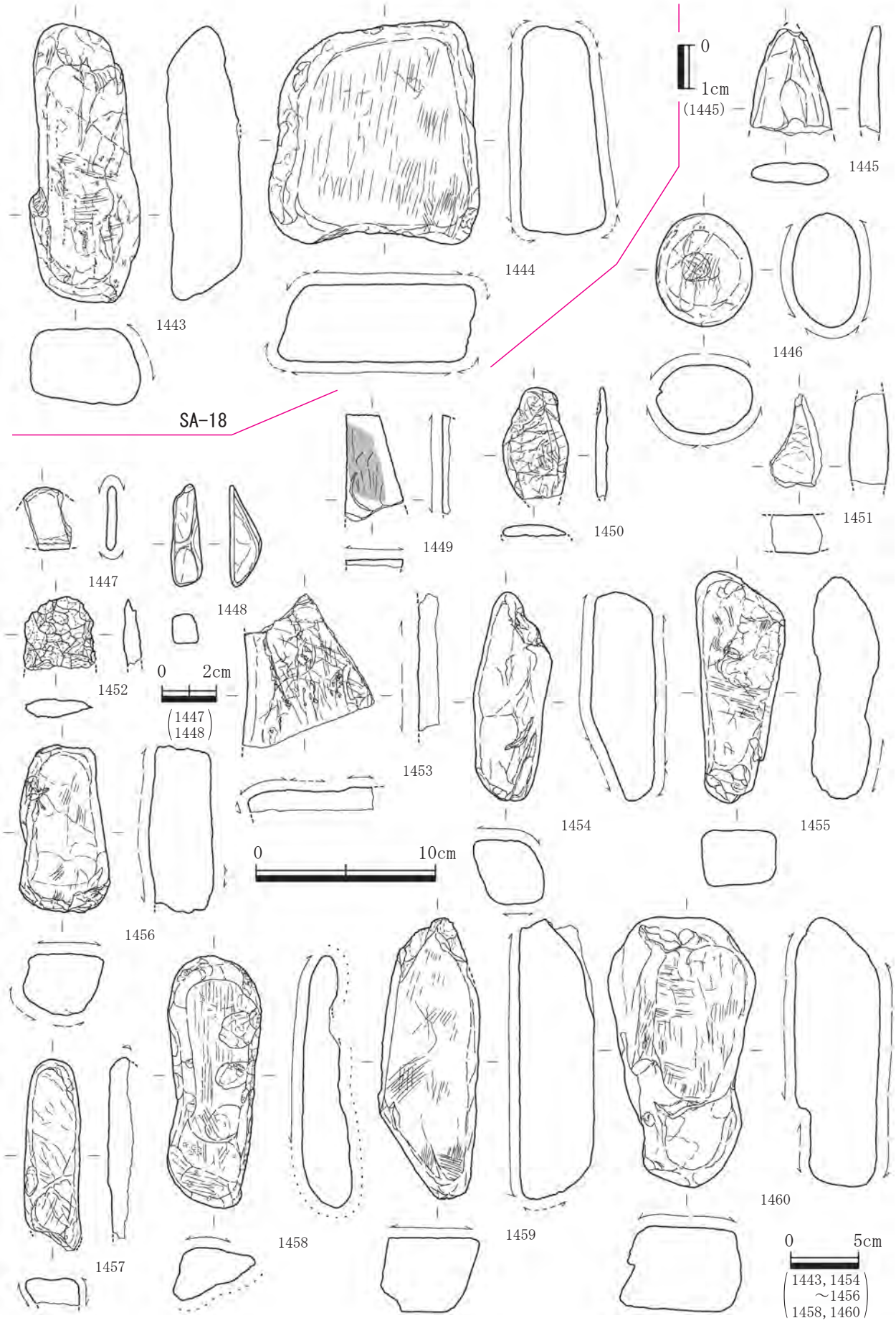
第 119 図　SA-17 内 SK 出土　炭化木器実測図



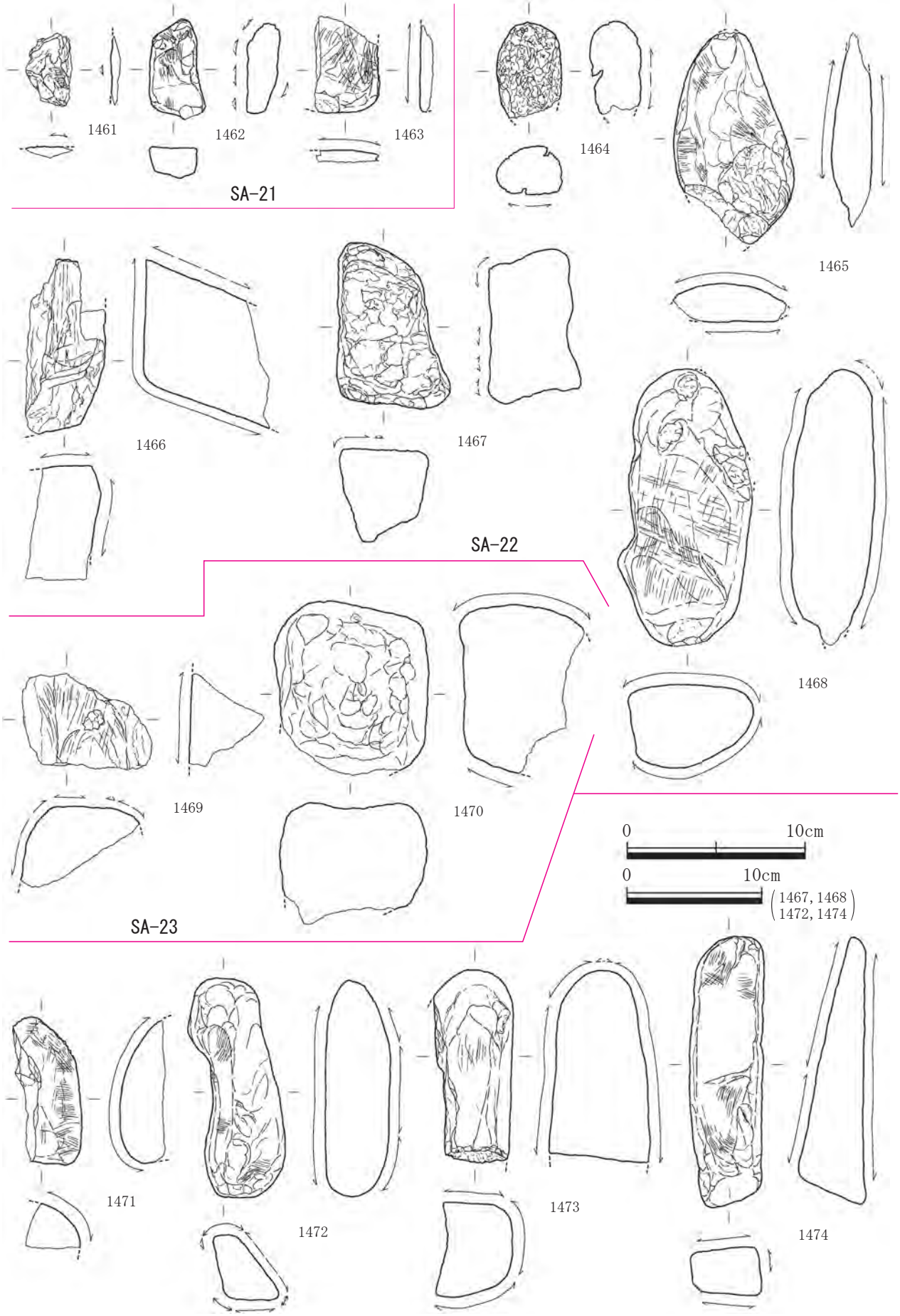
第 120 図　ガラス小玉、臼玉、管玉　実測図



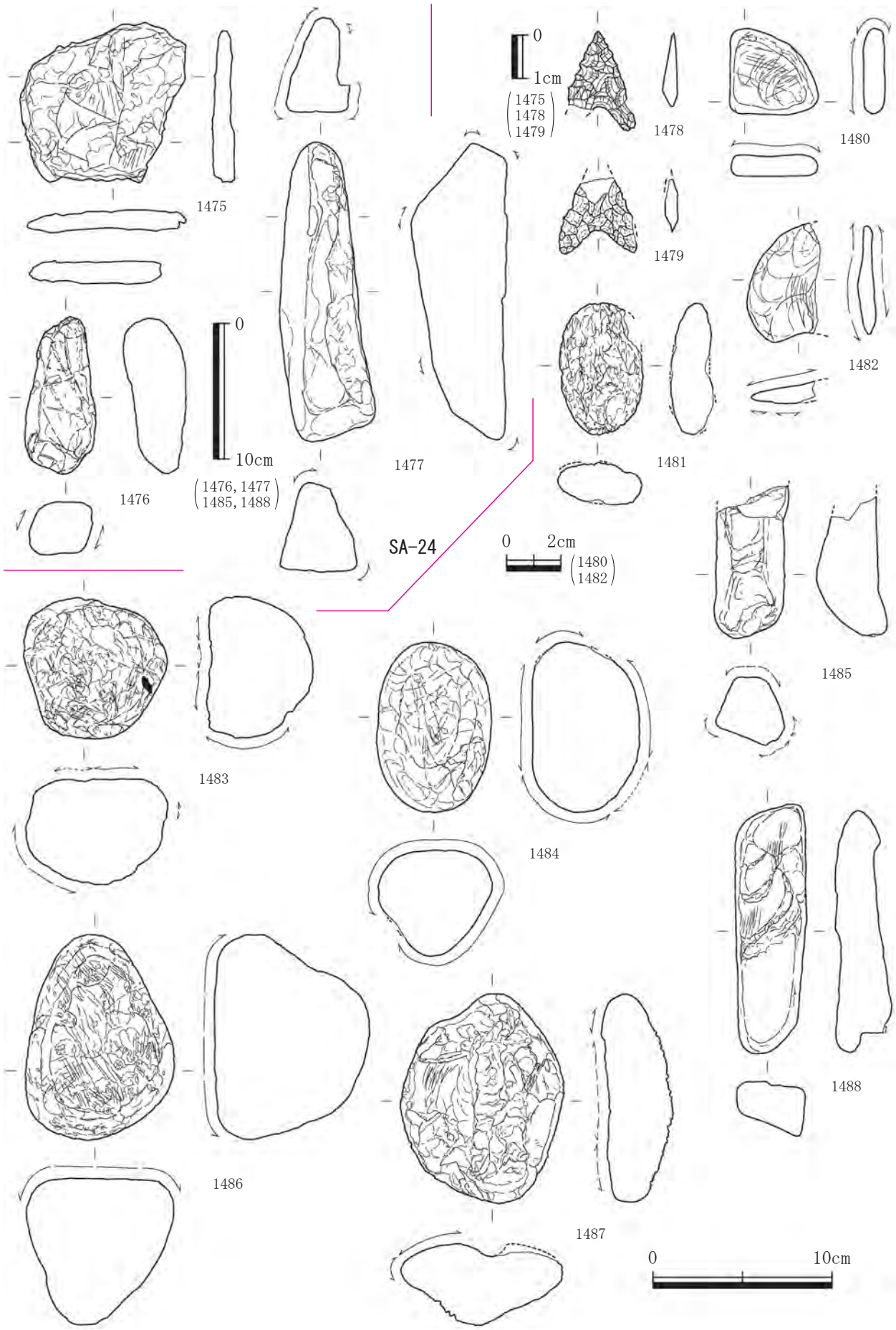
第 121 図　SA-09、10、11、13、14　出土石器　実測図



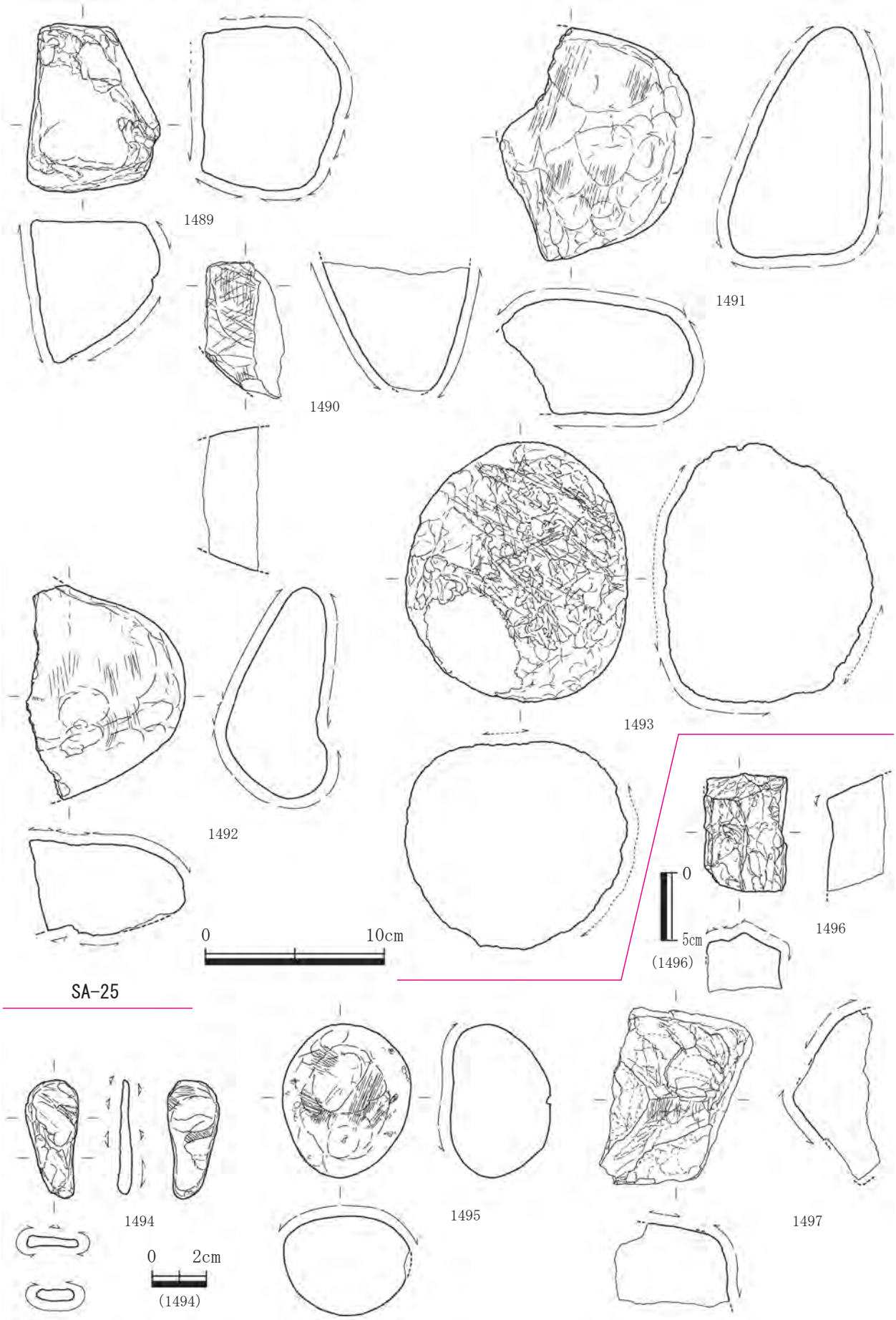
第 122 図　SA-18、20　出土石器　実測図



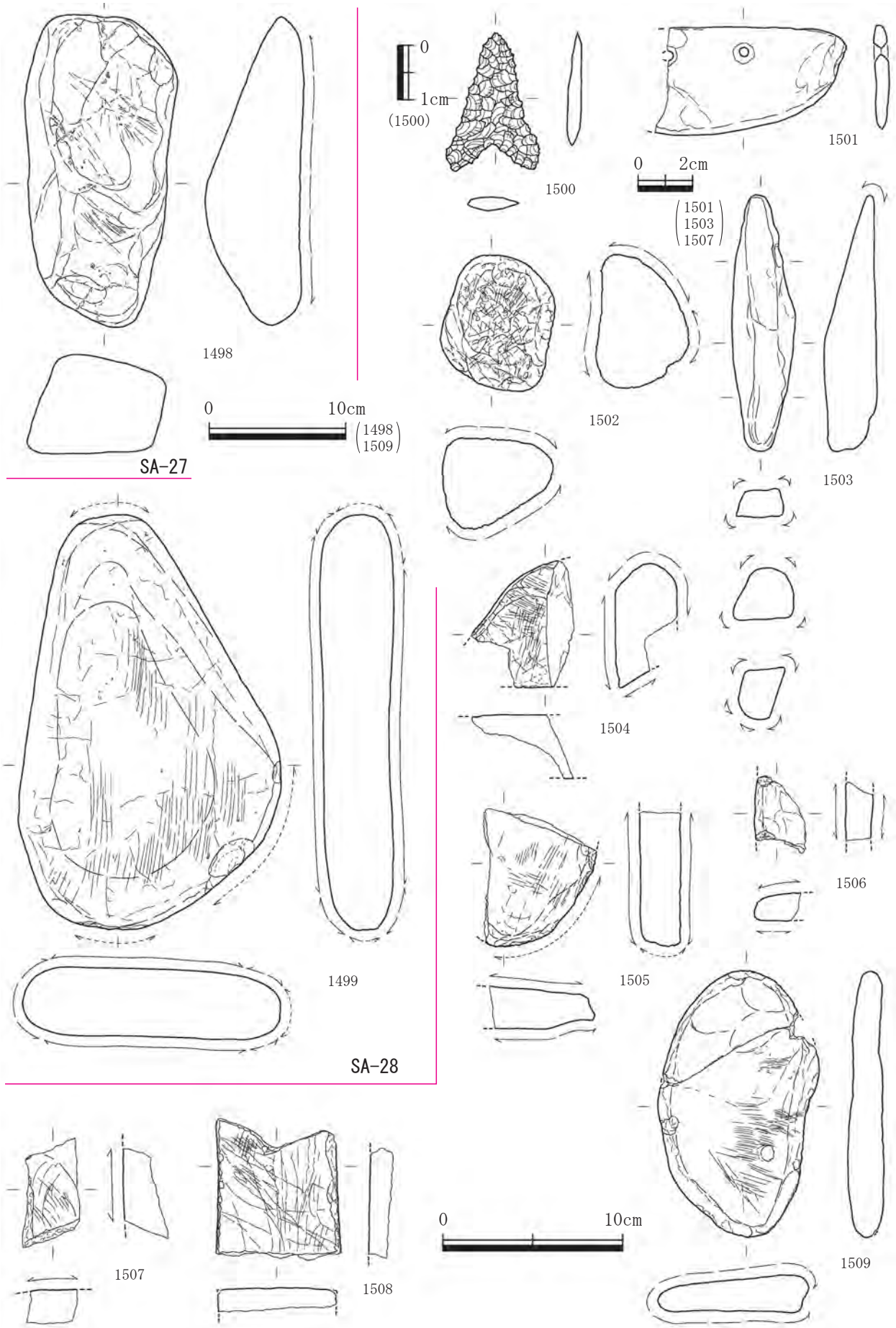
第 123 図　SA-21、22、23、24　出土石器　実測図（1）



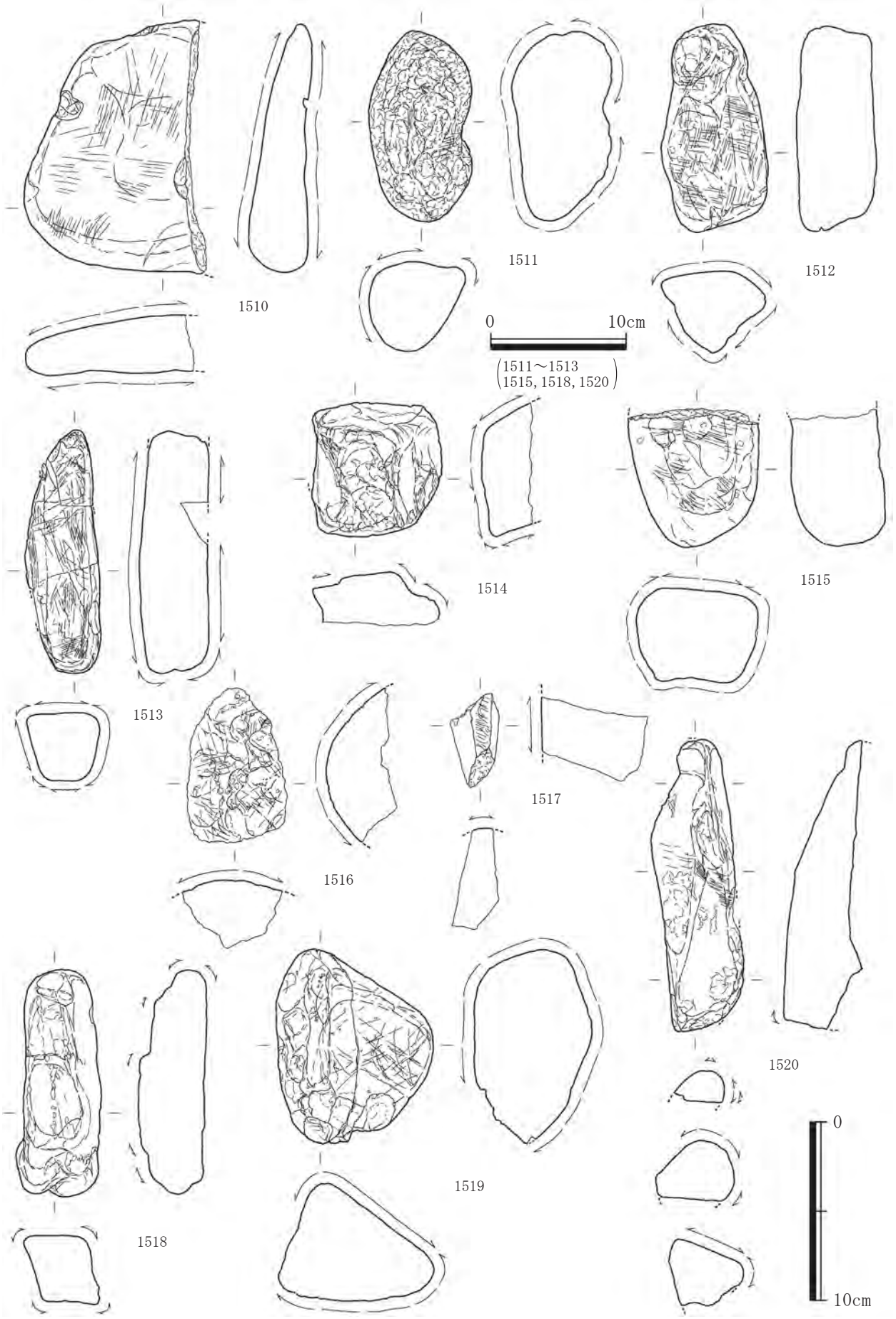
第 124 図　SA-24　出土石器（2）、SA-25　出土石器　実測図（1）



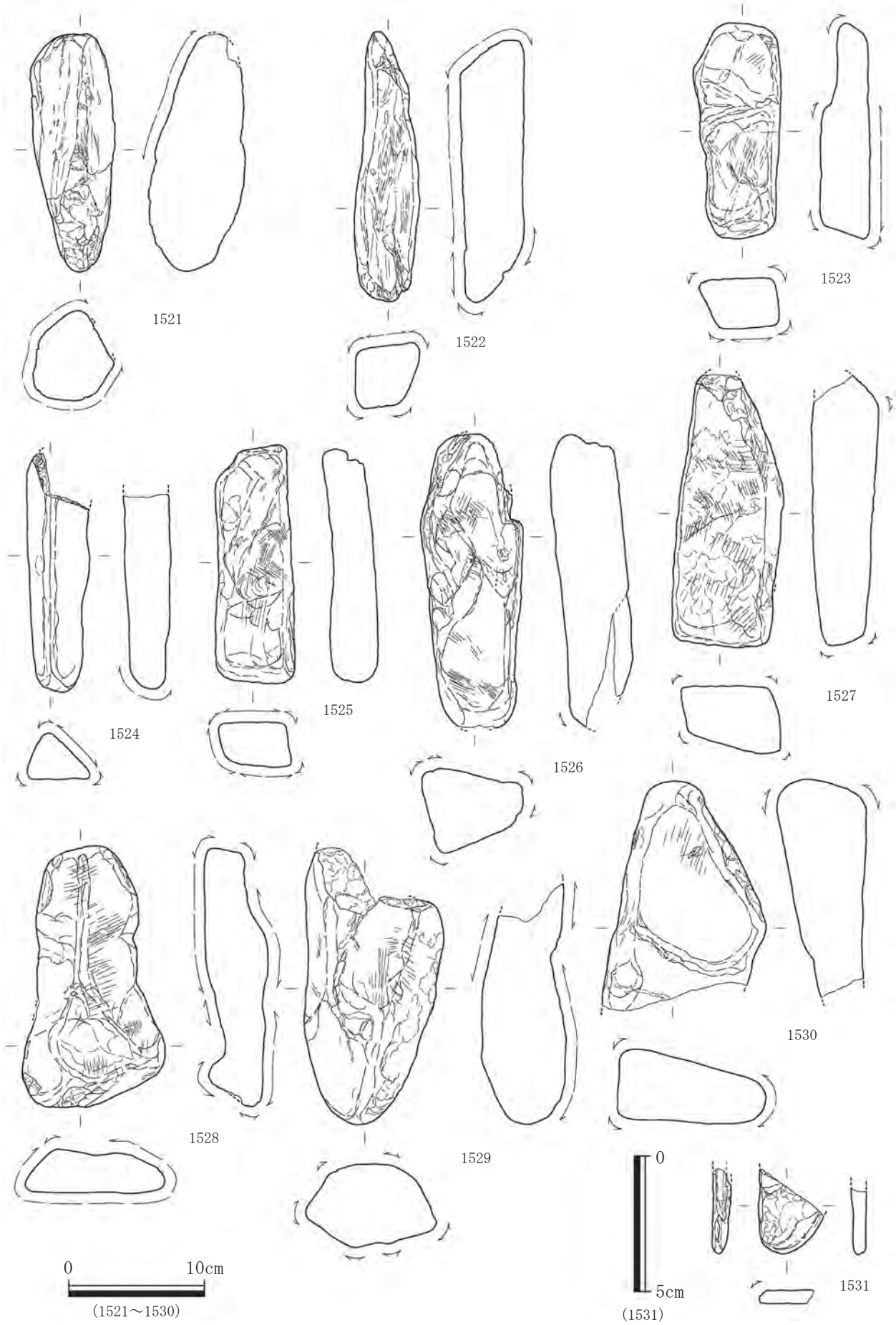
第 125 図　SA-25　出土石器（2）、SA-27　出土石器　実測図（1）



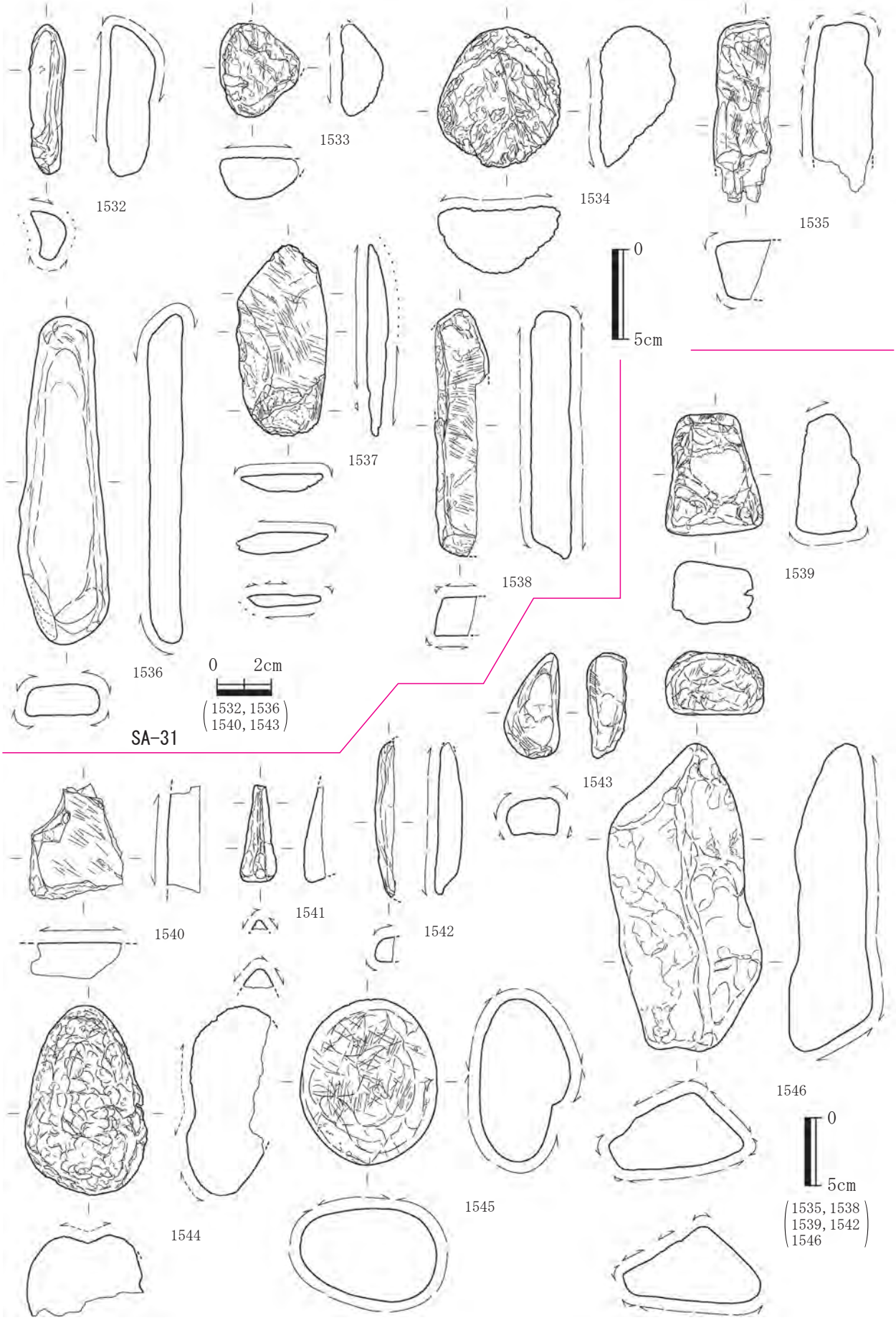
第 126 図　SA-27　出土石器（2）、SA-28･30　出土石器　実測図（1）



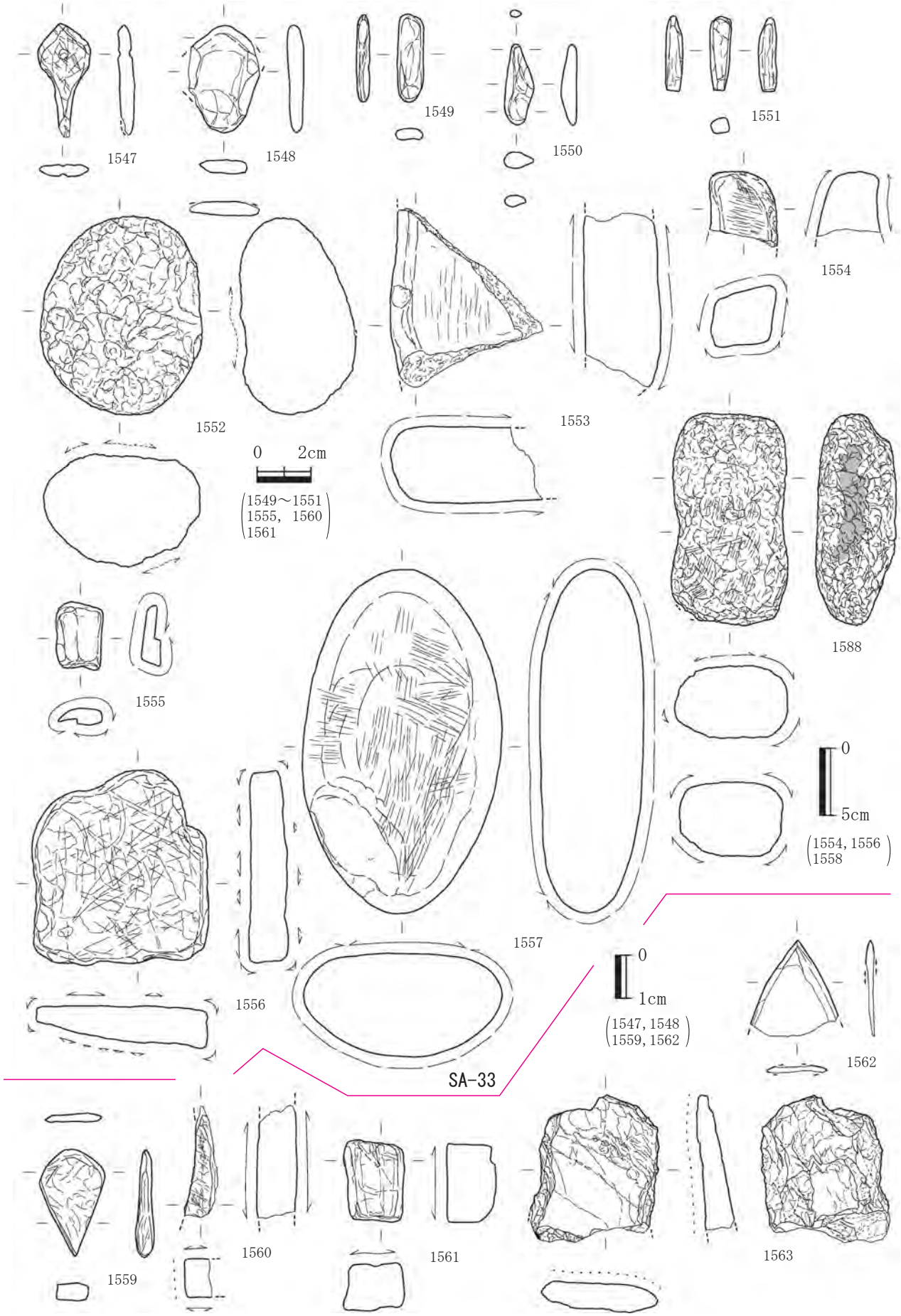
第 127 図　SA-30　出土石器　実測図（2）



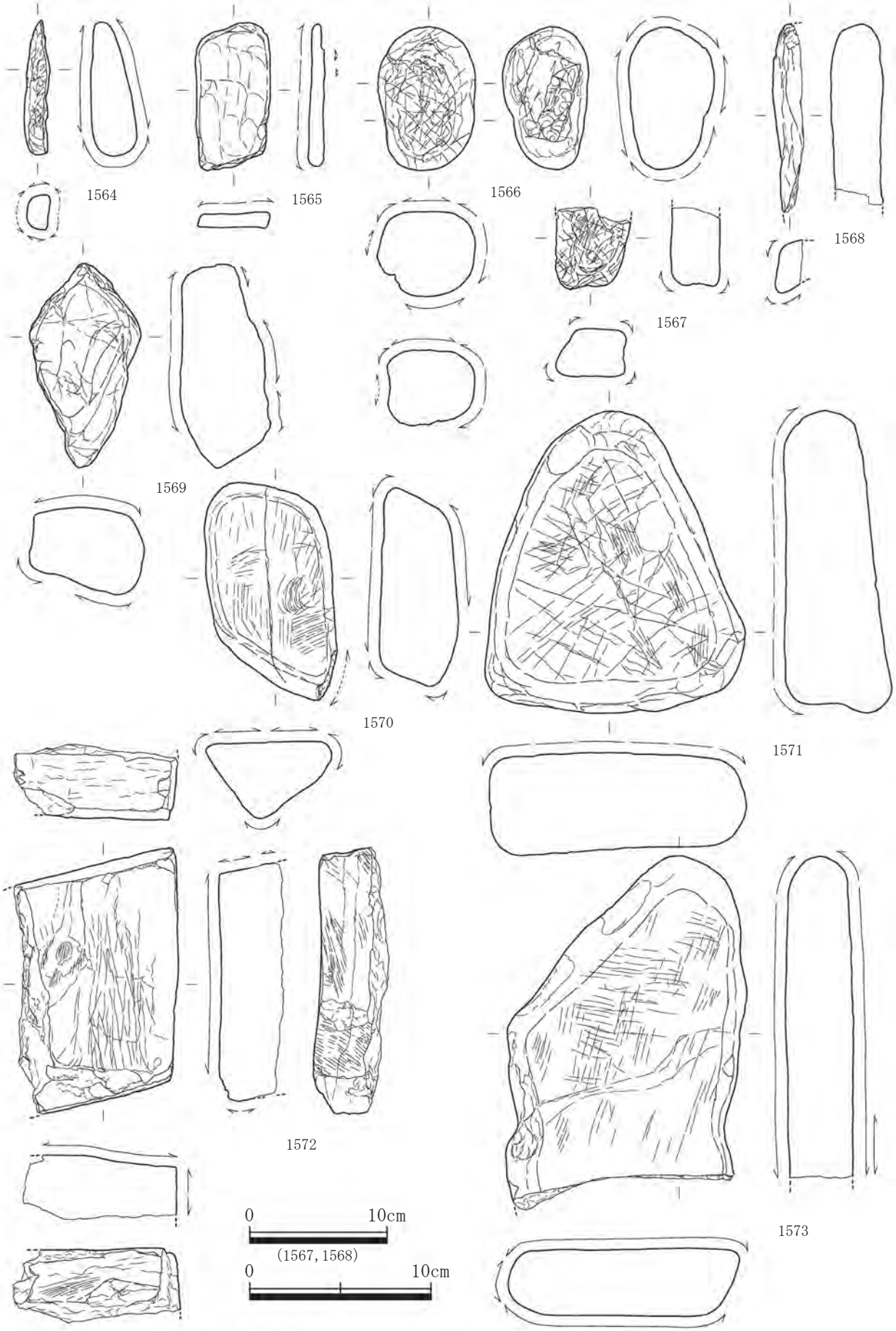
第 128 図　SA-30　出土石器　実測図（3）



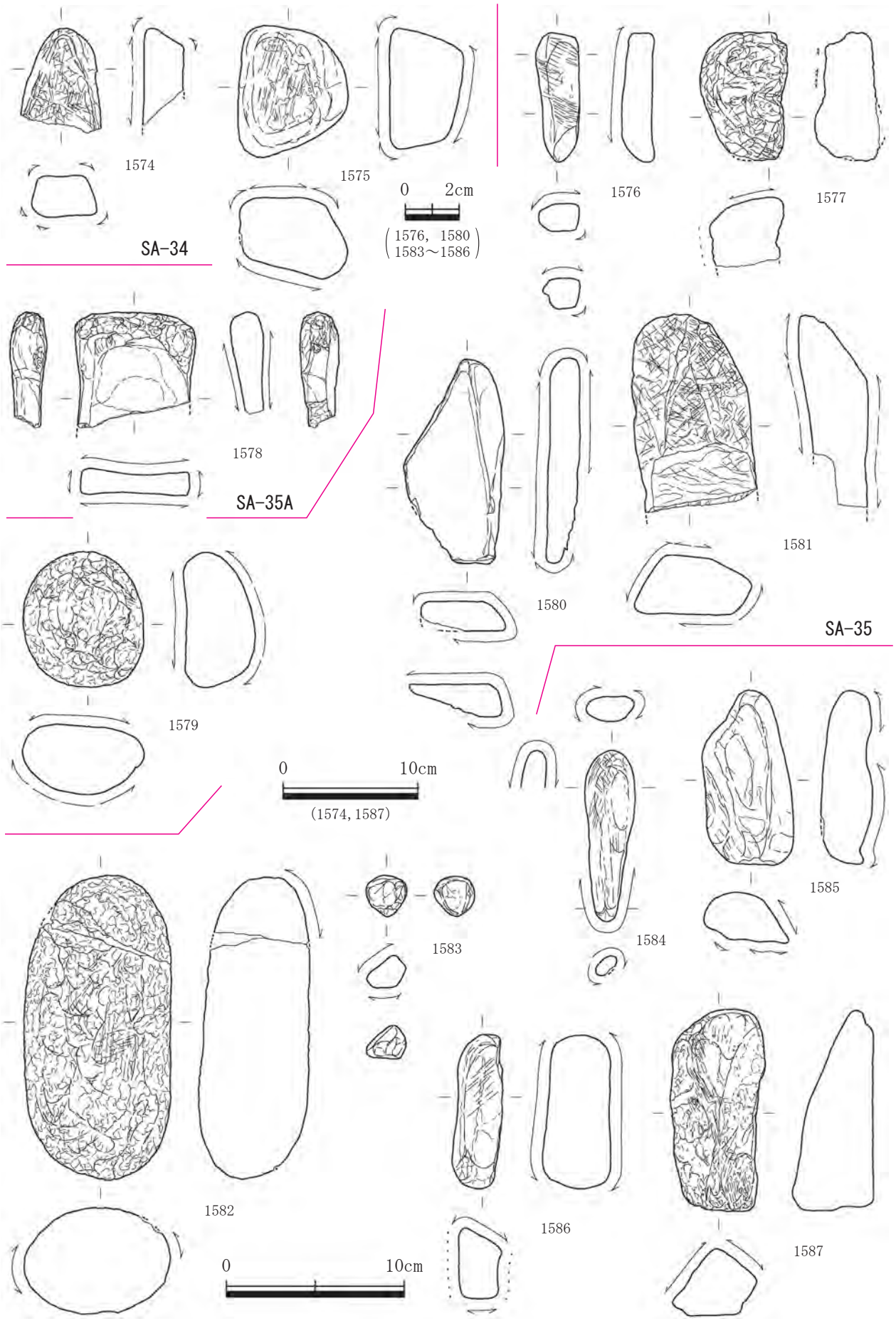
第 129 図　SA-31、32　出土石器　実測図



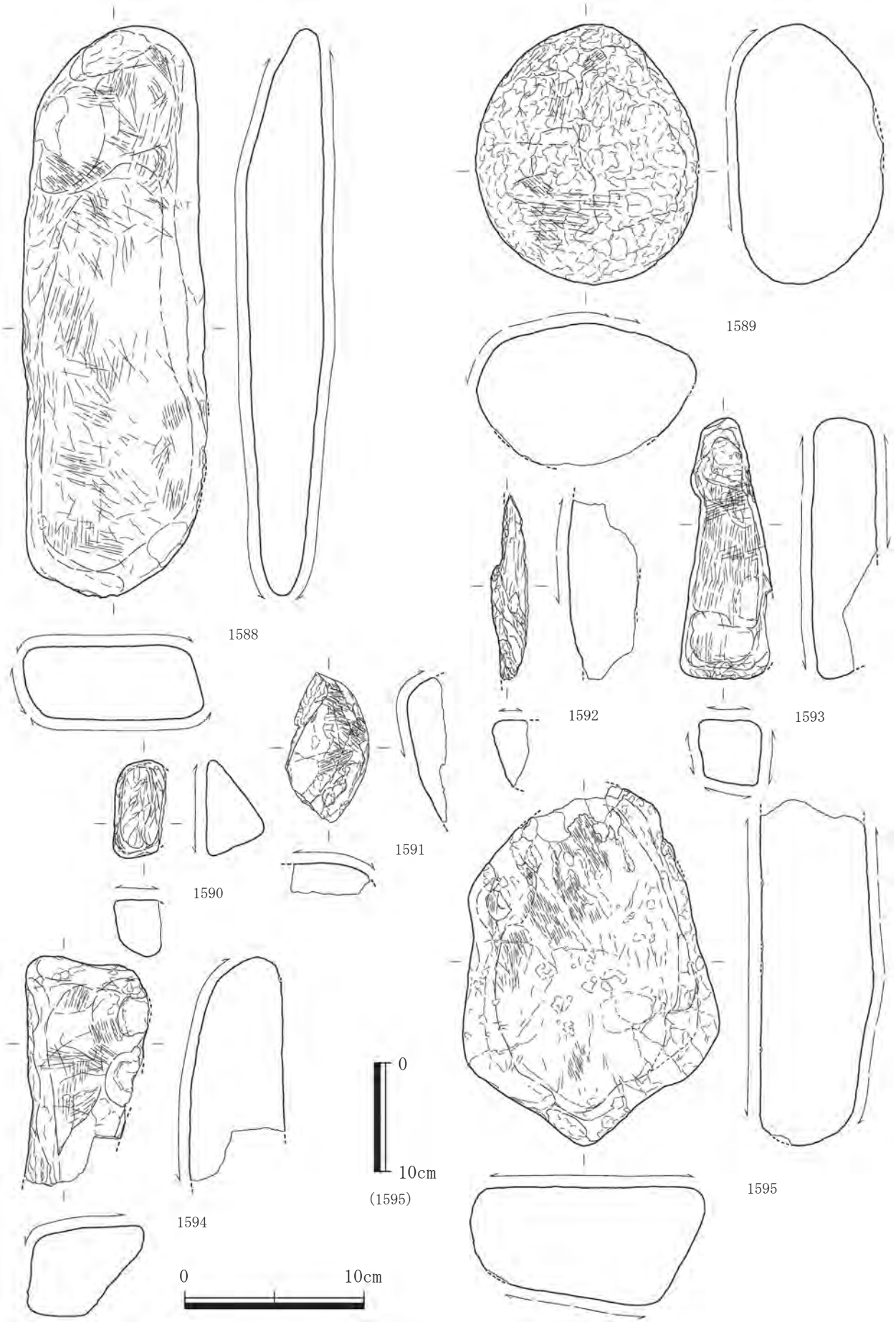
第 130 図　SA-33、SA-33・34 間、SA-34　出土石器　実測図（1）



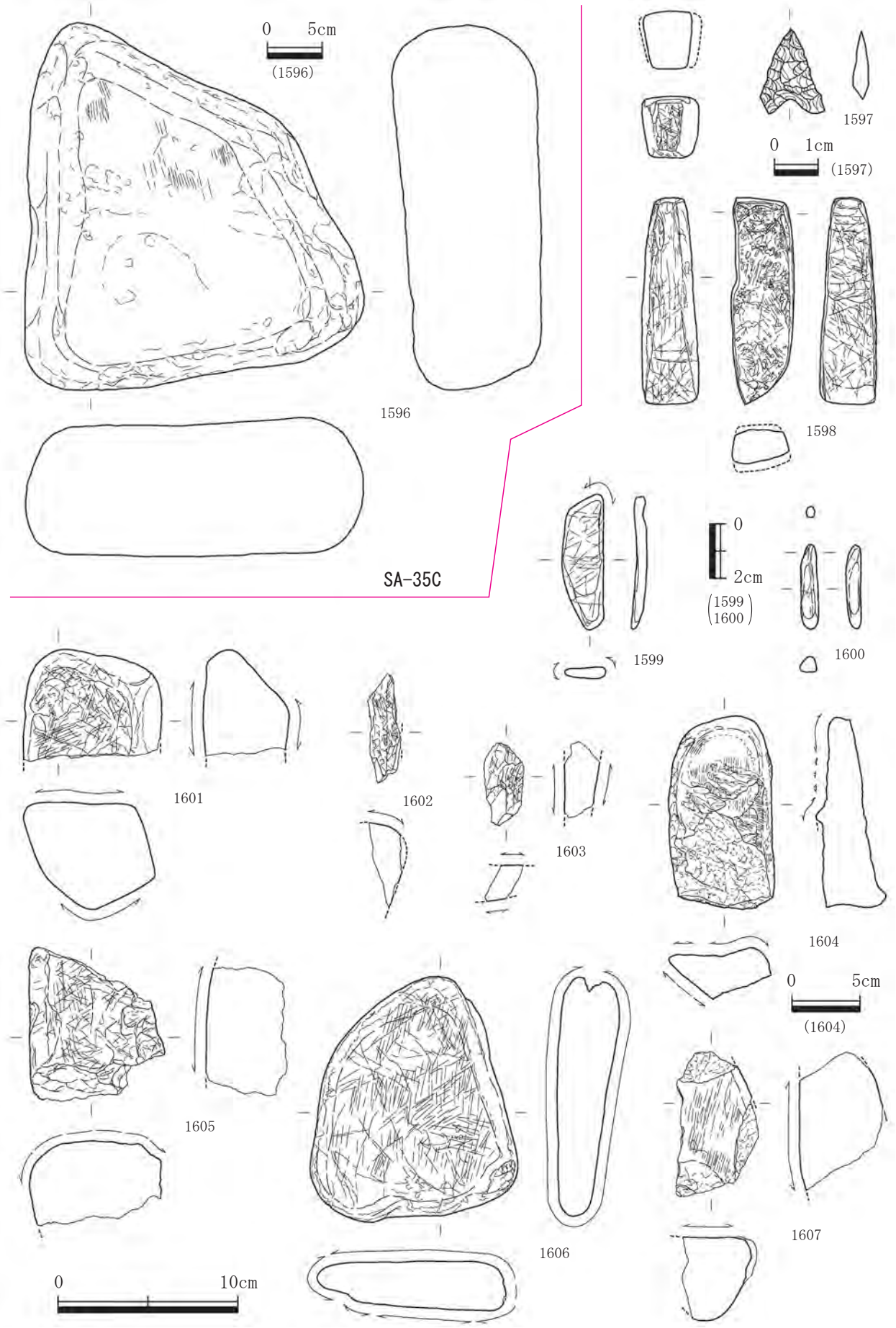
第 131 図　SA-34　出土石器　実測図（2）



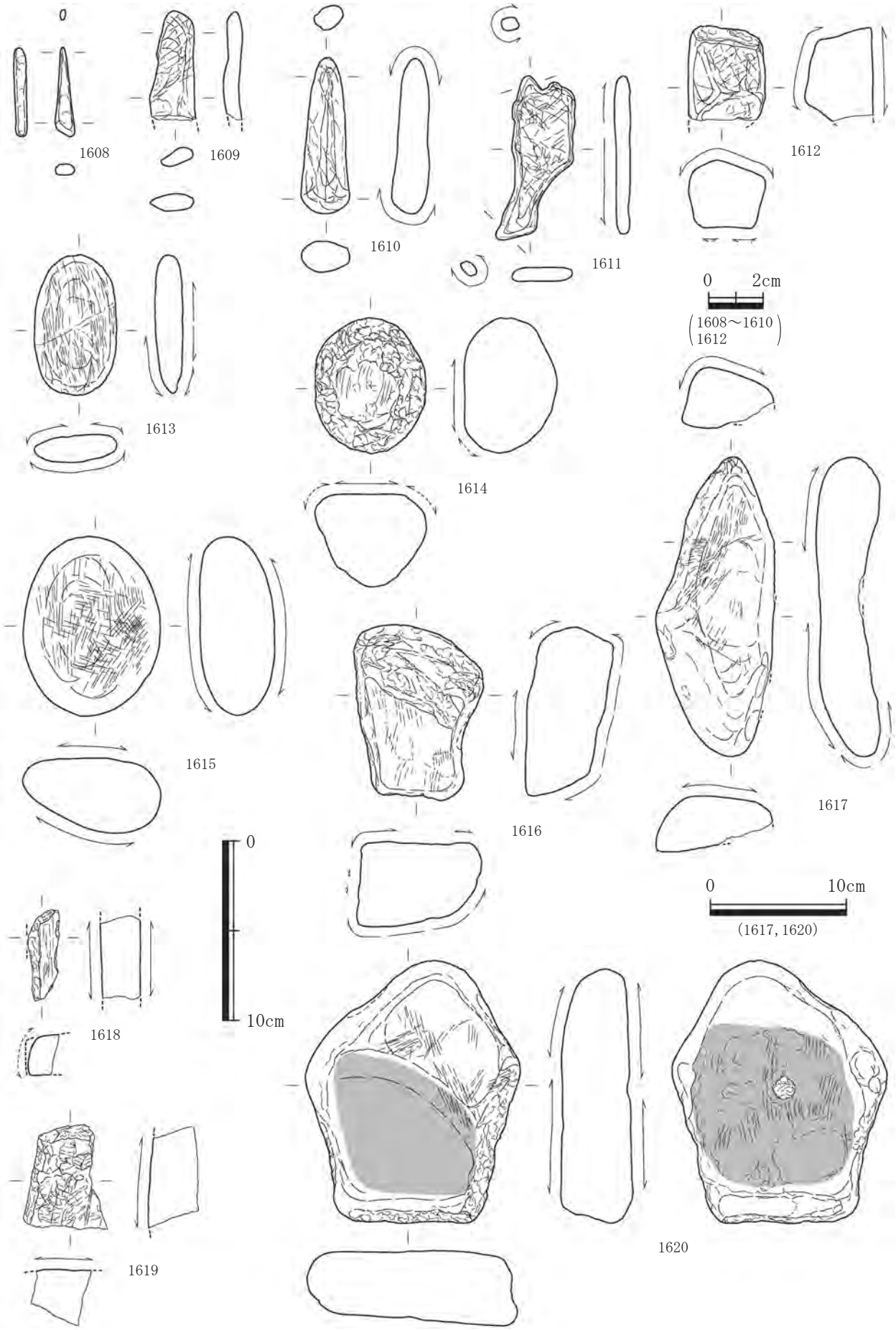
第 132 図　SA-34　出土石器　実測図（3）、SA-35、35A・SA-35C（1）　出土石器　実測図



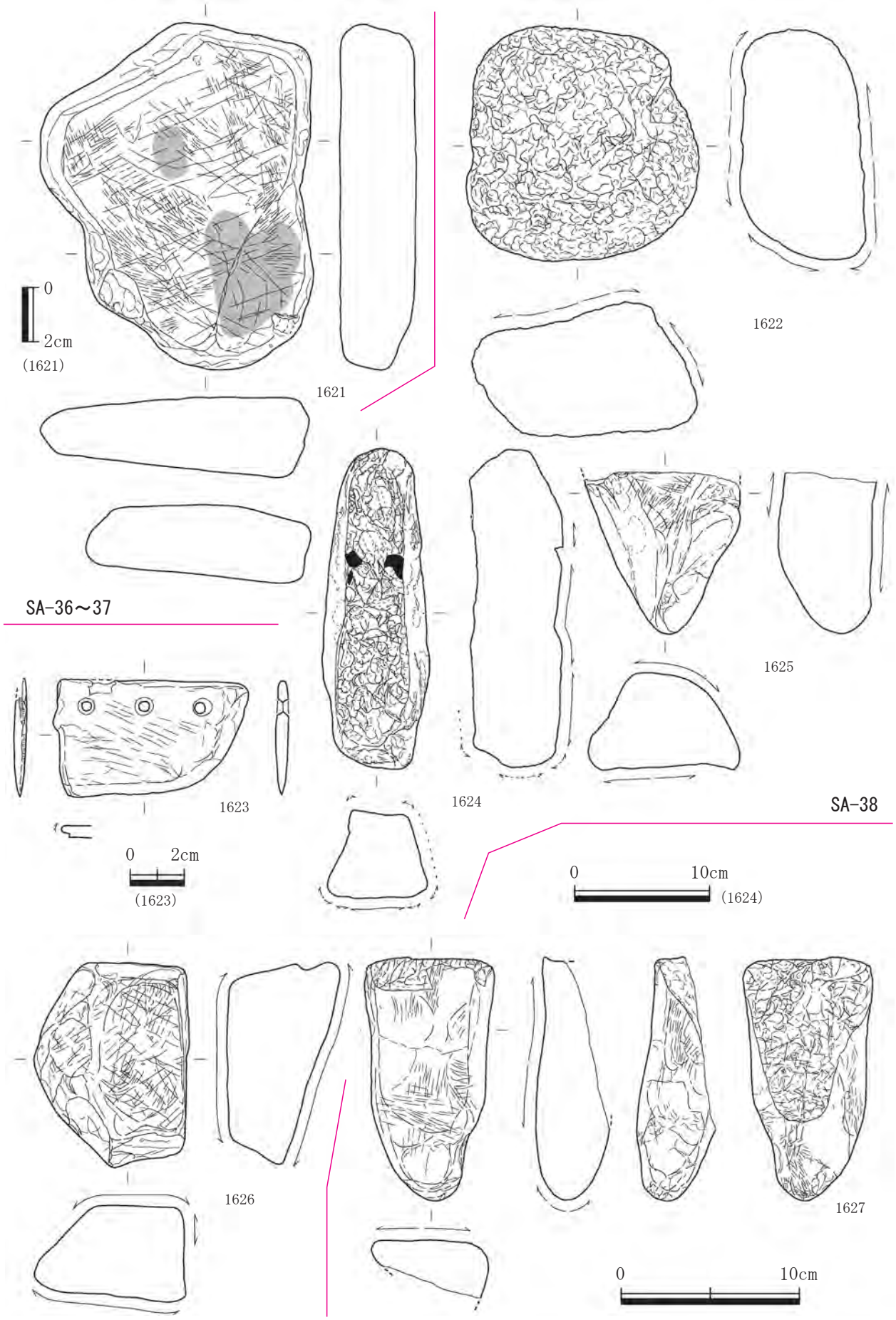
第 133 図　SA-35 C　出土石器　実測図（2）



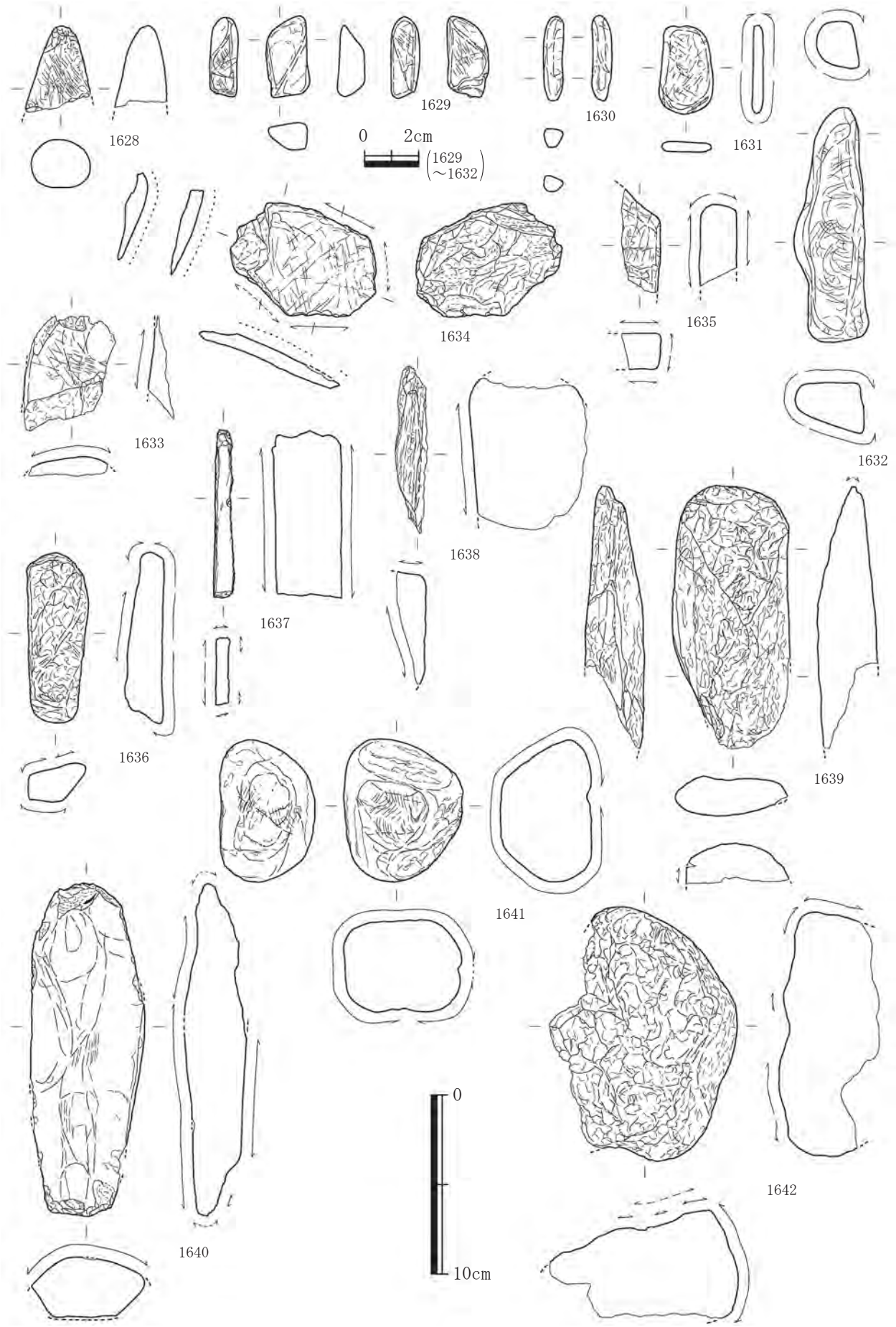
第 134 図　SA-35 C　出土石器（2）、SA-36　出土石器　実測図



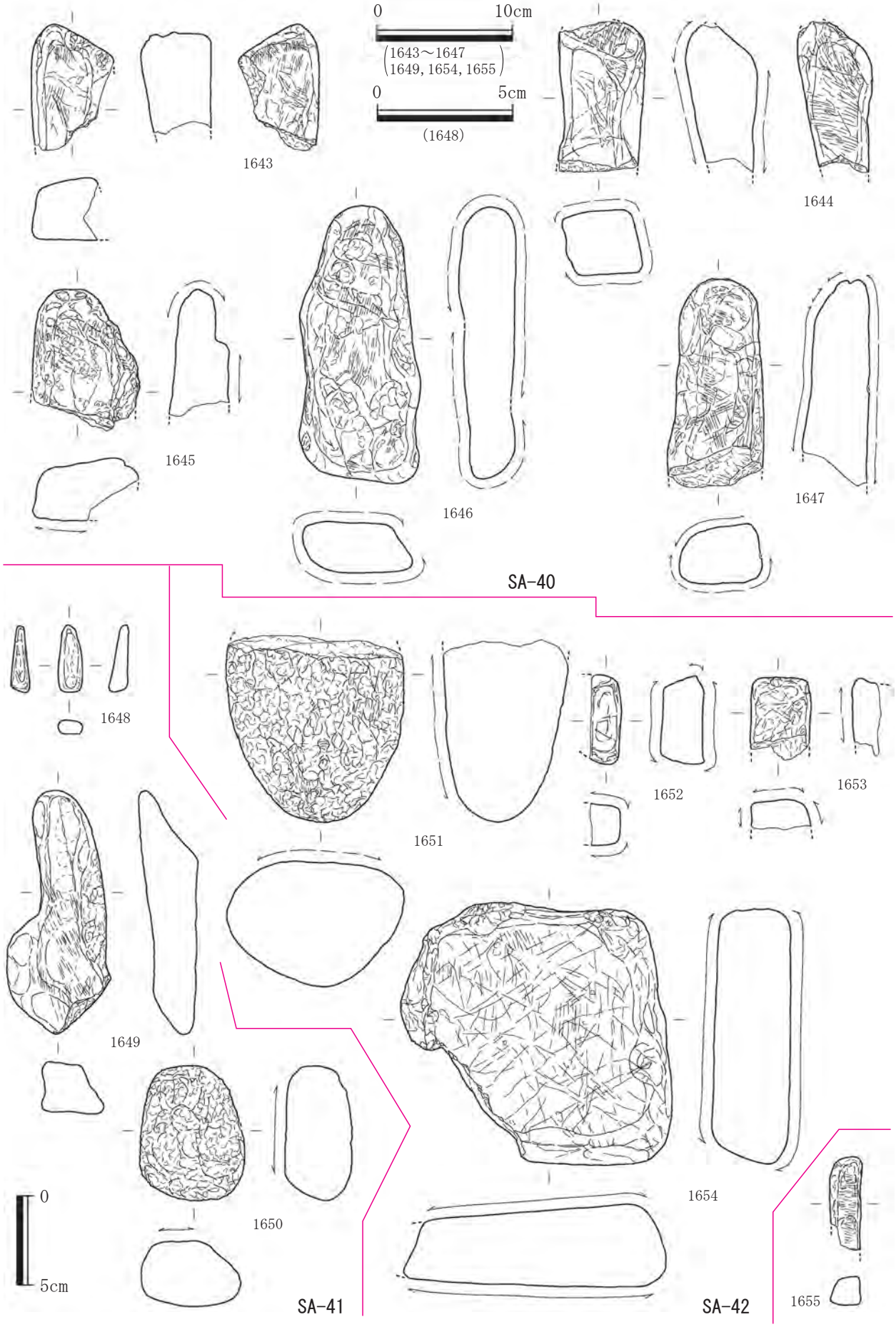
第 135 図　SA-37　出土石器　実測図



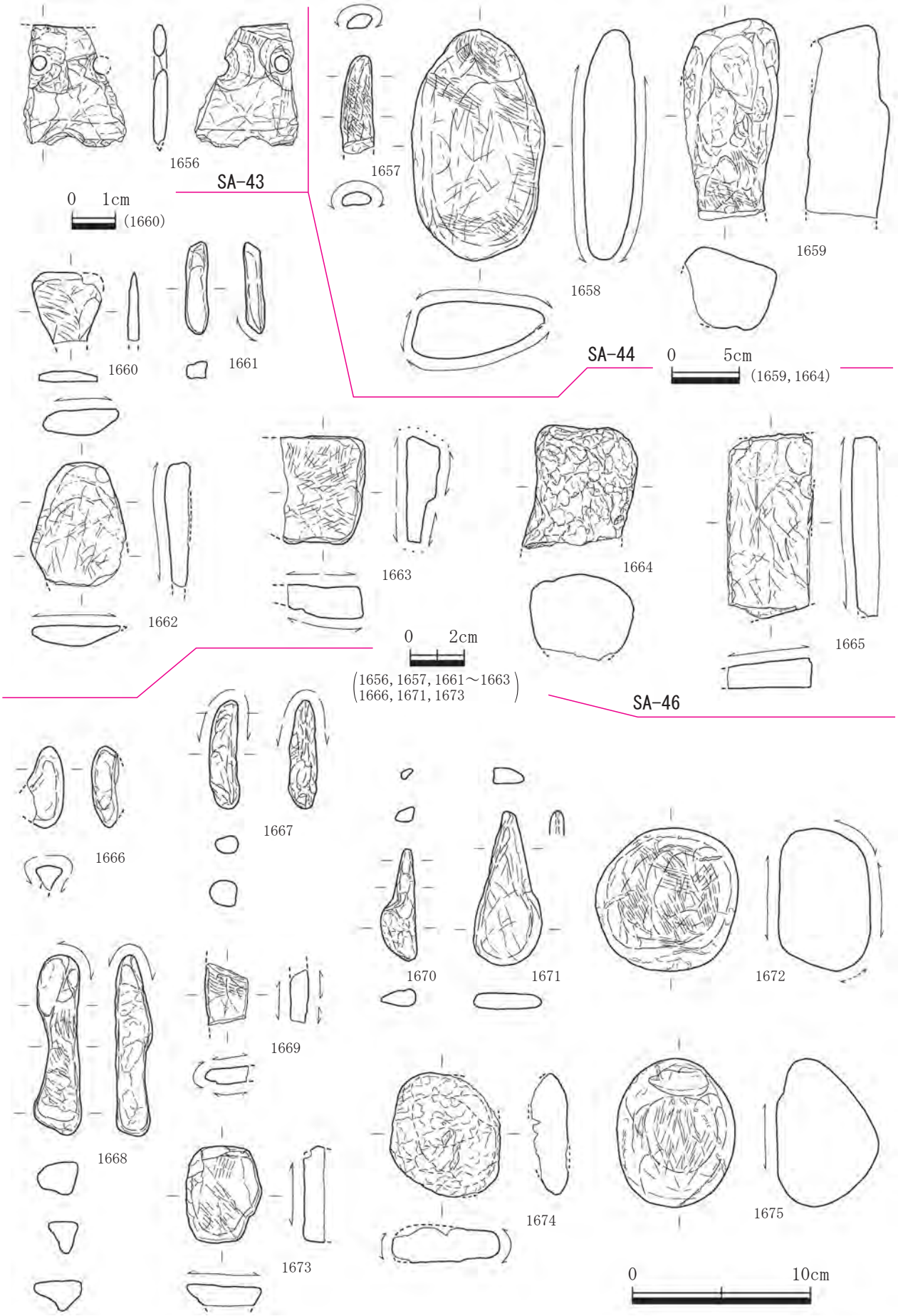
第 136 図　SA-36 ～ 37、SA-38･40　出土石器　実測図（1）



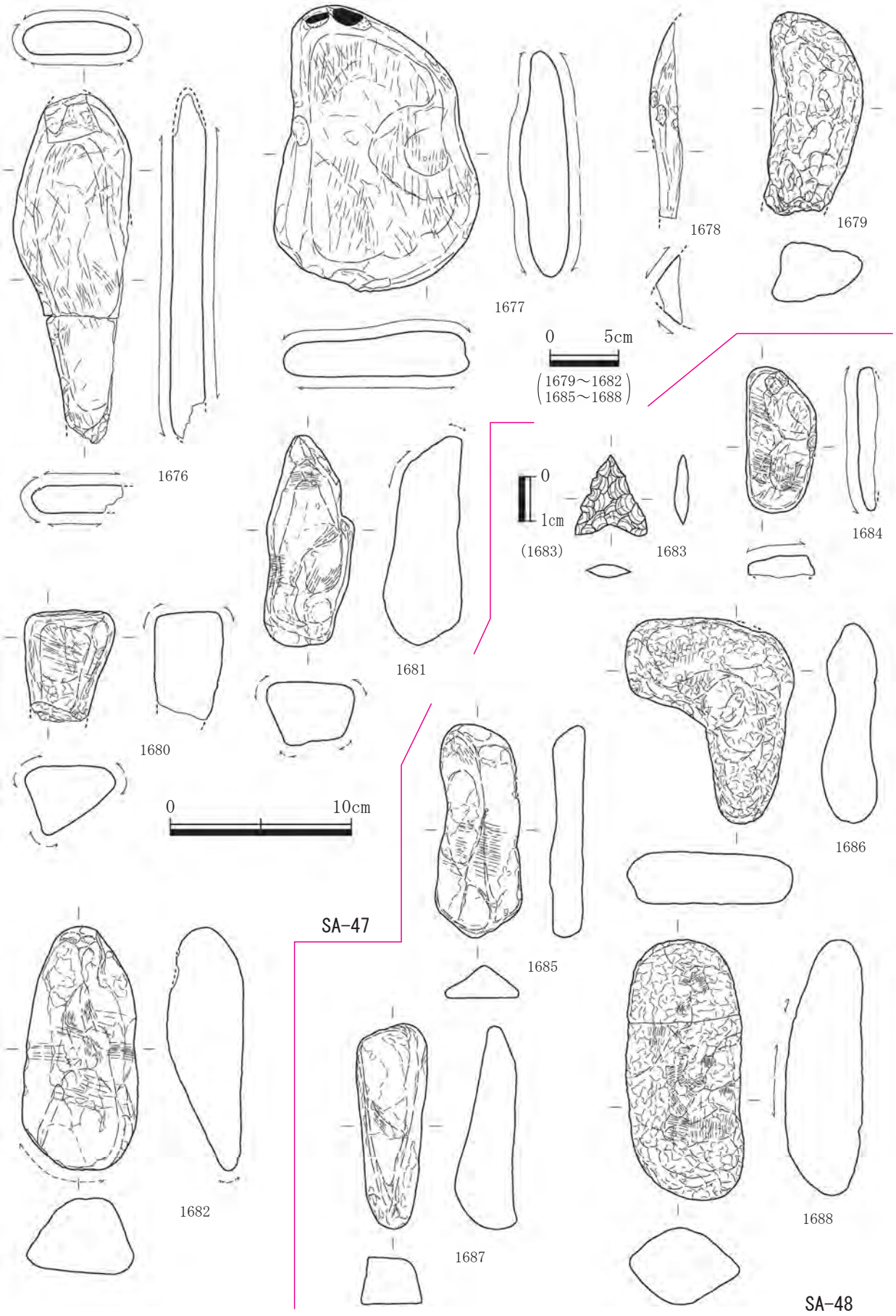
第 137 図　SA-40　出土石器　実測図（2）



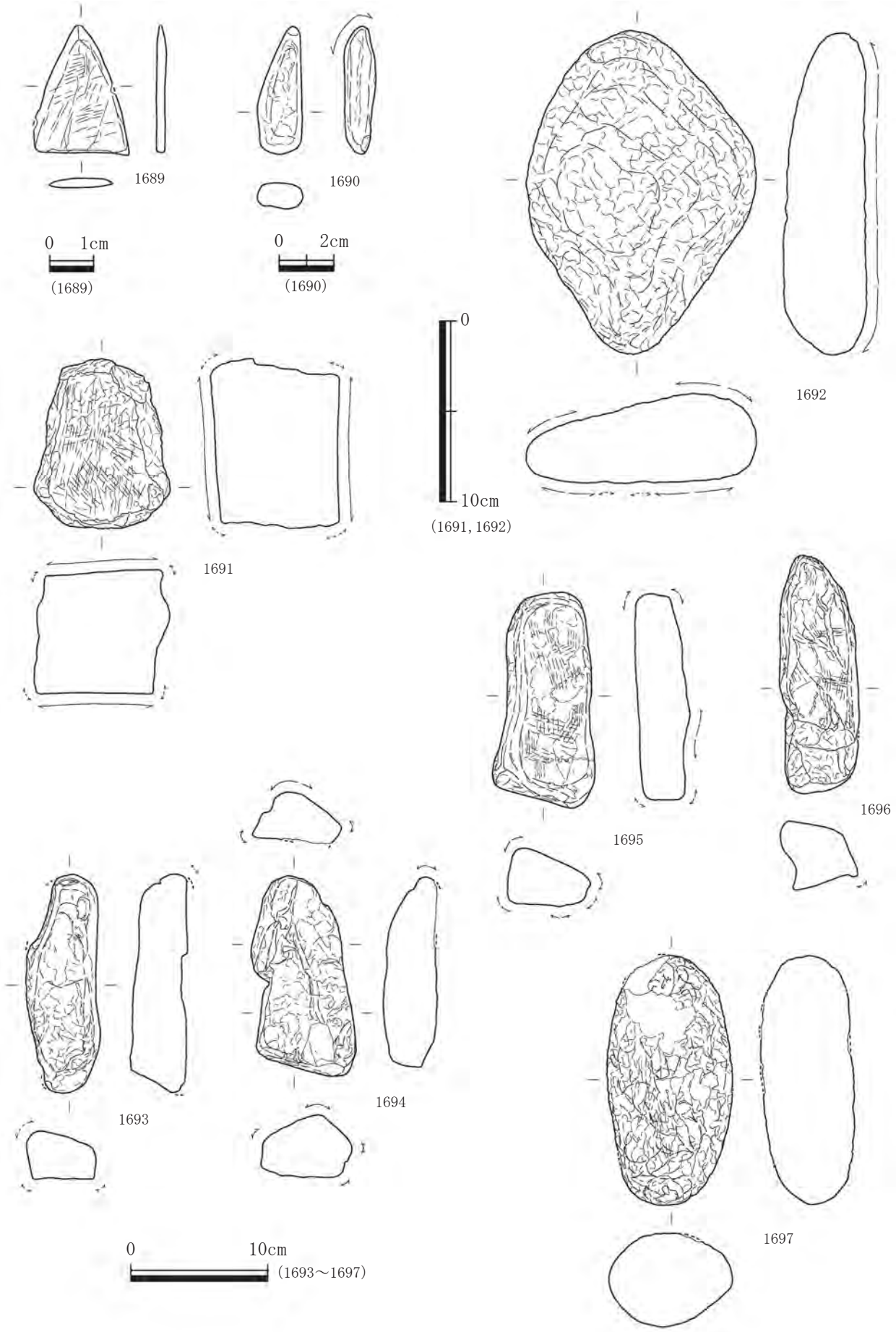
第 138 図　SA-40　出土石器（3）、SA-41･42・43（1）　出土石器　実測図



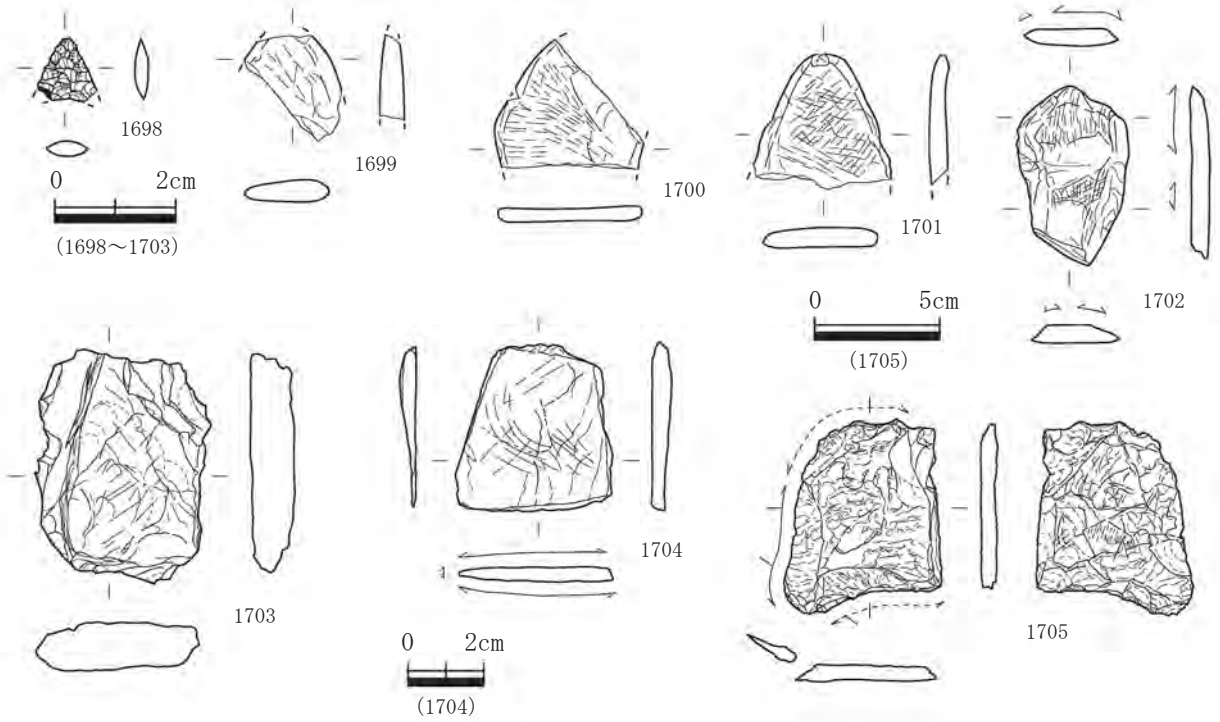
第 139 図　SA-43（2）、44、46、47　出土石器　実測図（1）



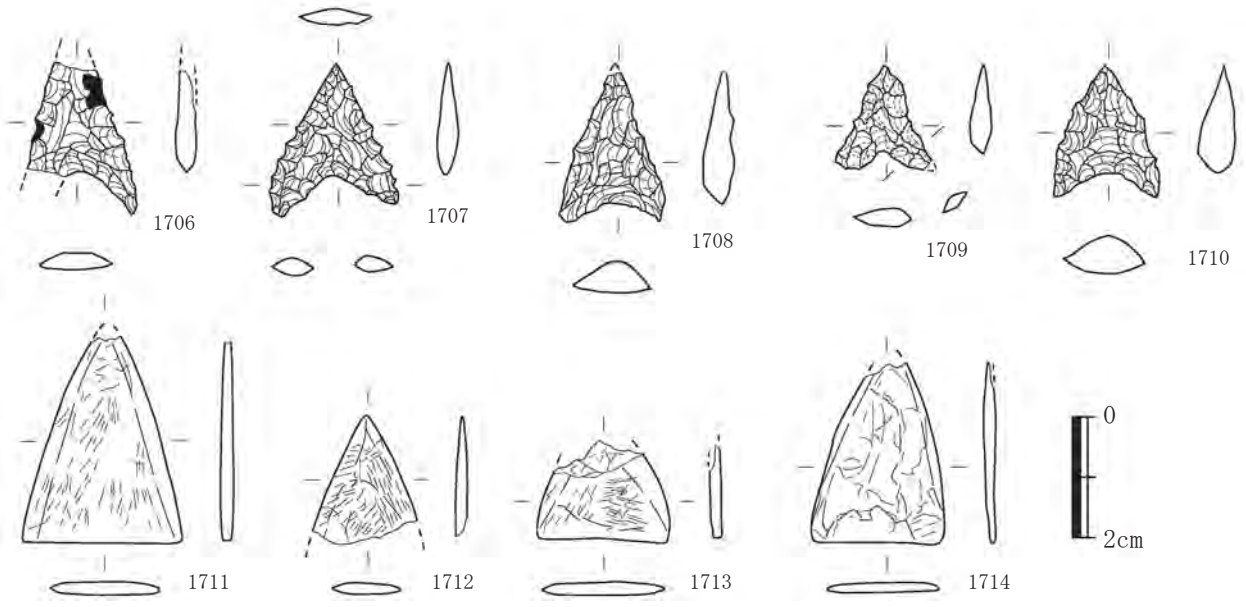
第 140 図　SA-47　出土石器（2）、SA-48　出土石器　実測図



第 141 図　SA-49　出土石器　実測図



第 142 図　II～IV a・V 層　出土石器　実測図



第 143 図　I 区　SK-55、IV a 層出土石器実測図

表１　Ⅰ区出土土器観察表（１）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎土　茶：茶褐色粒　白：白色粒　赤：赤褐色粒	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1	SA-01	浅鉢	—	—	—	丁寧ミガキ	丁寧ミガキ	良	良	暗灰褐～暗灰	淡黄灰～淡黒灰	
2	SA-01	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良好	淡黄灰～暗灰	暗茶灰～淡黄褐	
3	SA-01	壷	104	—	—	工具ナデ	ハケ	茶：やや多い	良	淡黄褐	淡褐	
4	SA-01	甕	214	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少、角閃石：微	良	淡黄褐～淡褐	淡褐	破損後被熱
5	SA-01	浅鉢か	—	92	—	工具ナデ	—	微細砂：少、角閃石：少	ややあまい	淡黄褐～淡黄灰	—	
6	SA-01	鉢か	—	73	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：少、白：少	良好	淡茶褐～淡茶灰	淡橙褐～淡灰褐	
7	SA-02- ２層	鉢か	100～150	—	—	ハケ	丁寧工具ナデ	良	良	淡茶褐	淡茶褐～淡灰褐	
8	SA-02	甕	350～400	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	—（ススス）	淡黒灰・淡茶褐	外：ススやや多い
9	SA-02	鉢か	—	—	—	ナデ・工具ナデ	工具ナデ	茶：少	良	淡茶褐	淡褐	
10	SA-02	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：微、白：微	ややあまい	暗灰褐	灰	
11	SA-02	甕	177	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：少	良	淡灰褐	灰～淡褐	
12	SA-02	甕	350～400	—	—	工具ナデ	粗工具ナデ	茶：少、白：微	良	茶褐・淡灰褐	茶褐～褐	
13	SA-02	甕	192	—	—	ハケ	ハケ	茶：やや多、赤：微、白：少	良	淡茶黄～茶灰・黒斑	淡黄褐～淡橙	
14	SA-02	甕	257	—	—	ハケ	ハケ	茶：微、白：少	良	茶橙	橙褐	
15	SA-02	甕	292	—	—	ハケ	ハケ・工具ナデ	白：少、暗褐色粒：少	良好	暗褐	淡橙黄～淡黄褐	外：スス
16	SA-02	甕	350 位	—	—	工具ナデ→ハケ	工具ナデ	白：少	良好	暗茶褐～淡黄褐	淡褐～淡灰褐	
17	SA-02	甕	300 位	—	—	ハケ	工具ナデ	赤：少、白：微	良	灰褐	暗褐～暗灰褐	
18	SA-02	甕	—	—	—	ハケ	ハケ	白：少	良	茶褐	淡橙褐	
19	SA-02	壷	—	—	—	粗ミガキ～ミガキ	強い工具ナデ	茶：少、粗細砂：やや多	良	褐	淡茶褐～淡褐	頸部径 250 位
20	SA-02	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	暗灰～淡黒灰	淡黒灰	突帯径 400 ～ 450
21	SA-02- ２層	甕	—	—	—	指押	工具ナデ	角閃石：微	良	淡褐灰	淡褐	突帯径 400 位
22	SA-02	甕	—	—	—	—（ススス）	ハケ→半ミガキ	白：少、小礫：少	良好	暗橙褐	淡橙黄～淡黄褐～暗灰	
23	SA-02	甕か	—	72	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：微	良	桃橙～淡茶褐～淡黒灰	淡黄褐	
24	SA-02- ２層	甕	—	73	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：少、白：微	良	灰褐	暗褐～暗灰褐	内：オコゲ少
25	SA-02	甕か	—	73	—	ハケ（摩滅）	ハケ	粗細砂：やや多、小礫：少	ややあまい	淡橙黄～黄褐	淡橙～淡黄褐	
26	SA-02- ２層	小型高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：微、白：少	ややあまい	淡橙・暗灰褐	灰褐・淡黒灰	脚内：橙褐
27	SA-02	蓋	400 位	—	—	ハケ	工具ナデ→ハケ	赤：少	ややあまい	淡橙	淡黄褐～淡褐灰	
28	SA-02	小型壷	89	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡灰～灰褐・茶褐	淡灰褐	
29	SA-02	小型壷	82	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡褐～茶灰・暗灰褐	淡褐	外：被熱
30	SA-02	小型壷	—	—	—	丁寧工具ナデ	ハケ	良	良	黄褐～淡黄灰	暗灰～淡橙黄	
31	SA-02	小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	赤：微、白：微	ややあまい	淡褐～灰褐	淡褐	最大径 136、外：被熱
32	SA-02	小型壷	—	—	—	工具ナデ	粗ハケ	赤：やや多	ややあまい	淡褐～橙褐	淡褐～暗茶	
33	SA-02	坩	73	45	(70)	ミガキ	工具ナデ	茶：少	良	淡橙～淡橙褐	淡褐	屈曲部に沈線
34	SA-02	小型壷	—	—	—	工具ナデ	ハケ	精良	ややあまい	茶褐～暗灰褐	淡灰褐	
35	SA-02	小型壷	—	—	—	ミガキ	ナデ・工具ナデ	茶：やや多、白：微	ややあまい	淡黄褐～淡橙茶・暗灰褐	淡褐	最大径 110
36	SA-02	小型壷か	—	—	—	ハケ	ハケ	良	ややあまい	淡黄～淡褐	淡黄～淡褐	内下部に赤色顔料
37	SA-02	小型鉢	—	40	—	ミガキ	工具ナデ	茶：微、白：微	良	淡橙	淡褐	屈曲部に沈線
38	SA-02	坩	—	39	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	精良	良	淡黄～淡黄褐	淡茶褐	
39	SA-03	甕	—	—	—	半ミガキ	半ミガキ	微細砂：少、角閃石：微	良	淡黄褐～茶褐	暗茶褐	胎：黒褐
40	SA-03	甕	295	—	—	ハケ	ナデ	微細砂：やや多	良好	淡黄灰	淡黄・灰～暗灰	外：スス少
41	SA-03	甕	195	—	—	ナデ～ハケ	ハケ	良	良	淡灰黄～淡灰	暗茶灰～淡褐～暗灰	外：スス少
42	SA-03	甕	—	—	—	ハケ	ハケ	微砂：少、茶：少、白：少	あまい	黒灰（ススス）	淡褐～茶褐	
43	SA-03	甕	283	—	—	タタキナデ消し	工具ナデ→ハケ	粗細砂：微、角閃石：微	良好	淡茶褐	淡褐灰～淡褐	
44	SA-03	甕	—	—	—	工具ナデ→ハケ	工具ナデ	微細砂：少	ややあまい	淡茶褐	茶灰～暗灰褐	
45	SA-03	甕	293	—	—	ハケ～粗工具ナデ	工具ナデ～ハケ	粗砂：微、微細砂：少、茶：微、白：少	良	暗茶灰～淡黄灰	淡黄褐～茶灰	外：スス少、内：オコゲ微
46	SA-03	甕	152	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	褐～淡黄灰～灰	淡橙褐	
47	SA-03	甕	250 位	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ～ハケ	良	ややあまい	黒（ススス）	淡褐～茶灰	内下端にオコゲ
48	SA-03	甕	—	41	—	工具ナデ	工具ナデ	細砂：微	良	淡黄・暗灰	淡黒灰	外底：草茎圧痕
49	SA-03	甕	257	(88)	(271)	ハケ～半ケズリ	ハケ	微細砂：少、白：少	良	淡黒褐～淡茶灰	暗茶褐・淡黒灰	外：スス多
50	SA-03	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	暗茶褐	淡黒褐	最大径 350 ～ 400
51	SA-03	鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧ハケ	茶：やや多	ややあまい	淡黄褐～橙桃	淡橙黄	
52	SA-03	蓋	245	—	—	工具ナデ→ハケ	丁寧工具ナデ	微細砂：少、茶：少	ややあまい	淡橙黄～淡褐	淡黄褐・橙褐	
53	SA-03	甕	254	—	—	ハケ	ハケ～ケズリ	赤：やや多	良	淡黄～淡橙	淡黒灰～淡黄褐～淡桃褐	
54	SA-03	台付鉢	122	109	173～180	ハケ～粗工具ナデ	ハケ	茶：少、白：やや多、微細砂：少	良好	淡黄褐～淡橙褐	暗褐～淡橙褐	内外一部黒斑、歪つ
55	SA-03	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	黄褐・淡黄灰・黒斑	淡黄褐	
56	SA-03	高坏か	—	110	—	丁寧工具ナデ	ナデ	良	良	淡褐～淡黄褐	淡黄褐	
57	SA-04	甕	174	—	—	ハケ	ハケ	微細砂：少	ややあまい	茶黄～暗茶褐	淡黒褐～暗茶褐	内：摩耗
58	SA-04	甕	279	—	—	ハケ	粗ハケ	粗細砂：少	良	暗紫灰～淡黒灰	黒褐～暗茶褐・灰褐	65 と同一個体か
59	SA-04	甕	306	—	—	ハケ	ハケ	微細砂：少	ややあまい	淡褐～淡黄灰	淡褐	
60	SA-04	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ～ハケ	白：微	良	淡茶灰～暗茶褐	暗茶褐	外：ススス　内：被熱
61	SA-04	甕	197	—	—	ハケ	ハケ	粗細砂・小礫：微	良	淡茶褐～淡灰黄	淡橙黄	外：左下に黒斑
62	SA-04	甕	—	—	—	ハケ	ハケ	粗細砂：少	ややあまい	淡黄褐～淡桃	淡黄～淡黄褐	
63	SA-04	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡黄～淡橙黄	茶褐～暗茶灰	
64	SA-04	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少、白：少	良	淡褐・桃褐・淡黒灰	淡黒灰・暗灰褐	
65	SA-04	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良好	暗茶灰	茶灰～暗茶灰	58 と同一個体か
66	SA-04	甕	—	—	—	粗工具ナデ	ハケ～工具ナデ	微砂：少、茶：微、白：微	良	淡茶褐～暗茶灰	淡黄褐・暗茶褐～黒褐	
67	SA-04	甕	—	57	—	粗ハケ	ハケ	細砂：少、茶：微	良	淡黄褐～灰褐・黒斑	淡橙褐	
68	SA-04	甕	—	74	—	粗工具ナデ	ハケ	微細砂：やや多	良	灰褐～暗茶灰	暗茶褐～淡灰黄	
69	SA-04	甕	—	70	—	ハケ	丁寧工具ナデ	粗細砂：少、白：少	良	淡褐～淡灰褐	黒灰～暗灰	内底：摩耗
70	SA-04	甕	—	82 × 75	—	粗工具ナデ	ハケ	粗砂・小礫：少、微細砂：やや多	ややあまい	茶灰～灰褐	淡黒褐	
71	SA-04	甕	—	75	—	粗ハケ～粗工具ナデ	粗ハケ	微細砂：微、茶：微	良	淡黄～淡褐	淡黄～淡灰褐	

表２　Ｉ区出土土器観察表（２）

No.	出土地	種類・器種	法量（㎜）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
72	SA-04	甕	—	64	—	粗工具ナデ	ハケ	白：少	良	橙褐・淡黄褐・淡黒灰	淡橙黄	
73	SA-04	甕	—	63	—	ハケ	ハケ	粗細砂：やや多	ややあまい	淡黄褐～淡黄	淡黄白・暗灰	
74	SA-04	壷	146	—	—	ハケ	工具ナデ～ケズリ	茶：少	良	淡茶褐～淡黄灰・黒斑	淡褐灰～淡黄	
75	SA-04	高坏	300 位	—	—	ハケ	ハケ	微砂：少	良	淡橙黄～淡茶灰	暗灰褐～黒褐	
76	SA-04	小型壷	—	—	—	粗ミガキ	工具ナデ	良	良	淡黒灰～暗灰	淡黒灰～暗灰	最大径 67
77	SA-04	小型壷	78	—	—	ミガキ	半ミガキ	微細砂：少	ややあまい	淡茶褐	茶褐～茶橙	79 と同一個体か
78	SA-04	小型壷	—	—	—	ハケ～半ミガキ	工具ナデ～ナデ	精良	良	淡黄褐	淡茶灰～灰	最大径 85
79	SA-04	小型壷	—	—	—	半ミガキ	ミガキ	微細砂：少	ややあまい	淡茶褐・黒斑	茶褐～茶橙	77 と同一個体か
80	SA-04	壷	—	—	(313)	ハケ	(摩滅)	微細砂・白：やや多	良	茶褐～淡橙褐	—	口縁打欠容器、打欠内径 148 × 195
81	SA-04	壷	—	—	—	粗ハケ	丁寧工具ナデ	茶：やや多	ややあまい	淡褐～暗茶褐	灰～暗灰	
82	SA-04	鉢	99	—	—	粗ハケ	工具ナデ	微細砂：やや多	良好	淡褐～暗茶褐	淡黄灰～淡茶褐	
83	SA-04	壷	—	82	—	半ミガキ	丁寧工具ナデ	微細砂：やや多	良	淡茶灰～暗茶灰・淡黒灰	褐～淡褐～暗灰	
84	SA-04	鉢	192	60 × 65	143	ハケ	ハケ	微細砂・白：やや多	良	淡橙～淡黄～暗灰	淡黄～淡灰	外：スス
85	SA-04	蓋	200	56	110	粗工具ナデ～ハケ	ハケ	茶：微、白：少	良～ややあまい	淡黄～淡黄褐	淡黄灰～黄褐・橙褐	内：黒斑
86	SA-04	蓋	280	—	—	ハケ	ハケ	粗細砂：やや多、白：少	良	淡褐～淡黄	茶灰～黒褐	内外：スス
87	SA-04	甕	—	50 ～ 55	—	—	—	粗細砂：多、茶：少	ややあまい	茶灰～茶褐	橙褐～暗茶褐	内：オコゲ、内底：摩耗
88	SA-05	甕	200 位	—	—	ハケ・工具ナデ	ハケ・工具ナデ	微砂：少、白：微	良	淡褐	淡褐灰	
89	SA-05	甕	350 ～ 400	—	—	ハケ	ハケ	茶・白：少	良	淡黄褐	淡橙黄	
90	SA-05	甕	350 ～ 400	—	—	工具ナデ	ハケ	微細砂・赤：少	良好	暗灰褐	暗灰褐～茶灰	
91	SA-05	高坏	—	—	—	ハケ	ミガキ	茶：少、白：微	ややあまい	淡褐	淡黒灰	
92	SA-05	鉢か	250 位	—	—	ミガキ	半ミガキ	精良	良	淡黒灰	淡黒灰	
93	SA-05	小型壷	103	—	—	ミガキ	ハケ	茶：少	ややあまい	淡橙褐	淡橙褐	95 と同一個体か
94	SA-05	壷	—	—	—	ミガキ	ミガキ	精良	ややあまい	淡褐灰	淡灰	
95	SA-05	坩	—	—	—	ミガキ	ハケ	茶：少	ややあまい	淡橙褐	淡橙褐	93 と同一個体か
96	SA-05	小型壷	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	良	あまい	淡褐	淡褐	
97	SA-06	甕	257	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡灰黄	淡黄～桃黄・茶桃	
98	SA-06	甕	349	—	—	ミガキ	ミガキ	白：少	ややあまい	淡赤茶（丹）	赤茶（丹）	
99	SA-06	甕	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	良	良	暗赤茶（丹）	淡黄・淡茶灰	径 400 位
100	SA-06	甕	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	良	ややあまい	赤茶（丹）	淡褐・赤茶（丹）	径 400 位
101	SA-06	甕	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	粗砂：微	ややあまい	赤茶（丹）	淡褐	径 400 位
102	SA-07	鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	灰褐～暗灰褐	淡黄褐	刺突文、沈線
103	SA-07	深鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	微砂：少	良	灰～淡黒灰	暗茶灰～淡茶灰	沈線
104	SA-07	甕	—	—	—	—	—	微細砂：少	良	暗灰	—	径 400 以上
105	SA-07	甕	328	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂：少	良	茶褐～淡黄褐	淡黄～淡黄褐	
106	SA-07	鉢か	244	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良好	茶灰	淡橙～淡褐	外：スス、内一部茶色(顔料か)
107	SA-07	甕	266	—	—	ハケ	ハケ～丁寧工具ナデ	赤：少、白：やや多	良	暗灰～淡褐	淡褐～淡黄褐	外：スス少
108	SA-07	甕	308	—	—	ナデ～ハケ	ハケ～工具ナデ	茶・白：少	ややあまい	淡橙褐～淡灰褐	淡褐～暗茶褐	
109	SA-07	甕	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	微砂：少	良好	暗茶褐～灰褐、黒斑	茶褐～茶灰	内：オコゲ少
110	SA-07	壷	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	良	良	淡赤茶（丹）	淡褐	111・112 と同一個体か
111	SA-07	壷	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	良	良	淡赤茶（丹）	淡褐	
112	SA-07	壷	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	良	良	淡赤茶（丹）	淡褐	
113	SA-07	甕か	—	—	—	ハケ	工具ナデ	微砂・角閃石：少	良	淡茶褐～淡茶灰	暗灰褐	内：オコゲ
114	SA-07	土器片加工円盤	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少、角閃石：微	良	淡橙桃～淡黄褐	暗灰～暗茶灰	周縁一部摩滅
115	SA-08	壷	—	—	—	ミガキ	強い工具ナデ	赤：少	良好	淡茶褐～淡黄褐	淡褐	
116	SA-08	土器片加工品	—	—	—	—	半ミガキ	粗細砂・白：少	良	淡茶灰	淡橙	右上外側面摩滅
117	攪乱	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	淡灰褐～淡褐	淡褐	
118	Ⅳａ層	高坏か	120	—	—	ミガキ	半ミガキ	良	良好	淡黄褐～淡桃褐	淡黄褐～淡黄灰	
119	Ⅳａ層	小型壷	—	—	—	半ミガキ	工具ナデ	茶・白：少	良	淡褐	淡茶褐	
120	Ⅳａ層	甕	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂：少、角閃石：やや多	良	淡茶黄～淡橙黄	黒褐	径 350 位
121	Ⅳａ層	高坏	172 ～ 182	—	—	粗ミガキ	粗ミガキ	良	良	淡黒灰～淡褐	淡黒灰～暗茶褐	
122	Ⅳａ層	高坏	—	—	—	工具ナデ	ミガキ	茶・白：少	ややあまい	淡橙褐～淡黄灰	淡褐	
123	Ⅳａ層	甕	—	43	—	工具ナデ	強い工具ナデ	茶：少、白：微	良	淡黄灰～淡黄褐	淡黄褐～茶褐	
124	Ⅳａ層	甕	—	90	—	タタキ→工具ナデ	タタキ→強いナデ	微細砂：少、白：微	良好	橙褐～淡黄褐	淡褐、黒斑	
125	SK-55	台付鉢	167 × 179	90 × 95	140	ハケ～粗工具ナデ	ハケ～工具ナデ粗工具ナデ	白：やや多、茶：少	ややあまい	淡黄褐～黄褐～淡黄灰、黒斑	橙褐～茶灰、黒褐	内底は被熱、弾けか
126	SK-63	甕	243 × 248	—	—	粗ハケ～強い工具ナデ	丁寧工具ナデ～半ケズリ	白：微、茶：少	良	淡茶灰～淡茶褐、黒斑	淡茶灰～淡茶褐、黒斑	
127	SD-01	甕	300 位	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	精良	良	淡褐	淡褐	内外彩文　割面：暗褐
128	Ⅳａ層	深鉢	250 位	—	—	列点・沈線	丁寧工具ナデ	微砂：少	良	淡橙褐	淡橙～茶褐	
129	攪乱	浅鉢	—	—	—	条痕→貝殻沈線	工具ナデ	微砂：少	良好	淡黄褐	淡茶灰	最大径 350 ～ 400
130	Ⅳａ層	深鉢	—	—	—	丁寧工具ナデ	条痕	微砂：少	良	淡黄褐	茶褐	補修孔あり(孔径 11 ㎜)
131	Ⅳａ層	鉢	400 位	—	—	ミガキ	ミガキ	白：微	良	淡灰褐、黒斑	淡褐・暗褐（黒斑）	
132	Ⅳａ層	精製浅鉢	—	—	—	ミガキ	丁寧ミガキ	微砂：少	良	黒	淡黒褐	最大径：350 ～ 400 胎：黒褐
133	Ⅳａ層	浅鉢	—	—	—	粗ミガキ	丁寧ナデ～工具ナデ	微細砂・茶：少	良	黒褐～茶褐	淡橙褐	最大径：213、外被熱弾け（直径 2 ～ 6.5 ㎜）
134	25	深鉢	—	84	—	粗工具ナデ	—	粗細砂：やや多	良	淡茶褐	—	
135	19	深鉢	—	111	—	工具ナデ	粗工具ナデ	白：やや多	良	淡褐～茶褐	淡褐	
136	Ⅳａ層	精製深鉢	400 位	—	—	粗工具ナデ	条痕→工具ナデ	粗細砂：少	良	淡茶灰～茶褐	淡褐～淡橙	
137	Ⅳａ層	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・赤：微	良好	淡桃灰～淡橙褐	淡黄褐～淡褐	
138	北側攪乱	土器片加工円盤	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良好	淡黄灰	黄褐	L：(38)W：(28)T：(10)
139	Ⅳａ層	土器片加工円盤	—	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	角閃石：少	良	淡黄褐	淡灰褐～灰	L：(50)W：(35)T：(5) 使用痕不詳
140	Ⅳａ層	甕	314	—	—	ナデ	ナデ～半ミガキ	茶：微	良	淡茶灰	淡黄褐	外：スス少

表３　Ⅰ区出土土器観察表（３）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
141	Ⅳa 層	甕	325	—	—	ナデ～工具ナデ	工具ナデ	白・茶・微細砂：少	良	淡黄褐	淡褐	口唇：暗茶褐
142	Ⅳa 層	甕	242	—	—	工具ナデ	丁寧ハケ	微細砂：やや多	良	褐～淡褐灰	茶褐～暗茶灰、黒斑	外：スス少
143	Ⅳa 層	甕	283	—	—	ハケ～粗工具ナデ	工具ナデ→ヨコハケ	粗細砂：やや多、茶：微	良好	暗褐	黄褐	
144	Ⅳa 層	甕	—	—	—	ハケ・工具ナデ	半ミガキ	微細砂：少、角閃石：微	良	茶橙～暗茶褐	暗茶褐・淡黒灰	径：300 位
145	Ⅳa 層	小型壷	—	—	—	丁寧工具ナデ	粗工具ナデ～丁寧工具ナデ	茶：微	良	淡茶褐・黒斑	淡褐	
146	Ⅳa 層	甕	350 位	—	—	ナデ～工具ナデ	丁寧工具ナデ	白・茶：少、小礫：微	良	淡褐	淡橙褐～淡黄褐～淡茶褐	
147	Ⅳa 層	小型壷	—	—	—	工具ナデ	ナデ～工具ナデ	白：微	良	淡褐	淡橙褐～茶灰	径：57
148	攪乱	青花碗	200 位	—	—	—	—	乳白	—	—	—	釉：紺～濃紺 景徳鎮（16 世紀）

表４　Ⅰ区出土石器観察表

No.	出土地	器種	法量（mm）			重さ（g）	石材	備考
			長さ	幅	厚さ			
149	SA-01	砥石	112	51	31～36	360	砂石	欠損後調整
150	SA-01	砥石	75	35～53	39～43	320	粘板岩	1 側面かなり平滑
151	SA-01	台石	284	207	42～57	5800	溶結凝灰岩	両面不定方向擦痕
152	SA-01	敲磨石	140	118	85～88	1830	溶結凝灰岩	中央付近の面、最も使用されている
153	SA-02	磨製石鏃	26	24	2.5	1.7	粘板岩	刃部再生途中
154	SA-02	砥石	81	53	15～18	135	粘板岩	
155	SA-02	砥石	73	15	20～23	27	砂石	
156	SA-02	磨石	93	86	73	170	軽石	2 面使用
157	SA-02	磨石	48	48	35～40	20	軽石	使用痕不詳
158	SA-02	砥石	115	56	45～48	430	硬砂岩	2 面光沢、光沢面：紫褐色
159	SA-03	石鏃	12	10	3	0.2	黒曜石	
160	SA-03	石鏃未製品	15	12	4	0.5	黒曜石（黒色半透明）	
161	SA-03	打製石鏃	15	12	2	0.3	黒曜石	
162	SA-03	石鏃再生品	18	13	3	0.4	黒曜石（半透明）	
163	SA-03	磨製石鏃	27	21	2	1.6	粘板岩	
164	SA-03	砥石	74	30～36	36	127	細粒砂岩	若干使用
165	SA-03	磨石か	93	69	38	60	軽石	使用痕不詳
166	SA-03	磨石	50	27	31～35	13	軽石	
167	SA-03	敲磨石	104	90	78	820	粗粒砂岩	使用痕不明瞭
168	SA-03	用途不明石器	104	105	40～46	129	軽石	A 面に鉄分？付着
169	SA-03	敲石	125	120	49～55	970	溶結凝灰岩	
170	SA-03	磨石か	78	84	23	31	軽石	
171	SA-03	磨石	72	85	32	350	溶結凝灰岩	B 面未使用・稜全て潰し
172	SA-03	磨石	141	89	25～42	140	軽石	A 面のみ使用
173	SA-03	鉄床石	138	107	73～82	1680	溶結凝灰岩（砂岩質）	破損後も使用
174	SA-03	敲石	103	55	33～47	320	溶結凝灰岩（軟）	両面・両側面使用
175	SA-04	編物石	202	60	43～58	940	溶結凝灰岩（軟）	稜摩滅・被熱
176	SA-04	敲磨石	125	93	38	750	砂岩	側面は全て敲き痕
177	SA-05	勾玉模造品	24.4	3.6	3.0～3.8	1.6	粘板岩	孔無し
178	SA-06	石鏃	16	13	3	0.4	チャート	
179	SA-07	石鏃	(19)	18	4	1.0	玉髄	
180	SA-07	磨製石鏃	19	14	2	0.6	粘板岩	
181	SA-07	磨製石鏃	28	22	2.5	2.1	粘板岩	
182	SA-07	磨製石鏃再生途中	17	17	1.5	0.6	粘板岩	
183	SA-07	磨製石鏃未製品	(21)	18	2	1.3	粘板岩（暗紫褐色）	
184	SA-07	敲石	125	110	79	1380	溶結凝灰岩（やや軟）	
185	SA-07	砥石	182	124	91	3060	砂岩	前面に擦痕
186	SA-07	磨石	108	68	85	820	溶結凝灰岩（軟）	全面使用
187	SA-08	磨製石鏃未製品	29	20	2	1.1	粘板岩（黒色）	
188	Ⅳa 層	石鍬	115	70	23	240	砂質頁岩	
189	SK-29	磨製石鏃未製品	35	26	5	2.3	粘板岩（黒色）	
190	Ⅳa 層	磨製石斧	35	52	20	26	硬砂岩	刃こぼれ有り
191	Ⅳa 層	磨製石斧	151	55	43	490	硬砂岩	
192	攪乱	未製品か	4.1	4.3	8	21	砂質頁岩	
193	Ⅳa 層	敲磨石	97	58	17	76	硬砂岩	
194	Ⅳa 層	石鍬失敗作	104	78	28	230	溶結凝灰岩	
195	Ⅳa 層	敲石	80	56	45	203	溶結凝灰岩（軟）	全面使用
196	Ⅳa 層	敲磨石	73	61	25～30	156	溶結凝灰岩	表面軽石状凹凸
197	Ⅳa 層	刃器	77	88	10～28	154	硬砂岩	被熱
198	Ⅳa 層	刃器か	4.3	4.9	9	30	粘板岩	左～左下側辺が刃か B 面左上に自然面
199	Ⅳa 層	敲磨石	146	129	66	920	溶結凝灰岩	表面軽石状凹凸
200	SK-71	砥石	34	27	15～22	37	砂岩	
201	Ⅳa 層	敲磨石	83	65	60	420	溶結凝灰岩（軟砂岩質）	
202	Ⅳa 層	刃器	85	41	74	300	砂岩	刃潰し、B 面は節理面
203	SK-50	砥石	126	72	32	350	砂岩	1 面
204	SK-36	刃器	125	108	31	570	砂岩	
205	Ⅳa 層	打製石斧未製品か	35	26	5	800	砂岩	
1706	Ⅳa 層	石鏃未製品	(25)	(18)	3	1.2	玉髄か	
1707	Ⅳa 層	石鏃	25	21	3.5	1.2	玉髄	鋸歯縁
1708	Ⅳa 層	石鏃	(25)	17	5	1.7	玉髄	切先欠損
1709	Ⅳa 層	石鏃未製品	17	(16)	3	0.4	頁岩	
1710	Ⅳa 層	石鏃未製品	21	17	6	1.8	玉髄	
1711	Ⅳa 層	磨製石鏃	(34)	26	2.1	2.6	粘板岩	基部厚 1.7
1712	Ⅳa 層	磨製石鏃	(16)	(17)	(2)	0.7	粘板岩	
1713	Ⅳa 層	磨製石鏃	(17)	22	2.3	1.2	粘板岩	
1714	SK-55	磨製石鏃	(30)	22	2	1.5	粘板岩	基部厚 0.3

表５　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（１）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
206	SA-09	小型鉢	—	—	—	工具ナデ	粗工具ナデ	微砂：少	良	淡黒灰～灰	淡橙～桃橙	
207	SA-10	甕	280 位	—	—	ハケ	工具ナデ	赤・白：微	良	褐～淡褐	淡黄褐	
208	SA-10	甕	272	—	—	ナナメハケ～工具ナデ	ハケ	微細砂・白・茶：少	良好	暗灰褐～淡黒褐	淡茶灰・淡黒灰～淡橙黄	
209	Ⅱ区　攪乱	小型鉢	—	27	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良	淡茶褐	茶灰	
210	SA-10	高坏	—	152	—	細密ミガキ	工具ナデ	良	良	淡褐	淡褐	
211	SA-11	小型壷	92	—	—	ハケ	工具ナデ	良	ややあまい	橙褐	橙褐	
212	SA-11	小型壷か	—	—	—	半ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐	径 250 位か
213	SA-11	甕	—	—	—	ハケ～工具ナデ～半ミガキ	工具ナデ	赤：少	良	淡褐	淡橙褐	
214	SA-11	甕	—	71	—	工具ナデ	粗工具ナデ	粗細砂：やや多	良	淡黄褐・灰褐	暗灰褐	
215	SA-11	甕	294	—	—	ナナメハケ～タテハケ～ヨコハケ	ヨコハケ	微砂・茶少	良	暗灰～淡黒灰	淡黄・暗灰・黒灰	
216	SA-11	壷か	—	—	—	半ミガキ	半ミガキ	茶：少	ややあまい	淡褐	淡褐	
217	SA-11	壷	—	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	粗細砂：やや多	良	淡褐灰～暗灰	暗灰～淡黒灰	外：スス、内：黒色
218	SA-12	甕	160	—	—	工具ナデ	ハケ	微砂・白：少	ややあまい	淡橙	橙褐	外：やや摩滅、内：摩滅
219	SA-12	甕	400 位	—	—	ハケ	工具ナデ	白：微	良	暗茶褐	淡黒灰	口唇部：スス
220	SA-12	甕	400～450	—	—	工具ナデ	工具ナデ	雲母：微	良	灰褐	淡褐	外：スス微
221	SA-12	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	暗茶灰	淡褐	外：スス少、内：やや摩滅
222	SA-12	高坏	—	—	—	工具ナデ	粗工具ナデ	良	良	淡橙・灰褐	淡茶灰	
223	SA-13	深鉢	400 位	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	良	良	灰～暗灰	淡黄白	口縁部：沈線状
224	SA-13	甕	500 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・茶：微	ややあまい	茶褐	茶灰～淡褐	外：スス、内：スス状
225	SA-13	甕	450 位	—	—	工具ナデ・ハケ	工具ナデ	白・茶：少、粗細砂：やや多	良	淡橙黄	茶灰（被熱）	口唇部：スス少

表６　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（２）

No.	出土地	種類・器種	法量（㎜）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
226	SA-13	甕	200 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡黄褐	淡茶褐～淡黄褐	
227	SA-13	壷	120 位	—	—	工具ナデ	半ミガキ	良	ややあまい	淡褐・暗灰（黒斑）	淡褐	
228	SA-13	甕	400 位	—	—	半ミガキ	ハケ・半ミガキ	良	良	灰褐～淡褐	淡褐	
229	SA-13	甕	175	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂：少、粗砂：微	良	暗茶褐	暗茶褐～淡橙褐	外：スス少
230	SA-13	甕	—	—	—	—	—	白：少、微細砂・赤：微	ややあまい	淡黄褐～橙褐、一部暗灰	淡橙褐	内外：やや摩滅 頸部径：400 位
231	SA-13	壷	126	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡褐～灰褐	淡褐～暗灰	
232	SA-13	甕	—	97	—	ハケ	工具ナデ	粗細砂：微	良	褐～淡褐	暗橙褐	内：下端に乳白色付着物（厚さはない）
233	SA-13	器台か	—	—	131	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	良	褐～淡灰褐	淡灰褐～暗灰（破損後に被熱）	
234	SA-13	甕	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂：少、白・赤：微	良	淡茶褐～淡褐	暗灰褐・淡褐	胴部最大径：341
235	SA-13	小型壷	—	—	—	半ミガキ	ハケ～丁寧工具ナデ	粗細砂：微	良	暗灰褐	茶灰	外：スス少（被熱）
236	SA-13	直口壷	—	—	—	ミガキ	ナデ	白：微、赤：少	ややあまい	淡橙褐～淡褐	淡褐～淡黄褐	胴部最大径：141、 外：一部剥落、 内：下部摩滅
237	SA-13	小型壷か	—	—	—	工具ナデ・ミガキ	粗工具ナデ	茶：微	良	茶褐～淡灰	淡黄褐～淡黄灰	外：スス少
238	SA-13	小型壷	—	—	—	粗ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡黄褐・灰褐	暗灰	胴部最大径：58
239	SA-13	高坏か	400～450 位	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂・白：少	良	淡茶褐～淡黒灰（黒斑）	淡橙褐	
240	SA-13	蓋	400 位	—	—	丁寧工具ナデ	ハケ	良	良好	淡褐	暗茶灰	内：スス、・摩耗
241	SA-14	甕	184	—	—	工具ナデ	半ミガキ	良	良	暗茶褐・淡褐	斜めに暗茶褐に変色	外：スス多、一部被熱弾け（年代測定）
242	SA-14	甕	330 位	—	—	工具ナデ	ハケ	赤：やや多	良	淡橙褐	淡橙褐	外：スス多、内：スス状黒色（40～50%）
243	SA-14	甕	250 位	—	—	工具ナデ	ハケ	赤：微	良	淡灰褐	淡褐	
244	SA-14	甕	400 位	—	—	ナデ	ハケ	茶：やや多い	良	淡灰黄	淡褐～淡黄褐	
245	SA-14	甕	201	66	180	ハケ～工具ナデ	工具ナデ→ハケ	茶：微	あまい	淡褐・灰～暗灰	淡褐・灰～暗灰	外：スス少
246	SA-14	鉢か	200 位	—	—	工具ナデ	ハケ	精良	堅緻	淡黒褐～暗茶褐	淡黒褐～暗茶褐	古代か
247	SA-14	甕	—	—	—	タタキ～粗タタキ	丁寧ハケ	微細砂・小礫：微	良好	茶褐～暗茶灰	茶褐～暗灰褐（下半）	外：スス
248	SA-14	甕	—	68～76	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：少、茶：微	良	淡灰褐～淡褐	淡褐	内：やや摩耗
249	SA-14	甕	—	83	—	工具ナデ	ハケ	小礫：微、赤・白：やや多	ややあまい	淡褐～暗茶褐	茶褐～暗茶褐	外下部：一部スス 内：やや摩耗
250	SA-14	小型壷	70	—	—	ハケ・工具ナデ	丁寧工具ナデ	赤：少、白：微	良	淡褐～淡黄褐	淡黄褐	
251	SA-14	小型壷か鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	淡褐灰～淡黒灰	淡茶褐	歪つ
252	SA-14	高坏	—	—	—	工具ナデ	ミガキ・工具ナデ 脚内：工具ナデ	茶：微	あまい	淡褐	淡褐～淡黄褐	
253	SA-14	高坏	—	—	—	工具ナデ～半ミガキ	—	微砂・赤・白：少	ややあまい	黄褐～淡茶褐・黒斑	桃橙～黄褐	内：摩滅
254	SA-14	壷	—	—	—	工具ナデ	ナデ	粗細砂：少、茶：やや多	良	淡褐～淡茶褐	淡褐	
255	SA-15	甕	400 位	—	—	ハケ	ハケ	茶：微	良	淡褐・淡灰褐～淡黒灰	淡褐	
256	SA-15	甕	169	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白：微	ややあまい	橙褐～茶灰	黄褐～淡灰黄	
257	SA-15	甕	—	—	—	ハケ	丁寧工具ナデ	微細砂：少、角閃石：微	良	淡茶褐	淡黒褐～暗茶褐	
258	SA-15	壷	150 位	—	—	ミガキ （幅１～２ミリ）	丁寧工具ナデ	良	良	淡灰褐	淡褐	
259	SA-15	小型壷	84	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良	茶褐～暗茶灰	茶灰～暗灰	
260	SA-15	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：やや多、白：少	ややあまい	淡黄褐～淡茶褐	淡褐～茶褐	外底部：茶褐色顔料か
261	SA-15	小型甕か	63	—	—	工具ナデ	ハケ	微細砂：少	良	淡橙褐	暗灰褐	
262	SA-15	小型壷	—	—	—	ミガキ・キザミ	工具ナデ	良	良	淡茶褐・黒斑	暗茶褐	胴部最大径：84 外：刻み目
263	SA-15	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ～ハケ	茶・白：少	ややあまい	淡黄褐～淡褐	淡橙茶～淡灰褐・黒斑	
264	SA-16	甕	450 位	—	—	ハケ	丁寧工具ナデ	微砂：微	良好	暗茶褐	茶褐～暗茶褐	外：スス少
265	SA-16	鉢	169	—	—	ハケ	ハケ～工具ナデ	微細砂：少	良	淡褐灰	淡灰褐	
266	SA-16	小型壷	—	—	—	ハケ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐	
267	SA-16	甕	—	68	—	工具ナデ	粗ハケ	茶・白：少	良	淡黄灰～淡橙	淡灰黄	
268	SA-17	甕	300 位	—	—	工具ナデ	ハケ	良	良	淡褐～淡黄	淡灰褐～灰	外：スス少 口：刻みによる突出あり
269	SA-17	鉢か	233	—	—	粗工具ナデ	ハケ・工具ナデ	茶・粗細砂：微	ややあまい	淡褐	淡橙茶～淡褐	
270	SA-17	甕	224	—	—	ハケ	ハケ	微細砂：やや多	良好	褐	褐～淡黄褐	
271	SA-17	甕	209	—	—	—	工具ナデ・ナデ・ハケ	微細砂：少	良好	暗茶褐～淡茶褐	暗茶灰～茶褐～黄褐	外：スス少
272	SA-17	甕	300～350	—	—	ハケ	工具ナデ	微細砂：やや多、白・茶：微	良	茶褐	淡橙黄～淡褐	
273	SA-17	甕	400 位	—	—	ハケ	ハケ	微細砂・茶：少	良	淡褐～淡褐灰	淡褐～橙褐・暗灰	
274	SA-17	甕	300 位	—	—	工具ナデ	ハケ	微砂・小礫：少	ややあまい	淡黄褐	淡褐	
275	SA-17	甕	197	—	—	ハケ～工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	良	淡褐	暗茶褐	
276	SA-17	甕	450 位	—	—	ハケ	工具ナデ	微細砂・白・赤：微	良	淡褐	淡黄褐・桃橙	
277	SA-17	小型甕	—	35	—	工具ナデ	—	微砂・白：少	良	淡茶褐～淡黄褐	暗灰	歪つ
278	SA-17	甕	—	60	—	ハケ	—	茶：少	良	淡褐～淡褐灰	黒灰	内：やや摩滅
279	SA-17	甕	—	36	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	暗茶灰	茶灰	
280	SA-17	甕	—	50	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	淡黄灰～淡褐	暗茶褐	
281	SA-17	甕	—	77	—	工具ナデ	工具ナデ	細砂：やや多、白：微	良	淡灰黄～淡桃褐	淡灰黄	外：一部剥落
282	SA-17	甕	—	84	—	粗ハケ	工具ナデ	微細砂：少、雲母：微	良	淡灰褐～灰褐	暗茶褐～茶褐	
283	SA-17	壷	57	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白：少	良	淡褐	淡黄褐～淡灰褐	
284	SA-17	小型壷	78	—	—	ハケ・半ミガキ	ハケ	茶：少	良	淡褐・黒斑	暗灰褐	
285	SA-17	小型壷	77	—	—	ハケ	—	白：微	ややあまい	淡橙褐	淡褐	
286	SA-17	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ→強いナデ	微細砂：少	良	淡茶褐～淡黒褐	黒褐	胴部最大径：88
287	SA-17	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡黒灰	淡黒灰	胴部最大径：65
288	SA-17	小型壷	—	—	—	半ミガキ～半ケズリ	粗工具ナデ～工具ナデ	白：少、赤：微	良	黒斑・淡褐	淡褐	胴部最大径：101
289	SA-17	壷	—	—	—	粗ミガキ～ミガキ～丁寧ミガキ	工具ナデ	白：微	良	淡褐～茶褐・黒斑	淡褐	
290	SA-17	壷	—	—	—	半ミガキ	工具ナデ～ケズリ	白：少、茶：微	良好	淡褐灰～暗灰・黒斑	淡茶褐～淡褐	
291	SA-17	高坏				ミガキ	ミガキ	良	良	淡橙褐	淡黒褐	屈曲部径：150
292	SA-17	器台か	—	156	—	ハケ	粗ハケ	良	良	淡褐灰	淡褐灰～茶褐	下端：白色付着物少
293	SA-18	甕	—	—	—	工具ナデ	ハケ	微細砂：少	良	茶褐～淡黄灰	黒褐	
294	SA-18	甕	400 前後	—	—	工具ナデ	ハケ	微砂・白・茶：微	堅緻	淡褐	淡橙黄～淡灰黄	口縁部：スス少
295	SA-18	甕	400 前後	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	暗茶灰～褐	橙褐～黄褐	
296	SA-18	甕	250 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	暗茶灰	茶褐～茶灰	外：スス少

表７　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（３）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
297	SA-18	甕	—	—	—	タタキ→工具ナデ	タタキ→半ミガキ	微砂・茶：微	良好	暗茶灰～淡茶灰	茶褐	外：スス少
298	SA-18	甕	300 位	—	—	ハケ～工具ナデ	工具ナデ・ハケ	微細砂：少、茶：微	ややあまい	淡褐	淡褐～灰褐	
299	SA-18	甕	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	茶大粒：微	良好	褐灰～褐	暗茶灰	口唇部：スス
300	SA-18	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白：少	ややあまい	淡褐～暗茶褐	淡黄～淡褐	外：スス少
301	SA-18	甕	—	60	—	工具ナデ	工具ナデ	7×9と8×13の土器片 粗細砂：少	良	淡灰褐～淡黄・黒斑	淡褐～褐	
302	SA-18	甕	—	79	—	工具ナデ→ハケ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡黄～淡灰	淡茶褐～淡灰褐	
303	SA-18	甕	—	65	—	工具ナデ	工具ナデ・ハケ	微細砂・白：少	良	淡茶褐～淡黄	淡褐～褐	外：スス微
304	SA-18	甕	—	83	—	ハケ	工具ナデ	粗細砂：やや多、茶：少	良	暗茶褐～黄褐	桃橙～黄褐	
305	SA-18	小型壷	110 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良好	淡橙黄	褐	
306	SA-18	壷	195	—	—	—	—	白：少、粗細砂：やや多	ややあまい	淡褐～褐	暗灰褐～茶褐	内外：摩滅
307	SA-18	甕	—	—	—	工具ナデ	ハケ	微砂：微	良好	淡茶灰～暗灰	淡褐	最大径：200 位
308	SA-18	蓋	320 位	—	—	工具ナデ・ハケ	—	微細砂：少	良	灰褐～淡茶褐	淡黒灰	内：スス
309	SA-18	高坏か	—	130	—	粗工具ナデ	丁寧工具ナデ	赤：微	良好	淡褐	淡褐・黒斑	
310	SA-18	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	精良	良	褐	淡灰黄	頸部径：150 位
311	SA-18	壷	—	—	—	ハケ	粗ハケ	茶～淡赤：多	ややあまい	淡橙褐・黒斑	淡褐～褐	外：やや摩滅
312	SA-19	甕	350 位	—	—	粗ハケ	ハケ	茶：少	良	茶褐～淡黄灰	褐～淡褐	
313	SA-19	小型壷	88	—	—	粗ハケ	ハケ	微細砂：少	良	淡橙褐～淡橙茶	淡橙褐	
314	SA-19	壷	—	—	—	ハケ	ハケ	微砂：少、白：やや多	ややあまい	淡茶褐	淡褐	
315	SA-20	甕	132	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：少	良	淡橙褐	淡橙褐	
316	SA-20	甕	235	—	—	粗工具ナデ・ハケ	工具ナデ	茶：少	ややあまい	淡黄褐	茶褐～淡茶褐	内：やや摩滅
317	SA-20	甕	244	—	—	ハケ	ハケ	白・粗細砂：やや多	ややあまい	—	淡茶褐～淡黄	外：全面スス 内：やや摩滅
318	SA-20	甕	400 位	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂：やや多、 赤・雲母：微	良	暗茶褐	淡茶褐～淡黄灰・ 淡橙褐	外・口縁部： ススやや多
319	SA-20	甕	274	—	—	ハケ～工具ナデ	粗ハケ	細砂・白・茶：少	良	淡黄～淡桃褐	淡褐～淡黄褐	
320	SA-20	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少、茶：微	良	暗茶褐	淡褐～褐	外：スス
321	SA-20	甕	278	—	—	ハケ	工具ナデ	茶：少	良	—	暗茶褐～橙褐	外：ススやや多
322	SA-20	甕	200 位	—	—	ハケ	工具ナデ	微砂・白・茶：微	良	暗茶褐	暗褐～淡橙白	外：ススやや多
323	SA-20	甕	—	—	—	—	粗工具ナデ	微細砂：少	良	暗茶褐	淡灰褐～淡茶灰	外：スス少 口縁部：種子圧痕か
324	SA-20	甕	250 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	淡茶灰	淡褐～暗灰褐	
325	SA-20	甕	450 位	—	—	ハケ	—	粗細砂・茶：微	良	淡茶褐	淡灰～灰	外：厚さ 0.2～0.3のスス
326	SA-20	甕	—	48	—	工具ナデ	—	微細砂・白：少	良	淡黄褐～淡黄灰	暗灰	
327	SA-20	壷	129	—	—	工具ナデ	ハケ	微細砂・白：少	ややあまい	淡橙褐	淡橙褐～淡灰～淡黄	
328	SA-20	小型鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂：やや多、白：少	ややあまい	淡黄褐	淡灰黄～淡橙	外：摩滅 胴部最大径：94
329	SA-20	小型壷	—	—	—	指ナデ～工具ナデ	工具ナデ	良	良	茶褐・黒褐（黒斑）	淡赤茶	外部最大径：85
330	SA-20	壷	—	—	—	工具ナデ	ハケ	良	良	淡褐～暗灰	暗茶灰～淡橙褐	内外：被熱・被スス
331	SA-20	壷	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	良	暗灰褐	淡褐	
332	SA-20	小型壷	—	—	—	粗ミガキ	工具ナデ	良	良	褐～淡褐	淡褐	
333	SA-20	小型壷	—	—	—	粗ミガキ	粗工具ナデ	白：少、微細砂・茶：微	良	淡黄褐～淡茶褐・黒斑	淡褐～淡灰	
334	SA-20	高坏か	191	—	—	—	—	白：微	あまい	橙褐～淡黄褐	淡橙～淡灰黄	外：摩滅・一部スス 内：やや摩滅
335	SA-20	小型鉢	—	—	—	工具ナデ	ハケ	良	ややあまい	淡灰褐・黒斑	淡褐	最大径：100
336	SA-20	高坏	—	—	—	粗ミガキ	強いナデ・工具ナデ	微細砂・白・赤：微	良	褐～黄褐	暗灰～淡褐	
337	SA-20	高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少、白・茶：微	良	淡黄～淡橙～黒灰（黒斑）	淡褐	
338	SA-20	蓋	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	暗灰褐	淡褐	外：黒褐色スス少 端面：5.3～7.5ミリ
339	SA-20	高坏	—	—	—	粗ミガキ	ハケ	良	良	淡褐	淡褐	
340	SA-20	甕	342	—	—	粗ハケ～強いヨコ ハケ～工具ナデ	ハケ～ナデ	微砂・赤：少	良	淡褐・淡灰～暗灰	淡黄白～淡褐	突帯・胴部：スス
341	SA-21	甕	250 位	—	—	ハケ	粗工具ナデ	微細粗砂：少	良	暗橙	橙褐～暗灰褐	外：スス少 口縁部：淡黒褐
342	SA-21	甕	—	—	—	ハケ	工具ナデ	白：少	良	淡黄褐	淡灰～淡褐	頸部径：400 位 胎：淡灰～灰
343	SA-21	小型壷か	66	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	黒褐～暗灰褐	淡橙褐	
344	SA-21	小型壷	—	—	—	半ミガキ	半ミガキ	良	良	淡褐・暗灰	淡褐～淡褐灰	
345	SA-21	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	黒褐～暗灰褐	暗灰褐	破損後に被熱
346	SA-21	鉢	300 位	—	—	—	—	微砂・白：少	良	暗茶褐～暗灰褐	淡褐～淡黒灰	外：スス
347	SA-22	小型壷	—	—	—	重圏文～工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡褐・暗褐	淡黄褐	
348	SA-22	甕	400 位	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良	暗灰	暗茶褐～淡褐	
349	SA-22	甕	—	—	—	タタキ	丁寧工具ナデ	茶：微、角閃石：少	良	暗灰	淡茶褐～暗茶灰	外：スス少
350	SA-22	壷	150 位	—	—	工具ナデ	ハケ	良	良	淡褐～淡茶褐	淡黄褐～淡褐	
351	SA-22	甕	192	—	—	工具ナデ	ハケ→工具ナデ	微砂：少、白：やや多	良	暗茶褐・黒斑	淡茶褐・桃褐・暗 褐・黒斑	外：スス少、摩滅 内：摩滅
352	SA-22	甕	250 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：微	良	淡褐	淡褐～淡黄・黒斑	
353	SA-22	甕	400 位	—	—	ナデ→工具ナデ	ハケ	白：微	良	淡褐～淡灰褐	灰～暗灰	
354	SA-22	甕	198	—	—	ハケ→粗工具ナデ	ハケ	微細砂・白：微	ややあまい	暗茶褐～淡橙褐	淡茶褐～淡黄褐	外：スス
355	SA-22	甕	180	—	—	工具ナデ	工具ナデ・ハケ	粗細砂：微	良	暗茶褐～淡黄灰	茶灰・淡黄褐	外：スス少 内：オコゲ少
356	SA-22	甕	200 位	—	—	ハケ	ナデ～工具ナデ	茶：少、白：微	ややあまい	淡黄・暗灰	淡黄褐・暗灰	
357	SA-22	甕	296	—	—	ハケ	ハケ・指押→ハケ	茶：少、白：微	良	淡褐～淡橙褐	淡褐	
358	SA-22	甕	450 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	ややあまい	淡桃褐・淡灰黄	淡橙黄	外：スス多
359	SA-22	甕	400 位	—	—	ハケ	ハケ	白：少	良	桃褐～暗茶褐	桃褐～淡黄褐・黒斑	
360	SA-22	高坏	250 位	—	—	半ミガキ	工具ナデ～ミガキ	白・茶：微	良	淡橙褐	淡橙褐～淡黄灰	
361	SA-22	甕	350～400	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡橙褐	淡橙	外：スス少
362	SA-22	甕	—	—	—	ハケ	工具ナデ	微砂：少	良	暗茶灰～暗茶褐	淡黄褐	
363	SA-22	甕	340	—	—	工具ナデ	ハケ・工具ナデ	白：微	良	褐～暗褐	淡橙～淡黄	外：スス少
364	SA-22	甕か	450 位	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂・白：微	良	茶褐・淡黒褐	淡褐～淡褐灰	
365	SA-22	甕	—	—	—	ハケ	ハケ	微砂：微、小礫1	良	暗茶褐～淡黄褐	淡褐	外：スス少 最大径：450 位
366	SA-22	甕	—	—	—	—	工具ナデ	微細砂：少	良	淡黄・淡桃褐	淡黄褐	突帯・キザミ・ヘコミ 最大径：350～400 位
367	SA-22	鉢か	250 位	—	—	ミガキ	ハケ・工具ナデ	良	良	淡黄・淡橙、口唇部：淡黒灰	淡橙褐	

表８　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（４）

No.	出土地	種類・器種	法量（㎜）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
368	SA-22	鉢か	400 位	—	—	工具ナデ	ハケ	良	良	淡褐	淡褐～淡茶褐	
369	SA-22	鉢か	150 位	—	—	丁寧工具ナデ	ハケ～工具ナデ	良	良	褐	褐～淡茶褐	
370	SA-22	甕	215	—	—	粗工具ナデ	ハケ	粗細砂：多	良	暗桃褐・暗茶褐・黒斑	桃褐・淡黄褐・黒斑	
371	SA-22	鉢	109	—	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	白：少	良	淡褐	淡褐（淡黒褐付着物多）	
372	SA-22	甕	—	50	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白：少	良	淡灰～淡灰褐・暗灰	暗茶灰～淡灰褐	
373	SA-22	甕	—	98	—	ハケ	工具ナデ	白・赤：微	良	淡黄	淡黄褐	
374	SA-22	甕	—	54	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少、白：やや多	良	淡褐・灰～淡黒灰	淡黒灰	
375	SA-22	甕	—	112	—	粗工具ナデ	丁寧工具ナデ	白・微砂：少	良	茶褐～褐	黒褐・茶褐	搬入か 外：スス少
376	SA-22	甕	—	56	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多、白：微	ややあまい	淡灰黄～淡褐	淡灰褐	
377	SA-22	甕	—	64	—	工具ナデ	粗ハケ	粗細砂：やや多	良	淡黄褐～茶褐	暗茶褐	内：オコゲ少 外低：35 × 45 の黒斑
378	SA-22	甕	—	67	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微砂・茶：少、白：微	良	淡褐～淡黄灰	淡茶褐～灰褐	内：オコゲか少
379	SA-22	壷	106	—	—	ハケ	ハケ	粗細砂・白・茶：少	良	淡褐～淡黄褐	淡褐～淡灰黄	380 と同一個体
380	SA-22	壷	106	—	—	ハケ	ハケ	粗細砂・白・茶：少	良	淡褐～淡黄褐	淡褐～淡灰黄	379 と同一個体
381	SA-22	壷	122	—	—	ナデ～ハケ	ハケ	微砂：少	良	茶桃・黒斑	暗桃茶	
382	SA-22	壷	—	—	—	ハケ→工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡橙褐～淡桃褐	淡褐（縦半分：黒色付着物）	内：摩滅
383	SA-22	壷	—	—	—	ミガキ	ミガキ・工具ナデ	微細砂・茶：少、白：微	良	淡茶褐	暗茶褐～褐	
384	SA-22	壷	—	—	—	工具ナデ→縦ハケ	指押し→粗工具ナデ	白・茶：微	良	淡褐～淡灰黄	淡褐	
385	SA-22	壷	—	—	—	工具ナデ	粗ハケ	粗細砂・白：少	ややあまい	淡黄褐・黒斑	淡褐～淡黄	
386	SA-22	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	細砂：やや多	良	淡黄灰～暗灰	灰～暗灰	
387	SA-22	小型壷	80	—	—	ハケ・ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐	
388	SA-22	小型壷	—	—	—	工具ナデ	粗いナデ～工具ナデ	茶：微	良	淡灰～暗茶褐・黒斑	淡黄褐	
389	SA-22	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡茶褐	淡灰褐	頸部径：100 位
390	SA-22	高坏	—	—	—	ハケ	ハケ	微細砂：やや多、白：微	ややあまい	淡橙褐	淡褐	外：やや摩滅 内：摩滅
391	SA-22	蓋	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡茶褐～暗灰褐	暗灰	
392	SA-22- 2 層	小型壷	—	—	—	ミガキ	ナデ	白・茶：微	良	茶褐～暗茶灰	淡橙黄	最大径：150 位
393	SA-23	甕	250 位	—	—	ミガキ	ミガキ	粗細砂：少	良	淡黒灰	暗褐灰～暗褐	
394	SA-24	甕	300 位	—	—	工具ナデ	半ミガキ	微細砂・赤：少	良	淡褐	淡茶褐～暗茶褐	
395	SA-24	甕	248	—	—	工具ナデ	ハケ	微細砂：少	良	褐	淡橙褐	
396	SA-24	甕	178	—	—	上：工具ナデ→ハケ 下：粗工具ナデ	工具ナデ・ハケ	微砂：微	良	淡褐～淡黄～灰褐	淡褐・灰～暗灰	外：スス
397	SA-24	甕	390	—	—	粗ハケ	ハケ	粗細砂・茶：少	良	小礫・淡褐～茶灰	淡褐～淡灰褐	突帯部分：布目 外：スス少
398	SA-24	甕	71	—	—	タタキ	工具ナデ	茶：少	良	スス	淡灰～暗灰	胎：乳白 外：スス
399	SA-24	甕	241	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微、粗細砂・茶：少	良	淡褐	淡橙黄～淡灰黄	突帯部分：スス微 口唇部：スス少
400	SA-24	甕	—	62 × 65	—	粗ミガキ	丁寧工具ナデ	微細砂：少	良	茶褐～暗茶褐	淡黒褐～暗褐	破損後に被熱
401	SA-24	甕	—	60	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	粗細砂・白：少、茶：微	良	淡褐～淡灰褐	淡黄白	内底：4 × 17 の楕円形
402	SA-24	小型壷	108	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	茶：微	良	淡黄褐～橙褐	淡橙褐	
403	SA-24	壷	104	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	茶灰	灰～暗灰	
404	SA-24	壷	123	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多	良	茶褐～暗茶褐	淡灰褐	
405	SA-24	壷	122	—	—	工具ナデ	ナデ～工具ナデ	良	ややあまい	淡橙黄	淡橙～淡灰	
406	SA-24	壷	—	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	茶橙	茶褐	内：かなり剥落
407	SA-24	壷	—	71	—	ミガキ	ミガキ	微細砂・茶・白：微	良	淡褐～褐灰	暗茶褐～淡褐	
408	SA-24	小型鉢	71	—	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	微砂：少	良	淡黄～淡灰・暗灰	淡黄・淡黒灰	
409	SA-24	壷か	—	—	—	粗ミガキ	工具ナデ	良	良	淡黄白	淡灰褐～茶灰	胎：乳白
410	SA-24	小型壷か	81	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	白：微	ややあまい	淡桃褐	暗桃褐	外：やや摩滅
411	SA-24	小型壷	150 位	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	赤：少	良	淡橙褐	淡褐	
412	SA-24	小型壷	—	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良	淡黄褐・淡黒灰（黒斑）	淡褐	
413	SA-24	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・赤：微	あまい	淡橙～淡橙黄	淡灰	外：やや摩滅
414	SA-24	小型鉢	—	37	—	丁寧工具ナデ ～工具ナデ	粗工具ナデ	良	良	淡褐～淡灰褐	淡褐～淡灰褐	外：やや摩滅
415	SA-24	壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐～淡黄白	淡灰～暗灰	胴部最大径：200 位
416	SA-24	小型鉢か	104	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白：少	良	褐～淡茶褐	淡黄褐	
417	SA-24	高坏	200	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡黄褐	桃褐～茶灰・暗灰	内：口唇部摩滅
418	SA-24	高坏	250 位	—	—	ミガキ	ミガキ	粗細砂：微	ややあまい	茶褐～暗灰褐	茶褐～淡黒褐	
419	SA-24	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂：微	良	淡茶褐	淡褐～灰褐	蓋に転用か 内：被熱、スス少
420	SA-24	甕	178	—	—	丁寧ハケ	丁寧工具ナデ	粗細砂：少	良	淡褐～淡橙褐	淡橙褐	
421	SA-24	高坏	230	—	—	ミガキ	ミガキ	良	あまい	茶褐～暗茶褐	茶褐～暗茶褐	内外：被熱
422	SA-24	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ～ハケ	良	良	淡灰褐～淡茶褐	淡褐	外：スス少
423	SA-24	高坏	—	—	—	丁寧ミガキ	丁寧ミガキ	粗細砂・小礫：微	良	茶褐	茶	
424	SA-24	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	白：微	良	淡橙黄～淡茶黄	暗橙～淡橙	外：小黒斑
425	SA-24	高坏	—	—	—	半ミガキ～ミガキ	粗ミガキ	微砂：少	良	橙褐・茶褐	橙褐	
426	SA-24	高坏	—	—	—	—	—	白：やや多	あまい	淡橙・淡灰褐	淡黄褐	全面摩滅
427	SA-24	高坏	—	110	—	ナデ・粗ナデ～ナデ	ミガキ 脚内：丁寧工具ナデ	茶・白：少	良	褐～淡黄褐・暗灰	淡桃褐	脚内：淡褐 口縁部：小黒斑
428	SA-24	高坏	—	—	—	粗工具ナデ	丁寧ミガキ	茶：微	良	淡橙～淡橙褐	茶灰～暗灰	
429	SA-24	蓋か	134	—	—	工具ナデ	半ミガキ～工具ナデ	微砂・白：少	ややあまい	淡黄・暗茶褐（変色）	淡黄灰・茶褐～茶灰	
430	SA-24	高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡橙褐～桃橙	淡橙褐～淡黄灰	外：やや摩滅
431	SA-24	高坏	—	120	—	ミガキ	工具ナデ～ミガキ	白：微	良	褐～淡黄褐・暗灰	淡橙褐	脚内：桃橙～淡黄褐 外：被熱、スス少
432	SA-24 － 2 層	小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡茶褐～淡黄灰	淡茶褐～淡灰	最大径：150 位
433	SA-25	甕	172	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：微	ややあまい	淡褐・暗茶褐	淡褐・暗茶褐	外：工具による回み、スス少 内：被熱、スス
434	SA-25	甕	254	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	雲母：微	良好	淡黄白・暗茶褐	淡黄白	被熱
435	SA-25	甕	256	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：やや多、微細砂・茶：少	ややあまい	桃橙～黄褐	淡橙～黄褐	外：スス少
436	SA-25	甕	450 位	—	—	ハケ	ハケ	微砂・白：少	良	茶橙～暗灰褐	暗灰・茶褐	
437	SA-25	甕	250 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	暗灰～暗茶褐	淡褐	内：口唇部被熱 外：スス少
438	SA-25	小型甕	100 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：微	ややあまい	淡橙褐	暗灰～淡黒灰	

表９　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（５）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
439	SA-25	甕	298	—	—	ハケ～工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	暗赤茶・暗茶褐・橙褐	淡橙褐・暗茶褐～淡褐	被熱、外：スス少 内：オコゲ
440	SA-25	甕	350 位	—	—	工具ナデ→ハケ	ハケ	赤：やや多	良	暗茶褐・淡桃・淡灰～暗灰	淡橙褐	
441	SA-25	甕	—	—	—	粗工具ナデ	丁寧工具ナデ	白：微	良	灰褐～淡黒灰	淡褐	外：スス
442	SA-25	甕	312	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少、白：微	良	暗茶灰～淡黄灰	淡茶灰～暗灰・淡褐	外：スス少
443	SA-25	甕	—	65	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	淡灰褐・淡黒灰（黒斑）	—	脚内：淡灰褐～茶灰・暗灰
444	SA-25	甕	—	60	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡褐・淡灰褐	淡褐	
445	SA-25	小型壷	74	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	あまい	淡茶灰～暗灰褐	暗灰褐	外：被熱
446	SA-25	小型壷	112	—	—	工具ナデ・ハケ	工具ナデ	白：少	あまい	淡褐	淡橙～茶橙	
447	SA-25	甕	—	78 × 86	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：少	ややあまい	淡黄白・淡灰褐～暗灰	褐～暗茶	
448	SA-25	甕	—	92	—	工具ナデ	工具ナデ	白：やや多	ややあまい	淡褐～灰褐	黒灰～暗茶褐	
449	SA-25	甕	—	60	—	工具ナデ	ナデ～工具ナデ	白：微	ややあまい	暗茶灰～暗茶褐・暗橙褐	淡黒褐～暗茶褐	内外被熱
450	SA-25	壷	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	白：少	良	淡橙褐～淡褐	淡褐	
451	SA-25	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：少	良	淡褐	茶～淡茶褐	外：スス少 内：20％剥落
452	SA-25	壷	—	—	—	半ミガキ・工具ナデ	丁寧工具ナデ	茶：微	良	暗茶褐～淡橙褐	暗茶褐～茶橙	上半被熱
453	SA-25	壷	—	24 × 27	—	ハケ	ハケ～粗工具ナデ	微細砂・白：少	良	灰褐～暗灰褐	茶灰・淡灰褐・淡橙褐	外：被熱
454	SA-25	壷	—	35 × 40	—	タタキ→ ハケ・工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：少	良	茶褐～暗茶褐	暗褐・黒褐	被熱
455	SA-25	蓋	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	橙褐	淡橙・灰	口縁部：灰～ 暗茶灰（被熱）
456	SA-25	鉢か	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡赤褐（丹）	淡褐	径：200 ～ 300 位か
457	SA-25	専用羽口	—	70	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	淡黄褐・淡灰～暗灰	淡灰褐	
458	SA-26	甕	400 ～ 450 位	—	—	強い工具ナデ （半ミガキ）	工具ナデ	良	良	黒褐	黒灰～黒褐	
459	SA-26	甕	450 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	暗灰・黒灰（被熱）	茶褐～暗灰褐（被熱）	外：ススやや多
460	SA-26	甕	300 位	—	—	ハケ～工具ナデ	ハケ	良	良	淡褐	淡褐～淡黄白	
461	SA-26	甕	350 位	—	—	工具ナデ	ハケ	粗細砂・茶：微	ややあまい	淡褐	淡褐	
462	SA-26	小型甕	130 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	灰褐～淡黄褐	淡灰褐	
463	SA-26	壷	121	—	—	ハケ	ハケ～粗工具ナデ	茶・白：少	良	褐～淡茶褐	茶灰～淡茶褐	
464	SA-26	壷	100	—	—	ハケ	ハケ	白：少	ややあまい	暗茶褐～褐	暗茶褐～褐	
465	SA-26	甕	154	—	—	ハケ	工具ナデ～ ナデ～工具ナデ	微細砂：少	良好	茶褐～暗灰褐	茶褐～暗褐	内胴部～割れ口 ～外下部まで被熱
466	SA-26	小型壷	—	—	—	工具ナデ・半ミガキ	丁寧ナデ	良	ややあまい	淡褐・茶灰・暗灰～黒斑	淡褐・暗灰	
467	SA-26	器台か	—	154	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡黄褐～茶褐	淡黄褐	
468	SA-27	甕	303	—	—	ハケ～工具ナデ	ハケ～工具ナデ	茶：微	良	暗茶褐	暗茶褐～褐	外：スス
469	SA-27	甕	350 位	—	—	ハケ	丁寧ナデ	微砂：少	良	暗茶褐	茶灰～茶褐	外：ススやや多
470	SA-27	甕	—	—	—	工具ナデ→ハケ	工具ナデ→粗タテハケ	白：微	良	淡灰～灰褐	淡灰褐	外：スス
471	SA-27	壷	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	白：微	良	暗茶褐～黒褐	淡褐～褐	断面：外半は灰褐～ 暗灰、内半は淡黄灰
472	SA-27	高坏	—	—	—	ミガキ	粗工具ナデ	良	ややあまい	褐～暗灰	淡黄褐	
473	SA-28	甕	—	70 位	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：少、茶：微	良	淡灰黄～淡褐	暗茶褐～暗灰褐	内：オコゲ少
474	SA-28	甕	400 位	—	—	—	ハケ	微細砂：少	ややあまい	淡橙褐	茶褐～淡黄灰	外：全面スス
475	SA-28	甕	153	—	—	工具ナデ	ハケ	良	良	暗茶褐～茶褐	暗茶褐	被熱
476	SA-28	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡茶褐～灰褐	淡褐	外：スス微
477	SA-28	甕	—	—	—	ハケ	工具ナデ	白・茶：微	良	淡褐～淡橙褐	淡褐～淡灰褐	内：粘土粒あり
478	SA-28	甕	257 × 267 位	—	—	工具ナデ～ 強い工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少、茶：微	良	茶褐～暗茶褐・淡褐	淡褐・淡灰褐～暗茶褐	外：スス少 口縁部：歪つ
479	SA-28	甕	251 × 273	—	—	ハケ～工具ナデ	強い工具ナデ ～工具ナデ	微細砂・茶・白：少	良	淡茶褐～ 淡黄褐・暗灰褐	暗茶褐～淡茶褐・ 黒褐	外：スス少、やや 摩滅
480	SA-28	甕	—	45 位	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	あまい	淡褐・橙桃・暗灰	淡褐	最大径：64　内：オコゲ
481	SA-28	甕	—	55	—	工具ナデ～指頭押	工具ナデ	白：・茶：少	良	淡橙～淡褐	灰・淡褐	内底：9 × 26 の楕円形
482	SA-28	甕	—	65	—	工具ナデ	ハケ	白：少	良	灰褐・茶褐～淡橙褐	黒褐・暗茶褐～淡褐	内：黒褐、オコゲ少
483	SA-28	高坏	250 位	—	—	粗工具ナデ	ハケ	白：微	良	淡黄褐～淡灰黄	淡灰黄～暗灰褐	
484	SA-28	甕	—	48	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	暗茶褐	暗茶褐～淡赤茶	
485	SA-28	小型鉢	75	—	51	粗工具ナデ	粗ハケ	微砂・白：少	良	茶褐～淡褐	淡黒灰～茶褐	口縁部・底部：暗灰褐
486	SA-28	壷	87	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	白・茶：少	良	淡橙～淡褐	淡褐	
487	SA-28	小型鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	茶：微	良	淡褐～淡黄褐	淡褐	
488	SA-28	蓋	350 位	—	—	粗ハケ	工具ナデ	微砂：少	良好	茶褐	暗茶褐～暗灰褐	内：スス少 口縁：少し凹み
489	SA-28	蓋	310	—	—	ハケ	—	白：微	ややあまい	淡褐・淡橙褐	淡黄褐	内外：摩滅
490	SA-28	高坏	190	—	—	ミガキ	丁寧ミガキ	茶：少	ややあまい	黄褐・桃橙	淡茶橙・淡灰～淡黒灰	
491	SA-28	高坏	—	124	—	ミガキ	丁寧工具ナデ、脚内： 丁寧工具ナデ・半ミガキ	白：少	ややあまい	橙褐・黄褐	淡褐	脚内：淡黒灰
492	SA-28	甕	318	169	438	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	淡褐～淡茶褐・灰～暗灰	淡灰褐～淡褐・淡黒灰	外：スス
493	SA-28	複合 口縁壷	108	42	248	ハケ～半ミガキ・工具ナデ	—	白・茶：微	ややあまい	淡橙茶～茶褐	淡橙褐	外：編物籠痕跡 内：剥落、最大径：220
494	SA-29	甕か	—	—	—	工具ナデ	—	粗細砂・白：微	良	茶褐～淡灰褐	淡灰白	内：剥落　胎：淡黄白
495	SA-29	甕	—	—	48 × 54	粗工具ナデ	ハケ	微細砂・白：少	良	淡黄褐～淡橙褐	淡黄～淡橙褐・淡黒灰	
496	SA-30	円筒深 鉢	—	—	—	貝殻腹縁沈線 ～貝殻条痕	工具ナデ	良	良	茶褐～暗茶褐	淡茶褐	口縁部：斜め浅刻み
497	SA-30	甕	350 位	—	—	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	茶：微	良	淡茶褐～淡黄褐	暗茶褐・淡褐	外：スス微
498	SA-30	甕	300 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：微	良	暗茶褐	茶褐～淡褐	外：スス
499	SA-30	甕か	400 位	—	—	ハケ（半ミガキ）	丁寧工具ナデ	良	良	淡黒褐	暗灰褐	
500	SA-30	甕	450 位	—	—	タタキ→工具ナデ	ハケ→ナデ	小礫	良	暗灰・淡褐	黒灰～暗茶灰	
501	SA-30	壷	140 位	—	—	ミガキ・丁寧工具ナデ	ナデ消し～ハケ ～工具ナデ	良	良	淡橙～淡橙褐	淡橙褐	
502	SA-30	甕	500 位	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	白・赤：微	良	淡橙～淡褐	淡褐	
503	SA-30	甕	202	—	—	ハケ	工具ナデ～ハケ	微細砂：少	良	淡褐～淡灰褐	淡褐	外：スス少
504	SA-30	甕	189	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	角閃石：微	良	淡褐・暗茶褐	淡褐	外：スス少
505	SA-30	広口壷か	206	—	—	ミガキ	半ミガキ～半ケズリ	白・粗細砂：少、赤：微	良	褐～淡桃褐	淡褐～灰	突帯：淡黄
506	SA-30	壷	219	—	—	粗ミガキ～ミガキ	ミガキ	微細砂：少	良	灰褐～暗茶褐・黒褐	暗茶褐～淡褐・黒褐	被熱
507	SA-30	甕	240	—	—	ハケ～工具ナデ	ハケ～工具ナデ	白・茶：少	良	茶褐	淡黄褐～淡茶灰	外：スス微
508	SA-30	甕	290 ± 20	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・赤：微	良好	暗灰褐～暗褐	暗褐～淡橙茶・黒褐（被熱）	外：スス微
509	SA-30	甕	262	—	—	工具ナデ	ハケ～強い工具 ナデ～工具ナデ	微細砂：少	良好	淡黄褐～淡橙桃	淡黄褐～ 暗桃褐・暗灰褐	

表 10　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（6）

No.	出土地	種類・器種	法量（㎜）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
510	SA-30	甕	350 位	—	—	工具ナデ	ハケ～工具ナデ	赤：少	良	—（スス）	淡橙褐	外：スス
511	SA-30	甕	300 位	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	良	良	灰～暗灰	淡茶褐～暗灰	外：スス
512	SA-30	甕	266	—	—	半ミガキ	半ミガキ	良	良	暗茶褐・淡褐白	淡褐～淡茶褐	外：スス
513	SA-30	甕	—	—	—	ハケ～半ミガキ	ハケ～丁寧工具ナデ	良	良好	淡褐～淡茶褐	淡褐～淡茶褐	口唇部：ハケ
514	SA-30	甕	317	—	—	工具ナデ	工具ナデ～ハケ	微細砂・白・雲母：微	良	淡黄褐・橙褐・淡黒灰（黒斑）	淡橙褐～黄褐・黒斑	外：ススやや多
515	SA-30	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	淡灰～灰	灰・淡黄褐	
516	SA-30	甕	400 位	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂：微	良好	黒灰	暗灰・黒褐（光沢）	
517	SA-30	甕	332	—	—	工具ナデ	半ミガキ	白：微	良	淡褐	淡橙褐～淡褐	外：スス少
518	SA-30	甕	300 位	—	—	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	良	良	淡褐	淡褐～暗茶褐	外：スス少
519	SA-30	甕	—	—	—	工具ナデ	ハケ	微細砂：少・赤：微	良	暗茶褐～黒褐	暗茶褐	
520	SA-30	高坏	—	—	—	ナデ	ハケ～ミガキ	良	良	茶～茶褐	茶褐	
521	SA-30	甕	138	—	—	ハケ	工具ナデ・ハケ	微砂：微	良	淡褐	淡褐	
522	SA-30	甕	175	—	—	粗ハケ	工具ナデ	良	良	茶褐～暗茶褐	淡褐～茶褐	
523	SA-30	甕	203	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微、茶：少	良	暗茶褐	淡黄～淡橙褐	外：スス
524	SA-30	甕	216	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	ややあまい	茶褐	淡橙～淡黄	内：やや摩滅 外：ススやや多
525	SA-30	甕	234	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：少	良	暗茶褐～褐	淡橙褐・淡褐	外：ススやや多
526	SA-30	甕	273 × 288	62	291	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少、茶：微	良	淡橙黄～淡黄褐・淡褐・暗茶灰	黒灰～暗茶褐一部褐色	外：スス（～ 0.8 ㎜厚）
527	SA-30	甕	229	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：少、茶：微	良	淡褐・淡灰褐	淡灰褐～暗灰褐	破損後被熱
528	SA-30	甕	200	—	—	粗ハケ	工具ナデ	微細砂：少	良	暗茶褐～灰褐	淡灰褐～淡褐	口縁部：直線的 外：スス少
529	SA-30	甕	254	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・茶・雲母：微	良	暗灰褐～灰褐	淡灰～暗灰・淡褐白	外：スス
530	SA-30	甕	247	—	—	ハケ・工具ナデ	ハケ～強い工具ナデ	粗細砂：少、白：微	良	暗茶褐	暗灰褐～灰褐	外：スス少
531	SA-30	甕	450 位	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白・茶・雲母：微	良	淡褐～淡茶褐	淡褐・茶灰～黒灰	
532	SA-30	甕	270	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多、角閃石・白：微	良	褐・黒灰	淡橙褐	
533	SA-30	甕	350 位	—	—	ハケ	工具ナデ	茶：微	良	淡褐・暗灰	淡褐～淡茶褐	
534	SA-30	甕	388	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	良	淡橙褐～淡黄	淡橙褐・暗灰～淡黒灰	
535	SA-48	甕	234 × 245	60	282	工具ナデ～粗工具ナデ	工具ナデ	白・微細砂：少	良	淡褐～淡茶灰	淡褐～暗茶褐、黒斑	外底：木葉痕 外：スス、やや摩滅
536	SA-30	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多、茶：少	良	暗茶褐～淡茶褐	淡橙褐～橙	外：ススやや多 内：下部オコゲ
537	SA-30	甕	350 位	—	—	半ミガキ	半ミガキ	良	良	淡黒灰	淡黒灰	内外：瓦質に近い、一部半ミガキ
538	SA-30	甕	450 位	—	—	ハケ	工具ナデ	微砂・白・赤：微	ややあまい	淡橙	淡橙褐	
539	SA-30	鉢	350 位	—	—	ハケ～工具ナデ	ハケ～丁寧工具ナデ	良	良	茶褐・淡褐・淡灰～暗灰	茶褐・淡褐・暗灰	
540	SA-30	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡茶褐～暗灰褐	淡茶褐～暗茶灰	破損後被熱
541	SA-30	甕	234	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	淡褐～淡灰褐	淡褐	外：スス少
542	SA-30	甕	400 位	—	—	ハケ	工具ナデ	白・赤・雲母：少	ややあまい	淡橙	淡橙・淡黄	
543	SA-30	甕	250	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	淡灰褐～淡茶褐	淡茶褐～淡褐	外：スス微 口縁部：少し湾曲
544	SA-30	甕	250 位	—	—	工具ナデ	—	良	ややあまい	暗茶褐～淡褐・淡灰白	淡黄白～暗茶褐	外：ススやや多 内：全面摩滅
545	SA-30	甕	258	—	—	ナデ・工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：微	良	橙褐～淡橙	淡橙、淡褐	外：スス少
546	SA-30	甕	300 位	—	—	ハケ～工具ナデ	ハケ	微細砂：少	良好	淡褐	淡褐～淡黒灰	外：スス微
547	SA-30	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・茶：少	良	暗灰～灰・淡黄	淡褐～淡褐白	外：スス少
548	SA-30	甕	400 位	—	—	ハケ	工具ナデ	白・茶：少	良	暗褐	淡褐	外：スス
549	SA-30	甕	250 位	—	—	強い工具ナデ	工具ナデ・強いハケ	微細砂：少	良好	暗灰褐・黒斑	暗茶褐	貼付突帯刻み後に工具ナデで潰れ
550	SA-30	甕	350 位	—	—	ヨコハケ・工具ナデ	工具ナデ	細砂：少白：微	良	淡褐～淡黄褐	淡黄～淡桃褐・淡黒灰（黒斑）	外：スス微、口唇部やや摩滅
551	SA-30	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白、細砂・赤：微	良	淡褐	淡褐～橙褐・灰～暗灰	外：やや摩滅
552	SA-30	甕	—	—	—	ハケ～工具ナデ	ハケ～丁寧工具ナデ	良	良好	淡褐～灰褐	淡褐	外：スス少 径：400 位
553	SA-30	甕	146	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：微、茶：少	良	淡橙褐～暗灰褐	淡桃褐・茶褐～暗茶褐	外：スス少
554	SA-30	甕	146	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：少、白：微	良 半分被熱	淡橙褐～褐	淡黄褐・淡灰褐	内：3 段の輪積痕 外：スス少
555	SA-30	甕	170	—	—	ハケ～工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多、茶：微	ややあまい	茶褐～暗茶褐	黄褐～暗茶褐	外：スス、口唇部ハケ
556	SA-30	壷	100	—	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：少	ややあまい	淡橙・淡黄褐	橙褐	内外：摩滅
557	SA-30	鉢か	100 位	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡褐	淡黄褐	
558	SA-30	小型鉢か	—	31	—	工具ナデ	—	微砂：少	良	淡褐	淡橙	胎：茶褐
559	SA-30	小型鉢	—	21	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：微	ややあまい	淡茶灰・淡橙褐	茶灰	
560	SA-30	甕	—	41 × 48	—	粗工具ナデ～指押	工具ナデ	白・赤・微砂：微	良	暗灰～淡黒灰	暗灰～淡黒灰	胎：淡褐白
561	SA-30	甕	—	45	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	ややあまい	淡橙褐～暗茶褐	淡灰褐・淡黒灰	
562	SA-30	甕	—	42 位	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡褐	淡灰褐	
563	SA-30	甕	—	34	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・赤：少	良	淡桃褐・淡灰褐～暗茶灰	淡褐	
564	SA-30	甕	—	58	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	粗細砂：少、赤：微	良	淡灰黄～淡橙茶	暗灰褐～暗茶灰	内：被熱、スス少
565	SA-30	甕	—	56	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡黄褐・淡橙褐	暗灰褐	
566	SA-30	甕	—	55 × 57	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：少	良	淡黄褐～淡橙黄・黒斑	淡橙褐	
567	SA-30	甕	—	39	—	工具ナデ	強い工具ナデ	微細砂・茶：少	良	淡橙・茶灰	暗茶灰	
568	SA-30	甕	—	73 × 70	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：少	良	淡橙褐～淡灰黄	茶褐～暗茶灰	
569	SA-30	甕	—	55	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白・粗細砂：やや多、茶：微	良	淡黄・茶褐・淡茶褐	暗茶褐～灰褐	割れ口～内被熱
570	SA-30	甕	—	52	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡灰黄～淡茶黄	暗茶褐～灰褐	内：オコゲ
571	SA-30	甕	—	74	—	工具ナデ	粗工具ナデ	茶：微	良	淡黄褐	淡褐	
572	SA-30	甕	—	66	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白・赤：少	良	淡橙褐～暗灰褐	暗茶褐	内：スス多 底部：灰褐～暗灰褐
573	SA-30	甕	—	66	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・茶：少	良	茶褐・淡褐	淡黒灰	外：やや摩滅
574	SA-30	甕	—	58	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：微	良	淡茶灰～淡茶褐・暗灰	暗茶灰	内：オコゲ　被熱
575	SA-30	甕	—	52 × 57	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多	良	淡褐	暗灰～暗灰褐	内：オコゲ
576	SA-30	壷	—	80 × 89	—	半ミガキ	ミガキ	微細砂：やや多、粗砂：少	良	淡桃黄・淡褐・黒斑	桃橙・黒斑	
577	SA-30	甕	—	78	—	工具ナデ～半ミガキ	内面：粗工具ナデ 脚内：工具ナデ	微細砂：少	良	茶灰～褐灰	暗褐	脚内：暗茶褐
578	SA-30	甕	—	75	—	工具ナデ→ハケ	工具ナデ	白・微砂：少	良	淡茶褐～茶褐	淡灰褐～淡褐	外：スス少
579	SA-30	壷	80 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	淡褐	淡黄褐	
580	SA-30	壷	98	—	—	ハケ	ハケ～丁寧工具ナデ	良	良	淡褐	褐	

表 11　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（7）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
581	SA-30	壷	108	—	—	ハケ・工具ナデ	工具ナデ	微細砂・茶：少、白：微	ややあまい	暗茶褐・橙桃	褐～暗茶褐	少し歪つ 外：やや摩滅
582	SA-30	壷	142	—	—	工具ナデ～ 強い工具ナデ	ハケ	微細砂：少	良	茶～暗茶褐	暗茶褐・淡褐	内：口唇部淡褐
583	SA-30	壷	130	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	微砂：少	良好	淡褐	暗灰褐～淡茶灰	
584	SA-30	壷	111	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡橙白～淡褐白	淡褐白	
585	SA-30	壷	132	—	—	工具ナデ～粗ミガキ ～工具ナデ	ミガキ→カキアゲ ～粗工具ナデ	白：微	良	淡褐	淡褐	
586	SA-30	壷	118	—	—	粗ハケ	粗工具ナデ	粗細砂：やや多	良	淡褐・暗灰	淡褐・暗灰	
587	SA-30	壷か	97	—	—	ハケ	ハケ	茶：微	良好	暗褐	淡褐	外：スス微
588	SA-30	複合 口縁壷	270 位	—	—	強いハケ～ハケ	ハケ	微細砂：少	良	淡橙茶～茶褐	茶褐・淡黒灰	
589	SA-30	壷	—	—	—	ハケ	—	白：やや多、赤：微	ややあまい	茶褐～暗茶褐、黒斑	淡褐	内：かなり剥落 胴部最大径：427
590	SA-30	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白：少、茶：微	良	茶褐～淡褐	淡褐～淡褐白	内：約 30%器面剥落 胴部最大径：320
591	SA-30	壷	—	56 位	(336)	ハケ～ 工具ナデ～半ミガキ	工具ナデ	微砂：少、白・茶：微	良	茶褐～淡橙黄	暗茶褐～茶褐	甕に転用 口縁～頸部を打ち欠き
592	SA-30	壷	101	—	—	半ミガキ	—	良	ややあまい	淡橙褐～淡褐	淡橙褐	内：剥落著しい
593	SA-30	壷	—	—	—	粗ミガキ	粗工具ナデ	茶：微	良	褐	淡褐	
594	SA-30	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：微	良	淡褐～淡黄褐	淡褐	厚み：5.2
595	SA-30	壷	—	—	—	ミガキ	ミガキ	白・赤：微	良	淡茶灰～淡褐・淡黒灰	黒褐	頸部径：80
596	SA-30	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：少	良	淡灰褐～暗茶褐	淡灰褐	
597	SA-30	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡褐～褐・淡黒灰（帯状）	淡褐	
598	SA-30	把手付鉢	—	—	—	工具ナデ	—	良	良	淡黄褐・暗灰	—	
599	SA-30	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少、茶：微	ややあまい	茶橙	暗茶褐	内：破損後被熱、オコゲ多
600	SA-30	鉢か	180	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	白：少、茶：微	あまい	褐	淡褐～茶褐	
601	SA-30	台付鉢	256	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：多	あまい	橙褐～黄褐	—	外：一部摩滅 内：やや摩滅
602	SA-30	小型鉢	47	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白：少	良	淡橙～淡黄	淡橙	外：やや摩滅
603	SA-30	小型鉢	72	—	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂：少	良	灰～暗灰	灰～暗灰	
604	SA-30	小型壷	71	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：微	良	淡褐	淡褐	
605	SA-30	小型壷	76	—	—	半ミガキ	工具ナデ	良	良好	茶～茶褐	茶褐	
606	SA-30	小型壷	101	—	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	粗細砂・茶：微	良	淡橙褐～淡黄褐	淡橙褐	
607	SA-30	小型鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：微	良	淡灰褐～淡茶褐	淡褐	
608	SA-30	小型壷	73	—	—	ミガキ	半ミガキ	小礫 1	ややあまい	淡橙	淡橙・淡褐	
609	SA-30	小型壷	72	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	暗灰褐～淡黒灰	茶灰～淡黒褐	
610	SA-30	壷	82	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	白：少	ややあまい	黄褐～淡黄褐	橙黄・暗灰褐	
611	SA-30	鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	灰褐～暗灰	暗灰～淡灰	胎：淡黄白
612	SA-30	小型壷	67	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	良	褐	褐～淡橙褐	
613	SA-30	小型壷	—	—	—	工具ナデ	ハケ	白：微	ややあまい	橙褐	黄褐	外：やや摩滅
614	SA-30	小型甕	70	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡灰・淡褐・暗褐	淡褐・淡灰	
615	SA-30	小型鉢	—	—	—	ハケ～工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	灰・淡黒灰	淡灰	
616	SA-30	小型壷	—	—	—	半ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡褐～淡黄褐	灰～暗灰	
617	SA-30	壷か	—	—	—	ミガキ（丹）	ミガキ	良	良	暗茶（赤色顔料塗布）	淡灰白	
618	SA-30	小型壷	97	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	白・赤：微	良	黄褐～橙褐・黒斑	橙褐	
619	SA-30	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡褐～淡灰	黒	
620	SA-30	小型壷	—	—	—	工具ナデ～粗工具ナデ	工具ナデ	白・赤：微	良	淡橙・淡黄	淡橙～淡褐	
621	SA-30	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	暗灰褐・淡灰白	淡茶褐	外：凹み、やや摩滅
622	SA-30	小型壷	—	—	—	ミガキ（丹）	ミガキ（丹）	良	ややあまい	桃褐	茶	両面丹塗り
623	SA-30	小型壷	—	—	—	—	工具ナデ	白・茶：微	ややあまい	淡褐～淡灰褐	黒灰～茶灰	外：摩滅
624	SA-30	高坏	—	—	—	粗ミガキ	丁寧工具ナデ	赤：少	良	淡橙褐	淡橙褐～淡褐	
625	SA-30	小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	微砂：微	良	淡茶褐～褐、黒斑	茶～茶橙	
626	SA-30	壷	—	57 × 68	—	ミガキ	粗工具ナデ	微砂：少	良	淡黄・淡褐・淡茶灰	灰～暗灰	外：やや摩滅 底部：楕円形
627	SA-30	小型鉢	94	—	—	—	工具ナデ	白：微	あまい	淡橙	淡褐～淡橙	外：摩滅　内：やや摩滅
628	SA-30	小型壷	116	—	—	半ミガキ	丁寧工具ナデ	良	良	淡黒褐	茶褐・淡黒灰	
629	SA-30	高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：少	ややあまい	淡橙	黄褐～灰褐	外：やや摩滅 最大径：240 位
630	SA-30	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	淡橙褐	茶褐・淡灰～暗灰	
631	SA-30	高坏	—	—	—	ミガキ～ハケ	ミガキ	良	良	淡褐	淡褐～暗茶褐（被熱）	括れ部径：35 ～ 40
632	SA-30	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡橙	淡橙～淡褐	内：やや摩滅
633	SA-30	高坏	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良	淡褐	淡灰	
634	SA-30	高坏	—	—	—	ミガキ	丁寧ミガキ 脚内：粗工具ナデ	微砂：少	良	淡褐～淡黄	淡橙褐	脚内：淡黄白
635	SA-30	小型高坏	—	—	—	粗工具ナデ	内面：工具ナデ 脚内：工具ナデ	白・茶：微	良	淡褐・淡灰	淡灰	脚内：淡褐
636	SA-30	高坏	234	—	—	ミガキ	半ミガキ	茶：少	ややあまい	淡黄・淡褐・淡桃褐	桃褐～淡黄褐	蓋に転用 内外：スス少、被熱
637	SA-30	高坏	—	—	—	ミガキ	内面：ミガキ 脚内：工具ナデ	白・赤：微	ややあまい	淡橙褐	淡茶灰～暗灰	脚内：淡褐 転用品
638	SA-30	小型高坏	—	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	白：微	ややあまい	淡桃褐・淡茶灰	淡黒褐	
639	SA-30	高坏	—	128	—	ミガキ	内面：ミガキ 脚内：ミガキ	白：微、茶：少	ややあまい	茶褐・淡橙	淡褐・茶褐・暗灰	脚内：淡橙褐 外：摩滅
640	SA-30	高坏	—	—	—	工具ナデ	半ミガキ 脚内：粗工具ナデ	微細砂・白・赤：微	良	淡橙褐	淡灰褐	脚内：黒褐
641	SA-30	甕	—	—	—	工具ナデ	—	微砂：少	良	暗灰褐	淡褐	
642	SA-30	鉢か	—	—	—	ミガキ（丹）	ミガキ	良	良	赤桃	淡黒褐（意図的か）	被熱
643	SA-30	高坏	—	67	—	工具ナデ	内面：— 脚内：工具ナデ	白：少	ややあまい	淡茶褐～褐	淡橙褐（摩滅）	内外：摩滅
644	SA-30	蓋	—	48	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少、白：微	良	淡桃褐～橙褐	暗灰～淡黒灰	
645	SA-30	高坏	—	124	—	ミガキ	工具ナデ	茶：少、白：微	あまい	淡橙褐～淡褐	淡橙～茶褐	内：摩滅
646	SA-30	甕	—	96	—	半ミガキ・ハケ	工具ナデ	赤：微	良	淡茶褐	淡黄・淡橙	
647	SA-30	蓋	195	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・角閃石：少	良	淡黄褐・茶灰	淡橙、淡黄褐・暗茶褐	
648	SA-30	甕	—	113	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡褐	淡橙褐～淡褐	
649	SA-30	蓋	204	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白：微	良	淡茶褐～茶灰	暗灰褐	
650	SA-30	蓋	135	—	—	ミガキ	強い工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡灰・淡茶褐	外：やや摩滅
651	SA-30	器台か	—	128	—	工具ナデ～ナデ	粗ハケ	良	良好	淡褐	淡茶褐	

表 12　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（8）

No.	出土地	種類・器種	法量（㎜）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
652	SA-30	蓋	323	—	—	半ミガキ	半ミガキ	微細砂：少	良	茶褐～暗茶灰	茶褐～暗茶褐	内外：スス （鍋に転用か）
653	SA-30	蓋	184	—	—	工具ナデ～ハケ	丁寧工具ナデ	粗砂・小礫・白：微	ややあまい	淡橙褐	暗茶褐～淡褐	
654	SA-30	蓋	400 位	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂：少	良	茶褐	暗茶灰～暗茶褐	内外：スス
655	SA-30	被熱発泡土器片	200	—	—	—	—	—	—	淡灰～暗灰	金属質（茶褐・暗茶褐）	断面：発泡 上端：溶結
656	SA-30	取瓶	—	98	—	粗ミガキ～ミガキ	ミガキ	微砂：少	良	淡灰褐～淡茶褐	暗灰褐・淡褐	壷底部転用 内：弾け・摩滅
657	SA-30 ～ 31	小型壷	87	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	茶：微	良	淡褐	淡褐～淡灰褐	
658	SA-30 北～ 31	壷	86	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良好	淡褐～淡灰褐	淡橙茶	
659	SA-31	甕	350 位	—	—	ハケ	工具ナデ	粗細砂：少	ややあまい	暗褐～褐	淡黄褐～淡茶褐	
660	SA-31	甕	250 位	—	—	粗工具ナデ	ハケ～半ミガキ	茶・微砂：微	良	淡灰～淡黄	淡黒褐	
661	SA-31	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良好	暗茶褐～茶褐	茶褐	内:口縁部黒褐（ススか）
662	SA-31	甕	192	—	—	タタキ→工具ナデ	丁寧工具ナデ	赤：微	良好	灰褐～暗灰褐	灰褐	
663	SA-31	甕	273	—	—	工具ナデ～ハケ	粗工具ナデ	微細砂：やや多	良	暗茶褐～灰褐	茶褐～暗茶褐	外：スス
664	SA-31	甕	146	—	—	ハケ～粗工具ナデ	ハケ～丁寧工具ナデ	微砂：少	良	淡褐・茶褐・黒斑	淡褐	
665	SA-31	甕	320	—	—	—	工具ナデ	茶：微	ややあまい	淡黄褐～橙	暗灰	内外:摩滅、口唇部: 暗褐～淡黄褐～橙
666	SA-31	甕	165	—	—	ハケ	ナデ～ハケ～ナデ	良	良好	淡褐～淡茶褐	淡茶褐	
667	SA-31	甕	86 ～ 97	—	—	工具ナデ	工具ナデ→ 弱いヨコハケ	茶・白：少	良	褐～淡褐	淡褐～淡黄	やや歪つ
668	SA-31	甕	409 位	—	—	タタキ→ナデ消し	ミガキ	微細砂：微	良	黒褐	淡黒灰	
669	SA-31	甕	—	—	—	ハケ	工具ナデ～ 強い工具ナデ	微細砂：少	良	暗茶褐～茶褐・黒斑	暗茶褐～褐	
670	SA-31	甕	—	38	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多	良	淡黄褐～桃褐	淡灰黄	
671	SA-31	甕	—	72	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡黄～茶褐～桃褐・黒斑	淡橙黄	
672	SA-31	甕	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂：やや多	良	淡黄灰～淡黄褐	茶灰	
673	SA-31	壷	111	—	—	工具ナデ～半ミガキ	工具ナデ	粗細砂・白：やや多	良	褐～淡橙褐	茶褐	
674	SA-31	壷	126	—	—	ハケ	工具ナデ	白：微	良	黄褐～橙桃	淡黄褐	外：やや摩滅
675	SA-31	小型壷	88	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ →粗ミガキ	良	ややあまい	淡黄～淡褐	淡褐～淡茶褐	外：摩滅
676	SA-31	小型壷	69	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	茶褐・黒斑	淡茶褐	内：不明瞭
677	SA-31	壷	93	—	—	ミガキ	ナデ～粗工具ナデ	粗細砂・白・茶：少	良	茶褐～淡黄褐・黒斑	淡褐～褐	
678	SA-31	小型壷	—	—	—	粗ミガキ	丁寧工具ナデ	良	良好	淡褐～淡黄褐	淡黄褐	
679	SA-31	手捏ね鉢	58	—	—	指押→ハケ	強いナデ	良	良	茶褐～淡黄灰・暗灰	淡褐	
680	SA-31	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡橙黄	淡黄褐	
681	SA-31	小型壷	—	—	—	—	工具ナデ	白：微	良	淡橙茶～淡黄褐	褐、灰～暗灰	外：摩滅
682	SA-31	坩	—	—	—	ミガキ	粗ミガキ～粗工具ナデ	良	ややあまい	茶灰・黒斑	淡灰褐～灰褐	屈曲部径：109
683	SA-31	小型壷	—	—	—	工具ナデ	粗工具ナデ	白：微	良	淡茶褐～淡黄褐	黄褐	
684	SA-31	坩	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	良	良	茶褐（顔料）	茶褐（顔料）	
685	SA-31	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：少	ややあまい	褐	暗褐灰～暗橙褐	内：摩滅
686	SA-31	小型壷	—	—	—	—	工具ナデ	微細砂：少	良	淡黄灰	橙褐	外：摩滅
687	SA-31	高坏	—	—	—	—	—	白：少	ややあまい	淡黄褐～橙桃	淡褐	内外：摩滅
688	SA-31	高坏	194	—	—	丁寧工具ナデ	—	茶：微、白：やや多	ややあまい	茶橙	淡黄褐～淡黄灰	内外：摩滅
689	SA-31	高坏	188	—	—	弱いミガキ	ミガキ	微細砂：少、茶・白：微	ややあまい	淡褐～淡橙褐	淡褐～淡灰褐	内：摩滅
690	SA-31	高坏	—	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧ミガキ	微砂：微	良好	茶褐～茶灰	淡茶灰～黒灰	外：被熱、口縁部に ススス少
691	SA-31	高坏	—	—	—	ハケ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡茶黄・桃黄	淡黄褐・暗茶灰	外：やや摩滅
692	SA-31	高坏	210	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	茶灰～暗茶灰	淡褐～茶灰	内外：口唇部ススス 外：破損後被熱
693	SA-31	高坏	—	—	—	強い工具ナデ	ミガキ	良	良好	淡褐	淡褐灰～淡黒灰	内：スス少
694	SA-31	台付鉢	—	103	—	工具ナデ	強い工具ナデ	白・茶：微	良	淡褐～黄褐	淡黄褐～暗灰	
695	SA-31	鉢	—	129	—	ハケ	工具ナデ	良	良	褐	褐～淡褐	
696	SA-31- 2 層	高坏脚か	—	200 位	—	ミガキ	ハケ	良	良	淡褐	淡黄褐	
697	SA-31	高坏	—	115	—	粗ミガキ	ハケ	白：少	ややあまい	淡黄褐	淡黄褐	外：摩滅
698	SA-32	甕	400 位	—	—	ハケ	工具ナデ	白、茶：少	ややあまい	橙褐	暗茶褐～淡橙褐	外：スス少
699	SA-32	甕	166	—	—	工具ナデ	ナデ～丁寧ハケ	粗細砂：やや多、茶：微	良	黄褐～褐	淡橙褐～淡茶灰・黒斑	外：やや摩滅
700	SA-32	甕	258	—	—	ハケ	粗工具ナデ	微細砂：少、茶：微	良	淡橙褐	淡橙・淡灰	外：スス少 内：スス多
701	SA-32	甕	374	—	—	ハケ～丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂・白：少、雲母：微	良	暗褐	淡桃橙～淡茶褐	外：スス微
702	SA-32	甕	321	—	—	丁寧ハケ	工具ナデ	微砂：少	良	暗茶褐～茶褐	茶褐	外：スス少
703	SA-32	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微、茶：少	良	暗茶褐	淡茶褐	外：スス少
704	SA-32	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ→ハケ	良	良	灰褐	暗茶褐～淡灰黄	被熱、外：スス微
705	SA-32	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良好	淡褐白	灰～暗茶褐	口縁部内：一部黒漆状
706	SA-32	甕	235	—	—	タタキ→ナデ	強い工具ナデ	微細砂・角閃石：微	良	茶橙～淡褐・黒斑	淡茶褐～褐	
707	SA-32	甕	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ～ケズリ	赤：少	良	暗茶褐～暗灰褐	淡褐	外：スス少
708	SA-32	鉢	220	—	—	工具ナデ	指押～半ミガキ	粗細砂：少	良好	淡褐～茶褐	淡褐～褐	内：口唇部ぬめり感
709	SA-32	甕	350 位	—	—	タタキ→工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良	暗灰褐～茶灰	淡褐	外：スス微
710	SA-32	甕	300 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	暗茶褐	淡茶褐	外：スス少
711	SA-32	壷	350 位	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	小礫：少	良	淡黄～淡灰	暗灰～淡黒灰	
712	SA-32	甕	400 位	—	—	ハケ	ハケ	茶：微	良好	—	淡褐	外：スス
713	SA-32	甕	300 位	—	—	ハケ	丁寧工具ナデ	微細砂：少	良	暗橙褐～橙褐	淡褐～淡黄	外：スス少
714	SA-32	器種不明	—	—	—	工具ナデ～粗工具ナデ	工具ナデ	白：微、茶：少	良	淡褐・淡灰～暗灰	淡橙	715 と同一個体
715	SA-32	器種不明	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白：微、茶：少	良	淡灰褐～暗茶褐	淡黄褐（肌色）	714 と同一個体
716	SA-32	甕	400 位	—	—	丁寧工具ナデ	ナデ・工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐	
717	SA-32	甕	—	—	—	工具ナデ	ハケ	微砂・白・茶：微	良	—	灰褐～淡褐	外：スス
718	SA-32	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：多	良	淡灰褐	暗茶灰	
719	SA-32	甕	—	84	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白：微	ややあまい	淡褐	灰～灰褐	
720	SA-32	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	細砂・茶：微	良	淡灰	灰～暗灰	
721	SA-32	複合口縁壷	163	—	—	波状文	ハケ	微砂：少	良	淡黄褐	淡茶褐	
722	SA-32	複合口縁壷	200 位	—	—	ハケ～工具ナデ ～粗ハケ	ナデ	良	良	暗茶灰	淡褐	

表 13　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（9）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
723	SA-32	壷	—	—	—	粗ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡灰褐	淡黄白	
724	SA-32	小型壷	73	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐	
725	SA-32	壷	129	—	—	ハケ	ハケ	微砂・粗砂・茶：微	良	淡灰褐～淡褐	暗灰・淡褐	
726	SA-32	壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ～半ミガキ	微砂：微	良	淡黄～淡灰黄	淡褐	穿孔１：径８
727	SA-32	壷	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	あまい	淡褐～淡灰褐	淡黒褐	
728	SA-32	壷	—	—	—	工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂：やや多	ややあまい	淡橙～淡黄灰・小黒斑	灰～暗灰	外：やや摩滅
729	SA-32	壷	—	—	—	半ミガキ	ハケ	白：微	ややあまい	淡灰～暗茶褐	淡褐	
730	SA-32	小型鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	微細砂：微	良	淡褐～褐	淡褐	括れ部径：72
731	SA-32	小型壷	—	—	—	半ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡黄褐～淡灰白・黒斑	淡褐	外：やや摩滅
732	SA-32	小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	良	淡褐	淡褐	括れ部径：50
733	SA-32	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	黄褐	茶橙	外：やや摩滅
734	SA-32	甕	200 位	—	—	タタキ→工具ナデ	粗ミガキ	良	良	暗茶褐	淡黄褐	下半にスス
735	SA-32	壷	150 位	—	—	ミガキ	半ミガキ	良	良	茶褐	淡灰褐	
736	SA-32	坩	—	—	—	工具ナデ・ミガキ～粗ミガキ	工具ナデ	粗細砂：微	良	淡黒灰・茶褐	淡黒灰～暗灰	
737	SA-32	小型壷	—	—	—	ナデ・工具ナデ	ナデ	良	ややあまい	淡黄褐～淡黄白・暗灰（黒斑）	褐～淡褐白	最大径：80 外：摩滅
738	SA-32	高坏	—	—	—	ミガキ	—	白・赤：微	良	淡橙～淡灰褐	淡黄～淡褐	外：摩滅 内：殆ど剥落
739	SA-32	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	ややあまい	黄褐～淡黄	灰～淡黒灰	外：やや摩滅
740	SA-32	小型壷	—	—	—	丁寧工具ナデ～工具ナデ	ナデ・工具ナデ	良	良	淡褐・黒灰（黒斑）	淡灰褐	
741	SA-32	小型甕か	—	27	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	微砂：少	良	淡灰褐～暗灰	暗灰	
742	SA-32	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡黄灰・黒灰	淡灰	
743	SA-32	壷	100 位	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡橙褐	灰～暗灰	
744	SA-32	小型鉢	—	40	—	半ミガキ	粗工具ナデ	良	良	淡橙～淡灰白・黒斑	淡灰	
745	SA-32	把手付鉢	—	—	—	工具ナデ～ハケ	—	白・茶：微	良	淡橙～淡黄白	—	
746	SA-32	小型鉢	74	58	15	工具ナデ	工具ナデ	茶：微	良	淡黄褐～淡灰褐	淡褐～淡灰褐	底面：斜め
747	SA-32	高坏	159	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	暗茶褐～褐	暗灰褐～暗灰（被熱）	蓋に転用か 内：やや摩滅
748	SA-32	高坏	—	—	—	ハケ	工具ナデ	微細砂：少、雲母：微	良	淡褐～暗茶褐	淡灰褐	外：左端部被熱
749	SA-32	高坏	—	—	—	工具ナデ～ハケ	工具ナデ 脚内：ハケ	白：微	良	淡褐～暗灰	淡橙黄	脚内：淡褐
750	SA-32	高坏	—	—	—	丁寧工具ナデ	粗工具ナデ	赤：少	良	淡褐～暗灰褐	淡茶灰～淡黒灰	脚内：暗灰褐
751	SA-32	蓋か	—	—	—	工具ナデ～ 強い工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良好	暗灰	淡茶褐～淡茶灰	内外：スス 内：被熱
752	SA-32	高坏	123	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	あまい	橙褐～淡黄	淡橙・暗灰褐	
753	SA-32	蓋	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白：少	良好	淡褐	暗茶灰～暗茶褐	内：スス少
754	SA-32	高坏	—	—	—	工具ナデ	ミガキ 脚内：ハケ	赤：やや多、白：微	良	淡黄褐・桃橙	淡黒灰	脚内：淡橙
755	SA-33	甕	166	—	—	工具ナデ	工具ナデ・ナデ	微細砂：微	良	淡褐	淡褐・暗茶褐～暗灰	
756	SA-33	甕	188	—	—	工具ナデ	工具ナデ～粗工具ナデ	微砂・茶：微、白：少	良	灰褐（被熱）	灰褐（被熱）・淡橙・淡黄褐	外：スス多
757	SA-33	甕	220	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白：少	ややあまい	淡黄褐～淡橙褐	暗茶褐・茶橙	外：口唇部スス少、剥落、摩滅
758	SA-33	甕	195	—	—	ハケ・板カキアゲ	工具ナデ	微細砂：やや多	良	褐灰	淡灰褐・淡茶褐	外：スス少
759	SA-33	甕	213	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少、微細砂：微	良	淡褐	淡褐～淡黄・暗灰褐	
760	SA-33	甕	218	—	—	工具ナデ・ハケ	工具ナデ	細砂・白：少	ややあまい	淡褐・淡黄褐～淡灰黄	淡黄褐・暗褐灰～暗茶灰	外：口縁部スス少
761	SA-33	甕	400 位	—	—	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	微細砂：微	良好	淡褐	暗灰～淡灰褐	口縁部：少し凹む
762	SA-33	甕	400 位	—	—	粗ハケ	工具ナデ	白：微、赤：少	良	淡橙褐～淡褐	淡橙褐～淡褐	
763	SA-33	甕	400 位	—	—	ハケ	ハケ	微砂・角閃石：微	良	淡褐	淡黄褐	外：口唇部スス微
764	SA-33	甕	—	36	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂：少、粗砂：微	良	淡桃褐～淡黄灰・小黒斑	橙褐	
765	SA-33	甕	—	46	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	桃橙・淡黄	淡黒褐	
766	SA-33	甕	—	47	—	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	良	良	淡黄・灰	淡黄・灰～暗灰	内底：淡褐
767	SA-33	小型壷	150 位	—	—	工具ナデ	粗工具ナデ	良	良	淡灰褐	淡褐	
768	SA-33	小型壷	87	—	—	粗ミガキ	工具ナデ	良	良	暗茶褐～淡灰褐	暗茶褐～淡灰褐	
769	SA-33	小型壷	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡黄褐～茶灰（被熱）	淡褐・淡黒灰（被熱）	
770	SA-33	小型壷	—	—	—	ハケ～ミガキ	工具ナデ～ナデ	良	良好	淡褐	淡褐	
771	SA-33	小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	白・赤・雲母：微	ややあまい	淡褐～淡灰	淡茶褐	屈曲部径：118
772	SA-33	壷	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡黄褐	淡褐	括れ径：13 ～ 14
773	SA-33	小型鉢	—	28	—	工具ナデ～ 丁寧工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂：微	良	暗茶灰～灰褐	淡黒褐	内底：淡黒灰
774	SA-33	小型高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ 脚内：工具ナデ	粗細砂・赤：微	良	淡褐・淡灰	淡褐	
775	SA-33	高坏	—	142	—	ミガキ	工具ナデ	茶：少	ややあまい	淡褐	茶灰～暗灰褐	
776	SA-33	坩	106	—	—	ナデ～ミガキ～沈線	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡褐～淡黄	淡褐	
777	SA-33	小型鉢	112	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白：少、角閃石：微	ややあまい	茶褐～淡褐	茶褐～淡橙褐	外：摩滅
778	SA-33	坩	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	良好	淡褐	淡褐	屈曲部径：55
779	SA-33	蓋か	213	58	111	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	良	淡褐～淡黄～黄褐・黒斑	淡橙褐・淡黒灰（9 割）	
780	SA-33	土器片 加工円盤	—	—	—	ハケ	工具ナデ	—	—	—	—	同縁調整の割れ口は全て摩耗刃潰し
781	SA-34	壷	—	—	—	ミガキ	強い工具ナデ	良	良好	茶褐・淡黒灰（黒斑）	茶褐	径：250 位
782	SA-34	壷 免田式	—	—	—	重弧文	工具ナデ	白・微砂：少	良	暗褐・暗茶灰・淡黄褐	淡橙	外：スス少
783	SA-34	複合 口縁壷	250 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少、茶：微	ややあまい	淡橙～淡黄褐	淡黄～淡橙褐	
784	SA-34	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	暗茶褐～暗灰	暗茶褐	
785	SA-34	甕	—	—	—	ハケ→半ミガキ	半ミガキ	良	良好	暗茶褐	黒褐	外：スス少、剥落
786	SA-34	小型壷	130 位	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	茶黄～灰褐	暗灰褐	
787	SA-34	甕	166	—	—	ハケ・工具ナデ	工具ナデ	茶：微	良	淡褐	淡褐・暗灰～茶灰	
788	SA-34	甕	123	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡褐	淡茶褐～淡褐灰	
789	SA-34	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	淡灰褐～暗灰・黒灰	茶灰～淡茶褐	
790	SA-34	甕	182	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多、白・茶：少	良	淡橙	淡橙・淡黄・灰褐～暗灰	
791	SA-34	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	ややあまい	淡褐・暗灰	淡橙褐	
792	SA-34	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡灰黄～淡黒灰	黒灰・暗灰	
793	SA-34	甕	197	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	茶褐（頸部） ・褐灰～暗茶褐	淡茶褐～灰褐・黒褐	外：スス少

表 14　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（10）

No.	出土地	種類・器種	法量（㎜）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
794	SA-34	甕	218	—	—	工具ナデ	ハケ・工具ナデ	白：やや多	ややあまい	暗茶褐・橙褐・淡黄褐	淡茶灰～暗茶褐・暗褐	外：スス、やや摩滅
795	SA-34	甕	280	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	暗茶灰～淡茶灰	暗茶灰・暗灰褐	内外：スス 内：被熱
796	SA-34	甕	310	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：少	ややあまい	暗茶褐	淡褐～茶灰	外：スス少 内：口唇部暗茶褐
797	SA-34	甕	327	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：少、白：やや多	ややあまい	淡橙褐～褐	橙褐・灰褐	外：摩滅
798	SA-34	甕	309	—	—	ハケ～工具ナデ ～ハケ～工具ナデ	ハケ～工具ナデ	白：少、粗細砂・赤：微	良	淡桃褐～淡褐	淡橙褐～淡褐・灰～暗灰	
799	SA-34	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・赤：少	良好	暗褐～暗灰褐	淡灰褐～淡褐	外：スス少
800	SA-34	甕	300 位	—	—	ハケ・工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡赤茶	淡赤茶～暗茶褐	外：スス少
801	SA-34	甕	350 位	—	—	工具ナデ・ハケ	ハケ・工具ナデ	微細砂・白：少	良	褐・暗褐灰	淡褐・淡橙褐	外：スス少
802	SA-34	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	茶褐	暗茶褐～淡茶褐	外：スス微
803	SA-34	甕	450 位	—	—	工具ナデ	ハケ	良	良好	暗茶褐	淡橙褐	外：スス
804	SA-34	甕	—	93	—	工具ナデ・ナデ	工具ナデ	良	良	淡黄褐・桃橙	淡褐	
805	SA-34	甕	—	96	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	茶：少	良	淡茶褐～淡褐	淡褐	
806	SA-34	甕	—	57	—	ハケ・工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	淡茶褐・桃褐	淡褐・茶灰・淡黒灰	被熱
807	SA-34	甕	—	52	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡桃黄～淡灰褐	暗茶灰～茶灰	内：擦滅
808	SA-34	甕	—	82	—	半ミガキ～工具ナデ ～丁寧工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多	良	淡灰褐～淡褐	暗茶褐	脚内：淡灰褐～桃橙 内：オコゲ微
809	SA-34	甕	—	56	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少、茶：微	良	淡褐・灰～暗灰	暗褐・淡黄褐	内：オコゲ少
810	SA-34	甕	—	62 × 65	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	茶褐・淡褐	淡褐・茶褐・暗灰	
811	SA-34	甕	—	65	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細粗砂：やや多、茶：少	良	暗茶褐	淡黒褐	胎土：15 × 10 以上の土器片 1 含む
812	SA-34	甕	—	76	—	粗工具ナデ ～工具ナデ	粗工具ナデ	良	良	淡黄～淡灰黄	灰褐	
813	SA-34	壷	133	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ～ハケ	良	良	淡褐	暗茶褐	内：一部黒褐
814	SA-34	壷	121	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少、茶：微	ややあまい	橙褐	橙褐	内外：摩滅
815	SA-34	鉢	111	—	—	ハケ・工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡褐	淡橙褐	
816	SA-34	壷	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	暗茶褐・淡黒褐（塗布か）	淡茶褐	
817	SA-34	小型壷	74	—	—	ハケ	工具ナデ	良	ややあまい	淡灰褐・暗灰褐	淡褐～淡黒褐	
818	SA-34	壷	116	—	—	ミガキ	ミガキ～粗ミガキ	白：やや多	あまい	淡橙茶・淡灰褐・暗茶褐	淡橙～黄褐	内：やや摩滅
819	SA-34	小型壷	89	—	—	ミガキ	ミガキ	赤：少、白：微	あまい	淡橙褐～黄褐	淡橙褐・淡茶褐～暗灰	内：やや摩滅
820	SA-34	小型壷	98	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	あまい	淡黄褐・桃褐	淡黄・暗灰	内外：摩滅
821	SA-34	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	淡褐～暗褐灰	淡灰褐～淡褐	外：スス
822	SA-34	甕	—	—	—	強いハケ	工具ナデ～ハケ	赤：微	良	茶褐～暗灰褐	褐・暗茶褐	内：オコゲ少
823	SA-34	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	黄褐	
824	SA-34	小型壷	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	良	ややあまい	淡褐白	淡褐	
825	SA-34	小型鉢	—	—	—	工具ナデ・ミガキ	粗工具ナデ	良	良	淡黄褐	淡赤茶	
826	SA-34	小型鉢	63	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	ややあまい	淡褐	淡褐	
827	SA-34	坩	—	—	—	やや粗ミガキ	強い工具ナデ	良	良	茶～茶褐・黒褐	暗茶褐	屈曲部径：83
828	SA-34	鉢か	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	桃橙・淡茶褐	桃褐	底部径：50 位か
829	SA-34	鉢	—	—	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	白：少	ややあまい	茶橙・灰～淡黒灰	淡黒灰	
830	SA-34	小型甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	灰・淡褐	淡褐	
831	SA-34	小型鉢	—	20 位	—	工具ナデ	粗工具ナデ	白：微	ややあまい	淡褐	淡灰・淡黒灰	
832	SA-34	高坏か	400 ～	—	—	丁寧工具ナデ	ミガキ	良	良	淡褐白～淡橙白	淡桃白	口径：400 もしくは方形
833	SA-34	小型高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	淡橙褐	暗灰・淡灰	
834	SA-34	小型高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ 脚内：粗工具ナデ	良	ややあまい	淡灰褐～暗灰	暗灰	脚内：暗灰褐
835	SA-34	高坏	—	—	—	半ミガキ	粗工具ナデ	白・茶：少	良	褐～淡褐	—	脚内：黒灰
836	SA-34	高坏	—	—	—	ミガキ・ハケ	ミガキ 脚内：工具ナデ	茶：多、白：微	あまい	淡茶褐～淡茶灰～淡褐	淡橙～淡灰褐	外：やや摩滅
837	SA-34	台付鉢か	—	90	—	ミガキ（丹）	工具ナデ	白・赤：少	ややあまい	淡赤茶（丹）	淡黄褐	
838	SA-34	高坏	—	136	—	工具ナデ→ミガキ	工具ナデ→ミガキ	良	ややあまい	淡黒灰	黒褐	黒色土器 凸部光沢
839	SA-34	高坏	—	133	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐白	淡橙褐	内：やや摩滅
840	SA-35	甕	200	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白：微、茶：少	良	淡茶褐～暗茶褐	淡褐	
841	SA-35	甕	226	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	暗茶褐～淡橙茶	淡橙褐～淡褐・暗灰	外：スス少
842	SA-35	甕	—	—	—	ハケ・工具ナデ	丁寧ハケ	微細砂：少	良好	暗紫茶色・暗茶灰～暗灰	淡黄褐	外：スス少
843	SA-35	甕	400 位	—	—	ハケ	ハケ	粗細砂：多	ややあまい	褐～暗茶褐	橙褐	外：スス
844	SA-35	甕	300 位	—	—	ハケ	ハケ	粗細砂：少、赤：微	良	暗茶褐	暗灰	外：スス
845	SA-35	甕	300 位	—	—	ハケ	工具ナデ	良	ややあまい	淡灰・橙黄	茶褐～淡黄褐	
846	SA-35	甕	—	—	—	工具ナデ・ハケ	ハケ・工具ナデ	白：少	良	暗茶灰	暗茶褐・茶褐	外：スス微
847	SA-35	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：少、白・茶：少	ややあまい	淡黄褐～橙褐	淡橙褐	やや摩滅
848	SA-35	甕	300	—	—	ハケ	—	微細砂：少	良	淡褐	淡黄白・灰～暗灰	外：スス 内：やや摩滅
849	SA-35	甕	400 弱	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：微	良好	淡茶褐	淡褐	外：スス
850	SA-35	甕	—	—	—	粗ハケ～工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂：多	ややあまい	暗茶褐～淡黄灰	淡褐、暗茶褐～淡黒灰	外：スス
851	SA-35	甕	350 ～ 400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	あまい	茶～茶褐	淡茶褐	
852	SA-35	甕	500 位	—	—	粗工具ナデ	ハケ	良	良	暗茶灰～淡黒灰	暗茶灰～暗茶褐	
853	SA-35	甕か	350 位	—	—	工具ナデ	半ミガキ	良	良好	淡橙・淡黄白	黒褐（ススか）	外：凹み（粘土継ぎ目）
854	SA-35	鉢か	180 ～ 200 位	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡茶褐	淡橙褐	外：やや摩滅
855	SA-35	甕	—	75 × 79	—	粗工具ナデ	工具ナデ	茶：少	良	淡褐～淡灰褐	淡褐～茶褐	
856	SA-35	甕	—	57	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多、茶：少	良	暗桃褐～淡黄褐	淡茶褐～淡茶灰	外：スス
857	SA-35	小型鉢	—	36	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	良	ややあまい	淡褐・黒斑 （暗茶褐色付着物）	淡橙白 （暗茶褐色付着物）	
858	SA-35	甕	—	53	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白・赤：少	ややあまい	淡褐	淡褐～淡茶褐	外：摩滅
859	SA-35	甕	—	66	—	粗ハケ	工具ナデ	粗細砂・赤：少	良	淡橙黄・暗灰	橙黄・灰～暗灰	
860	SA-35	甕	—	40	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	良	淡茶灰～暗茶褐	暗灰	
861	SA-35	高坏	400 位	—	—	ミガキ	ミガキ	赤：微	良	淡橙褐～淡褐	淡橙～淡褐	外内：摩滅 内：一部スス・被熱
862	SA-35	高坏	243	—	—	半ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	橙褐	暗茶褐～淡橙褐	外：摩滅 内：やや摩滅
863	SA-35	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡橙褐	茶褐～暗茶灰	
864	SA-35	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	あまい	淡橙褐	淡黄褐・黒斑	外：やや摩滅 内：摩滅

表 15　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（11）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
865	SA-35	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	赤：微	良	淡橙黄	淡橙褐	
866	SA-35	高坏	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	白：少	ややあまい	褐～淡褐	淡褐	脚径上部：22 × 25
867	SA-35	高坏	—	—	—	—	—	茶：微	ややあまい	淡灰黄～淡黄	淡茶橙～淡褐	内外：摩滅
868	SA-35	高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	淡灰褐	茶灰～淡褐	
869	SA-35	小型壷か	100 位	—	—	半ミガキ	工具ナデ	良	良	淡茶褐～淡黒褐	淡茶褐	
870	SA-35	小型鉢	58	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・微砂：微	良	褐～茶褐	淡茶褐	
871	SA-35	小型壷	—	—	—	ミガキ	ナデ	白：微、茶：少	ややあまい	黄褐～淡橙～淡黄	淡黄褐	外：やや摩滅
872	SA-35	小型壷	101	—	78	ミガキ	ハケ→ナデ	茶・白：少	ややあまい	淡黄～暗褐・黒斑	淡黄～桃褐・黒斑	
873	SA-35	小型壷	113	—	—	ミガキ	ミガキ	白・茶：微	ややあまい	淡褐	淡橙	
874	SA-35	小型壷	—	—	—	ミガキ	ミガキ	赤：少	ややあまい	橙褐	橙褐・淡灰～暗灰	
875	SA-35	小型壷	—	—	—	ミガキ	ミガキ	茶：微	良	茶褐～暗茶褐	暗茶褐	
876	SA-35	小型壷か	63	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡褐～淡黄褐	淡橙黄～淡黄	
877	SA-35	小型壷	97	—	—	ハケ	丁寧工具ナデ～ハケ	白：微	良	暗茶褐	暗茶褐～淡茶褐	
878	SA-35	壷	—	20 × 22	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	良	淡褐白～淡褐・黒斑	淡褐～淡灰褐	
879	SA-35	高坏	166	—	—	丁寧ナデ・半ミガキ	半ミガキ	良	ややあまい	褐～茶褐	褐～淡橙黄	外：やや摩滅
880	SA-35	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：少	ややあまい	暗茶褐～暗灰褐	暗茶褐	2 片接合（1 片は被熱）
881	SA-35	甕	—	57 × 62	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：微	良	暗茶褐～茶灰・淡紅褐	褐～茶褐	1/8 周被熱
882	SA-35	鉢	254	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：微、白：少	良	淡褐～淡灰褐	茶褐～暗茶褐	
883	SA-35	鉢か	—	123	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白：少	ややあまい	暗灰褐・茶褐	淡橙茶	
884	SA-35	蓋	195	—	—	工具ナデ・半ミガキ	ハケ	小礫：微	ややあまい	淡褐～茶褐	暗茶褐～淡橙	内：幅 3cm 程度 被熱変色
885	SA-35A	甕	210	—	—	粗工具ナデ	ハケ～工具ナデ	微細砂：やや多、粗砂：少	良	淡褐、淡黒灰	淡褐～淡茶褐	
886	SA-35A	甕	295	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白：少	ややあまい	暗茶褐～褐～黒灰	灰褐～淡黄褐	
887	SA-35	甕	—	—	—	工具ナデ	ハケ	粗細砂・白・茶：少	良	暗茶褐	暗茶褐～淡橙褐・黒斑	外：スス多
888	SA-35	台付鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良	黄褐～暗茶褐	淡黒灰	外：下半スス多
889	SA-35B	甕	300 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：微	良	—	淡褐	外：スス多
890	SA-35B	甕	225	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	ややあまい	黄褐	暗青灰～淡黄褐	
891	SA-35B	壷	—	—	—	ハケ	工具ナデ	白・微細砂：微	ややあまい	暗茶灰・淡黄褐	橙褐	外：スス 最大径：450 位
892	SA-35B	壷	138	—	—	ミガキ	ミガキ	白：微、茶：少	ややあまい	淡橙褐	淡橙褐～淡茶褐	外口唇部：摩滅
893	SA-35B	壷	—	—	—	ミガキ	—	白：微、赤：少	あまい	橙褐～淡褐 一部黒斑	橙褐	内外：やや摩滅
894	SA-35B	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	良	暗灰	淡黒灰	
895	SA-35B	壷	—	69	—	粗工具ナデ	工具ナデ	茶・白：少、小礫：微	良	淡灰褐～暗茶褐・黒斑	淡褐	内：殆ど剥落
896	SA-35B	高坏	175	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡茶褐～淡褐	淡茶灰～淡褐	外：やや摩滅
897	SA-35B	高坏	200 位	—	—	工具ナデ→ミガキ	ミガキ	良	良	淡褐	淡褐	
898	SA-35B	高坏	—	—	—	工具ナデ・ナデ	ミガキ	良	ややあまい	淡褐灰	桃褐・淡黄灰	外：1/2 は被熱・スス
899	SA-35B	高坏	—	—	—	丁寧工具ナデ	ナデ～丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡橙褐	淡橙褐～灰褐	
900	SA-35B	高坏	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	白・茶：少	良	淡黄褐～淡茶橙	褐～淡灰褐	外：摩滅
901	SA-35B	高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡橙	黒褐	外：摩滅
902	SA-35B	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	白：微、赤：少	ややあまい	淡橙褐	淡黒灰	外：摩滅
903	SA-35B	高坏	182	—	—	工具ナデ～ミガキ	半工具ナデ・ミガキ	良	ややあまい	黄褐～淡橙茶	淡黄褐	
904	SA-35B	高坏	—	—	—	丁寧工具ナデ	ミガキ	良	ややあまい	褐～淡褐	暗灰～淡黒灰	曲部最大径：250 位
905	SA-35B	高坏	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	白：微、赤：少	良	淡黄褐～淡橙褐	淡黄～淡灰	脚内：淡黒灰
906	SA-35B	高坏	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	暗褐～褐	淡灰	脚内：淡褐
907	SA-35B	高坏	—	150 位	—	ミガキ	ミガキ	良	良	淡褐～淡黒灰（黒斑）	淡橙褐～淡黒灰（黒斑）	内：やや摩滅
908	SA-35B	器台か	—	142	—	ナデ	工具ナデ	良	良	暗茶褐～淡黄灰	茶褐～淡黄褐	
909	SA-35C	壷	160 位	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡黄・淡灰	淡黄褐・桃橙	内：摩滅
910	SA-35C	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	暗茶褐～茶橙	暗茶褐～暗橙茶	
911	SA-35C	甕	450 位	—	—	—	工具ナデ	白・茶：微	ややあまい	淡橙褐	淡橙褐	外：剥落・スス
912	SA-35C	甕	450 位	—	—	ハケ	ハケ	白：少、赤：微	良	淡橙褐	暗灰～淡黒灰	外：スス・摩滅
913	SA-35C	甕	284	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・茶：少	良	暗灰	暗茶灰～淡茶褐	外：スス
914	SA-35C	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	雲母：少	良	暗灰褐	暗茶褐～黒褐	外：スス少
915	SA-35C	甕	—	54	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良好	暗茶褐～黒褐	淡褐	
916	SA-35C	甕	—	60	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	良	暗灰褐～淡灰褐	淡茶褐	
917	SA-35C	小型甕	—	46	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂：少	良	茶灰～淡褐	淡灰褐・黒斑	
918	SA-35C	甕	—	70	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	良	淡褐・黒斑	淡茶褐	内：淡黒褐色オコゲか
919	SA-35C	甕	—	43	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：少	良	暗茶褐～茶橙	淡橙褐	
920	SA-35C	甕	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂：少	良	淡茶灰～淡黄褐	淡灰褐～淡褐	内；オコゲ
921	SA-35C	甕	—	62	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多	良	淡茶灰～淡褐	暗灰～淡茶灰	
922	SA-35C	壷	90	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・赤：微	良	淡橙褐	淡橙褐	
923	SA-35C	小型鉢	54	35 × 39	31	粗工具ナデ	工具ナデ	微砂・茶：少	良	淡褐～暗灰	淡褐	
924	SA-35C	壷	102	—	—	半ミガキ	工具ナデ	良	良	淡褐～暗灰褐	淡茶褐～灰褐	外：被熱
925	SA-35C	小型壷	—	—	—	ミガキ	—	白：微、茶：少	ややあまい	淡橙褐・黒灰（黒斑）	淡橙褐	頸部径：60、最大径：98 内：輪積痕明瞭
926	SA-35C	小型鉢	100	—	—	工具ナデ	ナデ～丁寧工具ナデ	赤：少	ややあまい	淡橙褐	淡褐	
927	SA-35C	高坏	122	—	—	半ミガキ	工具ナデ→ミガキ	粗細砂・赤：やや多	あまい	橙褐	橙褐・黒斑	内外：やや摩滅
928	SA-35C	高坏	—	102	—	半ミガキ	工具ナデ	良	良	淡褐	淡茶褐	
929	SA-35C	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	あまい	茶褐～茶橙	茶褐～茶橙	
930	SA-35C	高坏	132	—	—	ミガキ	工具ナデ	微砂・赤：微	良	淡橙黄	橙黄～黒灰	
931	SA-35C	高坏	—	—	—	粗ミガキ～工具ナデ	粗ミガキ	良	ややあまい	淡橙黄	黄褐～淡黄・黒斑	
932	SA-35C	壷	—	—	—	粗工具ナデ	—	微粗細砂：少	良	淡橙茶・暗茶褐・黒斑	淡褐	内：50%位が器面剥落 外底：植物草茎圧痕
933	SA-36	甕	142	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・細砂：微	良	淡灰褐	淡橙褐	
934	SA-36	甕	400	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡灰褐・淡茶	淡茶褐	
935	SA-36	鉢	164	—	—	—	工具ナデ	良	あまい	淡黄褐～淡桃	淡橙～桃褐	胎：淡黒灰 外：摩滅

表 16　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（12）

No.	出土地	種類・器種	法量（㎜）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
936	SA-36	甕	250	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	茶褐	淡赤褐	
937	SA-36	甕	300 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂細：微	良好	暗褐	暗灰褐～茶褐	外：スス少
938	SA-36	甕	188	—	—	粗工具ナデ～工具ナデ	工具ナデ・ハケ	茶：少	良	淡黄褐～淡黄白・黄褐	淡褐～淡灰黄～淡橙桃	内：整形段階の指押の凹凸あり
939	SA-36	甕	217	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ～粗ミガキ	微細砂：微	良	暗茶褐	淡茶灰～淡茶褐	口縁部：沈線 外：スス少
940	SA-36	鉢	247	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細少、茶：微	良	暗茶褐	淡黄褐・橙褐～暗橙灰	外：スス少
941	SA-36	甕	265	—	—	ハケ	ハケ・工具ナデ	粗細砂：やや多・茶：少	良	暗茶褐	暗茶褐～褐	外：スス
942	SA-36	甕	313	—	—	ハケ・強い工具ナデ	工具ナデ	微砂・白・茶：微	良	淡褐	淡橙褐・暗灰～淡黒灰	外：スス
943	SA-36	甕	303	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ・ハケ	白・茶：微	良	淡橙黄・茶褐・暗灰	褐	
944	SA-36	甕	—	64	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白・赤：微	良	茶褐～淡桃黄	淡褐	
945	SA-36	鉢か	—	60	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：少	ややあまい	茶褐～灰褐	淡灰～淡褐	内：やや摩滅
946	SA-36	甕	—	65	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多、茶：微	良	灰～暗茶灰	淡灰褐～灰褐	
947	SA-36	甕	—	82	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	白・赤：少	良	淡灰褐～灰	淡褐	
948	SA-36	鉢	—	84	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	微砂・茶：少	良	淡褐～淡茶褐	淡黒灰	脚内色調：褐
949	SA-36	壷	107	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡灰・淡褐	淡褐	
950	SA-36	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡褐	淡褐	
951	SA-36	壷	—	—	—	半ミガキ	ナデ・工具ナデ	良	ややあまい	淡茶褐	淡茶褐	
952	SA-36	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多、茶：微	良	暗茶褐～灰褐	淡茶褐	底部：摩滅
953	SA-36	壷	98	—	—	ハケ	丁寧工具ナデ→ハケ	良	ややあまい	淡茶褐～淡橙	淡橙黄～淡灰黄	外：やや摩滅
954	SA-36	壷	108	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ・ハケ	良	ややあまい	暗茶褐	淡褐～淡茶褐	外：スス少（被熱）
955	SA-36	小型壷	83	—	—	ミガキ	工具ナデ	細砂：微	良	茶～淡茶褐	淡茶褐	
956	SA-36	小型壷	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂：微	ややあまい	淡茶褐	暗灰・茶灰	被熱
957	SA-36	小型壷	82	—	89	半ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡橙茶～淡褐・黒斑	淡橙茶～淡褐・黒斑	
958	SA-36	小型甕	—	14	—	—	—	良	あまい	暗茶褐	淡橙茶	内外：摩滅
959	SA-36	小型鉢	26 × 28	—	32	工具ナデ	—	茶：微	ややあまい	淡褐白～淡黄白	淡褐白	最大径：33 × 38
960	SA-36	壷	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	赤：少	ややあまい	淡茶褐	褐灰	最大径：300 位 外：朱混顔料か
961	SA-36	坩	—	85	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡褐～淡褐灰	淡褐～暗茶褐	
962	SA-36	坏	113	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	白：微、茶：少	ややあまい	淡橙茶	淡茶黄	外：やや摩滅
963	SA-36	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	良	淡橙褐～茶褐	淡褐	
964	SA-36	高坏	—	133	—	粗ミガキ	丁寧工具ナデ	茶・白：微	ややあまい	茶褐	淡黒灰	
965	SA-36	高坏	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	微砂：微	良	淡灰褐	暗灰	
966	SA-36	高坏	—	112	—	丁寧ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	暗茶褐・淡黄褐・淡灰褐	淡褐～淡灰褐	
967	SA-36	小型鉢	26	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂：微	良	淡茶灰～淡黒灰	淡黒灰	
968	SA-36	鉢	173	—	—	ミガキ	ナデ～半ミガキ	茶：少	あまい	淡橙	淡褐～淡橙褐	内外：やや摩滅
969	SA-36	鉢か	300 位	—	—	—	半ミガキ	白：微	ややあまい	桃褐・淡桃褐	淡桃褐～淡褐	外：丹塗り
970	SA-36	蓋	350	—	—	ミガキ～丁寧工具ナデ	ミガキ	良	良	淡茶褐～暗灰褐	暗茶褐	内：スス
971	SA-37	甕	156	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白：少	ややあまい	淡褐～暗茶褐	淡茶褐	外：スス
972	SA-37	甕	450 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良好	淡褐～淡黄白	淡褐～淡黄白	外：スス微 内：スス少
973	SA-37	甕	150 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	淡褐・灰褐	淡褐～淡灰～暗灰	
974	SA-37	甕	179	—	—	工具ナデ	工具ナデ・ハケ	粗細砂・白・赤：少	良	淡橙褐	橙褐～黄褐	
975	SA-37	甕	300 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	ややあまい	淡褐～橙褐・暗茶褐	淡橙褐～淡褐	外：スス微
976	SA-37	甕	250 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微、赤：少	良	暗茶褐	淡褐	外：スス多
977	SA-37	甕	197	—	—	半ミガキ	半ミガキ	白：微	良	淡橙褐～淡褐	淡黄褐～淡褐	外：スス多、下部の割れ口を整えて何かに転用
978	SA-37	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	茶灰～暗灰褐	茶褐・暗灰	外：スス微
979	SA-37	甕	400 ～ 450 位	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	淡茶褐・淡茶灰	淡褐	突帯：斜めキザミ
980	SA-37	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白：微	良	淡褐	淡褐	
981	SA-37	甕	259	—	—	ハケ・工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白・赤：微	良	淡褐	淡褐	
982	SA-37	甕	242	—	—	工具ナデ	ハケ→ナデ・工具ナデ	微砂：少	良	暗茶褐・黒斑	淡赤茶～暗茶褐・淡黒灰	外：スス少
983	SA-37	甕	—	49	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白・茶：少	良	淡褐	淡褐	
984	SA-37	甕	—	55	—	工具ナデ	ハケ・工具ナデ	微細砂・白：少	ややあまい	淡黄褐～淡橙褐	暗茶灰～淡褐	
985	SA-37	甕	—	80	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：多、白：微	良	淡茶褐～淡灰褐	淡茶褐・淡黒灰	
986	SA-37	甕	—	62	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：少	良	暗茶褐～暗灰褐	淡褐～灰	
987	SA-37	甕	160	—	—	粗工具ナデ	丁寧工具ナデ	白：微	ややあまい	淡茶褐	淡褐	
988	SA-37	小型壷	77	—	—	ハケ	ハケ	赤：微	良	淡褐	淡褐～淡茶褐	
989	SA-37	壷	176	—	—	半ミガキ	—	白：少	ややあまい	暗茶褐～淡灰褐	淡黒灰～茶褐	内：かなり剥落
990	SA-37	壷	126	—	—	粗工具ナデ・工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：少	ややあまい	淡褐	淡褐	突帯：交差キザミ
991	SA-37	甕	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	茶：微	良	淡橙褐	淡褐・淡黒灰	頸部径：150 位か
992	SA-37	壷	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡褐・暗茶灰	茶褐・淡褐	最大径：200 以上
993	SA-37	壷	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	茶・微	良	淡橙褐～茶褐・黒褐（黒斑）	淡褐	内：かなり凹凸に剥落
994	SA-37	壷	—	—	(40 ～ 49)	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：少	良	淡褐～淡茶褐	淡褐	割れ口を敲打して円形整形している転用品
995	SA-37	坩	—	—	—	ミガキ・極少キザミ	ミガキ	良	良	淡黄・淡黒灰	淡褐	
996	SA-37	小型壷	81	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	赤：微	ややあまい	淡橙～淡黄褐	淡黄白～淡灰白	
997	SA-37	小型壷	—	—	—	ミガキ	—	白：微	ややあまい	桃橙・淡茶褐	桃褐	内：器面剥落
998	SA-37	小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	良	黒褐	灰～暗灰	曲部径：73
999	SA-37	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡黄褐	淡茶褐	
1000	SA-37	坩	—	33	—	ミガキ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡橙褐・暗灰褐（一部）	淡橙褐	底部：1 ミリ間隔で長さ 1 ～ 2 ミリのキザミ
1001	SA-37	小型鉢か	—	32 × 36	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	淡橙褐・淡黄	淡黄～淡褐	
1002	SA-37	小型鉢	54	—	29	粗工具ナデ	粗工具ナデ	良	ややあまい	橙褐～淡橙褐	淡黄褐・淡桃	
1003	SA-37	小型鉢	—	17	—	工具ナデ～粗工具ナデ	工具ナデ	白・赤：微	良	淡褐・灰褐	淡橙褐	曲部径：51
1004	SA-37	坩	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡灰～暗灰	淡灰白～灰白	曲部径：40
1005	SA-37	小型壷	—	—	—	半ミガキ	ナデ・工具ナデ	茶：微	ややあまい	淡褐～淡茶褐	淡褐	最大径：92
1006	SA-37	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ～ナデ	良	ややあまい	淡橙褐～淡褐・暗灰	淡橙褐	

表 17　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（13）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1007	SA-37	把手	—	—	—	工具ナデ	—	茶：少	良	淡茶褐～淡褐	—	
1008	SA-37	高坏	155	—	—	工具ナデ・ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	橙褐	橙褐～淡褐～灰～暗灰	
1009	SA-37	高坏	300 位	—	—	半ミガキ	工具ナデ・ミガキ・工具ナデ	茶：少	ややあまい	淡茶褐～淡橙褐	淡褐	
1010	SA-37	高坏	—	—	—	ミガキ	粗ミガキ	良	あまい	淡赤茶（丹）	淡橙褐	外：摩滅・丹
1011	SA-37	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	あまい	淡橙褐	暗橙灰～暗灰褐	外：やや摩滅
1012	SA-37	鉢	270	—	—	ハケ・丁寧工具ナデ・ハケ	丁寧工具ナデ	白・茶：微	ややあまい	灰褐～暗灰褐	淡茶褐～茶灰	
1013	SA-37	高坏	—	—	—	半ケズリ・ミガキ	粗ミガキ	茶：微	ややあまい	淡桃褐～淡灰黄	淡褐	
1014	SA-37	小型高坏か	—	72	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐・暗茶灰	
1015	SA-37	高坏	—	—	—	半ミガキ	ミガキ	良	良	淡茶褐・黒褐	茶褐	
1016	SA-37	高坏転用鞴羽口	—	—	—	ミガキ	工具ナデ→ミガキ	茶：少	良	淡橙・淡茶灰	淡灰褐	上端被熱（灰～暗灰） 外：ススス
1017	SA-35 ～ 37	高坏	—	150	—	ミガキ	工具ナデ～ミガキ	良	ややあまい	淡橙褐・淡黒褐	黒褐	外：摩滅
1018	SA-38	甕	400 ～ 450	—	—	粗ハケ	工具ナデ	良	ややあまい	暗茶褐	暗灰褐・淡茶褐	外：ススス少
1019	SA-38	甕	250	—	—	工具ナデ	ハケ・工具ナデ・ケズリ	白・茶：少	ややあまい	橙褐～暗茶褐	橙褐・淡茶褐	外：やや摩滅 内：摩滅
1020	SA-38	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少、白・赤：微	良	—	淡灰褐	外：ススス少
1021	SA-38	甕	—	68	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	ややあまい	桃黄～淡褐	淡橙黄～淡褐	内外：やや摩滅
1022	SA-38	壷	82	—	—	工具ナデ	工具ナデ	赤：微	良	淡褐	淡褐	
1023	SA-38	壷	74	—	—	半ミガキ	丁寧工具ナデ	粗砂・雲母・角閃石：微	良	黒灰～暗灰	淡褐～茶	
1024	SA-38	鉢	—	71	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	ややあまい	淡橙褐～淡灰褐	淡橙褐～淡褐	脚内色調：淡黄褐～淡黒灰
1025	SA-38	甕	—	100	—	粗工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡褐	淡褐～淡灰褐	
1026	SA-39	壷	—	—	—	工具ナデ	—	白・茶：少	ややあまい	淡橙褐・淡黄褐	淡橙褐・淡黄・暗灰	内外：摩滅
1027	SA-40	甕	450 位	—	—	工具ナデ	強い工具ナデ	微砂：少、白・赤：微	良	淡黄・暗褐	淡橙褐	外：ススス
1028	SA-40	甕	178	—	—	ハケ	ハケ～工具ナデ	白：微	良	淡褐	淡褐	
1029	SA-40	甕	242	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：少	ややあまい	淡褐・暗灰	淡褐	外：ススス
1030	SA-40	甕	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂・白：少	良	暗茶褐～茶灰	暗茶褐～暗灰褐～褐	胴部最大径：187 外：ススス少
1031	SA-40	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・小礫・白：少	良	淡褐～暗茶褐	淡橙～淡褐・淡灰～暗灰	外：ススス
1032	SA-40	甕	450 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡茶褐	淡褐～淡灰	内外口唇部：ススス
1033	SA-40	甕	400 位	—	—	工具ナデ	ハケ	白：微、茶：少	良	淡褐～暗灰	淡褐	
1034	SA-40	鉢	270	—	—	粗ミガキ	ミガキ	白・茶：少	堅緻	淡茶褐	淡褐	
1035	SA-40	鉢	150	—	—	工具ナデ→ハケ	工具ナデ→ハケ	白：少	ややあまい	淡褐～暗茶褐	淡黄白・淡橙褐	内外：やや摩滅
1036	SA-40	小型甕	—	36	—	工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂：少	良	茶褐・淡黒灰	茶褐	
1037	SA-40	甕	—	58	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多、白：微	良	淡黄褐・暗茶褐	褐	
1038	SA-40	甕	—	68	—	粗工具ナデ	工具ナデ	茶褐～赤：少	ややあまい	淡灰～暗灰・淡黄	灰褐～淡黄	
1039	SA-40	甕	—	54	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	粗細砂：やや多、茶・赤：少	良	淡褐～橙桃・暗灰	淡褐・暗茶褐・暗灰褐	外：ススス少
1040	SA-40	壷	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	茶：微	良	淡灰・暗灰	淡褐	
1041	SA-40	壷	110	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・赤：微	良	淡橙褐・暗茶灰	淡褐・暗灰褐	
1042	SA-40	器種不明	95	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	淡黒褐・淡赤茶～茶	淡黒褐・淡赤茶（丹塗ではない）	小型壷か須恵器甑模倣土師器
1043	SA-40	小型壷か	90 位	—	—	半ミガキ	丁寧工具ナデ	良	良	淡褐・橙褐	桃褐	外口唇～内：丹
1044	SA-40	小型鉢か	—	—	—	—	工具ナデ	白：微	良	淡黄・淡黒灰	淡褐	内底は 10 × 12 の平底 外：摩滅
1045	SA-40	小型鉢	—	31	—	半ミガキ	半ミガキ	白・茶：微	あまい	淡黄～淡桃褐	淡褐	
1046	SA-40	壷	—	—	—	工具ナデ	—	白：微	あまい	淡黄褐	淡灰褐	
1047	SA-40	器種不明	—	—	—	半ミガキ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡褐・淡黒灰	暗灰	
1048	SA-40	小型壷	70 位	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	微細砂：微	良	淡赤茶～茶	淡赤茶～茶	
1049	SA-40	高坏	250 位	—	—	—	ハケ～丁寧工具ナデ	赤：少	あまい	淡橙	淡褐～淡黄～淡灰	外：摩滅 内：被熱
1050	SA-40	高坏	109	—	—	—	—	赤：少	あまい	淡黄褐・橙褐	淡橙褐・灰褐	内外：摩滅
1051	SA-40	高坏	193	—	—	工具ナデ～ミガキ	半ミガキ	白：微	あまい	淡褐	淡褐～茶褐	
1052	SA-40	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	褐～淡褐	淡褐・灰～淡黒灰	屈曲部径：156
1053	SA-40	高坏	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	白：少	良	褐～淡茶褐	淡褐～灰褐	
1054	SA-40	高坏	—	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐～暗茶灰	淡褐	
1055	SA-40	高坏	—	—	—	ミガキ	粗工具ナデ	白・赤：微	ややあまい	淡橙茶～淡褐	暗灰褐～淡黒灰	被熱
1056	SA-40	高坏	—	—	—	ミガキ	丁寧ミガキ 脚内：工具ナデ～ハケ	白：微	良好	淡褐	淡褐・黒褐	脚内：黒灰
1057	SA-40	高坏	—	—	—	ハケ	ミガキ	茶：少	あまい	淡橙褐	淡灰褐～茶橙	脚内：暗灰～淡褐 内外：摩滅
1058	SA-40	高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	ややあまい	暗茶褐	茶褐～淡褐	
1059	SA-40	甕	500 位	—	—	工具ナデ（半ミガキ）	工具ナデ	角閃石：微	良	淡褐	暗灰褐	胎：黒褐
1060	SA-40	甕	400 位	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	粗細砂：微	良	淡茶褐～淡褐灰	暗茶灰～淡茶褐	口縁部に沈線
1061	SA-40	鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	ややあまい	暗茶褐～茶灰	暗茶褐・灰～淡黒灰	被熱
1062	SA-40	甕	—	50	—	工具ナデ	—	良	ややあまい	淡褐	—	
1063	SA-40	小型壷	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	暗茶褐・黒褐	暗茶褐・黒褐	内外：被熱
1064	SA-40	鉢か	250 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	あまい	暗橙褐	暗茶褐	内外：摩滅
1065	SA-40	小型壷	71	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	良	淡灰褐～淡褐	淡灰褐・褐	
1066	SA-40	小型壷	—	—	—	半ミガキ～工具ナデ	工具ナデ～粗工具ナデ	茶：微	良	褐	淡褐	
1067	SA-40	壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	赤：少	良	淡桃橙～淡褐	淡褐	
1068	SA-40	鉢	—	65	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ～半ミガキ	白：微	ややあまい	淡橙褐・淡黄暗灰（黒斑）	茶灰～淡黒褐（下半）	
1069	SA-40	鉢か	250 位	—	—	ミガキ	ミガキ	白・赤：微	ややあまい	淡桃褐	淡桃褐～淡黄褐～暗灰	
1070	SA-40	高坏	225	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	微砂・白・赤：微	あまい	橙褐	淡橙～淡橙褐	内外：やや摩滅
1071	SA-40	高坏	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	赤：少	ややあまい	淡橙～淡褐	淡橙～淡褐	
1072	SA-40	高坏	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	あまい	茶橙・淡褐	淡褐～淡灰黄	
1073	SA-40	高坏	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	茶：微、白：少	良	淡橙褐	淡黒褐（意図的か）	
1074	SA-40	高坏	—	160	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	あまい	淡橙褐	淡橙褐～褐	
1075	SA-40	高坏	—	160	—	ミガキ	ハケ～工具ナデ	白：微	ややあまい	淡褐白・暗灰	淡褐	
1076	SA-40	蓋	184	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白・赤：微	良	淡褐	暗茶褐～淡黒褐	内：ススス
1077	SA-40	蓋	250 位	—	—	粗ハケ	工具ナデ	白・赤：微	良	橙褐	淡褐・暗灰	内：ススス

表 18　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（14）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1078	SA-40	把手付蓋	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	あまい	淡褐	淡褐	No. 1352 と同型
1079	SA-40	甑か	—	—	—	波状文～ケズリ	ナデ	良	あまい	淡褐～淡茶褐	淡灰	
1080	SA-40	紡錘車（周縁欠除）	—	—	—	粗ミガキ	丁寧工具ナデ	良	良	暗灰～黒褐、淡褐	淡橙～淡黄褐	径：(53)、厚：17、孔径：7、破損後も使用
1081	SA-41	甕	167	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂・白：微	良	暗茶褐	暗茶褐～褐	被熱 外：スス微
1082	SA-41	甕	282	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：少	良	茶褐～茶灰	淡黄褐	外：スス少
1083	SA-41	甕	287	—	—	工具ナデ	工具ナデ～ハケ	白：少、茶：微	良	淡褐～茶褐	淡黄褐～淡灰褐	外：スス少
1084	SA-41	甕	342	—	—	ハケ	工具ナデ	白：少	良	暗褐～暗灰褐	淡橙褐～淡褐	外：スス少
1085	SA-41	甕	410	—	—	丁寧ハケ	ハケ～工具ナデ	白・茶：少	良	褐～淡褐	淡褐～淡桃橙	外：スス少
1086	SA-41	高坏	181	—	—	工具ナデ～ミガキ	ミガキ	赤：少	ややあまい	橙～淡褐	茶橙・暗灰	屈曲部：弱い
1087	SA-41	高坏	193	—	—	ミガキ	ミガキ	良	あまい	淡灰～淡黒灰・淡黄褐	淡黒灰・橙褐・淡褐白	内外：摩滅
1088	SA-41	高坏	—	134	—	ミガキ	工具ナデ	良	良	淡褐	淡褐	
1089	SA-41	甕	—	63	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多	良	淡褐～茶褐	暗茶褐～茶	
1090	SA-41	高坏	293	—	—	ミガキ	ミガキ	白：少	あまい	暗桃褐～淡橙褐	橙褐	内外：摩滅
1091	SA-41	広口壷	—	—	—	工具ナデ～ハケ	丁寧工具ナデ	白：微、赤：少	良	淡桃褐	淡褐	頸部径：285 No. 1092 と同一個体
1092	SA-41	広口壷	—	—	—	工具ナデ	ハケ→工具ナデ	白：微、赤：やや多	ややあまい	淡褐～暗褐	淡褐	No. 1091 と同一個体
1093	SA-41	蓋	—	63	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：少、白：やや多	ややあまい	橙褐～褐・淡黄褐	暗茶褐～橙褐・淡黄褐・黒灰	内：口縁部被熱、スス少
1094	SA-41	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・赤：微	ややあまい	淡橙	橙	屈曲部径：350 位
1095	SA-41	蓋	300 位	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多	ややあまい	橙褐～暗茶褐	暗茶褐～淡黄褐	
1096	SA-42	鉢か	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	桃褐（丹）	桃褐（丹）	径：150 位
1097	SA-42	高坏	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	良	橙褐	淡橙	
1098	SA-42	高坏	304	—	—	ミガキ	半ミガキ	白：少、赤：微	ややあまい	淡黄褐～橙褐	淡橙褐	少し被熱
1099	SA-42	高坏転用蓋	324	—	—	ミガキ	工具ナデ～ミガキ	白：微	ややあまい	淡橙褐～褐・暗灰	暗灰～淡黒灰	内：口縁部スス
1100	SA-43	甕	400 位	—	—	ハケ	—	白：少、茶：微	ややあまい	淡黒灰	淡茶褐	外：スス多
1101	SA-43	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡橙褐～淡褐	淡黒灰	
1102	SA-43	甕	334	—	—	ハケ	工具ナデ	白：多、茶：少	良	淡黄褐～淡橙褐、暗褐・黒灰	茶橙～桃橙	
1103	SA-44	壷	166	—	—	ハケ	粗ハケ	微砂：少	良	暗赤茶	暗赤褐	内外：表面に鉄分少 胎：黒灰
1104	SA-44	甕	400 位	—	—	ハケ	工具ナデ	白：微	良好	暗茶褐	茶褐	
1105	SA-44	小型壷	79	—	—	半ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡橙褐	淡褐白	
1106	SA-44	壷	68	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	良	淡橙褐～淡褐	茶褐	
1107	SA-44	小型壷	83	—	—	工具ナデ	工具ナデ→ナデ	白：微	ややあまい	淡褐	淡褐	
1108	SA-44	壷	—	—	—	工具ナデ	ナデ	茶：微	ややあまい	茶灰～暗茶褐	淡褐	胴部最大径：168
1109	SA-44	甕	—	83	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：少、茶：微	良	淡茶褐～淡茶灰	暗茶褐～淡茶褐	底面縁に葉脈痕
1110	SA-44	甕	209	—	—	ハケ～工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	暗茶褐～淡褐	淡褐白	外：スス微
1111	SA-44	甕	—	65	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：微	良	暗茶灰～褐灰・淡褐	淡褐～淡橙褐	
1112	SA-44	鉢	—	64	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	淡褐・淡灰～暗灰	暗茶褐～淡茶褐	
1113	SA-44	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡黄白・灰・淡褐	暗茶褐	屈曲部径：59
1114	SA-44	小型壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・赤：微	ややあまい	淡褐	淡橙褐	屈曲部径：63
1115	SA-44	蓋	190	—	—	工具ナデ・粗ミガキ	工具ナデ・半ミガキ	良	ややあまい	淡茶褐	淡褐・淡黒灰	
1116	SA-43 と 44 の接点	坏身	—	—	—	ナデ	ナデ	良	堅緻	淡灰褐・淡黒褐	暗灰	有蓋痕あり、受部に自然釉、突起部径：127
1117	SA-46	甕	450 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	細砂：やや多、白：微	良	暗褐～褐	淡橙～淡黄褐	外：スス少
1118	SA-46	小型壷	78	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	白：少	ややあまい	淡橙褐	淡橙褐～淡灰黄	外：やや摩滅
1119	SA-46	小型壷	—	25	—	ミガキ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡橙褐～淡褐	淡橙	最大径：72
1120	SA-46	小型壷	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	良	淡褐	淡褐	最大径：82
1121	SA-46	高坏	235	—	—	工具ナデ～ミガキ	ミガキ	白・茶：微	ややあまい	淡橙褐～淡褐	淡茶灰～暗褐灰	
1122	SA-46	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	赤：微	ややあまい	淡褐	淡橙褐	外：剥落 内：やや摩滅
1123	SA-46	高坏	—	—	—	工具ナデ	ミガキ	白：微	ややあまい	茶橙	淡橙褐	屈曲部径：150 位 内外：やや摩滅
1124	SA-46	甕	—	50	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少、赤：微	良	淡褐・淡茶灰	黒褐	
1125	SA-46	甕	—	61	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白：少、茶：微	良	淡茶灰～淡橙褐	暗茶褐	内～割口：被熱、スス
1126	SA-47	壷	85	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：少、茶・角閃石：微	ややあまい	淡褐	淡褐・暗灰褐	内：やや摩滅
1127	SA-47	小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	暗桃褐	橙褐	
1128	SA-47	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	暗茶褐～淡黒灰	茶褐～淡茶褐	外：口縁部スス
1129	SA-47	甕	220	—	—	ハケ	工具ナデ	微細砂：少	良	茶灰～淡褐	淡褐	外：スス微
1130	SA-47	甕	211	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：微	良	淡茶褐・淡茶灰～暗灰	桃橙・淡黄褐	
1131	SA-47	甕	400 位	—	—	ハケ	工具ナデ	微砂・茶：少、白：微	良	茶褐	淡灰褐	外：スス全面 内上部：スス状
1132	SA-47	甕	232	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	白・粗細砂：微、赤：少	ややあまい	橙褐	淡橙～淡褐	内外：摩滅
1133	SA-47	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：やや多、粗細砂：少	ややあまい	茶褐～淡褐	淡黄・桃褐・淡黒灰	
1134	SA-47	甕	235	—	—	工具ナデ～工具粗ナデ	工具ナデ	微細砂：微	良	暗茶褐～淡茶褐	淡褐～淡黒灰	外：スス少
1135	SA-47	甕	350 位	—	—	工具ナデ～タタキ	丁寧工具ナデ	茶：微	良好	淡灰～淡黒灰	淡褐	
1136	SA-47	甕	350 位	—	—	タタキ→ナデ消し	工具ナデ	良	良好	暗茶褐	淡黒灰～淡褐	外：スス少
1137	SA-47	甕	270	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	白：微、茶：少	ややあまい	桃褐～褐	淡橙黄～淡褐・淡灰～暗灰	口縁部：やや歪み
1138	SA-47	甕	400 位	—	—	半ミガキ	工具ナデ	良	良	淡赤紫	淡赤紫～暗茶	外：スス少
1139	SA-47	甕	200 位	—	—	ナデ～工具ナデ～強い工具ナデ	ナデ～強い工具ナデ	良	良好	黒褐（口唇）・暗茶橙～桃褐	黒褐・茶桃	
1140	SA-47	甕	400 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗砂・白：微	良	暗茶灰～淡褐	淡褐	外：スス少
1141	SA-47	甕	—	—	—	ハケ	ハケ～工具ナデ	白：微	良	淡茶褐～暗茶褐	淡褐	外：スス
1142	SA-47	壷	—	—	—	工具ナデ	ナデ・工具ナデ	白・茶：やや多	良	茶褐・淡黄褐・淡褐	淡褐	外：やや摩滅
1143	SA-47	甕	—	55 × 59	—	工具ナデ	工具ナデ	白：やや多	良	褐～茶褐	褐・淡橙褐	外底：淡黄・淡橙褐・淡黒灰
1144	SA-47	甕	—	75	—	工具ナデ	工具ナデ・ハケ	白：少	良	淡褐・橙褐	灰～暗灰	
1145	SA-47	甕	—	44	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・小礫：やや多、茶：微	良	淡褐～淡灰	淡褐	
1146	SA-47	甕	—	60	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：少、茶：微	良	暗茶褐～茶褐～淡茶褐	橙褐	
1147	SA-47	甕	—	55	—	工具ナデ	—	微細砂：少	良	淡褐～暗灰褐	暗灰褐	
1148	SA-47	甕	—	95	—	工具ナデ	—	白・茶：少	良	淡橙褐・淡灰～灰	—	

表 19　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（15）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1149	SA-47	甕	—	59	—	工具ナデ～ハケ	粗工具ナデ	茶：微	ややあまい	淡褐・茶褐・淡黒灰	淡橙茶～淡黄白	
1150	SA-47	甕	—	76 × 82	—	工具ナデ～ハケ	工具ナデ～ハケ	白・赤：微	良	淡黄・淡褐・茶灰	暗茶褐～淡褐	内上部：オコゲ微
1151	SA-47	甕	—	82	—	強い工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：少、白：微	良	淡褐～淡桃褐	暗茶褐～淡褐	
1152	SA-47	甕	—	74	—	ハケ・工具ナデ	工具ナデ	細砂：少	良	淡灰～暗茶褐・淡桃黄	淡褐・暗灰	
1153	SA-47	甕	—	115	—	ハケ～工具ナデ	工具ナデ	小礫・白・赤：微	良	淡褐	淡褐～桃褐	被熱
1154	SA-47	壷	154	—	—	半ミガキ	丁寧工具ナデ～工具ナデ	良	良	茶褐～褐	暗茶褐～褐	口縁部：被熱、スス少
1155	SA-47	壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	白・茶：微	あまい	橙褐・淡黄	淡灰・淡黄褐	胴部最大径：131
1156	SA-47	壷	—	—	—	—	指押・工具ナデ	白：少	ややあまい	桃橙～黄褐	淡橙	胴部径：168 外：摩滅
1157	SA-47	小型壷	90	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	白：微	良	淡褐～淡灰褐	淡褐	外：やや摩滅
1158	SA-47	小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐白	内：やや摩滅
1159	SA-47	壷	79	—	(100)	ミガキ	丁寧工具ナデ	白・赤：微	あまい	淡褐～淡茶褐・暗桃褐（丹ではない）	茶灰～淡茶褐	外下：やや摩滅
1160	SA-47	壷	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	白・茶：少	あまい	淡茶褐	淡灰～淡褐	内外：摩滅
1161	SA-47	壷	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	赤：少	ややあまい	暗桃褐	淡橙褐	屈曲部径：121
1162	SA-47	坩	—	—	—	粗ミガキ	丁寧工具ナデ	赤：微	ややあまい	淡褐	淡灰褐	キザミの山部分摩滅
1163	SA-47	小型鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐～淡灰褐	淡灰褐～灰	胴部最大径：55
1164	SA-47	壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	褐～淡褐	淡褐	屈曲部径：91
1165	SA-47	鉢	59～70位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：少	良	淡橙茶～淡黄褐	淡橙茶～淡灰黄	
1166	SA-47	鉢	120	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	淡灰褐・淡黒灰	淡褐	
1167	SA-47	小型器台か	69	50	42	粗工具ナデ～工具ナデ	工具ナデ	微砂・赤：少	良	淡褐	淡褐～褐	片口か
1168	SA-47	鉢か	200位	—	—	工具ナデ	半ミガキ	白・茶：微	あまい	淡褐	淡褐	
1169	SA-47	壷	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白：少	良	淡褐～暗灰（底部）	淡褐	
1170	SA-47	壷	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	ややあまい	淡橙茶～暗茶褐～淡黒褐	淡褐	
1171	SA-47	坏	117	—	—	ミガキ	工具ナデ	茶：やや多	あまい	橙褐	橙褐～淡褐	内外：摩滅
1172	SA-47	高坏	181	137	155	ミガキ	ミガキ 脚内：工具ナデ	茶：微	ややあまい	淡桃橙～淡褐	褐～淡茶褐・黒褐	脚内：淡桃褐～淡黄褐
1173	SA-47	高坏	170	—	—	ミガキ	—	赤：やや多、白：微	あまい	暗桃褐	桃褐・黄褐	内：摩滅
1174	SA-47	高坏	—	—	—	ミガキ	—	良	ややあまい	淡橙	淡黒灰～灰	内：摩滅
1175	SA-47	高坏	212	—	—	ミガキ	—	白：やや多、赤：少	あまい	淡橙	淡橙～淡褐	内外：摩滅
1176	SA-47	高坏	151	—	—	工具ナデ～粗ミガキ	丁寧工具ナデ	粗細砂・白：微	良	淡橙褐	淡褐	
1177	SA-47	高坏	—	121	—	ミガキ	工具ナデ	白：微	ややあまい	茶橙	暗茶褐	内外：摩滅
1178	SA-47	高坏	—	130	—	粗ミガキ	ミガキ	良	良	淡褐～褐	淡褐・淡灰	
1179	SA-47	高坏	—	158	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	赤：少	ややあまい	淡桃褐・暗灰（口唇部）	淡黒灰～灰褐	
1180	SA-47	高坏	—	—	—	工具ナデ	半ミガキ～工具ナデ	白：少、茶：微	良	暗茶褐～淡橙	淡黒灰・灰	屈曲部径：122
1181	SA-47	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	白・赤：微	ややあまい	橙褐	淡茶褐・暗茶灰	内：やや摩滅
1182	SA-47	高坏	—	—	—	工具ナデ	粗工具ナデ	茶：微	良	淡褐	淡灰	
1183	SA-47	高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡桃橙	淡黒灰	打ち欠き整形、転用品か
1184	SA-47	高坏脚転用品	—	—	—	丁寧ミガキ	工具ナデ	白：微、赤：少	良	淡褐	—	打ち欠き整形、穿孔、割れ口にガラス小玉片
1185	SA-47	高坏	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ～ミガキ	赤：少	ややあまい	淡橙褐～淡褐	褐～淡褐	
1186	SA-47	小型高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐	
1187	SA-47	高坏	—	—	—	ミガキ	—	良	あまい	淡橙褐	橙褐	内外：摩滅
1188	SA-47	蓋	231	—	—	—	—	茶：少	あまい	暗茶褐～淡橙	暗茶褐～淡茶褐	内：口縁部スス
1189	SA-47	蓋	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微砂：少、赤：微	良	灰～淡黒灰	暗灰～淡褐	
1190	SA-47	器台	—	244	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	赤：微	良	茶（丹）	淡灰～淡褐	
1191	SA-47 内 SK2	高坏	—	—	—	丁寧ミガキ	ミガキ	白：微、赤：少	ややあまい	淡赤茶（丹ではない）	茶褐・黒褐	
1192	SA-47 内 SK2	高坏か	—	—	—	ミガキ	—	茶：少	あまい	茶褐（丹）	茶褐（丹）	最大径：150位 内：摩滅
1193	SA-47 内 SK2	甕	—	—	—	ミガキ	半ミガキ	白・茶：少	良	暗灰褐～茶灰	淡茶褐～淡褐・灰褐	
1194	SA-47 内 SK2	坏	115	—	—	ミガキ	ナデ～丁寧ナデ	白：微、茶：少	ややあまい	淡褐～褐	淡褐	
1195	SA-47 内 SK2	坏か	121	—	—	半ミガキ	ミガキ	赤：少	ややあまい	暗褐（丹）・淡橙褐	暗茶褐～茶（丹）	内外：摩滅
1196	SA-47 内 SK2	小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	桃褐・淡黄褐・灰～淡黒褐	灰～暗灰	被熱 胴部最大径：118
1197	SA-47 内 SK2	鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	白・茶：微	ややあまい	淡褐・桃褐・黒褐	暗灰～淡黒灰	外：底部黒褐
1198	SA-47 内 SK2	高坏	—	100	—	ミガキ	—	赤：やや多	あまい	淡赤褐（丹）	淡橙・淡黄褐	内外：摩滅
1199	SA-47 内 SK2	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	赤：やや多	ややあまい	淡赤茶（丹）・橙褐	淡桃橙	外：摩滅 内：下部摩滅
1200	SA-48	甕	—	—	—	タタキ	丁寧工具ナデ	良	良好	暗茶褐	淡茶褐	径：300位 外：スス少
1201	SA-48	甕	—	—	—	タタキ	丁寧ハケ	良	良	暗茶褐～淡黒褐	暗茶灰	
1202	SA-48	甕	—	—	—	タタキ	丁寧工具ナデ	良	良	暗茶褐	暗茶褐～暗茶灰	外：スス少
1203	SA-48	甕	236	—	—	丁寧工具ナデ～工具ナデ	ハケ	良	良	淡黒灰	暗茶褐・淡灰褐	口縁部に凹み
1204	SA-48	甕	186	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	暗灰褐・淡褐	淡褐	外：スス
1205	SA-48	甕	174	—	—	工具ナデ	ハケ～工具ナデ	微砂・白：少、小礫 1	ややあまい	淡黒灰～暗灰褐	黄褐・暗灰褐	外：スス少
1206	SA-48	甕	266	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・微砂：少	良	淡灰褐～暗茶褐	淡桃褐～淡褐・淡灰褐～暗茶褐	外：スス少
1207	SA-48	甕	188	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・粗細砂：少	ややあまい	淡橙～淡灰褐・淡茶褐	淡橙褐～淡褐	内：やや摩滅
1208	SA-48	甕	197 × 215	—	—	工具ナデ・半ミガキ	工具ナデ→ハケ	白：微	良	淡茶褐～暗茶褐・黒斑	淡茶褐～暗茶褐・黒斑	
1209	SA-48	甕	250～260	—	—	工具ナデ	工具ナデ～ハケ	赤：少、白：微	良	淡黄～淡褐、暗茶褐	淡黄白・淡橙褐～淡褐灰	口縁部歪つ 内底部：オコゲ少
1210	SA-48	甕	300	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	淡褐	淡灰褐～淡褐	外：スス少
1211	SA-48	甕	400位	—	—	ハケ～工具ナデ	工具ナデ	茶・角閃石：微	良好	黒褐	暗茶褐～淡褐	口縁部～外：スス
1212	SA-48	甕	—	48 × 52	—	粗工具ナデ	丁寧工具ナデ	白・茶：微	良	茶褐～淡黄褐・淡灰褐・桃橙	淡灰褐～淡褐	外底部：桃橙・淡黄褐
1213	SA-48	甕	296	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ→ハケ	白・微砂：少	良	淡茶褐・暗赤褐～暗茶褐	淡橙黄・淡茶褐～暗茶褐・黒褐	外：スス
1214	SA-48	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	ややあまい	茶灰～淡黒灰	黄褐	外：スス少
1215	SA-48	甕	—	62	—	工具ナデ・ハケ	工具ナデ	白：微	良	暗茶褐・淡褐～淡黄	淡褐～褐・暗茶褐	内：使用による擦り減り（底部は顕著）
1216	SA-48	甕	400～450位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微、茶：少	良	淡橙～淡褐	淡橙～淡黄褐	外：2 cm間隔で貝縁キザミ
1217	SA-48	甕	450位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：やや多	良	淡黄褐～淡黄灰	淡黄褐・淡灰～暗灰	
1218	SA-48	甕	—	59	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	粗細砂：微、白：やや多	ややあまい	淡橙褐～淡黄褐	褐・淡黄褐・橙褐	
1219	SA-48	甕	—	63	—	工具ナデ→ハケ	工具ナデ	白：少	ややあまい	茶褐・淡橙黄	暗茶褐	

表 20　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（16）

No.	出土地	種類・器種	法量（㎜）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1220	SA-48	甕	—	88	—	半ミガキ～工具ナデミガキ	工具ナデ	微細砂：やや多、白：少	良	淡褐～暗灰	淡褐～灰	
1221	SA-48	甕	—	63	—	粗工具ナデ	工具ナデ→ハケ	茶：少、白：微	良	茶褐～淡褐・暗灰	茶褐～淡褐白	
1222	SA-48	壷	—	102×110	—	丁寧工具ナデ～半ミガキ	—	粗細砂・白・茶：やや多	ややあまい	淡黄褐～茶褐・黒斑	淡褐	内：剥落
1223	SA-48	壷	96	—	—	ミガキ	工具ナデ	白・赤：微	ややあまい	橙褐	淡橙褐～淡黄褐	内外：やや摩滅
1224	SA-48	壷	95	—	—	ミガキ～工具ナデ	指押→工具ナデ	白：少、茶：微	ややあまい	淡黄褐～淡橙褐・桃橙	淡橙褐～淡褐	胴部最大径：230 内外：摩滅
1225	SA-48	壷	103	—	—	工具ナデ	絞り→ナデ～工具ナデ	茶：微	ややあまい	淡褐～淡橙褐、暗茶灰	淡茶褐～淡褐	胴部最大径：273
1226	SA-48	複合口縁壷	138	—	—	ミガキ	ミガキ	白・茶：微	あまい	橙褐	橙褐～淡橙褐	
1227	SA-48	小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ・ミガキ	茶：微	良	淡褐・桃褐	淡褐	屈曲部径：179
1228	SA-48	小型壷	67	—	—	工具ナデ	工具ナデ・ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐	
1229	SA-48	須恵器模倣甕	—	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	白・赤：少	ややあまい	橙褐	淡橙	
1230	SA-48	小型壷	58	25	90	ミガキ	半ミガキ	茶：少	ややあまい	淡桃橙～淡褐・黒灰（黒斑）	淡橙褐	外底部：黒斑
1231	SA-48	須恵器模倣甕	71	31×35	105	ミガキ	ミガキ	赤：やや多、白：少	ややあまい	淡桃褐～淡黄褐・黒斑	桃褐	底面不整形 内外：摩滅
1232	SA-48	小型壷	36	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡黄灰	淡黄褐	両面：やや摩滅
1233	SA-48	丹塗小型壷	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	赤茶（丹）・淡黄白	淡黄白	外下部：丹
1234	SA-48	甕か	—	53	—	工具ナデ・半ミガキ	粗工具ナデ	微砂：少、赤：微	良	淡褐・暗灰	淡褐	
1235	SA-48	壷加工容器	—	54×58	82～142	粗ミガキ～半ミガキ～工具ナデ	工具ナデ	白：やや多、茶：微	良	淡橙褐～淡褐・灰～暗灰（黒斑）	暗褐～淡桃茶・淡灰	打ち欠き整形
1236	SA-48	壷	—	—	—	ミガキ	半ミガキ（粗）	良	あまい	褐～黄褐	淡褐	
1237	SA-48	壷	—	48	—	ミガキ	丁寧工具ナデ～ミガキ	白・茶：少	ややあまい	淡黄褐・淡桃橙・黒斑	淡橙・淡黄褐	内：放射状に少しミガキ
1238	SA-48	高坏	155	—	—	ミガキ	ミガキ	白：微、茶：少	ややあまい	橙桃・淡橙褐	桃褐・淡褐・灰～淡黒灰	
1239	SA-48	高坏	184	—	—	ミガキ	ミガキ	白：やや多	ややあまい	橙褐	橙褐～茶橙・淡灰～淡黒灰	内口唇部：摩滅
1240	SA-48	高坏	186	—	—	ミガキ	ミガキ	白・茶：少	あまい	橙褐	茶橙～淡橙	
1241	SA-48	高坏	211	—	—	ミガキ	ミガキ	白・茶：少	ややあまい	淡桃橙～茶褐	淡茶褐～淡褐	稜：弱い
1242	SA-48	高坏	216	—	—	工具ナデ・半ミガキ	丁寧工具ナデ	茶：微	ややあまい	淡茶黄	淡茶	
1243	SA-48	甕	218	—	—	ハケ	工具ナデ	白：多	ややあまい	淡褐～暗緑黒	暗緑黒～淡茶褐	外：やや摩滅
1244	SA-48	高坏	238	—	—	ミガキ	ミガキ	茶：少	ややあまい	淡橙褐	淡橙褐・淡灰～暗灰	外：境は不明瞭
1245	SA-48	高坏	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡黄白	淡茶灰・淡灰黄	やや歪つ
1246	SA-48	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	白・茶：微	あまい	淡橙褐	淡橙・淡黄褐	屈曲部径：180
1247	SA-48	高坏	253	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	白：少	ややあまい	淡赤茶・淡褐斑	淡褐・茶褐・黒灰	内：やや摩滅
1248	SA-48	高坏	263～265	173	195～212	ミガキ	丁寧ミガキ	白・赤：微	ややあまい	淡茶褐・淡橙褐～淡褐	茶褐～淡褐・黒褐	脚内：淡黒灰、内：摩滅、単位不明瞭
1249	SA-48	高坏	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ 脚内：工具ナデ	茶：少、白：微	ややあまい	淡桃橙	淡黒灰	脚内：淡灰褐
1250	SA-48	高坏	—	120	—	ミガキ	ミガキ 脚内：半ミガキ	白：微、茶～赤：やや多	ややあまい	淡茶褐～淡褐、淡桃褐	淡褐・淡黒灰	脚内：淡黄褐・淡橙褐
1251	SA-48	高坏	—	143	—	ミガキ	ミガキ 脚内：工具ナデ	白：少、赤：やや多	あまい	桃褐～橙褐	茶灰・淡黒灰	脚内：淡橙褐～淡橙・淡黒灰
1252	SA-48	高坏	—	141	—	上：丁寧ミガキ 下：ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡褐～淡褐白	上：淡褐 下：淡橙・淡灰白～暗灰	白焼きのような色 脚内：淡褐白
1253	SA-48	高坏	—	145×151	—	ミガキ	ミガキ 脚内：半ミガキ～丁寧ナデ	茶：少、白：微	ややあまい	淡橙褐～淡黄褐	淡橙褐	脚内：淡黒灰 1279 と同一個体
1254	SA-48	高坏転用品	—	167	106	ミガキ	丁寧工具ナデ→ハケ	白：少	ややあまい	淡茶橙～淡黄褐	— 脚内：淡黄白・淡黒灰	用途不明、打ち欠き整形
1255	SA-48	高坏	—	—	—	半ミガキ	粗ミガキ脚内：工具ナデ～ハケ	赤：少、白：微	良	桃橙・淡黄褐	淡黒灰	脚内：淡黒灰（被熱）
1256	SA-48	高坏	—	175	—	ミガキ	ミガキ～丁寧工具ナデ	白・茶：微	ややあまい	淡橙褐	淡褐白・淡黒灰（黒斑）	外：摩滅
1257	SA-48	高坏	—	134	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂：少、赤：微	良好	淡赤茶～茶褐	淡赤茶～淡茶褐	
1258	SA-48	高坏	—	170×173	—	ミガキ	半ミガキ	茶：少、白：微	良	淡橙褐～淡褐	淡褐・黒斑・暗茶灰（被熱）	被熱
1259	SA-48	高坏	—	—	—	ミガキ	ナデ 脚内：ミガキ	良	ややあまい	桃橙	暗灰～黒褐	
1260	SA-48	高坏	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ 脚内：工具ナデ	粗細砂・白：少	良	橙褐～淡橙褐	淡橙	脚内：淡灰褐・暗灰
1261	SA-48	高坏転用品	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	赤：少	良	褐～淡橙～淡黄	淡橙褐	孔径：6×4㎜、上端：調整～研磨、用途不明
1262	SA-48	蓋	300位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	ややあまい	淡橙茶	淡黄灰	胎：淡灰 内：やや摩滅
1263	SA-48	粗製蓋	170	39	100	粗工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡橙褐・暗茶褐（塗布か）	淡黄白・淡橙褐（上半）	
1264	SA-48	鉢	115	—	—	ミガキ	半ミガキ	茶：少	ややあまい	淡橙茶～淡褐	淡橙褐	外：口唇部やや摩滅
1265	SA-48	坏	135	—	58	粗ミガキ～工具ナデ	半ミガキ	白：少	良	淡褐・黒灰	淡褐～淡黄白、灰～黒褐（黒斑）	底面：黒灰
1266	SA-48	鉢	139	—	—	ミガキ	ミガキ	白：微、茶：少	ややあまい	淡黄褐・淡桃褐	淡黄褐・淡桃橙	内外：やや摩滅
1267	SA-48	鉢	98×99	37	71	ミガキ	ナデ～工具ナデ	茶・赤：少、白：微	ややあまい	淡茶褐・桃褐	淡褐・淡灰～暗灰	
1268	SA-48	鉢	141	—	71	ミガキ	ミガキ	白・茶：少	ややあまい	淡橙茶～淡褐	茶橙・暗茶褐・黒灰（黒斑）	外：剥落
1269	SA-48	鉢	125	—	—	ミガキ	ミガキ	白：微、茶：少	あまい	淡黄褐・淡橙褐	淡橙褐～橙褐	内外：摩滅
1270	SA-48	壷	—	59×56	—	丁寧ミガキ	工具ナデ	白・茶：少	良好	淡黄桃～淡黄褐	淡橙・淡黄白	
1271	SA-48	鉢	129×135	67	97	ハケ～半ミガキ～粗ミガキ	丁寧工具ナデ	茶：少	ややあまい	桃橙～淡褐・黒斑	桃橙～淡褐・黒斑	口縁部歪つ
1272	SA-48	坏	146	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	淡桃褐・淡褐	淡褐～褐	
1273	SA-48	鉢	131	67	95	丁寧ミガキ	半ミガキ	赤：少、白：微	良	淡褐	淡茶褐・黒褐	
1274	SA-48	台付鉢	—	38×52	—	工具ナデ	丁寧ナデ	白・赤：微	ややあまい	桃橙・淡褐	淡橙黄・暗灰	
1275	SA-48	鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	褐～黄褐	暗茶褐・淡黄～暗灰	内：スス少（被熱）
1276	SA-48	壷	77×82	42×45	131	ミガキ～工具粗ナデ	ハケ・ナデ	茶：少	ややあまい	暗桃褐～褐～淡褐・暗灰（黒斑）	桃褐～褐	底面：やや歪つ
1277	SA-48	坏	141	35×38	53	ミガキ	ミガキ	白：微、茶：少	あまい	淡桃・茶褐・淡褐小黒斑	桃褐～茶褐～淡黄褐	内外：摩滅
1278	SA-48	鉢	136×144	60	97	ミガキ	丁寧工具ナデ	茶：やや多	ややあまい	桃褐・茶褐～褐、黒斑	橙褐、一部暗灰	亀裂、少し歪み
1279	SA-48	高坏	220	—	—	粗ミガキ	丁寧ミガキ	茶：少	ややあまい	淡橙茶～茶橙	茶褐～橙褐	1253 と同一個体
1280	SA-48	高坏	246	—	—	ミガキ	丁寧工具ナデ・ナデ	白：少	ややあまい	淡橙褐～淡黄褐	橙褐～淡橙褐	外：やや摩滅
1281	SA-48	高坏	267	—	—	ミガキ	半ミガキ・工具ナデ	白・赤：少	ややあまい	橙褐	淡橙～淡灰黄	内：やや摩滅
1282	SA-48	高坏	196	—	—	ミガキ	工具ナデ～ナデ	白：少、赤：やや多	ややあまい	淡黄褐～橙褐	桃橙～淡橙褐	外：かなり剥落・摩滅
1283	SA-48	高坏	—	130	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	白：少	ややあまい	茶橙（丹）・淡橙	—	脚内：淡橙・淡黒灰
1284	SA-49	甕	350位	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良	淡褐～淡茶褐	淡褐・淡灰褐	外面：スス微
1285	SA-49	甕	400位	—	—	ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	淡褐～淡褐灰	淡橙褐～淡灰褐	
1286	SA-49	甕	400位	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	茶：少	良	淡黄褐・淡茶灰	淡橙褐	
1287	SA-49	甕	228	—	—	工具ナデ→ハケ	工具ナデ	微砂・白：微	ややあまい	淡橙褐～暗灰	褐～淡褐	外面：スス少
1288	SA-49	甕	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：少	良	暗褐	淡茶褐・暗褐	外面：スス微～少
1289	SA-49	甕	237	—	—	粗工具ナデ～工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・茶：微、白：やや多	ややあまい	橙褐～淡橙褐	橙褐・淡黄褐	口縁部：歪つ
1290	SA-49	鉢	300～350	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡黄褐～淡橙茶	淡黄褐～茶橙	№1296 と同一個体か 口縁部歪つ

表 21　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（17）

No.	出土地	種類・器種	法量（㎜）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1291	SA-49	甕	245	—	—	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	白：やや多	ややあまい	淡黄褐～淡褐	茶橙～淡橙	
1292	SA-49	甕	267	—	—	工具ナデ	ハケ・工具ナデ	粗細砂：少、白：微	良	淡黄灰～茶褐・淡橙茶	茶褐～淡橙褐	外：スス微、摩滅
1293	SA-49	甕	—	—	—	タタキ	半ミガキ	微砂：微	良	淡灰褐	暗茶灰～暗茶褐	最大径：250 位
1294	SA-49	甕	—	65 × 68	—	ハケ～丁寧工具ナデ	工具ナデ	粗細砂：微、白：少	ややあまい	褐～淡褐	淡橙褐～橙褐・灰（底）	
1295	SA-49	小型甕	—	34	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白：少	良	暗灰褐	淡褐灰	
1296	SA-49	鉢	—	43	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	ややあまい	淡黄褐～淡橙茶	淡黄褐～茶橙	№1290 と同一個体か 内：淡黄白色付着物
1297	SA-49	鉢	—	61	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	淡褐・暗灰	暗灰	
1298	SA-49	甕	—	69 × 73	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂・白・茶：少	良	淡灰褐～暗茶灰	淡灰～淡褐	
1299	SA-49	小型鉢	—	42	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	良	ややあまい	淡灰・淡褐	灰褐	
1300	SA-49	甕	—	82	—	工具ナデ	工具ナデ	白：微	良	淡茶褐～淡灰褐	淡橙・淡褐・暗灰	
1301	SA-49	小型甕	—	45	—	工具ナデ	工具ナデ	白：多、小礫：少	ややあまい	淡黄褐・淡橙	橙褐・暗灰褐	内：やや摩滅
1302	SA-49	甕	—	65	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細粗砂：少、白：微	良	淡橙・暗茶褐～黒褐	淡褐～灰褐～淡黒灰	
1303	SA-49	壷	115	—	—	丁寧ミガキ	—	白・赤：微	ややあまい	暗茶褐～黒褐	淡黒褐～茶橙	内：摩滅
1304	SA-49	坏	130	—	—	ミガキ	ミガキ	茶：微	ややあまい	淡桃褐	淡桃褐・淡褐	
1305	SA-49	小型鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐	最大径：49
1306	SA-49	壷	134	—	—	丁寧工具ナデ～ハケ	—	白：微、茶：少	ややあまい	茶褐～茶灰	淡褐	内：剥落、激しい凹凸
1307	SA-49	小型壷	—	—	—	—	工具ナデ	良	あまい	淡褐～淡黄	橙褐・暗茶灰	外：摩滅 胴部最大径：52
1308	SA-49	高坏	—	—	—	ミガキ	—	良	ややあまい	暗桃（丹）	淡黄褐	内：摩滅
1309	SA-49	鉢か	—	—	—	工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂・白・茶：少	ややあまい	淡橙黄～灰褐	淡橙黄	
1310	SA-49	高坏	221	—	—	工具ナデ～粗工具ナデ・丹（粗）～ミガキ	工具ナデ～半ミガキ	白：微、茶：少	ややあまい	暗灰褐・淡桃褐	淡灰褐～淡茶灰	
1311	SA-49	高坏	231	—	—	工具ナデ～粗工具ナデ・丹（粗）～ミガキ	ミガキ	白：少、赤：やや多 内面：茶	ややあまい	淡褐・桃橙（丹）・淡黄褐	淡橙・淡褐白・淡黒灰	外：丹は薄い
1312	SA-49	高坏	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微砂：微、白・茶：少	ややあまい	茶褐～淡褐	淡橙褐	脚内：淡黄白
1313	SA-49	高坏	—	—	—	粗ミガキ	粗ミガキ	白：微、茶：少	良	淡灰褐～淡褐	淡橙褐～淡褐	屈曲部径：185
1314	SA-49	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡黄褐	淡黒灰	３孔（径４㎜）
1315	SA-49	高坏	—	—	—	ミガキ	丁寧ミガキ	良	良	淡褐～灰褐	淡褐	
1316	SA-49	高坏	—	—	—	粗ミガキ	丁寧工具ナデ	白：微、赤：少	ややあまい	淡褐～淡橙褐	淡橙褐～暗灰褐	
1317	SA-49	高坏	—	159	—	ミガキ	丁寧工具ナデ	白・赤：少	ややあまい	桃褐～淡桃褐	淡褐	
1318	SA-49	高坏	—	148	—	ミガキ～工具ナデ	ナデ～工具ナデ～粗工具ナデ	白・茶：微	ややあまい	淡橙褐～淡褐	灰褐～暗灰	歪つ
1319	SA-49	高坏	—	184	—	粗ミガキ	丁寧工具ナデ	白：微、茶：少	ややあまい	褐～淡褐	淡褐・淡灰～灰	
1320	SA-49	器台か	—	300～350	—	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	白：少	良	″淡茶灰～暗灰褐（口唇部）″	淡褐	口縁部：ハケ
1321	SA-50	甕	200 位	—	—	強い工具粗ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多	良	橙・淡黒灰	茶褐・灰～淡黒灰	
1322	SA-50	甕	300 位	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡褐	淡褐	
1323	SA-50	甕	350 位	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良好	淡褐～暗茶褐	淡褐	外：スス少
1324	SA-50	甕	197	—	—	粗ハケ	粗ハケ	白：微、茶：少	ややあまい	橙～淡橙茶	淡橙褐	外：スス
1325	SA-50	鉢	164	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶・微砂：少	良	橙黄	淡橙～淡黄褐・暗茶褐	外：やや摩滅
1326	SA-50	壷	100	—	—	ハケ	工具ナデ	良	良	暗茶褐～黒褐	淡黒褐～暗茶褐～淡褐	
1327	SA-50	複合口縁壷	—	—	—	ミガキ	—	良	良	暗橙茶～淡黄灰	淡赤茶	屈曲部径：156 内：剥落
1328	SA-50	甕	234	—	—	工具ナデ	強い工具ナデ～工具ナデ	白：少、茶：微	良	淡橙・淡黄～淡褐、暗灰	淡橙・淡黄～淡灰、暗灰～暗灰褐	内外：スス少
1329	SA-50	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	赤：少	ややあまい	淡桃褐	淡黒灰	屈曲部径：158
1330	SA-50	鉢	96 × 99	—	51	粗工具ナデ	工具ナデ	白：少	ややあまい	淡橙褐～淡褐・黒斑	茶褐～淡褐・黒斑	
1331	SA-50	蓋	400 位	—	—	ハケ～工具ナデ	丁寧ミガキ	微砂：少	良	淡茶褐	黒褐・暗茶褐	内口縁部：黒褐
1332	SK-102	鉢	300 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	茶：微	良	茶灰～茶褐	淡黄褐～淡褐	外：半分に暗茶褐色付着物
1333	SK-102	蓋	229	—	—	工具ナデ	工具ナデ・ハケ	微砂：少、白・茶：微	良	淡茶褐	暗茶褐～淡黄褐・淡黄橙	外暗茶褐色付着物に覆われる
1334	SK-94	小型壷	58	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡黄褐・淡黒灰	茶褐～淡褐・淡黒灰	
1335	SK-133	高坏脚加工品	—	—	—	ミガキ（丹）	ミガキ	赤：微	ややあまい	赤茶（丹）	淡赤茶	脚内：淡褐 上下打ち欠き整形
1336	SK-91	蓋	195	—	—	工具ナデ	粗工具ナデ	微砂：やや多、赤：微	良	淡黄褐～茶灰	暗茶褐～橙黄・黒斑	
1337	SK-103	壷	—	—	—	半ミガキ	ミガキ	白：やや多、角閃石：微 粗細砂・茶：微	良	桃褐～暗茶褐	淡褐～暗茶褐	外：スス微
1338	SK-95	甕	220	—	—	ハケ・工具ナデ	工具ナデ～ハケ	茶：少	ややあまい	淡褐・暗茶褐・淡黒灰	淡黄・淡褐・暗灰	
1339	SK-95	甕	282	—	—	ハケ・工具ナデ	指押→ハケ～工具ナデ・ハケ	白・茶：少	良	茶褐～淡黄褐・黒斑	淡橙～黄褐・茶褐	
1340	SZ-02	小型壷	—	—	—	ミガキ	—	微砂・白・茶：微	良	橙褐～茶褐・黒斑	茶褐～淡黒褐	頸部径：64 × 67
1341	SZ-02	小型鉢	—	41	—	粗工具ナデ	工具ナデ	茶：微	良	暗茶灰～淡褐	淡褐	外：スス微
1342	Ⅱ区　Ⅱ層	甕	—	—	—	タタキ	丁寧工具ナデ	白：微	良	暗茶褐	茶褐	外：スス少 頸部径：170 ～ 180
1343	103	小型壷	63	—	—	ナデ～工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	淡茶～茶灰	淡茶褐	
1344	Ⅱ・Ⅲ区　排土	壷	134	—	—	工具ナデ	細ハケ～工具ナデ	良	良	淡橙褐～淡橙黄	淡赤茶	
1345	Ⅲ区　北半 SA	鉢か	250 位	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	淡黄褐・黒斑（2/3）	灰褐（口唇５㎜）・淡黄褐	
1346	Ⅱ区　Ⅱ～Ⅲc 層	複合口縁壷	173	—	—	ハケ	丁寧工具ナデ	微砂・白：微	良好	茶橙～茶、黒褐色縦帯連続	淡橙茶	
1347	111	壷	170	—	—	細ハケ	半ミガキ	白・粗細砂：微	良	茶橙・茶褐	淡橙褐	内：剥落
1348	SR-03	小型鉢	74	—	52	ミガキ	ミガキ	白・茶：微	ややあまい	淡橙褐～淡黄褐・黒斑	淡橙褐・黒斑	
1349	Ⅱ区　Ⅱ～Ⅲc 層	甕	—	108	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡黄～淡黄褐	淡黄・桃橙	
1350	SK-140	甕	283	—	—	ハケ	工具ナデ	白：微	ややあまい	暗茶褐～淡茶褐	暗茶褐～茶灰・淡黒灰	外：スス少 内：被熱
1351	SK-140	甕	294	—	—	ハケ～工具ナデ	工具ナデ	白・微細砂：少	良	橙褐	暗橙桃・淡灰褐	外：スス多
1352	SK-140	把手付蓋	73	—	—	工具ナデ～ハケ	工具ナデ	良	ややあまい	淡褐白～淡黄・橙褐（一部）	淡褐白	№1078 と同型
1353	SK-140	甕	—	61	—	粗工具ナデ	工具ナデ	赤：少	良	淡褐～淡黄褐	淡褐、淡灰褐～茶灰（被熱）	底面：歪つ
1354	SK-140	甕	—	57 × 60	—	工具ナデ	工具ナデ	白：少	良	淡橙褐～淡褐・淡灰～淡黒灰	淡橙褐	
1355	SK-140	甕		48		工具ナデ	工具ナデ	粗細砂・白・赤：少	ややあまい	淡褐～淡黄褐	暗茶褐～暗茶灰	
1356	SK-141	甕	350 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微粗細砂：やや多	良	茶灰～淡褐	淡褐	外：スス微
1357	SK-141	甕	330 位	—	—	指押～工具ナデ	ハケ	良	良	橙桃～黄褐	淡褐～淡橙褐	
1358	SK-141	甕	450 位	—	—	工具ナデ	工具ナデ	白・茶：微	良	淡黄・桃橙・淡灰～暗灰	淡黄～淡褐・淡灰	
1359	SK-141	甕	—	78 × 83	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂・白・茶：少	良	淡灰褐～淡黄褐	淡灰褐～暗灰褐	
1360	SK-141	甕	—	82	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂：やや多、白・茶：少	良	淡黄褐～淡褐	暗灰褐・淡褐・淡黒灰	
1361	SK-141	鉢	—	81	—	粗工具ナデ	工具ナデ	白：少、茶：微	良	淡灰褐～淡褐・黒灰	淡黒灰	

表 22　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（18）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1362	SK-141	甕	—	69	—	工具ナデ～粗工具ナデ	工具ナデ	微砂・白：少	良	淡褐～褐	淡褐	
1363	SK-141	坏	142	—	58	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡茶褐～茶桃	淡茶褐～茶褐	
1364	SK-141	鉢	155	—	—	粗ミガキ	半ミガキ	良	良	桃褐～淡茶褐	茶褐	
1365	SK-141	小型壷	60	—	—	ミガキ	ミガキ	茶：微	良	茶褐	淡茶褐	
1366	SK-141	小型壷	—	25 × 29	—	ミガキ～工具ナデ	工具ナデ	赤：微	ややあまい	淡橙茶～淡褐・暗灰	桃褐	胴部最大径：69
1367	SK-141	高坏	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	茶：やや多、白：微	ややあまい	淡褐	淡褐・淡橙褐	被熱　内：半分摩滅
1368	SK-141	小型鉢	58	29	57	工具ナデ	粗工具ナデ	良	良	淡褐	淡褐	口縁部：摩滅、水平でない
1369	SK-141	匙状土製品	—	—	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	茶：少	ややあまい	茶灰～暗茶灰	暗茶褐	
1370	SK-141	把手	—	—	—	粗工具ナデ	—	白：微	良	暗灰～灰褐	—	焼成時に本体から外れたか
1371	SA-34	土製勾玉	—	—	—	工具ナデ	—	白：少	良	淡橙褐	—	L:26 W:8 T:9 裏面下半は欠損
1372	Ⅲ区　排土	蓋	200 位	—	—	ケズリ～ナデ	—	良	良好	暗灰褐～淡黒灰	淡灰～灰	外：被灰
1373	SA-48	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ケズリ	良	良	淡橙褐～淡茶褐	茶褐～淡橙茶	外：竹管文
1374	Ⅲ区　攪乱	鉢 篭ヶ崎式	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	良	淡褐・暗灰	淡茶褐	
1375	Ⅲ区　Ⅱ～Ⅲc 層	深鉢	—	—	—	貝殻条痕	貝殻条痕	赤：やや多	良	淡茶褐～淡褐	橙褐	底部径：130 ～ 140 位
1376	SK-105	深鉢	300 位	—	—	工具ナデ～刺突文	強い工具ナデ	良	良	淡橙黄～暗茶褐	淡橙褐	口縁部：貝縁
1377	119	浅鉢	350 位	—	—	工具ナデ	半ミガキ	微細砂：少	良	黒褐・淡灰褐	黒褐	
1378	Ⅱ区　Ⅰ～Ⅲc 層	鉢	300 ～ 350 位	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	茶：少	良	淡褐	淡褐～淡黄	
1379	Ⅱ区　Ⅱ層	坏	140	—	—	ナデ	強い工具ナデ	白：少	良	淡橙～淡黄褐	橙～淡黄褐	

表 23　鉄器観察表

No.	出土地	器種	法量（mm）			備考
			長さ	幅	厚さ	
1380	SA-20	鉄片	(40)	(20)	(1.5)	1416 と同一か
1381	SA-24	鉄鏃	22	14	3	
1382	SA-28	鉄鏃	(127)	10	—	刃部長：13
1383	SA-30	鉄鏃	153	48	—	刃部長：32
1384	SA-30	鉄鏃	(14)	(5)	—	茎部
1385	SA-30	鋳造　鉄斧	93	47 ～ 49	7 ～ 13	糸巻き・樺巻き
1386	SA-33	刀子	(82)	(15)	—	刃部長：(57) 目釘穴 1
1387	SA-31	鉄斧	94	39	—	刃部長：20
1388	SA-31	鉄斧	(90)	12	—	刃部長：(15)
1389	SA-32	不明	25	21	—	袋部か
1390	SA-32	小型 鉄鏃か	(27)	(15)	—	
1391	SA-33	鉄鏃	(24)	(17)	—	根挟み痕あり
1392	SA-33	刀子か	(64)	8 ～ 11	—	左側辺と右側辺上 から 20 mmまで刃部
1393	SA-34	鉄片	—	—	—	27 × 13 ～ 22 × 0.8
1394	SA-34	鉄片	29	21	3	
1395	SA-35	鉄鏃	(27)	(23)		
1396	SA-35C	刀子	(27)	(18)	5	大型
1397	SA-35C	鉄鏃	(26)	(6)	—	茎部
1398	SA-36	鉄鏃	34	20	3	刃部長：13
1399	SK141	刀子	54	9	2	刃部長：35
1400	SA-36	刀子	(25)	13	3	刃部

No.	出土地	器種	法量（mm）			備考
			長さ	幅	厚さ	
1401	SA-37	鉄鏃	(25)	(13)	—	茎 2 点銹着
1402	SA-37	鉄鏃	(20)	(16)	—	茎部
1403	SA-37	鎌か 鉄片	44	35	1 ～ 2.5	茎部
1404	SA-37 ～ 40 か	鉄片か	(19)	(16)	(1 ～ 1.5)	
1405	SA-36 ～ 37	鉄鏃 茎部	46	—	—	樹皮巻き
1406	SA-40	鉄鏃	(38)	—	—	茎部
1407	SA-40	刀子	(21)	(13)	3	刃部
1408	SA-40	刀子	(34)	(5 ～ 15)	4	茎部
1409	SA-40	鉄鏃	(43)	24	3	
1410	SA-42	鉄鏃	(22)	—	—	茎部
1411	SA-42	鉄鏃	(24)	—	—	
1412	SA-44	刀子か	(28)	(9)	4	茎部
1413	SA-48	鉄鏃か	(32)	12	6	
1414	SA-48	刀子	(42) + (26)	17 ～ 5	—	
1415	SA-49	刀子	85	12	2 ～ 3	刃部長：37
1416	Ⅲ区　攪乱	鉄片	(24)	(25)	2	1380 と同一か
1417	SK-141	刀子	58	12	3	刃部長：32
1418	SR-03	刀子	(102) + (27)	22	—	刃部長：(42)
1419	Ⅲ区　Ⅱ～Ⅲ C	鉄鏃	(44)	(26)	2 ～ 3	
1420	Ⅱ区　排土	鉄片	(23)	12	3	
1421	Ⅱ区　排土	鉄片	11	23	3 ～ 4	

表 24　Ⅱ～Ⅲ区出土土器観察表（19）

No.	出土地	種類・器種	法量（mm）			調整		胎　土	焼成	色調		備考
			口径	底径	高さ	外面	内面			外面	内面	
1422	SA33 断面サブトレ内下層（Ⅶ層）	円筒 土器	294	—	—	貝殻押引文	丁寧工具ナデ	粗細砂・小礫・角閃石：少	良	暗灰～淡灰褐	淡茶褐～淡灰褐	

表 25　玉類観察表

No.	出土遺構	種類	法量（mm）			色調
			長さ	径	厚さ	
1424	SA-35C　1 C 層	ガラス粟玉	—	2.5	1.5	暗赤褐 不透明
1425	SA-35C　1 C 層	ガラス粟玉	—	2.5	0.8	淡緑
1426	SA-36　1 C 層	ガラス小玉	—	4.3～4.6	3.4～3.7	濃青
1427	SA-48　1 C 層	ガラス粟玉	—	2.5	1.0	淡緑～緑
1428	SA-48	滑石製臼玉	—	2.5	1.5	暗灰

No.	出土遺構	種類	法量（mm）			色調
			長さ	径	厚さ	
1429	SA-48	滑石製臼玉	—	4.4 × 4.5	3.0 ～ 3.3	暗灰
1430	SA-49	滑石製臼玉	—	4.4	2.8	暗灰
1431	SA-50　1 C 層	ガラス粟玉	—	1.7	1.0	淡青
1432	SA-40	碧玉製管玉	13	5.3	—	濃緑

表 26　Ⅱ～Ⅲ区石器観察表（1）

No.	出土地	器種	法量（mm）			重さ（g）	石材	備考
			長さ	幅	厚さ			
1433	SA-09	台石	(118)	(89)	(33 ～ 37)	66	溶結凝灰岩(硬)	破損後調整
1434	SA-09・10	剣型石製 模造品か	(35)	(34)	(8)	15	砂岩	
1435	SA-10	砥石	(47)	35	7 ～ 9	23	砂質貢岩	左側面光沢
1436	SA-10	台石	190	148	50 ～ 64	2900	溶結凝灰岩(硬)	A 面に赤色顔料付着
1437	SA-11	磨石	82	65	50	40	砂岩	ほぼ全面に擦痕
1438	SA-13	砥石	(47)	44	3 ～ 11	25	砂質貢岩	擦切痕あり
1439	SA-13	砥石	115	73	24 ～ 28	32	砥石	A 面を少し使用
1440	SA-14	鉄鏃模倣石鏃	23	19	2 ～ 3	1.8	黒色粘板岩	無刃
1441	SA-14	砥石	93	(55)	20	83	粗粒砂岩	
1442	SA-14	砥石	(90)	(70)	64	69	粘板岩	A・B 面と頂部は平滑
1443	SA-18	編物石	126	65 ～ 81	43 ～ 55	1450	砂質貢岩	
1444	SA-18	鉄床石か	123	116	37 ～ 47	1220	溶結凝灰岩(硬)	

No.	出土地	器種	法量（mm）			重さ（g）	石材	備考
			長さ	幅	厚さ			
1445	SA-20	不明	(24)	(18)	5	2.6	頁岩か	
1446	SA-20	磨石	62	53	38	183	砂岩	
1447	SA-20	器種不明	23	(17)	3.4 ～ 3.7	2.3	黒色粘板岩	原形不明
1448	SA-20	器種不明	37	11	12	5.7	黒色粘板岩	C・D 面以外光沢 C：暗茶褐、D：淡茶褐
1449	SA-20	砥石	(59)	(14 ～ 31)	(4)	12	黒色粘板岩	A 面内光沢
1450	SA-20	砥石か	(62)	(36)	(6)	20	砂岩	
1451	SA-20	砥石	(51)	(28)	22	37	砂岩	B 面が顕著
1452	SA-20	打製石斧か	(41)	40	10	19	粘板岩（硬）	失敗作か、擦痕全周、 稜手擦れ
1453	SA-20	砥石	(85)	(70)	(13)	90	細粒砂岩	
1454	SA-20	編物石	154	52	20 ～ 47	57	砂質貢岩	手擦れ平滑
1455	SA-20	編物石	171	64	36 ～ 48	75	砂質貢岩	
1456	SA-20	編物石	123	66	41 ～ 47	59	砂岩	

表 27　Ⅱ～Ⅲ区石器観察表（2）

No.	出土地	器種	法量（mm）			重さ（g）	石材	備考
			長さ	幅	厚さ			
1457	SA-20	砥石	(106)	30	(14)	74	砂質頁岩	
1458	SA-20	砥石兼編物石	186	56～69	18～37	56	泥岩質	
1459	SA-20 内南 SK	敲磨石	155	55	41	520	粗粒砂岩	元は編物石か
1460	SA-20 内南 SK	砥石兼編物石	200	71～108	49～60	1930	砂質頁岩	
1461	SA-21	砥石片か	(41)	(26)	(5)	5.1	黒色粘板岩	
1462	SA-21	砥石か	56	30	17	41	砂質頁岩	B 面手擦れ
1463	SA-21	砥石	(54)	(35)	(7)	21	砂岩	
1464	SA-22	磨石	(53)	36	28	17	軽石	
1465	SA-22	砥石	(118)	64	22	186	黒色粘板岩	AB 平面光沢
1466	SA-22	砥石	(70)	63	(34)	33	粘板岩（緑灰色）	
1467	SA-22	編物石	124	84	59～68	98	溶結凝灰岩	A 面と稜に少し擦れ
1468	SA-22	砥石兼編物石	205	94	50～62	7630	砂岩	A 面はかなり平滑、前面に擦痕
1469	SA-23	砥石	(52)	(71)	(45)	106	溶結凝灰岩	被熱・弾け
1470	SA-23	磨石	96	86	76	80	溶結凝灰岩（砂岩質）	砥石的使用
1471	SA-24	砥石	(82)	(35)	(25)	95	硬砂岩	
1472	SA-24	砥石兼編物石	163	45～60	48	63	黒色粘板岩	稜は光沢
1473	SA-24	砥石	108	43	55	420	砂岩	破損後も調整して再使用、A 面光沢
1474	SA-24	砥石兼編物石	202	46～55	15～48	74	粗粒砂岩	
1475	SA-24	打製石鏃未製品か	38	38	3～5	10.9	粘板岩	
1476	SA-24	編物石か	116	37～51	32～43	36	砂岩	側面：手擦れ平滑
1477	SA-24 内撹乱	編物石	221	60	52～71	1170	砂岩	稜は潰して手擦れ
1478	SA-25	石鏃	23	(13)	3	0.7	黒曜石	
1479	SA-25	石鏃	(17)	18	3.4	0.8	安山岩	
1480	SA-25	砥石	32	32	8	153	粘板岩	A 面～上側辺平滑
1481	SA-25	磨石か	74	46	19～23	17	軽石	A 面上半～B 面被熱
1482	SA-25	砥石	(44)	(26)	(3～6)	8.8	粘板岩	
1483	SA-25	磨石か	79	78	58	273	溶結凝灰岩（軟・砂質）	
1484	SA-25	敲磨石	94	63	59	480	溶結凝灰岩（軟）	ほぼ全面擦り、被熱
1485	SA-25	編物石	(113)	(53)	(33～45)	370	砂岩	稜は手擦山摩滅
1486	SA-25	磨石か	114	82	86	910	溶結凝灰岩	少し使用
1487	SA-25	敲磨石か	116	88	43	380	噴石（凝灰・砂質）	
1488	SA-25	編物石	185	45～52	27～40	620	砂岩	稜は手擦れ、紐標山
1489	SA-25	磨石か	92	71	79	800	溶結凝灰岩	やや滑か
1490	SA-25	砥石	(77)	(55)	(81)	300	砂岩	A 面はかなり平滑
1491	SA-25	磨石	(130)	(107)	74	1010	溶結凝灰岩（軟）	ザラザラ
1492	SA-25	砥石	(119)	(87)	(50)	550	泥岩	破損後も調整・使用
1493	SA-25	敲磨石か	143	123	115	2140	溶結凝灰岩（砂質）	
1494	SA-27	鉄鏃模倣未製品	44	20	5	5.9	黒色粘板岩	
1495	SA-27	磨石か	85	70	55	480	砂岩	A 面の擦痕は直線
1496	SA-27	編物石	(87)	(60)	(42)	380	硬砂岩	
1497	SA-27	砥石	(65)	(62)	(45)	460	砂岩	被熱
1498	SA-27	編物石か	229	109	73	2550	砂岩	稜全てに丸み 砥石的使用
1499	SA-28	砥石	229	143	35～41	2020	砂岩	B 面少し光沢、側面に少し敲き
1500	SA-30	石鏃	31	22	3	1.6	黒色玉髄か黒曜石	切先再生か
1501	SA-30	石庖丁	70	40	5	226	粘板岩（黒灰色）	刃部左から 22～42 mmの間摩耗
1502	SA-30	磨石	75	59	50	260	溶結凝灰岩（軟）	
1503	SA-30	器面調整具か	95	24	3～19	48	砂岩	先端平滑、稜は手擦れ
1504	SA-30	砥石	(69)	(55)	(35)	103	砂岩	
1505	SA-30	台石	(76)	(61)	(15～24)	165	砂岩	両面やや平滑、側面敲き
1506	SA-30	砥石	(44)	(28)	(15)	25	砂岩	少し平滑
1507	SA-30	砥石	(40)	(20)	(16)	154	砂岩	
1508	SA-30	砥石	(76)	(68)	(32)	115	砂岩（粗砥）	
1509	SA-30	編物石	197	112	19～27	740	溶結凝灰岩（軟）	
1510	SA-30	砥石か	140	(103)	(15～33)	500	溶結凝灰岩（軟）	両面やや平滑
1511	SA-30	編物石	141	73	67	900	溶結凝灰岩	
1512	SA-30	編物石	154	77	60	1000	砂岩	擦痕多い
1513	SA-30	砥石兼編物石	181	54	45～50	780	砂岩	A・B 面平滑
1514	SA-30	砥石	(74)	(69)	(30)	237	粘板岩（軟）	
1515	SA-30	編物石	(102)	(97)	(62～69)	900	溶結凝灰岩	
1516	SA-30	磨石か	(86)	(54)	(38)	138	溶結凝灰岩	
1517	SA-30	砥石	(53)	(27)	(59)	67	硬砂岩	稜滑らか
1518	SA-30	編物石	168	52～60	38～49	800	砂岩	稜は丸み
1519	SA-30	磨石	108	86	65	520	溶結凝灰岩	A 面平滑
1520	SA-30	編物石	215	59	(57)	800	砂岩	
1521	SA-30	編物石	176	60	67	880	砂岩	稜は全て摩耗
1522	SA-30	砥石兼編物石	201	32～47	43～46	690	粘板岩	稜滑らか
1523	SA-30	編物石	159	51～65	22～37	630	砂岩	稜は全て摩滅
1524	SA-30	編物石	(177)	(45)	26～34	320	砂岩	1 面平滑
1525	SA-30	編物石	176	53～59	29～35	71	砂岩	全面滑らか
1526	SA-30	編物石	(217)	75	61	1310	砂岩	稜は全て擦れ
1527	SA-30	編物石	(200)	(76)	32～49	1170	砂岩	
1528	SA-30	編物石	193	73～105	28～45	980	砂岩	稜は擦れて変色
1529	SA-30	編物石	(204)	101	48～62	1340	硬砂岩	
1530	SA-30	編物石	(170)	(109)	(35～61)	1520	砂岩	稜は擦れて薄い色
1531	SA-30	砥石	(46)	(36)	(8)	18	粘板岩	被熱、左側面が主要面
1532	SA-31	砥石	55	10～13	16	15	粘板岩	A 面左半光沢 頂部～B 面上半手擦れ
1533	SA-31	磨石か	(52)	(44)	23	11	軽石	
1534	SA-31	磨石か	77	66	40	50	軽石	稜は滑らか
1535	SA-31	編物石	(135)	(40)	(44)	340	溶結凝灰岩	
1536	SA-31	器面調整具か	121	20～32	11～13	90	砂岩	稜は全て丸み
1537	SA-31	砥石	106	50	12	80	黒色粘板岩	A 平坦面光沢
1538	SA-30	砥石兼編物石	183	(37)	30	330	砂岩	B 面はかなり平滑
1539	SA-32	編物石か	90	52～72	44	440	砂岩	
1540	SA-32	砥石	(41)	(35)	(13)	25	砂質頁岩	
1541	SA-32	砥石	(54)	(19)	(10)	11	粘板岩	右側面やや光沢
1542	SA-32	編物石か	(115)	(14)	(18)	41	紫褐色粘板岩	あずき色 砥石的擦痕はない
1543	SA-32	砥石	38	14	14	15.3	粘板岩	稜は摩滅、両面平滑
1544	SA-32	敲石	105	67	(43)	330	溶結凝灰岩（軟）	
1545	SA-32	磨石	92	75	51	470	砂岩	
1546	SA-32	編物石	228	100	48～60	1680	硬砂岩か	稜は擦れて変色
1547	SA-33	鉄鏃模倣品	26	12	3.5	1.0	黒色粘板岩	刃部長：7 mm、両面中央に未貫通孔
1548	SA-33	鉄鏃模倣品か	25	(16)	3～4	2.2	黒色粘板岩	やや鋭利な先刃
1549	SA-33	器面調整具	33	10	5	2.6	黒色粘板岩	A 面上端と 4 周が光沢
1550	SA-33	器面調整具	30	11	6	2.2	黒色粘板岩	ほぼ全面光沢
1551	SA-33	器面調整具か	23	8	7～8	2.2	黒色粘板岩	A 面上部・B・C・D 面・稜は光沢
1552	SA-33	敲石	111	90	62	640	粗粒砂岩（ザラザラ）	
1553	SA-33	台石	(100)	85	(43)	420	溶結凝灰岩	全面やや平滑
1554	SA-33	編物石	(56)	(50)	(47)	189	砂岩	両面滑らか
1555	SA-33	器種不明	25	16～18	4～7	4.5	黒色粘板岩（淡灰色）	ほぼ全面光沢
1556	SA-33	編物石か	144	130	23～29	970	溶結凝灰岩	
1557	SA-33	砥石	192	110	57	1780	砂岩	全面平滑
1558	SA-33	編物石か	158	76～86	58	940	粗粒砂岩（ザラザラ）	
1559	SA-33・34 撹乱	鉄鏃模倣磨製石鏃	25	15	2	1.4	粘板岩	
1560	SA-34	砥石	(41)	(10)	15	9.2	粘板岩	
1561	SA-34	砥石	30	20～22	15～18	23.5	粘板岩	両小口やや平滑
1562	SA-34	磨製石鏃	(22)	(20)	(2)	2.0	粘板岩	
1563	SA-34	石鏃未製品	82	68	16	125	粘板岩	失敗作か
1564	SA-34	砥石	(73)	(12)	(24)	32	砂岩	一部敲き
1565	SA-34	砥石か	81	41	5～8	50	粗粒砂岩	稜は全て擦れ
1566	SA-34	磨石	79	53	47	278	溶結凝灰岩	
1567	SA-34	編物石	(59)	(53)	(35)	178	砂岩	
1568	SA-34	編物石	(137)	(21)	30～38	158	粘板岩	
1569	SA-34	砥石	112	60	47	368	砂岩	
1570	SA-34	砥石か	119	68	42	465	砂岩	
1571	SA-34	台石	166	140	42～58	2000	溶結凝灰岩	
1572	SA-34	砥石	127	(85)	(35)	760	粘板岩	A 面に線状痕顕著
1573	SA-34	台石	(194)	127	37	1550	硬砂岩	両面平滑
1574	SA-34	編物石	(78)	(59)	(30)	170	砂岩	稜は擦れて丸み
1575	SA-34	砥石	74	61	41	300	砂岩	両面と稜に擦痕顕著
1576	SA-35	砥石か	48	16	11	15	砂質頁岩	A 面左稜と B 面左稜は光沢
1577	SA-35	磨石か	71	48	(35)	30	軽石	
1578	SA-35A	砥石	(64)	67	10～28	120	砂岩	4 面使用、破損後調整 A 面最も滑らか
1579	SA-35	磨石	75	67	38	280	溶結凝灰岩	
1580	SA-35	器面調整具か	76	36	11	50	砂岩	稜は全て手擦れ丸み A 面右横に光沢
1581	SA-35	砥石	(107)	(65)	(34)	334	砂岩	左側面滑らか
1582	SA-35C	敲磨石	170	81	55～60	1030	溶結凝灰岩	
1583	SA-35C	用途不明	16	15	12	3.5	黒色頁岩	2 面光沢
1584	SA-35C	器面調整具	64	18	6～9	17	粘板岩	両面使用、稜は手擦れ摩耗
1585	SA-35C	器面調整具か	65	32	19	50	砂質頁岩	B 面滑らか
1586	SA-35C	砥石	58	17	22～25	46	砂質頁岩	2 面使用
1587	SA-35C	砥石兼編物石	151	58	60	710	砂岩	
1588	SA-35C	砥石	316	100	41	2210	砂岩	両面滑らか
1589	SA-35C	磨石	144	122	81	1700	溶結凝灰岩	
1590	SA-35C	砥石	53	(28)	32	67	粘板岩	1 面使用
1591	SA-35C	砥石	(83)	(43)	(20)	84	粘板岩	
1592	SA-35C	砥石	(102)	(20)	(37)	83	粘板岩	
1593	SA-35C	砥石兼編物石	144	(49)	36	343	砂岩	4 面に擦痕、稜は全て丸み
1594	SA-35C	砥石兼編物石	(128)	(67)	(52)	55	砂岩	
1595	SA-35C	台石	(332)	236	86～108	11800	溶結凝灰岩	A 面：研磨的平滑、擦痕多い
1596	SA-35C	台石	339	314	120～132	22000	溶結凝灰岩	A 面：不定方向浅い擦痕 B 面：全面に浅い擦痕
1597	SA-36	石鏃	20	15	3.8	0.7	玉髄	
1598	SA-36	抉入柱状片刃石斧	114	16～31	31～34	217	粘板岩	右側面欠損後調整、使用痕不詳

表 28　Ⅱ～Ⅲ区石器観察表（3）

No.	出土地	器種	法量（mm）			重さ（g）	石材	備考
			長さ	幅	厚さ			
1599	SA-36	器面調整具	50	15	4	5.1	砂質頁岩	側辺とA面右上光沢
1600	SA-36	器面調整具	31	7	6	1.5	粘板岩	下半光沢、全面摩耗
1601	SA-36	砥石	(60)	(74)	(58)	385	砂岩	
1602	SA-36	砥石	(60)	(17)	(43)	50	砂岩	側面弾け
1603	SA-36	砥石	(46)	(22)	(20)	17.5	砂質頁岩	2面平滑
1604	SA-36	砥石兼編物石	142	76	18～45	600	砂岩	欠損後一部調整
1605	SA-36	磨石か	(84)	(73)	(43)	281	溶結凝灰岩	上下欠損度調整
1606	SA-36	台石	135	115	32	660	溶結凝灰岩	両面不定方向擦痕
1607	SA-36	砥石	(80)	(42)	(46)	182	砂岩	極細線状痕多い
1608	SA-37	器面調整具	33	7	4	0.7	粘板岩	稜とA面上・D面は光沢
1609	SA-37	器面調整具	(30)	(16)	(6)	5.3	黒色頁岩	ほぼ全面光沢
1610	SA-37	器面調整具か	58	18	10～13	16.4	砂岩	
1611	SA-37	砥石兼器面調整具か	80	15～34	6	6～9	粘板岩	A面・突部平滑
1612	SA-37	砥石	(36)	28	25	45.5	粘板岩	
1613	SA-37	砥石か	78	45	15	81	粘板岩	B面下部が最も平滑
1614	SA-37	磨石	75	61	51	275	溶結凝灰岩（軟）	凸面手擦れ摩滅、下部被熱
1615	SA-37	磨石	99	75	41	45	砂岩	A面擦痕顕著（砥石的）
1616	SA-37	砥石	97	70	47	51	溶結凝灰岩	下端被熱
1617	SA-37	砥石兼編物石	221	86	31～46	2520	砂岩	A面上部左側に擦痕顕著下端かなり平滑
1618	SA-37	砥石	(50)	(17)	(22)	24	砂岩	左側辺欠損後調整、少し擦りB面滑らか
1619	SA-37	砥石	(58)	(45)	(30)	95	砂岩	
1620	SA-37	台石	193	157	53	1000	溶結凝灰岩	両面に赤色顔料
1621	SA-36～37	台石	322	250	76	9000	溶結凝灰岩	両面かなり平滑 A面右下とB面中央に赤色顔料
1622	SA-38	磨石	132	129	72	1090	溶結凝灰岩（軟）	使用痕不明瞭
1623	SA-38	石庖丁	73	44	5	21.4	粘板岩（暗灰色）	両刃、破損後に側面を研磨して使用
1624	SA-38	編物石	238	79	68	1950	砂岩	稜は手擦れ、下端面は敲き痕
1625	SA-38	砥石	(90)	(86)	(53)	458	砂岩	
1626	SA-38	砥石	114	86	35～59	830	砂岩	稜は全て丸み
1627	SA-40	多用途石器	135	72	(40)	438	砂岩	編物石，砥石（A面）、磨石（基部）、敲き
1628	SA-40	磨製石斧	(48)	(34)	(28)	50	砂岩	
1629	SA-40	砥石か	30	15	10	7.3	粘板岩	全面平滑
1630	SA-40	器面調整具か	31	6.5	7	2.3	黒色頁岩	上半光沢、下端やや光沢
1631	SA-40	器面調整具か	32	20	4	46	黒色粘板岩	全面やや滑らか
1632	SA-40	器面調整具か	87	26	19	59	砂岩	先端部平滑
1633	SA-40	砥石	(65)	(45)	(11)	35	砂岩	
1634	SA-40	刃器	84	60	10	54	粘板岩	A面上辺右半分は折り取り
1635	SA-40	砥石	(57)	(21)	(21)	30	赤色頁岩	両面平滑
1636	SA-40	砥石か	95	33	13～21	93	砂岩	B面やや滑らか
1637	SA-40	砥石	(93)	(10)	(38)	63	砂岩	破損後調整
1638	SA-40	砥石	(93)	(15)	(63)	112	粘板岩（軟）	破損後も使用
1639	SA-40	石斧再生品か	(145)	(64)	33	338	粘板岩	
1640	SA-40	砥石	185	62	23～34	510	粘板岩	両面平滑・光沢
1641	SA-40	砥石	79	65	50	385	砂岩	少し使用
1642	SA-40	台石か	(141)	(104)	(59)	780	溶結凝灰岩	右側面平滑、A面被熱
1643	SA-40	編物石	(93)	(60)	52	382	硬砂岩	稜は丸み、前面擦痕
1644	SA-40	砥石兼編物石	(111)	63	(51)	600	砂岩	A面のみ砥石
1645	SA-40	砥石兼編物石	(106)	80	(43)	408	砂岩	B面砥石
1646	SA-40	編物石	207	85	31～42	1220	砂岩質	
1647	SA-40	砥石兼編物石	(149)	(71)	(48)	810	砂岩	
1648	SA-41	器面調整具か	25	9	3～7	2.1	黒色粘板岩	側面・先端部平滑、稜光沢
1649	SA-41	砥石兼編物石	182	74	41	600	砂岩	稜は全て丸み、下部欠損後調整
1650	SA-41	磨石か	76	58	37	250	凝灰質砂岩（ザラザラ）	
1651	SA-42	磨石	(105)	98	69	730	溶結凝灰岩	
1652	SA-42	砥石	50	(17)	23	40	黒色頁岩	両面光沢

No.	出土地	器種	法量（mm）			重さ（g）	石材	備考
			長さ	幅	厚さ			
1653	SA-42	砥石	(46)	37	(17)	39	粘板岩	
1654	SA-42	台石	202	193	43～61	3910	溶結凝灰岩	
1655	SA-43	編物石か	(70)	23	21	61	砂岩	前面に擦痕
1656	SA-42・43又は35B	石庖丁	(45)	(38)	5	15.9	粘板岩	
1657	SA-44	器面調整具	(37)	(11)	(5)	3.8	粘板岩	B面以外使用
1658	SA-44	砥石	128	73	32	41	砂岩	全面使用
1659	SA-44	編物石	(150)	48～(70)	58	960	砂岩	
1660	SA-46	鉄鏃模倣磨製石鏃	(16)	16	2～3	0.9	粘板岩	
1661	SA-46	器面調整具	34	8	5～6	3.4	粘板岩	両端使用
1662	SA-46	砥石	46	(34)	6～9	20	砂岩	
1663	SA-46	砥石	41	(31)	12	25	粘板岩	
1664	SA-46	編物石	(91)	(75)	(61)	620	溶結凝灰岩	
1665	SA-46	砥石	(103)	(46)	12～16	137	砂岩	
1666	SA-47	器面調整具	30	(14)	(9)	4	黒色頁岩	ほぼ全面光沢
1667	SA-47	器面調整具	40	7～10	7.5～9.5	6.5	砂質頁岩	上半がやや滑か
1668	SA-47	器面調整具	67	10～18	10～13	18	砂岩	稜は全て丸み
1669	SA-47	砥石	(23)	(15)	(7)	3.7	粘板岩	
1670	SA-47	器面調整具	42	4～13	4～6	4.2	粘板岩	A面のみ使用
1671	SA-47	器面調整具	58	24	6	12	粘板岩	左側辺以外全面使用
1672	SA-47	磨石	80	78	50	500	砂岩	
1673	SA-47	砥石	36	27	(8)	3.8	粘板岩	
1674	SA-47	磨石か	67	60	(20)	175	軽石	
1675	SA-47	磨石	83	65	56	423	砂岩	A面と右側面が主要面
1676	SA-47	砥石	(192)	(63)	16～19	298	粘板岩（やや軟）	
1677	SA-47	砥石	156	112	26	690	砂質頁岩	
1678	SA-47	砥石	(108)	(30)	(24)	63	砂岩	破損後被熱
1679	SA-47	編物石	(148)	65	44	52	溶結凝灰岩	破損後調整
1680	SA-47	編物石	(82)	(65)	50	340	砂岩	稜は摩耗
1681	SA-47	編物石	154	64	41～57	75	砂岩か	稜は全て摩耗
1682	SA-47	編物石	178	84	56	1000	砂岩	
1683	SA-48	石鏃未製品	18	16	3	0.7	玉髄	細部調整なし
1684	SA-48	砥石	80	38	8～12	56	砂岩	B面破損後擦調整
1685	SA-48	編物石	156	53～63	14～24	620	砂岩	稜は全て丸み
1686	SA-48	編物石か	150	121	26～40	680	溶結凝灰岩	稜と割れ面は全て丸み
1687	SA-48	編物石	150	38～51	26～42	420	砂岩	稜は全て丸み
1688	SA-48	編物石	191	83	56	1060	溶結凝灰岩全面凹凸	B面被熱
1689	SA-49	磨製石鏃	(30)	21	2	1.7	粘板岩	
1690	SA-49	器面調整具	47	16	11	12.4	粘板岩	
1691	SA-49	台石転用敲石か	(94)	(75)	65～71	880	溶結凝灰岩（硬）	
1692	SA-49	磨石	178	126	48	1120	溶結凝灰岩（砂質）	
1693	SA-49	編物石	160	51	23～39	320	砂岩	B面破損後も使用
1694	SA-49	編物石	146	72	35～46	590	砂質頁岩	
1695	SA-49	編物石	158	75	41	690	砂岩	稜は擦れ、潰れ
1696	SA-49	編物石	174	57	50	700	砂岩	稜は丸み、前面擦痕
1697	SA-49	編物石	183	91	68	1330	溶結凝灰岩（軟）	
1698	Ⅱ区 Ⅴ´層	石鏃	(10)	(9)	3	0.2	黒曜石	
1699	Ⅱ・Ⅲ区排土	鉄鏃模倣石製品	(18)	(16)	(2.5～4.2)	1.2	黒色粘板岩	やや丸い刃
1700	Ⅱ区 Ⅱ層	鉄鏃模倣失敗作か	(21)	(24)	2.2～2.7	1.8	粘板岩	丸い仕上がり
1701	Ⅱ区 Ⅱ層	鉄鏃模倣石製未製品か	(22)	23	2.2～3	2	粘板岩	やや丸み、擦痕多い
1702	Ⅱ区 119	鉄鏃模倣未製品か	29	19	3	2.3	粘板岩	左先刃、右上・基部折取
1703	Ⅱ区 Ⅱ層	磨製石鏃未製品	38	27	6～8	11.4	緑灰色粘板岩	擦切痕あり
1704	Ⅱ区 119	砥石	49	29～41	1～5	13.5	砂質頁岩	両面と左側面を使用、かなり平滑
1705	Ⅲ区 Ⅳa層	刃器	76	62	6～7	42	粘板岩	上端折り取り、2側面刃潰し磨製石鏃の石核か

第４章　柊野第１遺跡出土品の自然科学分析報告

株式会社古環境研究所

Ⅰ．蛍光Ｘ線分析（非破壊）

１．はじめに

えびの市大字東長江浦字中原に所在する柊野第１遺跡より出土した遺物について、蛍光Ｘ線分析による元素分析を行い、材質の検討を行った。

２．試料と方法

分析対象は、住居跡より出土した６点の遺物である（表１、図版１）。分析№.１は、14 号住居より出土した鍛冶炉内の灰色付着物である。分析№.２、３は、17 号住居および 31 号住居より出土した鉱滓である。分析№.４～６は、34 号住居、35B 号住居、49 号住居より出土した小玉である。各遺物について、非破壊で蛍光Ｘ線分析を行った。なお、分析№.１の鍛冶炉内の灰色付着物については、比較対象として、周囲の褐色土も測定した。

表１　分析対象一覧

№.	出土遺構	遺物番号	分類	備考
1	14 号住居	Z-246	鍛冶炉内灰色付着物	周囲の褐色土と比較
2	17 号住居	Z-243	鉱滓	磁着あり
3	31 号住居	Z-400	鉱滓	磁着あり
4	34 号住居	Z-545	小玉	褐色
5	35B 号住居	Z-656	小玉	赤色
6	49 号住居	Z-674	小玉	黒灰色

分析装置は、分析№.１については株式会社堀場製作所製分析顕微鏡 XGT-5000Type Ⅱを、分析№.２～６についてはエスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光Ｘ線分析計 SEA1200VX を使用した。分析№.１の測定条件は、管電圧 50kV、管電流自動設定、照射径100μm に設定し、試料室内雰囲気は大気である。分析№.２、３の測定条件は、管電圧・一次フィルタの組み合わせが 15kV（一次フィルタ無し）・50kV（一次フィルタ Pb 測定用・Cd 測定用）の計３条件で、測定時間は各条件 500 ～ 1000s、管電流自動設定、照射径 8mm、試料室内雰囲気真空に設定した。分析№.４～６の測定条件は、管電圧・一次フィルタの組み合わせが 15kV（一次フィルタ無し）・50kV（一次フィルタ Pb 測定用・Cd 測定用）の計３条件で、測定時間は各条件 500 ～ 1500s、管電流自動設定、照射径 1mm、試料室内雰囲気真空に設定した。定量分析は、いずれの試料も酸化物の形で算出し、ノンスタンダード FP 法による半定量分析を行った。

３．分析結果

蛍光Ｘ線分析により得られた半定量値を表２に示す。分析の結果、ナトリウム（NaO_2）、マグネシウム（MgO）、アルミニウム（Al_2O_3）、ケイ素（SiO_2）、リン（P_2O_5）、硫黄（SO_3）、カリウム（K_2O）、カルシウム（CaO）、チタン（TiO_2）、クロム（Cr_2O_3）、マンガン（MnO）、鉄（Fe_2O_3）、銅（CuO）、亜鉛（ZnO）、

ヒ素（As_2O_3）、ルビジウム（Rb_2O）、ストロンチウム（SrO）、イットリウム（Y_2O_3）、ジルコニウム（ZrO_2）、モリブデン（MoO_3）、スズ（SnO_2）、バリウム（BaO）、鉛（PbO）の合計 23 元素が検出された。

表 2　半定量分析結果（mass%）

No.	分類		Na_2O	MgO	Al_2O_3	SiO_2	P_2O_5	SO_3	K_2O	CaO	TiO_2	Cr_2O_3	MnO	Fe_2O_3	CuO	ZnO	As_2O_3	Rb_2O	SrO	Y_2O_3	ZrO_2	MoO_3	SnO_2	BaO	PbO
1	灰色部		—	—	30.08	49.16	—	—	0.94	2.51	1.60	—	0.25	15.45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	褐色土		—	—	33.44	44.11	—	—	1.38	1.13	1.79	—	0.45	17.70	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	鉱滓		—	0.37	6.65	10.45	0.37	0.24	0.42	0.55	0.25	0.01	0.05	80.60	—	0.01	—	—	0.01	—	0.01	0.01	—	0.02	—
3	鉱滓		—	0.31	12.16	13.91	0.53	0.31	0.25	0.31	0.33	—	0.04	71.82	0.01	0.01	—	—	—	—	0.01	—	—	—	—
4	小玉	褐	—	0.51	19.01	27.82	0.77	0.64	0.98	0.54	0.53	0.04	0.05	48.87	0.02	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01	0.02	—	—	0.03	0.08
5		赤	2.86	0.44	9.01	72.52	0.61	0.23	2.26	1.94	0.69	—	0.18	2.97	4.34	0.04	—	0.01	0.07	0.01	0.36	—	0.29	0.45	0.74
6		黒灰	—	24.90	24.87	31.99	0.58	0.10	0.08	0.43	0.92	—	0.55	15.45	—	0.04	—	—	0.01	0.01	0.07	—	—	—	—

4．考察

⑴　分析№.1　鍛冶炉内灰色付着物

灰色付着物は、比較対象として測定した褐色土とよく似た化学組成で、それほど大きな差はみられず、材質の特定ができなかった。ただ、若干ではあるが灰色付着物の方がカルシウム（CaO）の含有量が多く、灰に由来する可能性がある。

⑵　分析№.2、3　鉱滓

いずれも鉄が酸化物（Fe_2O_3）換算で 70% 以上と高い割合で検出された。非破壊のため鉱物組織は不明だが、チタン（TiO_2）の含有量は少なく、鍛錬鍛冶滓である可能性が考えられる。

(3)　分析№.4 ～ 6　小玉

分析№.4 の褐色の小玉は、その外観から土製品の可能性が考えられたが、分析の結果、鉄（Fe_2O_3）の含有量がかなり多く、典型的な土製品の化学組成とは異なっていた。実体顕微鏡で観察すると、表面状態が悪く明瞭ではないが、小口面は比較的平坦であるものの、端部から側面はやや丸みをもち、厚さに偏りがある。これらの特徴は、石製品のような硬質の物質の整形というよりも、ガラス製品の製作技法による整形のように思われる。

分析№.5 の赤色の小玉は、不透明で内部は観察できないが、孔に対して平行な筋状の模様が観察された。ガラス製品である。ガラスを管状に引き伸ばした後、管を切って製作する引き伸ばし法（管切り法）により製作されたと考えられる。分析の結果、アルミニウム（Al_2O_3）の量がガラス製品にしては多く、カルシウム（CaO）をある程度含有し、ルビジウム（Rb_2O）が少なく、ストロンチウム（SrO）とジルコニウム（ZrO_2）が比較的多いなどの特徴により、基礎ガラスはアルミナソーダ石灰ガラス（Na_2O-Al_2O_3-CaO-SiO_2 系）に属すると考えられる。なお、主成分のひとつであるナトリウム（Na_2O）は、分析結果では含有量がそれほど多くなかったが、風化の影響を受けやすい元素である点や、蛍光 X 線での感度の悪い元素である点を考慮して、上述の他の元素の組成よりアルミナソーダ石灰ガラスと判断した。また、銅（CuO）が比較的多く検出された。古代ガラスの着色は、遷移金属イオンによる着色が多いが、分析№.5 のような赤色不透明の着色は、いわゆる銅赤と呼ば

れる、金属銅（Cu）あるいは酸化第一銅（Cu_2O）がガラス中にコロイド状態となって分散することで発色している。

分析№.6 の黒灰色の小玉は、外形が直線的であり、研磨により整形された石製品である。マグネシウム（MgO）が多く、滑石や蛇紋岩の類と考えられる。

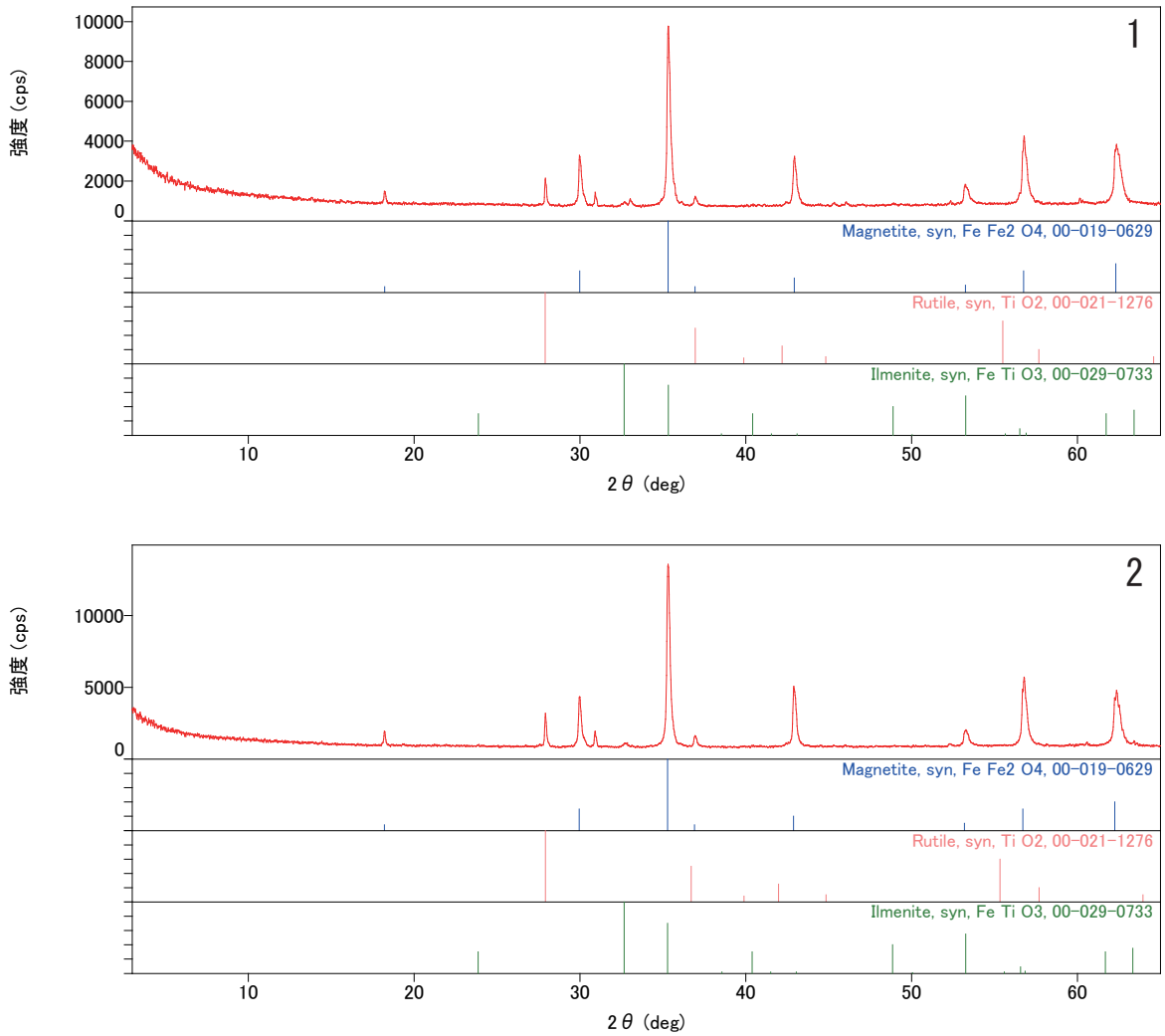


図１　Ｘ線回析分析結果（右上数字は分析№.）

Ⅱ．蛍光Ｘ線分析・Ｘ線回折分析

１．はじめに

えびの市大字東長江浦字中原に所在する柊野第１遺跡より出土した黒色物について、成分分析を行った。

２．試料と方法

分析対象は、住居跡の火処より出土した黒色物２点である（表１、図版１）。磁着のある砂状の黒色物で、砂鉄や鉄屑の可能性が考えられている。実体顕微鏡による観察の後、蛍光Ｘ線分析とＸ線回折分析を実施した。

表１　分析対象

№.	出土遺構	遺物番号	層位	備考
1	40 号住居火処	Z-649	黒色覆土	磁着のある黒色物
2	47 号住居火処	Z-665	黒色覆土	磁着のある黒色物

１）蛍光Ｘ線分析

蛍光Ｘ線分析は、マイラーフィルムを張った試料ホルダに試料を入れて測定した。

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製エネルギー分散型蛍光Ｘ線分析計 SEA1200VX を使用した。装置は、Ｘ線管が最大 50kV、1000 μ A のロジウム（Rh）ターゲット、Ｘ線照射径が 8mm または 1mm、Ｘ線検出器は SDD 検出器（VorteX）である。この装置は、複数の一次フィルタが内蔵されており、適宜選択、挿入することで S/N 比の改善が図れる。検出可能元素はナトリウム（Na）～ウラン（U）であるが、蛍光Ｘ線分析装置の性質上、軽元素の感度が若干低く、特に定量分析におけるナトリウムの測定精度は低い。測定条件は、管電圧・一次フィルタの組み合わせが 15kV（一次フィルタ無し・Cl 測定用）・50kV（一次フィルタ Pb 測定用・Cd 測定用）の４条件で、測定時間は各条件 500 ～ 1000s、管電流自動設定、照射径 8mm、試料室内雰囲気真空に設定した。定量分析は、酸化物の形で算出し、ノンスタンダード FP 法による半定量分析を行った。

２）Ｘ線回折分析

Ｘ線回折分析は、少量採取してメノウ乳鉢でよく粉砕した試料を、無反射試料板に充填し、不定方位試料として測定した。

分析装置は、株式会社リガク製Ｘ線回折装置 MiniFlex600 を使用した。装置は、Ｘ線管が銅(Cu)ターゲット、検出器が一次元半導体検出器（D/teX Ultra）を使用している。測定条件は、40kV、15mA、走査速度 2deg/min、ステップ幅 0.02deg、走査範囲３～ 65deg、蛍光Ｘ線軽減モードに設定し、回転試料台で試料を回転させつつ測定した。

3．結果

1）蛍光X線分析

蛍光X線分析により得られた半定量分析結果を表2に示す。

分析の結果、いずれの試料もマグネシウム（MgO）、アルミニウム（Al_2O_3）、ケイ素（SiO_2）、リン（P_2O_5）、硫黄（SO_3）、カリウム（K_2O）、カルシウム（CaO）、チタン（TiO_2）、クロム（Cr_2O_3）、マンガン（MnO）、鉄（Fe_2O_3）、亜鉛（ZnO）、ジルコニウム（ZrO_2）の13元素が検出された。

表2　蛍光X線半定量分析結果（mass%）

No.	MgO	Al_2O_3	SiO_2	P_2O_5	SO_3	K_2O	CaO	TiO_2	Cr_2O_3	MnO	Fe_2O_3	ZnO	ZrO_2
1	1.62	5.36	9.95	0.38	0.16	0.12	0.35	7.30	0.11	0.47	74.08	0.09	0.01
2	1.41	5.87	8.86	0.41	0.16	0.14	0.37	7.46	0.12	0.50	74.60	0.08	0.01

2）X線回折分析

X線回折分析により得られた回折パターンを図1に、検出された鉱物を表3に示す。

表3　X線回折分析による検出鉱物一覧

No.	磁鉄鉱	ルチル	イルメナイト
1	◎	△	△
2	◎	△	△

◎：よく一致するピークを検出　△：信頼性低い

分析の結果、いずれの試料も磁鉄鉱（Magnetite、Fe_3O_4）のピークが極めて明瞭に検出され、ほかにルチル（Rutile、TiO_2）、イルメナイト（Ilmenite、$FeTiO_3$）とみられるピークが検出された。

4．考察

実体顕微鏡観察では、黒色物は不定形粒子であったが、一部結晶面を持つ黒色粒子も観察された。蛍光X線分析では鉄（Fe_2O_3）、チタン（TiO_2）が多く検出され、X線回折でも磁鉄鉱やチタンを含む鉱物が検出された。

以上の特徴は、鉄錆とは明らかに異なる特徴であり、これらの黒色物は砂鉄である。

Ⅲ．放射性炭素年代測定

1．はじめに

放射性炭素年代測定は、光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素（^{14}C）の濃度が、放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体、骨、貝殻、土壌、土器付着炭化物などが測定対象となり、約5万年前までの年代測定が可能である（中村，2003）。

ここでは、柊野第1遺跡で出土した遺構の構築年代を明らかにする目的で放射性炭素年代測定を行った。

２．試料と方法

測定試料は､14 号住居で出土した土師器甕の外面に付着した炭化物（スス）１点である。表１に、測定試料の詳細と前処理・調整法および測定法を示す。

１）化学処理

試料の付着物を取り除いた後、酸－アルカリ－酸（AAA:Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA 処理における酸処理では、通常 1mol/ℓ（1M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001M から 1M まで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1M に達した時には「AAA」、1M 未満の場合は「AaA」と結果表に記載する。

化学処理後の試料を燃焼させ､二酸化炭素（CO_2）を発生させ､真空ラインで二酸化炭素を精製する。精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。グラファイトを内径 1mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

２）測定方法

加速器をベースとした ^{14}C-AMS 専用装置を使用し､^{14}C の計数、^{13}C 濃度（$^{13}C/^{12}C$）､^{14}C 濃度（$^{14}C/^{12}C$）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOx Ⅱ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。δ ^{13}C は、試料炭素の ^{13}C 濃度（$^{13}C/^{12}C$）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である。

表１　測定試料及び処理

試料番号	試料の詳細	試料	前処理・調整	測定法
№1	14 号住居・H-256	炭化物	酸－アルカリ－酸処理（AaA）	ＡＭＳ

※ AMS（Accelerator Mass Spectrometry）は加速器質量分析法

３．結果

加速器質量分析法（AMS：Accelerator Mass Spectrometry）によって得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行い、放射性炭素（^{14}C）年代および暦年代（較正年代）を算出した。表２にこれらの結果を示し、図１に暦年較正結果（較正曲線）を示す。

^{14}C 年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950 年を基準年（0yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libby の半減期（5568 年）を使用する（Stuiver and Polach,1977）。^{14}C 年代はδ ^{13}C によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を結果表に示す。^{14}C 年代と誤差は、下１ 桁を丸めて 10 年単位で表示される。また、^{14}C 年代の誤差（±１σ）は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が 68.2%であることを意味する。

暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、^{14}C 年代に対応

する較正曲線上の暦年代範囲であり、1 標準偏差（1 σ＝68.3%）あるいは2 標準偏差（2 σ＝95.4%）で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、δ ^{13}C 補正を行い、下1 桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため､年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal20 データベース（Reimer et al.,2020）を用い、OxCalv4.4 較正プログラム(BronkRamsey,2009)を使用する。暦年較正年代は､^{14}C 年代に基づいて較正(calibrate)された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」･「cal BP」という単位で表される。

表２　測定結果

試料番号	測定№ (IAAA-)	δ 13 C (‰)	暦年較正用年代 (年 BP)	^{14} C年代 (年 BP)	暦年代（西暦） １σ（68.3%確率）	 ２σ（95.4%確率）
№1	201473	-26.64 ± 0.21	1781 ± 24	1780 ± 20	240 calAD-255 calAD(18.1%) 286 calAD-325 calAD(50.2%)	220 calAD-263 calAD(30.0%) 276 calAD-344 calAD(65.5%)

BP：Before Physics (Present), AD：紀元

４．所見

柊野第１遺跡で出土した14号住居の構築年代を検討する目的で、出土した土師器甕の外面に付着した炭化物（スス）を対象として加速器質量分析法（AMS）による放射性炭素年代測定を行った。測定の結果、補正 ^{14} C年代は1780 ± 20 年BP、２σの暦年補正値は220 calAD-263 calAD(30.0%)、276 calAD-344 calAD(65.5%) であった。

参考文献

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360

Reimer, P.J. et al. 2020 The IntCal20 Northern Hemisphere radiocarbon age calibration curve (0-55 cal kBP), Radiocarbon 62(4), 725-757

Sakamoto,M.,Imamura,M.,van der Plicht,J.,Mitsutani,T.,Sahara,M.:: Radiocarbon calibration for Japanese wood samples.Radiocarbon,45(1), 81-89,200p.

Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-

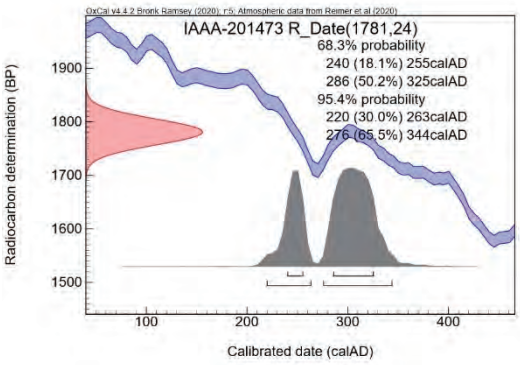
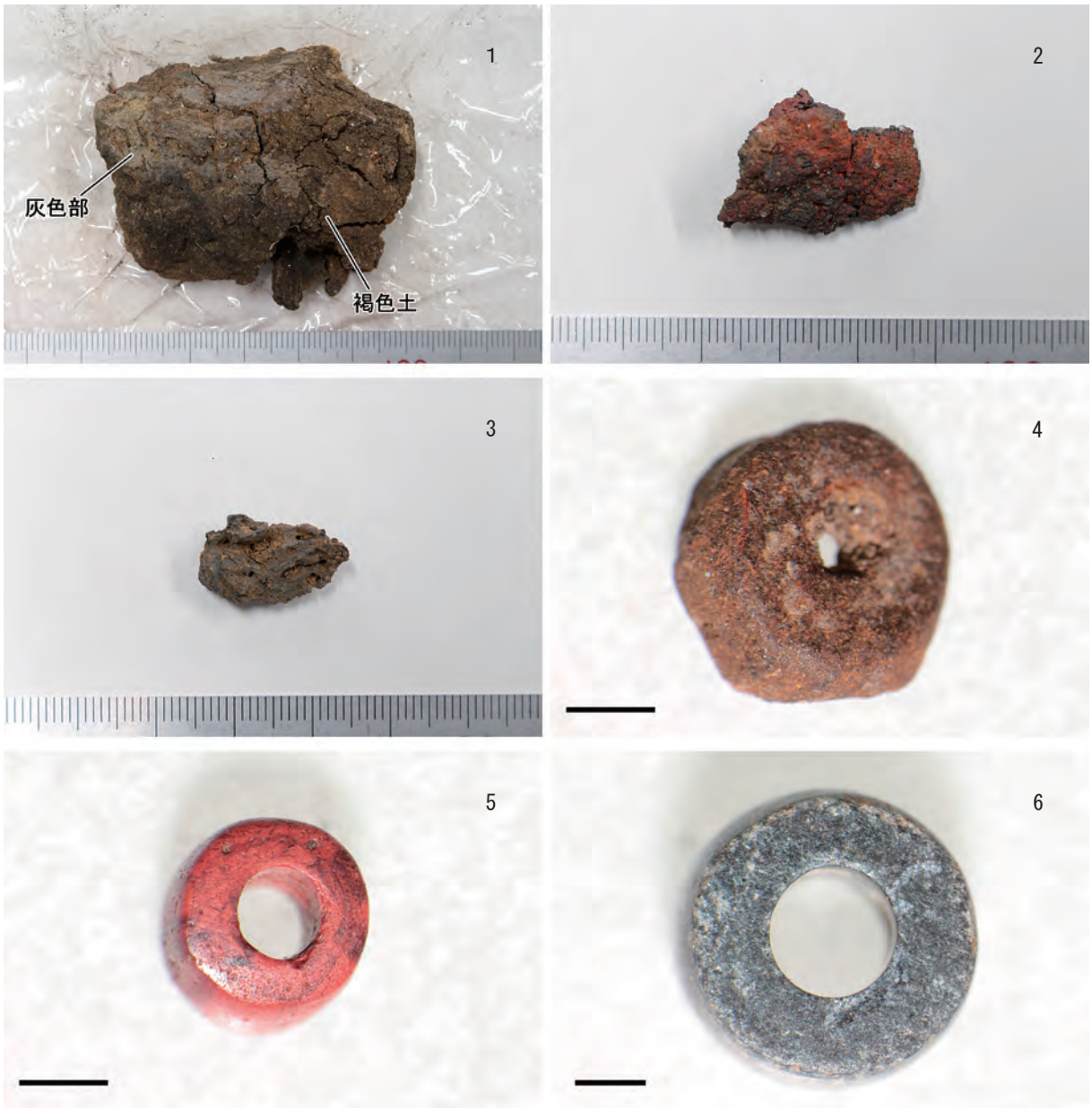
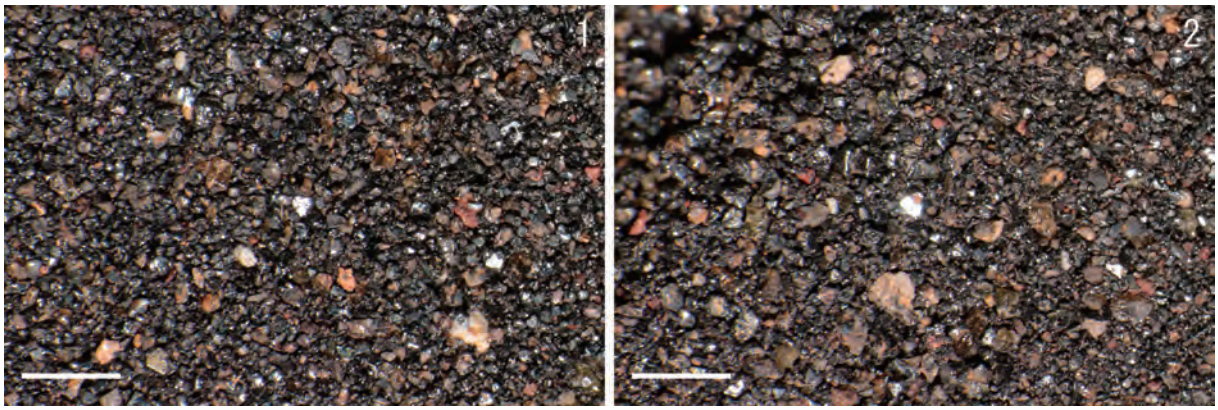


図１　暦年較正図



図版１　分析対象遺物（右上数字は分析№、分析№４～６のスケールは１mm）



図版２　分析対象の実体顕微鏡写真（右上数字は分析№、スケールは１mm）

第５章　まとめ

縄文早期、Ⅲ区で土器や石鏃が出土したが、遺構は未検出である。中期から晩期にかけて、少量の土器片が出土したが、実体は不明である。

弥生中期、須久式の赤彩土器を伴う溝状遺構１条を検出。中期後半、黒髪式土器を伴う時期の竪穴建物（SA-01・07）は市内初である。この他は、古墳前期が主で、Ⅲ区では、中期後半まで続く集落であり、小木原地下式横穴墓群の初源期から中期まで（木棺墓・木蓋土壙墓・横口式土壙墓・板石積石棺墓および竪坑閉塞タイプの地下式横穴墓）営んだ人々の拠点であったことが判明した。

以下、遺構・遺物についてまとめる。

竪穴建物　弥生終末～古墳前期（庄内式並行）が最も多く、規模が大きい。長径８～10ｍのものが多く、深い。SA-14 は鍛冶炉を伴う工房であるが、実体は不明である。鍛冶炉は前期後半であり、県内最古級の遺構である。SA-25 の内区は柱穴を掘る前に床面が焼かれており、湿気対策と推定されるが、工房を想定させる遺物は敲石しかない。SA-36 と 47 には、堅緻な貼床にするためのクサリ礫塊を採掘した土坑を有する（採掘後に埋め戻している）。覆土は堅く、流入遺物も少ない遺構が多く、床直の良好な一括遺物は無いが、埋没途中の一括として捉えられるのは 04・28・30・48 号の４基である。

地下式土壙墓　Ⅰ区の北東部で検出した、竪坑が円形で、羨道は無く、いわゆる小型形式の地下式横穴墓と呼称するには違和感があり、近世～近代の可能性もあり、地下式土壙墓として扱う。

土坑　弥生後期～古墳中期の土坑は、Ⅰ区の SA-03 周辺以外は散在して検出され、その殆どは不要物廃棄坑と思われる。

縄文土器　SA-30 内のサブトレンチⅥ層から出土した当遺跡最古の前平式土器１と、後晩期の土器片が僅かに出土している。小型の打製石鏃は早期主体で、少量の打製石斧は後晩期である。

弥生土器　１区で中期後半・須久式の赤色彩文磨研土器や黒髪式土器が出土し、小規模な定住が始まる。終末から古墳中期にかけて成川系の中津野式～東原式土器が主体となる。

土師器　古墳時代前期後半以降、小型壷や坩、ミニチュアが伴い、中期以降ミガキ調整になり、微量の丹塗り土器が出土する。

須恵器　市内遺跡と共通し、古墳後期前半までの須恵器は極く少量しか出土しない。

鉄器　（第 116・117 図）1419 は清掃時の出土で帰属遺構は不明であるが、古墳前期の無茎長三角形鏃の未製・失敗品と思われ、左の逆刺が未完成で、両側辺の刃を砥ぎ出す前に上半を欠損している。1418 は、古代～中世の可能性もあるが、同時期の土器は皆無であることから、SA-32 か 34～37 のいずれかに帰属する。鉄鏃は茎部のみが多く、サンプリングエラーが多い。整品ではない 1380、1389、1390、1393、1394、1404、1412、1416、1420、1421 は鉄片であり、小鍛冶の素材として持ち込まれたものと考えられる。ミニチュア刀子に類似するタイプは、島内 14・20・21・24 号地下式横穴墓にみられるが、関連性を問うにはまだ資料不足である。

鋳造鉄斧は市内２例目の出土で、１例は妙見遺跡の２号住居出土品[(1)]で、上面に４条の突帯があり

バリが付いたままである。南九州では、他には、鹿児島県大崎町の伝・双子塚出土品２例[(2)]が知られているのみである。鉄器の素材として截断されているのは、柊野第１号遺跡出土例のみである。

装身具　ガラス小玉５と滑石製臼玉３、碧玉製管玉１が出土したが、１ｃ層水洗選別の成果が大きい。

鍛冶関係　鍛冶炉と鉱滓、鍛造剥片、粒状滓が出土したのはSA-14のみであるが、SA-03と17・25の焼土と炭の量は小鍛冶を推定させる。SA-25の457は鞴の専用羽口の可能性がある。SA-37の1016は被熱しており、唯一、高坏転用鞴の羽口として断定できるものである。高坏の脚の中心に小さく穿孔したものが４点（SA-47の1183と1184、SA-48の1254と1261）あるが、被熱していない。SA-30の655は全面被熱発泡しており、高温にさらされたことを示している。又、壷底部転用の656は周縁加工を施し、内面が弾けているので取瓶と推定している。

火処の１ｃ層は、土嚢袋に平均２袋ほどを持ち帰り、水洗選別し、ほぼ例外なく、小土器片、小礫、粗砂、細砂～微砂、炭粒そして砂鉄を検出した。自然採取の持ち込み砂鉄なのか、鉄器製作～刃部再生時の削り屑（鉄粉）なのか知るためにこれも自然科学的分析に委託した。その結果、砂鉄であることがわかった（第４章）。砂粒は加久藤溶結凝灰岩の風化粒で、土器用粘土の混和材（川砂）ではない。SA-18・34・35ｃ・40・49およびSK-141から鍛造剥片が出土しており、何らかの小鍛冶が想定される。砂鉄利用の鍛冶が古墳前期までは溯らないはずなので、何のために砂鉄を持ち込んでいるのか不明である。唯一、古墳前期中葉の雪野山古墳の矢の本矧に塗布されている例（つや消し・滑り止め）がある[(3)]ものの、資料不足である。なお、鍛造剥片については筆者の目視であり、科学的分析はしていないので、鉄滓皮もふくんでいると思われる。[(5)]

石器　小型の圭頭鏃を模倣したものや無刃の類似品、黒色粘板岩製の器面調整具か極小極部砥石状石器が目立つ。長さ15～20㎝前後の棒状編物石の稜は摩滅・変色している。出土数が少ないのは、再利用しているためと思われる。又、その多くは砂岩で、砥石としても使われている。棒状石を錘としてヨシやワラ、カヤ、竹などで編んだと推定する。１本のタテ紐を両下端に巻き付けた錘を交互に交差して締めながら１本ずつ編むことと、大きな石が密にならない状況を想定すると、ムシロやテゴ等ではなく、間隔の広いコモや俵、ヨシズなどを編んだ[(6)]と思われる。なお、市内では５遺跡16竪穴建物から出土している。[(7)]石包丁は３点しか出土していない。抉入柱状片刃石斧は、市内２例目である。

自然遺物　炭化堅果類はサンプリングエラーが多いと思われるが、シイ類がSA-03・04・06・17・18、46・48・50から、モモ核がSA-01・14・15・20・25・28・30・34～37・48から、クリがSA-30から２個出土しており、副食・保存食として採取していたと推定される。

朱あるいは朱混ベンガラ、ベンガラ混朱、ベンガラの粒がSA-20・22・26・30・32・35・37・38・40・47・49の覆土から採取され、SA-20と33・34・35からは鉄分沈積層塊（褐鉄鉱）が出土している。丹塗り土師器は細片３点のみの出土であり、赤色顔料は別の用途で使用されたのであろう。

柊野第１遺跡は、高位段丘面 60ha が周知の遺跡となっているが、過去における県文化財課による試掘や南北の県道拡幅工事現場、令和元年度の畑灌工事現場等をみると、北側に縄文～古墳中期の集落、北東部と南西部に小規模な古代の柱穴群が包蔵している以外は遺構・遺物は希薄である。南西部に集落が包蔵するのは、段丘下（浜川原地区）に豊富な湧水があるからだと思われる。広大なこの土地は、古代には牛馬の放牧地となっていた可能性があるが、令和４年度の発掘調査内容が物語るかもしれない。

弥生時代中期後半、市内の中位～高位段丘に立地する天神免遺跡ほか、内小野、古屋敷、馬場田、上田代、田之上城跡、佐牛野遺跡など、西から東までの要所で黒髪式土器が出土しているが、当該期の竪穴建物を検出したのは本遺跡のみである。

古墳時代前期には小鍛冶も営み、市内でも最有力の拠点であったと思われる。対岸の小木原地下式横穴墓群蕨支群内には、市内唯一の木棺墓や木蓋土墳墓が営まれ、弥生後期～古墳前期後半に北部九州系の文化・文物が入る。その居住地が柊野第１遺跡の北縁であった。

なお、久見迫・馬頭支群が営まれた古墳後期の遺構は検出されなかったので、上田代遺跡と妙見遺跡が視野に入る。

註

(1)　宮崎県教育委員会『野久首遺跡、平原遺跡、妙見遺跡』1994、東潮『古代アジアの鉄と倭』1999、鹿児島大学総合研究博物館『大隅串良岡崎古墳群の研究』2008

(2)　宮崎県立西都原考古博物館『馬韓・百済と南九州』2016

(3)　杉井健「(8) 漆塗り製品⑤矢柄」『雪野山古墳の研究』1996 八日市市教育委員会

(4)　本市には、２ヶ所で鉄鉱石を産出する。西北部の西の野地区の鉄鉱石は幕末～明治期に採掘され、鹿児島市の薩摩藩集成館へ運ばれ、原料の一部を担っていた。地元でも、明治 19 年に高炉が建設され、製錬が大正２年まで行われた。昭和 22 年までは採掘のみ細々と行われたらしい。一方、東北部には標高 715 mの鉄山があり、西沿いの谷には鉄山川が流れ、山砂鉄を産出していたらしい。幕末には良質の小型刃物も造られていたらしいが、詳細不明である。山砂鉄の利用がいつの時期まで遡るか不明であるが、柊野第１遺跡に持ち込まれた砂鉄が鉄山産の可能性もある。

(5)　甲斐康大「宮崎県北部の発掘調査事例～今井野遺跡～」『2010 鉄技術資料検討委員会 in 宮崎　資料集　日向における古墳以前の鉄器生産』ユーラシア治鉄史研究会 2010

(6)　渡辺誠「編み物用錘具としての自然石の研究」『名古屋大学文学部研究論集（史学）LXXX』1981

(7)　中野和浩「市内出土の編み物石について」『えびの市歴史民俗資料館年報 No6』2016

調査地遠景

図版１

図版２

Ⅰ区　調査地近景（東から）

Ⅰ区　全景

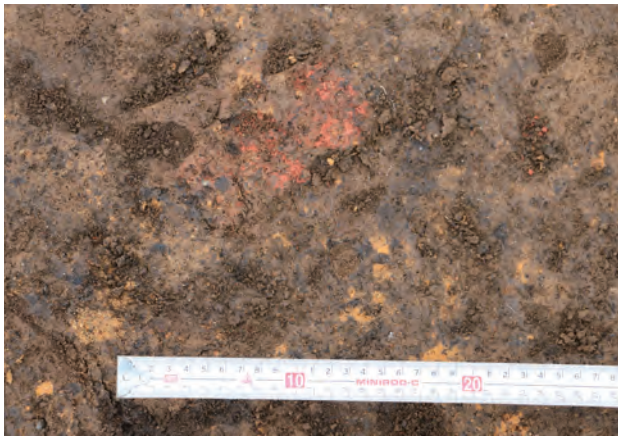
Ⅰ区　全景（西から）

図版４

SA-01　１層　遺物出土状態（北から）

同　（南から）

同　南西部の台石と焼土（東から）



同　南西部　赤色顔料（西から）

同　断面層序（南東から）

同　南北畦東壁　断面層序（東から）

同　内区　断面層序

同　床面　全景（西から）

SA-02　1 層　遺物出土状態（北から）

同　（南から）

同　断面層序（北東から）

同　南北畦東壁と内区遺物（南東から）

同　内区　北東部床面と断面層序（東から）

同　内区　床面・遺物出土状態（東から）

同右上　中央部　火処（東から）

同　貼床除去後　全景（東から）

図版６

SA-03　上層　遺物出土状態（西から）

同　（東から）

同　外区東中央部　２次床直　遺物（南から）

同　断面層序（南東から）

同　北東区　床面・北壁～東壁（北東から）

同　東西畦東半　内区北壁（北から）

同　東西畦東半　内区北壁　（南から）

同　貼床除去後　全景

SA-04　上～中層遺物　出土状態（西から）

同　（東から）

同　北東部　土器溜まり　上層（北から）

同左　中層（西から）

同　断面層序（南西から）

同　（北西から）

同　床面　遺物出土状態（南から）

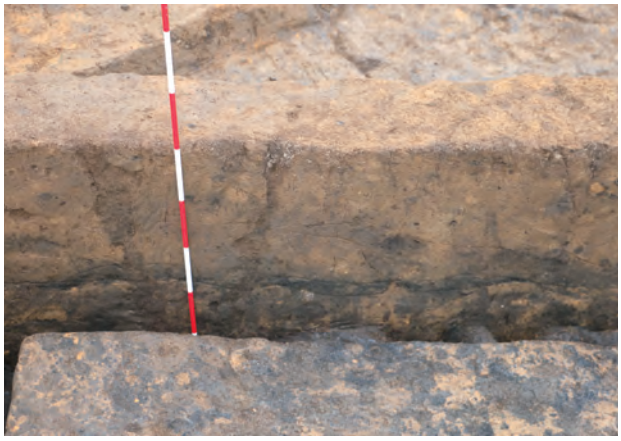
同　床面　全景

図版８

SA-05　１層　遺物出土状態（北西から）

同　内区（北西から）

同　畦　東・南壁層序・床面（南東から）



同　内区　断面層序（南から）

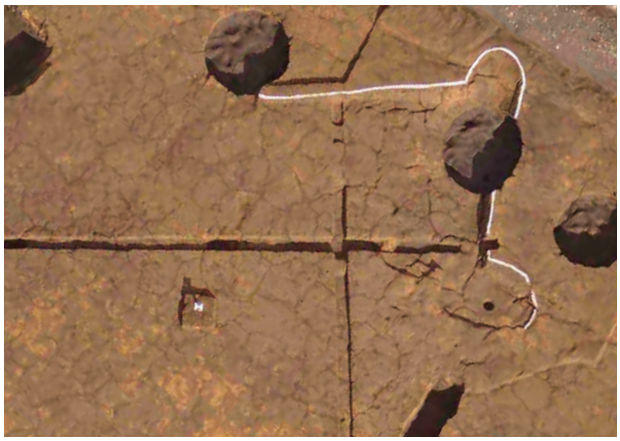
同　２本柱　完掘状況（南から）

同　床面　全景

SA-06　床面・遺物出土状態（南から）

同　北東部　遺物集中部（南から）

SA-06　遺物集中部　磨製石鏃他（南から）



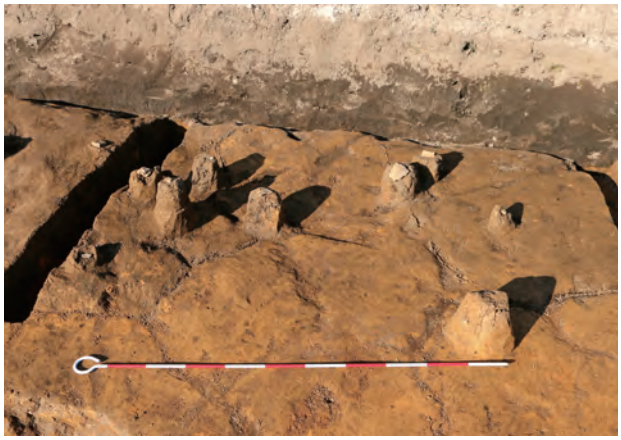
同　床面　全景

SA-07　１層　遺物出土状態（南から）

同　東半部　遺物出土状態（東から）

同　床面完掘全景（東から）

同　床面　全景



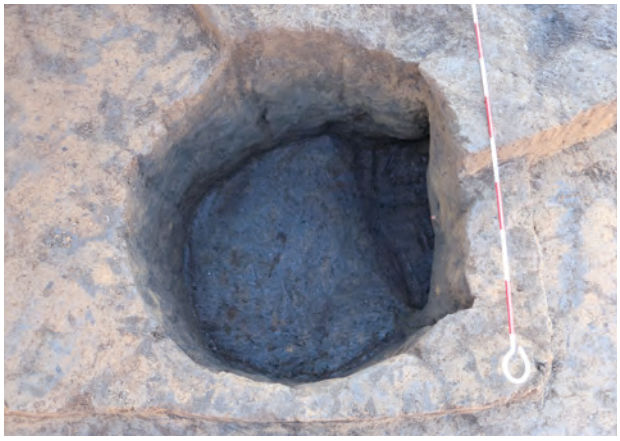
SA-08　東半部　１層　遺物出土状態（南から）

同　床面　全景

図版 10

ST-01　遺物出土状態（東から）

同　完掘（東から）



同　（北から）

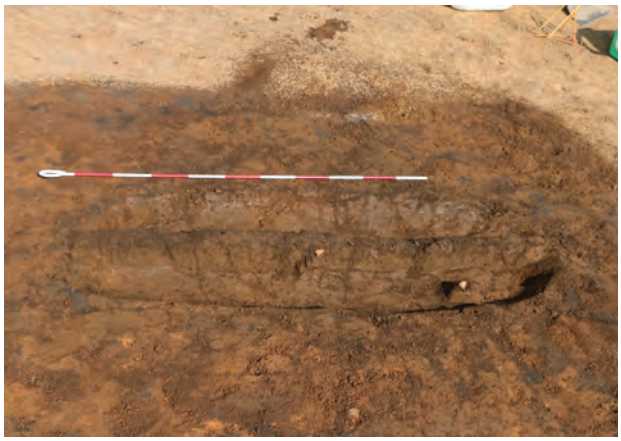
同　玄室

同　羨門～玄室

SK-23　遺物出土状態・断面層序（南から）

SK-42　遺物出土状態（東から）

同左　下部遺物（東から）



SK-45　遺物出土状態・断面層序（南から）

SK-49　遺物出土状態・断面層序（東から）

SK-52　遺物出土状態（北から）

SK-53　遺物出土状態（南から）

SK-55　遺物出土状態（南東から）

SK-63　遺物出土状態

SK-66　遺物出土状態（東から）

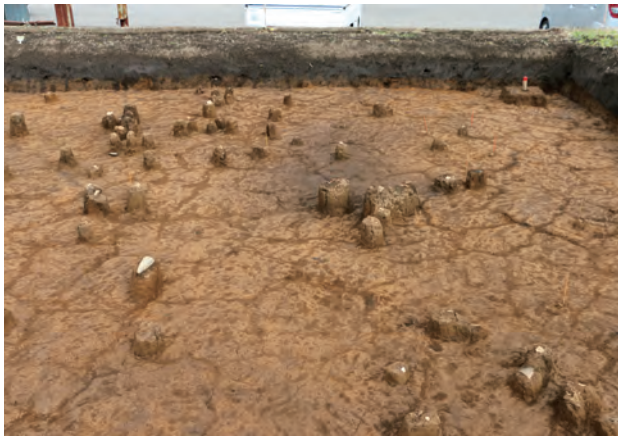
SK-37 ～ 40・56・57　断面層序（北から）

図版 12

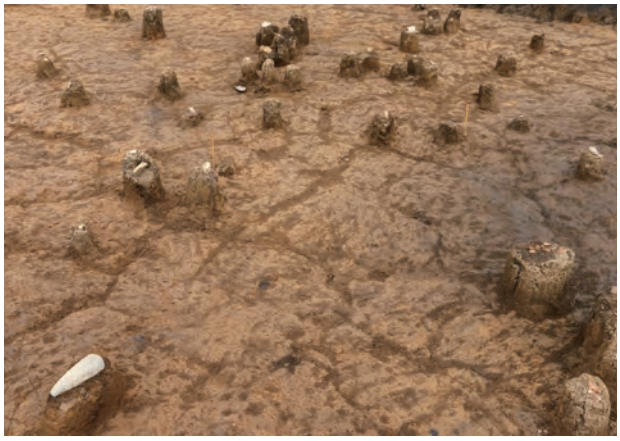
SD-01　遺物出土状態・北壁層序（南から）

北側　Ⅳａ層遺物　出土状態（南西から）

同右上　（東から）



同左　北東部（南から）



同右上　磨製石斧とその周辺（南から）

トータルステーション遺物取上（南西から）

ラジコンヘリによる航空写真撮影

SA-03　貼床除去・清掃状況

Ⅱ区　全景

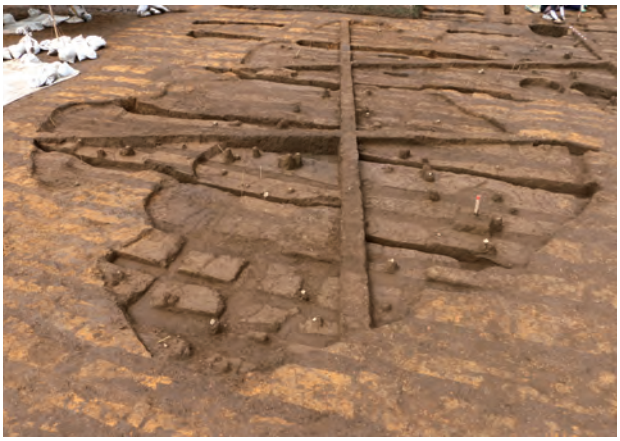
ドローン空撮

Ⅱ・Ⅲ区から
北西方向を
望む

Ⅲ区から
小木原地下式
横穴墓群方向
を望む

図版 14

Ⅲ区　全景（右上が北）



SA-09 ～ 11　1 層　遺物出土状態（東から）

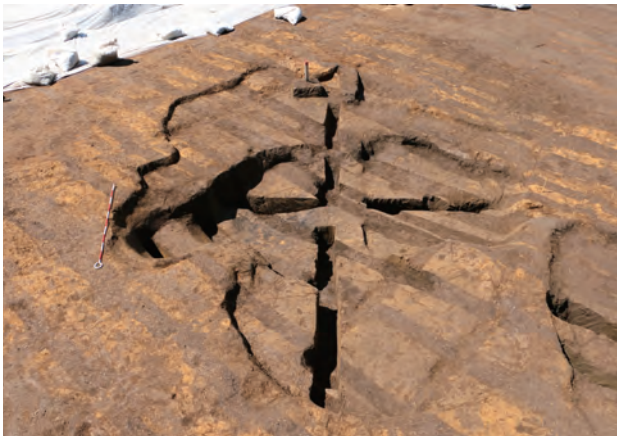
同　（西から）

SA-10　床面　全景

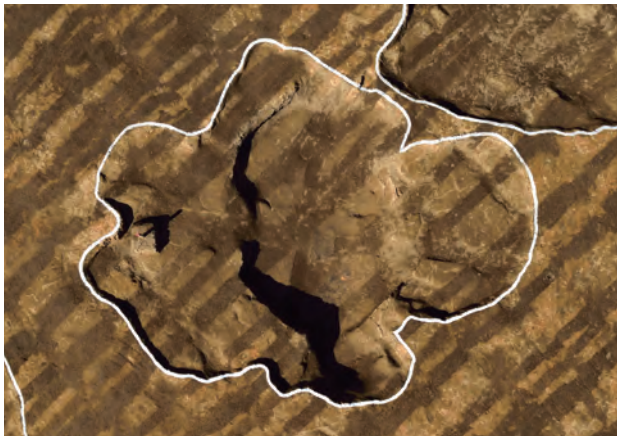
SA-09 ～ 11　床面　全景

SA-12　1 層　遺物出土状態（西から）

同左　東西畦　南壁層序（南東から）



同　床面　全景（東から）



同

図版 16

SA-13　1 層　遺物出土状態（西から）

同　東西畦　南壁　断面層序（南西から）

同　火処　平断面

同　床面　全景

SA-14　1 層　遺物出土状態（西から）

同左　（東から）

同　内区　遺物出土状態（南東から）

同　北主柱穴・柱抜取穴・土坑（西から）

SA-14　土坑　断面（西から）

同　南北畦　南半西壁　断面層序（西から）

同　鍛冶炉周辺の１ｃ層（西から）

同左　接写（西から）

同　１ｃ層の広がり～鍛冶炉検出

同　鍛冶炉　検出状態

同　鍛冶炉　底面

同左　接写

図版 18

SA-14　鍛冶炉　底面（北から）

同　北主柱穴内　甕底部を入れた甕

同　右上　甕の下から出土した甕底部

同　床面　全景

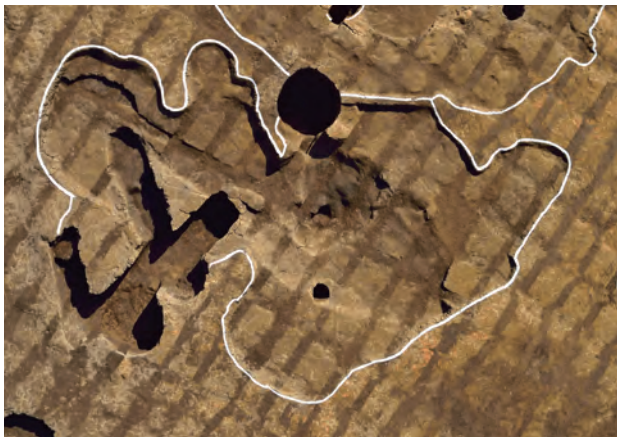
SA-15　１層　遺物出土状態（西から）

同左　内区　１層　遺物出土状態（南西から）

同　東西畦　南壁断面層序（南東から）

同　内区　断面層序（南東から）

SA-15　東端火処　底面・断面（南から）



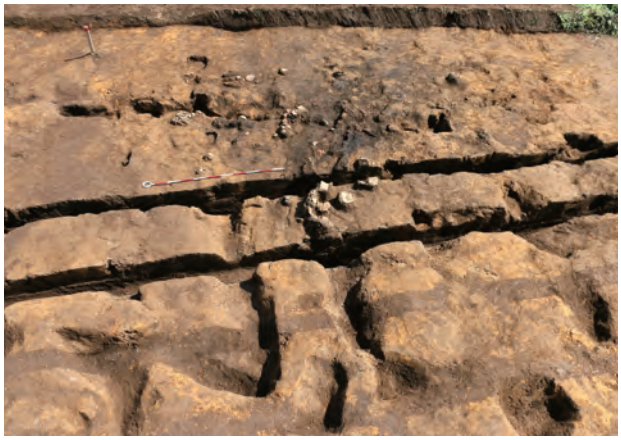
同　床面　全景

SA-16　１層　遺物出土状態（北から）

同左　断面層序（西から）

同　床面　全景

同左



SA-17　１層　遺物出土状態（西から）

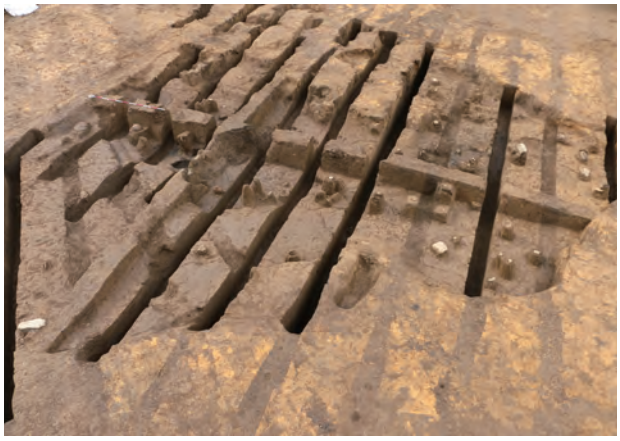
同　床直の土器と焼土・炭

ST-17　中央土坑と焼土・炭

同　土坑底面の炭化木片　出土状態（西から）

同　右上　（東から）

同　床面　全景



SA-18　１層　遺物出土状態（北から）

同　北東部　遺物出土状態

同　南西部　火処

同　床面　全景

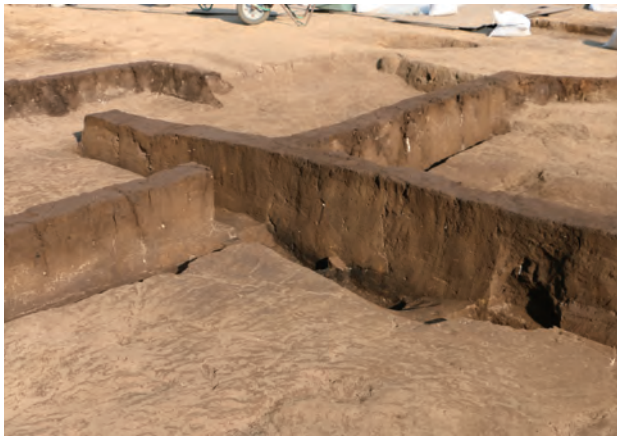
SA-19　１層　遺物出土状態（西から）

同　断面層序（南西から）

SA-20　１層　遺物出土状態（西から）

同左　（東から）

同　南中央区　中央付近に編物石４



同　南北畦西壁層序（南西から）

同上　中央付近の内区　編物石等出土状態

同　床面　全景

図版 22

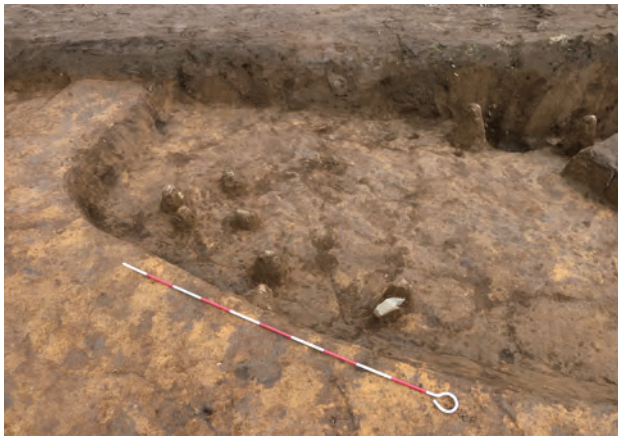
SA-21　１層　遺物出土状態（西から）

同左　（東から）

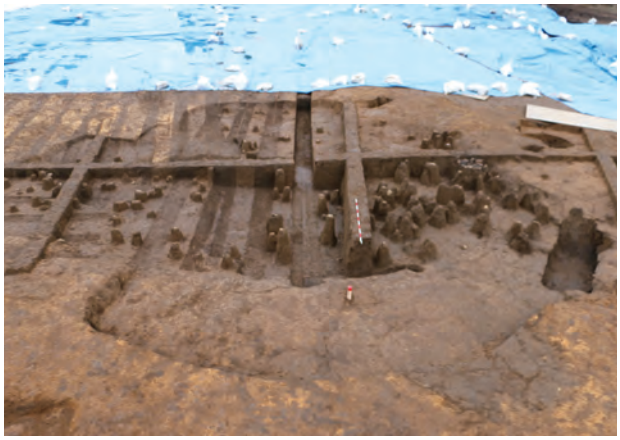
同　火処　断面層序（南東から）

同　床面　全景

Ⅱ区　SA-22　１層　遺物出土状態（南西から）



同　北端部　遺物出土状態（西から）



Ⅲ区　SA-22　１層　遺物出土状態（西から）

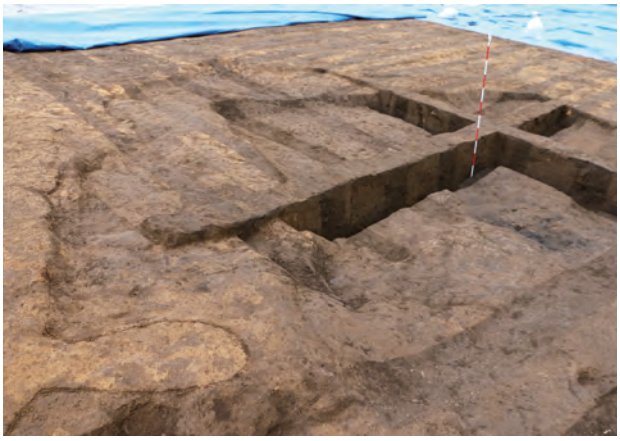
同左　（南から）

SA-22　内区　南西部　断面層序（南西から）

同　南北畦　南半　西壁層序

同　東西畦　中央寄　断面層序

同左　接写



同　西・北壁　断面層序（北西から）

同　東・南壁　断面層序（南東から）

同　内区　火処　断面

同　床面　全景（右上が北）

SA-23　1 層　遺物出土状態・西壁層序

同左　西壁中央部　断面層序

SA-24　1 層　遺物出土状態

同　南北畦　西壁層序（南西から）

同右上　接写

同　床面　全景

SA-25　1 層　遺物出土状態（西から）

同　南半分（東から）

SA-25　南半・西壁・内区床面

同　内区畦　西壁層序・被熱床面

同　右上　接写

同　内区・畦東～南壁・被熱床面

同　主柱穴Ｐ５（南から）

同　主柱穴Ｐ１（南から）

同　主柱穴Ｐ６（南東から）

同　内区　被熱床面

SA-25　内区　被熱床面

同　床面　全景

SA-26　１層　遺物出土状態（西から）

同　東側中央土坑　遺物出土状態

同　西・北壁層序（北西から）

同　南北畦　南半西壁　断面層序（西から）

SA-27　１層　遺物出土状態（東から）

同左　南東部

SA-27　南東部　断面層序（南から）

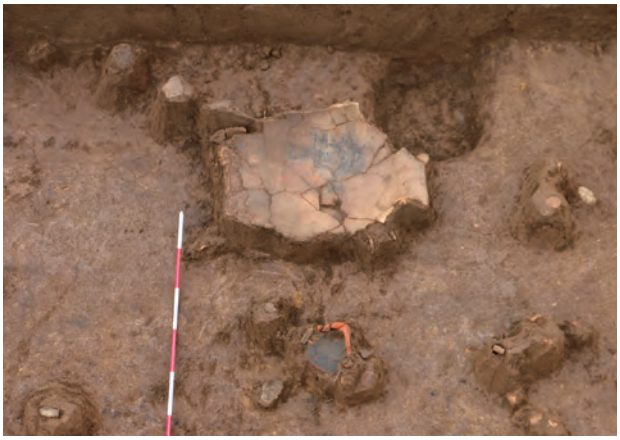
SA-26・27　床面　全景（右が北）

SA-28　１層　遺物出土状態（南から）

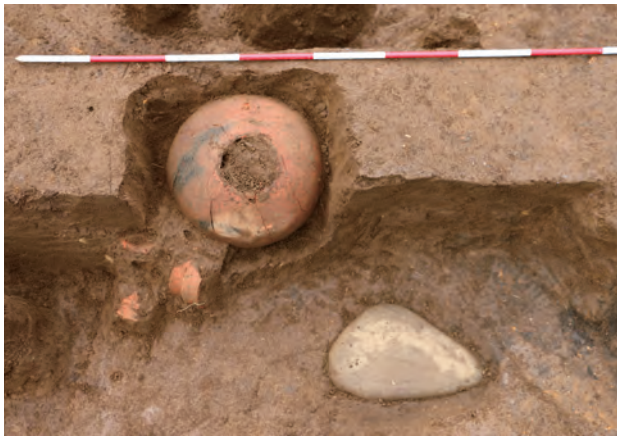
同左　（東から）

同　北東角の土師器

同左　下部出土状態



同　北西区内　甕ほか



同　東西畦　東半内　二重口縁壷

図版 28

SA-28　断面層序（南東から）

同　火処　断面層序

同　断面層序（北東から）

同　中央部　主柱穴

SA-29　北東部　火処（南東から）

同　柱穴と断面層序

同　南側　床面（南から）

SA-28・29　床面　全景

SA-30　1 層　上～中層遺物出土状態（南西から）

同　南西区画（南西から）

同右上　高坏等　出土状態

同　南中央区画　鋳造鉄斧等出土状態（南から）

同　南東区画　甕･高坏等出土状態（東から）

同　南西区画　1 層　下層　遺物出土状態

同　右上　中央付近　石包丁等出土状態

同　南中央区画　1 層　下層　鉄鏃と編物石ほか

図版 30

SA-30　南東区画　編物石と断面層序

同　南中央区画　北西部の土坑内遺物

同　南東区画　甕（南から）

同　南西区画　火処

同　右上　内底の赤色顔料

同　南東区画　北西部　火処内遺物

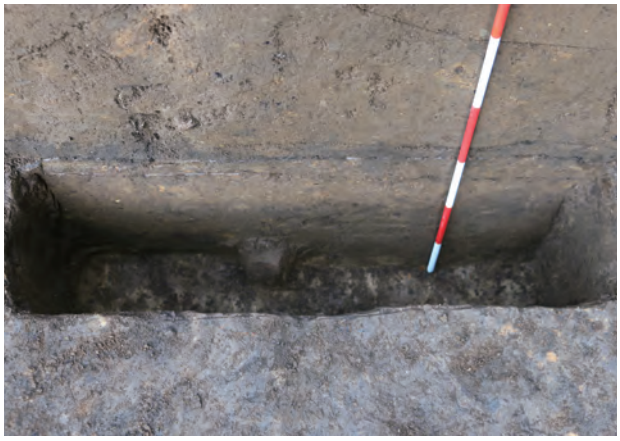
同　南東区画　焼土と鉱滓・炭化物

同左　接写

SA-30　断面層序（北から）

同　南西区画　東南壁

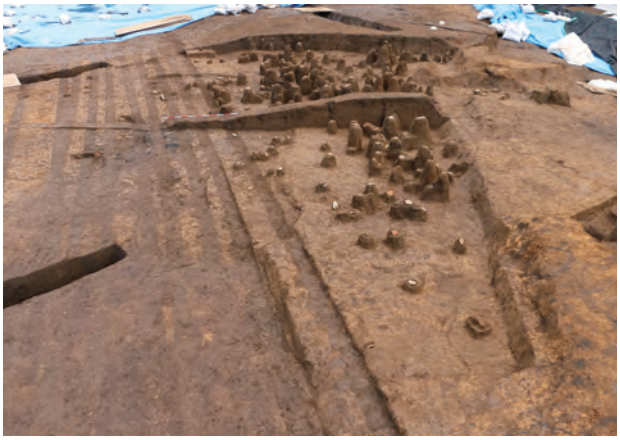
同　内区　貼床確認



同左　接写

同　南半　北～西壁　断面層序

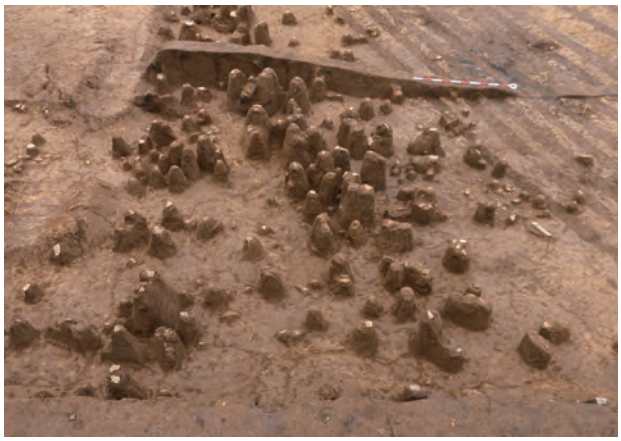
同　床面　全景



SA-31　1 層　遺物出土状態

同　西半部

SA-31　北西端　鉄鏃　出土状態



同　東半　1 層　遺物出土状態

同　中央付近　火処　上面

同　中央畦　西壁層序

同上　断面層序

同　床面　全景

SA-32　遺物出土状態（南西から）

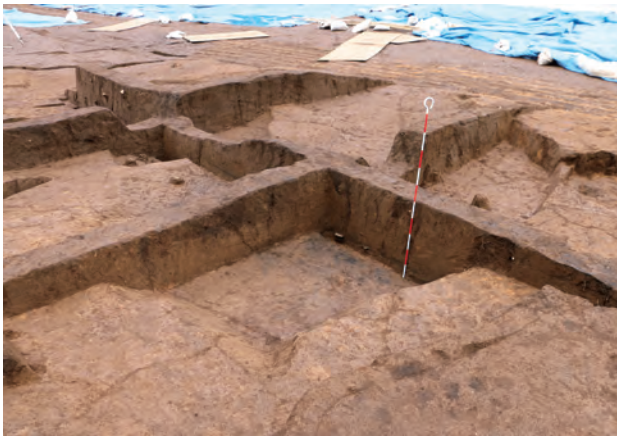
同　（北東から）

SA-32　南西区画　北東部　火処

同　西中区画　東部　火処

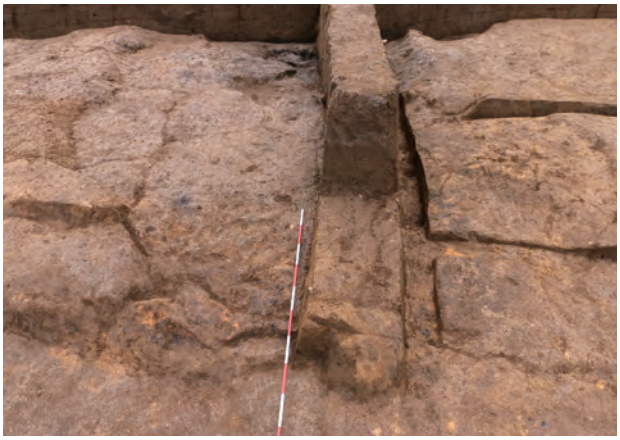
同上　断面層序

同　東部　火処

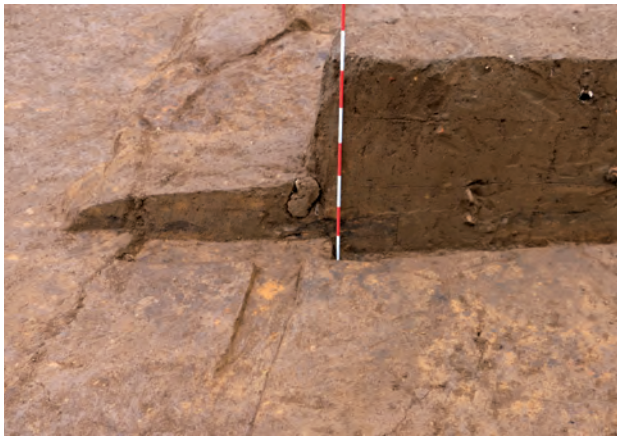


同　断面層序

同　断面層序



同　中央西端　火処



同左　断面層序

SA-32　中央西端火処　断面

同　北東部

同　南半　北壁層序

同　床面　全景

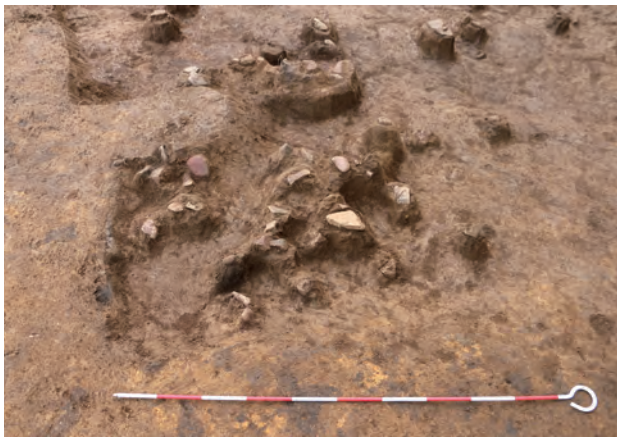
SA-33　１層　遺物出土状態（西から）

同左　（北から）

同　北端部　砥石と編物石　出土状態

同　石製模造品とその周辺

SA-33　刀子ほか　出土状態



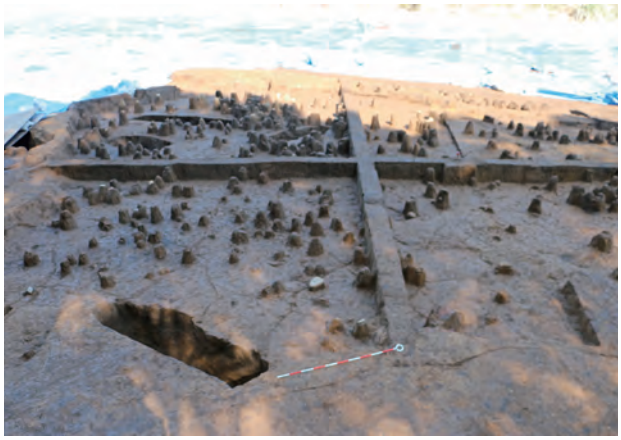
同　北西端部　被熱礫集積状態

同　中央部　断面層序（北東から）

同左　中央部　火処　断面

同　中央部　火処

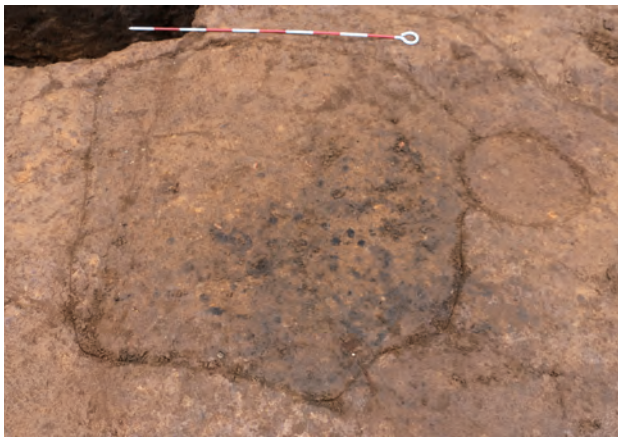
同　床面　全景



SA-34　１層　遺物出土状態（南から）

同　南西区画　南東角　土製勾玉と編物石

SA-34　南東区画　砥石ほか出土状態



同　南西区　南西部の火処　検出状態

同　北西区　火処

同　１層　下層遺物　出土状態

同　南～西壁層序

同　中央付近　断面層序

同　砥石ほか出土状態

同　床面　全景

SK-140 （SA-35 B埋没後切込）遺物出土状態

同左　中央底面　蓋　出土状態

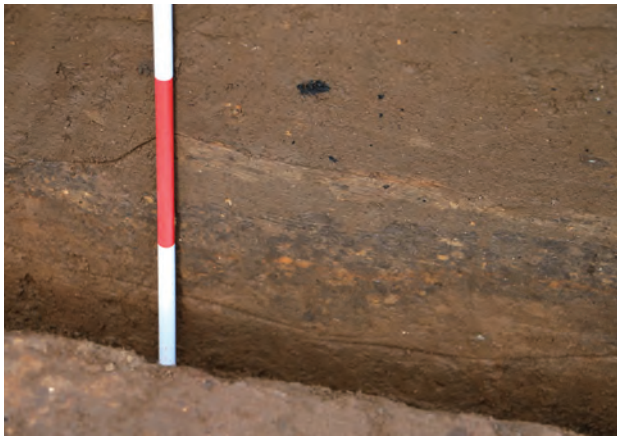
SA-35A　1 層　遺物出土状態

同　U字溝型掘込内遺物

同　小型壷　出土状態

同　内区　1 層　断面

同　内区　断面層序

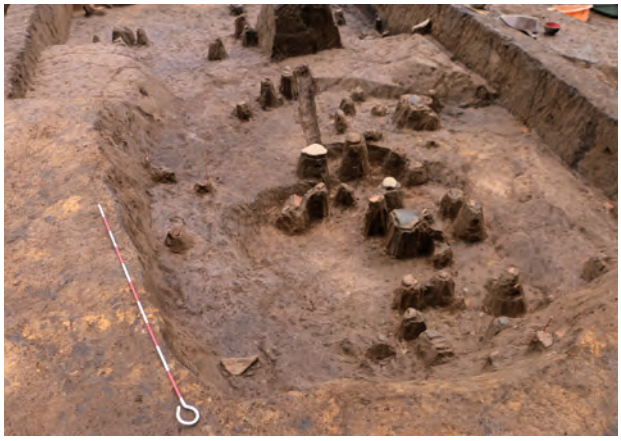


同左　接写

SA-35 A　床面　全景

SA-35 B　床面　全景

SA-36　西半部　1 層　遺物出土状態

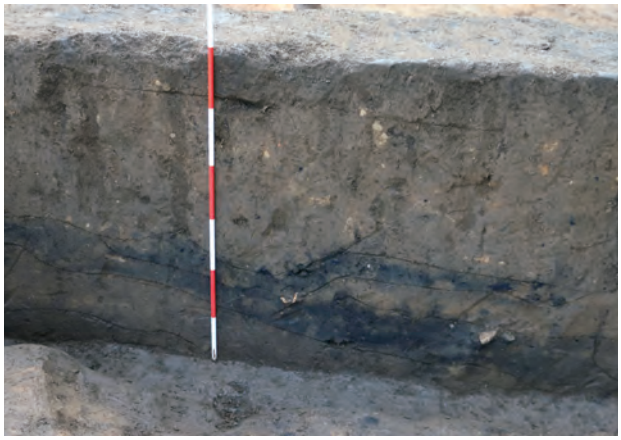


同左　下層・土坑上層遺物

同　火処・台石出土状態

同　中央付近の火処

同上　断面層序



同上　火処　接写

SA-36　南東部　Ⅶb 層　採掘穴断面層序

同左　完掘（東から）

同右上　底面　工具痕

同　床面　全景

SA-36 外方 SK-141　上層　遺物出土状態

同左　下層　焼土・炭

同　完掘

SZ-02　遺物出土状態（南西から）

SA-37　1 層　遺物出土状態

同　台石と火処

同　内区　東部の土器片　出土状態

同　南東部　断面層序（北）から

同右上　畦除去　鉄鎌状鉄片

同　断面層序（北から）

同　東壁層序

同　床面　全景（南半分）

SA-38　北西部　１層　遺物出土状態

同　東部火処と周辺

同　火処

同　火処　断面層序

同　西北部　朱と編物石

SA-39　遺物出土状態

同右上　断面層序（西から）

SA-38・39　床面　全景

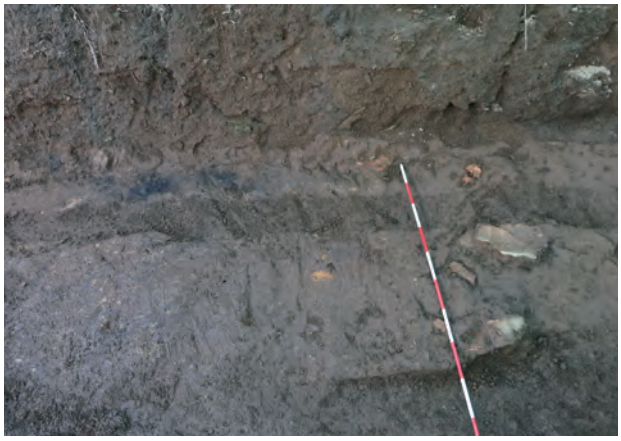
SA-40　管玉と台石　出土状態

同左　接写

同　床面と火処

同　断面層序

同　東西畦　北壁層序



同　南東部と東端中央火処１ｃ層

SA-42　北西区　東南部　火処

同　１層下層　遺物出土状態

SA-43　断面層序（東から）

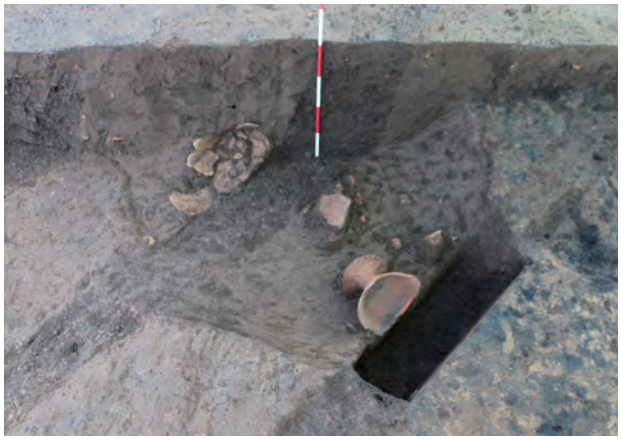
SA-43 東端～ SA-40 西端　断面層序

SA-44　南東区　火処（南から）

同　南東区　南西部土坑　断面

同　断面層序

同　火処　断面層序

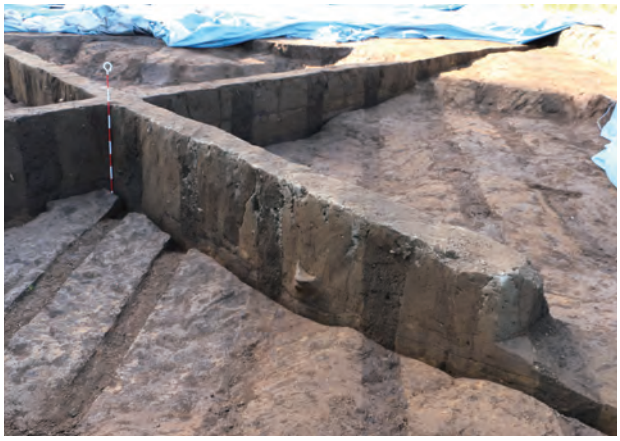


SA-47　南西区　南東端　土坑内遺物

同　Ⅶｂ層採掘穴　断面層序

SA-47　Ⅶb 層採掘穴　完掘

同左　底面



同　断面層序

同　火処　断面層序

SA-38　北西区　1 層　上層遺物出土状態（北から）

同　（東から）

同　接写（北から）

SA-48　東西畦東半　１層上層　遺物出土状態（南から）

同　火処の上　1a 層内

同　西端部側面（北から）

同　西端部　甕内外　入れ子状態

同　西南区中央寄り　火処

同右上　南北畦　東壁層序（北東から）

同　東西畦　西側　断面層序

SA-49　断面層序（南東から）

同　火処と断面

同　南北断面層序（北東から）

同左　中央寄り　接写

SA-50　畦　南･西壁　断面層序（南西から）

同　火処部分　断面層序

同　（北西から）

同　西端部　断面層序（南から）

Ⅲ区　遺構検出作業（東から）

同　南東部（北東から）

Ⅱ区　SA-13　掘込作業（西から）

Ⅲ区　SA-28　掘込作業（北から）

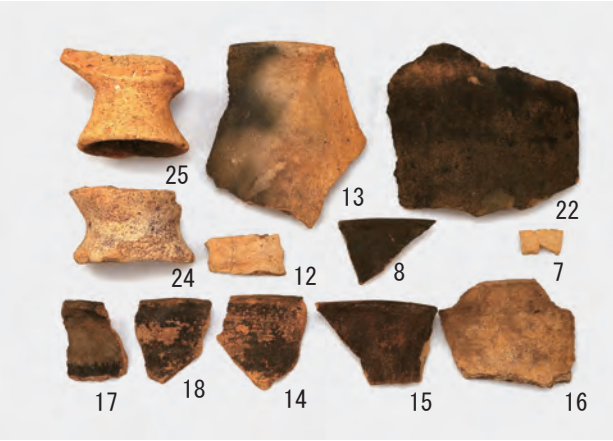
SA-30　内区　サブトレ掘込～清掃（南から）

SA-36　掘込作業

SA-26 ～ 29　トータルステーション測量

航空写真撮影

SA-01　出土土器



SA-02　出土土器（1）

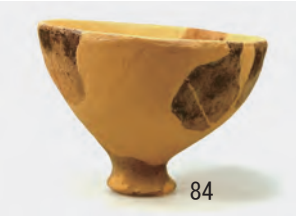
SA-02　出土土器（2）

SA-03　出土土器（1）　同左　（2）

SA-03　出土土器（3）　同左　（4）　SA-04　出土土器（1）

SA-04　出土土器（2）

同左　（3）



SA-04　出土土器（4）

SA-07　出土土器

SA-08 出土土器

SK-63　出土土器

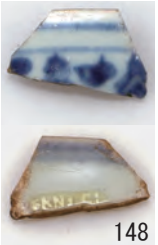
SA-05　出土土器

SA-06　出土土器

SK-55　出土土器

Ⅰ区出土　縄文土器

図版 50



Ⅰ区　弥生赤彩土器　　右：青花

Ⅰ区　出土土器片加工円盤，土器片加工方形品

SA-01　出土石器

SA-02　出土石器　　左上の礫：上端面に擦痕

SA-03　出土石器（1）

同　（2）（2層）

SA-03　出土石器（3）

SA-04　出土石器

SA-05　出土石器・石製品

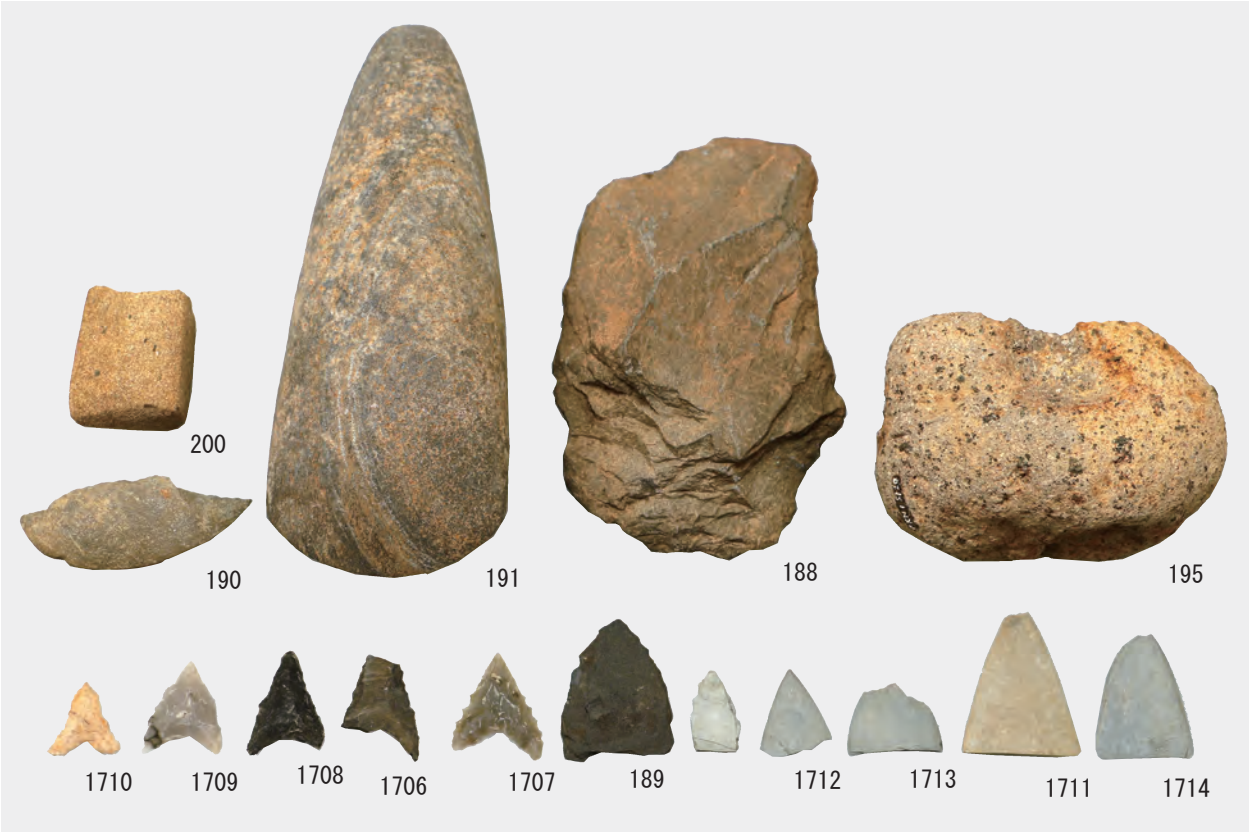
SA-06　出土石器

SA-07　出土石器（1）

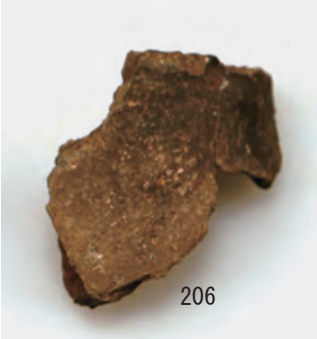
SA-07　出土石器（2）

SA-08　出土石器

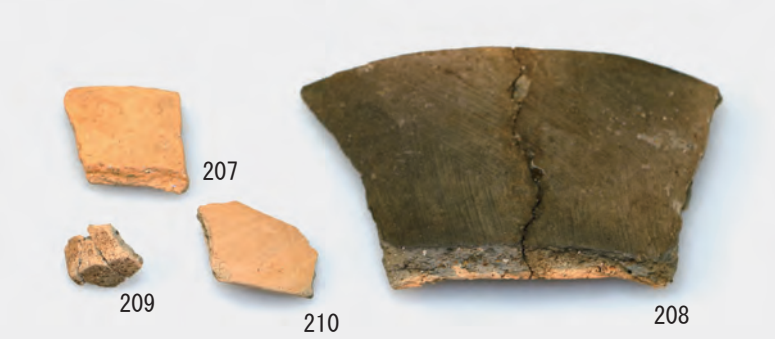
Ⅰ区　SK・Ⅳａ層出土石器



Ⅰ区　Ⅱ～Ⅲ・Ⅳａ層・SK・攪乱　出土石器



SA-09　出土土器



SA-10　出土土器

SA-11　出土土器

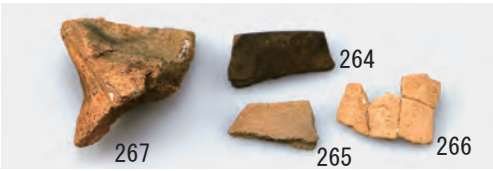
SA-12　出土土器

SA-13　出土土器

SA-14　出土土器（1）

同左（2）　鍛冶炉付近・鍛冶炉直上出土　甕
外面のススを年代測定

SA-14　出土土器（3）



SA-16　出土土器

SA-15
出土土器

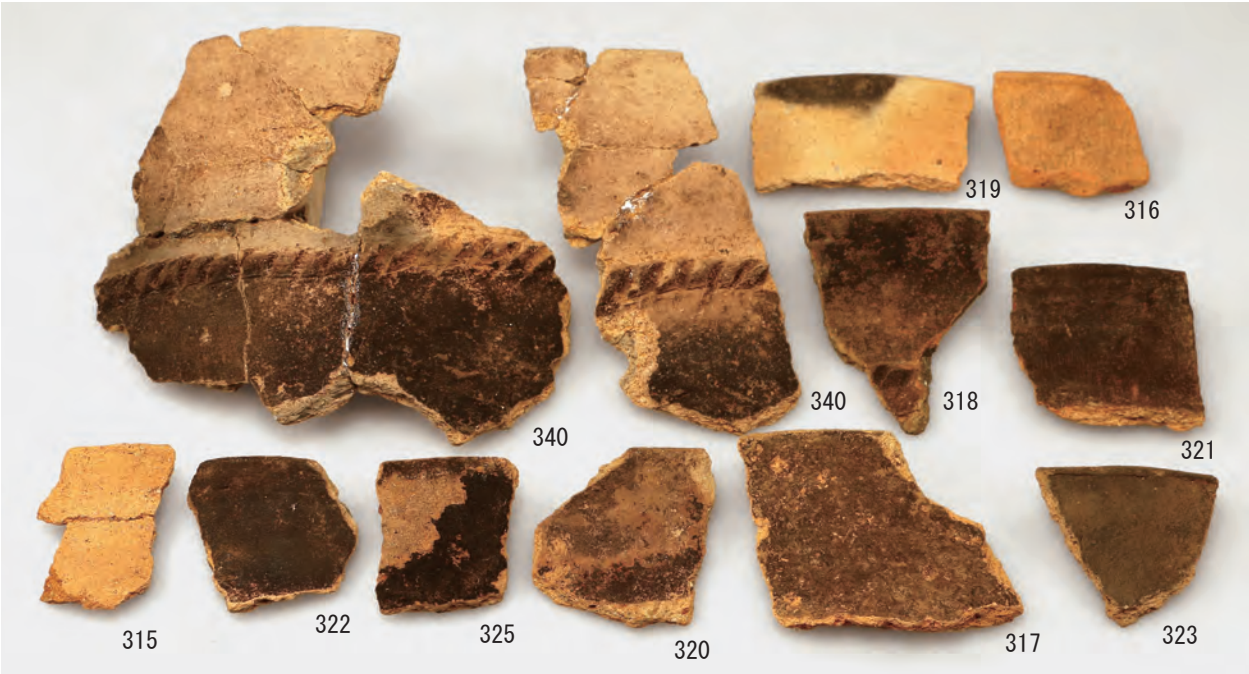
SA-17
出土土器（1）

同上（2）

SA-18　出土土器（1）

同上　（2）

SA-19　出土土器

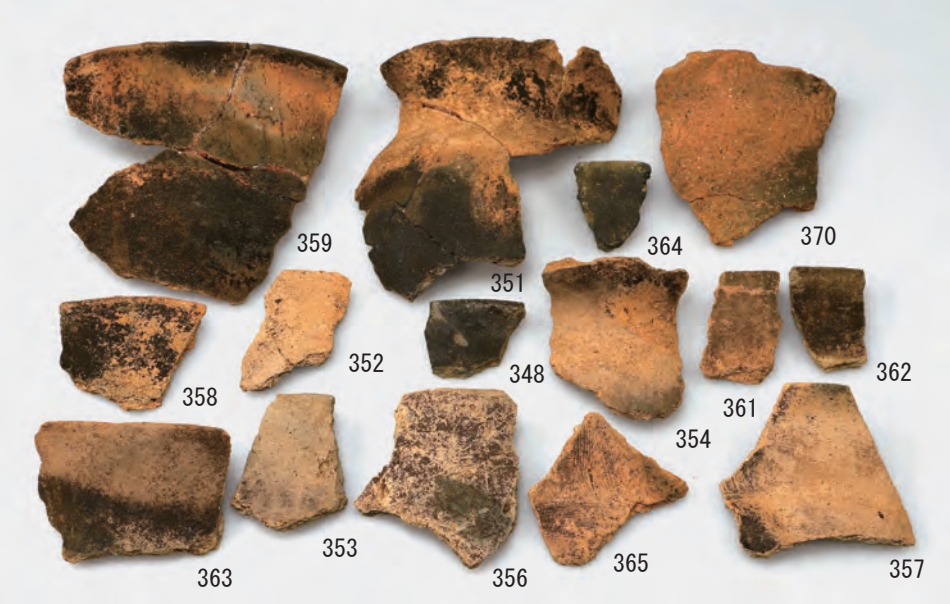


SA-20　出土土器（1）

SA-20
出土土器（2）

SA-21
出土土器

SA-22
出土土器（1）



同上（2）

SA-22　出土土器（3）

SA-23　出土土器

SA-24　出土土器（1）

同上　（2）

SA-24　出土土器（3）

SA-25
出土土器（1）

同上（2）

SA-26　出土土器

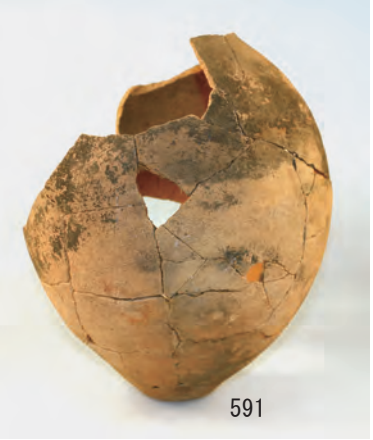
SA-27　出土土器

SA-28　出土土器（1）

同左　内面

SA-28　出土土器（2）　　反転

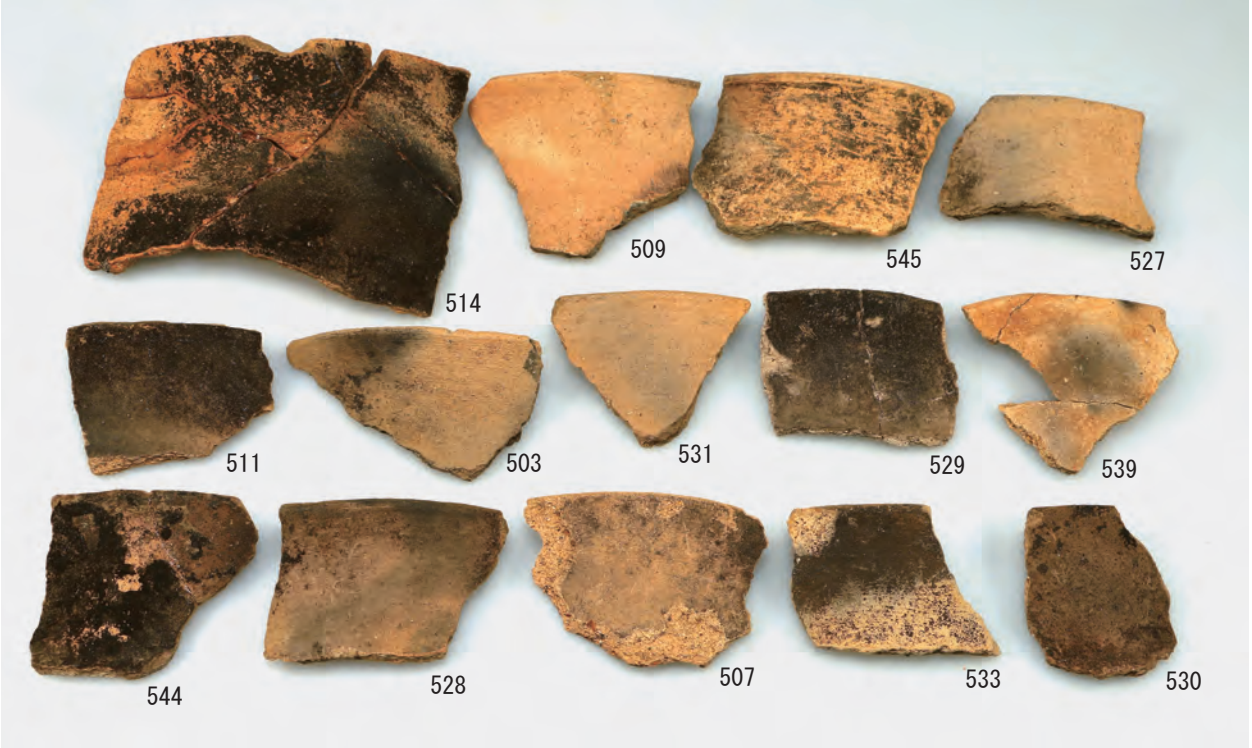
SA-29　出土土器



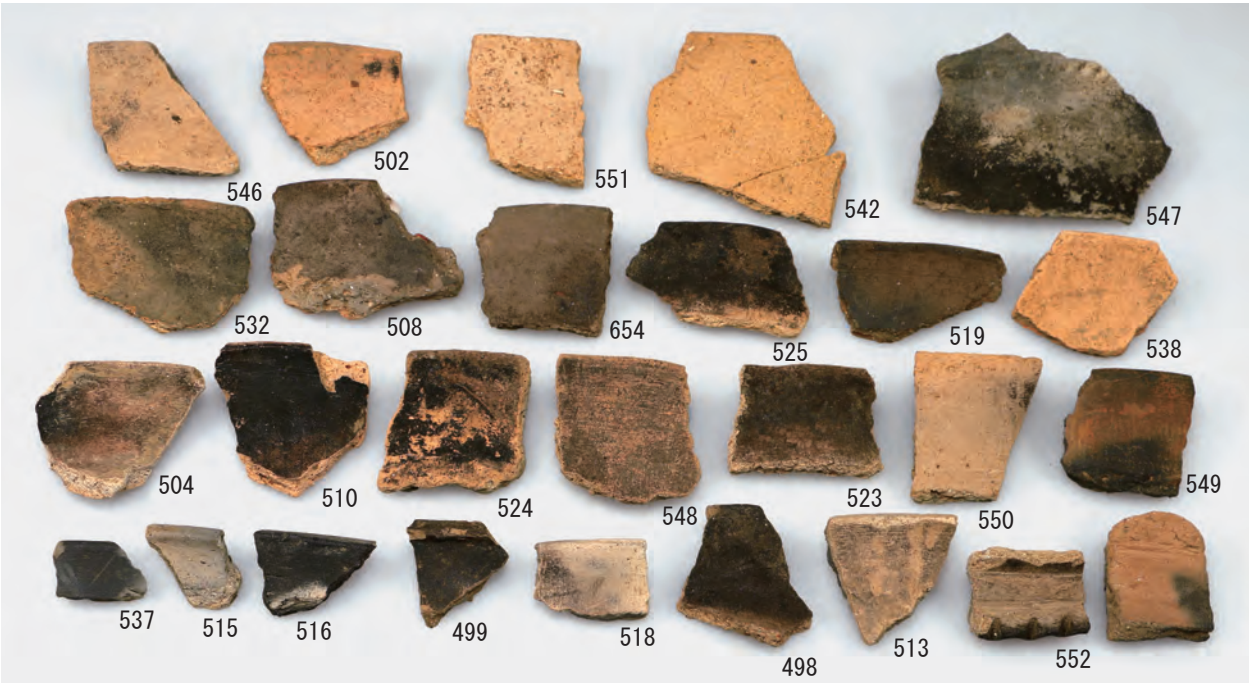
SA-30　出土土器（1）

図版 62

SA-30　出土土器（2）



同上　（3）



同上　（4）

578
568
575
572
569
565
571
564
563
573
566
574
567
561
562
560
644
570
646

585
582
540
586
648
583
594
593
536
592
505
584
588
587
579
521

SA-30　出土土器（5）

597
576
626
500
497
627
581
599

SA-30　出土土器（6）

同上　（7）

同上　（8）

SA-30　出土土器（9）

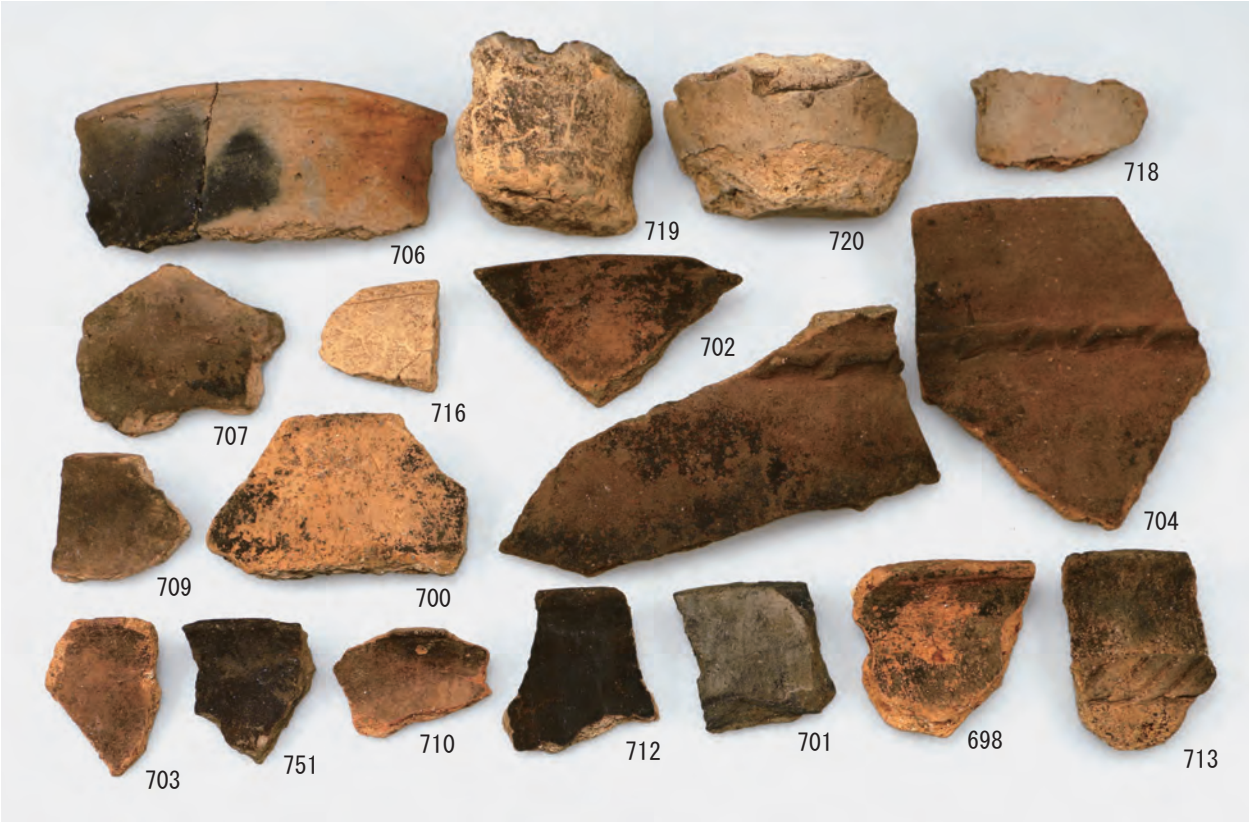
SA-31
出土土器（1）

同上　（2）

同上　（10）

同右上（3）

SA-31　出土土器（4）



SA-32　出土土器（1）

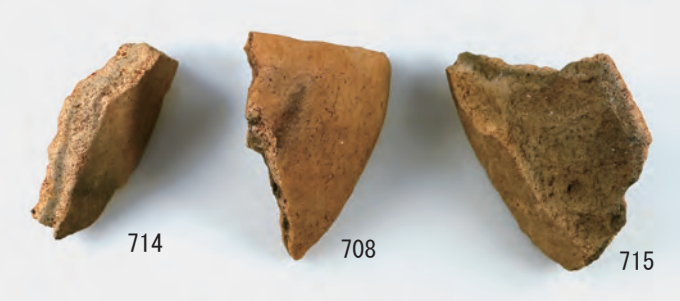
699
725
741
728
736
705
722
731
753
746

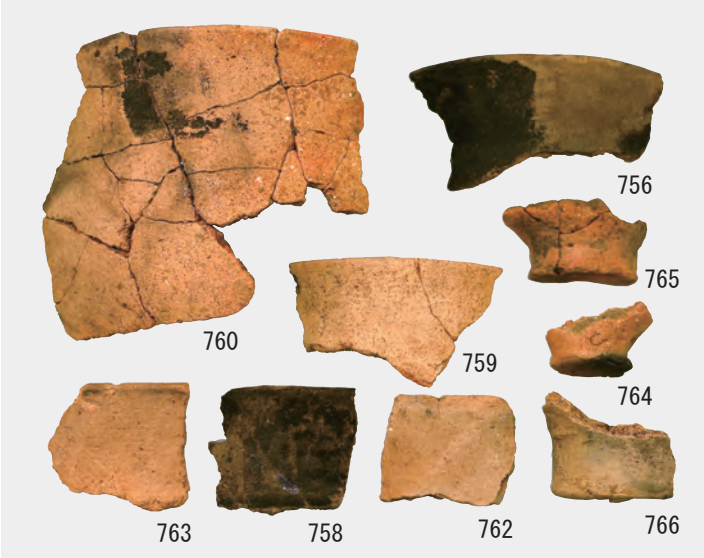
752
747
711
748
749
750
726
754

734
727
729
738
735
745
737
723
733
739
744
743
724
742
740
721
730
732

SA-32　出土土器（2）

SA-32
出土土器（3）





SA-33　出土土器

SA-34　出土土器（1）

SA-34
出土土器（2）

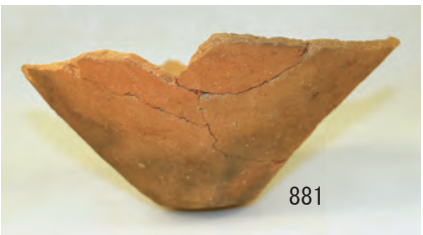
同上（3）

同上（4）

SA-34　出土土器（5）

SK-140（SA-34 埋没後に切り込む土坑）　出土土器

SA-35　出土土器（1）



同上（2）

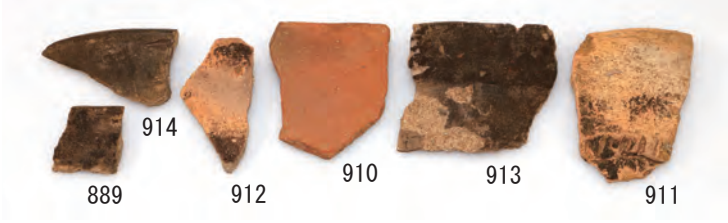
同上（3）

SA-35
出土土器（4）

同上（5）

SA-35・35A
出土土器

SA-35B　出土土器



SA-35C　出土土器（1）

SA-35C　出土土器（2）

同上（3）

SA-35C
出土土器（4）

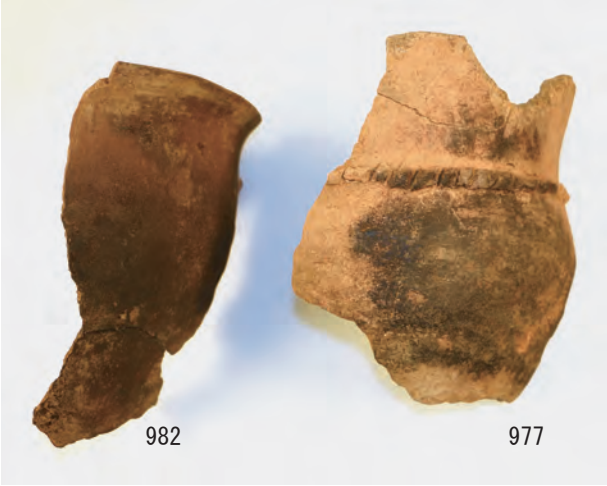
SA-36
出土土器（1）

同上（2）

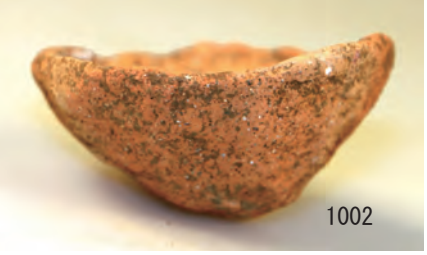
SA-36　出土土器（3）

SK-141（SA-36 南東）　出土土器（1）

SK-141　出土土器（2）



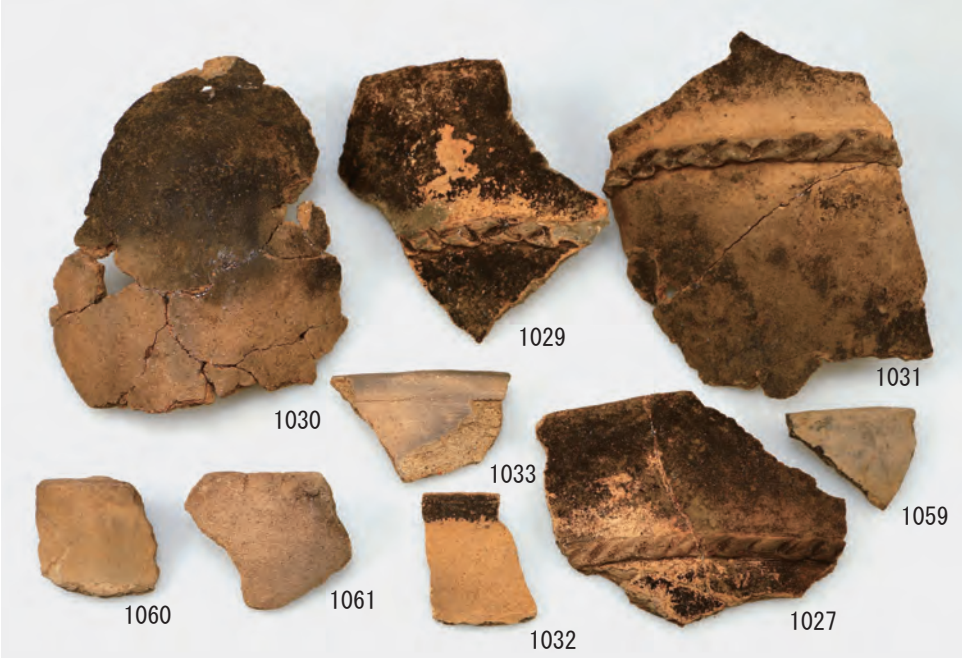
SA-37　出土土器（1）



SA-37
出土
土器
（2）

同上
（3）

SA-38
出土
土器


1029
1031
1030
1033
1059
1060
1061
1032
1027

1057

1054

1053

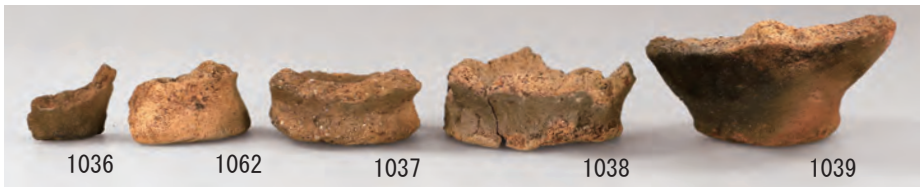
1067
1066
1028
1041
1073
1047
1044
1072
1055
1058
1035
1052
1051

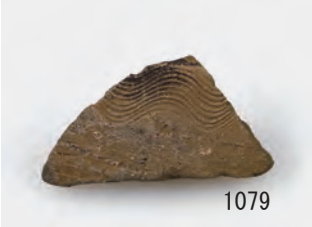
1056

1046
1075
1076
1068
1077
1042
1070
1069
1074
1040
1065
1064
1049
1048
1043
1071
1050
1063
1078

1045

SA-40　出土土器（1）





SA-40　出土土器（2）

須恵器

SA-41　出土土器

SA-42　出土土器

SA-43-44 間Ⅳ a 層
出土須恵器

SA-43
出土土器

SA-44
出土土器

SA-46
出土土器

SA-47
出土
土器（1）

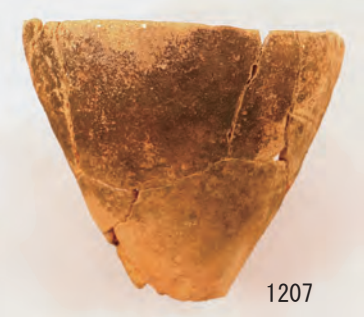
同上（2）

同上（3）

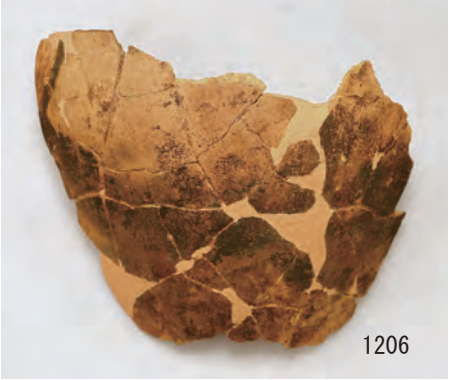
1184の内面

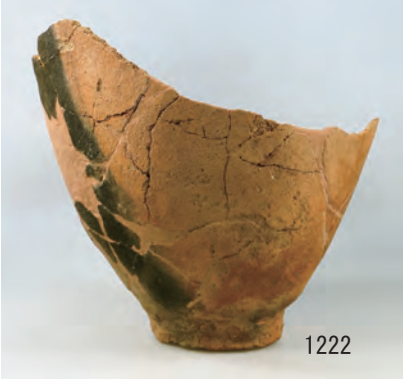
SA-47　出土土器（4）

SA-47 内 SK　出土土器



SA-48　出土土器（1）


1206


1222

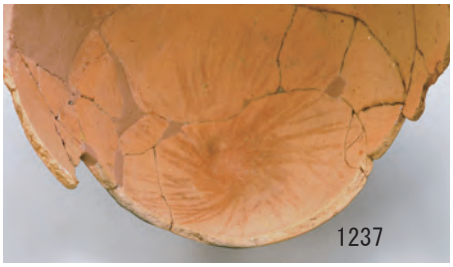
1212

1210
1217
1214
1216
1203
1202
1243
1204
1211
1205
1201
1200

1237

1225

1235


1237

1224

1276

SA-48　出土土器（2）

1223

1282

1240

1248

1247

1280

1242
1281
1239
1249
1246
1241
1244

1254

1283

1279

1253
1250

1251

1258
1256

SA-48　出土土器（3）

1255

1261
1252

1263

1231

1261

1261

1278

1268

1277

1273

1265
1267

1238
1270

1266
1269

1271

1226
1245
1259
1260
1262

SA-48　出土土器（4）

SA-48　出土土器（5）

SA-49　出土土器（1）

SA-49　出土土器（2）

SA-50　出土土器

SK-95（1），（2），
SK-103，SR-03，
SZ-02　出土土器

Ⅱ～Ⅲ層ほか
出土土器

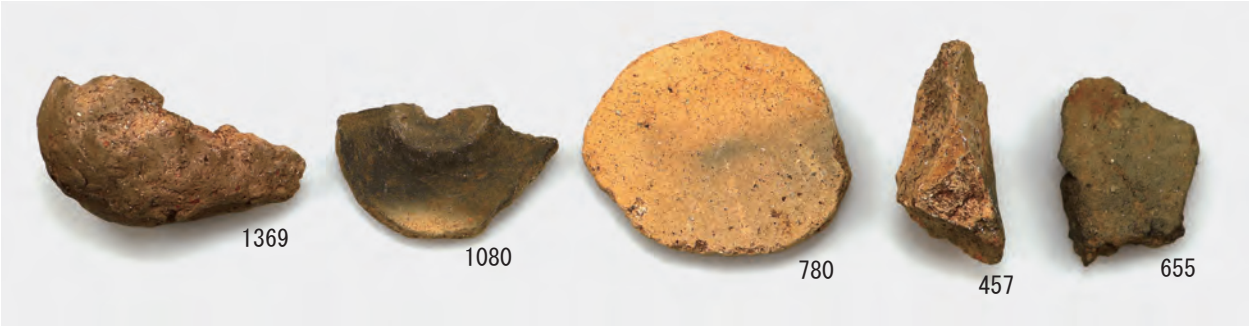
Ⅱ～Ⅲ層
出土土器

Ⅱ～Ⅲ区　出土　縄文土器

Ⅱ～Ⅲ区　須恵器，土師質土器

SA-34　出土　土製勾玉

SA 出土　小玉，管玉
左から SA-35B，SA-35C，SA-36，SA-48，SA-48，SA-48，SA-49，SA-50，SA-40



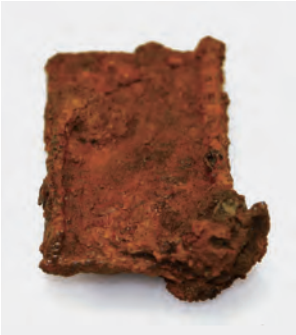
土製品，被熱発泡土器片　左から SK-141，SA-40，SA-33，SA-25，SA-30 出土

SA-17　出土
炭化木製品

同上
655
内面

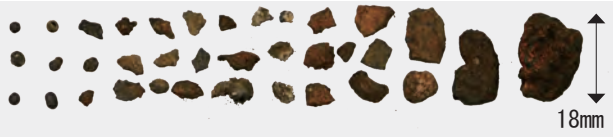
Ⅱ～Ⅲ区　出土　鉄器・鉄片

図版 89

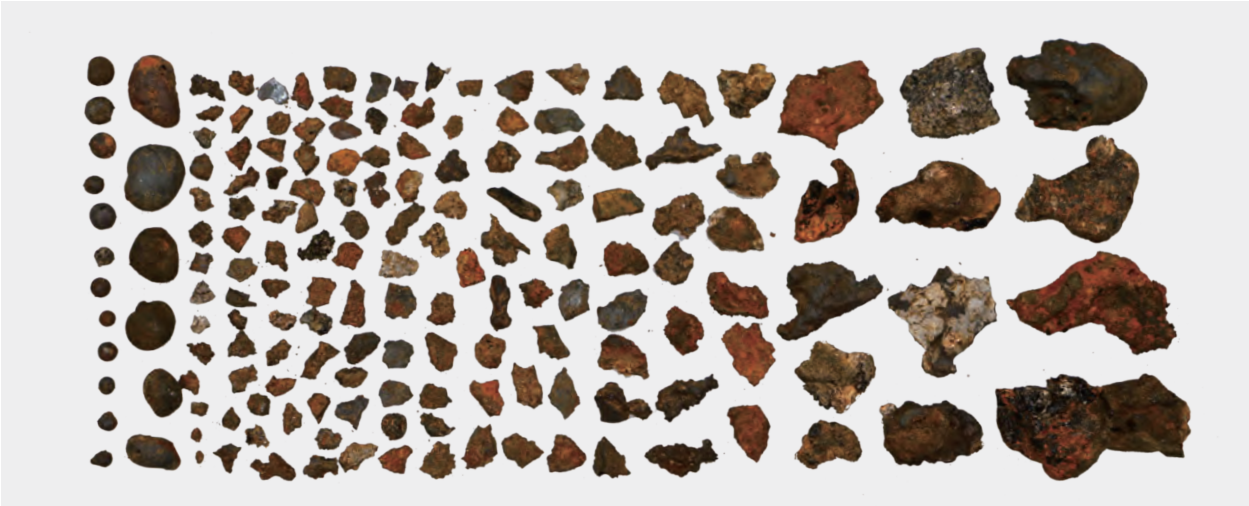


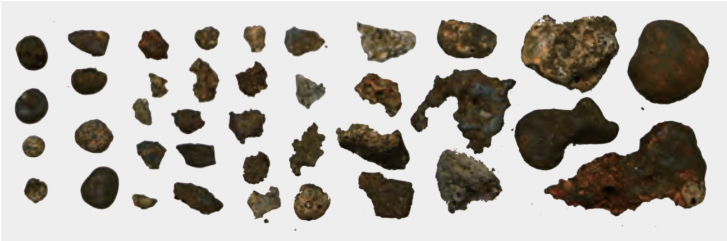
SA-30　出土　鋳造鉄斧　斜側面～裏面

短辺



SA-14　鍛冶炉内覆土水洗選別　粒状滓～鍛造剥片～鉄滓（1），（2）

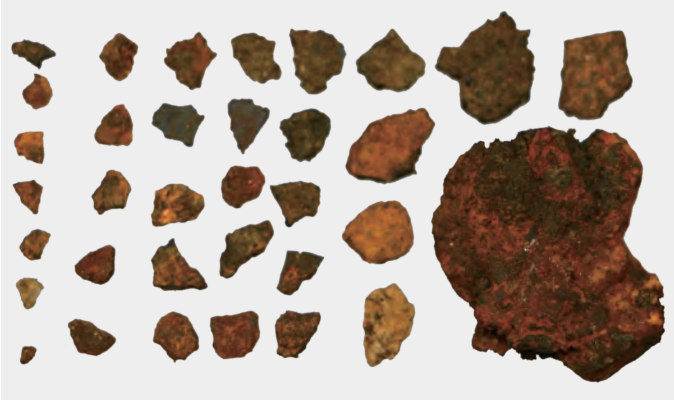




上：同上（3）
左上は直径 3㎜，右上は長さ 19㎜

左：同上（4）
左上は直径 4㎜

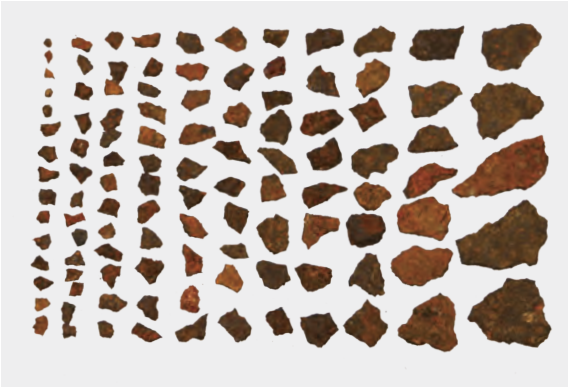
同上（5）覆土出土　鉄滓



右上：長さ 10㎜

同左　粒状滓　右上長さ 3.5㎜

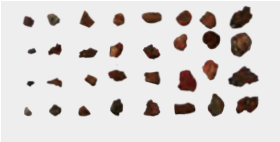
SA-14　鍛冶炉周辺１ｃ層水洗選別　鍛造剥片・鉱滓



SA-34　南西部１ｃ層水洗選別　鍛造剥片　右上：長さ 8㎜

SA-18　焼土水洗選別

SA-35C　１ｃ層水洗選別



SA-40　北東部１ｃ層水洗選別

SA-40　南西部　１ｃ層

同左　右上長さ 3.5㎜

SK-141　水洗選別　鍛造剥片

SA-40　１ｃ層（焼土混）

SA-49　１ｃ層水洗選別

鉱滓　左から SA-17，SA-31，SK-103 出土

赤色顔料の素材
左から SA-20 の褐鉄鉱，
SA-30 の朱塊，
SA-49 の朱塊

SA-36　１ｃ層水洗選別
左列から炭片・粒
土器片
小礫
粗砂
中砂
微細砂
砂鉄

SA-09　出土石器

SA-09 ～ 10　出土石器

SA-11　出土土器

SA-14　出土石器

SA-13　出土石器

SA-14　出土石器

SA-20　出土石器（1）

同上（2）

SA-18　出土石器

SA-21　出土石器

SA-23　出土石器

SA-22　出土石器

SA-24　出土石器

SA-25　出土石器（1）

SA-25　出土石器（2）

SA-27　出土石器

SA-28　出土石器

SA-30　出土石器（1）

SA-30　出土石器（2）

同上（4）

同上（3）

SA-31　出土石器

SA-32　出土石器（1）

SA-32　出土石器（2）

SA-33　出土石器（1）

SA-33　出土石器（2）

同左（2）

SA-34　出土石器（1）

同上（3）

同上（4）

SA-35　出土石器

SA-35C　出土石器（1）

同上（2）

同上（3）

SA-36　出土石器（1）

同左（2）

SA-36～37　出土石器

SA-37　出土石器（1）

SA-36　出土石器（2）

SA-37　出土石器（2）

SA-38　出土石器（1）

同左　（2）

SA-40　出土石器（1）

同左（2）

同上（3）

SA-41　出土石器（1）

同左（2）

SA-42　出土石器（1）

同左（2）

SA-43
出土石器

SA-44　出土石器（1）

同左（2）

SA-46　出土石器（1）

同上（2）

SA-47　出土石器（1）

SA-47　出土石器（2）

SA-49　出土石器　鉄床石か

SA-48　出土石器

右：SA-49 出土石器（1）

SA-49　出土石器（2）

Ⅱ～Ⅲ区　Ⅱ～Ⅲ層　出土石器

Ⅱ～Ⅲ区 攪乱ほか 出土石器

図版 98

鉄鏃模造品･類似品　集合

器面調整具　集合

小型砥石･類似品　集合

左端はSA-43出土マメ類(6mm)他はSA-03～06, 15, 17, 18 SK-21, 33, 50, 96出土シイ類

SA-01, 14, 15, 20, 25, 28, 34, 35, 36, 37, 48出土炭化モモ核, SA-30出土クルミ核 左端:長さ13mm

報　告　書　抄　録

ふりがな	ふきのだいいち　いせき
書名	柊野第１遺跡
副書名	県営畑地帯総合整備事業白鳥地区に伴う発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	えびの市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第61集
編著者名	中野和浩，（株）古環境研究所
編集機関	えびの市教育委員会
所在地	宮崎県えびの市大字大明司2146-2
発行年月日	2022年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	調査期間	調査面積	調査原因
ふきのだいいち いせき 柊野第１遺跡	えびの市大字末永（すえなが） 上原（うえはら）ほか	9	3048	2018.10.18 ～2019.2.13 2019.7.22 ～2020.3.25	5,150㎡	畑地灌 漑事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
柊野第１遺跡	集落	古墳	竪穴建物 土坑	土器、鉄鏃、刀子、鋳造鉄斧、編物石	鍛冶炉、鉄滓、粒状滓など出土、半数以上の竪穴建物の火処から砂鉄を採取

要　約

小木原地下式横穴墓群の中でも、有蓋土壙墓や木棺墓、横口式土壙墓、竪杭上部閉塞タイプ地下式横穴墓を営んだ集団の、古墳時代前期を主とする大集落と推定される。竪穴建物は不定形の間仕切り住居が多く厚さ20～30㎝の貼床がある。貼床に使用するためのクサリ礫混じりの硬い土を採掘した穴も２基検出した。大型建物では、小鍛冶が営まれ、截断された半島の鋳造鉄斧や鉄鏃・小刀子・鉄片などが出土している。

えびの市埋蔵文化財調査報告書　第 61 集

柊野第１遺跡

県営畑地帯総合整備事業白鳥地区
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

令和４年３月

編集・発行　えびの市教育委員会
えびの市大字大明司 2146-2

印　　刷　株式会社 大口新生社印刷
鹿児島県伊佐市大口大田 2319-1